船橋市立海神中学校校舎建替工事

	【意匠図】									【構造図】	
001	A-000	図面リスト	063	A-062	西棟１階平面図	125	A-124	日影図	167	S-01	構造特記仕様書（その１）
002	A-001	工事区分表	064	A-063	西棟２，３階平面図	126	A-125	平均地盤算定図（日影）	168	S-02	構造特記仕様書（その２）
003	A-002	特記仕様書　１	065	A-064	西棟４階、屋上平面図	127	A-126	地盤算定図（完成時、建物高さ）	169	S-03	配筋基準図（１）
004	A-003	特記仕様書　２	066	A-065	階段棟及び一部西棟 立面図・断面図	128	A-127	採光・排煙チェックシート	170	S-04	配筋基準図（２）
005	A-004	特記仕様書　３	067	A-066	階段棟 詳細図（平面詳細および矩計図）	129	A-128	新校舎棟バリアフリー法チェック図　１（３階）	171	S-05	配筋基準図（３）
006	A-005	特記仕様書　４	068	A-067	既存全体建物　１階撤去平面図	130	A-129	新校舎棟バリアフリー法チェック図　２（４階）	172	S-06	配筋基準図（４）
007	A-006	特記仕様書　５	069	A-068	既存全体建物　２階撤去平面図	131	A-130	新校舎棟バリアフリー法チェック図　３（５階）	173	S-07	鉄骨基準図（１）
008	A-007	特記仕様書　６	070	A-069	既存全体建物　３階撤去平面図	132	A-131	新校舎棟バリアフリー法チェック図　４（２階）	174	S-08	鉄骨基準図（２）
009	A-008	特記仕様書　７	071	A-070	既存全体建物　４階・屋上階撤去平面図	133	A-132	新校舎棟バリアフリー法チェック図　５（１階）	175	S-09	鉄骨標準詳細図（１）
010	A-009	特記仕様書　８	072	A-071	既存全体建物　１階改修平面図	134	A-133	西棟バリアフリー法チェック図　１（１，２階）	176	S-10	鉄骨標準詳細図（２）
011	A-010	建築材料等品質性能表１	073	A-072	既存全体建物　２階改修平面図	135	A-134	西棟バリアフリー法チェック図　２（３，４階）	177	S-11	鉄骨標準詳細図（３）
012	A-011	建築材料等品質性能表２	074	A-073	既存全体建物　３階改修平面図				178	S-12	継手基準図（１）
013	A-012	建築概要・案内図・外部仕上表	075	A-074	既存全体建物　４階・屋上階改修平面図				179	S-13	継手基準図（２）
014	A-013	敷地求積図	076	A-075	既存校舎　東空中歩廊接続部、解体撤去図		【撤去図】		180	S-14	鋼管杭　特記仕様書（参考）
015	A-014	配置図	077	A-076	既存校舎　西空中歩廊接続部、解体撤去図	136	TA-001	撤去配置、部分仮設図（付属建屋）	181	S-15	PHC杭　杭頭補強筋標準図（参考）（１）
016	A-015	現況配置図	078	A-077	既存校舎　階段棟接続部、解体撤去図	137	TA-002	プレハブ倉庫撤去図	182	S-16	PHC杭　杭頭補強筋標準図（参考）（２）
017	A-016	増築求積図・面積表	079	A-078	建具キープラン（法チェック図）１（１階）	138	TA-003	キュービクルフェンス撤去図	183	S-17	合成デッキプレート　標準図（参考）
018	A-017	既存求積図・面積表（増築後）	080	A-079	建具キープラン（法チェック図）２（２階）	139	TA-004	新校舎棟建設用地外構撤去図	184	S-18	型枠用デッキプレート　標準図（参考）
019	A-018	仕上表1（新校舎棟）	081	A-080	建具キープラン（法チェック図）３（３階）				185	S-19	露出形柱脚工法設計・施工標準図(参考)(1)
020	A-019	仕上表2（付属棟、既存改修）	082	A-081	建具キープラン（法チェック図）４（４階）				186	S-20	露出形柱脚工法設計・施工標準図(参考)(2)
021	A-020	新校舎棟平面図　１（１階）	083	A-082	建具キープラン（法チェック図）５（５階）		【昇降機】		187	S-21	露出形柱脚工法設計・施工標準図(参考)(3)
022	A-021	新校舎棟平面図　２（２階）	084	A-083	建具キープラン（法チェック図）６（屋上）	140	EL-001	昇降機設備図　１	188	S-22	機械式定着板　標準図（参考）
023	A-022	新校舎棟平面図　３（３階）	085	A-084	西棟改修1階平面図(法チェック図)１階	141	EL-002	昇降機設備図　２	189	S-23	土質柱状図（１）
024	A-023	新校舎棟平面図　４（４階）	086	A-085	西棟改修２階平面図(法チェック図)2階	142	EL-003	昇降機設備図　３	190	S-24	土質柱状図（２）
025	A-024	新校舎棟平面図　５（５階、屋上、塔屋）	087	A-086	西棟改修３階平面図(法チェック図)3階	143	EL-004	昇降機設備図　４	191	S-25	土質柱状図（３）
026	A-025	新校舎棟及び接続既存部　立面図１	088	A-087	西棟改修４階平面図(法チェック図)4階・屋上	144	EL-005	昇降機設備図　５	192	S-26	1階ピット伏図・杭伏図
027	A-026	新校舎棟及び接続既存部　立面図２	089	A-088	新渡り廊下(立面図、平面詳細、屋根伏図、矩形図)	145	EL-006	昇降機設備図　６	193	S-27	1階床・2階ピット伏図・2階床伏図
028	A-027	新校舎棟断面図	090	A-089	建具表　１	146	EL-007	昇降機設備図　７	194	S-28	3階床伏図・4階床伏図
029	A-028	新校舎棟矩計図　１	091	A-090	建具表　２	147	EL-008	昇降機設備図　８	195	S-29	5階床伏図・R階床伏図・PHR階床伏図
030	A-029	新校舎棟矩計図　２	092	A-091	建具表　３	148	EL-009	昇降機設備図　９	196	S-30	軸組図（1）
031	A-030	新校舎棟矩計図　３	093	A-092	家具キープラン　１（２，３階）				197	S-31	軸組図（2）
032	A-031	新校舎棟矩計図　４	094	A-093	家具キープラン　２（４，５階）				198	S-32	軸組図（3）
033	A-032	階段Ａ詳細図	095	A-094	家具詳細図　１（仕様書）	149	参仮-01	工事工程表　　（参考図）	199	S-33	軸組図（4）
034	A-033	階段Ｂ詳細図	096	A-095	家具詳細図　２	150	参仮-02	仮設工事STEP １・２（参考図）	200	S-34	基礎リスト（1）
035	A-034	階段Ｃ詳細図	097	A-096	家具詳細図　３	151	参仮-03	仮設工事STEP ３・４（参考図）	201	S-35	基礎リスト（2）
036	A-035	平面詳細図　１（1階）	098	A-097	家具詳細図　４	152	参仮-04	仮設工事STEP ５・６（参考図）	202	S-36	基礎リスト（3）
037	A-036	平面詳細図　２（2階）	099	A-098	家具詳細図　５	153	参仮-05	仮設工事STEP ７・８（参考図）	203	S-37	基礎リスト（4）
038	A-037	平面詳細図　３（2，3階）	100	A-099	サインキープラン１（１，２階）	154	参仮-06	仮設工事STEP ９・１０(参考図)	204	S-38	基礎梁リスト（1）
039	A-038	平面詳細図　４（2，3階）	101	A-100	サインキープラン２（３，４階）	155	参仮-07	渡り廊下撤去復旧、仮設図(参考図)	205	S-39	基礎梁リスト（2）
040	A-039	平面詳細図　５（3階）	102	A-101	サインキープラン３（５，屋上）	156	参仮-08	仮設工事詳細図　　（参考図）	206	S-40	柱リスト
041	A-040	平面詳細図　６（4階-1）	103	A-102	サイン詳細図　１	157	参仮-09	土留め計画図（1）（参考図）	207	S-40A	柱芯線図
042	A-041	平面詳細図　７（4階-2）	104	A-103	サイン詳細図　２	158	参仮-10	土留め計画図（2）（参考図）	208	S-41	大梁リスト（1）
043	A-042	平面詳細図　８（4，5階）	105	A-104	基準詳細図　１	159	参仮-11	土留め計画図（3）（参考図）	209	S-42	大梁リスト（2）
044	A-043	平面詳細図　９（5階-1）	106	A-105	基準詳細図　２	160	参仮-12	土留め計画図（4）（参考図）	210	S-43	小梁、壁、スラブ、鉄骨部材リスト
045	A-044	平面詳細図　10（5階-2）	107	A-106	部分詳細図　１（屋上防水、外部詳細図）	161	参仮-13	土留め計画図（5）（参考図）	211	S-44	架構配筋詳細図
046	A-045	展開図　１	108	A-107	部分詳細図　２（押出成形セメント板、建具）	162	参仮-14	土留め計画図（6）（参考図）	212	S-45	東空中歩廊　鉄骨架構詳細図
047	A-046	展開図　２	109	A-108	部分詳細図　３（EXP.J詳細図）	163	参仮-15	土留め計画図（7）（参考図）	213	S-46	雑詳細図（1）
048	A-047	展開図　３	110	A-109	部分詳細図　４（EXP.J詳細図）	164	参仮-16	土留め計画図（8）（参考図）	214	S-47	雑詳細図（2）
049	A-048	展開図　４	111	A-110	部分詳細図　５（内部建具詳細図）	165	参仮-17	土留め計画図（9）（参考図）	215	S-48	西空中歩廊　各階伏図　軸組図
050	A-049	展開図　５	112	A-111	部分詳細図　６（トイレ廻り）	166	参仮-18	土留め計画図（10）（参考図）	216	S-49	西空中歩廊　各部材リスト
051	A-050	展開図　６	113	A-112	部分詳細図　７（水廻り、造作）				217	S-50	西空中歩廊　鉄骨架構詳細図
052	A-051	展開図　７	114	A-113	部分詳細図　８（金物）				218	S-51	階段棟　各階伏図 軸組図
053	A-052	展開図　８	115	A-114	部分詳細図　９(救助袋)				219	S-52	階段棟　各部材リスト
054	A-053	ＷＣ廻り平面図詳細、展開図１	116	A-115	外構平面図				220	S-53	階段棟　鉄骨架構詳細図
055	A-054	ＷＣ廻り平面図詳細、展開図２	117	A-116	排水計画図				221	S-54	新渡り廊下　床伏図、軸組図、部材リスト
056	A-055	ＷＣ廻り平面図詳細、展開図３	118	A-117	敷地全体植栽図				222	S-101	スリーブ図（1）
057	A-056	天井伏図　１（1，2階）	119	A-118	植栽計画図				223	S-102	スリーブ図（2）
058	A-057	天井伏図　２（3階）	120	A-119	外構詳細図　１				224	S-103	スリーブ図（3）
059	A-058	天井伏図　３（4階）	121	A-120	外構詳細図　２						
060	A-059	天井伏図　４（5階、塔屋）	122	A-121	外構詳細図　３						
061	A-060	西空中歩廊詳細図	123	A-122	外構詳細図　４						
062	A-061	東空中歩廊詳細図	124	A-123	外構詳細図　５						

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　儁弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	図面リスト	縮尺 ー	A-000
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(001/224)

建築、電気、空調、給排水設備　標準施工区分表

内　　容		建築	電気	機械		昇降機	別途	備　　考
				空調	給排水			
1．仮設								
（1）	仮囲い	○						
（2）	共通足場・桟橋等の架払い	○						外部足場等、高天井足場
（3）	作業足場	○	○	○	○			各工事で使用するもの
（4）	請負業者事務所、下小屋、材料置場等	○	○	○	○			
（5）	工事用の給排水及び電力の基本料金、使用料等	○	○	○	○			
（6）	残土、材料の場外処分	○	○	○	○			
（7）	総合図、竣工図作成	○	○	○	○			
（8）	工事上の各種申請届出	○	○	○	○			消防法等検査手続き　等　諸費用、省エネ計算の再計算費用を含む。
（9）	工事施工に伴う近隣電波障害調査・対策	○						
2．各水槽、ピット及び連通管、他								
（1）	コンクリート造の各種水槽釜場	○						含むグレーチング、タラップ等
（2）	コンクリート水槽用鉄製蓋及び化粧蓋	○						
（3）	床下配管ピットの人通口、通気口、ピット排水口、点検口	○						含む開口補強
（4）	コンクリート水槽用の防水貫通配管の、仕舞処理				○			塗膜防水（含むポリマーセメント防水）、アスファルト防水等メインブレン防水の場合
3．スリーブ箱入れ及び関口部補強								
（1）	各種配管スリーブとその墨出し、及び空隙充填	○	○	○	○			床・梁の区画貫通部処理、補強は各工事
（2）	ダクト及びガラリ等の開口箱入れ	○		○				外壁ガラリは建築工事
（3）	上記（1）、（2）開口部の補強	○						含む床配管貫通部の補強（墨出しは各工事）
（4）	躯体貫通部分の防水処理	○	○	○	○			
（5）	各種穴あけ補修後の仕上	○						各種穴あけ補修は各工事
（6）	外壁を貫通する配管等の貫通口と防水処理	○	○	○	○			墨出し、開口、防水共、各工事
4．ガラリ等								
（1）	外部ガラリ、内部ガラリ	○						含むドアガラリ
（2）	ウェザーカバー、ベンドキャップ、外壁取付換気口		○	○				
（3）	防虫網	○			○			ガラリ付きの場合建築工事
5．内装材切込及び下地補強								
（1）	補強を要しない天井、壁切込		○	○	○			コンセント等小口径開口
（2）	開口部位置墨出し及び開口寸法	○	○	○	○			
（3）	スイッチ、コンセント等小開口の切込	○	○	○	○			
（4）	設備機器、器具、配管、配線、ダクト用のボルト・インサート		○	○	○			含む、あと施工アンカー
（5）	壁・天井取付機器の下地補強	○	○					盤類の取付け補強は電気
（6）	軽鉄天井 壁下地 開口部の隅出し		○	○	○			
（7）	軽鉄天井 壁下地 ボードの切込み及び開口補強	○						含む、あと施工アンカー、天井用吊りボルト
（8）	0Aフロア	○						含む、ケーブル引出し金物
6．改め口及び点検口								
（1）	床・壁・天井点検口	○						すみ出しは各工事
（2）	各シャフト他の点検口、点検扉	○						含むエレベーターシャフトの感知器用点検口　位置確認は各工事
（3）	壁付ボード点検口	○						位置確認は各工事
7．排水金物等								
（1）	排水吊り桝、床排水ユニット	○						ユニット付属トラップを含む　水栓、給排水接続は給排水設備工事
（2）	地流し	○			○			排水ユニットはトラップ、金物を含み建築工事　水栓、排水金物、給排水接続は給排水設備工事
（3）	洗濯パン	○						付属トラップを含む　水栓、給排水接続は給排水設備工事
（4）	排水吊り桝、床排水ユニットのグレーチング、すのこ	○						
8．雨水、雑排水、汚水排水								
（1）	ルーフドレイン、バルコニードレン	○						
（2）	内樋、建物から屋外第一桝までの雨樋	○						
（3）	２階バルコニー下に横引雨水配管				○			
（4）	３階ポーチの雨水桝以降の横引雨水配管				○			
（5）	雨水第一桝	○						
（6）	外構雨水排水工事（雨水第一桝以降ポンプアップ槽までの配管）	○						
（7）	側溝及びこれに接続する溜桝・浸透桝　浸透トレンチ	○						
（8）	上記に接続する配管（ポンプアップ槽までの配管）	○						
（9）	屋内・屋外汚水・雑排水工事				○			
（10）	既存外構雨水の排水桝から雨水貯留槽までの配管				○			
（11）	グリーストラップ				○			**通気管共**

内　　容		建築	電気	機械		昇降機	別途	備　　考
				空調	給排水			
9．防災関係								
（1）	ガス漏れ警報器						○	
（2）	防火戸・防火シャッターの配管配線、煙感知器		○					レリーズは建築工事
（3）	壁掛け・自立消火器ボックス	○	○				※	消火器本体は別途　配置検討、行政確認は建築工事、受変電設備用のみ消火器とも電気設備
（4）	消火器ボックス（埋込タイプ）	○					※	消火器本体は別途、消火器BOXは建築工事
（5）	誘導標識		○					避難器具誘導は建築工事
（6）	乾式耐火間仕切りの開口部の耐火処理	○	○	○	○			
10．各種基礎								
（1）	各種機器据付用コンクリート基礎	○						建築図に記載したもの　アンカーボルト設置、防振装置は各工事
（2）	各種水槽類・キュービクル等のコンクリート基礎	○						建築図に記載したもの　アンカーボルト設置、防振装置は各工事
（3）	上記（1）、（2）に設置する鉄骨架台、点検歩廊等	○						建築図に記載したもの（フェンス含む）　アンカーボルト設置、防振装置は各工事
11．動力、制御								
（1）	一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		○					
（2）	パッケージエアコン（その他ファン含む）			○				
-1	室内機・室内機一次側電源送り、アース配線		○					
-2	室外機～室内機～室内機連絡配線			○				
-3	室内機とリモコンの連絡配管配線及びリモコン取り付け（スイッチ）			○				
（3）	全熱交換器とスイッチの連絡配線及びスイッチ取り付け			○				
（4）	換気扇とスイッチの連絡配線及びスイッチ取り付け		○					
（5）	給湯器とリモコンの連絡配線及びリモコン取り付け				○			
（6）	電動シャッター・自動ドアの二次側配線及び操作盤・押釦取り付け	○						シャッター降下中の警報関連を含む　電源送りは電気設備工事
12．各種機器等								
（1）	洗面カウンター（含む穴あけ加工）	○						洗面器具、配管、水栓、トラップは給排水衛生設備工事
（2）	手洗い台	○						排水ユニット、トラップを含む　水栓、給排水接続は給排水衛生設備工事
（3）	洗面化粧台	○						洗面器具、配管、水栓、トラップ、専用鏡付き家具を含む
（4）	流し台、キッチン類（含むミニキッチン）	○						排水ユニット、トラップを含む　水栓、給排水接続は給排水衛生設備工事
（5）	流し台、キッチン類の棚下灯		○					
（6）	キッチン類のレンジフード				○			手元スイッチ共　電源供給は電気設備工事
（7）	鏡				○			既成品鏡は給排水衛生設備工事　建築設計図に明記された物は建築工事
（8）	衛生器具（洗面器、手洗い器、便器、オストメイト等）、紙巻器				○			
（9）	トイレ内ほかの手すり（バリアフリートイレ内共）	○						
（10）	ベビーチェア、折りたたみベット等	○						
（11）	ガス湯沸器、電気湯沸器				○			一次側電源送りは電気設備工事
（12）	シャワー							シャワー用フック、バー金物等明記されたものを含む
（13）	コンセントＢＯＸの穴あけ		○					
（14）	電気錠・通電金物	○						**建具加工共**
（15）	電気錠制御盤・操作盤	○						
（16）	インターホン及び下地		○					昇降機設備用を除く（事務室迄の配管配線は電気設備工事）
（17）	カーテンボックス、ブラインドボックス	○						カーテンレール、カーテン、暗幕、ブラインド共本工事
（18）	医療用カーテン、シャワーカーテン（レール共）	○						保健室設置のもの
（19）	備品機器の搬入据付後の配管接続						○	
13．昇降機								含む自動火災報知機用点検扉
（1）	昇降路その他建物構造に関する一切の工事	○						含む自動火災報知機用点検扉
（2）	ＲＣ造の梁、壁、床貫通スリーブ工事	○						
（3）	押しボタン等の穴あけ工事	○						押しボタン等の開口の防火区画処理は昇降機工事
（4）	各階出入口の三方枠					○		
（5）	乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事							
（6）	昇降路頂部にエレベーター機器揚重用フック、鉄骨設置工事	○						
（7）	ピット内防水工事	○						
（8）	昇降路工事用足場組立工事	○						
（9）	動力、照明電源および接地線のＥＶ制御盤への一次側接続工事		○					（繋ぎ込み工事含む）
（10）	昇降路頂部の煙感知器設備工事		○					外部より点検可能な戸は建築工事
14．その他								
（1）	近隣建物の家屋調査	○						
（2）	各種工事保険	○	○	○	○			
（3）	残土排出のための土質試験	○						
（4）	アスベスト含有材の調査・撤去、処分	○	※	※	※			含有なし　※養生を含む。電気・機械は事前調査を行い、調査結果による

※この表は、設計図等で示される一般的工事範囲を補足するもので、関連工事とのとりあい部分についてその施工分担を示すものである。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	工事区分表	縮尺	A-001
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(002/224)

工事名称： 船橋市立海神中学校校舎建替工事

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所　千葉県船橋市海神４丁目２５６番１ほか
2. 敷地面積　26,867.51㎡（新敷地面積）
3. 主要用途　中学校
4. 工期　令和１０年 ６月３０日 まで
（工期内に完成検査を行い、引渡しを完了すること。）
5. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築面積(m2)	延べ面積(m2)	備考
新校舎棟	RC造	5	1464.63	5731.54	S造空中歩廊を含む
階段棟	S造	4	55.39	221.56	
新渡り廊下	S造	1	27.96		

6. 工作物、外構等　既存改修（増築棟非接続部分）、外構工事一式

Ⅱ. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書による。
「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）

2. 特記仕様

1) 項目は、●のついたものを適用する。
2) 特記事項は、●印及び●印の付いたものを適用する。（⊗及び○は適用しない。）
3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) G印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12 年法律第100 号)」に基づく「環境物品等の調達に関する基本方針（令和7年1月29日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。
5) 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和3年版）一般社団法人　公共建築協会」による。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	● 1. 適用基準等	● 建築工事標準詳細図　（令和4年版） ● 営繕工事写真撮影要領　（令和5年版） ● 建築工事安全施工技術指針　（平成27年） ● 建設工事公衆災害防止対策要綱　（令和元年） ● 千葉県福祉のまちづくり条例　施設整備マニュアル　（平成30年） ● 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　（令和4年度版） ● 建築物解体工事共通仕様書　（令和4年版） ○ 公共建築木造工事標準仕様書　（令和4年版） ● デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（国営建技第14号　令和5年3月1日） ○ （　　）
	● 2. 工事実績情報の登録 (1.1.4)	本工事の最終請負代金(消費税込)が、500万以上となる場合には、工事実績情報システム（CORINS）に、基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター内に所定の手続きにより登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。 1)　工事受注時　　契約締結後10日以内 2)　登録内容の変更時　　契約事項の確定日から10日以内 3)　工事完成時　　工事完成後10日以内
	● 3. 電気保安技術者 (1.3.3)	○ 自家用電気工作物、　● 一般電気工作物 ただし、自家用電気工作物の場合は標準仕様書1.3.3(1)～(3)によるものとする。
	● 4. 保険	受注者は、本工事着手前に、工事目的物や工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険（建設工事保険・土木工事保険・組立保険・火災保険等）、工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険（請負業者賠償責任保険等）に必ず加入しなければならない。なお、第三者への保険については、対人賠償はひとりにつき２億円、一事故につき５億円、対物賠償は一事故につき３億円を最低填補限度額とすること。また、建設機械器具に生じる損害を填補する保険（動産総合保険・機械保険等）、運送中の工事材料や建設機械器具等に生じる損害を填補する保険（貨物海上保険・運送保険等）工事作業員の身体傷害を填補する保険（法定外労災補償・労働災害総合保険・傷害保険等）等には、必要に応じ加入すること。
	● 5. 設計GL	■ 図示、○　設計GL = 現状GL
	● 6. 施工条件 (1.3.5)	資材置場及び駐車場所 ● 敷地内　○ 敷地外（ ○ 無償　○ 有償） （千葉県船橋市＿＿＿＿番＿＿＿＿） ● 週休２日制モニタリング工事 本工事は、週休２日制モニタリング工事である。受注者は、原則、週休２日で施工すること。また、工事の実施にあたっては、「週休２日制モニタリング工事実施マニュアル（試行）（営繕工事）」に基づき行うこと。 ● 猛暑による作業不能日数 本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。 ⅰ）作業不能日数：２３日間 ⅱ）上記ⅰ）は、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去５年分（令和元 年～令和５年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（３日）を除く。）において、８時から１７時の間にWBGT値が３１以上となった時間を算定し、日数に換算したもの５年分を平均したもの。 ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGT値が３１以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））がⅰ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
	● 7. 環境への配慮 (1.4.1)	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の 1）から 4）を満たすものとする。 1)　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 2)　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3)　接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 4)　1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の 1）又は 2）に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3）又は4）に該当する材料を指す。 1)　建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2)　建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3)　建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4)　建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	● 8. 材料の品質等 (1.4.2)	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水材、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、錆鉄製ふた
	● 9. 技能士 (1.5.2)	適用工事種別 ／ 技能検定作業 ● 仮設工事 ／ ● とび作業 ● 鉄筋工事 ／ ● 鉄筋組立作業 ● コンクリート工事 ／ ● 型枠施工　● コンクリート圧送工事作業 ● 鉄骨工事 ／ ○ 構造物鉄工事作業　○ とび作業 ● コンクリートブロック、ALCパネル、押出成形セメント板工事 ／ ○ コンクリートブロック工事作業 ● ALCパネル工事作業　● 押出成形セメント板 ● 防水工事 ／ ● アスファルト防水工事作業 ● ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ○ FRP防水工事作業　○ シーリング防水工事作業 ○ 石工事 ／ ○ 石張り作業 ● タイル工事 ／ ● タイル張り作業 ○ 木工事 ／ ○ 木工事作業 ● 屋根及びとい工事 ／ ● 内外装板金作業 ● 金属工事 ／ ● 鋼製下地工事作業　○ 内外装板金作業 ● 左官工事 ／ ○ 左官作業　● 外装工事 ● 建具工事 ／ ● ビル用サッシ施工作業　● ガラス工事作業 ● 自動ドア施工作業 ○ カーテンウォール工事 ／ ○ 金属製カーテンウォール工事作業 ○ ビル用サッシ施工作業　○ ガラス工事作業 ● 塗装工事 ／ ● 建築塗装作業 ● 内装工事 ／ ○ カーペット系床仕上作業 ● プラスチック系床仕上げ工事作業 ● ボード仕上げ工事作業　○ 壁装作業 ○ 排水工事 ／ ● 建築配管作業 ○ 舗装工事 ／ ○ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ○ 加熱ペイントハンドマーカー工事作業 ● 植栽工事 ／ ○ 造園工事作業
	● 10. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	・施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。 ⊠ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ○パラジクロロベンゼン(用途が学校の場合、上記項目に追加する。) 測定はパッシブ型採集機器により行う。 着工前の測定　○ 行わない、● 行う 測定対象室　○図示、　○（　　） 測定箇所数　○図示、　●（24時間測定　延べ７か所　　） 測定数値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書を提出すること。
	● 11. ワンデーレスポンス	船橋市ワンデーレスポンス実施マニュアルに基づき実施するものとする。
	● 12. 材料試験	コンクリート圧縮試験及び鉄筋の引張等試験については、公益財団法人千葉県建設技術センター等の試験機関で実施すること。
	● 13. 発生材の処理 (1.3.11)	別記-1による。
	● 14. 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 施工範囲は別記-2（工事区分表）による。
	● 15. 安全対策	・受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 ・発注者が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。
	● 16. 過積載による違法運行の防止	工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1) 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。
	● 17. 環境対策	・受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と、円滑な工事施工を図ること。 ・建設機械は、排ガス対策車及び、低騒音型を使用すること。 ・特定粉じん排出等作業（法定外建築物・作業を含む）は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施行する。 ・本工事で使用する軽油については、ＪＩＳ規格軽油を使用すること。 ・受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。 ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の細包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。
	● 18. 工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	● 19. 中間検査 (1.6.2)	●本工事は中間技術検査の対象である。 中間技術検査は、船橋市工事技術検査要綱に基づき実施する。 ●中間検査を実施する　（回数：２回） 実施時期：契約締結後に決定する 中間検査の範囲　同上
	● 20　社内検査	受注者は、監督職員と協議のうえ、次の各号により社内検査を行なわなければならない。 （１）社内検査に従事する者（以下「社内検査員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査の事前に社内検査を行い、検査時にその結果を所定の様式により提出しなければならない。 （２）社内検査員は、当該工事に従事していない社内の者とする。 （３）社内検査は、契約図書及び関係図書に基づき、安全、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。 （４）社内検査員の資格は５年以上の現場経験を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。
	● 21. 創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	● 22. 設計図CADデータ	・設計図CADデータ　：■　貸与する、○　貸与しない 貸与する設計図CADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。
	● 23. 完成図等 (1.8.1～3)	完成図一式を「船橋市営繕工事電子納品の手引き」により提出する。
	● 24. 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	● 25. 提出書類	受注者は、提出書類を船橋市請負工事提出書類様式集に基づいて、監督職員に提出しなければならない。
	● 26. 施設点検	本工事完成（「工事目的物の引渡し」を行った日）後、1年目及び2年目に関係者（建築課、工事監理事務所、施設管理者、受注者）による施設点検（不具合の有無を確認し、その処理について協議）を行うので、当課からの依頼により施設点検に立会い協力するものとする。
2 仮設工事	● 1. 監督職員事務所 (2.3.1)	・監督職員事務所の　規模(㎡) ○ 10程度、○ 20程度、● 35程度、○ 65程度、○ 100程度、○ （　）程度 ・備品等の種類及び数量 ● 書机、● 図面架、○ 見本棚、■ 机及びいす、● 更衣ロッカー（　）、 ○ ゴム長靴（　）、● 雨合羽（　）、● ヘルメット（　）、● 筆落制止用器具（　） ■ 検査用機器
	● 2. 工事用水	構内既存の施設　⊠ 利用できない、● 利用できる（⊠ 有償、● 無償）
	● 3. 工事用電力	構内既存の施設　⊠ 利用できない、● 利用できる（⊠ 有償、● 無償）
	● 4. 仮囲い等	仮囲い　■ 成型鋼板（H= 3 m、L= m） ● ガードフェンス（H= 1.8 m、L= m） 出入口　○ シートゲート　（W= m、H= m） ● キャスターゲート（W= m、H= m） ○ （　　）
	● 5. 仮設通路	● 鋼板敷き（長さ6.0m、幅1.5m、厚さ22mm） ○ （　　）
	● 6. 交通誘導員	配置人数　：（１８９２）人程度 配置期間　：（　　） 配置場所　：（　　）
	● 7. 仮設足場 (2.2.4)	枠組足場の設置に当たっては、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省　平成21年 4月）により、手すり先行工法の種類は、別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 手すり先送り方式は不可とする。 また、別紙2「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とすること。 なお、別契約の関係業者がある場合は、当該業者に無償で使用させること。
3 土工事	● 1. 埋め戻し及び盛り土 (3.2.3)(表3.2.1)	・材料及び工法　： ■　標準仕様書表3.2.1による ● A 種　適用場所（　　） ■ B 種　適用場所（　　） ○ C 種　適用場所（　　）、土質（　　）、受渡場所（　　） ○ D 種　適用場所（　　） ○ 材料（　　）、工法（　　）
	● 2. 建設発生土の処理 (3.2.5)	○ 構内指示の場所に堆積、○　構内指示の場所に敷き均し、○ （　　） ● 構外搬出適切処理（別記-1による）
	● 3. 山留めの撤去 (3.3.3)	● 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる ● 鋼矢板等の抜き跡の処理　● 直ちに砂で充填する
4 5 7 6	●2 溶接金網	「4　地業工事」、「5　鉄筋工事」、「6　コンクリート工事」、「7　鉄骨工事」は、下記記載内容以外は構造特記仕様書による。 鉄線の形状等 (5.2.2) 種類 ／ 種類の記号 ／ 網目の形状，寸法，鉄線の径(mm) ／ 使用部位 ●溶接金網 ／ ＷＦＰ ／ 図示 ／ 図示 ・鉄筋格子 ／ ／ ／ 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4) 種別 ／ 適用箇所 ●A種 ／ ・図示 ●B種 ／ ・図示 ・C種 ／ ・図示
	●6 コンクリートの仕上り	コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5) 種別 ／ 適用箇所 ●a種 ／ ・打放し、塗装仕上げ部 ●b種 ／ ・非見え掛部 ・c種 ／ ・図示
	● 7 打増し厚さ（打放し、仕上塗材塗装仕上げ部）	打増し厚さ ●外部に面する部分　●内部に面する部分 (6.8.1) ● 20mm　● 10mm
	● 8 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ■標準仕様書6.8.2(1)(ｱ)、(ｲ)による ・合板（厚さ※12mm　・　　）G ●断熱材の兼用した型枠　使用箇所（配管ピット上部スラブ下） (6.8.2)

章	項目	特記事項
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	○ 1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2,3,5,7,8)	・ブロックの種類　： 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ モジュール呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 適用箇所 ／ 備考 ○ 空洞ブロックC ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ・モルタルの調合（容積比）： ⊠ 標準仕様書8.2.1による　○ セメント（　　）：砂（　　） ・各部の配筋　：⊠ 図示、○ （　　） ・目地仕上げ　：○ 押し目地仕上げ、 ○ 化粧目地仕上げ ・まぐさを受ける開口部両側のブロックにモルタル又はコンクリートを充填する範囲　：⊠ 図示、○ （　　）
	○ 2. コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2～4)	・ブロックの種類　： 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ モジュール呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 表8.3.1以外の適用箇所 ／ 備考 ●空洞ブロックC(16) ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ○ 型枠状ブロック 20 ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ○ ／ ／ ／ ／ ○ 無、○有 ／ ／ ／ ・モルタルの調合（容積比）： ⊠ 標準仕様書8.2.1による、 ○ セメント（　　）：砂（　　） ・塀の厚さ(mm) 壁の高さが2m以下　⊠120、○ （　　） 壁の高さが2m超え　⊠150、○ （　　） ・壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　：⊠ 図示、○ （　　） ・各部の配筋　：⊠　図示、 ○（　　）
	● 3. ALCパネル (8.4.2～5)	・ALCパネルの区分等　： 区分 ／ 単位荷重(N/㎡) 正荷重 ／ 負荷重 ／ 厚さ(mm) ／ 幅及び長さ ／ 耐火性能(時間) ／ 構法の種別 ● 外壁用 ／ ● 一般 ○ コーナー ／ ● 平 ○ 意匠 ／ ／ ／ １００ ／ 図示による ／ ○ なし ● 1 ／ ○ A種 ● B種 ● 間仕切壁用 ／ ● 一般 ○ コーナー ／ ● 平 ○ 意匠 ／ － ／ － ／ １００ ／ 図示による ／ ○ なし ● 1 ／ ○ D種 ● E種 ○ 屋根用 ／ － ／ － ／ ／ ／ ／ 図示による ／ 0.5 ／ ⊠ F種 ○ 床用 ／ － ／ － ／ ／ ／ ／ 図示による ／ ○ 1 ○ 2 ・パネルの相互の接合部に充填する耐火目地材　：○ （　　） ・外壁、屋根パネルの構法における耐風圧性能　： 建築基準法に基づき定める風圧力の　● 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の耐風圧性能 ・外壁パネル、間仕切りパネルにおける耐震性能　： 地震力に対する安全性 設計用震度 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用水平震度（KH） ● 1.0 ○ 設計用鉛直震度（KV） ⊠ 0.5 ○ 帳壁の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 ● 1/100 ○ 1/200 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと ・パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合：⊠ 図示、○ （　　） ・パネル相互の目地幅（mm）：●長辺（ １０ mm）、■ 短辺（ １５ mm） ・出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)：● 15mm程度、○ （　　） ・耐火構造以外の目地及び隙間の処理　：⊠ パネル製造所の仕様、○ （　　） やむを得ず穴き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。 孔あけ及び欠き込みの大きさ ／ 切断後のパネルの残り部分の幅 パネルに孔あけを設ける場合 ／ 短辺 ／ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 ／ 150mm以下 長辺 ／ 500mm以下 ／ 300mm以下 パネルに欠き込みを設ける場合 ／ 短辺 ／ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 ／ 300mm以下 長辺 ／ 500mm以下 ／ 300mm以下
	● 4. 押出成形セメント板（ECP）	・ECPの種類等　： パネルの種類 ／ 形状 ／ 厚さ(mm) ／ 幅(mm) ／ 工法の種別 ／ 備考 ● 外壁パネル ／ ● F ／ ○ 50、● 60、○ ／ ● 600 ○ ／ ● A種 ○ B種 ／ ○ D ／ ○ 50、○ 60 ／ ／ ／ ／ ○ T ／ 60 ／ ／ ／ ／ ○ 間仕切壁パネル ／ ○ F ／ ○ 50、○ 60、○ ／ ⊠ 600 ○ ／ ○ B種 ○ C種 ／ ○ D ／ ○ 50、○ 60 ／ ／ ／ ／ ○ T ／ 60 ／ ／ ／ ／ 形状　F：フラットパネル、D：デザインパネル、T：タイルベースパネル ・外壁パネルの工法における耐風圧性能　： 建築基準法に基づき定める風圧力の　○ 1、● 1.15、○ 1.3）倍の耐風圧性能 ・外壁パネル、間仕切りパネルにおける耐震性能　： 地震力に対する安全性 設計用震度 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用水平震度（KH） ● 1.0 ● 1.25 設計用鉛直震度（KV） ● 0.5 ○ 帳壁の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ／ 帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 ● 1/100 ○ 1/200 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	
設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 1	縮尺	A-002
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(003/224)

章	項目	特記事項
9 防水工事	● 1. アスファルト防水	(9.2.2～5)(表 9.2.3～9) 屋根保護防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 断熱材 [G] / 絶縁用シート ○ A-1 / ○ A-2 / ○ A-3 / ○ B-1 / ● B-2 増築建物ﾌﾗｽ他 / ○ A1-1 / ○ A1-2 / ○ A1-3 / ○ B1-1 / ● B1-2 増築建物屋上 / JIS A 9521に基づく押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) 厚さ１００mm / ⊠ ポリスチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 ○ / ● フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ○ ・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ： ● 標準仕様書表9.2.3から表9.2.4による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ⊠R種 厚さ ○(　　) mm以上 ・断熱材の種類 ： ● 押出法ポリスチレンフォーム断熱材の3種bA（スキン層付き） ● JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ⊠R種 厚さ ●(　100　) mm以上 ・立上り部への断熱材及び絶縁用シート ： ● 設置しない、○ 設置する ・平場の保護コンクリートの厚さ ： こて仕上げ ● 水下 80mm以上、○(　　) 床タイル張り ● 水下 60mm以上、○(　　) ・立上り部の保護方法 ： ● 乾式保護材（品質・性能及び試験方法は、建築材料等品質性能表による） 窯業系パネルⅠ類 厚さ(　　) mm、幅(　　) mm ○ れんが押え（ ⊠ JIS R 1250、○　　） ○ コンクリート押え ○ モルタル押え（屋内） 屋根露出防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 断熱材 [G] / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 高日射反射率防水 [G] ○ D-1 / ○ D-2 / ○ DI-1 / ○ DI-2 / 標準仕様書9.2.2(9)ｳ 種類： 厚(mm)： / ⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ○ / ⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ○ / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する ・屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ●図示 断熱材の種類 ウレタンフォーム断熱材の2種1号又は2号 厚さ ●(　25　) mm以上 ・改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ： ● 標準仕様書表9.2.8による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ⊠R種 厚さ ○(　　) mm以上 ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ： ⊠ 標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による ○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ○(　　) 材料構成による区分 ⊠R種 厚さ ○(　　) mm以上 ・絶縁断熱工法のルーフドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ： ⊠ 図示、○(　　) ・絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 ： 種類 ⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の指定、○(　　) 設置数量 ⊠ アスファルトルーフィング類の製造所の指定、○(　　個) 屋内防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 ○ E-1 / ○ E-2 ・保護層 ：○ 設ける（ ⊠ 図示、○　　）、○ 設けない(ﾛｯｸ 3.2.3)(表 9.3.1～3) ・E-1の工程3を行う部位 ： ⊠ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ○ (　　) ・防水層の下地の立上り ： ⊠ コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 ○ (　　) ・立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ： ⊠ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度、○(　　) ・防水層の下地のモルタル塗り ： ○ 適用する（施工範囲：⊠ 図示、○　　）、○ 適用しない ・屋上排水溝 ：⊠ 図示、○(　　)
	○ 2. 改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 断熱材 [G] / 防湿用シート / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 高日射反射率防水 [G] ○ AS-T1 / ○ AS-T2 / ○ AS-T3 / ○ AS-T4 / ○ AS-J1 / ○ ASI-T1 / ○ ASI-J1 / 標準仕様書9.3.2(3) 種類： 厚(mm)： / ○ 設ける 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ○ 設けない / ⊠ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ○ / ⊠ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ○ / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する
9 防水工事	○ 3. 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9.4.2～4)(表 9.4.1～3) 屋外防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 可塑剤移行防止シートの材質 / 断熱材 [G] / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 高日射反射率防水 [G] ○ S-F1 / ○ S-F2 / ○ S-M1 / ○ S-M2 / ○ SI-F1 / ○ SI-F2 / ○ SI-M1 / ○ SI-M2 / 標準仕様書9.4.2(3)ｲb 種類： 厚(mm)：25 / ⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○ / ⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○ / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する / ○ 適用する ・SI-F1、SI-F2、SI-M1及びSI-M2の仕様 ： ● 非歩行仕様、○ 軽歩行仕様 ・SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ： ○ 設置する、 ○ 設置しない 屋内防水 ・防水層の種別 ： 種別 / 施工箇所 / 保護層 平場のモルタル塗り厚 / 保護層 立上り部の保護モルタル塗り厚さ ○ S-C1 / mm / ⊠ 7mm以下、○ 平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 ： 目地割 ⊠ 目地割2㎡程度、最大目地間隔3mm程度、○ (　　) 目地の種類 ⊠ 押し目地、○(　　) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ： ● 標準仕様書表9.4.1、表9.4.2、及び表9.4.3による ○ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類(　　)、厚さ(　　mm) 固定金具の材質及び寸法形状 ： ● 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼鈑及びそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ○ (　　) 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ： ● ルーフィングシートの製造所の仕様 ○ 種類(　　)、設置装置(　　個) 接着工法の場合のPCコンクリート部材下地の目地処理 ： ○ 行う（ ○ 図示、○　　）、 ○ 行わない PCコンクリート下地の入隅部の増張り（種別 S-F1、S-F1の場合） ： ○ 行う（ ○ 図示、○　　）、 ○ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け ： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
	● 4. 塗膜防水	・防水層の種別 ：(9.5.3)(表 9.5.1、2) 種別 / 施工箇所 / 仕上塗料 種類 / 仕上塗料 使用量 / 保護層 / 高日射反射率防水 [G] ○ X-1 / ● X-2 / ○ Y-1 / ○ Y-2 / ● 既調合ｳﾚﾀﾝ塗布 / ○ 主材料の製造所の仕様 ○ / ● 主材料の製造所の仕様 / ● 図示 / ⊠ 地下外壁防水 ○ / ⊠ 屋内防水 ○ / ● 空中歩廊屋根 / ⊠ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ○ / ● 主材料の製造所の仕様 / ● 製造所の指定による / ⊠ 適用する ○ 適用しない / ○ 適用する / ○ 適用する / ● 製造所の指定による ・ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 ： 種類 ⊠ 主材料の製造所の指定、○(　　) 設置数量 ⊠ 主材料の製造所の指定、○(　　個)
	● 5. ケイ酸質系塗布防水	・防水層の種別 ：(9.6.1、3、4)(表9.6.1) 種別 / 施工箇所 / 備考 ● C-SUI / ○ C-SUP エﾚﾍﾞｰﾀｰﾋﾟｯﾄ、地下土中壁、雨水貯留槽 ・防水層の下地 ： 壁 ：● コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）、○(　　) 天井部 ：● コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種）、○(　　) ・下地処理 ： コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ： ● 打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 ○ 図示、○(　　) 標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ﾛ) 以外の下地処理 ○ 図示、○(

章	項目	特記事項
	● 6. シーリング	・シーリングの種類 (9.7.2～5)(表 9.7.1) 下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。 ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。 施工箇所 / シーリング材の種類（記号） 外壁現場仕上げ系打継ぎ目地、収縮目地 / ポリウレタン タイル目地 / 変成シリコン 押出し成形セメント板工場塗装部 / ポリサルファイド ・仕上げを行わない施工箇所 ：⊠図示、 ○(　　) ・シーリング材の目地寸法 ： ● 標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による、 ○図示、○(　　) ・接着試験 ：● 簡易接着性試験、○ 引張接着性試験
	● 7. その他	・貯水利用槽防水（大関科学パラテックスB-2同等品以上）とする。
10 石工事	○ 1. 施工	(10.1.3) ・石材の割付け ：⊠図示、 ○(　　)
	○ 2. 石材等	(10.2.1、3)(表10.2.1、2) ・天然石 ： 施工箇所 / 岩石の種類 / 形状及び寸法(mm) / 表面仕上げの種類 / バフ仕上げの有無 / 備考 ○ 床石 / ⊠ 図示 ・テラゾブロック ： 施工箇所 / 種石の種類 / 種石の大きさ(mm) / 形状による区分 / 仕上げ面による区分 / 寸法(mm) / 表面仕上げの種類 / 備考 ⊠ 大理石 ○ 花こう岩 / ⊠ 1.5～12 ○ / ○ 平もの ○ 役もの / ○ 片面 ○ 両面 ・テラゾタイル ： 施工箇所 / 種石の種類 / 種石の大きさ(mm) / 寸法による区分 / 表面仕上げの種類 / 備考 ⊠ 大理石 ○ 花こう岩 / ⊠ 1.5～12 ○ / ○ 300型 ○ 400型 ・取付け用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料等 ： ⊠ 専門工事業者の指定する製品、○(　　)
	○ 3. 外壁湿式工法	(10.2.2、3)(10.3.2、3) ・石材の厚さ ⊠図示 ○(　　mm) ・受金物 材質 ：⊠ SUS304、○(　　) 形状及び寸法 ：○ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm ・アンカーの材質及び径 ：⊠ SS400 M12、○(　　) ・あと施工アンカーの材質、寸法等 ：○(　　) ・ドレインパイプの材質 ：○ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ○(　　) ・石裏面処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・裏打ち処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・下地ごしらえ ：⊠ あと施工アンカー 横筋横流し工法 ○ あと施工アンカー工法 ○ 流し筋工法 ・目地 ： 一般目地 目地幅(mm) ⊠ 6mm以上、 ○(　　) シーリング材 ○ 適用する、 ○ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ⊠ 標準仕様書表11.1.1による、○ 図示 シーリング材の目地寸法 ⊠ 幅・深さとも10mm以上、 ○ 図示
	○ 4. 内壁空積工法	(10.2.2)(10.4.2、3) ・石材の厚さ ⊠図示 ○(　　mm) ・受金物 材質 ⊠ SUS304、 ○(　　) 形状及び寸法 ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ○ L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm ・あと施工アンカーの材質、寸法等 ：○(　　) ・石裏面処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・裏打ち処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・下地ごしらえ ：⊠ あと施工アンカー 横筋流し工法 ○ あと施工アンカー工法 ・目地 ： 一般目地 目地幅(mm) ⊠ 6mm以上、 ○(　　) シーリング材 ○ 適用する、 ○ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ⊠ 6m程度ごと、 ○ 図示 シーリング材の目地寸法 ⊠ 幅・深さとも10mm以上、○ 図示
	○ 5. 外壁乾式工法	(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4) ・石材の厚さ ⊠図示 ○(　　mm) ・乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ： ⊠ 標準仕様書 表10.2.4による（方式 ○スライド方式、 ○ロッキング方式） ○ 図示 ・あと施工アンカーの材質及び寸法等 ：(　　) ・だぼ用の穴の位置 ：⊠ 標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による、 ○(　　) ・裏打ち処理 ：○ 適用する、○ 適用しない ・外壁の工法 ： 建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○ 1.15、○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 ・目地 ： 目地幅(mm) ⊠ 8mm以上、○(　　) シーリング材 ⊠ 標準仕様書表9.7.1により幅・深さとも8mm以上 ○図示
	○ 6. 床及び階段の石張り	(10.6.2、3) ・石材の厚さ ⊠図示 ○(床 mm、階段 mm) ・浸透性吸収防水剤 (床石張り) ○ 適用する ○ 適用しない ・石裏面処理 (床石張り) ○ 適用する ○ 適用しない (階段張り) ○ 適用する ○ 適用しない ・裏打ち処理 (床石張り) ○ 適用する ○ 適用しない ・一般目地 目地幅(mm) 屋外 ⊠ 4以上、 ○(　　) 屋内 ⊠ 3～6、 ○(　　) シーリング材 ○ 適用する、○ 適用しない ・伸縮調整目地 位置 ○ 図示、 ○ 標準仕様書10.6.2(5)(ｲ) シーリング材の目地寸法 ⊠幅・深さとも10mm以上 ○ 図示
10 石工事	○ 7. 笠木、甲板等の石張り	(10.2.2)(10.7.1、3) ・石材の厚さ ⊠図示 ○(　　mm) ・取付け工法 ：○ 外壁湿式工法、○ 乾式工法 ・特殊部位用金物 ： 材質 ⊠ ステンレス(SUS304) 、○(　　) 寸法等 引金物 ⊠ 標準仕様書10.2.2(3)による 、○(　　) だぼ ⊠ 標準仕様書10.2.2(3)による 、○(　　) かすがい ⊠ 標準仕様書10.2.2(3)による 、○(　　) 受け金物 ⊠ 標準仕様書10.2.2(1)(ｲ)による、○(　　) ・乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ： ⊠ 標準仕様書表10.2.4に準ずる（方式 ○ スライド方式、 ○ロッキング方式）、○ 図示 ・あと施工アンカーの材質、寸法等 ：○(　　) ・石裏面処理 ：○適用する、○適用しない ・乾式工法の場合の取付け代 ：○ 70mm程度、○(　　) ・石材裏面の補強用モルタル ：○ 適用する、○ 適用しない ・目地 ： 湿式工法の場合 一般目地 目地幅 ⊠ 6mm以上 、○(　　) シーリング材 ○ 適用する、 ○ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ⊠ 標準仕様書表11.1.1による、 ○ 図示 シーリング材の目地寸法 ⊠ 幅、深さとも10mm以上 、○ 図示 乾式工法の場合 目地材 ⊠ 8mm以上、 ○(　　) シーリング材 ⊠ 標準仕様書9.7.1により目地幅・深さとも8mm以上 ○(　　)
11 タイル工事	● 1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11.1.3)(表11.1.1) ・位置 ：● 標準仕様書表11.1.1による、 ○ 図示 ・目地寸法 ：● 標準仕様書9.7.3による、 ○(　　)
	○ 2. 見本焼き試験施工	(11.1.4) 見本焼き： ○ 行う（施工箇所：　　） ○行わない 試験張り： ○ 行う（ 範囲、仕様等は図示 ） ○行わない
	● 3. セメントモルタルによるタイル張り	(11.2.2、6) ・タイルの形状、寸法等 ：標準的な曲がりの役物は一体成形とする 施工箇所 / 階段段鼻 / 足洗い場 / ポーチ、昇降口 / 種類 / 形状寸法(mm) / 再生材料 [G] / 吸水率による区分 / うわぐすり / 役物 / 色 / 耐凍害性 / 耐滑り性 / 備考 ６０D / ４６角 / ３００角 / ○適用する / ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / ●有 ○無 / ○有 ●無 / ●標準 ○特注 / ○有 ●無 / ● ・既調合モルタル ： モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 （品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による） ・既調合目地材 ： （品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による） ・下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ： ○ 目荒し工法（高圧水洗処理）、 ○ MCR工法、○(　　) ・壁タイル張りの工法 ： 内装タイル ○ 密着張り、 ● 改良圧着張り 外装タイル ○ 密着張り、 ○ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ○マスク張り、 ○ モザイクタイル張り
	● 4. 有機系接着剤によるタイル張り	(11.3.2～5) ・タイルの形状、寸法等 ：標準的な曲がりの役物は一体成形とする 施工箇所 / 汚垂石 / 種類 / 形状寸法(mm) / 図示 / 再生材料 [G] / ○適用する / 吸水率による区分 / ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ / うわぐすり / ●有 ○無 / 役物 / ○有 ●無 / 色 / ●標準 ○特注 / 耐凍害性 / ○有 ○無 / 耐滑り性 / ● / ○ / 備考 ・内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：● F☆☆☆☆ ○ (　) ・下地調整塗りを行うコンクリート素地面の処理 ： ○ MCR工法、 ○目荒し工法（高圧水洗処理）、 ○ (　　) ・目地のシーリング材 ： 打継ぎ目地 ●ポリウレタン系シーリング材 、○(　　) ひび割れ誘発目地 ●ポリウレタン系シーリング材 、○(　　) 伸縮調整目地 ●変成シリコーン系シーリング材、 ○(　　) その他の目地 ●変成シリコーン系シーリング材、 ○(　　) ●ポリサルファイド ・外装タイルの目地詰め ○ 行う ○ 行わない

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘
構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和
設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
図面名	特記仕様書 2
縮尺	―
	船橋市建設局建築部建築課
図面番号	A-003
	令和7年度 (004/224)

12 木工事

● 1. 施工一般

(12.2.1)

材料のホルムアルデヒド放散量 ： ● F☆☆☆☆ ○（ ）

● 2. 製材 K

(12.2.1)（12.4.1）(12.5.1)（12.6.1）(12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材：

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		☒ 2級 ○	☒ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
		☒ 2級 ○	☒ A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		● 上小節 ○	● A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
見え掛り面以外		● 小節以上 ○	● A種 ○ B種 ○		○ する ○ しない
			☒ A種 ○ B種 ○		

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
構造用カーテンボックス（ナラ）		● 1等 ○	● 10%以下 ○ A種 ○ B種		○ する ○ しない
		☒ 1等 ○	☒ 10%以下 ○ A種 ○ B種		○ する ○ しない

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等の適用
		○ ○ 造作材 （☒ A種、○ B種）	○ する ○ しない	☒ A種 ○ B種 ○	○ する ○ しない
		○ ○ 造作材 （☒ A種、○ B種）	○ する ○ しない	☒ A種 ○ B種 ○	○ する ○ しない

○ 3. 造作用集成材 K

(12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					☒ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない
					☒ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 ：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				☒ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない
		化粧薄板： 芯材：				☒ 1等 ○ 2等	○ する ○ しない

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ：

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				☒ 15%以下 ○	○ する ○ しない
				☒ 15%以下 ○	○ する ○ しない

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 ：

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				☒ 15%以下 ○	○ する ○ しない
		化粧薄板： 芯材：				☒ 15%以下 ○	○ する ○ しない

○ 4. 造作用単板積層材 K

(12.2.1)

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 ：

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			○ 有り（加工 ○ 天然木加工 ○ 塗装加工 ） ○ 無し（等級 ○ 1等、○ 2等、○ 3等）	○ する ○ しない	○ する ○ しない
			○ 有り（加工 ○ 天然木加工 ○ 塗装加工 ） ○ 無し（等級 ○ 1等、○ 2等、○ 3等）	○ する ○ しない	○ する ○ しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 ：

施工箇所	寸法(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		○ 有り（加工 ○ 天然木加工、○ 塗装加工 ） ○ 無し（ ）	☒ 14%以下 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない
		○ 有り（加工 ○ 天然木加工、○ 塗装加工 ） ○ 無し（ ）	☒ 14%以下 ○	○ する ○ しない	○ する ○ しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板 K ：

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							○ する ○ しない
							○ する ○ しない

● 5. 合板等

(12.2.1)

・「合板の日本農林規格」による普通合板 K ：

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	☒ 5.5 ○		☒ 1類 ○ 2類	広葉樹☒ 2等以上、○ 1等 針葉樹☒ C-D以上、○	○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 K ：

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	保存処理	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	● 9 ○	● 2級以上 ○ 1級		● 1類 ○ 特類	● C-D以上 ○		○ する ○ しない ○ する ○ しない	○ する ○ しない ○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 K ：

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			☒ 1類 ○ 特類	○ する ○ しない	○ する ○ しない
				○ する ○ しない	○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧用合板 K ：

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			☒ 1類 ○ 2類	○ する ○ しない	○ する ○ しない
				○ する ○ しない	○ する ○ しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 K ：

施工箇所	品目	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
					☒ 1類 ○ 2類	○ する ○ しない	○ する ○ しない
						○ する ○ しない	○ する ○ しない

・パーティクルボード K ：

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
	☒ 15 ○		☒ 13タイプ ○	☒ P又はM ○		○ する ○ しない ○ する ○ しない

・JAS 0360 に基づく構造用パネル ：

施工箇所	品名	寸法(mm)

・MDF K ：

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						○ する ○ しない ○ する ○ しない

● 6. 接合具等

(12.2.2)

・造作材の化粧面の釘打ち
☒ 適用する（ ☒隠し釘打ち ○ ） ○ 適用しない
・諸金物の形状、寸法及び材質 (12.2.2)（表12.2.3～表12.2.5）
☒ 標準仕様書12.2.2(2)(7)による
・接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量 ： (12.2.2、3)
● F☆☆☆☆
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

○ 7. 防腐・防蟻処理

(12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材 ：
適用部位 ○（ ）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 ：

適用部材	保存処理性能区分
	○ K2、○ K3、○ K4
	○ K2、○ K3、○ K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 ：

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	☒ 薬剤の製造所の仕様による ○	☒ JIS K 1571に適合又は同等品 ○

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ○（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位 ○（ ）

○ 8. 内部間仕切軸組及び床組

(12.4.1)

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ○
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ○

○ 9. 窓、出入口その他

(12.5.1)

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
☒吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
○

○ 10. 床板張り

(12.6.1)

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※ひのき ○

○ 11. 壁及び天井下地

(12.7.1)

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ○

13 屋根及びとい工事

○ 1. 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	☒ JIS G 3322の屋根用コイル ○			○ 心木なし瓦棒葺 ○ 立平葺 ○ 蟻掛葺 ○ 横葺	

・下葺材料 ： ○ アスファルトルーフィング 940
○ 改質アスファルトルーフィング下葺材
（ ○ 一般タイプ、○ 複層基材タイプ、 ○粘着層付タイプ）
・横葺きの場合のけらば納め
○ つかみ込み納め ○ けらば包み納め
・工法 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
・雪止め ： ○ 設置する（設置箇所：☒ 図示、○ ）
○ 設置しない

● 2. 折板葺

(13.2.2)(13.3.2、3)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	● 重ね形 ○ はぜ締め形 ○ かん合形	150	250	（ ）種	☒ 鋼板製 ○ アルミニウム合金板製	0.8	● 有り ○ 無し	○ 30分 ○ 無し

・材料 ： 板及びコイルの種類 ☒ JIS G 3322 ○（ ）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ○（ ）
・断熱材張り ● 行う（種別. 無機質高充填フォーム、厚さ(mm). 、防火性能. 0.5時間）
○ 行わない
・工法 ： 図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、●1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
○ 適用する ○ 適用しない
折板のけらば納め
☒ けらば包みによる方法、● （ 水切り金物 ）

○ 3. 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の採用
							○ する ○ しない
							○ する ○ しない

・JIS A 5208に基づく凍害試験等 ： ☒行わない、○行う
・瓦桟木 ： 材質 ☒ 杉、○ ひのき、○（ ）
寸法 ☒ 幅21×高さ15(mm)、○（ ）
・棟補強用心材 ： 材質 ☒ 杉、○ ひのき、○（ ）
寸法 ☒ 幅40×高さ30(mm)、○（ ）
・瓦緊結用釘及びねじ
種類（ ） 径（ ） 長さ（ ）
・棟補強等に使用する金物等 ：
材質 ○ステンレス製、 ○ 亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法、留め付け等 ☒ 図示、○（ ）
・工法 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
・瓦桟木の留付け工法 ☒ 図示、○（ ）
・棟の工法 標準仕様書13.4.3(4)による、 ○ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
○ のし積み棟
・面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
○ モルタル ○ 瓦葺き用しっくい

● 4. とい

(13.5.2、3)(表 13.5.1～4)

・といその他の材種 ：
○ 配管用鋼管、● 硬質ポリ塩化ビニル管（防火区画貫通部分及び前後1mを不燃材料とする）
● ルーフドレン
○ 表面処理鋼板（ ○ 表面及び裏面の塗膜の種類： ○ 耐酸被覆鋼板 ）
・とい受金物 ：
材種 ● 表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）、○（ ）
形状 ● 表13.5.2による、○（ ）
取付け間隔 ● 表13.5.2による、○（ ）
・足金物 ：
材種 ● 表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）、○（ ）
形状 ● 表13.5.2による、○（ ）
取付け間隔 ● 表13.5.2による、○（ ）
・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔 ： ☒ 0.5m以下 、 ○（ ）
・防露材のホルムアルデヒド放散量 ： ● F☆☆☆☆、 ○（ ）
・鋼管製といの防露巻き ：
● 適用する（工法 ● 標準仕様書表13.5.4による、○ ）
○ 適用しない
・ルーフドレン

種別	施工箇所
● ろく屋根用（ ● 縦型、●横型）	図示
● バルコニー用	図示
● バルコニー中継用	図示

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 3	縮尺 —	A-004
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(005/224)

14 金属工事

● 1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表14.2.1)

種別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
○ AB-1種		
○ AB-2種		
○ AC-1種		
○ AC-2種		
○ BA-1種		
○ BA-2種		
○ BB-1種		
● BB-2種		
○ BC-1種		
○ BC-2種		
○ C種		

色合い等（シルバー、アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー、特注色）

・陽極酸化皮膜の着色方法 ：● 二次電解着色、○ 三次電解着色

● 2. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)（表14.2.2）

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
● 溶融亜鉛めっき	● A種	屋根鉄骨フレーム
	○ B種	
	○ C種	
● 電気亜鉛めっき	● D種	
	○ E種	
	○ F種	

○ 3. 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)（表14.4.1）

・野縁等の種類 ： 屋外（ ● 25形、○ 19形）
屋内（ ● 19形、○ 25形）

・屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○1.15、 ○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ● 図示、○（ ）
周辺部の端からの間隔 ● 図示、○（ ）
野縁の間隔 ○ 図示、○（ ）

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 ：
補強方法 ● 図示、 ○（ ）

・天井のふところが3.0mを超える場合 ：
補強方法 ● 図示、 ○（ ）

・天井下地材における耐震性を考慮した補強 ：
補強箇所 ☒ 図示、 ○（ ）
補強方法 ☒ 図示、 ○（ ）

・特定天井 ：
範囲 ○ 図示、 ○（ ）
特定天井の設計用震度及びクリアランス
特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）による特定天井の設計用震度
検証ルート（ ）

室名	階	設計用水平震度（K_H）	設計用鉛直震度（K_V）	クリアランス（mm）

・特定天井以外の在来工法による吊り天井のうち天井材の落下により著しい影響がある室のもの（緊結吊天井） ：
範囲 ○ 図示、 ○（ ）
補強方法
標準仕様書14.4.2～14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1）～4）のとおりとする。
1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。
2) 野縁や野縁受けの隅り合うジョイントの位置は、互いに 1m 以上離し、千鳥状に配置。
3) 野縁受けと吊ボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置（開き止め）を講じる。
4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示第3第3項に適合する天井に用いられるもの、または、耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様の追加）の解説（平成28年7月版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所他）の「付録1 クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。
なお、当該クリップは、JIS A 6517にならなくてもよいものとする。

・システム天井 ：
範囲 ○ 図示、 ○（ ）
種別 ☒ グリッドタイプ
耐震性
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0 、○（ ）
設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5 、○（ ）
層間変形角 ○ 1/100、○ 1/200、 ○（ ）

● 4. 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3,4)（表14.5.1）

・スタッド、ランナーの種類 ：
● 標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類、 ○ 図示
・スタッドの高さが5.0mを超える場合 ：☒ 図示、○（ ）
・出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ：
● 標準仕様書14.5.4(5)による、 ○（ ）

● 5. 金属成形板張り

(14.6.2.3)

・種別 ：☒図示、 ○（ ）
・表面処理 ：●図示、 ○（ ）
・取付け用下地 ：○標準仕様書14.4による、○ 図示
・伸縮調整継手 ：○設ける（施工箇所 ○ 図示、○（ ））
●設けない

● 6. アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)（表 14.2.1）（表 14.7.1）

・種類 ：○ 250形、○ 300形、 ○ 350形、 ● 図示
・表面処理 ：○ 種別 （ ）種
色合等 ● 標準色（ ○ アンバー、○ ブロンズ、○ ブラック系、○ ステンカラー）
○ 特注色（ ）
・笠木の固定金具の工法等 ：
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○ 1、○1.15、 ○ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

15 左官工事

○ 1. ラス系下地

(15.2.4)

・下地の種類
○ 通気構法 （ ○二層下地 ○ 単層下地 ）
○ 直張り構法（ ○ラスモルタル下地 ○ ラスシートモルタル下地 ）
○ 図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合）
・材料
ラス材及び補強用平ラス
種類記号（ ☒K 、○ ）
種類及び単位面積当たりの質量
○ 二層下地通気構法
○ 波形ラス（W700） ○ こぶラス（K800） ○ 力骨付きラス（ＢＰ700）
○ 単層下地通気構法
○ リブラスＣ（ＲＣ800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス
○（ ）
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
☒ＬＳ４（耐力壁の場合） ○（ ）

● 2. せっこうボードその他のボード下地

(15.2.5)

・せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ
種類（OGB-R ○GB-L ● 図示 ） 厚さ（ mm）
・木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（○ ） 厚さ（ mm）

○ 3. こまい下地

(15.2.6)

・建築基準法に基づく耐力壁の指定 ○なし ○あり

○ 4. 木ずり下地

(15.2.7)

・材料
木ずり用小幅板の材種 ☒ 杉（芯去り材） ○（ ）

● 5. モルタル塗り

(15.3.2、5)

樹脂・モルタル ●：現場調合材料（樹脂ﾓﾙﾀﾙｰﾎﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）、 ○ 既調合材料
・既製目地材 ：○ 設ける（施工箇所（ ）、形状（☒ 図示、 ）
○ 設けない
・床の目地 ：○ 設ける（目地割り ☒ 2㎡程度（最大目地間隔3m程度）、○ ）
（種類 ☒ 押し目地、○ ）
○ 設けない
・外装タイル張り下地等の下地モルタル等塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ：
○ 適用する、○ 適用しない
・防水剤 ： 品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による

● 6. 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)

・建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ：☒ Ｆ☆☆☆、○（ ）
・仕上塗材の種類 ：
薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等
○ 外装薄塗材 Si	○	仕上げの形状
○ 可とう形外装薄塗材 Si	○	● 砂壁状（ ● 吹付け）
● 外装薄塗材 E	●	○ ゆず肌状（ ○ 吹付け、○ ローラー塗り）
○ 可とう形外装薄塗材 E	○	○ さざ波状
○ 防水形外装薄塗材 E	○	○ 平たん状
○ 外装薄塗材 S	○	○ 凹凸状（ ○ 吹付け、○ こて塗り）
○ 内装薄塗材 C	○	○ 着色骨材砂壁状（ ○ 吹付け、○こて塗り）
○ 内装薄塗材 L	○	○ 砂壁状じゅらく
○ 内装薄塗材 Si	○	○ 京壁状じゅらく
○ 内装薄塗材 E	○	工法
○ 内装薄塗材 W	○	吸放湿性 ○ 適用する、○ 適用しない

厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等
○ 外装厚塗材 C	○	仕上げの形状
○ 外装厚塗材 Si	○	○ 吹放し、 ○ 凸部処理、 ○ 平たん状
○ 外装厚塗材 E	○	○ 凹凸状、 ○ ひき起こし、○ かき落とし
○ 内装厚塗材 C	○	
○ 内装厚塗材 L	○	工法等
○ 内装厚塗材 G	○	吸放湿性 ○適用する、○ 適用しない
○ 内装厚塗材 Si	○	上塗材 ○適用する、○ 適用しない
○ 内装厚塗材 E	○	

複層仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等
○ 複層塗材 CE	○	仕上げの形状
○ 可とう形複層塗材 CE	○	○ ゆず肌状、● 凸部処理、 ○ 凹凸状
○ 複層塗材 Si	○	工法等
○ 複層塗材 E	○	耐候性 ☒ 耐候形３種、 ● 吹付け
○ 複層塗材 RE	○	上塗材
○ 防水形複層塗材 CE	○	溶媒 ● 水系、○ 溶剤系、○ 弱溶剤系
● 防水形複層塗材 E	●	樹脂 ☒ アクリル系、● アクリルシリコン系
○ 防水形複層塗材 RE	○	外観 ● つやあり、○ つやなし、
○ 防水形複層塗材 RS	○	○ メタリック

軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
○ 吹付用軽量塗材	○
○ こて塗用軽量塗材	○

○ 7. マスチック塗材塗り

(15.7.2)

・種別 ： ○ A種、 ○ B種

○ 8. しっくい塗り

(15.10.1～4)

・下地の種類 ○（ ）
○ 標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用（ ）
・材料
○ 標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)、(ｲ)による
色しっくい ： ○ 適用する ○ 適用しない
○（ ）
・調合及び塗厚
既調合しっくい ☒標準仕様書15.10.3(1)による ○（ ）
現場調合しっくい ☒標準仕様書15.10.3(2)による ○（ ）
・既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
○ なで切り仕上げ ○パターン仕上げ

○ 9. ロックウール吹付け

(15.12.2、3)

・ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ：☒ Ｆ☆☆☆、○（ ）
・接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：☒ Ｆ☆☆☆、○（ ）
・吹付け厚さ（mm） ： ○ 図示、 ○ 25、 ○（ ）

● 10. セルフレベリング材塗り

●セメント系

16 建具工事

● 1. 防火戸

(16.1.3)

● 建具表による、 ○（ ）

● 2. 見本の製作等

(16.1.4)

・建具見本の製作 ： ○ 行う（建具符号： ）、○ 行わない
・建具見本の程度 ： ○ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
○ 納まり等が分かる程度のもの
・特殊な建具の仮組 ： ○ 行う（建具符号：図示）
○ 行わない

○ 3. 防犯建物部品

(16.1.6)

○ 適用する（ ○ 建具表による、 ○ 図示）、 ○ 適用しない

● 4. アルミニウム製建具

(16.2.2、4、5)（表14.2.1）(表16.2.1、2)

・性能値等 ：
耐風圧性の等級（●建具表による ）、建具符号（ ● 建具表による、 ○ ）
気密性の等級 （●建具表による ）、建具符号（ ● 建具表による、 ○ ）
水密性の等級 （●建具表による ）、建具符号（ ● 建具表による、 ○ ）
外部に面する建具の種別
○ A種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ B種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ C種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ D種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ E種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）

4. アルミニウム製建具（続き）

防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能（特定室等及び避難経路の扉） ：
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ、工法 ：
ステンレス鋼板（☒ SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI、○ ）
枠の見込み寸法 ● 建具表による、○（ ）
アルミニウムの表面処理
外部に面する建具 種別 ○ BB-1種、 ● BB-2種（標準仕様書 表14.2.1）
着色 ● 標準色、 ○ 特注色
屋内の建具 種別 ○ BC-1種、 ● BC-2種（標準仕様書 表14.2.1）
着色 ● 標準色、 ○ 特注色
ステンレス製のくつずりの仕上げ ● HL程度、○ No.2B程度、○（ ）
結露水の処理方法 ☒ 排水式、 ○（ ）
水切り板、ぜんぞ板 ☒ 図示、○（ ）
木下地の場合の内付け建具 ○ 適用する ○ 適用しない

○ 5. 網戸等

(16.2.3)

種類	材質	線径	網目
○ 防虫網	☒ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス(SUS316)製	☒ 0.25mm以上 ○	☒ 16～18メッシュ ○
○ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

○ 6. 樹脂製建具

(16.3.2～5)

・性能値等 ：
耐風圧性の等級（○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
気密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
水密性の等級 （○ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
外部に面する建具の種別 ：
○ A種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ B種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ C種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ D種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
○ E種（建具符号 ○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシ
○ 遮音性の等級 ○ T-1種、 ○ T-2種
建具符号（○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ[G]
断熱性の等級 ○ H-4種、 ○ H-5種、 ○ H-6種、 ○ H-7種、 ○H-8種
建具符号（○ 建具表による、○ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
○ N-1種、 ○ N-2種、 ○ N-3種
・材料、形状及び仕上げ、工法
ガラス ☒ 複層ガラス、 ○（ ）
枠の見込み寸法 ○ 建具表による、○（ ）
表面色 ○ 標準色、 ○ 特注色
ステンレス製のくつずりの仕上げ ☒ HL程度、○ No.2B程度、○（ ）
水切り板、ぜんぞ板 ☒ 図示、 ○（ ）
木下地の場合の内付け建具 ○ 適用する ○ 適用しない

● 7. 鋼製建具

(16.2.2)（16.4.2～4）（表16.4.2）

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ● S-4、建具符号（ ● 建具表による、○ ）
○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・大型建具 ：☒ 適用しない（表16.4.2による）
○ 適用する（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による）
・材料、形状及び仕上げ ：
ステンレス鋼板 ●SUS304・SUS430JIL・SUS443JI、○（ ）
鋼板の厚さ ● 標準仕様書16.4.2による、
○（ （使用箇所 ））
ステンレス製のくつずりの仕上げ ☒HL程度、 ○No.2B程度、○（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ☒建具表による、○（ ）

● 8. 鋼製軽量建具

(16.2.2)（16.5.2～4）

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ 適用しない
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ ：
鋼板 ○ 亜鉛めっき鋼板、○ ビニル被膜鋼板、○ カラー鋼板、
○ ステンレス鋼鈑（☒ SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI、○ ）
召合せ、縦小口包み板の材質 ○ 鋼板、○ 建具表による
鋼板の厚さ ☒ 標準仕様書表16.5.1による
○（ （使用箇所 ））
ステンレス製のくつずりの仕上げ ☒HL程度、 ○No.2B程度、○（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ☒建具表による、○（ ）

○ 9. ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ、工法 ：
鋼板 ☒ SUS304・SUS430JIL・SUS443JI、 ○（ ）
表面仕上げ ☒ HL仕上げ、○ 鏡面仕上げ、○（ ）
ステンレス製のくつずりの仕上げ ☒HL程度、 ○No.2B程度、○（ ）
ステンレス鋼板の曲げ加工 ☒ 普通曲げ、 ○ 角出し曲げ

● 10. 木製建具

(16.7.2～4)

・建具材の加工、組立時の含水率 ：☒A種、 ○（ ）
・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：
☒ Ｆ☆☆☆、○（ ）
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備考
● 普通合板[G]	板面の品質（ ☒広葉樹1等 （ ●ﾍﾟｲﾝﾀﾞﾌﾚｰﾑ、ｵﾚﾌｨﾝｼｰﾄ貼程度）	
○ 天然木化粧合板[G]	樹種名（ ）	
○ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 （ ○ オーバーレイ、 ○プリント、○ 塗装） 表面性能（ ）タイプ	
○ ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（ＭＤＦ）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ）	

表面板の厚さ ：☒ 表16.7.6による、○（ ）
・かまち戸 ：
かまち樹種 ○（ ）、鏡板樹種 ○（ ）
見込み寸法 ☒ 36mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・ふすま ：
張りの種別（ ○ Ⅰ型、 ○ Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外） ○ 鳥の子、 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度
上張り（押入等の裏側） 雲花紙程度
縁仕上 ○ 塗り縁、 ○ 生地縁（素地）、 ○ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ☒ 19.5mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・戸ぶすま
見込み寸法 ☒ 30.0mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・紙張り障子 ：
見込み寸法 ☒ 30.0mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・枠、くつずりの材料 ： ○ 建具表による、○（ ）

● 11. 建具用金物

(16.8.2,3)（表16.8.1）

・金物の種類・見え掛り部の材質等 ：
☒ 標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による、○（ ）
・金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
☒ 標準仕様書表16.8.2及び適用は建具表による、○（ ）
・樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
☒ 標準仕様書表16.8.3による、 ○ 建具表による
・木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
☒ 標準仕様書 表16.8.4による、 ○ 建具表による
・木製建具に使用する戸車及びレール ：
☒ 標準仕様書 表16.8.5による、 ○ 建具表による
・握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ：
● 建具表による、○ 図示
・錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠） ：
● （品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による
・クローザ類 ：
●（品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による

● 12. 鍵

(16.8.4)

・マスターキー ：● 製作する（ ）、○ 製作しない
・その他の鍵 ：● 各室 3本 1組（室名名札付き、共通キーあり）、 （○ ）
・鍵箱 ：● 有り、 ○ 無し

● 13. 自動ドア開閉装置

(16.9.2、3)

・性能 ：
引き戸用駆動装置
性能等 ☒ 標準仕様書表16.9.1による、○ 以下による

種類・開閉方式		耐電圧	
温度上昇		耐久性（サイクル）	
防錆	● 適用する○適用しない	電源	

車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 ：
性能等 ☒ 標準仕様書表16.9.2による、○ 以下による

耐電圧		温度上昇	
耐久性（サイクル）		防錆	● 適用する○適用しない
電源			

引き戸用検出装置
性能等 ☒ 標準仕様書表16.9.3による、○ 以下による

放射無線周波電磁界耐性			
耐電圧		防錆	○ 適用する○適用しない
防滴		電源	

・機構 ：

戸の開閉方式	○ 図示、 ○（ ）
引き戸検出装置の種類	● 光線（反射）センター、 ● 熱線センサー、 ○ 音波センサー、 ● 光電センサー、 ○ 電波センサー、 ○ タッチスイッチ（○無線式 ○ 光電式 ） ○ 押しボタンスイッチ、 ○ 車椅子使用者用便房スイッチ（○大形押しボタン ○ 非接触 ）
凍結防止装置	○ 適用する（建具表による）、 ● 適用しない

● 14. 自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)（表16.10.1）

・引戸装置
性能等 ☒ 表16.10.1による、○ 以下による

手動開き力		手動閉じ力	
閉じ速度の調整		制動区間	
開閉繰返し		耐衝撃性	

○ 9. ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

・性能値等 ：
簡易気密型ドアセット ○ 適用する（建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-5、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
○ S-6、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
防音ドア、防音サッシとする場合
○ 遮音性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
断熱ドア、断熱サッシ[G]とする場合
○ 断熱性の等級（ ）、建具符号（ ○ 建具表による、○ ）
・耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○ 耐震ドア（面内変形追随性の等級（ ）、建具符号（ ○建具表による、○ ））
重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度（K_H） ☒ 1.0、○（ ）
設計用鉛直震度（K_V） ☒ 0.5、○（ ）
建具符号（○ 建具表による、○ ）
・材料、形状及び仕上げ、工法 ：
鋼板 ☒ SUS304、SUS430JIL・SUS443JI、 ○（ ）
表面仕上げ ☒ HL仕上げ、○ 鏡面仕上げ、○（ ）
ステンレス製のくつずりの仕上げ ☒HL程度、 ○No.2B程度、○（ ）
ステンレス鋼板の曲げ加工 ☒ 普通曲げ、 ○ 角出し曲げ

● 10. 木製建具

(16.7.2～4)

・建具材の加工、組立時の含水率 ：☒A種、 ○（ ）
・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ：
☒ Ｆ☆☆☆、○（ ）
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備考
● 普通合板[G]	板面の品質（ ☒広葉樹1等 （ ●ﾍﾟｲﾝﾀﾞﾌﾚｰﾑ、ｵﾚﾌｨﾝｼｰﾄ貼程度）	
○ 天然木化粧合板[G]	樹種名（ ）	
○ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 （ ○ オーバーレイ、 ○プリント、○ 塗装） 表面性能（ ）タイプ	
○ ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（ＭＤＦ）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ）	

表面板の厚さ ：☒ 表16.7.6による、○（ ）
・かまち戸 ：
かまち樹種 ○（ ）、鏡板樹種 ○（ ）
見込み寸法 ☒ 36mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・ふすま ：
張りの種別（ ○ Ⅰ型、 ○ Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外） ○ 鳥の子、 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度
上張り（押入等の裏側） 雲花紙程度
縁仕上 ○ 塗り縁、 ○ 生地縁（素地）、 ○ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ☒ 19.5mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・戸ぶすま
見込み寸法 ☒ 30.0mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・紙張り障子 ：
見込み寸法 ☒ 30.0mm、 ○ 建具表による、○（ ）
・枠、くつずりの材料 ： ○ 建具表による、○（ ）

● 11. 建具用金物

(16.8.2,3)（表16.8.1）

・金物の種類・見え掛り部の材質等 ：
☒ 標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による、○（ ）
・金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
☒ 標準仕様書表16.8.2及び適用は建具表による、○（ ）
・樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
☒ 標準仕様書表16.8.3による、 ○ 建具表による
・木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ：
☒ 標準仕様書 表16.8.4による、 ○ 建具表による
・木製建具に使用する戸車及びレール ：
☒ 標準仕様書 表16.8.5による、 ○ 建具表による
・握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ：
● 建具表による、○ 図示
・錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠） ：
● （品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による
・クローザ類 ：
●（品質・性能及び試験方法）建築材料等品質性能表による

● 12. 鍵

(16.8.4)

・マスターキー ：● 製作する（ ）、○ 製作しない
・その他の鍵 ：● 各室 3本 1組（室名名札付き、共通キーあり）、 （○ ）
・鍵箱 ：● 有り、 ○ 無し

● 13. 自動ドア開閉装置

(16.9.2、3)

・性能 ：
引き戸用駆動装置
性能等 ☒ 標準仕様書表16.9.1による、○ 以下による

種類・開閉方式		耐電圧	
温度上昇		耐久性（サイクル）	
防錆	● 適用する○適用しない	電源	

車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 ：
性能等 ☒ 標準仕様書表16.9.2による、○ 以下による

耐電圧		温度上昇	
耐久性（サイクル）		防錆	● 適用する○適用しない
電源			

引き戸用検出装置
性能等 ☒ 標準仕様書表16.9.3による、○ 以下による

放射無線周波電磁界耐性			
耐電圧		防錆	○ 適用する○適用しない
防滴		電源	

・機構 ：

戸の開閉方式	○ 図示、 ○（ ）
引き戸検出装置の種類	● 光線（反射）センター、 ● 熱線センサー、 ○ 音波センサー、 ● 光電センサー、 ○ 電波センサー、 ○ タッチスイッチ（○無線式 ○ 光電式 ） ○ 押しボタンスイッチ、 ○ 車椅子使用者用便房スイッチ（○大形押しボタン ○ 非接触 ）
凍結防止装置	○ 適用する（建具表による）、 ● 適用しない

● 14. 自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)（表16.10.1）

・引戸装置
性能等 ☒ 表16.10.1による、○ 以下による

手動開き力		手動閉じ力	
閉じ速度の調整		制動区間	
開閉繰返し		耐衝撃性	

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 4	縮尺	—
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度
			A-005
			(006/224)

16 建具工事

○ 15. 重量シャッター (16.11.2、3)

・シャッターの種類 :
○ 管理用シャッター（耐風圧強度（ ）N/m）
○ 外壁用防火シャッター（耐風圧強度（ ）N/m）
○ 屋内用防火シャッター
○ 防煙シャッター
・開閉方式による種類 : ⊠ 電動式（手動併用）、 ○ 手動式

・急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○（ ）
・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 :
○ 建具表による、○（ ）
・危害防止機構を設けた屋内用防火シャッターもしくは防煙シャッターには設けること
○ 建具表による、○（ ）
機構 a) 危害防止装置
b) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
・管理用シャッターのシャッターケース : ⊠ 設ける、 ○ 設けない
ただし、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター及び防炎シャッターには設けること
・スラット及びシャッターケース用鋼板 :
鋼板の種類 ○ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
○ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ⊠ Z12またはF12、 ○（ ）
・スライドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 :
ステンレス鋼板 ⊠ SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI、○（ ）

○ 16. 軽量シャッター (16.12.2～4)

・開閉方式による種類 : ⊠ 手動式、 ○ 電動式（手動併用）
・耐風圧強度 : ○（ ）N/㎡
・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置個所 :
○ 建具表による、○（ ）
・スラットの材質 : ○ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっき付着量（⊠ Z06又はF06、○ ）
○ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量（⊠ AZ90 、○ ）
・スラットの形状 : ○ インターロッキング形、○ オーバーラッピング形

○ 17. オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
⊠ スチールタイプ	○ 125	⊠ バランス式	○ スタンダード形	⊠ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ アルミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ローヘッド形	
○ ファイバーグラスタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト形	○ ステンレス鋼板
	○ 50		○ バーチカル形	

ステンレス鋼板 ⊠ SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI、○（ ）

・障害物感知装置を設けた電動式オーバーヘッドドアの設置場所 :
⊠ 建具表による、○（ ）

● 18. ガラス (9.7) (16.14.2～4) (図16.14.1)

・適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 ⊠ 建具表による、 ○図示
・型板ガラスの厚さによる種類 ⊠ 建具表による、 ○ 図示
・網入板ガラス、線入板ガラスの銅、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
⊠ 建具表による、○ 図示
・合わせガラス :

材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ	⊠ 建具表による、 ○ 図示
形状による種類	○ 平面合わせガラス、 ○ 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	○ Ⅰ類、○ Ⅱ-1類、 ○Ⅱ-2類、 ○ Ⅲ類

・強化ガラス :

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	● 建具表による、 ○ 図示
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	○ Ⅰ類、○ Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス :

板ガラスの種類、厚さによる種類	⊠ 建具表による、 ○ 図示
性能による種類	○ 1類、 ○ 2類

・複層ガラス :

材料板ガラスによる種類及び厚さの組合せ、並びに複層ガラスの厚さ	● 建具表による、 ○ 図示
断熱性による区分	○ T1、○ T2、○ T3、○ T4、○ T5、○ T6
日射取得性、日射遮蔽性	○ G、 ○ S
乾燥気体の種類	● 空気 、○アルゴン

・熱線反射ガラス :

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	⊠ 建具表による、○ 図示
日射熱遮へい性による区分	○ 1種、 ○2種、○ 3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性が2種の場合）	○ A種、 ○B種

・倍強度ガラス :

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	⊠ 建具表による、○ 図示

・ガラスの留め材及び溝の大きさ :

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
● アルミニウム製	⊠ グレイジングチャンネル ● シーリング材	● 建具の製造所の仕様による ○ 図示
○ 樹脂製	○ グレイジングビート ○ グレイジングチャンネル	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
● 鋼製及び鋼製軽量	● シーリング材 ○	● 建具の製造所の仕様による ○ 図示
○ ステンレス製	○ シーリング材 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示

・構造体の層間変形角に対する追従性 :
以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
● 1/100、○ 1/200、 ○（ ）

○ 19. ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
○ 正方形	○ 125×125	80	○ クリア ○ 乳白	⊠ 8～15	外側 ⊠ 標準仕様書表16.4.5(2)(ｳ)(a)②	⊠ 6m以下ごとに幅10～25	⊠ 無し
	○ 160×160	○ 95 ○ 125	○ クリア ○ 乳白		○	○ 図示 ○	○ 有り
	○ 200×200	○ 95 ○ 125	○ クリア ○ 乳白		内側 ⊠ 標準仕様書表16.4.5(2)(ｳ)(a)②		
	○ 320×320	95	○ クリア ○ 乳白	○ 15～25	○		
○ 長方形	○ 250×125	80	○ クリア ○ 乳白				
	○ 320×160	95	○ クリア ○ 乳白				

・壁用金属枠及び補強材の材料、形状 : ⊠ 図示、○（ ）
・力骨 : 材質 ⊠ ステンレス鋼(SUS304)、○（ ）
寸法 ⊠ 径5.5mm、 ○（ ）
形状 ⊠ はしご形状複筋及び単筋、 ○（ ）
・化粧目地モルタルの色 ○（ ）
・シーリングの種類 （ ○ＳＲ－１ ○ＰＳ－１）
・金属製化粧カバー : 材質 ○ステンレス製、 ○ アルミニウム製
寸法 ⊠ 図示、○（ ）
形状 ⊠ 図示、○（ ）
・木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ⊠図示 、○（ ）
・工法 :
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
・目地部の横力骨の納まり
⊠ ガラスブロック製造所の仕様による、 ○ 図示

● 20. 倍強度ガラス及び強化ガラス 耐熱強化ガラス

本項は倍強度及び強化ガラス・耐熱強化ガラスを使用するすべての箇所に適用する。

倍強度ガラス
・表面圧縮力度の管理を行う。
・管理値はASTM Internationalの基準を採用し、52Mpaを上限とし、
下限値はJISに基づき20Mpaとする。
・サンプリング 50枚以下の場合は全数検査。
50枚を超える場合は50枚か、製造日、大きさ、厚さのそれぞれ毎に2枚以上のどちらか多いほうの数の検査を行う。

強化ガラス・耐熱強化ガラス
・ヒートソーク処理を全数行う。

17 カーテンウォール工事

○ 1. 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
・取付方法 : ○ 層間方式、 ○ 柱・梁方式、 ○ 方立方式、 ○ スパンドレル方式、
○ （ ）
・性能 :

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
				○ 30分 ○ 1時間	○ 80 ○ 70 ○ 60

・耐風圧性能 :
建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1、○1.15、 ○1.3）倍の風圧力に対応した工法
・主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く） :

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	○ たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ○
4mを超える	○

・地震力に対する安全性 :

設計用震度	帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能
設計用水平震度（KH） ⊠ 1.0 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用鉛直震度（KV） ⊠ 0.5 ○	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。

・構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能
○ 1/100 ○ 1/200	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと 層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。

・性能の確認方法及び判定方法 :
⊠ 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

○ 2. メタルカーテンウォール (17.2.2、3、5)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
・金属系材料の種類 :
○ アルミニウム材 規格等 標準仕様書16.2.3による
種別 標準仕様書 表14.2.1による
着色 ○標準色、 ○特注色
映像調整 ○行う、 ○ 行わない
○ 鋼材
○ ステンレス鋼材
・形状及び仕上げ :
製品の寸法許容差 ⊠ 標準仕様書 表17.2.1.による、 ○（ ）
見え掛かり部の仕上げ ○（ ）
ガラス溝の寸法、形状等 ⊠ カーテンウォールの製造所の仕様、○（ ）
・取付け :
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向 ⊠ ±10mm、 ○（ ）
水平方向 ⊠ ±25mm、 ○（ ）
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅 ⊠ ±3mm、 ○（ ）
目地の芯の通り ⊠ 0～＋2mm、○（ ）
目地両側の段差 ⊠ 0～＋2mm、○（ ）
各階の基準墨から各部材までの距離 ⊠ ±3mm、 ○（ ）
・シーリング材の種類（目地） :○（ ）
・ガラスの取付け材料 :○ シーリング 種類（ ）
○ 構造ガスケット 形状・寸法等 ⊠ 図示、 ○（ ）
・断熱材 Ⓘ の種類 :○（ ）
・ガラスの取付け方法 :
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
⊠ ４辺支持 ○（ ）

○ 3. PCカーテンウォール (17.3.2～5) (表17.3.1.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
・材料 :
コンクリート 種類 ○（ ）
品質 設計基準強度(Fc) ⊠ 30N/mm2、○（ ）
スランプ ⊠ 12cm 、 ○（ ）
気乾単位容積質量
○ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3 を超え2.5t/m3 未満
○（ ）
単位水量の最大値 ⊠ 185kg/m3、○（ ）
鉄筋 種類記号 ⊠ SD295A（ ）、 ○（ ）
補強鉄線 径（mm） ○ 3.2、 ○ 4.0、 ○ 5.0、○ 6.0
網目寸法 ○（ ）
・シーリング材の種類（目地） :○（ ）
・耐火目地材の種類 :○（ ）
・断熱材 Ⓘ の種類 :○（ ）
・ガラスの取付け材料 :○ シーリング 種類（ ）
○ 構造ガスケット 形状・寸法等 ⊠ 図示、 ○（ ）
・先付けの材料 :
○ 表面仕上げ材 ⊠ セラミックタイル
○ 石材（ ○ 花こう岩、 ○ 大理石、 ○ ）
○（ ）
○ 建具枠（ ）
○ ゴンドラ用ガイドレール（ ）
・形状及び仕上げ :
製品の見え掛り部の寸法許容値

辺長	⊠ ±3mm 、○	対角線長の差	⊠ 0～+5mm、○
版厚	⊠ ±2mm 、○	開口部内法寸法	⊠ ±2mm 、○
ねじれ、反り	⊠ 0～+5mm、○	曲がり	⊠ 0～+3mm、○
面の凹凸	⊠ 0～+3mm、○	先付け金物の位置	⊠ 0～+5mm、○

・PCカーテンウォールの仕上げ（ ）
・構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)（ ）
・製作
PC版の配筋 ⊠図示による
・取付け :
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向 ⊠ ±10mm、 ○（ ）
水平方向 ⊠ ±25mm、 ○（ ）
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅 ⊠ ±5mm、 ○（ ）
目地の芯の通り ⊠ 0～＋3mm、○（ ）
目地両側の段差 ⊠ 0～＋4mm、○（ ）
各階の基準墨から各部材までの距離 ⊠ ±5mm、 ○（ ）
ガラスの取付け方法
ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

● 1. 材料 (18.1.3)

・屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 : ● Ｆ☆☆☆☆、○（ ）
・防火材料 : ⊠ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
○ 仕上げ表による

● 2. 素地ごしらえ (18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	● A種、○ B種
	透明塗りの場合	● B種、○ A種
鉄鋼面	DP以外	● C種、○ A種、 ○B種
	DPのみ	● B種、○ A種、 ○C種
亜鉛めっき鋼面		○ A種、○ B種
モルタル面及びプラスター面		● B種、○ A種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		● B種、○ A種
コンクリート面（DPのみ）		⊠ A種、○ B種
押出成形セメント板面		○ A種、○ B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	● A種、○ B種
	目地：継目処理工法以外	● B種、○ A種

● 3. 錆止め塗料塗り (18.3.2、3)

下地面等			さび止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	ＳＯＰ	A種	●A種、○ B種
		ＤＰ	1回目 C種 2、3回目 D種	標準仕様書表18.3.4
		ＥＰ－Ｇ	● B種、○ A種	●A種、○ B種
	見え隠れ部分	ＳＯＰ	A種	●B種、○ A種
		ＤＰ	1回目 C種 2、3回目 D種	標準仕様書表18.3.4
		ＥＰ－Ｇ	● B種、○ A種	⊠B種、● A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	ＳＯＰ	● A種、○ B種	●A種、○ B種
		ＤＰ	B種	標準仕様書表18.3.6
		ＥＰ－Ｇ	C種	⊠A種、○ B種
	鋼製建具以外	ＳＯＰ	● B種、○ A種	●B種、○ A種
		ＤＰ	B種	標準仕様書表18.3.6
		ＥＰ－Ｇ	C種	●B種、○ A種

● 4. 塗装 (18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	● A種、○ B種	－
	木部屋内	● B種、○ A種	－
	鉄鋼面	● B種、○ A種	－
	亜鉛めっき鋼面	(表18.4.3)	－
クリヤラッカー塗り (CL)		● B種、○ A種	－
アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		● B種、○ A種	－
耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	(表18.7.1)	○ 上塗り等級（ ）級
	亜鉛めっき鋼面	(表18.7.2)	○ 上塗り等級（ ）級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	● A種、● B種、○ C種	工場塗装はA種
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	● B種、○ A種	－
	屋内の鉄鋼面	● B種、○ A種	－
	木部	(表18.8.2)	－
	亜鉛メッキ鋼面	(表18.8.4)	－
合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		● B種、○ A種	－
ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		● B種、○ A種	－
ステイン塗り		○ ﾋﾞﾆﾙﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り	－
		○ ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り	
木材保護塗料塗り (WP)		● B種、○ A種	－

・クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 :
○ 適用する（着色剤： ○ 溶剤系着色剤 ○油性染料着色剤）
○ 適用しない
・ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 :
○ 適用する
● 適用しない
・オイルステン塗りの工程等 :
※製造所の仕様による

19 内装工事

● 1. 接着剤 (19.2.2)

・接着剤のホルムアルデヒド放散量 : ● Ｆ☆☆☆ 、○（ ）
・接着剤の可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く） : 添付されていないものとする。
・施工箇所の下地セメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 :
○ 図示、○（ ）

● 2. 下地の工法 (19.2.3)

・標準仕様書19.2.3(1)～(3)以外の下地の工法 : ●図示 、○（ ）

● 3. ビニル床シート Ⓖ (19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
● FS（複層ビニル床シート） ○	○ 無地 ● マーブル柄 ● 柄物	● 2.0 ● 2.8（発泡層付）	

・目地処理をする場合の工法 : ○ 熱溶接工法、○（ ）

○ 4. ビニル床タイル Ⓖ (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
⊠ KT（コンポジションビニル床タイル） ○ TT（単層ビニル床タイル） ○ FT（複層ビニル床タイル） ○ FOA（置敷きビニル床タイル） ○ FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	○ 無地 ○ 柄物	○ 300×300 ○ 450×450 ○ 500×500 ○	⊠ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0 ○	

● 5. 特殊機能床材 (19.2.2)

シートの種類	厚さ・寸法(mm)、形状	性能	種類
○ 帯電防止床シート			
○ 帯電防止床タイル			
● 視聴覚障害者用床タイル		ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
○ 耐動荷重性床シート			
● 防滑性床シート	厚さ：2.5		
○ 防滑性床タイル			
● 防臭性床シート			

● 6. ビニル幅木 (19.2.2)

・材質の種類 : ● 軟質、 ○ 硬質
・高さ(mm) : ● 60、○75、○ 100、 ○（ ）
・厚さ(mm) : ● 1.5以上、○（ ）
・階段用 : ● 図示による

○ 7. ゴム床タイル (19.2.2)

・種類 : ○ 単層、 ○ 積層
・色柄 : ○（ ）
・厚さ(mm) : ○ 3.0、 ○ 4.5、○ 6.0、○ 9.0
・寸法(mm) : ○（ ）

● 8. カーペット敷き Ⓖ (19.3.2、3) (表 19.3.1)

・織じゅうたん :

織り方	パイル形状
○ ウェルトンカーペット	○ カットパイル
○ ダブルフェースカーペット	○ ループパイル
○ アキスミンスターカーペット	○ カット、ループ併用

色柄 ⊠ 模様のない無地、○（ ）
パイル糸の種類 ⊠ 標準仕様書表19.3.1による（ ○A種、○ B種、 ○C種）
○（ ）
帯電性 ○ 適用する、 ○ 適用しない
縦じゅうたんの接合方法 ○ ヒートボンド工法、○（つづりぬい ）
下敷き材 ⊠ 反毛フェルト（JIS L 3204第2種2号、呼び厚さ8mm）、○（ ）
・タフテッドカーペット :

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性の適用	備考
○ カットパイル		○ 全面接着工法 ○ グリッパー工法	○ する （ ） ○ しない	
○ ループパイル				
○ カット、ループ併用				

下敷き材（グリッパー工法の場合）
⊠ 反毛フェルト（JIS L 3204第2種2号、呼び厚さ8mm）、○（ ）
・タイルカーペット :

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
● ループパイル	● 第一種		● 500×500	● 6.5	
	○ 第二種		○	○	
○ カットパイル	○ 第一種		⊠ 500×500	⊠ 6.5	
	○ 第二種		○	○	
○ カット・ループ併用	○ 第一種		⊠ 500×500	⊠ 6.5	
	○ 第二種		○	○	

タイルカーペットの敷き方 平場 ● 市松敷き、 ○ 模様流し、 ○（ ）
階段部分 ※ 模様流し、 ○ 市松敷き、 ○（ ）
見切り、押え金物 材質（ ）
種類（ ）
形状等 ⊠ 図示、○（ ）

● 9. 合成樹脂塗床 (19.4.2、3) (表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○ 厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）			⊠ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ
○ 厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）		○ 薄膜流しのべ工法 ○ 厚膜流しのべ工法 ○ 樹脂モルタル工法	○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ
○ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）			⊠ 平滑仕上げ
● アクリル樹脂塗床（JIS K 5970）（防塵塗料塗り）		● 製造所の指定による	工程 塗布量(kg/㎡) ● 0.1kg/㎡以上 表面仕上げ ● 平滑、 ○ 防滑 溶剤 ● 水性、 ○ 溶剤系、 ○ 無溶剤系 仕上げ色 ● 標準色、○

・塗料のホルムアルデヒド放散量 : ● Ｆ☆☆☆☆ 、○（ ）

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 5	縮尺 －－	A-006
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(007/224)

19 内装工事

○ 10. フローリング張り G

(19.5.2～6)(表 19.5.1～6)

・単層フローリング　：
○ フローリングボード1等

工法	○ 釘止め工法（ ○ 根太張り、 ○ 直張り）、 ○ 接着工法
樹種	⊠ なら　○
厚さ、大きさ	⊠ 標準仕様書表19.5.1による、 ○
仕上塗装	⊠ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

○ フローリングブロック 1等

工法	⊠ 接着工法
樹種	⊠ なら　○
厚さ、大きさ	⊠ 標準仕様書表19.5.1による、 ○
仕上塗装	⊠ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

・複合フローリング　：
○ 天然木化粧複合フローリング

工法	○ 釘留め工法（ ○ 根太張り、 ○ 直張り）、 ○ 接着工法
樹種	⊠ なら　○
種別（表19.5.2）	○ A種、 ○ B種、 ○ C種
仕上塗装	⊠ 塗装品、　○ 無塗装品
間伐材等の適用	○ 適用する、 ○ 適用しない

・フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　：　⊠ F☆☆☆☆、　○(　　)
・接着工法の場合の裏面緩衝材　：　⊠合成樹脂発泡シート、 ○ (　　)
・現場塗装仕上げ　：　施工箇所（　　）
⊠ ウレタン樹脂ワニス塗り
○ オイルステインの上、ワックス塗り
○ 生地のままワックス塗り

○ 11. 畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

・種別　：　○ A種、 ○ B種、 ○ C種、 ○ D種
（畳床：　○ KT-Ⅰ、 ○ KT-Ⅱ、○ KT-Ⅲ、 ○ KT-K、 ○ KT-N）
・下地の種類　：　○ 標準仕様書表12.6.1による床組
○ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
○ (　　)
・畳表及び畳床　：　ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
・衝撃緩和型畳（畳表：　○C1、○ C2）

● 12. せっこうボードその他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

・適用　：　以下によるほか、図示による。
・合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド発散量　：
● F☆☆☆☆、○(　　)
・木質系セメント板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 硬質木毛セメント板 G	○ 15、○ 20、 ○ 25、○
○ 中質木毛セメント板 G	○ 15、○ 20、 ○ 25、○
○ 普通木毛セメント板 G	○ 15、○ 20、 ○ 25、○
○ 硬質木片セメント板 G	○ 12、○ 15、 ○ 18、○ 21、 ○
○ 普通木片セメント板 G	○ 30、○

・繊維強化セメント板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ 2（無石綿）○6、 ○8
○ 化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ 2（無石綿）●6、 ○8 表面への化粧張り等の加工　○ アクリル樹脂系焼付け ○

・火山性ガラス質複層板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 火山性ガラス質複層板	○ 図示による　○

・繊維板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ ハードボード（素地） G	○ 無研磨板（ ○ スタンダード、 ○ テンパード） RN ○ 研磨板　（ ○ スタンダード、 ○ テンパード） RS ○ 2.5、 ○3.5、○ 5、 ○7
○ ハードボード（化粧） G	○ 内装用、　○外装用 ○ 2.5、 ○3.5、○ 5、 ○7
○ ミディアムデンシティファイバーボード G	○ 3　、 ○7　、○ 9、 ○12
○ インシュレーションボード G	A級（ ○ 天井仕上、 ○ 内装仕上、○　　） ○ 9　、 ○12、 ○15、 ○18

・パーティクルボード　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 単板張りパーティクルボード G	○ 無研磨板 VN、　○ 研磨板 VS ○ 10、○ 12、○ 15、○ 18、○ 20
○ 化粧パーティクルボード G	○ 単板オーバーレイ DV ○ プラスチックオーバーレイ DO ○ 塗装 DC ○ 10（難燃）、 ○12（難燃）、○

・吸音材料　：

種類	厚さ(mm)、規格等
● ロックウール化粧吸音板	● フラットタイプ（● 9（不燃）、○ 12(不燃)、○　　） ○ 凹凸タイプ　（○ 12(不燃)、○ 15(不燃)、○　　）
○ ロックウール吸音ボード1号	○ 25、○
● グラスウール吸音ボード32K	● 25(ガラスクロス包)、 ● 25（化粧クロス）

・せっこうボード製品　：

種類	厚さ(mm)、規格等
● せっこうボード	● 12.5（不燃）、○15（不燃）、 ○
○ 不燃積層せっこうボード	○ 9.5（不燃）、○ ○ 化粧無（下地張り用）、○ 化粧有（トラバーチン模様）
○ シージングせっこうボード	○ 12.5　（ ⊠ 不燃、 ○ 準不燃　）
● 強化せっこうボード	● 12.5（不燃）、 ○ 15（不燃）、 ● 21（不燃）
○ せっこうラスボード	○ 9.5
○ 化粧せっこうボード（木目）	○ 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ○ 柾目、 ○ 板目）　専用下地材有り
● 化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	● 9.5（準不燃） ○
● 一般硬質せっこうボード	● 9.5
● 吸音せっこうボード	● 9.5

・合板、化粧板　：

種類	厚さ(mm)、規格等
○ 普通合板 G	表面の樹種 生地　透明塗料塗り　（ ⊠ ラワン合板程度、 ○　　） 不透明塗料塗り（ ⊠ しな合板程度　、 ○　　） 板面の品質（　　） 厚さ(mm)　（ ⊠ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　）
○ 天然木化粧合板 G	化粧板の樹種名（　　） 厚さ(mm)　（ ⊠ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　）
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（　○オーバーレイ、　○プリント、　○塗装） 表面性能　（　　）タイプ 厚さ(mm)　（ ⊠ 図示による　○　　） 防虫処理　（ ○ する、○ しない　）
● メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ（ ● 1.2、○　　）
● ポリエステル樹脂化粧板	

・遮音シール材　：　○ 適用する
（ ○ シーリング材、 ○ ジョイントコンパウンド）
○ 適用しない
天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
⊠ 図示　○
・合板類の張付け　：　○ B種 、 ○ A種
・せっこうボードの目地工法　：⊠ 仕上げ表による、○ (　　)

突付け工法のエッジの種類	○ ベベルエッジ　　○スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	○ ベベルエッジ　　○スクェアエッジ

○ 13. 壁紙張り

(19.8.2、3)

・ホルムアルデヒド放散量　：⊠ F☆☆☆☆、○ (　　)

施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、 ○準不燃 ○ 難燃	
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、 ○準不燃 ○ 難燃	
	○ 紙、○繊維、○ プラスチック、○ 無機質、○ 塩化ビニル	○ 不燃、 ○準不燃 ○ 難燃	

・モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　：⊠ B種、 ○ A種
・コンクリート面の素地ごしらえ　：⊠ B種、 ○ A種
・せっこうボード面の素地ごしらえ　：⊠ B種、 ○ A種

● 14. 断熱材 G

(19.9.2、3)

・フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　：
● F☆☆☆☆、○ (　　)
・断熱材打込み工法　：

種類	厚さ(mm)	施工箇所
○ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
● 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) （ ○ 2種bA　○ 3種bA　● 3種bC　○ 3種bD ）	●図示	●図示
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材		
○ フェノールフォーム断熱材		

・断熱材現場発泡工法　：
断熱材の種類 ○ A種1、 ● A種1H
厚さ（mm）　● 25、 ○ 30、 ●（　　100　　）
施工箇所　● 図示、○ (　　)
・現場発泡断熱材　：
（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・不燃断熱材現場吹付工法　：
不燃断熱材はNW-9100　繊維混入軽量モルタル吹付
・接着部分の断熱材（特定フロンを使用しないもの）
押出法ポリスチレンフォーム JIS A 9521 断熱材3種bA 厚さ（50）mm（免振ピット部、地下ピットを除く）

20 ユニット及びその他の工事

● 1. フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所			
構法	○ 置敷式 ● 支柱調整式 ○	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○	○ 置敷式 ○ 支柱調整式 ○
寸法(mm)	● 500×500 ○	○ 500×500 ○	○ 500×500 ○
高さ(mm)			
耐震性能	● 1.0G、　○ 0.6G	○ 1.0G、　○ 0.6G	○ 1.0G、　○ 0.6G
所定荷重	● 3,000N、　○ 5,000N	○ 3,000N、　○ 5,000N	○ 3,000N、　○ 5,000N
表面仕上材	○ 帯電防止床タイル ● タイルカーペット ○	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○	○ 帯電防止床タイル ○ タイルカーペット ○
備考			

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・寸法精度　：
⊠ 標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
○ 以下による
パネルの長さ　(　　)
パネルの平面形状（角度）　(　　)
フリーアクセスフロアの高さ　(　　)
・帯電防止性能　：● 評価値（U値）≧0.6以上　○ 評価値（U値）≧1.2以上
・感電防止性能　：● 漏えい抵抗（R）≧1×10^6Ω
・配線用取り出しパネル　：
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　●20～30パーセント
配線取り出し開口　●パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1か所以上
・空調用吹き出し（吸い込み）パネル　：　● なし　○ あり（形式、施工箇所：図示）
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　●20～30パーセント
メーカー　　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

● 2. 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	○ スタッド式（内蔵）、 ○スタッド式（露出）、 ○ パネル式 ● スタッドパネル式
構成基材の種類	スタッド パネル
表面仕上げ材 （パネル表面仕上げ）	● メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付、 ○ 壁紙張り ● 粉体焼付塗装（木目及び同系色）
遮音性(dB/500Hz)	○ 0、 ○ 12、○ 20、○ 28、○ 36
防火性能	● 不燃、○
厚さ	● 図示
材質	● 鋼板

・パネル内に取付ける建具　：　○ あり（⊠ 図示、 ○　　）、 ○ なし
・ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし　：
⊠ 標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質
・表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能　：
● 標準仕様書19章による
・パネル材のホルムアルデヒド放散量　：● F☆☆☆☆
○ (　　)

○ 3. 移動間仕切

(20.2.4)

走行方法	○ 平行方向移動式、 ○ 二方向移動式	
操作方法による種別	○ 手動式、　○ 電動式、 ○ 部分電動式	
圧接装置の操作方法	○ プッシュ式、○ ハンドル式、○	
総厚さ(mm)		
パネル表面材	材質	○ 鋼板、　○
	仕上げ	○ 焼付塗装、 ○ 壁紙張り、 ○
遮音性(dB/500Hz)	○ 36未満、　○ 36以上	

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能　：　標準仕様書19章による
・ハンガーレールの取付け下地の補強　：
⊠ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
○ 図示
・パネルをランナーに取り付ける部品　：
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
○ (　　)
・ハンガーレール　：
⊠ ランナーを取り付けた状態で、パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする
○ (　　)
・ランナー　：
⊠ パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする
○ (　　)

● 4. トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類		● メラミン樹脂系化粧板、　○ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部	形状	● 幅木タイプ、　○
ドアエッジ	材質	● アルミニウム製、 ○ ステンレス製、 ○ 表面材と同材　、⊠　製造所の仕様
	形状	○ 標準、● Rｶｯﾄ

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・パネル材のホルムアルデヒド放散量　：● JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上
○ (　　)

● 5. 手すり

(20.2.6、12)

材料の種類及び仕上
：● ステンレス製　SUS304（表面処理　●HL程度、○ (　　)）
：● 鋼製　　（表面処理　●溶融亜鉛めっき（図示）
：○ アルミニウム　表面処理（ ⊠標準仕様書 表14.2.1による種別（　　種）
色合等　○ 標準色（　　）　　○ 特注色（　　）
：● 樹脂製（アルミ芯材）
・手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
○ 集成材 （材種：　　）	○ クリアラッカー ○	○ 30、○ 35、 ○ 45		
○ ビニル製ハンドレール		○ 30、○ 35、 ○ 45		
● ステンレスパイプ	● HL	● 図示	屋外	
● 樹脂製（アルミ芯材）		● 40	階段、ｽﾛｰﾌﾟ	
● 鋼製パイプ	● 溶融亜鉛メッキ	● 図示	水槽、屋上 ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用	

● 6. 階段滑り止め

(20.2.7)

材種		● ステンレス製、　○ 黄銅製押出型材、　○ アルミニウム製押出型材、 ○ (　　)
滑り止め材	形状	● タイヤ型、　○ タイヤレス型
	材質	○ ゴム　、 ○ 合成樹脂、　○ (　　)
取付け	工法	● 接着工法、　○ 埋込み工法
	寸法(幅)(mm)	● 35　○ 40　○ 50
	端部フラットエンド	● あり、　○なし

● 7. 黒板及びホワイトボード G

(20.2.9)

● 黒板	区分	● 焼付け　、○ (　　)
	種類	⊠ ほうろう黒板、 ○（ 鋼製黒板　）
	色	● 緑（上げ下げ式）、○ (　　)
○ ホワイトボード		

○ 8. 鏡

(20.2.10)

取付箇所	
寸法(mm)	○ 図示、○
厚さ(mm)	⊠ 5　、○

● 9. 表示

(20.2.11)

・衝突防止表示　：
設置場所　● 図示　○ (　　)
形状、寸法　○ 30φ　　、● 図示
材質　　○ ステンレス製、○ (　　)
・案内用図記号　：JIS Z 8210による
・誘導標識、非常用進入口等の表示　：● 消防法に適合する市販品、○ (　　)
・室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)：● 図示による
・その他の表示　：　図示による

● 10. タラップ

(20.2.12)

・材質及び仕上げ　：●ステンレス製　SUS304（スリップ止め加工　⊠あり、○なし　）
○鋼製　　（表面処理　○ 溶融亜鉛めっき種別（　　））

○ 11. 煙突ライニング

(20.2.13)

・適用安全使用温度　：○ 400℃、○ 650℃、　○ (　　)
・工法
⊠ 鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
○ (　　)

● 12. ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ボックスレールの材種
● 横形	● 手動	● ギヤ式 ○ コード式 ○ 操作棒式	● アルミニウム合金製 G ○	● 25 ○	● 鋼製 ○
	○ 電動	ー			
縦形	○ 手動	⊠ 2本操作コード式 ○ 1本操作コード式	○ アルミスラット ○ クロススラット ○	○ 80 ○ 100 ○	⊠ アルミニウム合金製
	○ 電動	ー			

・縦型ブラインドのスラットの材質　：
○ アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
○ クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、G とする
・寸法、取り付け箇所　：● 図示、○ (　　)
・幅・高さ　：⊠　図示　　○ (　　)

● 13. ロールスクリーン G

(20.2.15)

操作方式	● スプリング式、 ○ コード式、 ○ 電動式
幅、高さ	● 図示、○
材種　　：　：	● ガラス繊維製、 ○ 合成・天然繊維製、 ○
品質等	
その他の材料	⊠ ロールスクリーンの製造所の仕様、○

・スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

● 14. カーテン

(20.2.16)

形式	● シングル、 ○ ダブル ○ 片引き　、 ● 引分け
開閉操作	● 手引き　、 ○ ひも引き ○ 電動
ひだの種類	● つまみひだ　（二つ山ひだ） ○ 箱ひだ、片ひだ ○ プレーンひだ
生地の種別、品質、特殊加工等	● ポリエステル（防炎） ● ガラス繊維（不燃）
取付箇所	● 図示　、 ○　　○ 図示　、 ○
備考	（暗幕）

・生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
・ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、G とする
・暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　：
● 300mm以上、 ○(　　)
・カーテン付属物　フック（ひるかん）
⊠ 鋼製　○樹脂製

● 15. カーテン及びカーテンレール

(20.2.16)

材料による区分	⊠ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ● ステンレス製
強さによる区分	● 10-90　、○
仕上げ	⊠ アルマイト、 ○
形状	⊠ 角形　、○

● 16. ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm)	○ 90×150、 ○ 120×80、 ○ 120×150、 ○ 150×80、 ● 図示
材質	● 集成材（仕上げ：UC塗装　　） ○ アルミニウム製　押出し型材（市販品） 種別（標準仕様書 表14.2.1）○ BC-1種、 ○ BC-2種 色合い　○ 標準色（　　）、○ 特注色（　　） ● 鋼製　（仕上げ：硬質塩ビシート（木目）貼り　　）

● 17. 天井点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
● アルミニウム製	● 450×450 ● 600×600	● 一般形	● 屋内外用 ● 屋内用	● 額縁タイプ ○ 目地タイプ	● 額縁タイプ ○ 目地タイプ
●超軽量天井専用	● 600×600	○			

（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

● 18. 床点検口

材種	寸法	形式	備考
● アルミニウム製 ○ ステンレス製 ○ 鋼製	○ 450×450 ● 600×600 ○	○ 一般形 ○ 密閉形 ● 防水構造	○ 屋内外用 ● 屋内用	● 鍵付き ○

密閉形とはボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による

● 19. 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
● 垂直方向 ● 水平方向	● 図示 ○	● 完全（全貫通型） ○	● 耐火型 ○ 非耐火型	● 有り ○ 無し	

・目地　：

目地	内壁	外壁
目地材	● シーリング材(見え掛かりのみ) ○	○ シーリング材(見え掛かりのみ) ○ シーリング材（内外とも）
目地寸法 （幅mm×深さmm）	○ スリット幅×10 ● 幅25×深さ10	○ スリット幅×10 ○

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

● 20. 止水板

形状	○ 差込式、 ○ 据置式、 ●壁張り式
施工箇所	○ 図示　、 ○

● 21. エキスパンションジョイント金物

○ 施工箇所	
材質	● アルミニウム製（廊根）、 ステンレス製、 ●鋼製製（外壁）
建築物間のクリアランス(mm)	○ 50、 ○100、 ○ 150、 ● 図示
変位追従量(mm)	避難経路の床等　　以上、その他　　以上
耐火性能	● 有り、（　　）、○ 無し
断熱性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
備考	
○ 施工箇所	
材質	○ アルミニウム製、○ ステンレス製、● スチール（床）
建築物間のクリアランス(mm)	○ 50、 ○100、 ○ 150、 ● 図示
変位追従量(mm)	避難経路の床等　　以上、その他　　以上
耐火性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
断熱性能	○ 有り、（　　）、○ 無し
備考	

外部に設置するものは防水型とする
エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる

○ 22. くつふきマット

材種	受け枠	備考
○ 塩化ビニル又はゴム製 ○ 硬質アルミニウム合金製 ○ ステンレス鋼（SUS304）製 ○	○ ステンレス鋼（SUS304） ● 硬質アルミニウム合金 ○	

● 23. 視覚障害者用床タイル

材料等

施工箇所	種類	寸法（mm）	厚さ（mm）
屋内	●塩化ビニル製	○300×300	○7.0
	○セラミックタイル（Ⅰ類） ○セラミックタイル（Ⅱ類）	○300×300	
	○レジンコンクリート製 ○コンクリート製	○300×300	
屋外	●磁器質タイル（Ⅰ類） ○せっ器質タイル（Ⅱ類）	○300×300	
	●レジンコンクリート製 ○コンクリート製	○300×300	

ブロックパターンは　JIS T 9251 による

株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　倡弘
構造設計一級建築士(第 6608号)　長坂　典和
設備設計一級建築士(第 753号)　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 6	縮尺 —	A-007
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(008/224)

20 ユニット及びその他の工事

● 24. 流し台ユニット

ユニット分類	寸法(mm) W	D	H	備考
○ 流し台	○ 1,200 ○ 1,500 ○ 1,800 ○	○ 550 ○ 600 ○ 650 ○	○ 800 ○ 850 ○	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
○ コンロ台	○ 600 ○	○ 550 ○ 600 ○ 650 ○	○ 620 ○ 670 ○	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
● つり戸棚	○ 1,200 ○ 900 ○	○ 450 ○	○ 500 ○ 700 ● 図示	市販品
○ 水切り	○ 1,200 ○ 900 ○ 600 ○	—	—	市販品 ステンレス製 ○ 1段式、○
● ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ	● 1,800 ● 2,100	● 650 ● 600	● 850 ● 850	● 図示 ● 図示

・品質・性能 : JIS A 4420による
・形状 : ☒ 図示、 ○(　　)

○ 25. 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
○ アルミニウム合金製 ○	○ テーパー式 ○ 同一断面式		○ ハンドル式 ○ ロープ式	○ 埋込式 ○ ベース式 ○ バンド式	

○ 26. 旗竿受金物

・材種 :○ ステンレス製 (SUS 304) 、○(　　)

○ 27. 車止め支柱

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
○ 上下式鎖内蔵式	○ 標準品 ○ スプリング式	○ ステンレス製 ○		
○				

● 28. フェンス

フェンスの種類	○ ビニル被覆エキスパンドフェンス、● 樹脂塗装メッシュフェンス ○ 鋼管フェンス、○ アルミフェンス、○ (　　)
高さ	● 図示、○

○ 28. プレキャストコンクリート　(20.3.3、4)

・コンクリートの設計基準強度 :
☒ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
○ 図示
・配筋 :
☒ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する、○ 図示
・取付け方法 :
☒ 図示、○(　　)

○ 30. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

材種	種類	質量区分	備考
○ 間知石	○ 花こう岩 ○ 凝灰岩	—	—
○ コンクリート間知ブロック	—		○ A ○ B

・積み方 : ☒ 谷積み、 ○ 布積み
・目塗り : ○ 図示 、 ○ (　　)
・伸縮調整目地 : 材種 ○ 図示、○ (　　)
厚さ ○ 図示、○ (　　)

○ 31. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
○ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	○ 1種、 ○ 2種、 ○ 3種
○ 鋼製物品棚		○ 4種、 ○ 5種、 ○ 6種、 ○
○		

● 32. 屋内掲示板

・枠の材質 : ● アルミニウム製 、 ○(　　)
・表面の材質 : ● 塩ビ発泡シート張り、 ○(　　)

● 33. 洗面カウンター

・材種 : ○ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）、● 人工大理石
・奥行き(mm) : ○ 約 450、○ 約 600、● 500
・仕様 : ○ 扉及び中棚付、 ○ オープン、 ● ケンドン式パネル

○ 34. 防煙垂れ壁

・固定式 :

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
☒ 網入り磨板ガラス ○ 線入り磨板ガラス	☒ 6.8 ○	☒ 500 ○	アルミ製枠付き

・可動式 :

種類	材質	高さ(mm)	備考
○ 垂直降下式（巻取り型）	不燃布（不燃認定品）	☒ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ☒ 固定式（壁埋込型） ○ 可動式（天井収納型）
○ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	☒ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ☒ 天井材張り ○

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

○ 35. 屋外掲示板

・照明器具 : ☒ 有り、 ○ 無し
・施錠 : ☒ 有り、 ○ 無し

● 36. 収納家具

・材質、形状、寸法 :
● 図示、 ○(　　)
・合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 :
● 「☆☆☆、 ○(　　)
・壁等に固定する家具 : ☒ 固定方法、寸法は家具表による ○下表による

家具名称	設置場所	固定方法	備考
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	
		○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）	

軽量鉄骨壁下地等への補強 ● 図示、○ (　　)
収納物の散乱防止措置（ラッチ機構、ロック機構等） 講ずる
地震力に対する安全性

設計用震度	性能
設計用水平震度（KH） ● 1.0 ○	設計用震度の地震による引抜き力に対して、固定金具に生じる応力度が所定の応力度内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。 ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用鉛直震度（KV） ☒ 0.5 ○	所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む）が定める値とする。

21 排水工事

● 1. 屋外雨水排水　(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

・排水管用材料 :

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	○ B形管 ○	☒ 図示、○	
● 硬質ポリ塩化ビニル管	○ RF-VP ㊟		☒ 図示、○	
	○ RS-VU ㊟		☒ 図示、○	
	● VP		● 図示、○	
	○ VU		☒ 図示、○	
● 遠心高強度成形パイプカルバート			● 図示	

・基床の厚さ及び種類 : ● 図示、○ (　　)
・硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 : ☒ 接着剤、 ○ ゴム輪
・側塊の形状及び寸法 : ● 図示、○ (　　)
・排水桝、ふたの種類 : ● 図示、○ (　　)
・砂地業に用いる材料 (6.4.2(2)) :
○ シルト、 ○ 山砂、 ○ 川砂、 ● 砕砂
・砂利地業に用いる材料 (6.4.2(1)) :
● 再生クラッシャラン ㊟、 ○ 切込砂利、 ○ 切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート :
種類 ※ 普通コンクリート、○ (　　)
設計基準強度 ※ 18N/mm2、○(　　)
スランプ ※ 15cm又は18cm、○ (　　)
・現場打ちの場合の鉄筋 :
種類の記号 ※ SD295A、 ○(　　)
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物 :
材料 ☒ 標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)による
(材質 ○ ステンレス製、 ○ 鋼製、 ○ 合成樹脂被覆加工されたもの)
○ (　　)
・凍上抑制層の厚さ : ○ 図示、 ○ (　　)
・凍上抑制層に用いる材料 : ○(　　)
(砂を用いる場合の砂の粒度試験 ○行う、 ○ 行わない)

○ 2. 鋳鉄製ふた　(21.2.1)

・鋳鉄製マンホールふた :

種類	適用荷重	鍵	備考
○ 水封形 ○ 簡易密閉形（パッキン式） ○ 密閉形（テーパ・パッキン式） ● 中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ○	○ T-2 用 ○ T-6 用 ○ T-20用 ○	○ 有り ○ 無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

● 3. グレーチング　(21.2.1)

・鋼製 :

形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
● 受枠付き、ボルト固定 ○	○ 溝ふた（横断用） ○ 溝ふた（側溝用） ● 桝ふた用 ● U 字溝用	● 歩行用 ○	○ 細目 ● 普通目		● 凹凸形 ○
		○ T- 2用 ● T- 6用 ● T-14用 ● T-20用	● 普通目 ○ 細目		● 平形 ○

・ステンレス製 :

形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
● 受枠付き、 ○	○ 溝ふた（横断用） ○ 溝ふた（側溝用） ● 桝ふた用 ○ U 字溝用	○ 歩行用 ○	—	—	○ 凹凸形 ○
		● T- 2用 ○ T- 6用 ○ T-14用 ○ T-20用	● 細目	—	○ 平形 ○

（品質・性能及び試験方法） 建築材料等品質性能表による

● 4. 街きょ、縁石、側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

・街きょ、縁石、側溝 :

種類	形状、寸法
● 縁石	● 図示、○
● L 形側溝	● 図示、○
● U 形側溝	● 図示、○
○ U 形側溝ふた	☒ 図示、○
● 自由勾配側構	● 図示、○

・砂地業の材料 :
○ シルト、 ○ 山砂、 ○ 川砂、 ○ 砕砂
・砂利地業に用いる材料 :
● 再生クラッシャラン ㊟、 ○ 切込砂利、 ○ 切込砕石
・砂利地業の厚さ :
☒ 100 (mm) 、 ● 図示
・現場打ちの場合のコンクリート :
種類 ※ 普通コンクリート、○ (　　)
設計基準強度 ※ 18N/mm2、○(　　)
スランプ ※ 15cm又は18cm、○ (　　)
・現場打ちの場合の鉄筋 :
種類の記号 ※ SD295A、 ○(　　)
・凍上抑制層の厚さ : ○ 図示、 ○ (　　)
・凍上抑制層に用いる材料 : ○(　　)
(砂を用いる場合の砂の粒度試験 ○行う、 ○ 行わない)

● 5. 埋戻し土　(21.2.1)

・埋戻し土 : ● B種（標準仕様書表3.2.1）、○ (　　)

22 舗装工事

● 1. 路床　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

・路床の材料 :

種別	材料	厚さ(mm)
○ 盛土	○ A種、 ○ B種、 ○ C種、 ○ D種 ○ 建設汚泥から再生した処理土 ㊟	○ 図示 ○
○ 凍上抑制層	○ 再生クラッシャラン ㊟、 ○ クラッシャラン ○ 切込み砂利 ○ 砂（標準仕様書表21.2.2による） ○	○ 図示 ○
○ フィルター層	○ 砂（標準仕様書表22.2.3(3)による） ○	○ 図示 ○

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う
・行わない
●路床安定処理 :
安定処理の方法 ○ 置き換え工法、○ 安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類 ● 普通ポルトランドセメント、 ○ 高炉セメントB種 ㊟
○ フライアッシュセメントB種
○ 生石灰（ ○ 特号、 ○1号 ）、 ○ 消石灰（ ○ 特号、 ○1号）
○ 固化剤（ ○ セメント系、 ○ 石灰系）
添加量 (100kg/m3（目標CBR ㊟以上、 ○))
・路床置換処理 :
置換厚 ☒ 図示、○ (　　)
置換材料の種類、品質 ☒ 図示、○ (　　)
・不織布（ジオテキスタイル） :
単位面積質量 ○ 60g/m2以上 、○ (　　)
厚さ(mm) ○ 0.5～1.0 、○ (　　)
引張強さ ○ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上、○ (　　)
透水係数 ○ 1.5×10-1cm/sec以上 、○ (　　)
・試験 :
路床土の支持力比（CBR）試験 ● 行う（　　箇所） 、 ○ 行わない
現場CBR試験 ● 行う（　　箇所） 、 ○ 行わない
安定処理土のCBR試験 ○ 行う 、 ○ 行わない
路床締固め度の試験 ○ 行う（　　箇所） 、 ○ 行わない
六価クロム溶出試験 ○ 行う 、 ○ 行わない

● 2. 路盤　(22.3.2、3、5)(表 22.3.1)

・路盤の構成及び厚さ : ● 図示、○ (　　)
・路盤材料の種類（標準仕様書表22.3.1による種別） :

砕石	○ クラッシャラン ○ 粒度調整砕石
再生材	● 再生クラッシャラン ㊟ ○ 再生粒度調整砕石 ㊟
鉄鋼スラグ	クラッシャラン鉄鋼スラグ ㊟ ○ 粒度調整鉄鋼スラグ ㊟ ○ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ㊟

● 3. アスファルト舗装　(22.4.2～6)(表22.4.4)

・アスファルト舗装の構成及び厚さ : ● 図示、○ (　　)
・舗装の平たん性 : ●通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)
・材料 :
アスファルト ● 再生アスファルト ㊟
（標準仕様書表22.4.1による種類 ○ 60～80、 ○80～100）
○ ストレートアスファルト
骨材 ○ 道路用砕石
● アスファルトコンクリート再生骨材 ㊟
・加熱アスファルト混合物の種類（配合は標準仕様書表22.4.4による） :
● 密粒度アスファルト混合物(13)
○ 細粒度アスファルト混合物(13)
○ 密粒度アスファルト混合物(13F)
・試験 :
アスファルト混合物等の抽出試験 ○行う、 ● 行わない

● 4. コンクリート舗装　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

・コンクリート舗装の構成及び厚さ :

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	● 車路、駐車場	● 図示、○	● 図示 ○
	● 歩行者用通路	● 図示、○	※ 70、 ● 図示

・舗装の平たん性 : ●通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)
・材料 :
コンクリート ● 普通コンクリートで標準仕様書表22.5.1による
○ 以下による
コンクリートの種類 (　　)
設計基準強度(N/mm2) (　　)
所定スランプ(cm) ☒ 8、○ (　　)
粗骨材の最大寸法(mm) (　　)
早強ポルトランドセメント ○ 使用する、 ○使用しない
注入目地材料 ● 低弾性タイプ、 ○高弾性タイプ
アスファルト乳剤 プライムコート(1.5L/m2)
目地 ● 標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による
○ 以下による
種類 (　　)
間隔 (　　m程度ごと)
構造 ○ 図示による、○ (　　)
鉄筋 ● 図示

○ 5. カラー舗装　(22.6.2～4)

○ 加熱系カラー舗装
構成及び厚さ ☒ 図示、○ (　　)
加熱系混合物結合材 ○ アスファルト混合物
○ 石油樹脂系混合物（顔料添加量 %）
添加材
着色骨材 (　　)
自然石 (　　)
○ 常温系カラー舗装
工法 ○ ニート工法、 ○ 塗布工法
着色部の下部 ○ アスファルト舗装、○ コンクリート舗装
・舗装の平たん性 : ○通行の支障となる水たまりを生じない程度、○ (　　)

22 舗装工事

○ 6. 透水性アスファルト舗装　(22.7.2、3、6)

・舗装の構成 : ☒ 図示、○ (　　)
・舗装の平たん性 : ☒ 著しい不陸がないもの、○ (　　)
・材料 : 骨材 ○ 道路用砕石
○ アスファルトコンクリート再生骨材 ㊟
（標準仕様書表22.4.1による種類 ○ 60～80、○ 80～100）
・試験 : 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 行う、 ○ 行わない
砂の粒度試験 ○ 行う、 ○ 行わない
○ 透水性コンクリート舗装 : (22.5.2～4.6)
コンクリート舗装に対する基準値

項目	基準値
最大粒径 (mm)	13
空隙率 (%)	20以上
透水係数 (cm/s)	0.01以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

構成、厚さはコンクリート舗装による
不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置 ☒ フィルター層と路床の間に敷設、 ○ 図示
透水性コンクリート平板舗装舗装 (22.8.2、3)
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による
透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3)
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

○ 7. 半たわみ性舗装

区分	種類	厚さ(mm)
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40

・試験 :
半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 行う、 ○行わない
・材料 :
浸透用セメントミルクの標準的な性状

項目	性状	試験方法
フロー値（Pロート）秒	10 ～ 14	舗装調査・試験法便覧 (C041)
圧縮強度（7日養生）MPa	9.8 ～ 29.4	JIS R 5201
曲げ強度（7日養生）MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧 (C042)

・配合 :
半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率（%）
19 mm	100
13.2 mm	95 ～ 100
4.75 mm	10 ～ 35
2.36 mm	5 ～ 22
600 μm	4 ～ 15
300 μm	3 ～ 12
75 μm	1 ～ 6
アスファルト量（%）	3.0 ～ 4.5

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

項目	基準値
密度 (g/cm3)	1.90以上
安定度 (kN)	2.94以上
フロー値 (1/100cm)	20～40
空隙率 (%)	20～28
突き固め回数 (回)	50

・施工 :
アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。
浸透用セメントミルクの施工は、(1) から (5) による。
(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。
(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラー等により行う。
(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。
(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下記に示すとおりである。

セメントミルクの種類	養生期間
普通タイプ	約3日
早強タイプ	約1日
超速硬タイプ	約3時間

(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥落や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的に注入前に交通解放は行わないようにする。

締固め度 標準仕様書22.4.2(2)による
舗装厚さの許容差 標準仕様書22.4.2(3)による
舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度

株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘
構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和
設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 7	縮尺 ー	A-008
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(009/224)

22 舗装工事

○ 8. 弾性舗装

・弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　：⊠ 図示、○（　　）

区分	種類	厚さ(mm)
表層	弾性塗装材	15～20
基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

● 9. ブロック系舗装　　(22.8.2、3)

● コンクリート平板舗装 G
構成および厚さ　⊠ 図示、○（　　）

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
● 普通平板(N)	● 300角	● 60	● 砂	表面加工
○ 透水性平板(P)	○	○	○ モルタル	○ 研ぎ出し
● 保水性平板(M)				○ 洗い出し
○				○ たたき出し

クッション材　　● 砂、○ 空練りモルタル
普通平板　　● 再生材料を用いた舗装用ブロック G
透水性平板　　※ 透水性コンクリート G
仕上り面の平たん性　● 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする
○（　　）

○ インターロッキングブロック舗装 G
構成および厚さ　●　図示、○（　　）

種類	部位	厚さ(mm)	形状寸法	横断面勾配	曲げ強度(N/mm²)	備考
※ 普通ブロック(N)	車路、駐車場	※80	○ 図示	2%	5.0以上	表面加工
○ 透水性ブロック(P)		○				
○ 保水性ブロック(M)						
※ 普通ブロック(N)	歩行者用通路	※60	○ 図示	1.5～2%	3.0以上	表面加工
○ 透水性ブロック(P)		○				
○ 保水性ブロック(M)						

歩行者用通路に使用する普通ブロック　※　再生材料を用いた舗装用ブロック G
透水性ブロック　　⊠ 透水性コンクリート G
舗装の割付（車路、駐車場）　○ ヘリンボンボンド(45°)、○ ヘリンボンボンド(90°)
仕上り面の平たん性　※ 走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする
○（　　）

区分	部位	厚さ(mm)	種類
敷砂層	● 車路、駐車場	20	砂
	● 歩行者用通路	30	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）

○ 舗石舗装（歩行者用通路）
構成および厚さ⊠　図示○（　　）

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
○ 花崗岩	○ 割石○図示		○ うろこ張り	○ コンクリート版	⊠ 70、○
○	○		○	○ アスファルト混合物	⊠ 50、○

クッション材　　⊠ 砂、● 空練りモルタル
仕上り面の平たん性　⊠ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内
○（　　）

● 10. 砂利敷き　　(22.9.2)

・種別　：
● A種（施工範囲　○ 図示、○通路、○　　）
● B種（施工範囲　○ 図示、●建物周囲他、○　　）

● 11. 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備考
※ 3種1号	溶融	粉体状	● 白	○ 150	○ 1.0	
○ 1種 G	常温	液状	○	○ 100	○	
● 2種 G	加熱			● 200		

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

23 植栽及び屋上緑化工事

● 1. 植栽地の確認等　　(23.1.3)

・土壌の水素イオン濃度（pH）試験　：○ 行う、● 行わない
・電気伝導度（EC）の試験　　：○ 行う、● 行わない

● 2. 植栽基盤の整備　　(23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備　（○ 適用する　○ 適用しない）

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
● 樹木	● A種	樹高12m以上（● 100、○120、○ 150）	○ 葉張り部分	○ 適用する
	○ B種	樹高7m以上～12m未満（● 80、○100）	● 植栽部分	
	● C種	樹高3m以上～7m未満（● 60、○ 80）	○ 図示	○ 適用しない
	○ D種	樹高3m未満（● 50、○ 60）		
		● 図示		● 図示
※ 芝、地被類	※ B種	※ 20	○ 植栽部分	○ 適用する
	○	○	○ 図示	○ 適用しない

植栽基盤の排水設備　（● 設ける（⊠図示　○　　）○設けない）
・植込み用土　：● 現場発生土の良質土、● 客土　　(23.2.3)
・土壌改良材　：　　(23.2.3)
　パーク堆肥 G
　施工箇所　⊠植栽範囲、○ 図示
　使用量　　植栽基盤面積1㎡あたり（ ○ 50L、○　　）
　汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
　施工箇所　⊠植栽範囲、○ 図示
　使用量　　植栽基盤面積1㎡あたり（ ○ 10L、○　　）
　材料
　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

● 3. 樹木　　(23.3.2)

・樹種、寸法、株立数等　：● 図示、○（　　）

● 4. 支柱　　(23.3.2、3)

・支柱材　　：⊠ 丸太（間伐材）G、○ 真竹、○（　　）
・防腐処理方法　：⊠ 加圧式防腐処理丸太材、○（　　）
・形式　　：● 図示、○（　　）

○ 5. 幹巻き用材料　　(23.3.2)

・材料　：⊠ 幹巻き用テープ、○ わら及びこも

○ 6. 芝　　(23.4.2、3)

・種類　　：⊠ コウライシバ、○ノシバ、○（　　）
・芝張りの工法　：平地 ⊠ 目地張り、○ べた張り
　法面 ⊠ べた張り、○ 目地張り

○ 7. 吹付けは種　　(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考
⊠ 洋芝類（採取後2年以内）	⊠ 発芽率80%以上		
○			

○ 8. 地被類　　(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数

● 9. 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置　　(23.3.4、6)(23.4.7)

・新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　：
　● 引渡しの日から 1年、○ 無し、○（　　）
・移植樹木の枯損処置を行う期間　：
　● 引渡しの日から 1年、○ 無し、○（　　）

○ 10. 屋上緑化 G　　(23.5.2～4)

・植栽基盤及び材料　：
　○ 屋上緑化システム
　土壌層の厚さ　○ 図示、○（　　）
　排水層　　○ 軽量骨材（層の厚さ：　　）、○ 板状成型品
　植込み用土　⊠ 改良土、○ 人工軽量土
　樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ⊠ 図示、○（　　）
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　⊠ 図示、○（　　）
　（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
　○ 屋上緑化軽量システム
　樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ⊠ 図示、○（　　）
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　⊠ 図示、○（　　）
　（品質・性能及び試験方法）　建築材料等品質性能表による
・工法　：　　(23.5.4)
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ○ 1、○1.15、○1.3）倍の風圧力に対応した工法
　支柱　　○ 設置する（形式　⊠ 図示、○　　）
　かん水装置　○ 設置する（種類　⊠ 図示、○　　）

メーカー・製品リスト　参考型番等

・不燃断熱材現場吹付工法一厚さ15㎜、SKダンセラボン＃２５同等品

・タイル
外部階段　段鼻タイル一品番：KN-3、INAX同等品　実寸法：150×60mm厚さ：10.0mm
外部地流し立上り・笠木　磁器質タイル 50角―47×47×7、INAXブレインS0程度
外部3階ポーチ床　磁器質タイル舗装一磁器質300角、t9程度、施釉、INAXアレス同等品
内部床　3階昇降口床　磁器質タイル張り一同上

・内部階段、スロープ手摺　樹脂（芯材アルミ）製40φ一ナカ工業、0-40type同等品

・保健室地流し一ステンレス排水ユニット（樹脂すのこ共）一シマブン樹脂すのこユニット SUGRA+防水マスHRZH-53110同等品

・外部、SUS深型フードガラリ
スギカウ　SPFG-C・SPFG-CDSP（排気用）150φ、脱着式ガラリ付き指定色

・外付けブラインド
電動ケーブル連窓タイプ、ロールスラット80W、L字頂部カバー、ｵｽﾓ、ｴｰﾃﾞﾙ-ﾍﾞﾏｰﾙ同等品

・法面保護、間伐材利用分解型植生シート張り
日本植生、張りウッド同等品

・アクリル樹脂塗床材
ABC商会　薄膜型彗星アクリル樹脂系防塵塗料カラートップA同等品

・浸透性塗布防水
ケイ酸質系塗布防水　JASS&M-301　C-SUP仕様

・水槽用塗膜防水
ポリマーセメントモルタル保護材仕様（パラテックスB-2同等）

・超速硬化ウレタン防水
ダイフレックス　UMP-10工法

・撥水材塗布
アクリルシリコン、3分艶　SK化研、セラミクリートSI同等品

・化粧蓋650角　排水スリット付き（新渡り廊下に設置）
ステンレス製　歩行用　カネソウ　SSBW-M同等品

・セラミック混入木繊板（断熱材兼用残置型枠）
ミヒロ　MKﾎﾞｰﾄﾞ同等品

別記1 建設副産物の処理

1. 共通事項
1)「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」を準用し、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を建設副産物情報交換システム（COBRIS）により作成し、施工計画書に含め、各1部提出すること。
また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後 1年間保存しておくこと。
・作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100 万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基き、建設副産物の処理に先立ち「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約書を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。

3)建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の D票及び E票を提示すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。

4)以下の項目の数量については、積算のための参考数量を示す。

2. 建設発生土
○ 指定(A)（工事間流用）の場合
本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。

搬出先（相手先工事名、場所等）	工事（　　市　　町地先）
土質及び処理量	第　種建設発生土　　m3
搬出時期	年　月 ～　年　月

なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。
○ 指定(A)（その他）の場合
建設発生土（　　m3）は、（　　）地先に搬出するものとする。
なお、詳細については監督職員の指示によること。
● 指定(B)の場合
建設発生土（ 2,980　m3）は、（　　19.4km　　）先に搬出するものとする。

1) 上記、指定(A)及び指定(B)については、「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」による。
2) 建設発生土を搬出又は搬入する場合は「建設発生土管理基準」に基づき「建設発生土の管理調書」を作成・保管する。
3) 建設発生土に係る留意事項
・利用先の確保
他の工事現場での利用を促進するため、ストックヤード、土質改良プラント及び「建設発生土情報交換システム」を積極的に活用し、利用先の確保に努める。
・中間処理施設の選定
中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の残土と混ざらないようにいかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて、総合的に判断する必要がある。
また、リサイクル原則化ルールに基づき、「建設副産物情報交換システム -COBRIS- 」(JACIC)の登録処理業者を活用して、50km範囲で検索する。
・品質・安全性の確保
処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。
・一時保管
利用先との工程調整のため一時保管する場合には廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。

3. 路盤廃材

	数量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備考
● 路盤廃材	45.3 m3	都市町	4.3 km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	

4. 建設廃棄物等

	数量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備考
● コンクリート塊（無筋）	24.2 m3	都市町地先	4.3 km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● コンクリート塊（二次）	1.9 m3	都市町地先	4.3 km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● アスファルト塊	50.7 t	都市町地先	9.8 km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ その他がれき類	m3	都市町地先	km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 廃プラスチック	0.2 m3	都市町地先	4.3 km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 金属くず	11.0 m3	都市町地先	4.3 km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● ガラスくず	0.3 m3	都市町地先	4.3 km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 木くず	34.7 m3	都市町地先	4.3 km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 廃石膏ボード	1.5 m3	都市町地先	12.4 km	● 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 混合廃棄物	2.1 m3	都市町地先	4.3 km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○		都市町地先	km	⊠ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● 建設汚泥	1,889 m3	都市町地先	5.3 km	⊠ 中間処理場 ● 最終処分場	
○ カッター汚泥		都市町地先	km	○ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○ 廃石綿		都市町地先	km	○ 中間処理場 ○ 最終処分場	
○		都市町地先	km	○ 中間処理場 ○ 最終処分場	
● スクラップ控除	2.0 t		km	⊠ 有価物処理	

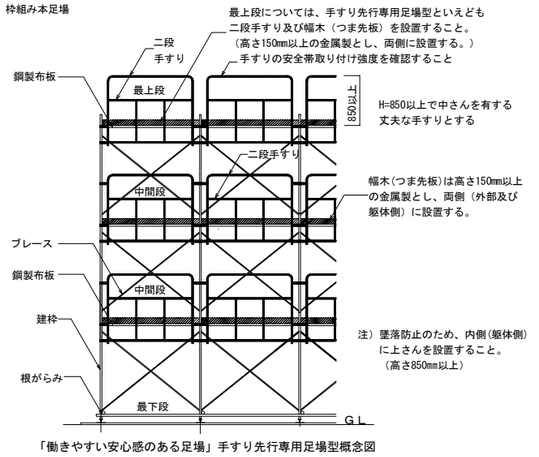
工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

別記2 工事区分

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部		はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	⊠	○	○
			スリーブ、型枠	○	⊠	⊠
		埋込形（分電盤、端子盤、プルボックス）	鉄筋補強	⊠	○	○
		風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口、換気扇、大便器等	スリーブ、型枠	○	⊠	⊠
		軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込み	補強とも	⊠	○	○
			補強のない場合	○	⊠	⊠
		スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		⊠	⊠	⊠
		鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ（工場加工）		⊠	○	○
基礎	屋内	配電盤、制御盤、発電機、キュービクル、	躯体と一体のもの	⊠	○	○
		受水槽、サービスタンク	上記以外	○	⊠	⊠
	屋外	配電盤、制御盤、キュービクル、	鉄筋基礎	○	○	○
		受水槽、消火水槽	無筋基礎	○	○	○
	屋上	テレビアンテナ、避雷針、	躯体と一体のもの	⊠	○	○
		高架水槽、クーリングタワー、消化栓補給水槽	上記以外	○	⊠	⊠
		架台、アンカーボルト		⊠	○	○
点検口		床、壁、天井		⊠	○	○
		配線ピット、トレンチピット		○	⊠	○
		その他		○	○	○
配管配線		機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	○	⊠	○
			二次側	⊠	⊠	⊠
		制御盤と動力盤の間（接地とも）	電源供給	○	⊠	○
			操作 配管	○	○	○
			回路 配線（　）	○	○	○
		天井吊り型FCU 及び全熱交換形換気扇（接地とも）	電源供給	○	⊠	○
			操作 配管	○	○	○
			回路 配線（　）	○	○	○
		煙感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管		○	○	○
防油堤				⊠	○	○
インサート、吊りボルト（設備機器、器具、背反、ダクト用）				○	⊠	⊠
インサート、吊りボルト（天井）				⊠	○	○
換気扇枠				○	○	○
外部取り付けガラリ（ダクト、チャンバー接続用フランジを含む）				⊠	○	○
				○	○	○
				○	○	○
				○	○	○
				○	○	○

仮設足場（参考）

枠組み本足場



「働きやすい安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士(第 6608号)　長坂　典和
設備設計一級建築士(第 753号)　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	特記仕様書 8	縮尺	―
	船橋市建設局建築部建築課		A-009
		令和7年度	(010/224)

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
9 防水工事	1 アスファルト防水	乾式保護材	・乾式保護材： 窯業系パネル　無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの 金属台板　　金属板と樹脂を積層一体化したもの ・品質・性能： 分類・規格：窯業系パネルⅠ類（耐衝撃性に優れ、また寒冷地仕様）／窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）／金属複合板 寸法の許容差：厚さ　+10%、-5%、幅　±1% 外観：割れ、貫通、き裂がない。異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。 含水率：出荷時において10%以下／ー 曲げ強さ・曲げモーメント（N・cm）（スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）：標準時　550N・cm以上／450N・cm以上／300N・cm以上 凍結融解完了時（試験サイクル数）　400N・cm以上（300）／320N・cm以上（200）／250N・cm以上（300） 吸水率(%)：20以下／20以下／1以下 吸水による長さ変化率(%)：0.07以下／0.07以下／0.01以下 難燃性：不燃／不燃／表面材は不燃 耐凍結融解性能：300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。／300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。／300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。） 耐衝撃性能：質量1.000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。／ー／質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下 剛性(E×I)（スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性）：ー／ー／80,000N・cm2以上 ・試験方法　： 1)寸法の測定方法 厚さ　供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 幅　供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央 1箇所の幅寸法を、JIS B 7512 「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516 「金属性直尺」に規定する目量が 1mmの1級直尺を用いて測定する。 2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前と、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。） なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 5)吸水による長さ変化率試験は、試験体（幅40mm×長さ160mm×素材厚さ）を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。 その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。 次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。 24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率　(ΔL)は、次式によって求める。 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 * 100 ΔL　吸水による長さ変化率(%)、L1　乾燥時の標線間の長さ(mm)、L2　吸水時の標線間の長さ(mm) 6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。 100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。） 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。 試験体の支持装置は、記号S2対 辺単純支持方法による。 試験体の大きさは、4号（長さ400mm、幅300mm）とする。おもりは、鋼製のなす形おもり又は球形おもりとし、記号（W1-1000）、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。
11 タイル工事	2 セメントモルタルによるタイル張り	既調合モルタル	・既調合モルタル　： モルタルを下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・品質・性能　： 項目／品質・性能：安定水率／70.0　%以上；単位容積質量／1.80 kg/L以上；接着強さ　標準時／0.60 N/mm2以上；接着強さ　温冷繰り返し後／0.40 N/mm2以上；長さ変化率／0.20 %以下；曲げ強さ／4.0　N/mm2以上 ・試験方法　： 1)試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 2)保水率の試験方法 JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定するろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ 3mm）を設置し、1)で調製した試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50/平均値*100　　（注）50 リング型わくの内径(mm) 3)単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 4)接着強さ（標準時）の試験方法 イ)適用タイルが「モザイクタイル」の場合 （試験体の作製） JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1 規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル（外のりサ寸法約 300mm*300mm）」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法） JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 また、試験後の剥材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T　タイルの母材破断 TM　既調合モルタルとタイルの界面破断 M　既調合モルタルの母材破断 MG　既調合モルタルと下地板の界面破断 G　下地板の母材破断 （なお、標準時の接着強さは、抜き取った試験片5箇所とも全て0.6N/mm2以上を確保していること。） ロ)適用タイルが「小口タイル、二丁掛けタイル」の場合 （試験体の作製） JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1 規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに1)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形のⅠ類（施ゆう）「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法） 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 5)接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法 （試験体の作製） 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々「4)接着強さ（標準時）の試験方法」の「試験体」と同様とする。 （温冷繰返し試験） 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」に規定する7.10温冷繰返し試験に準じて行う。試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目視によって調べる。 （温冷繰返し後の接着強さ試験方法） 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。 なお、温水繰返し後の接着強さは、抜き取った試験片5か所とも全て0.4N/mm2以上を確保していること。 6)長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 7)曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 （試験室の状態　試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。）
既調合目地材			・品質・性能　： 項目／品質・性能：保水率／30.0　%以上；単位容積質量／1.80 kg/L以上；長さ変化率／0.20 %以下（収縮）；吸水量／50　g以下 ・試験方法　： 1)試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 2)試料の調整 正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。 3)保水性（ろ紙法） JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦200mm、横200mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定するろ紙（直径18.5cm）をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率(%) = 50/平均値*100　　（注）50 リング型わくの内径(mm) 4)単位容積質量 2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。 5)長さ変化率 2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。 6)吸水量 2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
15 左官工事	1 モルタル塗り	防水剤	・品質・性能　： 項目／品質・性能：防水剤の種別／建築用のモルタルに用いるセメント防水剤；混合割合／セメント重量の5%以下；凝結及び安定性／凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内／安定性　収縮性、膨張性のひび割れ及びそりがない；曲げ及び圧縮強度比／防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比　70%以上；吸水比／防水剤を混入したもの、しないものの吸水比　95%以下；透水比／防水剤を混入したもの、しないものの透水比　80%以下 ・試験方法　： JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による。ただし、透水試験における水圧は、3.0×105Paとし1時間行う。
16 建具工事	11 建具用金物	錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）	・品質　： デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 ・性能　： 使用頻度による性能：1)（シリンダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作及びラッチングが試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2)キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。（シリンダ本締り錠のみ）シリンダ単体の施解錠繰り返しの評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3)キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。 4)キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする。） 外力に対する性能：1)デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上 であること。 2)デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。 3)デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が6mm未満）にならないこと。 4)デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。 5)（シリンダ本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm 以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 使用扉の質量に対する性能（シリンダ箱錠のみ）：1)ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 2)レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 3)握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 4)ハンドルの引張強度試験(2KN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 5)ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。 鍵違い：1)鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。 2)同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。 ・試験方法　： JIS A 1541-1（建築金物-錠-第1部：試験方法）による。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
16 建具工事	11 建具用金物	クローザ類	・品質・性能　： 性能試験項目／区分／ドアクローザ／ヒンジクローザ／フロアヒンジ 初期値：閉じ力及び効率による区分（注1）（注2）：番号1：5以上／30以上／5以上／30以上／5以上／30以上 番号2：10以上／30以上／10以上／30以上／10以上／30以上 番号3：15以上／35以上／15以上／35以上／15以上／35以上 番号4：25以上／40以上／25以上／40以上／25以上／40以上 番号5：35以上／45以上／35以上／45以上／35以上／45以上 番号6：45以上／45以上／45以上／45以上／45以上／45以上 閉じ速度(秒)：常温(5～35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5～8秒に調整できること。 温度依存性(℃)：緩衝油の流動点は、JIS K 2269（原油及び石油製品の流動点並びに石油製品蓋り点試験方法）により測定し、-15℃以下であること。 ストップ力　ストップ入力：60 N・m以下 但しコンシールド型は 200 N・m以下／100 N・m以下／100 N・m以下 ストップ解除力：8 N・m以上／3 N・m以上／10 N・m以上 バックチェック性能(秒)（バックチェック機能を有する機種のみ適用）：ドア開扉方向に荷重60 N/mfを開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度（70～85°）から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。／－／－ ディレードアクション性能(秒)　ディレードアクション解除角度（60～75°）（ディレードアクション機能を有する機種のみ適用）：開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10 秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。／－／－ 戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用）：－／－／±3mm以内 耐久性　繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m)／繰返し開閉後の効率(%)／繰返し開閉後の閉じ速度(秒)／繰返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)：Grade2　耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後の閉じ速度(秒)：耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)：耐久試験後も上記初期値を満足していること。／－／－ 繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)：耐久試験後も上記初期値を満足していること。／－／－ 繰り返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)：－／－／耐久試験後±6mm以内 耐久性の試験回数（繰り返し開閉回数）：Grade 2　20万回／10万回／30万回 Grade1を選定する場合は、図示による。 注1.　パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2.　コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 ・試験方法　： 1)性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法-第3部　フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。 2)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。
14 自閉式上吊り引戸装置	自閉式上吊り引戸装置		・試験方法　： (1)耐久性（開閉繰り返し）試験 JIS A 5545(2011)「サッシ用金物」の7.1(戸車の試験)開閉繰り返しに準じる。ただし、閉については、外力によらず、試験体の自閉制装置及び御装置のみにより扉を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。 1)同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 2)適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとする。 3)その他の制御装置については、メーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認できるものとする。 (2)耐衝撃性試験 JIS A 1518(1996)「ドアセットの砂袋による耐衝撃性試験方法」に準じ、重量30kgの砂袋を用い落下高さ17cmで、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3)気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。
19 内装工事	13 現場発泡断熱材	断熱材	・品質・性能　： 項目／品質・性能：難燃性／下記のいずれかによっていること。1)JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。2)法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。／発熱性／準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の1)～3)に適合していること。1)総発熱量が8MJ/m2以下であること。2)防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。3)最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。 ・試験方法　： 1)原液試験（原液粘度試験） JIS K 7117-1「プラスチック　液状、乳濁状または分散状の樹脂　ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 2)発泡品試験 イ)試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 ロ)試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。 ハ)試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 ニ)試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 ホ)圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 ヘ)熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 ト)接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 チ)透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 3)難燃性試験 下記に規定する表面試験及び発熱性試験による。 イ)表面試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 ロ)発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建築材料等品質性能表 1	縮尺 ー	A-010
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(011/224)

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	1 フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	標準仕様書20.2.2によるほか以下とする。 ・性能　： 1)耐震性能 ｲ)固定台試験による耐震性能（設計床高さH=300mm超え、600mm以下の場合） | 項目 | 性能 | | ① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき | 水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上 | | ② 上記①以外の部分が耐力に達したとき | 水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上 | | ③ 適用地震時水平力を加えた時の支柱頂部の変位 | 構造床面からの高さの1/50以下 | ＜適用地震時水平力＞ ・3,000N 0.6Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数]×0.6 ・3,000N 1.0Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数]×1.0 ・5,000N 0.6Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数]×0.6 ・5,000N 1.0Gタイプ　支柱一本が負担する床加重[(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数]×1.0 ﾛ)振動台試験による耐震性能（設計床高さ≦300mmの場合のみ） パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、ゼリ上がり、隙間及び水平移動がない。 2)歩行感 通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない 3)メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている ・試験方法　： 1)耐震性能 ｲ)設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量　3000N 200kg、5000N 350kg 加振　0.6G：所定加速度600㎝/S2、1.0G：所定加速度1000㎝/S2 ﾛ)300mm＜設計床高さ≦600mmの場合 ①固定台による耐震性能試験 a. 支柱調整ボ－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1　又は、試験方法-2による。 b. 原則として、試験方法-1はパネル単体設置（Aタイプ）に適用し、試験方法-2はパネル連結設置（Bタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法-1 a. 試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品　種類 N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 b. 加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法-2 a. 試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品　種類 N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 b. 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800mm×800mmに荷重板荷重板3,200 N (5,000 N/m2相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程の水平力を加力した後、速やかに除荷して"0"にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 ﾊ)共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーペット、　繊維素材：ナイロン100%、　パイル携帯：ループパイル、パイル長：3.0mm～4.0m、　パッキング素材：塩化ビニル樹脂、全厚：6.0mm～7.0mm、単位質量：4.0kg/㎡～6.0kg/㎡、人体耐電圧：2KV以下
	3 移動間仕切	移動間仕切	標準仕様書表20.2.4によるほか以下とする。 ・品質　： 1)パネル（表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材）及びハンガーレール JIS A 6512「可動間仕切」の表9材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとする。 2)パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5.a) ～ c) による。 ・性能及び試験方法　： 1)パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 2)パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 3)耐衝撃性 質量50Kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 4)レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 5)吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60Kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 6)ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。 7)吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 8)遮音性能 遮音性試験はJIS A　6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 9)ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	4 トイレブース	トイレブース	標準仕様書表20.2.5によるほか以下とする。 ・品質・性能　： 1)付属金物 | 項目 | 品質・性能 | | ヒンジ ラッチセット | 耐触性のあるものとする。 | | 戸当り | 腐食の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。 | 2)外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 3)パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 | 項目 | 品質・性能 |	| | | 耐薬品性及び耐汚染性 | 耐引っかき性 | 開閉耐久性 | | メラミン樹脂系化粧板　及びメラミン樹脂系単一材 | JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性（B法）の規定を満足していること。 | － | JIS A 4702「ドアセット」9.4 開閉繰り返し試験によるスイングドア（開閉回数10万回）を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みのないこと。 | | 低圧メラミン樹脂系化粧板 | 下記項目のポリエステル樹脂系加工化粧合板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。 |	| | ポリエステル樹脂系加工化粧合板 | JAS「合板の日本農林規格」第9条（特殊加工化粧合板の規格）に示された耐汚染性B試験を満足していること。 | JAS「合板の日本農林規格」第9条（特殊加工化粧合板の規格）に示された耐引っかき硬度B試験を満足していること。 | | | ポリエステル樹脂系化粧MDF | JIS A 5905「繊維板」に規定する表18の化粧MDFの品質に適合していること。 |	| | ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード | JIS A 5908「パーティクルボード」に規定する表11の化粧パーティクルボードの品質に適合していること。 |	| ・試験方法　： 1)ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」の規定による。 2)戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2の規定による。
	11 煙突用成形ライニング材	煙突ライニング	・品質・性能　： | 種類 | ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 | | 加熱線収縮率 | 2.0%以下 | | 曲げ強度 | 0.8N/mm2以上 | | 圧縮強度 | 1.0N/mm2以上 | | スポーリング性 | 試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱落等がないものとする。 | | 透水性 | 試験体裏面に水滴が生じないものとする。 | | 耐酸性 | 試験体に形状変化が見られず、崩壊する危険性がないものとする。 | | 石綿 | 使用不可。 | | ライニング材とコンクリートの境界温度 | 100℃以下とする。 加熱線収縮率、曲げ強度、圧縮強度の確認は、社内試験成績書によることができる。 | ・試験方法　： 1)スポーリング性試験 通用安全使用温度（300℃）から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体亀裂、剥離、脱落の状況を観察する。（試験体は完成品とし、サイズは内径600mm×長さ1000mm程度とする。） 2)透水性試験 JIS A 5430「繊維強化セメント板」8.6透水性試験による。 3)耐酸性試験 1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せきした後、試験体の外観を調べる。試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間（168時間）浸せきする。（ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。）その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後に外観観察を行う。（試験体のサイズは、100mm×50mmとする。） 4)熱伝導率測定 JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。試験設定温度は100℃、150℃、300 ℃、450℃、600℃とする。
	17 天井点検口	天井点検口	・品質・性能　： 1)内外枠の材質は、アルミニウム製とする。 ｲ)JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063St5 又は同等の性能を有するものとする。 ﾛ)表面処理は、JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜」に規定するAA6又は同等の性能を有するものとする。 2)内枠及び外枠のコーナーピース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 3)外枠の取付け金物 ｲ)吊り金具 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 ﾛ)吊り金具取付けボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 4)内枠の仕上材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類い又は同等以上の品質並びに仕上げ材を固定する性能を有するものとする。 5)寸法許容差（枠の許容差） 枠の寸法許容差　±0.5mm 外枠と内枠のクリアランス　片側2.0mm以内 6)耐久性能（繰り返し開閉試験） ｲ)50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内とする。 ﾛ)開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 ・試験方法　： 内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験 1)試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 2)吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。 3)野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm（JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。 4)試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 5)測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
20 ユニット及びその他の工事	18 床点検口	床点検口	・品質・性能　：以下のもの又は同等のものとする。 | 部材名 | 材質 | 屋内外用 | 屋内用 | | 受枠材 蓋枠材 | アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材 | JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5（表面処理）JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定するB種又はJIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定するAA15 | | | ステンレス製 | JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS430J1L、SUS443J1 表面処理：HL又は2B仕上げ程度 | JIS G 4305のSUS430 表面処理：HL又は2B仕上げ程度 | | 鋼製 | － | 鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類いにメラミン樹脂焼付塗装等若しくは、公共建築工事標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの | | 二重蓋の中蓋 | 錆鉄 | JIS G 5501「ねずみ鋳鉄品」に規定するFC150、FC200 | | | 中蓋 | その他 | 塩化ビニル樹脂製等 | | | 目地材 | 黄銅 | JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2801 JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604 | | | ステンレス | JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定するSUS304 | | | 底板材、コーナーピース、底板補強材 | ステンレス鋼板 | JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308に規定するSUS304 | JIS G 4305に規定するSUS430 | | アルミニウム板 | JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P H24 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601に規定するAA15 JIS H 8602に規定するB | － | | 鋼材 | － | 鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類いに鋼板にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの | | パッキン材 | 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 | 枠の材質，形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの | | | アンカー材 | 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの | | | | 取手 | 黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳鉄製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないもの | | | | 鍵 | 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 | | | 1)許容差 ｲ)受け枠基準寸法　600角程度まで ﾛ)受け枠寸法の許容差　±0.5mm ﾊ)蓋付き寸法の許容差　±0.5mm ﾆ)受け枠と蓋枠のクリアランス　片側2mm以内 2)蓋の耐荷重性能 ｲ)加圧する荷重値Pn=1,000N ﾛ)蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内 ﾊ)受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと ﾆ)破壊荷重が、加圧荷重値Pnの2倍以上 ・試験方法　： 1)試験体 ｲ)貼物用とし、600mm角程度とする。 ﾛ)枠見込みは、40mm以下とする。 2)試験 ｲ)試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 ﾛ)本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ﾊ)本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。 3)測定 蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。
	21 排水工事	3 グレーチング	グレーチング	・品質・性能　：以下のもの又は同等のものとする。 鋼製グレーチング | 項目 | 品質・性能 | | メインバー、サイドバー及びエンドプレート | JIS G 3101「一般用構造用圧延鋼材」に規定するSS400 | | クロスバー | JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM | | 受け枠用アングル材 | JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定するSPHT | | 溶融亜鉛めっきの付着量 | JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規程する溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又はHDZ 50以上又は2種50(HDZ50)以上のもの | | 受け枠用アングル材 | 塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料 | ステンレス製グレーチング（表面仕上げは2B程度） | メインバー、クロスバー | JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L | | サイドバー、エンドバー | JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318に規定するSUS304、又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L及びJIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」、JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に規定するSUS304 | | 受け枠用アングル材 | JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定するSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L | | アンカー | JIS G 3101に規定するSS400の類いとし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの | 1)組み立て加工 ｲ)アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ﾛ)平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ﾊ)ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。 ・試験方法　： 設計荷重は以下の通りとする。 | 歩車道区分 | 荷重種別 | 側溝用(KN) | 横断溝用(KN) | 加圧面積(cm) | | 車道 | T-20 | 78.5 | 109.8 | 20×50 | | | T-14 | 54.9 | 76.9 | 20×50 | | | T- 6 | 23.5 | 33.0 | 20×24 | | | T- 2 | 7.8 | 11.0 | 20×16 | | 歩道 | 4,903N/㎡の等分布荷重 | | | | 1)試験体 溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。 ｲ)溝ふた　横断用　T-20～T-2のうち1体 歩道用　1体 側溝用　T-20～T-2のうち1体 ﾛ)U 字溝用　側溝用　T-14～T-2のうち1体 歩道用　1体 2)試験体への加力 ｲ)設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,903N/sとする。 ﾛ)繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

章	項目	特記	品質・性能、試験方法
23 植栽及び屋上緑化工事	10 屋上緑化システム	屋上緑化システム	・品質・性能　： | 項目 | 品質・性能 | | 透水フィルターの材質及び透水性能 | 材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 透水性能は、その道の数値が直前の道の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。 | | 透水、排水層等構成材の主要材質 | 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共） | | 排水層 | 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 | | 排水層の鉛直方向の排水性能 | 240L/㎡･h以上 | | 耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度） | 最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、3×104N/㎡の載荷重で破損・有害なひずみなど異常のないこと。一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。（保水層を有する場合は保水層共） | | 耐根層 | 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 | | 耐根層保護層 | 材質は合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。 | ・試験方法　： 1)透水フィルタの透水性能 ｲ)JIS A 1218「土の透水試験方法」の定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下部に試験体（透水フィルタ）をセットし、その上に砂（JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂）及びシルト粒子250を容積比9：1の割合で混合し、高さ80mmの試験容器に加圧せずに均一に充填する。（試験体1体） ﾛ)常温で1日置いた後、上部より給水する。給水5日間連続後取り出して自然水切り2日とした給水サイクルを繰り返す。。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110mmを保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は室温20±3℃、湿度60±5%とする。 ﾊ)水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。 ﾆ)各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。 ﾎ)試験開始後6週間、流水時間合計が30日を越えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流水時間を延長して確認することも可とする。 2)排水層の耐荷重性能 ｲ)最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×104 N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） ﾛ)試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。
		屋上緑化軽量システム	・品質・性能　： | 項目 | 品質・性能 | | 透水、排水層等構成材の主要材質 | 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共） | | 透水層 | 目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。 | | 排水層 | 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 | | 排水層の鉛直方向の排水性能 | 240L/㎡･h以上 | | 耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度） | 3×104N/㎡以上の載荷重で破損・有害なひずみなど異常のないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 | | 耐根層 | 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 | | 耐根層保護層 | 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。 | ・試験方法　： 排水基盤の耐荷重性能 ｲ)3×104N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。 （保水層を有する場合は保水層も対象とする。） ﾛ)試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建築材料等品質性能表２	縮尺	A-011
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(012/224)

敷地概要

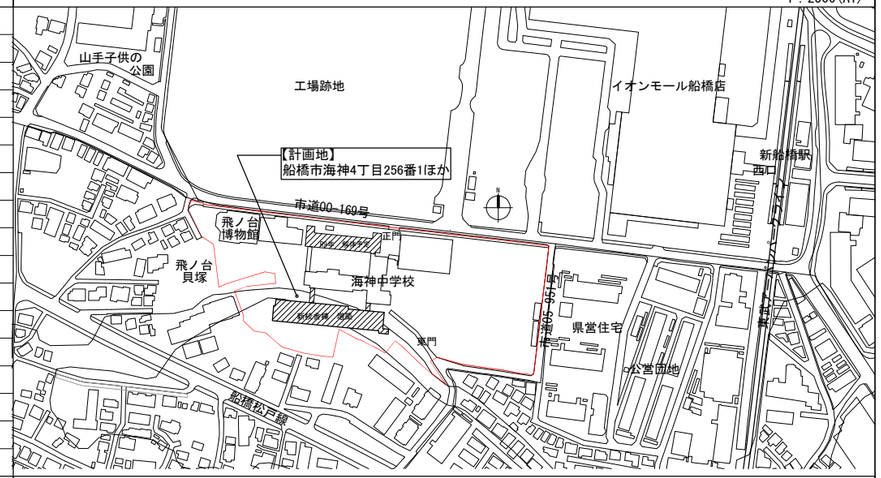
地名地番	千葉県船橋市海神４丁目２５６番１ほか
住居表示	〒273-0021　千葉県船橋市海神4丁目27-1、28-18
用途地域	・第１種住居地域
日影規制	・4ｈ、2.5ｈ（受影面4m）
防火地域	・指定なし
高度地区	・第一種高度地区（20m）
その他地域・地区	・埋蔵文化財包蔵地
	・建築基準法第22条指定区域内
	・景観計画区域
敷地面積	・26,867.51㎡（新敷地面積）
基準建ぺい率	・60%
基準容積率	・200%
道路・壁面後退等	・主前面道路（現況幅員約10.60m）
	・その他前面道路（現況幅員約4.0m、6.5m ）
	・都市計画道路（・有　m　⊙無）
	・壁面後退（・有　m　⊙無）

建物概要（現況）

主要用途	建築基準法	（区分:08090)中学校、(区分:08150)博物館
用途	消防法	7項
建築面積	合計	4,815.04㎡　・26,867.51㎡（新敷地面積）
建ぺい率	17.93%≦60%	
延べ面積	合計	11,021.78㎡
容積率	40.95%≦200%	
既存建物	耐火建築物	校舎棟（飛ノ台博物館を含む）→パラペット、壁面他一部除却
	その他	体育館、付属便所、残菜置場、ゴミ置場、ポンプ室
		外便所、体育倉庫、部室、防災備蓄倉庫
	その他除却	プロパン庫、独立倉庫
		屋外プール、付属更衣室、備品倉庫（体育館）

案内図・付近見取図

1：5000(A3)
1：2500(A1)



計画概要(増築後)

主要用途	建築基準法	(区分:08090)中学校、(区分:08150)博物館			
用途	消防法	7項　増築新校舎棟は消防法の別棟			
建築面積	5,453.14㎡	**申請面積**	1,547.98㎡(Ⓓ+Ⓔ+Ⓕ)	**申請外面積**	3,905.16㎡(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)
延べ面積	14,419.16㎡	**申請延面積**	5,953.10㎡(④+⑤+⑥)	**申請外延面積**	8,466.06㎡(①+②+③)
容積対象床面積	14,336.95㎡	**申請部分**	5,892.74㎡(ⓓ+ⓔ+ⓕ)	**申請外**	8,444.21㎡(ⓐ+ⓑ+ⓒ)
建ぺい率	20.30%≦60%	容積率	53.37%≦200%		
増築建物	耐火建築物	新校舎棟（含む空中歩廊）			
		（南棟、東棟、連絡通路に増築（北棟は除却））			
	耐火建築物	階段棟（展示棟、西棟に増築）			
	その他新築	新渡り廊下			
その他残置	体育館、付属便所、残菜置場、ゴミ置場、ポンプ室				
	外便所、体育倉庫、部室、防災備蓄倉庫、渡り廊下				
室用途変更	既存昇降口→理科室　既存PTA室→理科準備室　体育倉庫→ゴミ置場				
	既存職員室→交流ラウンジ　特別教室の一部を改修（空中歩廊接続部）				

耐火リスト

部位	仕様	認定・告示
屋根	コンクリートスラブｔ150の上	耐火30分_告示 H12年第1399号
	アスファルト防水＋外断熱＋押えコンクリートｔ80	
外壁/非耐力壁	ECP、縦張り	耐火1時間_FP060NE-9035
柱鉄骨：単体	ロックウールｔ25吹付	耐火1時間:FP060CN-9460
柱鉄骨ECP合成耐火	ケイカル板ｔ25乾式工法、ニュー耐火ライトR	耐火1時間：FP060CN-0905
柱鉄骨：単体	ALC板ｔ50仕上	耐火1時間：FP120CN-9406
柱鉄骨：単体	耐火塗料（屋内）SK水性ﾀｲｶｺｰﾄ同等品	耐火1時間：FP060CN-0493
柱鉄骨：単体	耐火塗料（溶融亜鉛メッキ下地）	耐火1時間：FP060CN-9472
梁鉄骨：単体	ロックウールｔ25吹付	耐火1時間:FP060BM-9408
床デッキPL複合	ＱＬデッキｔ50（山高70mm）	耐火1時間:FP060CN-9460
折板屋根	無機質断熱フォーム裏打ちメッキ鋼板	耐火30分:FP030RF-9326

外部仕上表

		仕上	備考
新校舎棟	増築棟屋根	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(B1-2)+XPS板t=100+絶縁ｼｰﾄ+押えｺﾝｸﾘｰﾄt=80仲縮目地切(溶接金網6φ100x100)	アルミ既製品笠木 横引きドレーン（錆鉄製125φ）
	塔屋屋根	横引きﾄﾞﾚｰﾝ,ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管(2個所) 小庇(塔屋部) 雪かご付きﾗｯﾌﾟ(塔屋部)	機械基礎,ステンレス製吊環 目隠ルーバー 落下防止柵
	配管取出口屋根	コンクリート直均し +増打t20 +ウレタン塗膜防水（X-2）	
	バルコニー、庇	コンクリート直均し +増打t20・60～95 +ウレタン塗膜防水（X-2、ノンスリップ）、外装薄塗材E(上裏)	ルーフドレイン１００φ用　中継ドレーン
		スチール手摺（溶融亜鉛メッキ、リン酸塩処理）　排水溝；ウレタン塗膜防水（X-2、モルタル金鏝下地）	竪樋:ｶﾗｰVP100φ、樹脂被覆ｽﾃﾝﾚｽ支持金物@2000以内
	外壁	コンクリート化粧打（A種型枠）、防水形複層塗材E	収縮目地、シーリング（PU-2）
		断熱材：硬質現場発泡ウレタン t50（A種1H）	ステンレス水切金物
	ポーチ	軒天；アルミスパンドレル 面幅150、山高14、押出型材、アクリル樹脂焼付塗装	
	ドライエリア	ポーチ床；磁器質タイル300角　ドライエリア床；コンクリート金鏝、塗膜防水（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ）	
	階段Ｃ	鉄筋コンクリート造、床；樹脂モルタル金鏝ｔ20の上塗膜防水（X-2）	磁器質段鼻タイル ステンレス手摺
空中歩廊	屋根	コンクリート直均し +増打t20 +超速硬化ウレタン防水　内断熱：硬質現場発泡ウレタン t100（A種1H）	アルミ既製品笠木　横引きドレーン（錆鉄製100φ）
		竪樋:ｶﾗｰVP100φ　樹脂被覆ステンレス支持金物　@2000以内	吊天井用鋼材下地
	外壁	ＥＣＰｔ60被張【耐火認定（１H）FP060NE-9035】、2-FIE工場塗装	軒天；アルミスパンドレル （面幅150、山高14、型材、アクリル樹脂焼付塗装）
		断熱材：硬質現場発泡ウレタン t=50（A種1H）	スラブ下断熱材：硬質現場発泡ウレタン t=50（A種1H）
階段棟	屋根	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(B1-2)+XPS板t25+絶縁ｼｰﾄ+押えｺﾝｸﾘｰﾄt=80仲縮目地切(溶接金網6φ100x100)	アルミ既製品笠木　横引きドレーン（錆鉄製100φ）
		横引きﾄﾞﾚｲﾝ,ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管(2個所)	軒天；アルミスパンドレル焼付塗装（耐風補強下地）
	外壁	ＥＣＰｔ60被張【耐火認定（１H）FP060NE-9035】、2-FIE工場塗装	
		断熱材：硬質現場発泡ウレタン t=25（A種1H）	
新渡廊下	屋根	折板:カラーガルバリウム鋼板　ｔ0.8　無機質プラスチック裏張　1種(30分耐火)	塩ビ軒樋
		【耐火認定（１H）FP030RF-9326】	両端；雨仕舞用水切り（ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板ｔ1.0+ﾒｯｷL下地）
	外壁	ＥＣＰｔ60横張【耐火認定（１H）FP060NE-9035】の上DP塗装（アクリルシリコン樹脂）	塩ビ竪樋 105φ
	腰壁（H=300）	コンクリート　打放し補修	特記なき限り鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする。
共通	開口部	アルミ製サッシュ、鋼製開き戸、アルミ自動扉（昇降口のみ）	
	エキスパンジョイント金物	壁；樹脂製（既製品）、屋根；アルミ製（既製品）、床；ｽﾁｰﾙ、ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ仕上＋耐火体（空中歩廊、階段棟接続部）	壁、床遮炎性能EAJ-防災-3013

外構仕上表

外構	舗装	真空コンクリート舗装　密粒アスファルト舗装　平板舗装 縞石	
	排水工事	スリット側溝、雨水排水管VP200φ他	
	囲障他 緑地整備	南門門扉、メッシュフェンス	

棟別概要（階数、面積、高さ）ー　校舎棟

棟番号	中学校校舎【建物番号⑪】						中学校校舎【建物番号①】							
	既存部分		㎡		増築部分	㎡	合算	㎡	既存部分		㎡	増築部分 新校舎	㎡	合算	㎡
階	展示棟	西棟	小計	同左容積対象	階段棟	同左容積対象	床面積計	容積対象 計	東棟	南棟+連絡通路	小計	床面積	容積対象面積	床面積	容積対象面積
ＰＨ												31.95	〈31.95〉	31.95	〈31.95〉
５階												1265.44	〈1259.54〉	1265.44	〈1259.54〉
４階	304.47	713.45	(1017.92)	〈1012.28〉	55.39	〈46.20〉	1073.31	〈1058.48〉	479.72	540.01	(1019.73)	1383.43	〈1377.53〉	2403.16	〈2397.26〉
３階	521.74	497.05	(1018.79)	〈1013.15〉	55.39	〈46.20〉	1074.18	〈1059.35〉	506.89	591.17	(1098.06)	1342.68	〈1336.78〉	2440.74	〈2434.84〉
２階	456.92	496.28	(953.20)	〈947.56〉	55.39	〈46.20〉	1008.59	〈993.76〉	65.91	540.01	(605.92)	1293.67	〈1287.77〉	1899.59	〈1893.69〉
１階	286.31	1027.89	(1314.20)	〈1309.27〉	55.39	〈46.20〉	1369.59	〈1355.47〉				414.37	〈414.37〉	414.37	〈414.37〉
小計	1569.44	2734.67	(4304.11	〈4282.26〉ⓐ	221.56④	〈184.80〉ⓓ	4525.67	〈4467.06〉	1052.52	1671.19	②(2723.71)ⓑ	5731.54⑤	〈5707.94〉ⓔ	8455.25	〈8431.65〉
合計		①	4304.11		221.56		4525.67								
建築面積		Ⓐ	1420.57		55.39Ⓓ		1475.96				1156.63Ⓑ	1464.63Ⓔ		2621.26	
軒高（m） 最高高さ（m）	(17.730) 19.950	(15.380) 16.060			(14.330) 14.960				(11.050) 12.350	(11.670) 12.350		(17.347) 17.990			

棟別概要（階数、面積、高さ）ー　体育館棟、付属棟(床面積と容積対象面積は同一)

	残置建物											増築建物		付属建物計	
	建物番号-②	建物番号-③	建物番号-④	建物番号-⑤	建物番号-⑥	建物番号-⑦	建物番号-⑧	建物番号-⑨	建物番号-⑩			建物番号-⑫			
床面積	体育館	付属便所	残菜置場	ポンプ室	ゴミ置場	渡り廊下	外便所	体育倉庫	部室	残置小計	同左容積対象	新渡り廊下	同左容積対象		
２階	72.66									(72.66)	〈72.66〉			72.66	
１階	1123.37	36.38	11.78	12.25	6.00	0.00	25.46	57.96	92.38	(1365.58)	〈1365.58〉	0.00	〈0.00〉	1365.58	
合計	1196.03	36.38	11.78	12.25	6.00	0.00	25.46	57.96	92.38	③(1438.24)ⓒ⑥	〈1438.24〉	0.00	〈0.00〉ⓕ	1438.24	
建築面積	1051.47	36.38	11.78	12.25	6.00	34.28	25.46	57.96	92.38	(1327.96)Ⓒ		27.96Ⓕ		1355.92	
軒高（m） 最高高さ（m）	(6.580) 10.783	(2.200) 2.700	(2.350) 2.600	(2.750) 3.100	(2.400) 2.538	(3.518) 3.675	(2.750) 2.925	(3.200) 3.600	(2.700) 3.600			(3.100) 3.326			

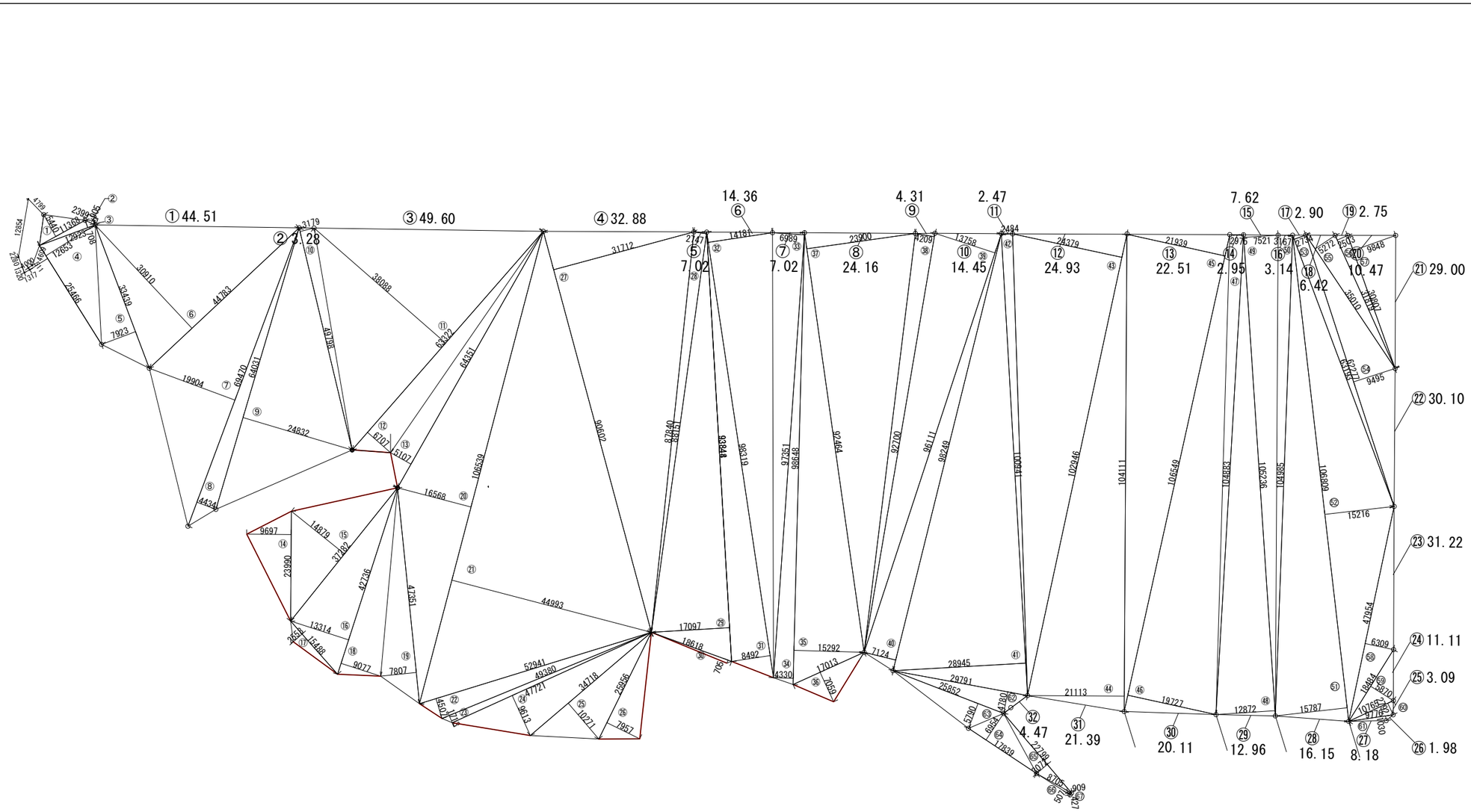
技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
図面名	建築概要・案内図・外部仕上表	縮尺	図示	A-012
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(013/224)

符号	底辺（m）	高さ（m）	底辺×高さ（㎡）
1	11.368	5.440	61.841
2	2.399	0.905	2.171
3	12.923	1.708	22.072
4	25.466	12.653	322.221
5	33.439	7.923	264.937
6	44.783	30.910	1384.242
7	69.470	19.904	1382.73
8	69.470	4.434	308.029
9	64.031	24.832	1590.017
10	49.798	3.179	158.307
11	63.322	38.088	2411.808
12	63.322	6.707	424.7
13	64.351	5.107	328.64
14	23.990	9.697	232.631
15	37.282	14.879	554.718
16	42.736	13.314	568.987
17	15.488	2.553	39.54
18	42.736	9.077	387.914
19	47.351	7.807	369.669
20	106.539	16.568	1765.138
21	106.539	44.993	4793.509
22	52.941	4.507	238.605
23	49.380	1.713	84.587
24	47.721	9.613	458.741
25	34.718	10.271	356.588
26	25.956	7.957	206.531
27	90.602	31.712	2873.17
28	88.151	2.747	242.15
29	93.848	17.097	1604.519
30	18.618	0.705	13.125
31	98.319	8.492	834.924
32	98.319	14.181	1394.261
33	97.351	6.989	680.386
34	98.648	4.330	427.145
35	98.648	15.292	1508.525
36	17.013	7.059	120.094
37	92.464	23.900	2209.889
38	92.700	4.209	390.174
39	96.111	13.758	1322.295
40	98.249	7.124	699.925
41	100.941	28.945	2921.737
42	100.941	2.484	250.737
43	102.946	24.379	2509.72
44	104.111	21.113	2198.095
45	106.549	21.939	2337.578
46	106.549	19.727	2101.892
47	104.883	2.975	312.026
48	105.236	12.872	1354.597
49	105.236	7.521	791.479
50	104.985	3.167	332.487
51	106.809	15.787	1686.193
52	106.809	15.216	1625.205
53	63.193	2.734	172.769
54	62.277	9.495	591.32
55	35.010	5.272	184.572
56	31.819	2.503	79.642
57	30.807	9.848	303.387
58	47.954	6.309	302.541
59	18.484	5.870	108.501
60	10.765	2.792	30.055
61	9.776	1.030	10.069
62	29.791	4.780	142.4
63	25.852	5.790	149.683
64	17.839	6.954	124.052
65	22.799	3.072	70.038
66	8.705	0.507	4.413
67	0.909	0.427	0.388
計			53735.031

合計×1/2	26867.5155
敷地面積	26,867.51



株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	敷地求積図	縮尺 1/1000 (A3) 1/500 (A1)	A-013
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(014/224)

■接道長さ

番号	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ	タ	レ	ソ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ	ノ	オ	ク	ヤ	マ	ケ	フ	コ	エ	テ	ア	サ	合計(m)
長さ(m)	6.78	9.10	2.18	1.00	44.51	3.28	49.60	32.88	2.77	14.36	7.02	24.16	4.31	14.45	2.47	24.93	22.51	2.95	7.62	3.14	2.90	6.42	2.75	10.47	29.00	30.10	31.22	11.11	3.09	1.98	8.18	16.15	12.96	20.11	21.39	4.47	492.32

真北

接道長さ

ロ9.10 ハ2.18 ニ1.00 ホ44.51 ヘ3.28 ト49.60 チ32.88 リ2.77 ヌ14.36 ル7.02 ヲ24.16 ワ4.31 カ14.45 ヨ2.47 タ24.93 レ22.51 ソ2.95 ツ7.62 ネ3.14 ナ2.90 ラ6.42 ム2.75 ウ10.47 ノ29.00 オ30.10 ク31.22 ヤ11.11 マ3.09 ケ1.98 フ8.18 コ16.15 エ12.96 テ20.11 ア21.39 サ4.47 イ6.78

体育館空調工事の為2 本伐採
（ 場所未定のため仮） 23.12.21打合せ

残菜置場 GL+2.60m 建物番号④
階段棟 GL+14.96m 建物番号⑪-1
外通路
付属便所 建物番号③
市道00-169号 第42条1項1号道路
道路境界線
▼道路中心線
▼延焼の恐れのある部分
▼延焼の恐れのある部分

展示棟 建物番号⑪-2-1 GL+19.95m
西棟 建物番号⑪-2-2 GL+16.06m
受水槽 建物番号⑤ GL+3.10m 地盤面15.21 ポンプ室
北棟 建物番号①-0 令和１０年解体予定 GL+5.095m 地盤面14.98
渡り廊下
GL+3.675m 建物番号⑦
体育館棟 建物番号② GL+10.783m
付属便所 GL+2.7m
ゴミ置場(可燃ごみ) 建物番号⑥ GL+2.538m
新渡り廊下 建物番号⑫
連絡通路 建物番号①-3
東棟 建物番号①-2 GL+7.990m 地盤面14.98 GL+12.35m
建物番号①-3 南棟 GL+12.35m 地盤面12.03
新校舎棟 建物番号①-1 GL+17.99m エリア1 地盤面9.5 エリア2 地盤面11.9 GL+15.60m エリア3 地盤面14.3 GL+13.20m
西空中歩廊 地盤面11.37 GL+12.630m
東空中歩廊 地盤面13.25 GL+10.07m
建物番号⑨ GL+3.60m
建物番号⑩ GL+3.60m
体育倉庫
部室
建物番号⑧ GL+2.925m
グラウンド
敷地内通路
隣地境界線
斜面勾配17° 以下 (安定斜面)
広場
雨水桝 合流桝 汚水桝 雨水桝 消防活動空地 貯留槽
公設桝
市道05-147号
市道05-090号
市道05-091号 第42条1項1号道路
接道長さ

計画配置図

■建物リスト

棟番号	建物番号⑪			建物番号①				建物番号②	建物番号③
建物番号	建物番号⑪-2-1	建物番号⑪-2-2	建物番号⑪-1	建物番号①-1	建物番号①-2	建物番号①-3			
建物名	展示棟	西棟	階段棟	新校舎棟	東棟	南棟+連絡通路	体育館	付属便所	
棟番号	建物番号④	建物番号⑤	建物番号⑥	建物番号⑦	建物番号⑧	建物番号⑨	建物番号⑩	建物番号⑫	
建物名	残菜置場	ポンプ室	ゴミ置場	渡り廊下	外便所	体育倉庫	部室	新渡り廊下	

※地盤面=GLとする

【凡例】
：既存緑地
：新設緑地
：新設建物
：延焼ライン

千葉県建築基準法施行条例第4 条（がけ条例）について
既存法面は、角度30度未満
建築基準法19条4項　既存擁壁からの離隔2 H以上確保

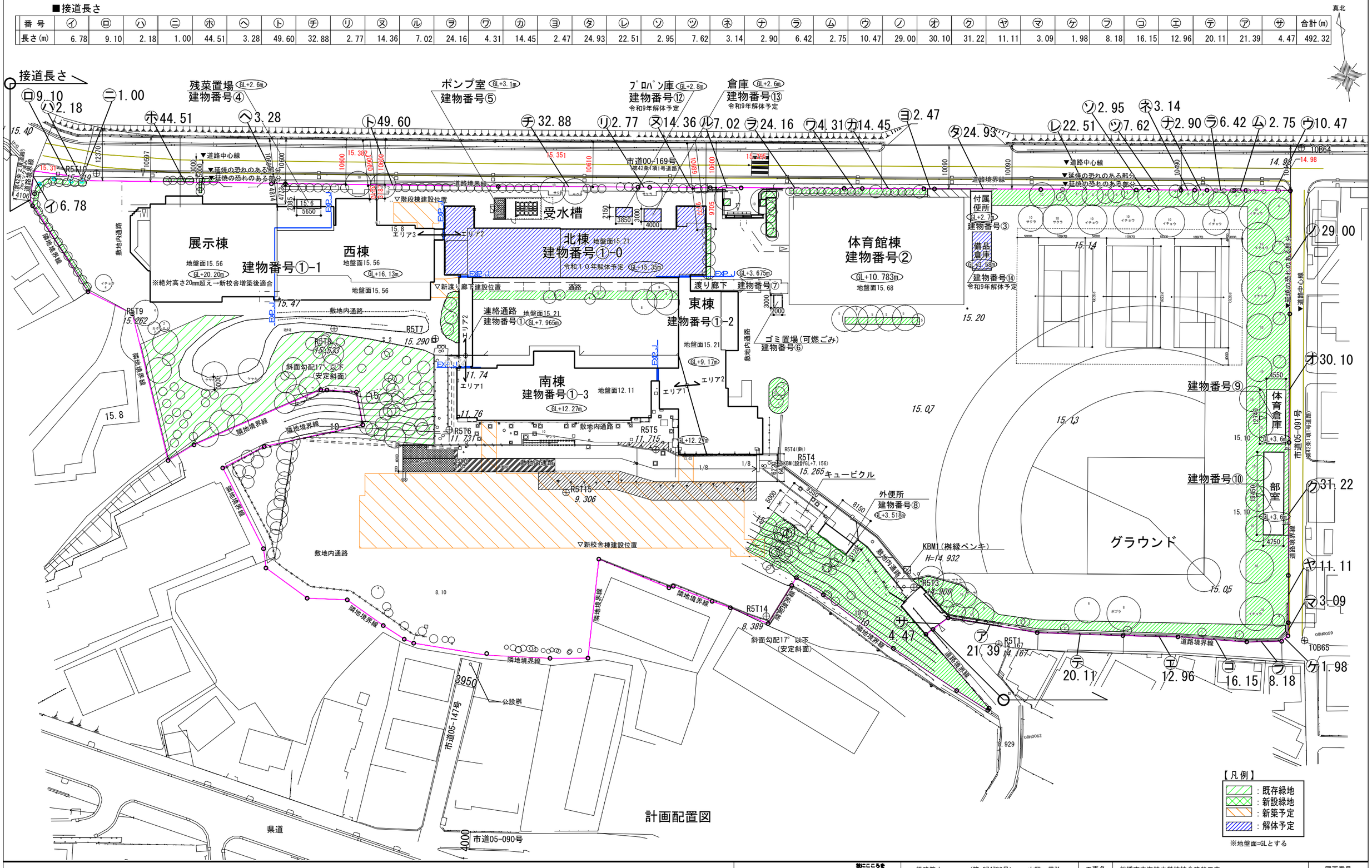
株式会社 大建設計
独にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	配置図	縮尺	1/800 (A3) 1/400 (A1)
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	A-014 (015/224)

■接道長さ

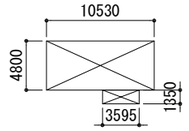
番号	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ	タ	レ	ソ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ	ノ	オ	ク	ヤ	マ	ケ	フ	コ	エ	テ	ア	サ	合計(m)
長さ(m)	6.78	9.10	2.18	1.00	44.51	3.28	49.60	32.88	2.77	14.36	7.02	24.16	4.31	14.45	2.47	24.93	22.51	2.95	7.62	3.14	2.90	6.42	2.75	10.47	29.00	30.10	31.22	11.11	3.09	1.98	8.18	16.15	12.96	20.11	21.39	4.47	492.32



計画配置図

株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和	図面名	現況配置図	縮尺 1/800(A3) 1/400(A1)	A-015
	設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(016/224)

□ 階段棟　求積図・求積表



求積表

	計算式	
各階	10.53×4.8+3.595×1.35	55.3973
床面積		55.39
建築面積		55.39

4階　55.39㎡
3階　55.39㎡
2階　55.39㎡
1階　55.39㎡
合計　221.56㎡
延床面積　221.56㎡

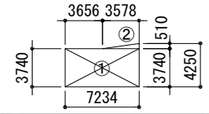
昇降路求面表

	計算式	
各階	3.1075×2.9675-0.34×0.072	
	9.2215-0.0244	9.19
除外面積	9.19×4	36.76



4階　46.20㎡
3階　46.20㎡
2階　46.20㎡
1階　46.20㎡
合計　184.80㎡
容積対象床面積　184.80㎡

□ 新渡廊下　求積図・求積表



求積表

番号	計算式	
①	7.234×3.74	27.0551
②	3.578×0.51/2	0.91239
床面積		27.96
建築面積		27.96

延床面積　27.96㎡

※有効に外気に開放されており、通行の用のみ供している為
床面積0.0㎡とした。

□ 新校舎床面積　集計表

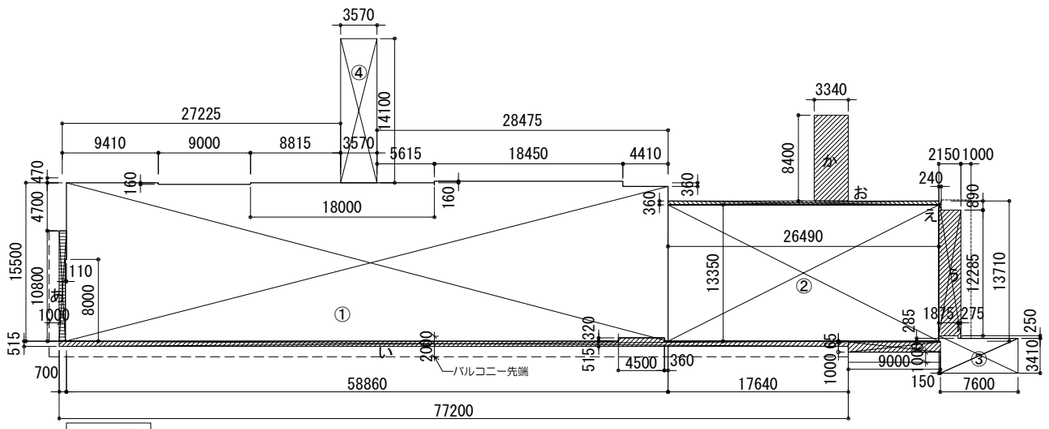
PH　31.95㎡
5階　1265.44㎡
4階　1383.43㎡
3階　1342.68㎡
2階　1293.67㎡
1階　414.37㎡
合計　5731.54㎡
延床面積　5731.54㎡

昇降路求面表

	計算式	
2～5階	2.36×2.50	5.9
除外面積		23.6

PH　31.95㎡
5階　1259.54㎡
4階　1377.53㎡
3階　1336.78㎡
2階　1287.77㎡
1階　414.37㎡
合計　5707.94㎡
容積対象床面積　5707.94㎡

□ 新校舎求積図・求積表



3階

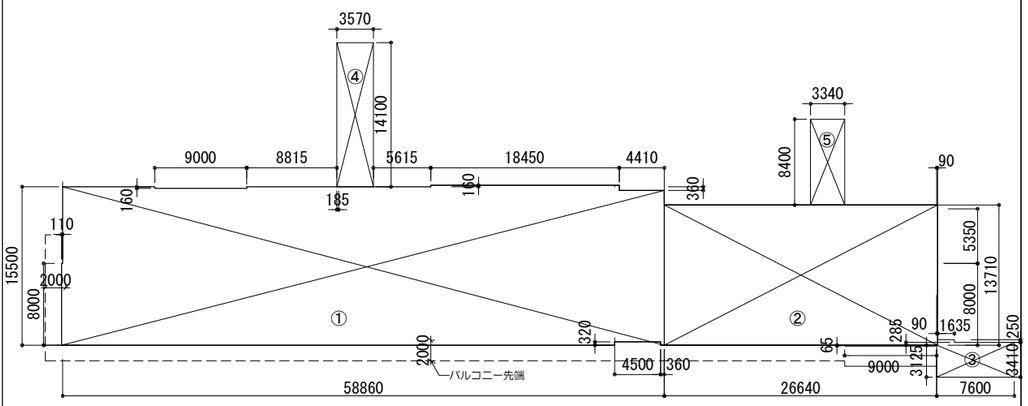
求積表

番号	計算式	床面積
①	58.86×15.5+(0.11×8)-(9×0.16)+(18.45×0.16)-(4.41×0.36)-(4.5×0.32)	911.6944
②	26.49×13.35+(9×0.065)	354.2265
③	7.60×3.41+1.875×0.25+0.15×0.285	26.4275
④	3.57×14.10	50.3370
小計		1342.6854
床面積		1342.68

求積表（建築面積）

番号	計算式	
あ	10.8×0.7-(0.11×08)	7.4720
い	77.20×0.515+9.0×1.0+0.32×4.5	50.1980
う	2.15×12.285+0.275×0.25	26.4815
え	0.24×0.89	0.2136
お	26.49×0.36	9.5364
か	8.40×3.34	28.0560
小計		121.9575

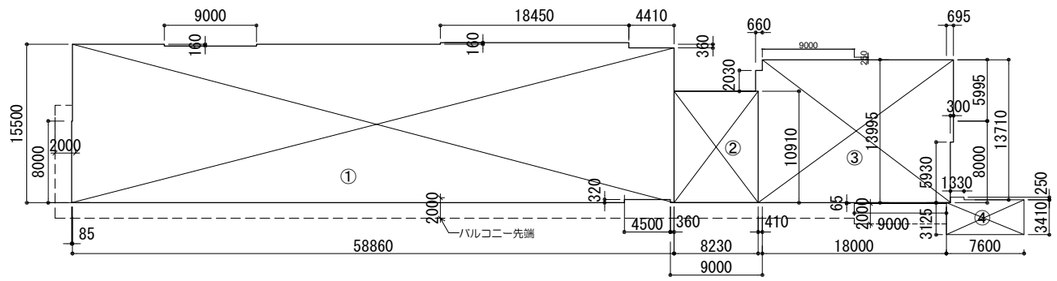
番号		
①～④		1342.68
あ～か		121.95
合計		1463.48
建築面積		1464.63



4階

求積表

番号	計算式	床面積
①	58.86×15.5+0.11×8-(9×0.16)+(0.16×18.45)-(4.41×0.36)-(4.5×0.32)	911.6944
②	26.73×13.71+(9.0×0.065)	367.0533
③	7.60×3.41+1.635×0.25-0.09×0.285	26.2991
④	3.57×14.10	50.3370
⑤	8.40×3.34	28.0560
小計		1383.4398
床面積		1383.43

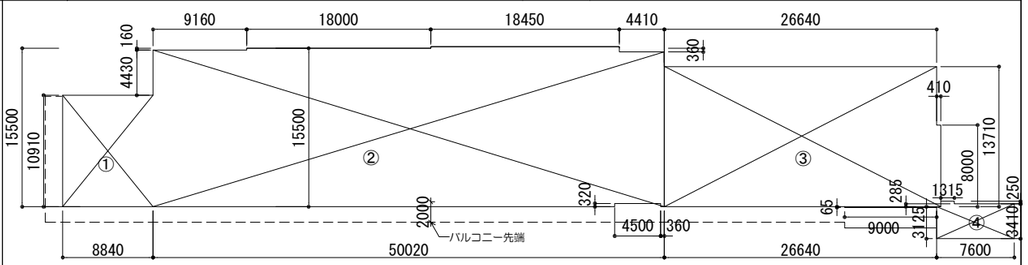


18.695×13.995+（0.41×10.91）+(0.66×2.03)-(0.3×5.93)

2階

求積表

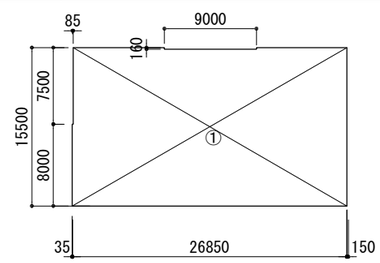
番号	計算式	
①	58.86×15.5+(0.085×8.0)-(9×0.16)+(18.45×0.16)-(4.41×0.36)-(4.5×0.32)	911.4944
②	8.23×10.91	89.7893
③	18.695×13.995+（0.41×10.91）+(0.66×2.03)+(9.0×0.065)-(0.3×5.93)	266.255425
④	7.60×3.41+1.33×0.25-0.395×（3.41-3.125）	26.135925
小計		1293.675050
床面積		1293.67



5階

求積表

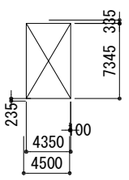
番号	計算式	床面積
①	8.84×10.91	96.4444
②	50.02×15.5-(9.16×0.16)+(0.16×18.45)-(4.41×0.36)-(4.5×0.32)	773.7688
③	26.64×13.71+0.41×8.0+(9.0×0.065)	369.0994
④	7.60×3.41+1.315×0.25-0.41×0.285	26.1279
小計		1265.4405
床面積		1265.44



1階

求積表

番号	計算式	
①	26.85×15.5+0.035×8.0-7.5×0.085-9×0.16	414.3775
小計		414.3775
床面積		414.37



PH階

求積表

番号	計算式	
①	4.35×7.345	31.9508
小計		31.9508
床面積		31.95

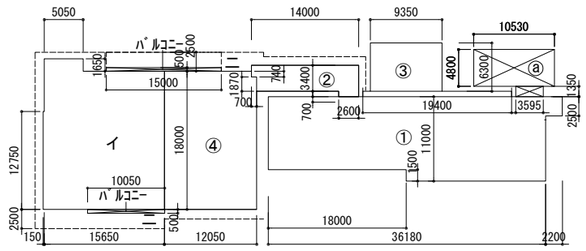
技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	増築求積図・面積表	縮尺 1/600(A3) 1/300(A1)	A-016
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(017/224)

建物番号⑪　展示・西棟求積図・求積表

4階ー床面積



求積表（展示棟）

番号	計算式	床面積(㎡)
イ	15.65×18.0+0.15×12.75+5.05×1.65	291.9450
ニ	（15.0+10.05）×0.5	12.5250
小計		304.4700
床面積		304.47

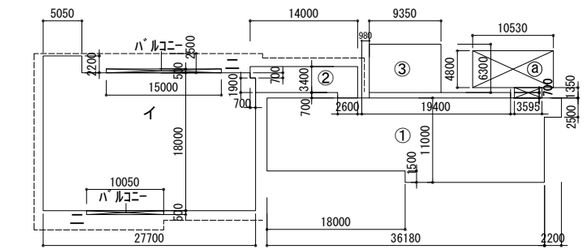
求積表（西棟）

番号	計算式	床面積(㎡)
①	36.18×11.0-18.0×1.50+19.4×0.7+2.2×2.5	390.0600
②	14.00×3.4−0.7×1.87+2.6×0.7	48.1110
③	9.35×6.30	58.9050
④	12.05×18.0−0.7×0.74	216.3820
小計		713.4580
床面積		713.45

求積表（階段棟）増築

番号	計算式	床面積(㎡)
ⓐ	10.53×4.8+3.595×1.35	55.397250
床面積		55.39

3階ー床面積



求積表（展示棟）

番号	計算式	床面積
イ	27.70×18.0+5.05×2.2-0.7×0.7	509.2200
ニ	（15.0+10.05）×0.5	12.5250
小計		521.7450
床面積		521.74

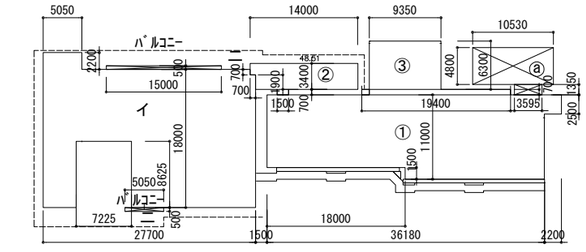
求積表（西棟）

番号	計算式	床面積
①	36.18×11.0-18.0×1.5+19.4×0.7+2.2×2.5	390.0600
②	14.0×3.4−0.7×1.9+2.6×0.7	48.0900
③	9.35×6.30	58.9050
小計		497.0550
床面積		497.05

求積表（階段棟）増築

番号	計算式	床面積(㎡)
ⓐ	10.53×4.8+3.595×1.35	55.397250
床面積		55.39

2階ー床面積



求積表（展示棟）

番号	計算式	床面積(㎡)
イ	27.70×18.0+5.05×2.2-7.225×8.625-0.7×0.7	446.9044
ニ	（15.0+5.05）×0.5	10.0250
小計		456.9294
床面積		456.92

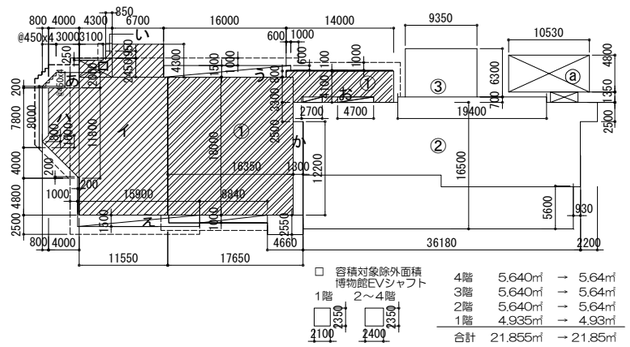
求積表（西棟）

番号	計算式	床面積(㎡)
①	36.18×11.0-18×1.5+19.4×0.7+2.2×2.5	390.0600
②	14.00×3.4-0.7×1.9+1.5×0.7	47.3200
③	9.35×6.30	58.9050
小計		496.2850
床面積		496.28

求積表（階段棟）増築

番号	計算式	床面積(㎡)
ⓐ	10.53×4.8+3.595×1.35	55.397250
床面積		55.39

1階ー床面積、建築面積



□　容積対象除外面積
博物館EVシャフト
1階　2～4階
2100　2350　2400　2350

4階	5.640㎡	→	5.64㎡
3階	5.640㎡	→	5.64㎡
2階	5.640㎡	→	5.64㎡
1階	4.935㎡	→	4.93㎡
合計	21.855㎡	→	21.85㎡

求積表（展示棟）

番号	計算式	床面積
イ	11.55×18.0+6.7×4.3	236.7100
ロ	4.3×2.45-3.1×0.25	9.7600
ハ	4.0×（7.8+11.8）/2+1.6×0.8/2	39.8400
小計		286.3100
床面積		286.31

求積表（西棟）

番号	計算式	床面積
①	16.35×18.0+14.0×4.1-3.3×0.6+（2.7+4.7）×0.7	354.9000
②	36.18×16.5-0.93×5.6+1.3×2.5+19.4×0.7+2.5×2.2	614.0920
③	9.35×6.30	58.9050
小計		1027.8970
床面積		1027.89

求積表（階段棟）増築

番号	計算式	床面積(㎡)
ⓐ	10.53×4.8+3.595×1.35	55.397250
床面積		55.39

□　西棟構造面積　（増築階段棟含まず）
4階　448.96㎡←448.965=390.0600+58.9050（①+③）
3階　448.96㎡←448.965=390.0600+58.9050（①+③）
2階　448.96㎡←448.965=390.0600+58.9050（①+③）
1階　672.99㎡←672.997=614.0920+58.9050（②+③）
計　2019.87㎡

□　展示棟構造面積＝既存面積小計-西棟構造面積
2284.24㎡= 4304.11㎡- 2019.87㎡

□　展示・西棟床面積　集計表

	展示棟	西棟	既存小計	階段棟（増築）	計
4階	304.47㎡	713.45㎡	（1017.92㎡）	55.39㎡	1073.31㎡
3階	521.74㎡	497.05㎡	（1018.79㎡）	55.39㎡	1074.18㎡
2階	456.92㎡	496.28㎡	（953.20㎡）	55.39㎡	1008.59㎡
1階	286.31㎡	1027.89㎡	（1314.20㎡）	55.39㎡	1369.59㎡
合計	1569.44㎡	2734.67㎡	（4304.11㎡）	221.56㎡	4525.67㎡

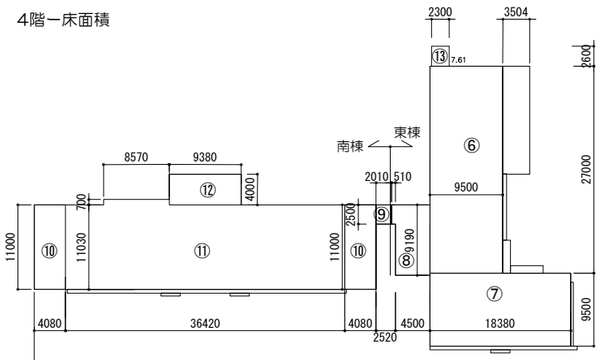
建築面積関連　求積表

番号	計算式	床面積(㎡)
あ	0.8×6.4+0.8×0.8/2+3.0×2.0+1.8×0.2+1.8×1.8/2-0.45×0.45×2	13.0150
い	0.85×0.95	0.8075
う	16.00×1.50+0.6×0.6+13.9×0.1	25.7500
え	15.90×1.5+8.84×1.0+4.66×2.55+ 0.2×4.8+0.2×0.2/2	45.5530
お	（9.2-1.5）×0.7	5.3900
か	12.2×1.3	15.8600
小計		106.3755
面積		106.37
展示棟	展示棟　1階床面積	286.31
西棟	西棟　1階床面積	1027.89
1階床面積	既存計　展示棟286.31＋西棟1027.89	(1314.20)
既存建築面積	**既存建築面積計　展示棟286.31＋西棟1027.89＋(あ～か) 106.37**	1420.5700
増築（階段棟）		55.39
建築面積	既存面積1314.20＋増築（階段棟）55.39＋(あ～か) 106.37	1475.9600

建物番号⑪建築面積　1475.96㎡

建物番号①　新校舎棟　既存部分求積図・求積表

4階ー床面積

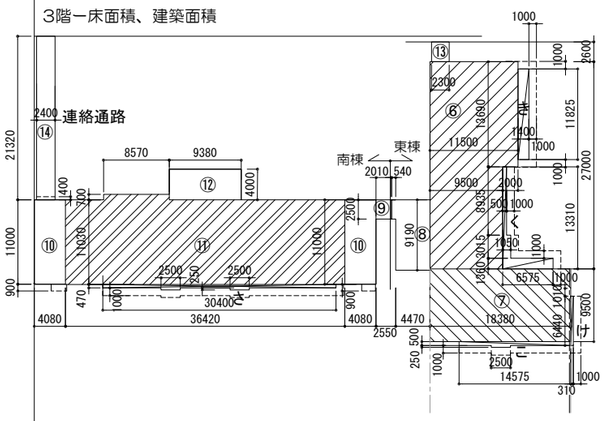


求積表（学校）

	番号		
東棟	⑥	9.50×27.00	256.5000
	⑦	18.38×9.50	174.6100
	⑧	4.50×9.19+0.51×2.50	42.6300
	⑬	2.30×2.6	5.9800
	小計		479.7200
	床面積		479.72

	番号	計算式	床面積(㎡)
南棟	⑨	2.01×2.50	5.0250
	⑩	4.08×11.0+4.08×11.0	89.7600
	⑪	36.42×11.03+8.57×0.70	407.7116
	⑫	9.38×4.00	37.5200
	小計		540.0166
	床面積		540.01

3階ー床面積、建築面積



求積表

	番号	計算式	床面積(㎡)
東棟	⑥	11.50×13.69+9.50×13.31	283.8800
	⑦	18.38×9.50	174.6100
	⑧	4.47×9.19+0.54×2.50	42.4293
	⑬	2.30×2.6	5.9800
	小計		506.8993
	床面積		506.89

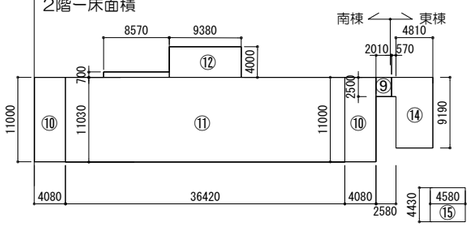
	番号	計算式	床面積(㎡)
南棟	⑨	2.01×2.50	5.0250
	⑩	4.08×11.0+4.08×11.0	89.7600
	⑪	36.42×11.03+8.57×0.70	407.7116
	⑫	9.38×4.00	37.5200
	小計		540.0166
	床面積		540.01

連絡通路	⑭	2.40×21.32	51.1680
	床面積		51.16

求積表（合算）

	計算式	床面積(㎡)
計	506.89＋540.02＋51.17	1098.06
床面積		1098.06

2階ー床面積



求積表

	番号	計算式	床面積(㎡)
東棟	⑭	4.81×9.19+0.57×2.50	45.6289
	⑮	4.58×4.43	20.2894
	小計		65.9183
	床面積		65.91

	番号	計算式	床面積(㎡)
南棟	⑨	2.01×2.50	5.0250
	⑩	4.08×11.0+4.08×11.0	89.7600
	⑪	36.42×11.03+8.57×0.70	407.7116
	⑫	9.38×4.00	37.5200
	小計		540.0166
	床面積		540.01

□　東棟構造面積

4階	479.72㎡	（⑥+⑦+⑧+⑬）	
3階	506.89㎡	（⑥+⑦+⑧+⑬）	
2階	65.91㎡	（⑭+⑮）	
計	1052.52㎡		

□　南棟構造面積（連絡通路含まず）

4階	540.01㎡	（⑨+⑩+⑪+⑫）	
3階	540.97㎡=540.01	（⑨+⑩+⑪+⑫）	+2.4×0.4
2階	540.01㎡	（⑨+⑩+⑪+⑫）	
計	1620.99㎡		

□　校舎棟床面積（既存撤去後）　集計表

	東棟	南棟+連絡通路	小計（既存）	新校舎棟（増築）	合計
PH				31.95㎡	31.95㎡
5階				1265.44㎡	1265.44㎡
4階	479.72㎡	540.01㎡	（1019.73㎡）	1383.43㎡	2403.16㎡
3階	506.89㎡	591.17㎡	（1098.06㎡）	1342.68㎡	2440.74㎡
2階	65.91㎡	540.01㎡	（605.92㎡）	1293.67㎡	1899.59㎡
1階				414.37㎡	414.37㎡
計	1052.52㎡	1671.19㎡	（2723.71㎡）	5731.54㎡	8455.25㎡

延床面積

建築面積関連　求積表

番号	計算式	床面積(㎡)
き	1.4×11.825	16.5550
く	0.5×8.935+1.05×3.015+6.575×1.36	16.5753
け	0.31×6.44	1.9964
こ	14.575×0.5+2.5×0.25	7.9125
さ	30.4×0.47+（2.5+2.5）×0.25	15.5380
小計		(58.5772)
面積		58.5700
3階床面積		1098.0600
既存建築面積	既存計(3階床面積＋き～さ)	1156.6300
増築建築面積	新校舎棟（増築）	1463.48

建物番号①建築面積　2620.11㎡=1156.63㎡+1463.48㎡

株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
図面名	既存求積図・面積表（増築後）	縮尺	1/800 (A3) 1/400 (A1)	A-017
船橋市建設局建築部建築課			令和7年度	(018/224)

内部仕上表(新校舎棟)

階	室名	床仕上高 スラブ高	床		巾木・廻			腰壁			壁 下地		天井 下地		廻縁	天井高 基準FLから高さを示す	ボックス類	内装制限	装備品（本工事）	備品（別途）
1階	ピロティ	-70～±0	C（金）	防塵塗装(ケイ酸ナトリウム系コンクリート表面硬化材)	-	-	—	—	—	—	C ＬＧＳ	化粧打放　　不燃断熱材ｔ15吹付(壁) 乾式耐火間仕切、素地	C	フラットデッキ掛し 一部、不燃断熱材ｔ15吹付(断熱補強部10M)	—	2980			登閂口ふさぎ、ECPｔ60幅張り、素地	
	遮過機械室	±0 -20	C（金）	塗床（アクリル樹脂系）	C	塗床	100	C	打放し補修	1200	C	ＧＷＢ ｔ25	C	GWB t25	—	2975 直天				
	前室	±0 -20	C（金）	塗床	C ボード	塗床		—	—		C ＬＧＳ	打放し 乾式耐火間仕切、素地	LGS	GB-D t9.5	塩ビ	2500				
2階	倉庫	±0 -20	M C	ビニル床シート t2.0	ボード	ビニル巾木	100	—	—	—	ＬＧＳ ＬＧＳ	ＧＢ−Ｈ t9.5、ＥＰ−Ｇ 乾式耐火間仕切、ＥＰ−Ｇ	LGS	GB-D t9.5	塩ビ	2500				
3階	昇降口	±0 -50	M C	磁器質タイル300角	C ボード	ステンレス樹脂複合巾木	100	—	—	—	C ＬＧＳ	断熱材の上ＧＢ−Ｒ t12.5（GL工法）+ＧＢ−Ｈ t9.5 意匠性吹付材 ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 意匠性吹付材	LGS	超軽量天井； 木目ｼｰﾄ+ｱﾙﾐ、ｶﾞﾗｽ繊維、発泡ｳﾚﾀﾝ複合パネル t 4.0（不燃認定品）	樹脂	2700			ステンレス床見切縁　カーテンレール・カーテン	生徒用下足入れ、職員・来客用下足入れ、笠置
	ホール	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0	C ボード	ステンレス樹脂複合巾木	100	—	—	—	C ＬＧＳ	吹付（Ａ） ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 吹付（Ａ）	LGS	超軽量天井； 木目ｼｰﾄ+ｱﾙﾐ、ｶﾞﾗｽ繊維、発泡ｳﾚﾀﾝ複合パネル t 4.0（不燃認定品）	樹脂	2500 2700			木製展示棚　カーテンレール・カーテン	
	保健室	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（抗菌） 一部、乾式2重床（樹脂製支柱+ﾊﾟﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ t 20+構造用合板 t 12）	ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ ＧＢ−Ｈ t9.5+ＦＫｔ6.0 不燃メラミン化粧板ｔ3.0	LGS	ＤＲ t9.0	V	2700	ＣＢ		折りたたみベッド収納、医療用ﾛｰﾃｰﾙﾛｯｶｰ 流し台、吊戸棚 洗濯パン、地震し排水ユニット	窓下作業台　ベッドサイド収納戸棚 収納戸棚 机、椅子、仮立　冷蔵庫　製氷機　洗濯機
4階	事務室	±0 -50	C	ＯＡフロア t50の上タイルカーペット t=6.5 ※ＯＡフロア下躯体；防塵塗装	ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	LGS	GB-R t12.5+GB-H t9.5 EP-G	LGS	ＤＲ t9.0	V	2700			受付カウンター　カーテンレール・カーテン 複合機（設備工事）	棚、机、椅子、コピー機
	校長室	±0 -50	C	ＯＡフロア t50の上タイルカーペット t=6.5 ※ＯＡフロア下躯体；防塵塗装	ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	LGS	GB-R t12.5+FK-D t6、目地シール共	LGS	ＤＲ t9.0	V	2700			カーテンレール・カーテン ピクチャーレール	金庫、棚、ロッカー 応接セット、机、椅子
	職員室	±0 -50	C	ＯＡフロア t50の上タイルカーペット t=6.5 ※ＯＡフロア下躯体；防塵塗装	C ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	LGS LGS	乾式耐火間仕切り（GB-Ft12.5+GB-Ht9.5）EP-G GB-Rt12.5+GB-Ht9.5 EP-G	LGS	ＤＲ t9.0	V	2700	ＢＢ		洗濯化粧台（室外扉下部） カーテンレール・カーテン　ピクチャーレール	窓下収納戸棚、棚、机、椅子
	印刷室	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0	C ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	LGS LGS	乾式耐火間仕切り（GB-Ft12.5+GB-Ht9.5）EP-G GB-Rt12.5+GB-Ht9.5 EP-G	LGS	ＤＲ t9.0	V	2700	ＢＢ			棚、机、コピー機
	湯沸室	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（抗菌）	ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	LGS	GB-Rt=12.5+GB-R-Ht=9.5 EP-G	LGS	ＧＢ−Ｄ t9.5	V	2700			ライニング、流し台、吊戸棚	食器棚、冷蔵庫
	備品庫	±0 -50	C	VT t5.0（OAフロアー用） ＯＡフロア t50	ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	ＬＧＳ ＬＧＳ	乾式耐火遮音間仕切り、ＥＰ−Ｇ ＧＢ−Ｈ t9.5、ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	—	2700			カーテンレール・カーテン	
	放送室	±0 -50	C	VT t5.0（OAフロアー用） ＯＡフロア t50　　※ＯＡフロア下躯体；防塵塗装	ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	ＬＧＳ ＬＧＳ	化粧グラスウール吸音ボードｔ25（不燃クロス張り） 乾式耐火遮音間仕切り下地 ＧＢ−Ｈ t9.5	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	—	2700			放送卓（設備工事）	棚、机、椅子
	特別支援教室 特支-1、2	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.8（発泡層付）	ボード	樹脂巾木t7.0（木目）	60				ＬＧＳ W	乾式耐火遮音間仕切り、ＧＢ−Ｈ t9.5ＥＰ−Ｇ、スチールパーテション ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ（床下地振動置敷） 構造用合板ｔ9.0、掲示用クロス、投影用クロス張り（収納棚側）	ＬＧＳ	吸音石膏ボードｔ9.5	V	2700	ＣＢ		スチールパティションの天井内、乾式耐火間仕切り素地 油圧スライド扉板 カーテンレール・カーテン	クラスルームロッカー
5階	倉庫	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0	ボード	ビニル巾木	100	—	—	—	ＬＧＳ ＬＧＳ ＬＧＳ	ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ（床下側） ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ 乾式耐火間仕切、ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｄ t9.5	V	2500				
共通	普通教室 ＣＲ①-1～7 ＣＲ②-1～7 ＣＲ③-1～7	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（木目）	ボード	樹脂巾木t7.0（木目）	60	—	—	—	ＬＧＳ W	乾式耐火遮音間仕切り、ＧＢ−Ｈ t9.5（GL工法）ＥＰ−Ｇ、ｽﾀｰﾙﾊﾟﾃｨｼｮﾝ ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ（床下地振動置敷） 構造用合板ｔ9.0、掲示用クロス、投影用クロス張り（収納棚側）	ＬＧＳ	吸音石膏ボードｔ9.5	V	2700	ＣＢ		スチールパティションの天井内、乾式耐火間仕切り素地 油圧スライド扉板 カーテンレール・カーテン	クラスルームロッカー
	多目的スペース （東、西妻側）	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（木目）	ボード	樹脂巾木t7.0（木目）	60	—	—	—	ＬＧＳ W	乾式耐火遮音間仕切り、ＧＢ−Ｈ t9.5ＥＰ−Ｇ（GL工法） ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ（床下地振動置敷） 構造用合板ｔ9.0、掲示板クロス、投影用クロス張り（収納棚側）	ＬＧＳ	吸音石膏ボードｔ9.5	V	2700	ＣＢ		天井内、スチールパティション用下地 油圧スライド扉板 カーテンレール・カーテン	クラスルームロッカー
	多目的スペース （北側）	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0	ボード	樹脂巾木t7.0（木目）	60	—	—	—	ＬＧＳ ＬＧＳ	ＧＢ−Ｈ t9.5、ＥＰ−Ｇ 乾式耐火間仕切り、ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	V	2700 2500（下天）	ＢＢ		天井内、乾式耐火間仕切り素地　ピクチャーレール カーテンレール・カーテン システムキッチン、吊戸棚（４階のみ）	
	廊下（手洗スペース共）	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（木目）	C ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	C ＬＧＳ ＬＧＳ	化粧打放し（柱型） 乾式耐火間仕切り、ＥＰ−Ｇ ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5、ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ ＬＧＳ	ＤＲ t9.0 木目化粧ｼｰﾄ+ｱﾙﾐ、ｶﾞﾗｽ繊維、発泡ｳﾚﾀﾝ複合パネル t 4.0（不燃認定品） （3階保健室前のみ）	V	2700 2500（下天）	ＣＢ		手洗い台、消火器ボックス　ピクチャーレール 点状ブロック（塩ビシート）	
	階段	±0 -20	M C	ビニル床シート t2.0	C ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	C ＬＧＳ	化粧打、ＥＰ−Ｇ ＧＢ−Ｈ t 9.5 ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ C	ＤＲ t9.0 補修の上ＥＰ（上裏）	V	2700	ＢＢ （南側）		ノンスリップ（ＳＵＳゴムタイヤ入、フラットエンド） 手摺、点状ブロック（塩ビシート） 木製笠木170W x 25D、UCL	
	MWC	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（防汚、抗菌）	ボード	床材巻上	60	—	—	—	ＬＧＳ ＬＧＳ	ＧＢ−Ｈ t9.5+ＦＫ−Ｄ t6.0（目地シール共） 乾式耐火間仕切りの上　ＦＫ−Ｄ t6.0（目地シール共）	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	V	2500	—		手洗いカウンター、トイレブース、ライニング 自閉レバネル、汚施シート 衛生器具、鏡、ペーパーホルダー（設備工事）	
	WWC	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（防汚、抗菌）	ボード	床材巻上	60	—	—	—	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｈ t9.5+ＦＫ−Ｄ t6.0（目地シール共）	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	V	2500	—		手洗いカウンター、トイレブース、ライニング 自閉レバネル 衛生器具、鏡、ペーパーホルダー（設備工事）	
	HWC （身障者トイレ）	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（防汚、抗菌）	ボード	床材巻上	60	—	—	—	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5 ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｄ t9.5	V	2500			ライニング、手摺、はね上げ手摺 手荷物フック ペーパーテープ（3ロル）、収納笠も自閉シート 衛生器具、鏡、ペーパーホルダー（設備工事）	
	ＥＰＳ	±0 -20	ＳＬ C	防塵塗装	壁下地	ビニル巾木	60	—	—	—	C C ＬＧＳ	打放し 断熱材吹付の上、ＧＢ−Ｈ t9.5（ＧＬ工法） ＧＢ−Ｈ t9.5　素地	—	スラブ顕し	—	—	—			
	ＰＳ	±0 -20	ＳＬ C	素地	壁下地	—	—	—	—	—	C ＬＧＳ	断熱材吹付顕し ＧＢ−Ｈ t9.5　素地	—	スラブ顕し	—	—	—			
	WWS、MWS（2,5階） FWC（4階）	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（抗菌）	ボード	床材巻上	60	—	—	—	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｈ t9.5+FK-D t6.0、目地シール共 ＧＢ−Ｈ t9.5（WWC側、WWS境；天井裏）	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	—	—	—		ライニング、手摺、はね上げ手摺（WWS、MWS） 鳥声器（FWC、MWS） 衛生器具、鏡、ペーパーホルダー（設備工事）	
	前室（2,5階WWS前） 前室（4階ＦＷＣ前）	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（抗菌）	ボード	床材巻上	60	—	—	—	ＬＧＳ	ＧＢ−Ｈ t9.5+FK-D t6.0、目地シール共	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	—	—				
ピット関連	エレベーターピット	2FL-1250 2FL-1260	C（金）	浸透性塗布防水	—		—	—		—	C	浸透性塗布防水 打放し（Ｂ種）	C	スラブ顕し		-				
	雨水利用槽	1FL-1570 1FL-1570	C	水槽用塗膜防水	—		—	—		—	C	水槽用塗膜防水 打放し（Ｂ種）	C	フラットデッキ（Ｚ27）顕し 現場発泡ウレタンｔ15吹付（断熱補強部）		-			排水釜場、連通管 ステンレスタラップ、スチール手摺	
	雨水貯留槽、沈砂槽	1FL-1370～ 1FL-1500 同上	C	浸透性塗布防水 躯体勾配	—		—	—		—	C	浸透系塗布防水 打放し（Ｂ種）	C	フラットデッキ（Ｚ27）顕し 現場発泡ウレタンｔ15吹付（断熱補強部）		-			排水かま場、連通管 ステンレスタラップ、スチール手摺	
その他	配管ピット	2FL-2030～ 2FL-2090 同上	C	直均し	—		—	—		—	C	— 打放し（Ｃ種）	—	セラミック粉混入木繊ボードｔ50　打込 (型枠兼用)		-			排水かま場、人通口、連通管 タラップ	
	空中歩廊	±0 -20	ＳＬ C	ビニル床シート t2.0（木目）一部塩ビ点状タイル300角 ビニル床シート t2.5（ノンスリップ）	C ボード	ビニル巾木	60	—	—	—	—	ＧＢ−Ｒ t12.5+ＧＢ−Ｈ t9.5、ＥＰ−Ｇ	ＬＧＳ	ＤＲ t9.0	—	2500	ＢＢ		手摺、窓面台：メラミンポストフォーム t 20 点状ブロック（塩ビシート） 鋲天：アルミスパンドレル	

■防水
Ｓ防水・・・シート防水
Ｍ防水・・・モルタル防水
Ａ防水・・・アスファルト防水
Ｐ防水・・・塗膜防水

■内装制限 内装制限の略号は下記とし、壁・柱型 ・梁型および天井に適用する。
不燃１・・・仕上のみ不燃材料
不燃２・・・仕上・下地とも不燃材料
準不燃１・・・仕上のみ準不燃材料
準不燃２・・・仕上・下地とも準不燃材料
難燃・・・仕上のみ難燃材料

■塗装仕上の略号
SOP・・合成樹脂調合ペイント塗り
CL・・クリヤラッカー塗り
NAD・・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
DP・・耐候性塗料塗り
EP-G・・つや有合成樹脂エマルション ペイント塗り
EP・・合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-M・・多彩模様塗料塗り
EP-T・・合成樹脂エマルション模様塗料塗り
UC・・ウレタン樹脂ワニス塗り
OS・・オイルステイン塗り
WP・・木材保護塗料塗り
BE・・焼付塗料
2-UE・・２液型ポリウレタンエナメル塗り

■廻縁等略語
A・・アルミ製廻縁
VH・・塩ビ製廻縁
W・・木製廻縁
P・・ピクチャーレール
H・・固定フック
B・・ブラインドボックス
C・・カーテンボックス レールダブル

B、C共にAL製 W150,H120

■下地・仕上略語
C・・コンクリート
M・・モルタル
LGS・・軽量鉄骨
S・・鉄骨
W・・木造
TB・・テラゾーブロック
GB-R・・せっこうボード
GB-F・・強化せっこうボード
GB-H・・普通硬質せっこうボード
GB-D・・化粧せっこうボード
DR・・ロックウール吸音板（ノンアスベスト）
GW・・グラスウール
GMB・・クロス貼グラスウールマット
FK・・ケイ酸カルシウム板
FK-D・・化粧ケイ酸カルシウム板
ECP・・押出成形セメント板
RW・・吹付けロックウール（ノンアスベスト）
XPS・・押出法ポリスチレンフォーム保温板
SL・・ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材
TC・・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
VS・・ﾋﾞﾆﾙ長尺ｼｰﾄ (t=2)
VT・・複層ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ
V・・塩ビ
AL・・アルミ

■法定防火材料認定番号（通則的認定抜粋）
ボード類・・カッコ内は最小厚を示す
不　燃 第NM-8576号・・石綿スレート（3）
石綿セメントパーライト板（6）
石綿セメントけい酸カルシュウム板（4）
不　燃 第NM-8577号・・化粧石綿スレート（3）
化粧石綿セメントパーライト板（6）
化粧石綿セメントけい酸カルシュウム板（4）
不　燃 第NM-8612・8616号・・せっこうボード（12.5）
不　燃 第NM-8613号・・不燃せっこう積層板（9.5）
不　燃 第NM-1864号・・化粧せっこうボード（9.5）
不　燃 第NM-8615号・・無機質繊維強化せっこうボード（12.5）
不　燃 第NM-8599号・・ロックウール吸音板（9）
不　燃 第NM-8601号・・吹付けロックウール（10）
不　燃 第NM-8578号・・繊維混入けい酸カルシウム板（6）
不　燃 第NM-2391,2394,2396,3137,3108号・・化粧シート
不　燃 第NM-5073号・・（木目化粧ｼｰﾄ）=ｱﾙﾐ、ｶﾞﾗｽ繊維、発泡ｳﾚﾀﾝ複合パネル t 4.0
不　燃 第NM-9645号・・普通硬質せっこうボード（9.5,12.5,15）
不　燃 第NM-0441号・・不燃せっこうボード（9.5）
不　燃 第NM-0879号・・吸音石膏ボード（9.5）
不　燃 第NM-8572号・・意匠性吹付材
ジョリパット不燃NM-8572
準不燃 第QM-9819・9820・9823号・・せっこうボード（9.5）
準不燃 第QM-0524号・・化粧せっこうボード（9.5）
準不燃 第QM-9826号・・シージングせっこうボード（9.5）
準不燃 第QM-9822・9827号・・穴あきせっこうボード（9）
準不燃 第QM-9705号・・普通木片セメント板（30）
準不燃 第QM-9706号・・硬質木片セメント板「化粧板共」（9）
準不燃 第QM-9817号・・ロックウール吸音板（6）
準不燃 第QM-9701号・・木毛セメント板（15）
準不燃 第QM-9702号・・木毛セメントパーライト板（25）
準不燃 第QM-9703号・・パルプセメント板（4.5）
準不燃 第QM-9704号・・化粧パルプセメント板（4.5）
難　燃 第RM-9340号・・難燃合板（5.5のみ）
クロス類・・基材との張り合せによる防火性能
不燃 第NM-9750～9841号（壁装材料第0001号）・・紙壁紙
不燃 第NM-9842～9887号（壁装材料第0002号）・・織物壁紙
不燃 第NM-9888～9954号（壁装材料第0005号）・・無機質壁紙
不燃 第NM-9955～9971号（壁装材料第0006号）・・特定壁紙
準不燃 第QM-9210～9342号（壁装材料第0001号）・・紙壁紙
準不燃 第QM-9164～9209号、9343～9392号（壁装材料第0002号）・・織物壁紙
準不燃 第QM-9393～9487号（壁装材料第0003号）・・ビニル壁紙
準不燃 第QM-9488～9500号（壁装材料第0004号）・・化学繊物壁紙
準不燃 第QM-9501～9571号（壁装材料第0005号）・・無機質壁紙
準不燃 第QM-9572～9642号（壁装材料第0006号）・・特定壁紙
難燃 第RM-9044～9089号、9156～9211号（壁装材料第0002号）・・織物壁紙
難燃 第RM-9090～9155、9212～9324号（壁装材料第0003号）・・ビニル壁紙
難燃 第RM-9325、9326、9327号（壁装材料第0006号）・・特定壁紙

■特記事項（仕上材等）
※特記なき限りLGSは65型とする。特記なき限りDSとEPS、区画壁のLGSはスラブ止めとし、左記以外のLGSもスラブ止めとする。
※乾式耐火間仕切り一吉野石膏ハイパーウォールＺ　ＦＰ060ＮＰ−0448（1）ーＬＧＳ６５＋強化石膏ボードt12.5　硬質石膏ボード t9.5
※乾式遮音耐火間仕切り一吉野石膏ハイパーウォールＺ・ＷＩ　ＦＰ060ＮＰ−0448（2）、遮音構造SOI-0170
ＬＧＳ６５千鳥＋強化石膏ボードt12.5　硬質石膏ボード t9.5+グラスウール t50（24ｋｇ/㎥）
※特記なき限りボードの継ぎ目は、継ぎ目処理とする。ただし、GB-Dは突付とする。FK-Dは目透かし貼りとする。
※特記なき外壁面は硬質現場発泡ウレタンは厚さ50mmとし、見掛部はＧＢ−Ｈ t9.5、ＧＬ工法とする。
※ビニル巾木は特記なき限り、t2.0とする。
※消火器BOXは、ユニオンUFB-1F-3026-PWH同等品とする。ステンレス据置型消火器ボックス（蓋付）神栄ﾎｰﾑｸﾘｴｲﾄSK-FEB-95K同等品とする。
※吸音石膏ボードは吉野石膏タイガースクエアトーン・Ｄプラス同等品とする。
※化粧グラスウール吸音ボードｔ25の表面材はポリエステル生地とし、専用ジョイナー施工とする。（アコスグラスボード同等品）
※掲示板クロスはサンゲツ、サンマグネット同等品　※投影用クロスはサンゲツ、リアテック ホワイトボードシート同等品
※ピロティ及び水槽上部部分はフラットデッキ上に断熱材（ＸＰＳ）ｔ５０打込みとする
※木構用塗膜防水はパラテックス Ｂ-2大開化学工業 同等品

※使用材料は石綿等を添加したものは使用しない。
※使用材料は特記無き限りJIS規格品を使用する事。
※内装仕上材（下地ボード類共）、内装仕上等に用いる接着剤類および塗料（錆止め共）はＦ☆☆☆☆を使用する事。

※天井裏等塗料（錆止め共）はＦ☆☆☆☆以上を使用する。
鉄部錆止めは、公共建築工事共通仕様書Ａ種とする。
床仕上高、スラブ高は各階基準高さからの数値を示す。

※天井の耐震化について
特定天井他、特記なき懸壇及び直下の天井は耐震補強した築絡在来工法（以下）とする。
ハンガー、クリップは全て築絡結合（ボルト併用）とし、築絡在来天井で使用する
クリップについて、脚間なし天井の新基準（国交省告示第771号第3第3項）に対応すること。

※断熱に用いる現場発泡ウレタン（JIS A 9526）の仕様について
特記なき限り、新発泡剤HFO品に対応した A種１Ｈ、熱伝導率0.026W/(m-K)以下で
難燃性を有するものを使用すること。

※特記なき吹付タイルは防水型複層塗材Ｅ（凸部処理、上塗りアクリルシリコン）
吹付（Ａ）は内観用デザイン吹付（ジョリパット不燃JO-200同等品）とする。

※仕上げ材の選定
新設部の材料は既存と同仕様、または近似の材を選定し、監督員の承認を得る事。
色決めについてはサンプル提出のうえ、監督員との協議を行い決定する事。

訪音パネル18シナ N

株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号
技にこころを

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	仕上表１（新校舎棟）	縮尺	—
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	A-018 (019/224)

内部仕上表（付属棟他）

階段棟・新渡り廊下

階	室名	床仕上高 スラブ高		床		巾木・腰 H		腰壁 H	壁 下地		天井 下地		天井高 基準FLから高さを示す	ボックス類	内装制限	造作品（本工事）	備考（注記事項）
各階	階段下デットスペース	±0	M（金）	素地	C	素地	100	C	**打放し**	1200	LGS	下地、断熱材表し	―	**殺板（S）表し**	―	**直天**				
		-30	C								LGS	乾式耐火被覆ボート t25、素地								
各階	エレベーターホール	±0	M（金）	ビニル床シート t2.0	ボード	VH	60	―	―	―	LGS	GB-R t12.5+GB-H t9.5 EP-G	LGS	GB-D t9.5	塩ビ	2700	BB		**点状ブロック（塩ビシート）**	
		-30	C								LGS	片面耐火間仕切り（GB-F t21+21） EP-G								
	階段	±0	M（金）	ビニル床シート t2.0	S	塗装（鉄骨）	-	―	―	―	LGS	GB-H t9.5、EP-G	―	**殺板（S）表し**	塩ビ	-			**手摺**	
		-30	C		ボード	VH	60				LGS	乾式耐火間仕切、EP-G	LGS	GB-D t9.5（最上部）		2700				
その他ピット	昇降路	-1250	C（金）	ケイ酸質系塗布防水	―		-	―	―	―	LGS	下地、断熱材表し	―	型枠デッキ表し	―	-				
		-1260										耐火被覆表し								
	新渡り廊下	±0	C（金）	防滑性ビニール床シート t2.5	C	ビニル巾木	60	C	コンクリート 打ち放し補修	300	LGS	ECP t60 の上DP塗装（アクリルシリコン樹脂）（H=300～900）	―	折板 プラスチック裏張 1種（30分耐火） 表し	―	**直天**				
		-3.0																		

既存改修（階段棟関連）

	西棟廊下（現況・撤去）	±0	M(金)	カラーローン（塗床）仕上げ t3.0	C	モルタル（金） t25 VP 一部撤去	100	―	―	―	C	モルタル（金） t25VP 一部撤去	LGS	有孔プラスターボード t9 目透かし EP 一部撤去（LGS共）	V	2700				**扉下外部の一部外部化、【撤去】床；モルタル（金）t30**
		-30																		
	西棟廊下（改修）	±0		既存のまま	ボード	VH 一部新設	100	―	―	―		撤去端一補修樹脂モルタル（金） t30 ECP t60縦張り	LGS	GB-D t9.5 一部新設（LGS共）	V	2700			ステンレス扉置き型消火器ボックス 屋内消火栓増設（別途工事） 代替進入口表示 タラップ（背かご付き）新設	既存北棟接続部閉塞：ECP t60縦張工場塗装（2-FUE） 内壁：LGS65型下地、GB-R12.5+GB-H t9.5、EP-G **（立上りｺﾝｸﾘｰﾄの上、GL工法）断熱；現場発泡ｳﾚﾀﾝ t25**
		-30									LGS	GB-R t12.5+GB-H t9.5、EP								
	西棟ランチルーム（現況・撤去）	±0	空練M	ブナフローリング張りt15、ポリウレタン樹脂3回塗り	C	ラワンt20、OP	100	W	合板 t9.0の上、タモ突板 t5.5、OSCL	900	LGS	GB-R t12.5の上ビニルクロス貼り	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP	V	2650				
	西棟ランチルーム（改修）	±0		既存のまま		既存のまま			既存のまま	―		既存のまま	【一部新設】LGS	【一部新設】GB-D t9.5（下り部共）	V	2650			一部廊下化 天井内114条区画（スチール下地、ロックウール吹付） （CH2650、3000、一部下り天CH2600、CH2400）	
											LGS	一部、天井裏：片面耐火間仕切り								
	東棟廊下（現況・撤去）	±0	M(金)	カラーローン（塗床）仕上げ t3.0	C	モルタル t25（金）目地分れ、VP	100	C		―	C	モルタル t25（金）VP	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP （玄関、事務室前の廊下の一部）	V	2700				**扉下外部の一部外部化、【撤去】床；モルタル（金）t30**
		-30																		
	東棟廊下（改修）													撤去のまま残置	V	2700			天井点検口新設	既存北棟接続部閉塞：ECP t60縦張工場塗装（2-FUE） 内壁：LGS65型下地、GB-R12.5+GB-H t9.5、EP-G **（立上りｺﾝｸﾘｰﾄの上、GL工法）断熱；現場発泡ｳﾚﾀﾝ t25**
	東棟 事務室（現況・撤去）	±0	空練M	ブナフローリング張りt15、ポリウレタン樹脂3回塗り	C	ラワンt20、OP	100	―	―	―	C	モルタル金ゴテ t25、VP	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP	V	3050				
		-30																		
	東棟 会議室（改修）			既存のまま		既存のまま						既存のまま		撤去のまま残置	V	3050				
	東棟 職員室（現況・撤去）		空練M	ブナフローリング張りt15、ポリウレタン樹脂3回塗り	C	【一部撤去】ラワンt20、OP	100	―	―	―	【一部撤去】C	**【一部撤去】モルタル金ゴテ、VP**	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP						
	東棟 湯沸室（現況のまま）	±0	M	モザイクタイル	C	モルタル t25（金）、VP	100				C	モルタル t25（金）VP	LGS	**フレキシブルボード t4.0 目透かし張り、VP**	アルミ	2550			**ステンレス流し台，吊戸棚，ステンレス水切**	
		-30																		
	東棟 交流ラウンジ（改修）			既存のまま	C	【一部新設】VH	100				【一部新設】LGS	**【一部新設】ALC板 t100、VP** **【一部新設】GB-R、素地**		撤去のまま残置（LGS下地共）						
	南棟廊下（現況・撤去）	±0	M(金)	カラーローン（塗床）仕上げ t3.0	C	モルタル t25（金）目地分れ、VP	100				C	モルタル t25（金）VP	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP						
		-30																		
	南棟廊下（改修）			既存のまま		既存のまま						既存のまま		撤去のまま残置（LGS下地共）					天井点検口新設 代替進入口表示	
	南棟 第２理科室（現況・撤去） 第２音楽室（現況・撤去）	-30	空練M	**【一部撤去】ブナフローリング張りt15、ポリウレタン樹脂3回塗り（音楽室）**	C	【一部撤去】ラワンt20、OP	100				C	【一部撤去】モルタル t25（金）VP	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP	【一部撤去】V	3650（音楽室） 3050			【一部撤去】サッシュ 【一部撤去】アルミカーテンボックス	
		±0	M（金）	【一部撤去】ビニル床シート t2.5（理科室）																
	南棟 第２理科室 （改修） 第２音楽室 （改修）	-30	M（金）	【一部新設】ビニル床シート t2.5	C	【一部撤去】VH	100				LGS C	【新設】GB-H t9.5、素地 【新設】ALC板 t100	【一部新設】LGS	【一部新設】GB-D t9.5（下り部共）	【一部新設】V	3650 2700（音楽室） 3050 2500			代替進入口表示（第1音楽室、第1理科室共） （その他、相談室他一法チェック図による）	
		±0																		
	連絡通路（現況・撤去）	-30	M（金）	カラーローン（塗床）仕上げ t3.0	C	モルタル t25（金）目地分れ、VP	100				C	モルタル t25（金）EP	【一部撤去】LGS	【一部撤去】有孔プラスターボード t9 目透かし EP	【一部撤去】V	2450				
		±0																		
	連絡通路（改修）	-30		既存のまま		既存のまま						既存のまま	【一部新設】LGS	【一部残置】有孔プラスターボード t9 目透かし EP（LGS下地共） 【一部新設】GB-D t9.5（下り部共）	【一部新設】V	2450 2200				
		±0																		
	以下天井点検口の設置のみ																			
	西棟普通教室（2、3階）												LGS	有孔プラスターボード t9 目透かし EP 一部撤去（LGS共）					天井点検口新設	
	西棟、家庭科室（調理） 家庭科室（被覆） および準備室												LGS	有孔プラスターボード t9 目透かし EP 一部撤去（LGS共）					天井点検口新設	
	西棟、視聴覚室 および準備室												LGS	有孔プラスターボード t9 目透かし EP 一部撤去（LGS共）					天井点検口新設	
	西棟、英語教室 コンピュータ教室												LGS	有孔プラスターボード t9 目透かし EP 一部撤去（LGS共）					天井点検口新設	

■防水
S防水・・・シート防水
M防水・・・モルタル防水
A防水・・・アスファルト防水
P防水・・・塗膜防水

■内装制限 内装制限の略号は下記とし、壁・柱型 ・梁型および天井に適用する。
不燃１・・・仕上のみ不燃材料
不燃２・・・仕上・下地とも不燃材料
準不燃１・・・仕上のみ準不燃材料
準不燃２・・・仕上・下地とも準不燃材料
難燃・・・仕上のみ難燃材料

■塗装仕上の略号
SOP・・合成樹脂調合ペイント塗り
CL・・クリヤラッカー塗り
NAD・・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
DP・・耐候性塗料塗り
EP-G・・つや有合成樹脂エマルション ペイント塗り
EP・・合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-M・・多彩模様塗料塗り
EP-T・・合成樹脂エマルション模様塗料塗り
UC・・ウレタン樹脂ワニス塗り
OS・・オイルステイン塗り
WP・・木材保護塗料塗り
BE・・焼付塗料
2-UE・・２液型ポリウレタンエナメル塗り

■廻縁等略語
A・・アルミ製廻縁
VH・・塩ビ製廻縁
W・・木製廻縁
P・・ピクチャーレール
H・・固定フック
B・・ブラインドボックス
C・・カーテンボックス レールダブル

B、C共にAL製 W150,H120

■下地・仕上略語
C・・コンクリート
M・・モルタル
LGS・・軽量鉄骨
S・・鉄骨
W・・木造
TB・・テラゾーブロック
GB-R・・せっこうボード
GB-F・・強化せっこうボード
GB-H・・普通硬質せっこうボード
GB-D・・化粧せっこうボード
DR・・ロックウール吸音板（ノンアスベスト）
GW・・グラスウール
GWB・・クロス貼グラスウールマット
FK・・ケイ酸カルシウム板
FK-D・・化粧ケイ酸カルシウム板
ECP・・押出成形セメント板
RW・・吹付けロックウール（ノンアスベスト）
XPS・・押出法ポリスチレンフォーム保温板
SL・・ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材
TC・・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
VS・・ﾋﾞﾆﾙ長尺ｼｰﾄ (t=2)
VT・・複層ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ
V・・塩ビ
AL・・アルミ

■法定防火材料認定番号（通則的認定抜粋）
ボード類・・カッコ内は最小厚を示す
不 燃 第NM-8576号・・石綿スレート（3）
石綿セメントパーライト板（6）
石綿セメントけい酸カルシュウム板（4）
不 燃 第NM-8577号・・化粧石綿スレート（3）
化粧石綿セメントパーライト板（6）
化粧石綿セメントけい酸カルシュウム板（4）
不 燃 第NM-8612・8616号・・せっこうボード（12.5）
不 燃 第NM-8613号・・不燃せっこう積層板（9.5）
不 燃 第NM-1864号・・化粧せっこうボード（9.5）
不 燃 第NM-8615号・・無機質繊維強化せっこうボード（12.5）
不 燃 第NM-8599号・・ロックウール吸音板（9）
不 燃 第NM-8601号・・吹付けロックウール（10）
不 燃 第NM-8578号・・繊維混入けい酸カルシウム板（6）
不 燃 第NM-2391,2394,2396,3137,3108号・・化粧シート
不 燃 第NM-0229号・・アルミ樹脂複合板（4）
不 燃 第NM-9645号・・普通硬質せっこうボード（9.5,12.5,15）
不 燃 第NM-0441号・・不燃せっこうボード（9.5）
不 燃 第NM-2439号・・マーレス不燃（6）
不 燃 第NM-8572号・・ジョリパット不燃JQ-200
準不燃 第QM-9819・9820・9823号・・せっこうボード（9.5）
準不燃 第QM-0524号・・化粧せっこうボード（9.5）
準不燃 第QM-9826号・・シージングせっこうボード（9.5）
準不燃 第QM-9822・9827号・・穴あきせっこうボード（9）
準不燃 第QM-9705号・・普通木片セメント板（30）
準不燃 第QM-9706号・・硬質木片セメント板「化粧板共」（9）
準不燃 第QM-9817号・・ロックウール吸音板（6）
準不燃 第QM-9701号・・木毛セメント板（15）
準不燃 第QM-9702号・・木毛セメントパーライト板（25）
準不燃 第QM-9703号・・パルプセメント板（4.5）
準不燃 第QM-9704号・・化粧パルプセメント板（4.5）
難 燃 第RM-9340号・・難燃合板（5.5のみ）

クロス類・・基材との張り合せによる防火性能
不燃 第NM-9750～9841号（壁装材料第0001号）・・紙壁紙
不燃 第NM-9842～9887号（壁装材料第0002号）・・織物壁紙
不燃 第NM-9888～9954号（壁装材料第0005号）・・無機質壁紙
不燃 第NM-9955～9971号（壁装材料第0006号）・・特定壁紙
準不燃 第QM-9210～9342号（壁装材料第0001号）・・紙壁紙
準不燃 第QM-9164～9209号、9343～9392号（壁装材料第0002号）・・織物壁紙
準不燃 第QM-9393～9487号（壁装材料第0003号）・・ビニル壁紙
準不燃 第QM-9488～9500号（壁装材料第0004号）・・化学織物壁紙
準不燃 第QM-9501～9571号（壁装材料第0005号）・・無機質壁紙
準不燃 第QM-9572～9642号（壁装材料第0006号）・・特定壁紙
難燃 第RM-9044～9089号、9156～9211号（壁装材料第0002号）・・織物壁紙
難燃 第RM-9090～9155、9212～9324号（壁装材料第0003号）・・ビニル壁紙
難燃 第RM-9325、9326、9327号（壁装材料第0006号）・・特定壁紙

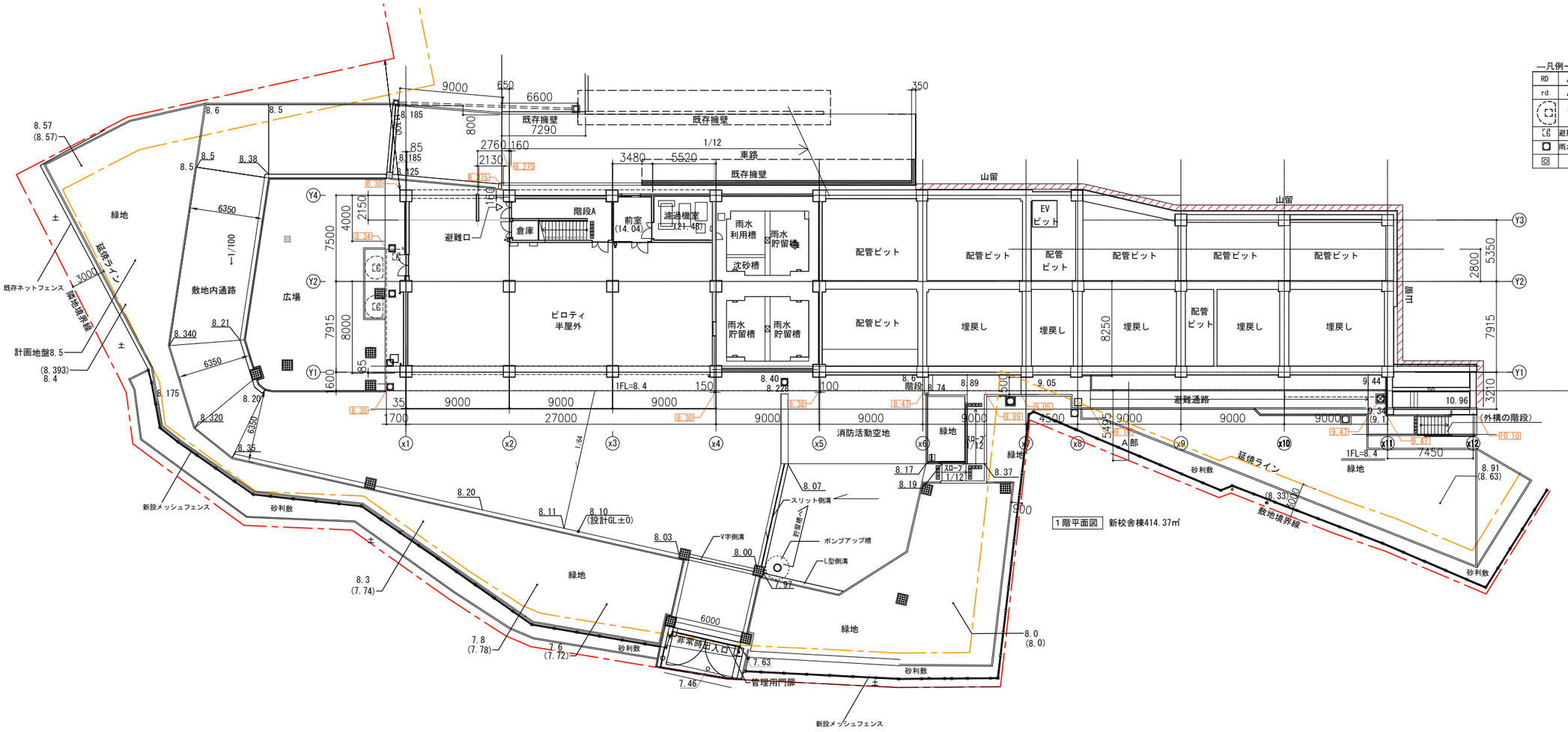
■特記事項（仕上材等）
※特記なき限りLGSは65型とする。特記なき限りDSとEPS、区画壁のLGSはスラブ止めとし、左記以外のLGSもスラブ止めとする。
※乾式耐火間仕切り一吉野石膏ハイパーウォールZ FP060NP-0448（1）一LGS65＋強化石膏ボード12.5 硬質石膏ボード t9.5
※乾式片面耐火間仕切り一吉野石膏SウォールFP060NP-049一LGS65＋強化石膏ボード21，2枚張り
LGS65千鳥＋強化石膏ボード12.5 硬質石膏ボード t9.5:グラスウール t50（24kg/m³）
※特記なき限りボードの継ぎ目は、継ぎ目処理とする。ただし、GB-Dは突付とする。FK-Dは目透かし貼りとする。
※特記なき外壁面は硬質現場発泡ウレタンは厚さ25mmとし、見掛部はGB-H t9.5、GL工法とする。
※ビニル巾木は特記なき限り、t2.0とする。
※コンクリート壁撤去はカッター入れにて行い、端部は樹脂モルタルt30にて補修すること。
※壁撤去、新設部に接する床および天井は500mm巾程度で既存を撤去、復旧すること。
※廊下端部閉塞化に伴い外部化した床は樹脂モルタルt10～30（勾配）の上塗膜防水（X-2）を行うこと。
※既存天井に用いる天井点検口仕上げは特記なき限り、DR t9.0直張りとする。

※使用材料は石綿等を添加したものは使用しない。	※天井裏等塗料（錆止め共）はF☆☆☆☆以上を使用する。	※天井の耐震化について	※断熱に用いる現場発泡ウレタン（JIS A 9526）の仕様について
※使用材料は特記無き限りJIS規格品を使用する事。	鉄部錆止めは、公共建築工事共通仕様書Ａ種とする。	**増築部分は扉下（含む階段室内）の天井は耐震補強した緊結を来工法（以下）とする。**	**特記なき限り、断発泡剤F0品に対応した A種１H、熱伝導率0.026W/(m･K)以下で**
※内装仕上材（下地ボード類共）、内装仕上等に用いる接着剤類および塗料（錆止め共）はF☆☆☆☆を使用する事。	床仕上高、スラブ高は各階基準高さからの数値を示す。	**ハンガー、クリップは全て緊結結合（ボルト併用）とし、緊結を来天井で使用する** **クリップについて、建開なし天井の新基準（国交省告示第771号第3第3項）に対応すること。**	**難燃性を有するものを使用すること。**

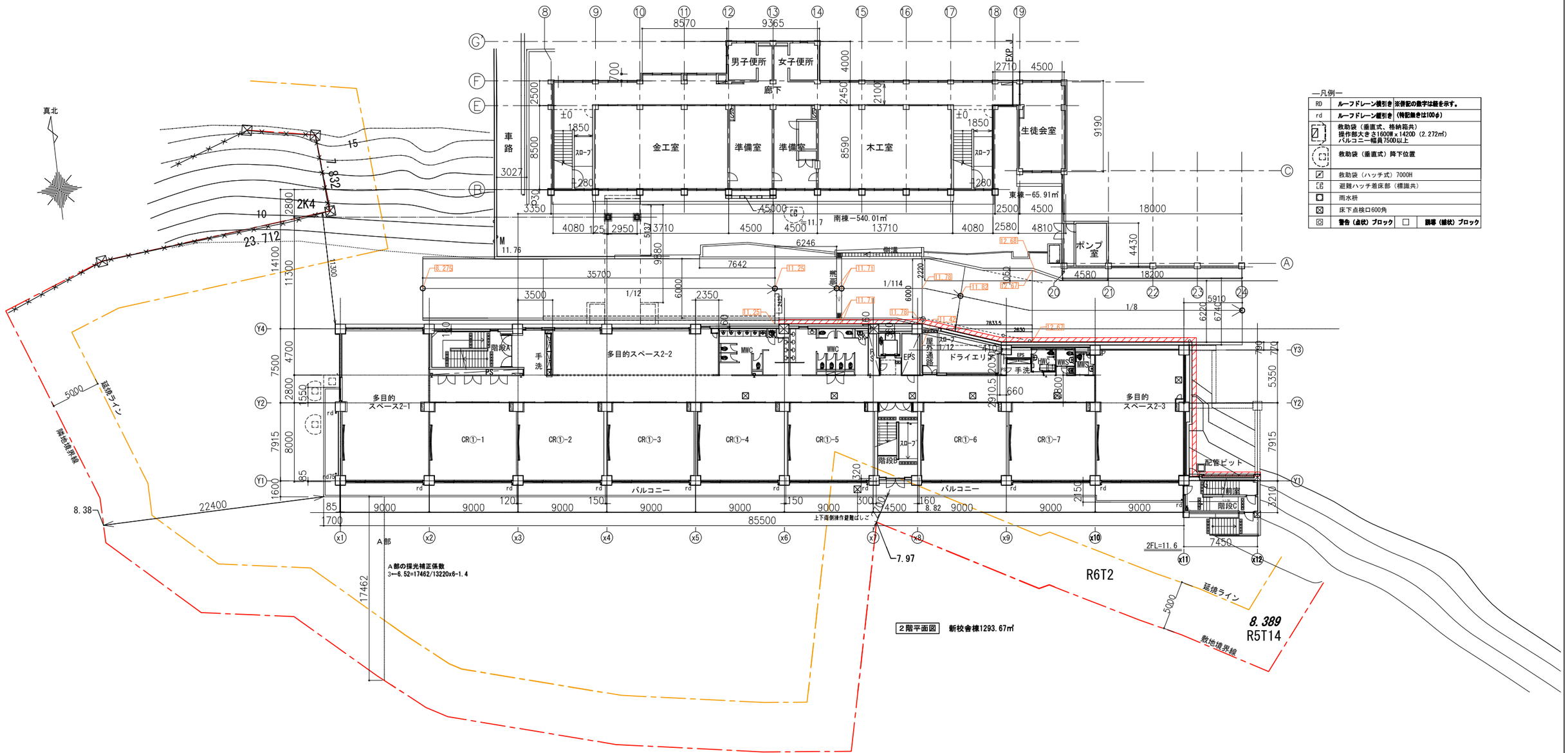
※仕上げ材の選定
新設部の材料は既存と同仕様、または近似の材を選定し、監督員の承諾を得る事。
色決めについてはサンプル提出のうえ、監督員との協議を行い決定する事。

防音パネル18シナN

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘 構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和 設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	仕上表２（付属棟、既存改修）	縮尺 ―	A-019
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(020/224)



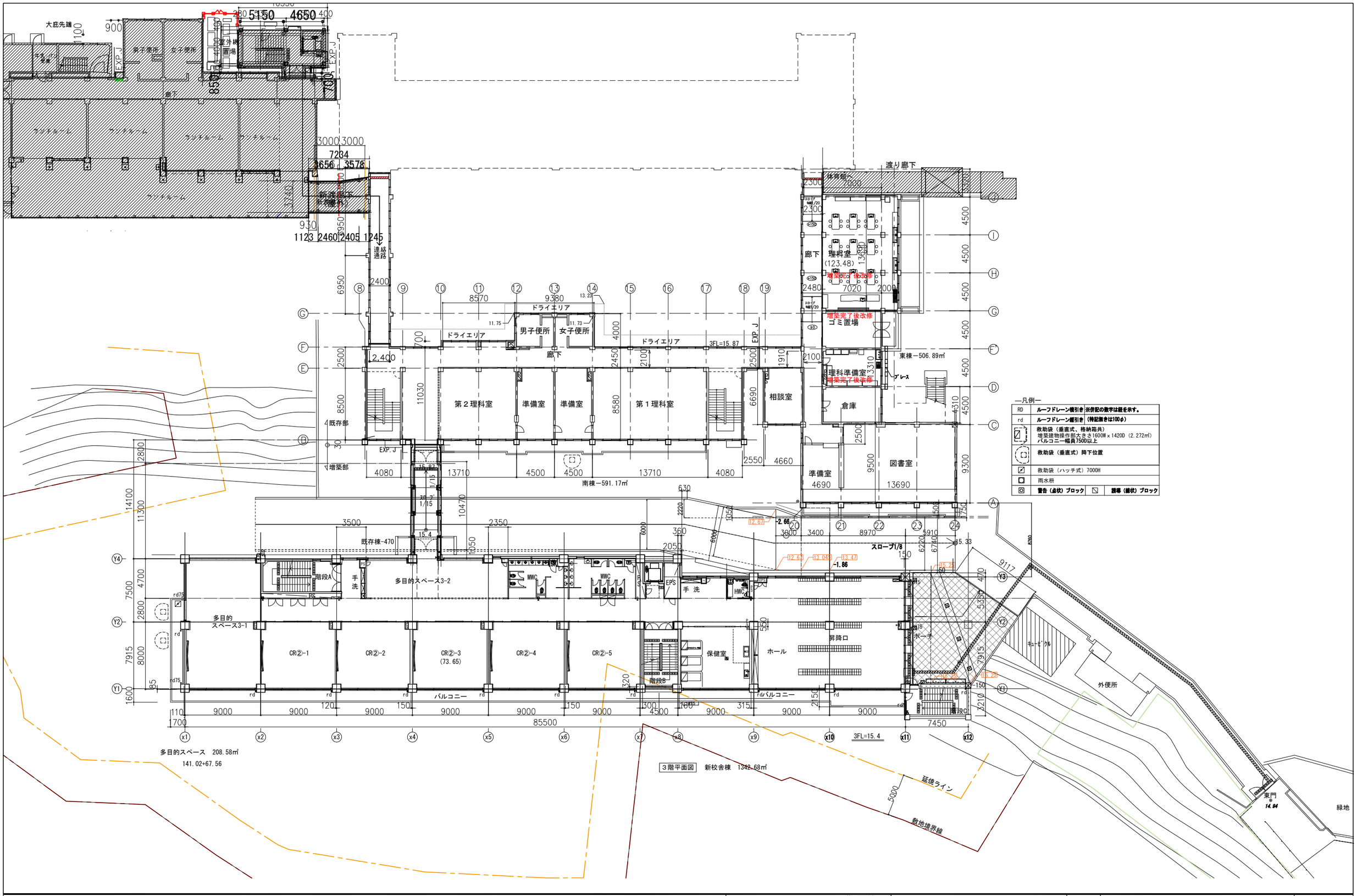
	株式会社 大建設計 技にこころを	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	新校舎棟平面図１（１階）	縮尺 1/400(A3) 1/200(A1)	A-020
		設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(021/224)



—凡例—

RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は径を示す。	
rd	ルーフドレーン縦引き	(特記無きは100φ)	
	救助袋（垂直式、格納箱共） 操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員7500以上		
	救助袋（垂直式）降下位置		
	救助袋（ハッチ式）7000H		
	避難ハッチ着床部（標識共）		
	雨水枡		
	床下点検口600角		
	警告（点状）ブロック	□	誘導（線状）ブロック

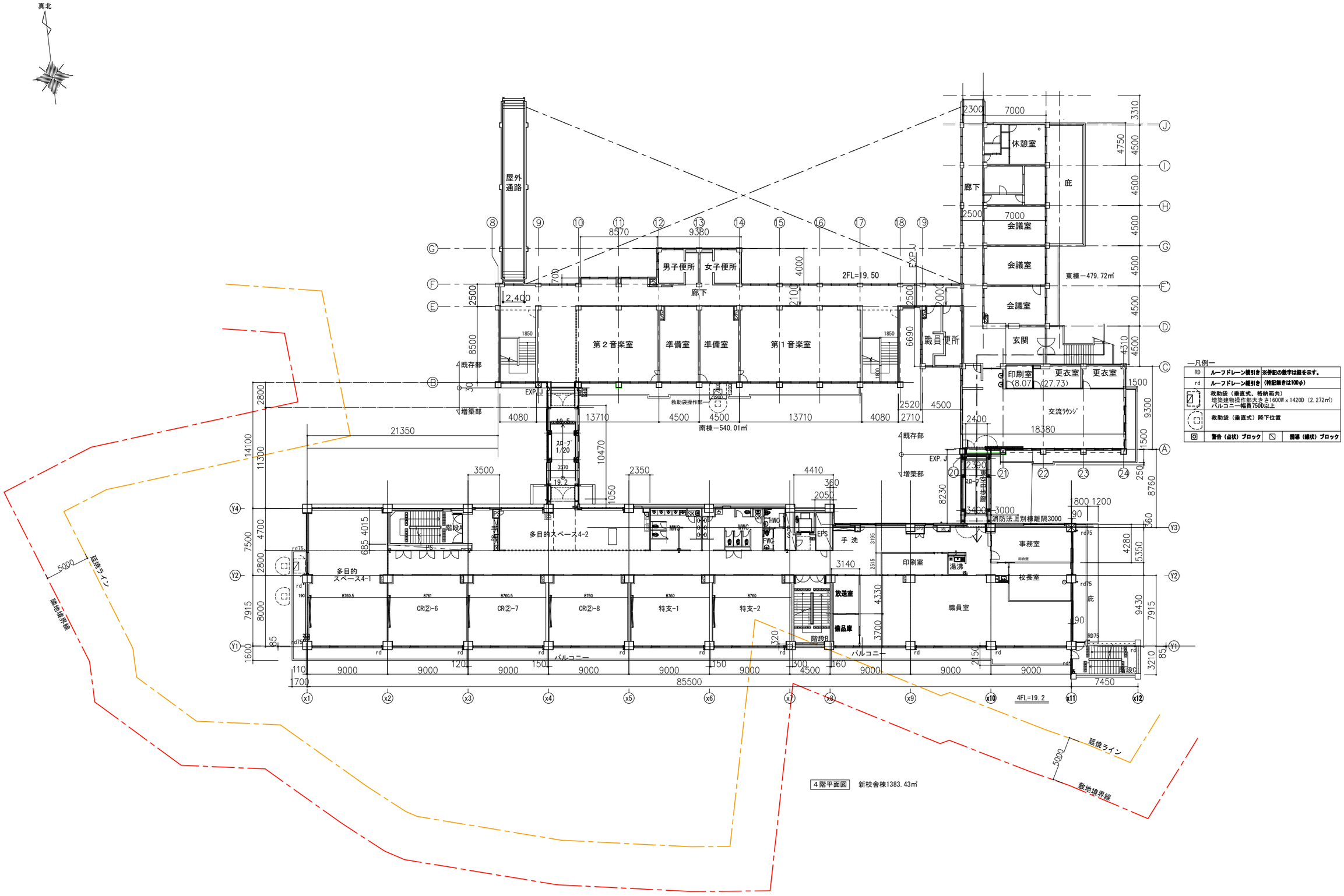
技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
		図面名	新校舎棟平面図２（２階）	縮尺 1/400(A3) 1/200(A1)	A-021
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(022/224)



—凡例—

RD	ルーフドレーン縦引き	※併記の数字は径を示す。	
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）	
	救助袋（垂直式、格納箱共） 増築建物操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上		
	救助袋（垂直式）降下位置		
	救助袋（ハッチ式）7000H		
	雨水桝		
	警告（点状）ブロック		誘導（線状）ブロック

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	新校舎棟平面図３（３階）	縮尺 1/400（A3） 1/200（A1）	A-022
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(023/224)



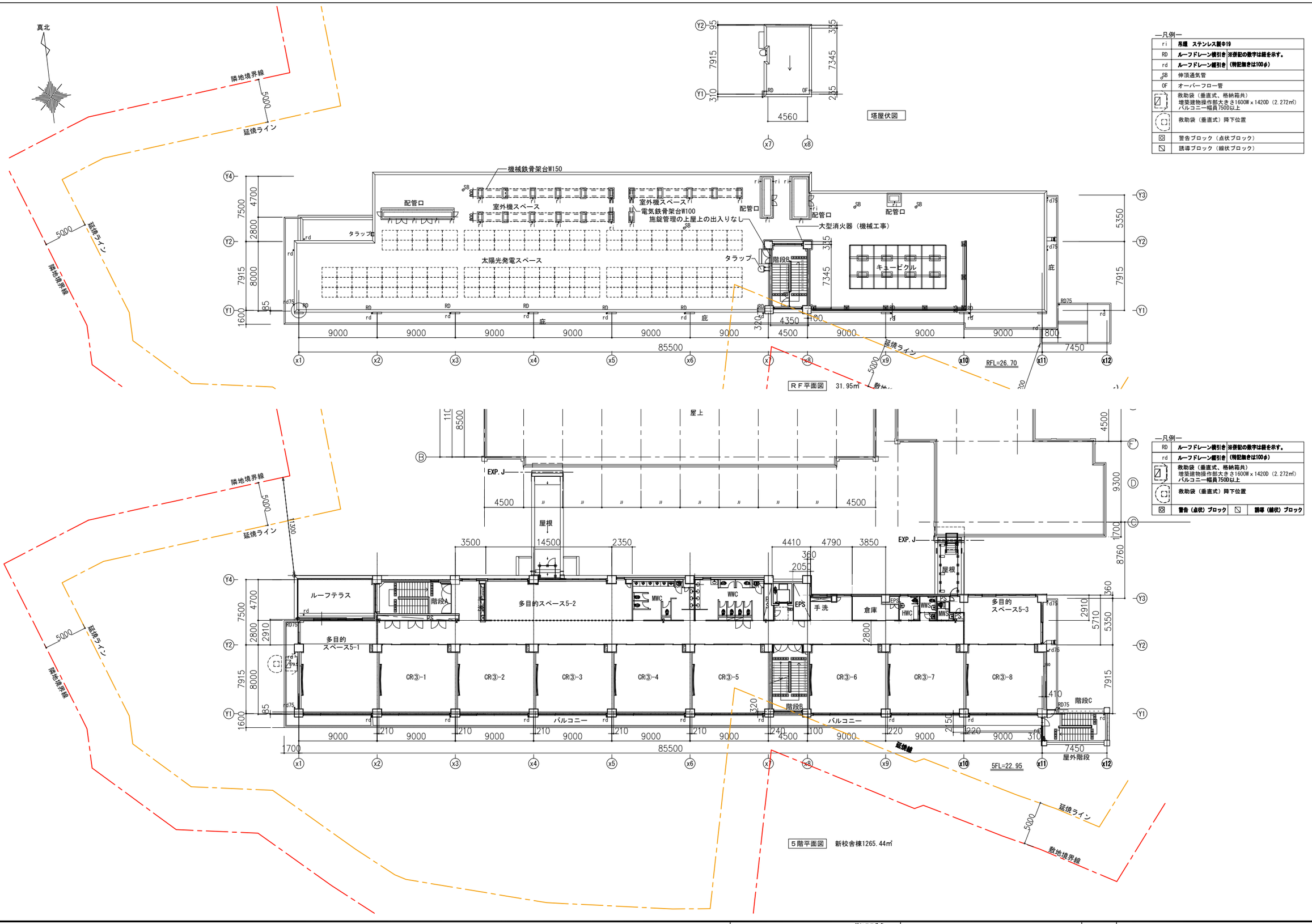
凡例

RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は径を示す。	
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）	
	救助袋（垂直式、格納箱共） 増築建物接作部大きさ1600W x 1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上		
	救助袋（垂直式）降下位置		
	警告（点状）ブロック		誘導（線状）ブロック

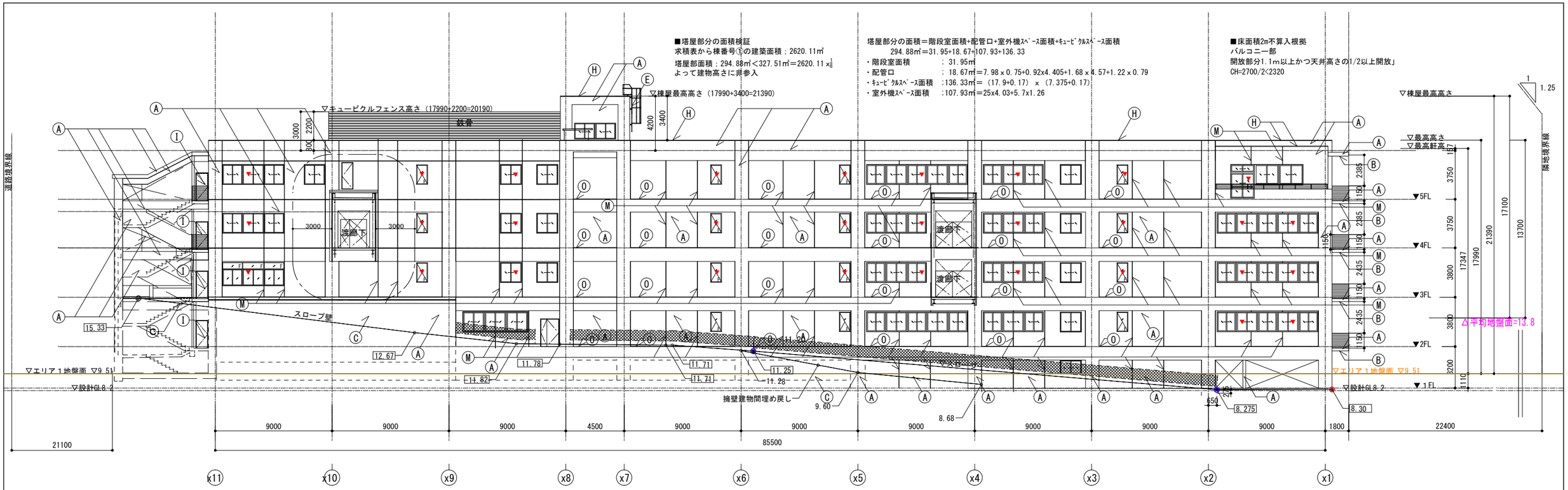
4階平面図　新校舎棟1383.43㎡

株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	新校舎棟平面図４（４階）
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	尺度	1/400 (A3) 1/200 (A1)
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-023 (024/224)



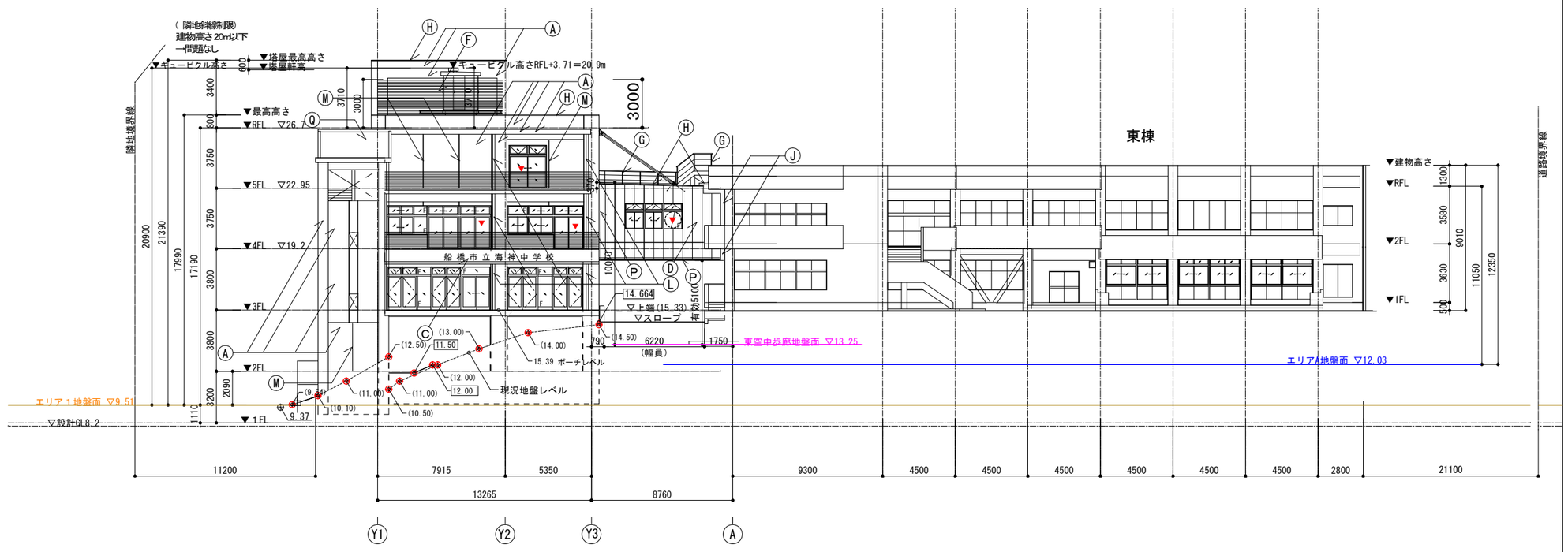
技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	図面名	新校舎棟平面図５（５階、屋上、塔屋）	縮尺 1/400(A3) 1/200(A1)	A-024
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(025/224)



北立面図

凡例

	外部 仕上表
Ⓐ	コンクリート化粧打（A種型枠）防水形複層塗材E
Ⓑ	上裏；コンクリート化粧打（B種型枠）外装薄塗材E
Ⓒ	コンクリート打放し（A種型枠）撥水材
Ⓓ	ECPフラットパネル縦張りt60 2FUE工場塗装
Ⓔ	ステンレスタラップ（背かご付き）
Ⓕ	アルミ（焼付塗装）目隠しルーバー
Ⓖ	スチール手摺、溶融亜鉛メッキ
Ⓗ	アルミ笠木、焼付塗装
Ⓘ	鋼製建具、焼付塗装
Ⓙ	樹脂製エキスパンションジョイント
Ⓚ	竪樋 カラーVP 100φ
Ⓛ	竪樋 カラーVP 75φ
Ⓜ	収縮目地（シーリング共）
Ⓝ	構造スリット、25W（シーリング共）
Ⓞ	ステンレス水切り
Ⓟ	アルミ金物、焼付塗装
Ⓠ	塗膜防水（X-2）
Ⓡ	ALC板ｔ50、防水形複層塗材E
Ⓢ	SUS深型フードガラリ SPFG-C・SPFG-CDSP（排気用）150φ 着脱式ガラリ付き指定色（地中梁スラブ補強共）
	アルミサッシュ（ガラス共）
	スチール手摺、溶融亜鉛メッキ、リン酸亜鉛処理
	ステンレス（HL）手摺
▼	代替侵入口



東立面図

株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	新校舎棟及び接続既存部 立面図 1	縮尺 1/300 (A3) 1/150 (A1)	A-025
	設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(026/224)

■床面積2m不算入根拠
バルコニー部
開放部分1.1m以上かつ天井高さの1/2以上開放」
CH=2700/2<2320

■塔屋部分の面積検証
求積表から棟番号①の建築面積：2620.11㎡
塔屋部面積：294.88㎡<327.51㎡=2620.11㎡×1/8
よって建物高さに非参入

塔屋部分の面積＝階段室面積+配管口+室外機ｽﾍﾟｰｽ面積+ｷｭｰﾋﾟｸﾙｽﾍﾟｰｽ面積
294.88㎡＝31.95+18.67+107.93+136.33
・階段室面積　：31.95㎡
・配管口　：18.67㎡＝7.98×0.75+0.92×4.405+1.68×4.57+1.22×0.79
・ｷｭｰﾋﾟｸﾙｽﾍﾟｰｽ面積　:136.33㎡＝（17.9+0.17）×（7.375+0.17）
・室外機ｽﾍﾟｰｽ面積　:107.93㎡＝25×4.03+5.7×1.26

（隣地斜線制限）
建物高さ20m以下
一問題なし

▼20m 避雷針設置ライン
▼室外機高さ
▼ハト小屋高さ
▼最高高さ
▼RFL ▽26.7
▼5FL ▽22.95
▼4FL ▽19.2
▼3FL ▽15.4
▼2FL ▽11.6
▼1FL ▽8.4
エリア1地盤面 ▽9.51
▽設計GL-0.2
隣地境界線
道路境界線
15.39（ポーチ見えがかり部）
(11.00) ▽11.6
(12.00)
現況地盤レベル
エリア1地盤面 ▽9.51
10.10
9.47
9.10
9.05
8.47
8.38
8.30
ステンレス手摺

22400 1700 9000 9000 9000 9000 2000 7000 9000 9000 4500 9000 9000 9000 7450 320 123000

x1 x2 x3 x4 x5 x6 x7 x8 x9 x10 x11 x12

南立面図

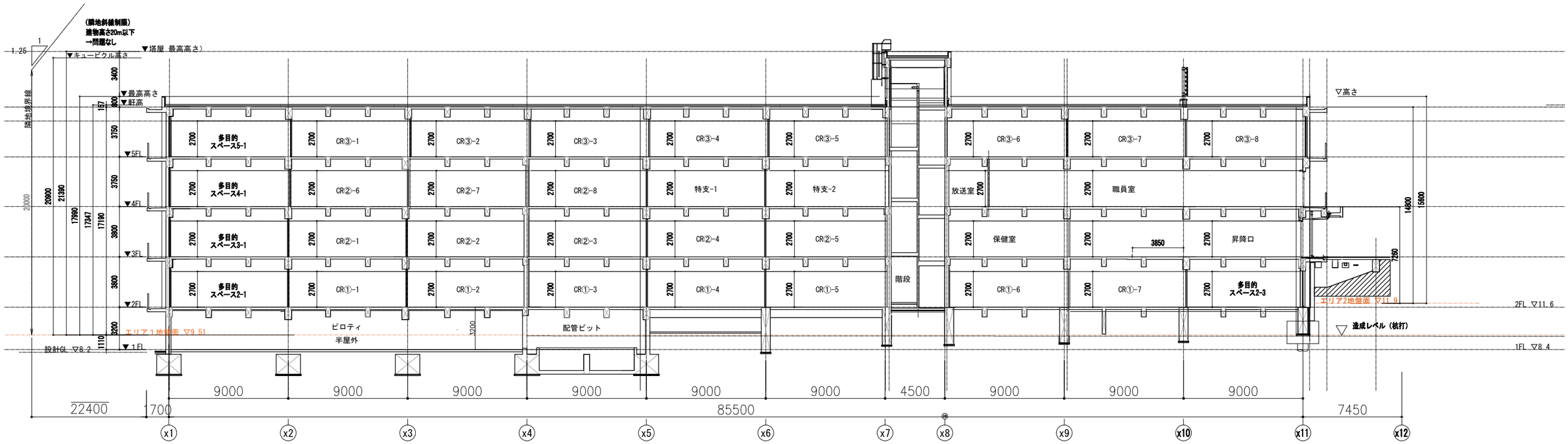
凡例

外部 仕上表	
A	コンクリート化粧打（A種型枠）防水形複層塗材E
B	上裏：コンクリート化粧打（B種型枠）外装薄塗材E
C	コンクリート打放し（A種型枠）撥水材
D	ECPフラットパネル縦張りt60 2FUE工場塗装
E	ステンレスタラップ（背かご付き）
F	アルミ（焼付塗装）目隠しルーバー
G	スチール手摺、溶融亜鉛メッキ
H	アルミ笠木、焼付塗装
I	鋼製建具、焼付塗装
J	樹脂製エキスパンションジョイント
K	竪樋 カラーVP 100φ
L	竪樋 カラーVP 75φ
M	収縮目地（シーリング共）
N	構造スリット、25㎜（シーリング共）
O	ステンレス水切り
P	アルミ金物、焼付塗装
Q	塗膜防水（X-2）
R	ALC板ｔ50、防水形複層塗材E
S	SUS深型フードガラリ SPFG-C・SPFG-CDSP（排気用）150φ 着脱式ガラリ付き指定色（地中梁スラブ補強共）
	アルミサッシュ（ガラス共）
	スチール手摺、溶融亜鉛メッキ、リン酸亜鉛処理
	ステンレス（HL）手摺
▼	代替侵入口

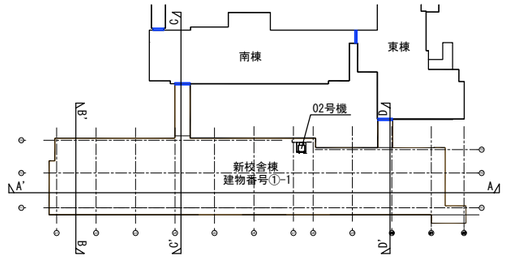
道路境界線
隣地境界線
北棟（R10解体予定）
既存棟
南棟
連絡通路
▽最高高さ（増築後）
▽軒高さ（増築後）
▼建物高さ
▼RFL
▼2FL
▼1FL
△現況地盤面=15.21
△平均地盤面=13.80
エリアB地盤面 △14.98
エリアA地盤面 ▽12.03
西空中歩廊地盤面▽11.37
▽11.74
▽9.8
▽8.275 スロープ下端
空中歩廊下端レベル
△平均地盤面=13.8
▼塔屋（最高高さ）
▼塔屋（軒高）
▼RFL
▼5FL
▼4FL
▼3FL
▼2FL
▼1FL
1930
4650
9745 300 15600 17400 15000 2800 11300 4700 2800 95 3607 7500 7915 1600
11300
柱面から隣地境界までの距離
Y4 Y2 Y1

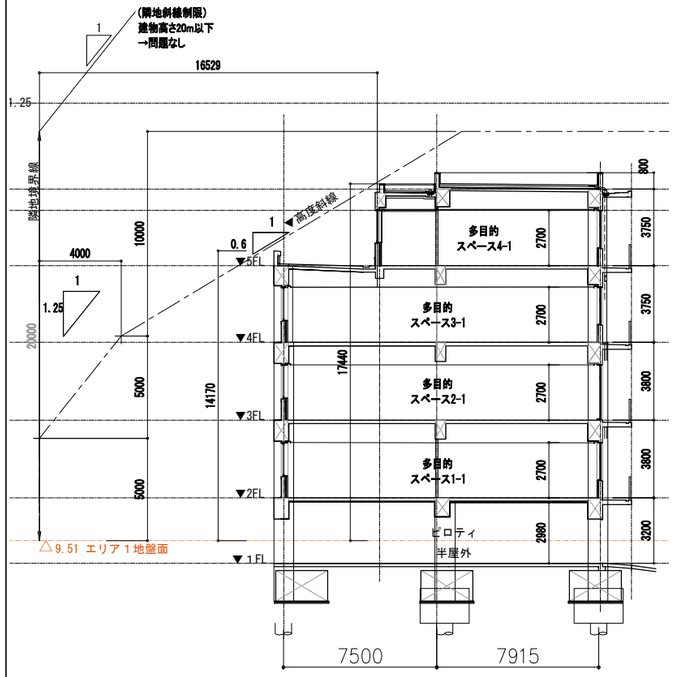
西立面図

株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号	
	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	新校舎棟及び接続既存部 立面図２	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-026	
	設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(027/224)	

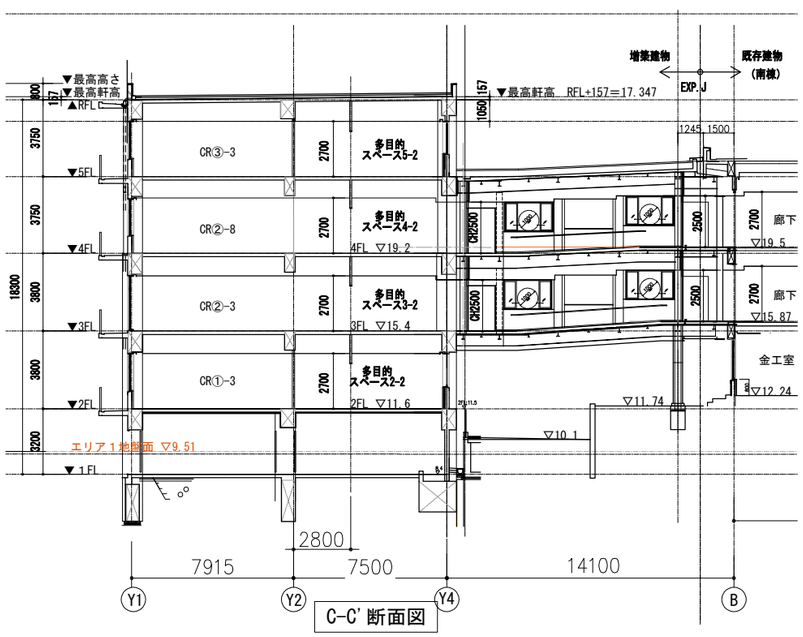


A-A' 断面図

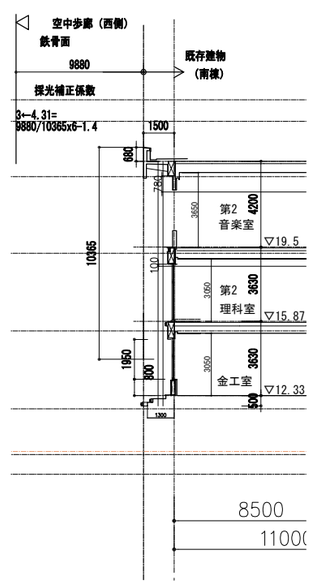




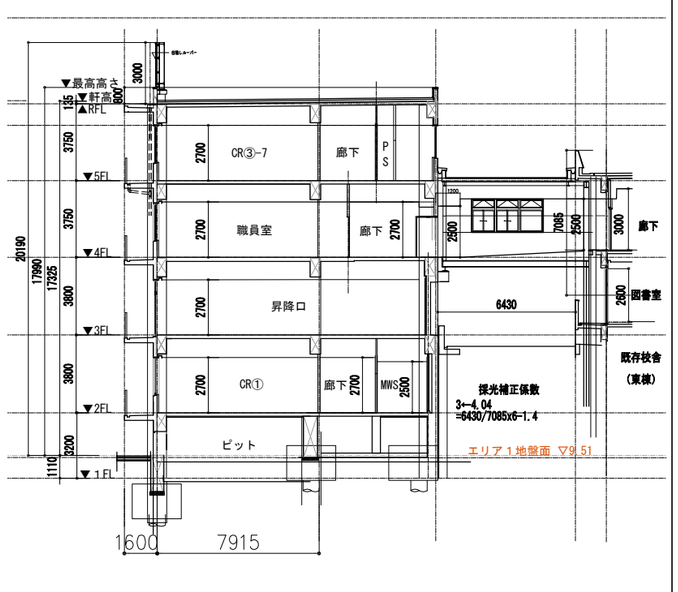
B-B' 断面図



C-C' 断面図



C-C' 断面図



D-D' 断面図

		株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
				図面名	新校舎棟断面図	縮尺 1/300 (A3) 1/150 (A1)	A-027
				船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(028/224)

▼最高高さ

押えｺﾝｸﾘｰﾄt＝80伸縮目地切(溶接金網6φ100x100)
アスファルト防水(B1−2)+XPS t=100+絶縁ｼｰﾄ
コンクリート直均し

押えｺﾝｸﾘｰﾄt＝80伸縮目地切(溶接金網6φ100x100)
アスファルト防水(B−2)
コンクリート直均し

塗膜防水(X−2)

塗膜防水
コンクリート(金)

水切りプレート

現場発泡ウレタンt100

樋：白ガス管100φ
防露巻きt25

梁貫通

木製カーテンボックス

天井；吸音石膏ボードt9.5

教室間仕切り増設用LGS
補強、C−60x40x2.3@1800

多目的ｽﾍﾟｰｽ 5−1

壁：EP−G
LGS65型+GB−Rt12.5+GB−Ht9.5
現場発泡ウレタンt50
床；ビニル床シート t2.0（木目）
SLt20下地

ステンレス手摺

硬質発泡ウレタン
t100吹付

断熱補強；硬質発泡ウレタンt15

多目的ｽﾍﾟｰｽ 4−1

壁：EP−G
LGS65型+GB−Rt12.5+GB−Ht9.5
現場発泡ウレタンt50
床；ビニル床シート t2.0（木目）
SLt20下地

配線用ふかし壁
LGS50下地

塗膜防水
コンクリート(金)

水切りプレート
ステンレスt3x70L

防水形複層塗材E
コンクリート化粧打ち

塗膜防水
（ノンスリップ）
コンクリート(金)

外装薄塗材E

多目的ｽﾍﾟｰｽ 3−1

壁：EP−G
LGS65型+GB−Rt12.5+GB−Ht9.5
現場発泡ウレタンt50
床；ビニル床シート t2.0（抗菌）
SLt20下地

−掃出し部−

▽窓中心

多目的ｽﾍﾟｰｽ 2−1

壁：EP−G 2−1
LGS65型+GB−Rt12.5+GB−Ht9.5
現場発泡ウレタンt50
床；ビニル床シート t2.0（木目）
SLt20下地

XPSt50打込み(デッキプレート上)

不燃断熱材t15吹付

樹脂製コーナーガード
75x76x2000L

梁 断熱補強
不燃断熱材t15吹付
SKダンセラボン#25

ピロティ

コンクリート
化粧打放

コンクリート打放し
巾木A

床；防塵塗装(ケイ酸ナトリウム系コンクリート表面硬化材)
カッター目地共

緩衝材t25w+25Wx20H、アスファルトコンパウンド充填

防湿シート t=0.15
硬質発泡ウレタン t 50
再生砕石 t 100
発生土 埋め戻し

X1〜X2間

114条区画；乾式耐火間仕切り

EP−G
下がり壁（114条区画）
補強、C−60x40x2.3@1800

学校用スチールパーティション

廊下

多目的ｽﾍﾟｰｽ 5−2

基礎下
硬質現場発泡ウレタン吹付 t50

多目的ｽﾍﾟｰｽ 4−2

配線用ふかし壁
LGS50下地

塗膜防水
コンクリート(金)
水切り

天井；DRt9.0

多目的ｽﾍﾟｰｽ 3−2

多目的ｽﾍﾟｰｽ 2−2

GWBt25

遮過機械室

コンクリート打放し補修

床・巾木；塗床（アクリル樹脂系）

水槽

x3〜x4間

x4〜x5間

防水形複層塗材E

超速硬化ウレタン防水

西空中歩廊

床；ビニル床シート t2.0
SLt20下地

目隠しパネルt40
メラミン化粧鋼板

WWC

CH2700

CH2500

廊下

2FL;11.5

ガードフェンス
外構図による

配管ピット

止水板

コンクリート舗装t100

U字側溝、歩道用蓋共
スチールグレーチング240w用

車路擁壁−先行工事（別途）

ポリスチレンフォームt50（型枠）
山留部コンクリートバカ打ち

山留（鋼矢板4型）
先行工事（別途）

排水桝
外構図による

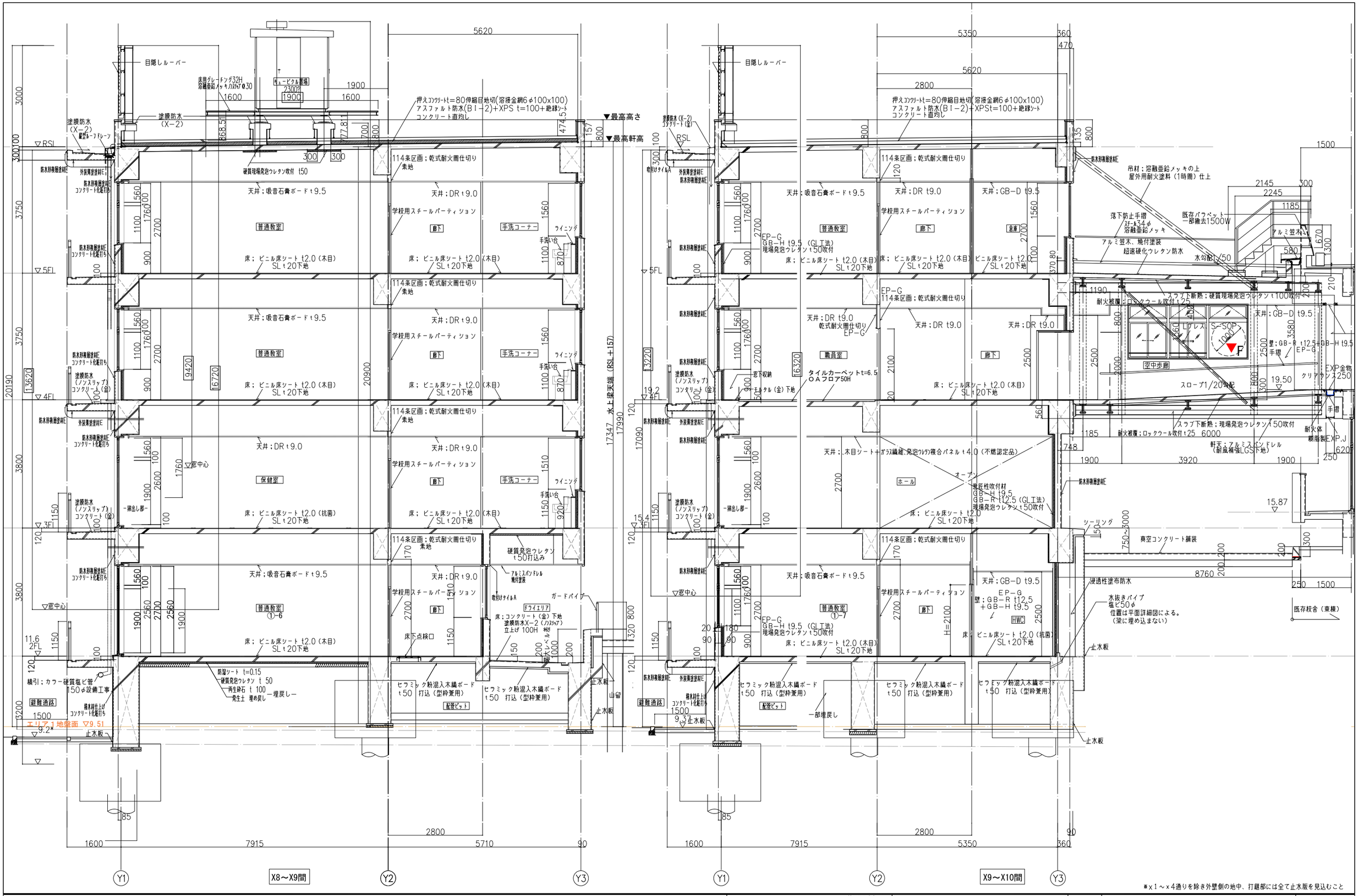
x6〜x7間

※x1〜x4通りを除き外壁側の地中、打継部には全て止水版を見込むこと

株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	新校舎棟矩計図 1	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-028
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(029/224)

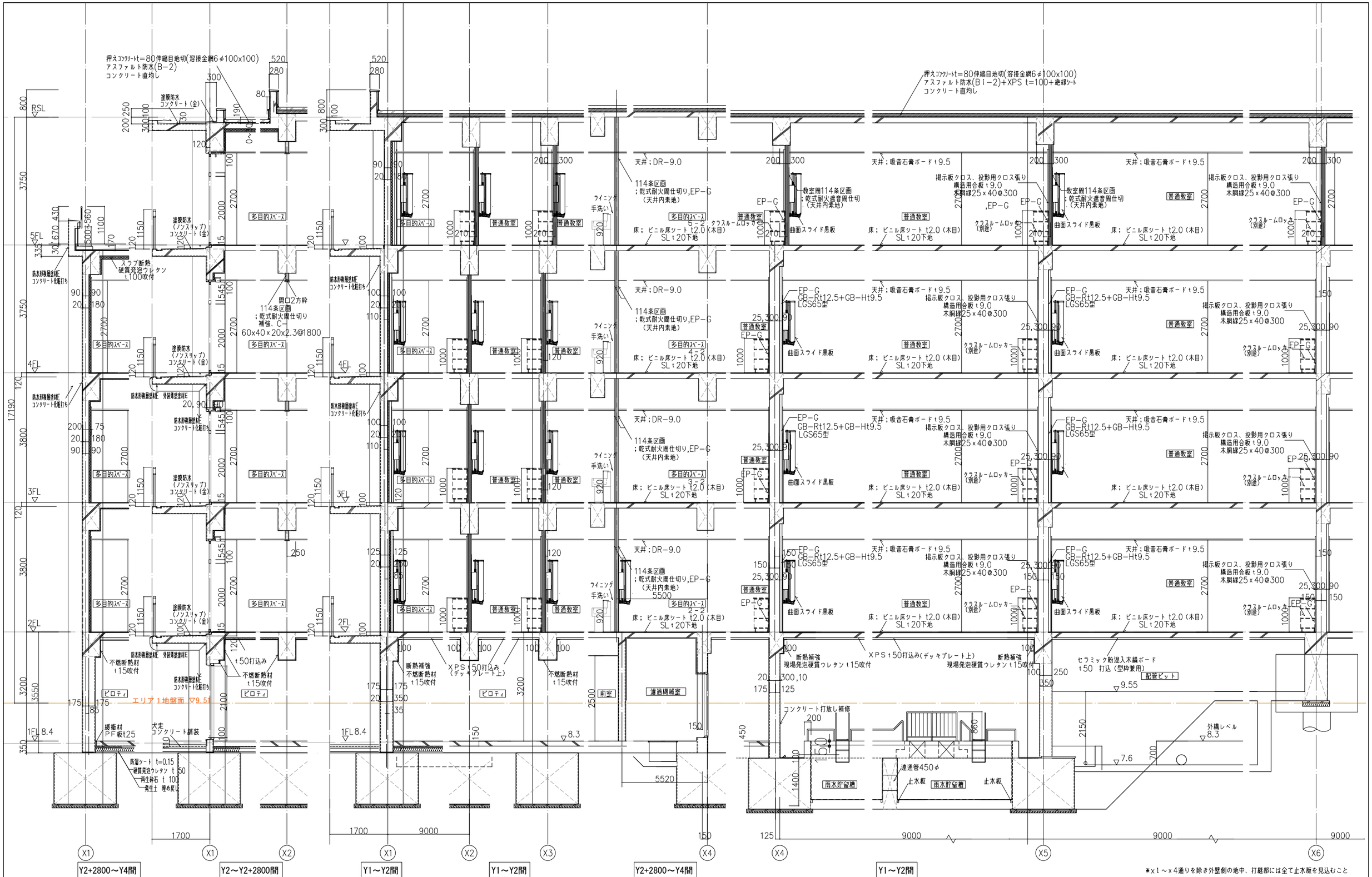


※x１～x４通りを除き外壁側の地中、打継部には全て止水板を見込むこと

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	新校舎棟矩計図２	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-029
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(030/224)



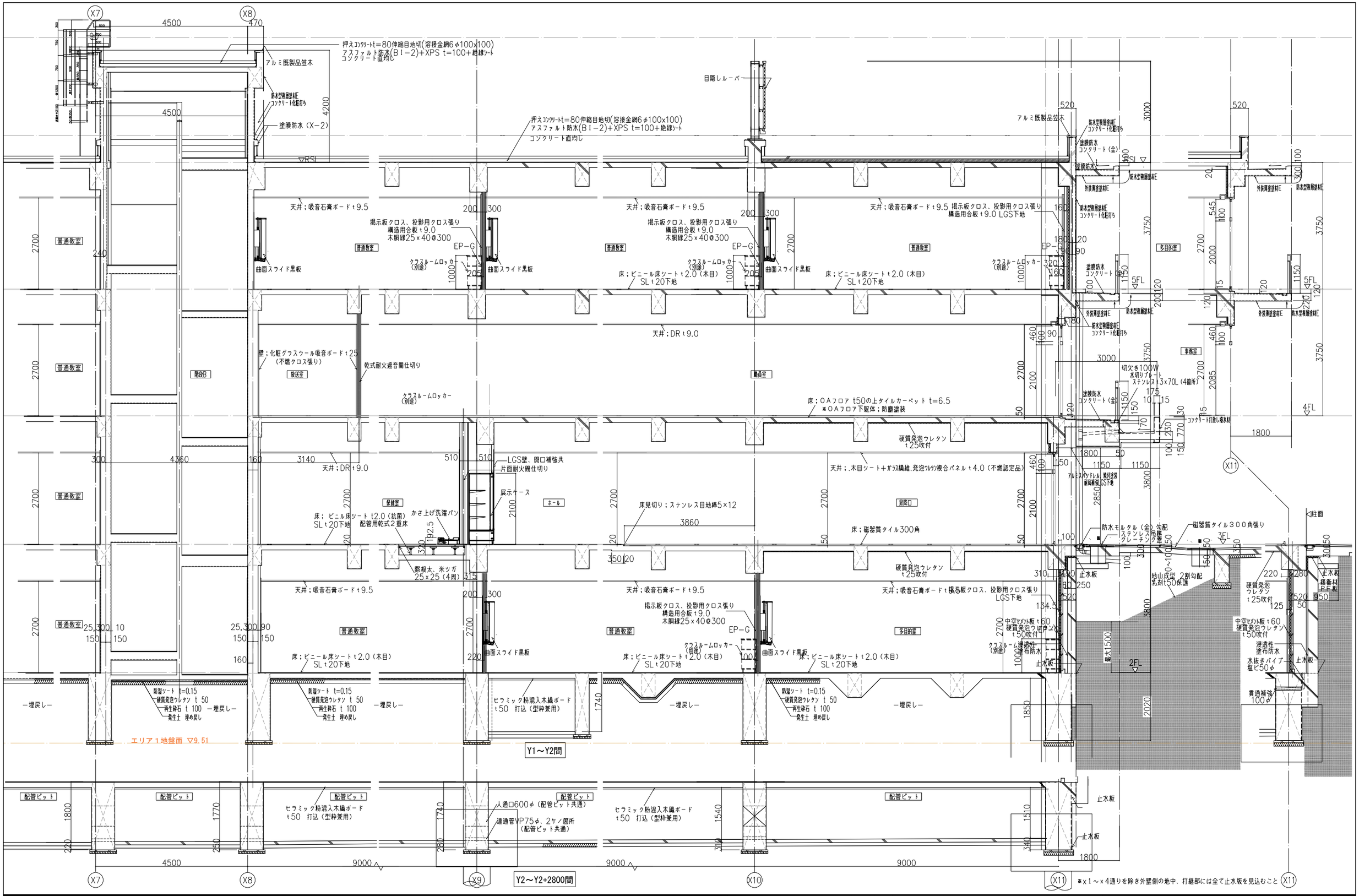
技にこころを

株式会社 大建設計

一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

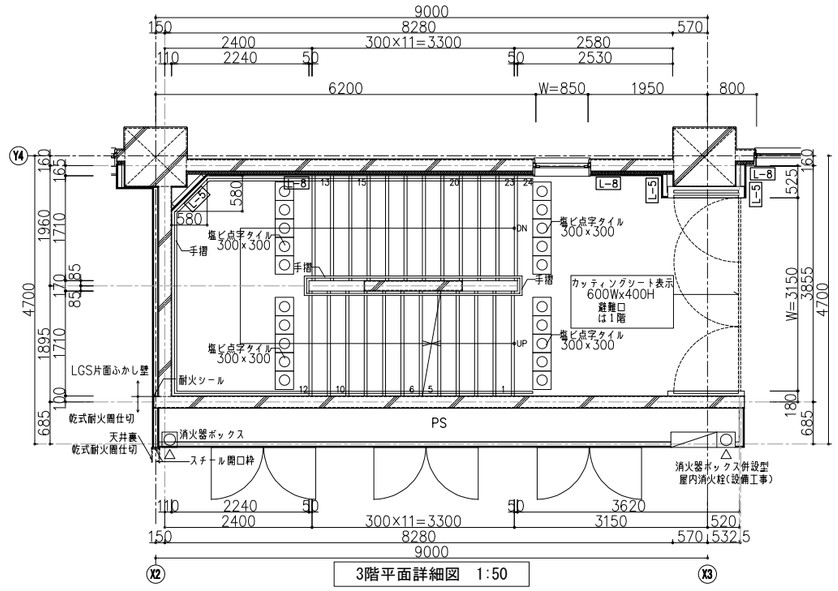
一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	新校舎棟矩計図３	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-030
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(031/224)

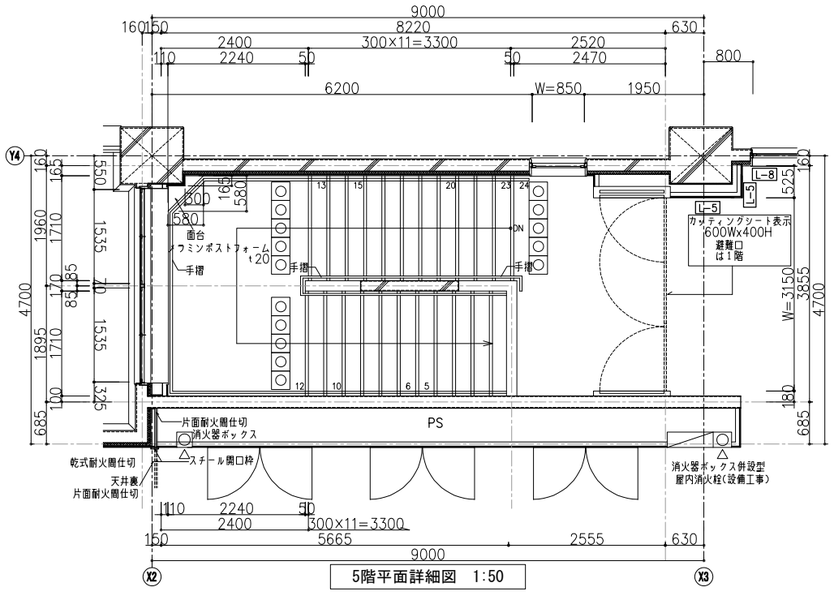


※x1〜x4通りを除き外壁側の地中、打継部には全て止水板を見込むこと

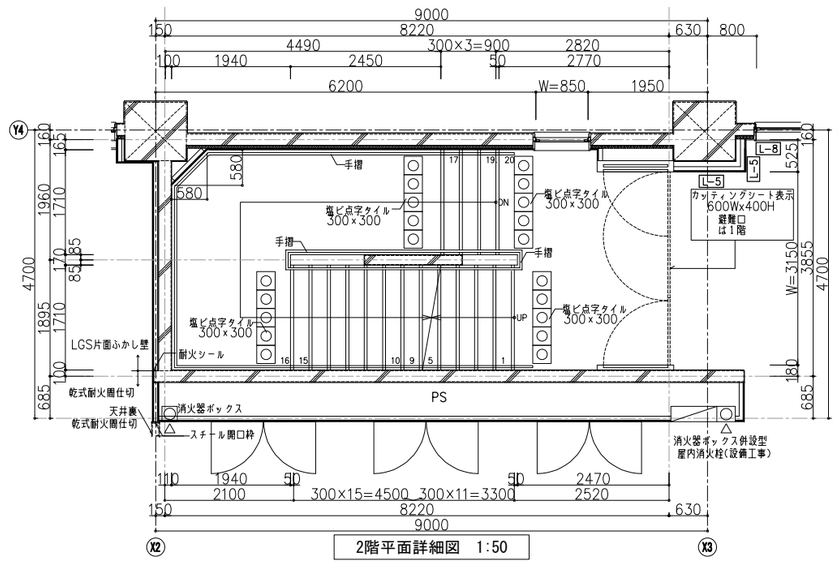
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	新校舎棟矩計図４	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-031
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(032/224)



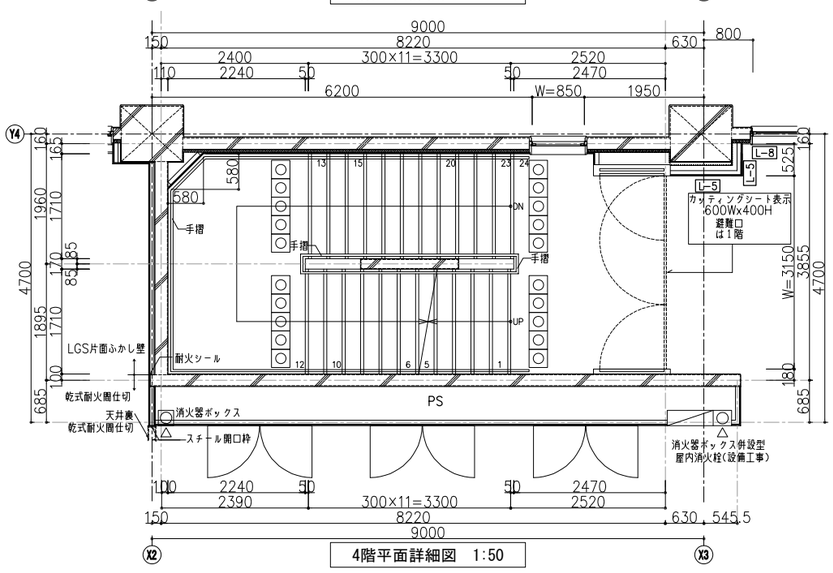
3階平面詳細図　1:50



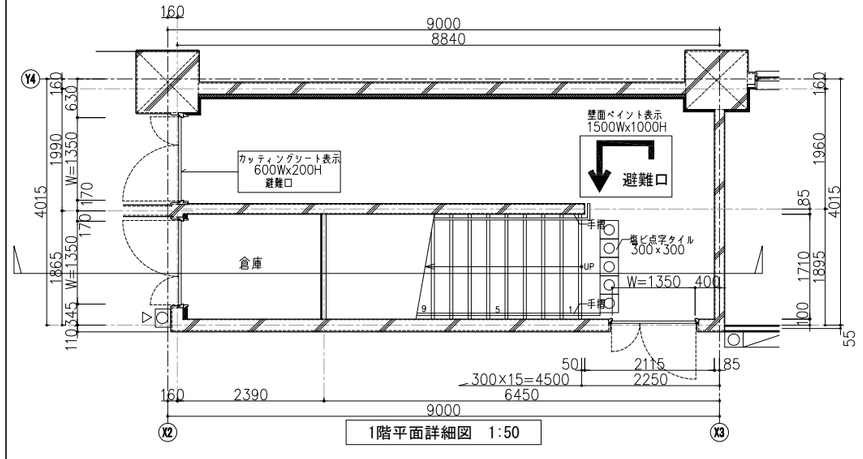
5階平面詳細図　1:50



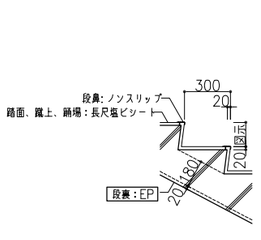
2階平面詳細図　1:50



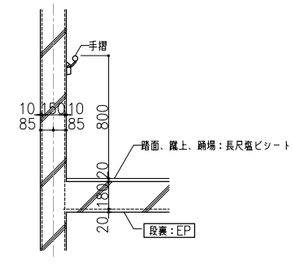
4階平面詳細図　1:50



1階平面詳細図　1:50



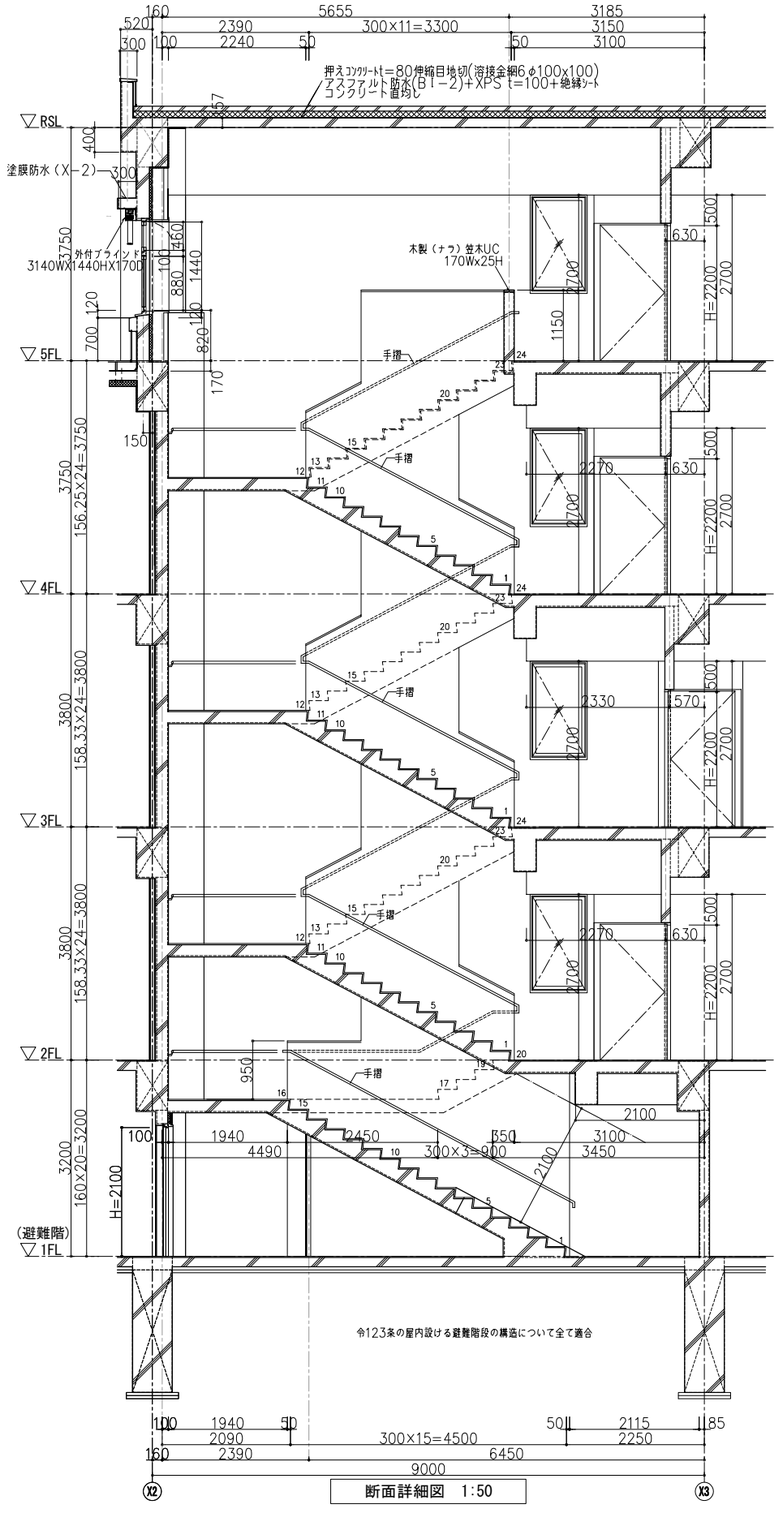
階段部詳細図　1/20



手摺詳細図　1/20

※壁符号は平面詳細図に準ずる。ただし、天井のない部分はスラブ芝とする。

※手摺の出寸法は100ｍｍ以下とする。

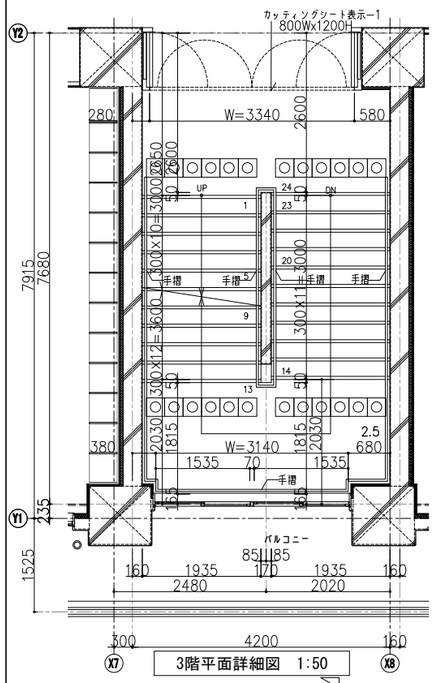


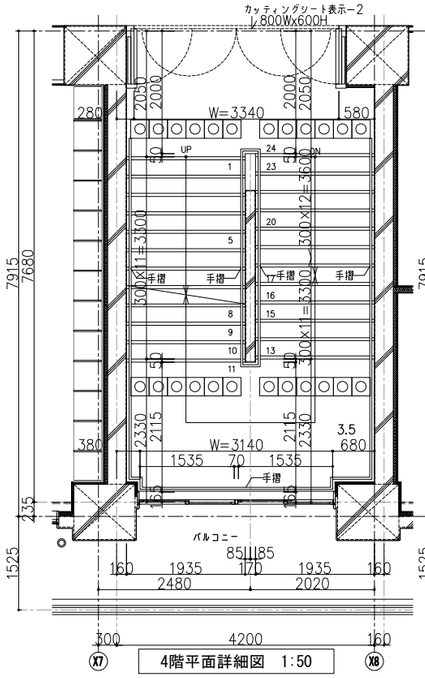
断面詳細図　1:50

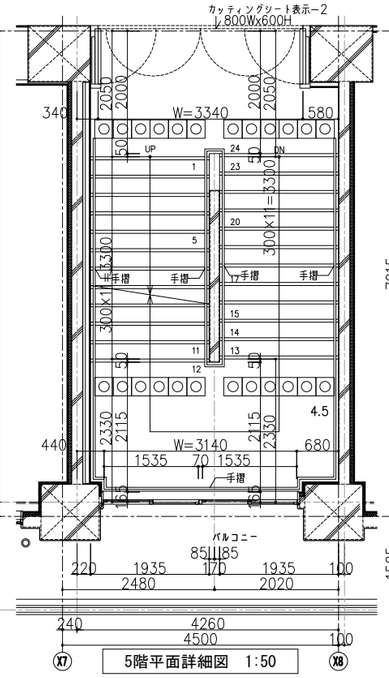
株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

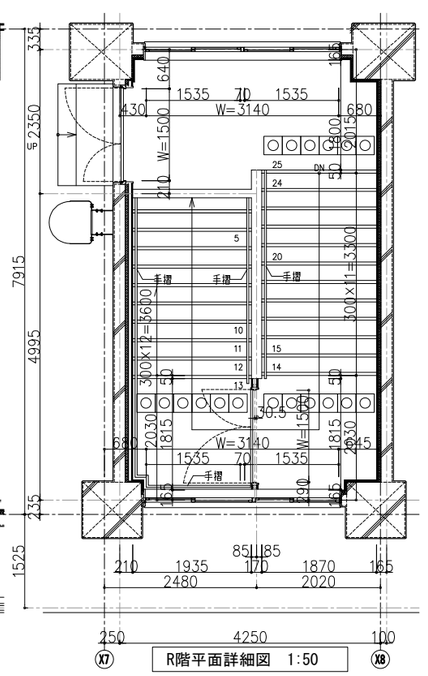
一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

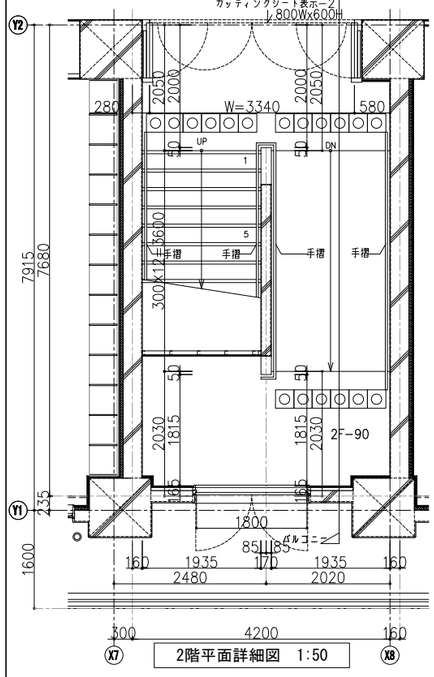
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	階段A　詳細図	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-032
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(033/224)









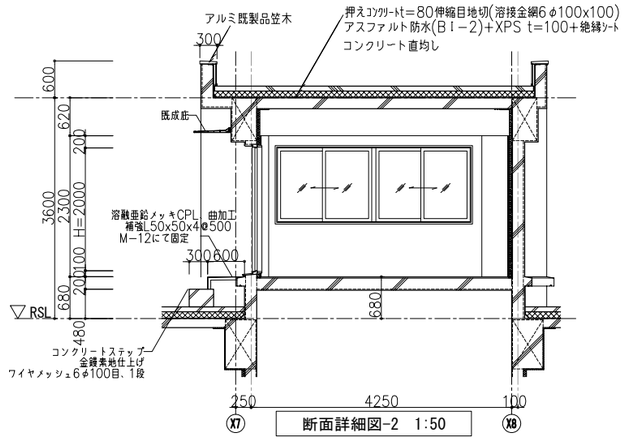


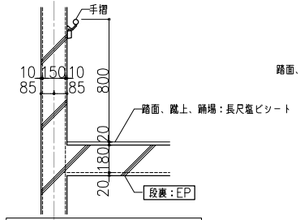
カッティングシート表示-1

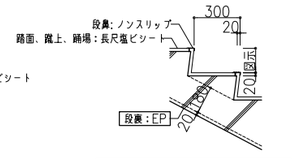
避難口

カッティングシート表示-2

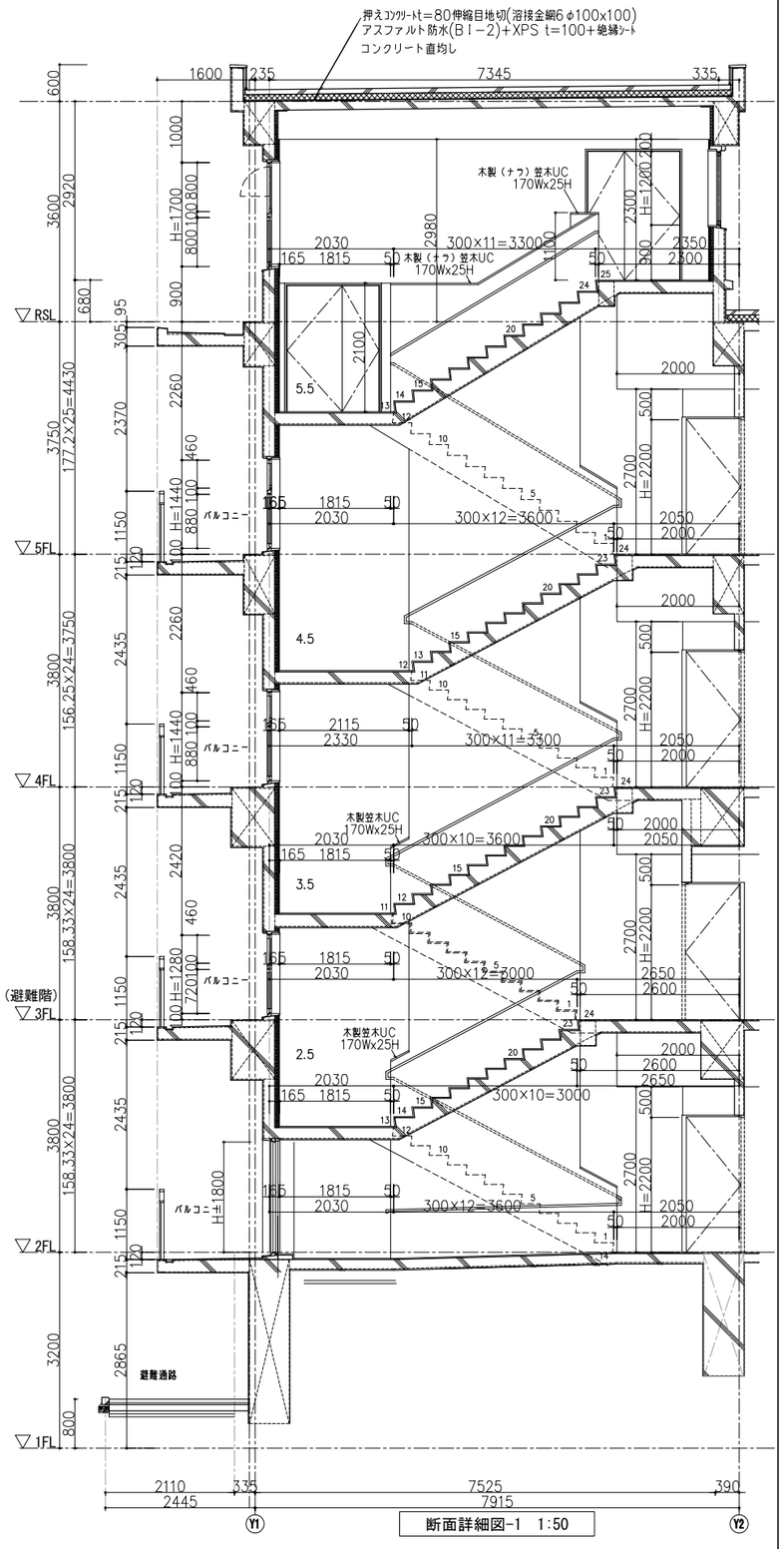
避難口
は３階



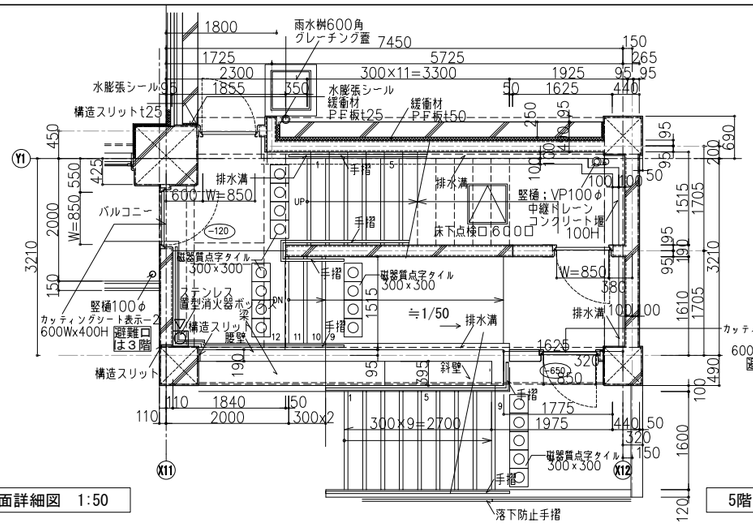




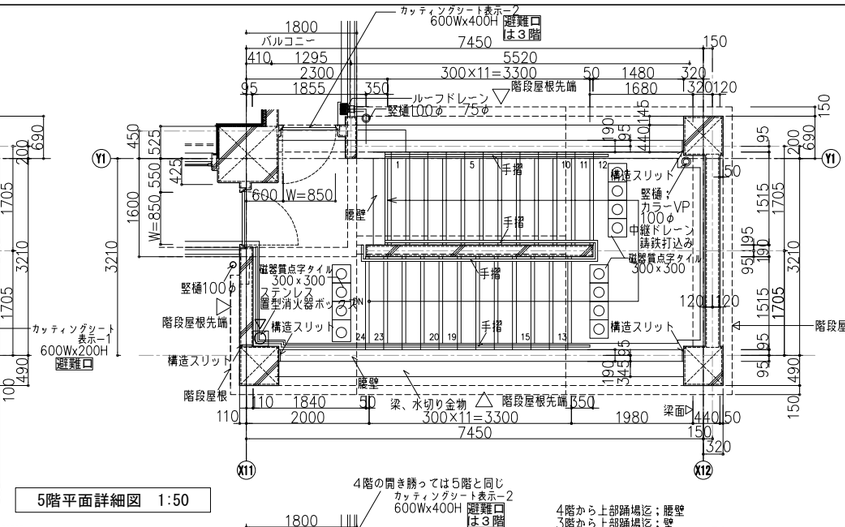
＊手摺の出寸法は100ｍｍ以下とする。



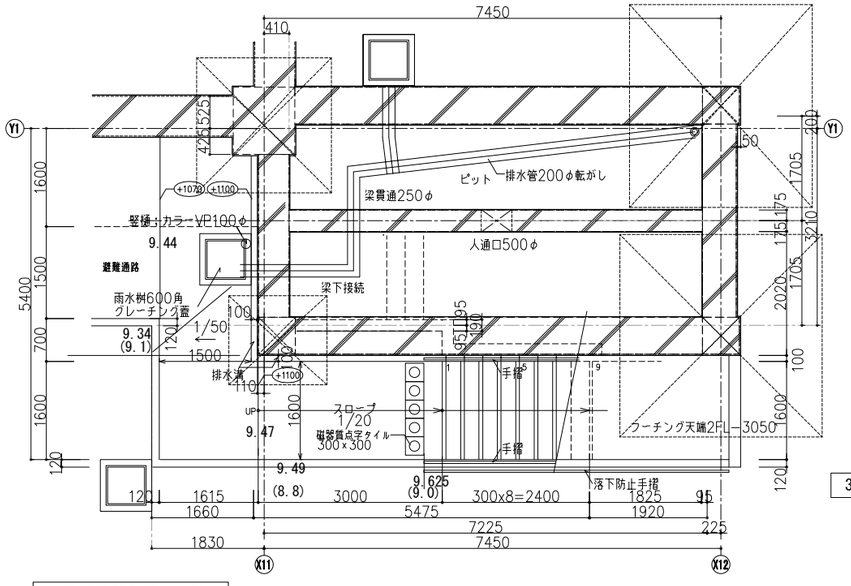
	株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 (第 274708号)	山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		構造設計一級建築士(第 6608号)	長坂 典和	図面名	階段B 詳細図	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-033
		設備設計一級建築士(第 753号)	鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(034/224)



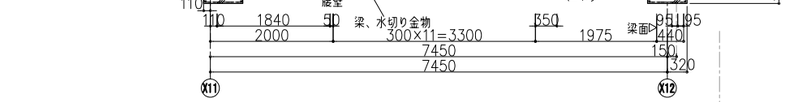
2階平面詳細図　1:50



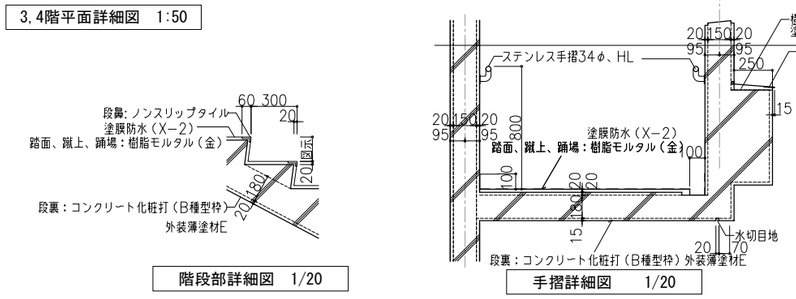
5階平面詳細図　1:50



1階平面詳細図　1:50



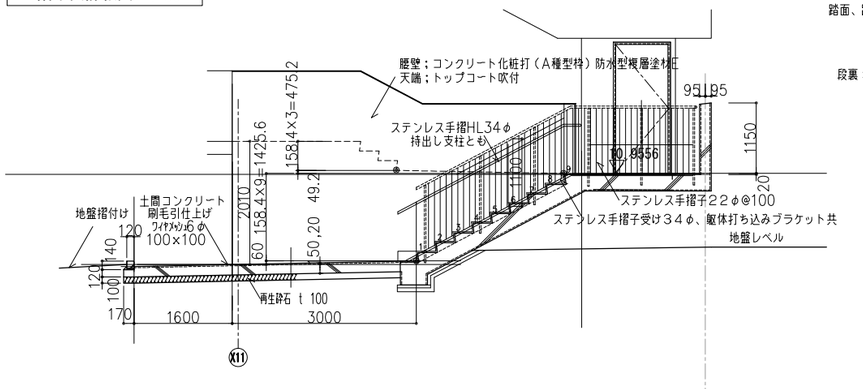
3,4階平面詳細図　1:50



手摺詳細図　1:20

＊手摺の出寸法は100ｍｍ以下とする。

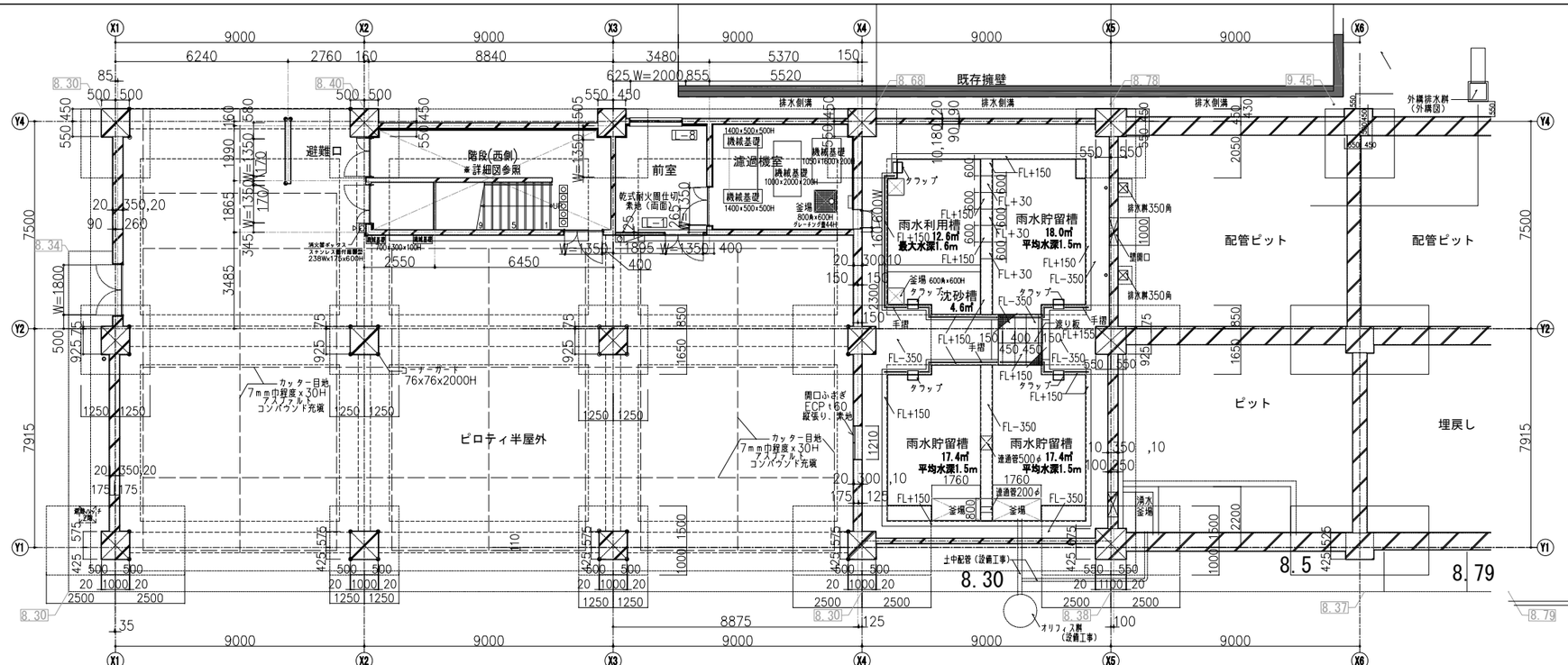
階段部詳細図　1:20

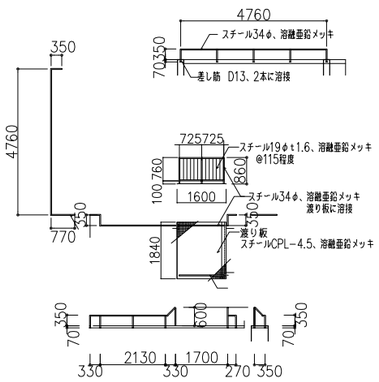


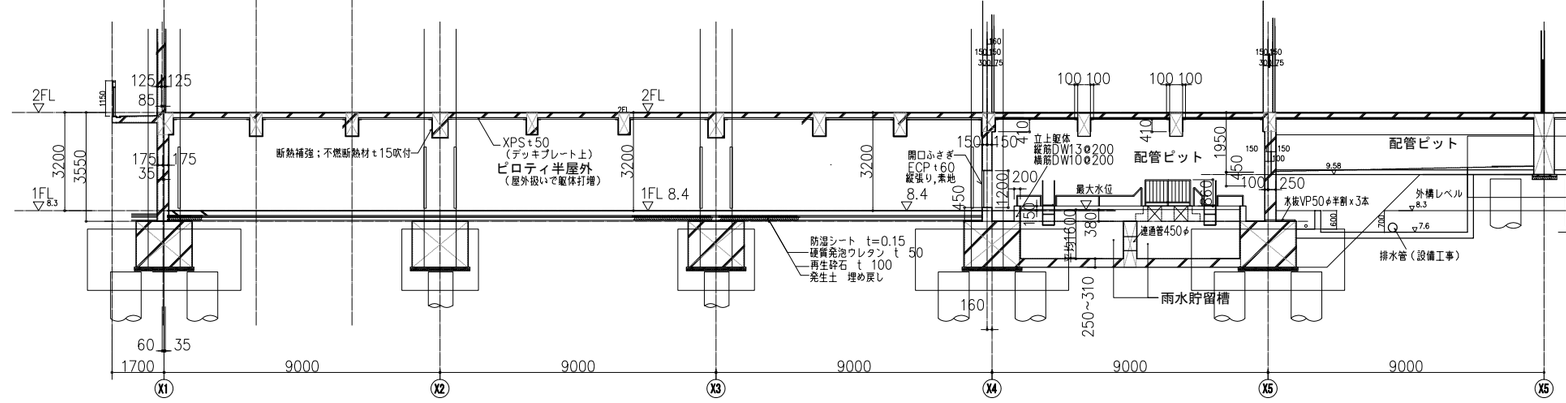
＊3,4階のY1通側、梁天端はFL-120-158.3とする。
上記以外はFL-120を標準とする。

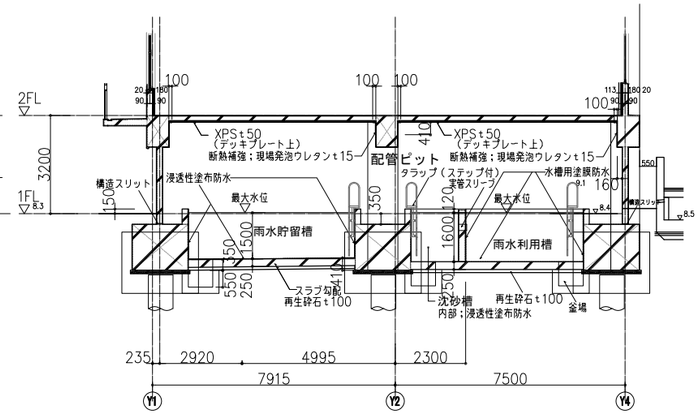
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	階段C　詳細図	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-034
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(035/224)

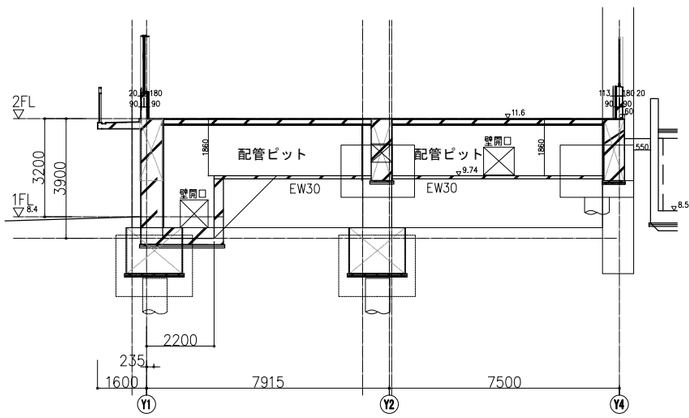
雨水貯留槽 容量計算　（釜場、基礎上を除く）
77.94㎥＝
18.0㎡ x 1.43mH+17.4㎡ x 1.5mH x 2
雨水貯留槽 必要容量
77.00㎥＝
7700㎡(抑制対象面積)/100㎡

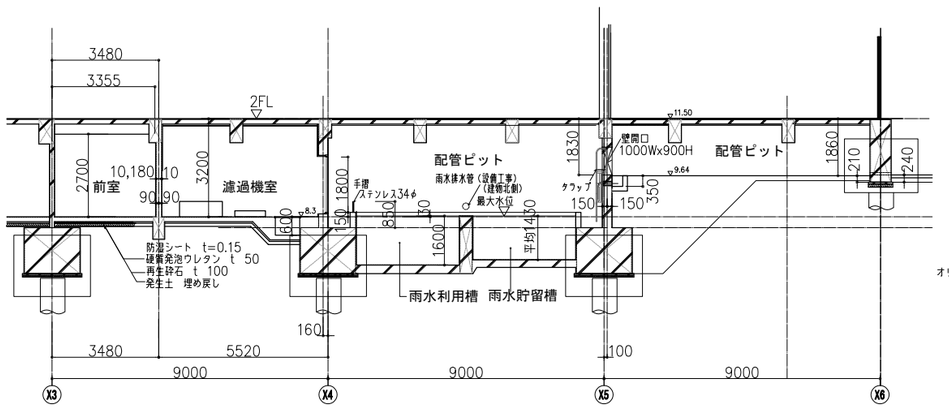


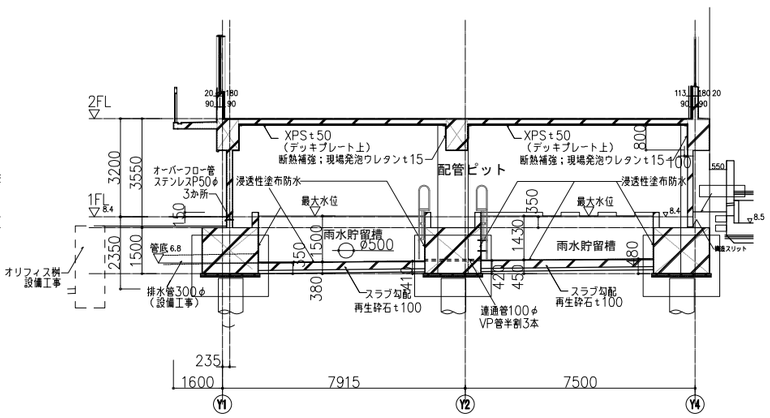




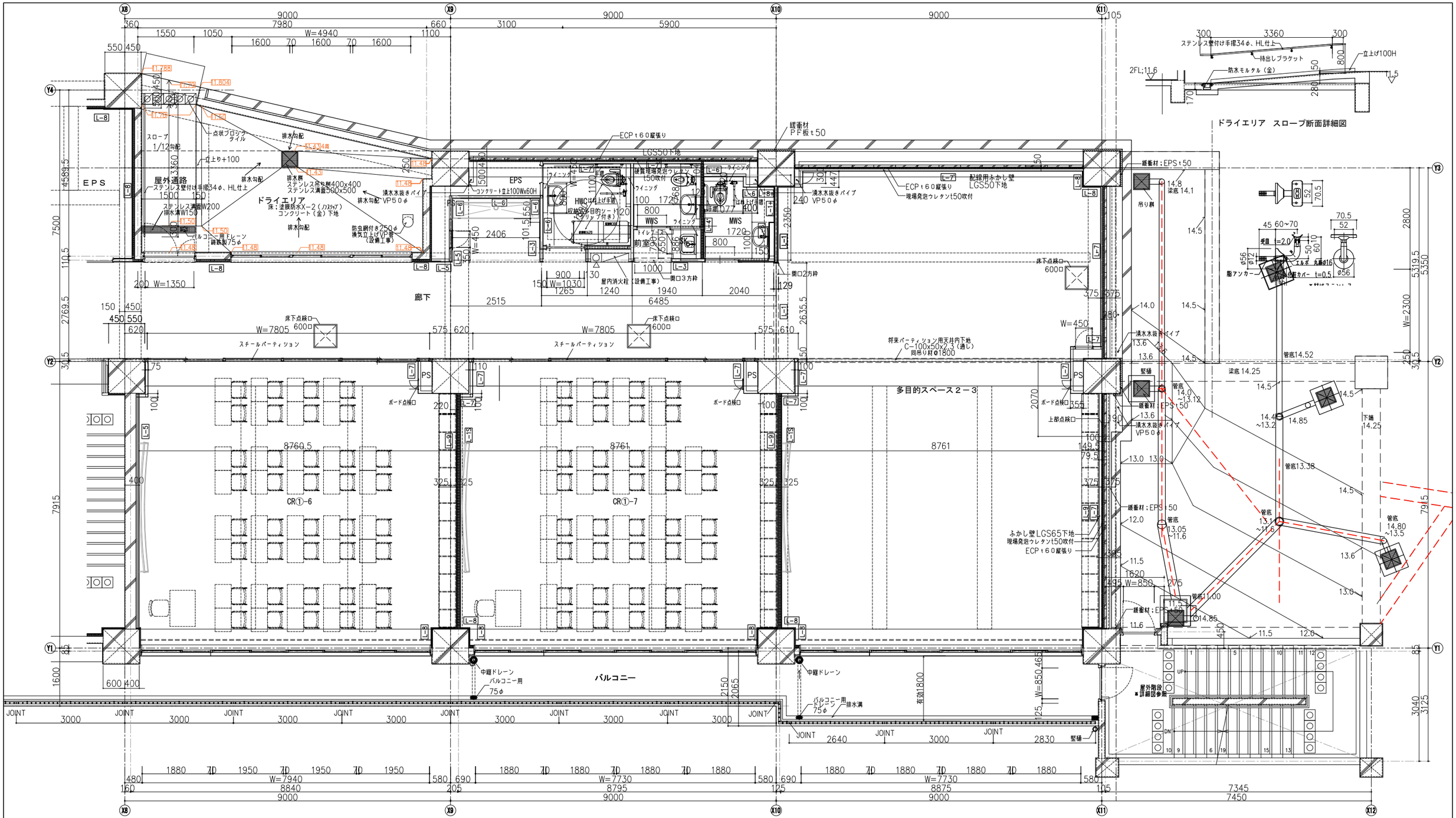








技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	平面詳細図　1（1階）	縮尺 1/200(A3) 1/100(A1)	A-035
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(036/224)



壁種別凡例														
記号	L－1	L－1S	L－1+	L－2	L－3	L－4	L－4'	L－5	L－6	L－7	L－8 L－8+	L－9 L－9'	L－S	記事
	GB-H t9.5（上） GB-F t12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-F t=12.5（下）	※（増張り） GB-H t=9.5（上） GB-F t=12.5（下）	GB-H t=9.5（上） GB-R t=12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-H t9.5（下）	GB-H t9.5	現場発泡ウレタン GLボンド GLボンド	天井 品台板 t=6.0 木胴縁@x25 @300 （LGS65型@300）	天井 GB-F t=22（上） GB-F t=22（下）	GB-R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃）
														GB-F：強化石膏ボード（不燃）
														GB-H：硬質石膏ボード（不燃）
														GB-S：防水石膏ボード（不燃、準不燃）
														FK-D：化粧ケイカル板（不燃）
														間：ロックウール（不燃）
														ボード記号の後のtは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す
備考	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）	※粒式遮音耐火間仕切り FP060NP-0488（2） （遮音構造SDI-01対吉野石膏ハイパーウォールZ・W1）	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）			※L-4'はGW（24kg/m）t=50を充填とし、片面GB-Rはスラブまでとする。					※L-8+は増張り有り	9'の下地はLGS下地とする。	片面耐火構造（1時間）FP060NP-049 （吉野石膏Sウォール 同等品）	備考欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする

特記事項
- MWC、WWC間の間仕切壁内には、GW（24kg/m）t=50を充填する。
- FK-Dの縦目はシーリングW5とする。
- 見附部のGB-H他、石膏ボード系の縦目はベベルエッジ、パテしごき（窓方@100W共）
- 増張り材、表面の塗装などは仕上表による。

凡例
- 点状ブロック（屋内：幅300 x 300 点状ブロック（屋外：視認性タイル284 x 284）
- △：視点場ボックス　▲：視点場ボックス（仮設式）
- (FL+500)　各フロアーからのレベル差mmを示す

株式会社 大建設計	一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	図面名	平面詳細図 2（2階）
技にこころを	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	縮尺	1/100（A3） 1/50（A1）
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度
				図面番号	A-036
					(037/224)

3階部分を示す。（2階部分は中央部平面詳細による）

多目的スペース2-1

多目的スペース2-2
多目的スペース3-2

廊下

バルコニー

窓下 配線用ふかし壁 LGS50下地 L-7

階段(西側) ※詳細図参照

2F床梁

3F床梁

LGS片面ふかし壁

耐火シール

乾式耐火間仕切

開口2方枠

PS

スチール袖パネル

スクールパーティション

床下点検口 600□

ボード点検口

救助袋（ハッチ式）

バルコニー用ドレン 75φ

バルコニー 3階部分

曲面スライド黒板

クラスルームロッカー（備品）

CR②-1 CR①-1

CR②-2 CR①-2

CR②-3 CR①-3

現場発泡ウレタンt50吹付

ふかし壁 LGS65下地

中継ドレン バルコニー用ドレン 75φ

2、3階平面詳細図

ボード点検口は2階のみ設置

壁種別凡例

記号	L-1	L-1S	L-1+	L-2	L-3	L-4	L-4'	L-5	L-6	L-7	L-8	L-8+	L-9	L-9'	L-S
			化粧ケイカル			化粧ケイカル			化粧ケイカル						
備考	耐火構造（1時間）FP060NP-0488 (1)（吉野石膏ハイパーウォールZ）	※乾式遮音耐火間仕切り FP060N P-0488 (2)（遮音構造301-0170吉野石膏ハイパーウォールZ・W1） *LGSは千鳥配置	耐火構造（1時間）FP060NP-0488 (1)（吉野石膏ハイパーウォールZ）	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	※L-4'はGW（24K/m） t=50を充填とし、片面GB-Rはスラブまでとする。	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	* はLGS65、50を示す	※L-8+は増張り有り * 厚さ50、15（補強部）	8'の下地はLGS下地とする。	* はLGS65を示す	片面耐火構造（1時間）FP060NP-049（吉野石膏SIウォール 同等品）	備考欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする

記事

- GB-R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃）
- GB-F：強化石膏ボード（不燃）
- GB-H：硬質石膏ボード（不燃）
- GB-S：防水石膏ボード（不燃、準不燃）
- FK-D：化粧ケイカル板（不燃）
- 岡：ロックウール（不燃）
- ボード記号の後のtは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す

特記事項

- MWC、WWC開の開仕切壁内には、GW（24K/m） t=50を充填する。
- FK-Dの継目はシーリングW5とする。
- 壁勝板のGB-H他、石膏ボード系の継目はベベルエッジ、パテしごき（室内側100W共）
- 増張り材、表面の塗装などは仕上表による。

凡例

- 点伏ブロック（盲内：電ピ300×300）
- 点伏ブロック（盲外：視聴覚タイル25t×284）
- △：床点検ボックス　▲：床点検ボックス（設置式）
- [C-S02]：各フロアーからのレベル差mmを示す

株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	技にこころを	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
		構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	平面詳細図 3（2,3階） 縮尺 1/100 (A3) 1/50 (A1)	A-037
		設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課 令和7年度	(038/224)

2階部分を示す。（3階部分は西側平面詳細による）

X4 X5 X6 X7 X8

9000 9000 9000 4500

680 580 1420 70 1600 70 1420 70 1600 70 1420 W=7740 680 580 1610 740 W=850 180 4110 1700 840 550 450 1500 2740 W=850 390 2020 1350 2390 500 460 450 550 360 550 450

Y4 Y2 Y1

窓下 配線用ふかし壁 L-7
LGS50下地

多目的スペース2-2
多目的スペース3-2

PS MWC WWC SK EV EPS 構造スリット

2970 1290 440 900 450 4700 7500 200 700 360

L-1 L-2 L-3 L-4 L-5 L-6 L-7 L-8 L-8+ L-9 L-9'

2F床梁 3F床梁

300 100 W=15800 250 250 100 W=1200 2350 90 90 W=1200 W=1200 W=1200 1518 998 950 950 998 W=1200 W=1700 1134 73 500 650 3850 360 150 450 50 450 550 450 700 150 450 450 550

900 620 W=7805 575 650 W=2150 W=2150 900 650 W=2150 W=2150 900 580

床下点検口 600□

スクールパーティション

PS 点検口 ボード点検口 110 100

CR②-3 CR①-3 CR②-4 CR①-4 CR②-5 CR①-5

曲面スライド黒板 クラスルームロッカー（備品）

300 100 150 250 100 300 50 400 400

2020 4060 2020

1 2 3 4 5 6 7 8

7915 7915

階段（東側）
※詳細図参照

L-8 L-1

中継ドレーン バルコニー用ドレン 75φ

バルコニー 上下面側操作避難ばしご（2Fのみ） 排水溝

320 85 320 85 600 400 480 1600

JOINT 1880 70 1880 70 1880 70 1880 3000 3000 3000

廊下
保健室
ホール
昇降口
ポーチ
バルコニー
屋外階段 詳細図参照
乾式2重床範囲
ガードパイプL6000
手洗い流し台
HWC
消火器ボックス
収納戸棚（備品）
折りたたみベッド収納
ベッドサイド収納戸棚（備品）
カーテンレール
窓下作業台（備品）
冷蔵庫（備品）
製氷機（備品）
木製展示ケース
流し台
LGS
かし壁
地流し
乾湿パン
立ち上り
床材仕上
生徒用下足入れ3ユニット（備品）
生徒用下足入れ7ユニット（備品）
職員・来客用（備品）下足入れ4ユニット+1
笠置（備品）
靴ふきマット（備品）
屋内消火栓設備工事
ステンレス溝蓋500x500
ステンレス吊り桝400x400
磁器質タイル
点状ブロック
ステンレス溝蓋W200
排水溝W150
FB11 600H
FG31 800H
竪樋
自動ドアガード
手洗い流し台（屋外用）
ライニング 地流し
L型擁壁
中継ドレーン
バルコニー用ドレン 75φ
排水溝
JOINT
UP
DN
X8
X9
X10
X11
X12
Y1
Y2
Y3
Y4
15.35
14.99875
15.33
(-50) 5.35
A
B
C
D
長筒方向

壁種別凡例

記号	L－1	L－1S	L－1+	L－2	L－3	L－4	L－4'	L－5	L－6	L－7	L－8	L－8+	L－9	L－9'	L－S
	化粧ケイカル		化粧ケイカル			化粧ケイカル			化粧ケイカル						
	GB-H t9.5（上） GB-F t12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-F t12.5（下）	※（増張り） GB-H t9.5（上） GB-F t12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-H t9.5（下）	GB-H t9.5	現場発泡ウレタン GLボンド GLボンド	※（増張り） GB-H t9.5 ※（増張り） GB-H t9.5	天井 品名 t=6.0 木胴縁40x25 @300 (LGS65型@300)	天井 GB-F t=22（上） GB-F t=22（下）
備考	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）	※乾式遮音耐火間仕切り　FP060NP-0448（2） （遮音構造SGT-01N吉野石膏ハイパーウォールZ・W1）	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）			※L－4'はGW（24kg/㎥）t=50を充填とし、片面GB-Rはスラブまでとする。						※L－8+は増張り有り	9'の下地はLGS下地とする。		片面耐火構造（1時間）FP060NP-049 （吉野石膏Sウォール　同等品）

＊はLGS65を示す

記事

- GB-R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃）
- GB-F：強化石膏ボード（不燃）
- GB-H：硬質石膏ボード（不燃）
- GB-S：防水石膏ボード（不燃、準不燃）
- FK-D：化粧ケイカル板（不燃）
- 断：ロックウール（不燃）
- ボード記号の後のtは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す

備考欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする

特記事項

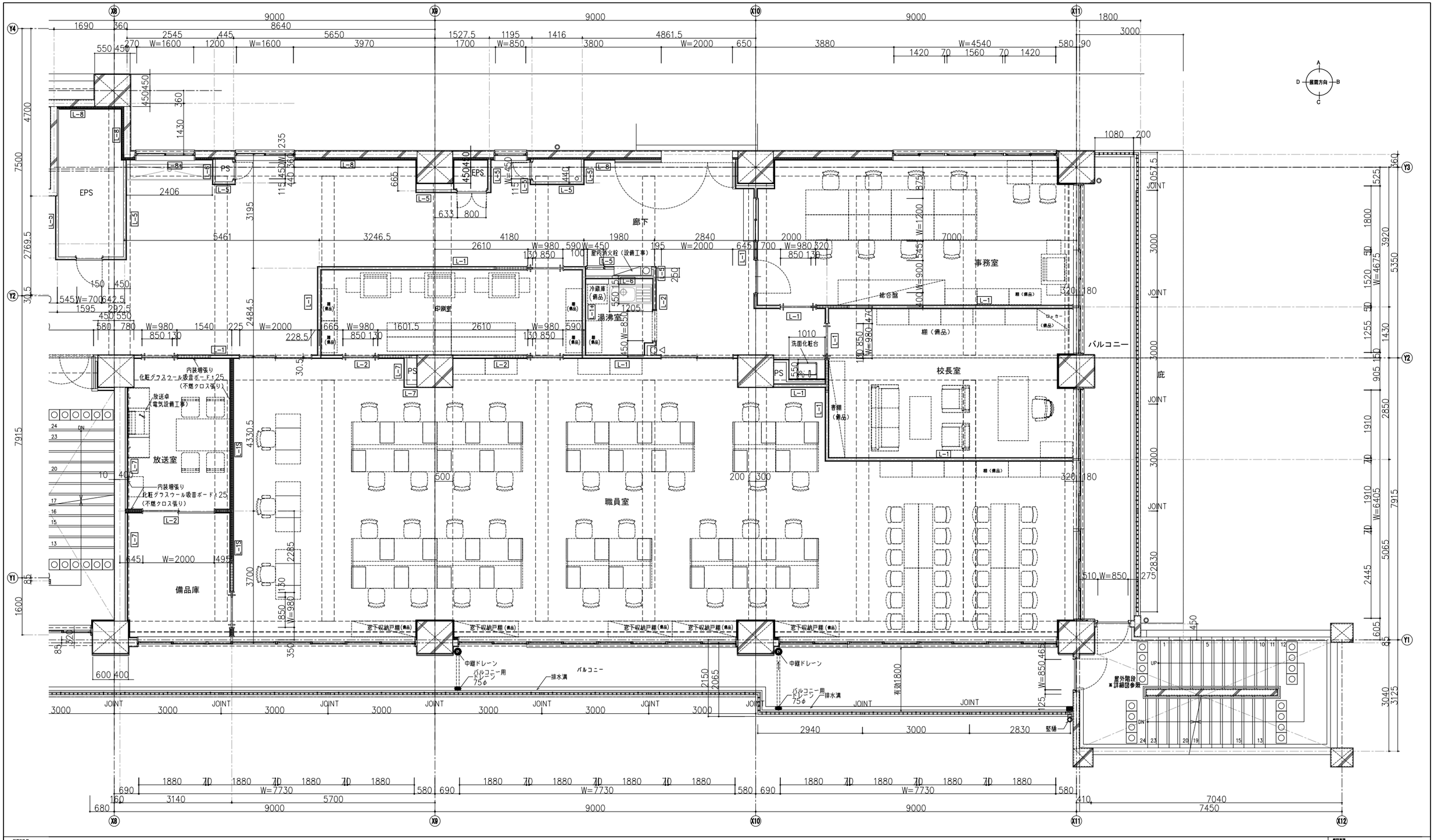
- MWC、WWC間の間仕切壁内には、GW（24kg/㎥）t=50を充填する。
- FK-Dの幅目はシーリングW5とする。
- 見附部のGB-H他、石膏ボード系の幅目はベベルエッジ、パテしごき（塗冷砂10W共）
- 増張り材、表面の塗装などは仕上表による。

凡例
点状ブロック（屋内：張尺300×300）
点状ブロック（屋外：磁器質タイル25H×25H）
▲：消火器ボックス（埋込形式）　▲：消火器ボックス（露出形式）
(-50)……各フロアーからのレベル差mmを示す

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	平面詳細図 5（3階）	縮尺	1/100(A3) 1/50(A1)
	船橋市建設局建築部建築課		A-039
			令和7年度
			(040/224)



壁種別凡例

記号	L-1	L-1S	L-1+	L-2	L-3	L-4	L-5	L-6	L-7	L-8	L-8+	L-9	L-S
L：遮音統合下地	GB-H t=9.5（上張り） GB-F t=12.5（下張り） LGS	GB-H t=9.5（上張り） GB-F t=12.5（下張り） ※LGSは千鳥配置	東（増張り） GB-H t=9.5（上張り） GB-F t=12.5（下張り） ＊ はLGS65を示す	GB-H t=9.5（上張り） GB-R t=12.5（下張り） ＊ はLGS65を示す	GB-H t=9.5（上張り） GB-R t=12.5（下張り） ＊ はLGS65を示す	FK-D t=6.0（上張り） GB-R t=9.5（下張り） ＊ はLGS65を示す	GB-H t=9.5（上張り） GB-R t=12.5（下張り） ＊ はLGS65を示す	FK-D t=6.0（上張り） GB-H t=9.5（下張り） ＊ はLGS65を示す	GB-H t=9.5 ＊ はLGS65、50を示す	現場発泡ウレタン＊ GLボンド 現場発泡ウレタン＊ GLボンド	東（増張り） GB-H t=9.5 GB-H t=9.5 ＊厚さ50、15（増張厚）	高合板 t=6.0 木胴縁40×25 @450	GB-F t=22（上張り） GB-F t=22（下張り） ＊ はLGS65を示す
備考	耐火構造（1時間）FP060NP−0485 (1) （吉野石膏ハイパーウォール2 同等品）	準耐式遮音耐火間仕切り FP060NP−0448 (2) （遮音構造SGI−0170吉野石膏ハイパーウォール2・W1 同等品）	耐火構造（1時間）FP060NP−0485 (1) （吉野石膏ハイパーウォール2 同等品）								※L−7＋は増張り張り			片面耐火構造（1時間）FP060NP−049 FP060NP−0189 (100型吉野石膏GWウォール 同等品)

記事

- GB−R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃）
- GB−F：強化石膏ボード（不燃）
- GB−H：耐水石膏ボード（不燃）
- GB−S：防水石膏ボード（不燃、準不燃）
- FK−D：化粧タイル貼（不燃）
- RW：ロックウール（不燃）

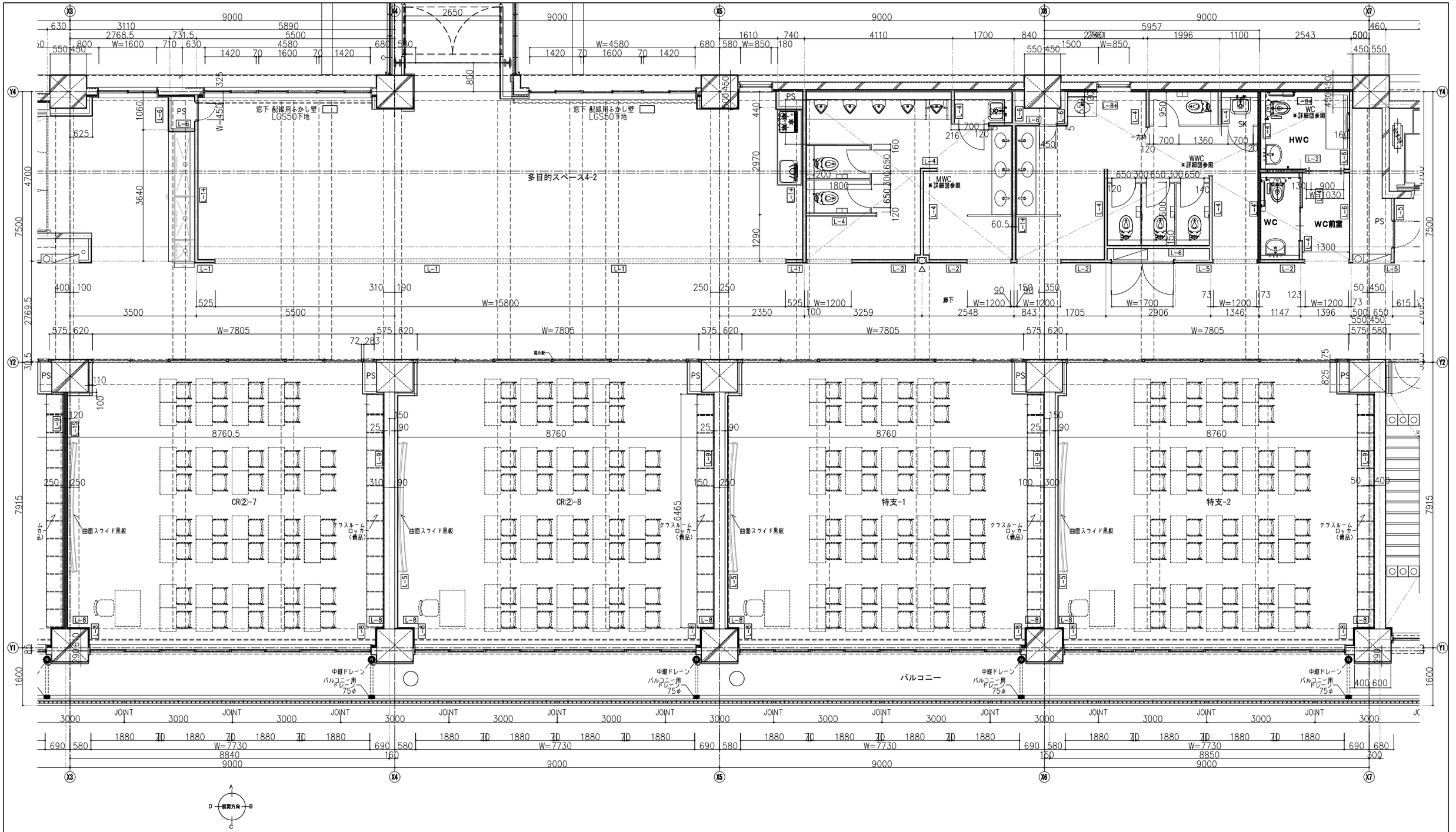
特記事項

- 床下、女子便所前の機器前等防仕切壁内には、GW t=50（24K/m³）を充填する。
- PC−Dの幅目はシーリング材とする。
- 吉野石膏GB−R使、石膏ボード系の箇所はベベルエッジ、パラレルき（実加材100角）とする。
- 増張り材、表面の塗装、クロスなどの仕上げは仕上表による。

凡例

- 点状ブロック（敷内：幅t300×300）
- 点状ブロック（敷外：縞鋼タイル300×300）
- ▲：消火器ボックス　△：消火器ボックス（埋込式）
- C-500：各フロアーからのレベル差mmを示す

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和	図面名	平面詳細図　6（4階−1）	縮尺 1/100 (A3) 1/50 (A1)	A-040
	設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(041/224)



製造部汎例

記号	L-1	L-1S	L-1+	L-2	L-3	L-4	L-5	L-6	L-7	L-8	L-8+	L-9	L-S
L：軽量鉄骨下地	GB-H t=9.5(上張り) GB-F t=12.5(下張り) LGS	GB-H t=9.5(上張り) GB-F t=12.5(下張り) ※LGSはギ為配置	耐(増張り) GB-H t=9.5(上張り) GB-F t=12.5(下張り) LGS	耐(増張り) GB-H t=9.5(上張り) GB-R t=12.5(下張り) LGS	GB-H t=9.5(上張り) GB-R t=12.5(下張り) LGS	FK-D t=6.0(上張り) GB-R t=9.5(下張り) LGS	GB-H t=9.5(上張り) GB-R t=12.5(下張り) LGS	FK-D t=6.0(上張り) GB-H t=9.5(上張り) LGS	GB-H t=9.5 LGS	遮蔽発泡ウレタン GLボンド 遮蔽発泡ウレタン GLボンド	天井 耐(増張り) GB-H t=9.5 GB-H t=9.5	天井 鼻金物 t=6.0 木胴縁40×25 @450	天井 GB-F t=22(上張り) GB-F t=22(下張り) LGS
	* t=50、15(補強部)									※L-7+は増張り有り			※仕上げは仕上表による　* t=50、50を示す
備考	耐火構造(1時間) FP060NP-0488 (1) (合野石膏ハイパーウォールZ 同等品)	※軽式盛令耐火遮仕切り FP060NP-0448 (2) (盛令興産SCI-0170合野石膏ハイパーウォールZ・RF1同等品)	耐火構造(1時間) FP060NP-0488 (1) (合野石膏ハイパーウォールZ 同等品)	* t=65を示す	* t=65を示す	* t=65を示す	* t=65を示す	* t=65を示す	* t=65を示す	* t=65、50を示す			片面耐火開張(1時間) FP060NP-049 FP060NP-0189 (100厚合野石膏ロウォール 同等品)

記事

- GB-R：石膏ボード（t12.5下張、t9.5単下張）
- GB-F：強化石膏ボード（下張）
- GB-H：耐張石膏ボード（下張）
- GB-S：防水石膏ボード（下張、単下張）
- FK-D：化粧ワイカル板（下張）
- RW：ロックウール（下張）

特記事項

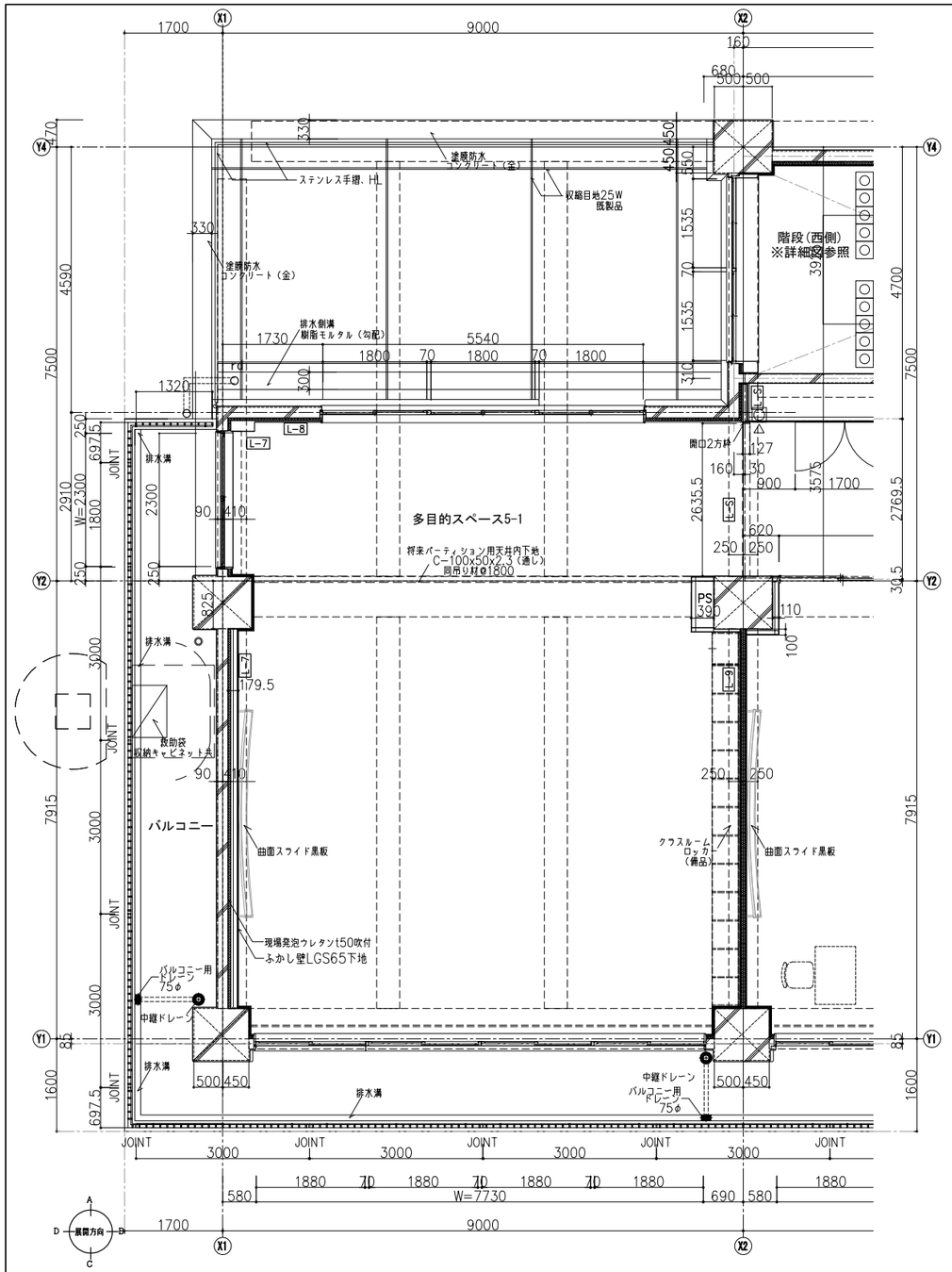
- 角子、セ子廻所間の間遮断等貫仕切壁内には、GW t=50 (24K/m³)を充填する。
- FK-Dの場合はシーリング下とする。
- 表排部のGB-H品、石膏ボードみの場合はベベルエッジ、パテしさ（要3回100厚以）とする。
- 増張り仕、表面の塗装、クロスなどの仕上げは仕上表による。

凡例

- 合成ブロック（屋内：塩t300×300）
- 合成ブロック（屋外：時期張タイル300×300）
- ▲：笠女型ボックス　A：埋込型ボックス（壁間仕入）　（屋間式）
- (C-60)：各フロアからのレベル差mmを示す

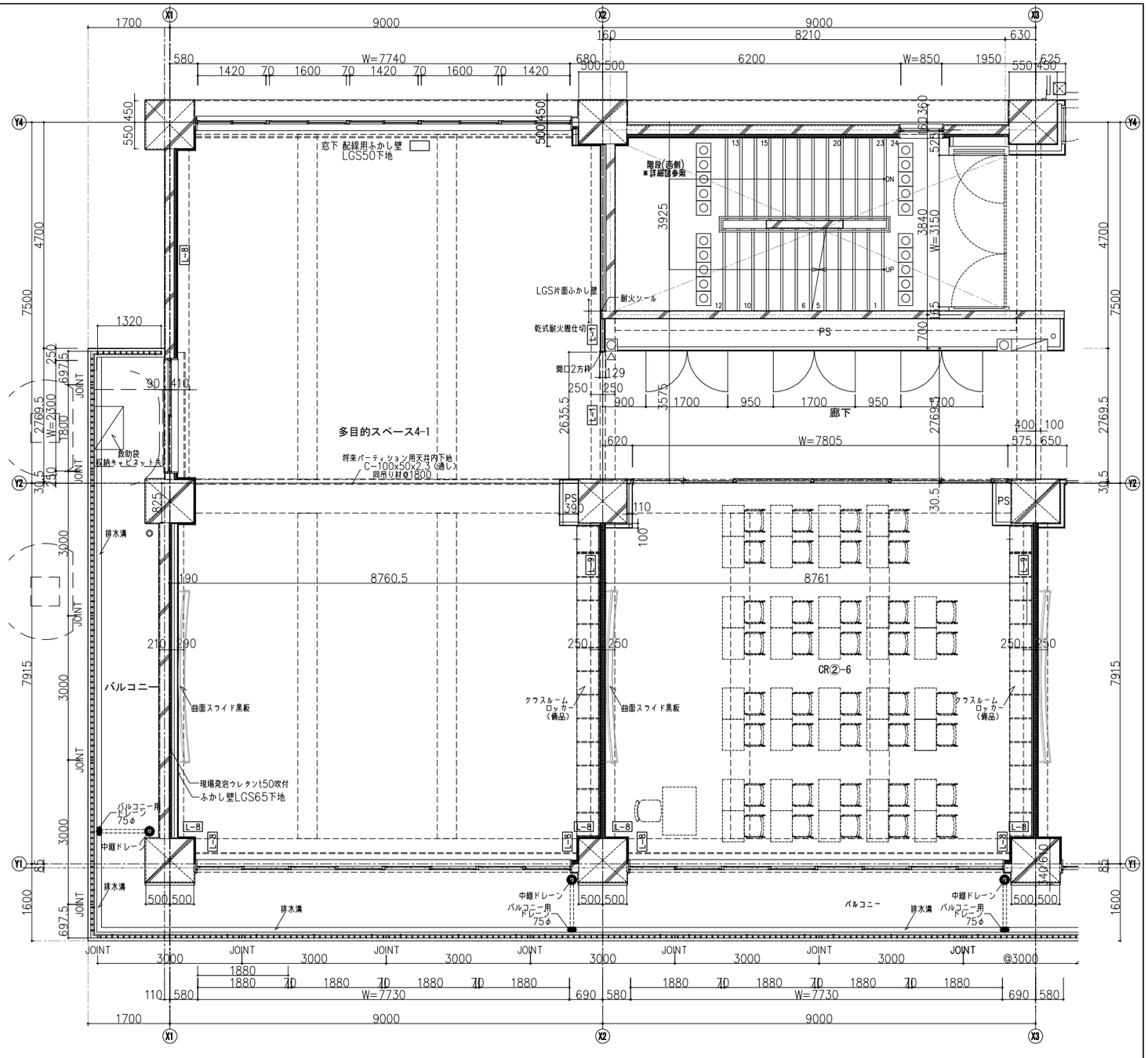
技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	平面詳細図　7（4階-2）
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	尺度	1/100 (A3) 1/50 (A1)
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号：A-041（042/224）



5階平面詳細図

X2－X3間は4階平面詳細図参照



4階平面詳細図

壁種別凡例

記号	L-1	L-1S	L-1+	L-2	L-3	L-4	L-5	L-6	L-7	L-8	L-8+	L-9	L-S
L：遮音統令下地	GB-H t=9.5(上張り) GB-F t=12.5(下張り)	GB-H t=9.5(上張り) GB-F t=12.5(下張り)	東(増張り) GB-H t=9.5(上張り) GB-F t=12.5(下張り)	GB-H t=9.5(上張り) GB-R t=12.5(下張り)	GB-H t=9.5(上張り) GB-R t=12.5(下張り)	FK-D t=6.0(上張り) GB-R t=9.5(下張り)	GB-H t=9.5(上張り) GB-R t=12.5(下張り)	FK-D t=6.0(上張り) GB-H t=9.5(下張り)	GB-H t=9.5	現場発泡ウレタン* GLボンド 現場発泡ウレタン* GLボンド	東(増張り) GB-H t=9.5 GB-H t=9.5	鼻合板 t=6.0 木胴縁40×25 @450	GB-F t=22(上張り) GB-F t=22(下張り)
備考	耐火構造(1時間)FP060NP-0485(1) (吉野石膏ハイパーウォール2 同等品)	※既式遮音壁大臣仕切 FP060NP-0448(2) (遮音構造SGI-0170吉野石膏ハイパーウォール2・W1同等品)	耐火構造(1時間)FP060NP-0485(1) (吉野石膏ハイパーウォール2 同等品)	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	* はLGS65を示す	* はLGS65、50を示す	※L-7+は増張り有り	* 厚さ50、15(増張部)		* はLGS65を示す

記号	記事
	GB-R：石膏ボード(t12.5不燃、t9.5準不燃)
	GB-F：強化石膏ボード(不燃)
	GB-H：遮賓石膏ボード(不燃)
	GB-S：防水石膏ボード(不燃、準不燃)
	FK-D：化粧タイプル貼(不燃)
	RW：ロックウール(不燃)

特記事項

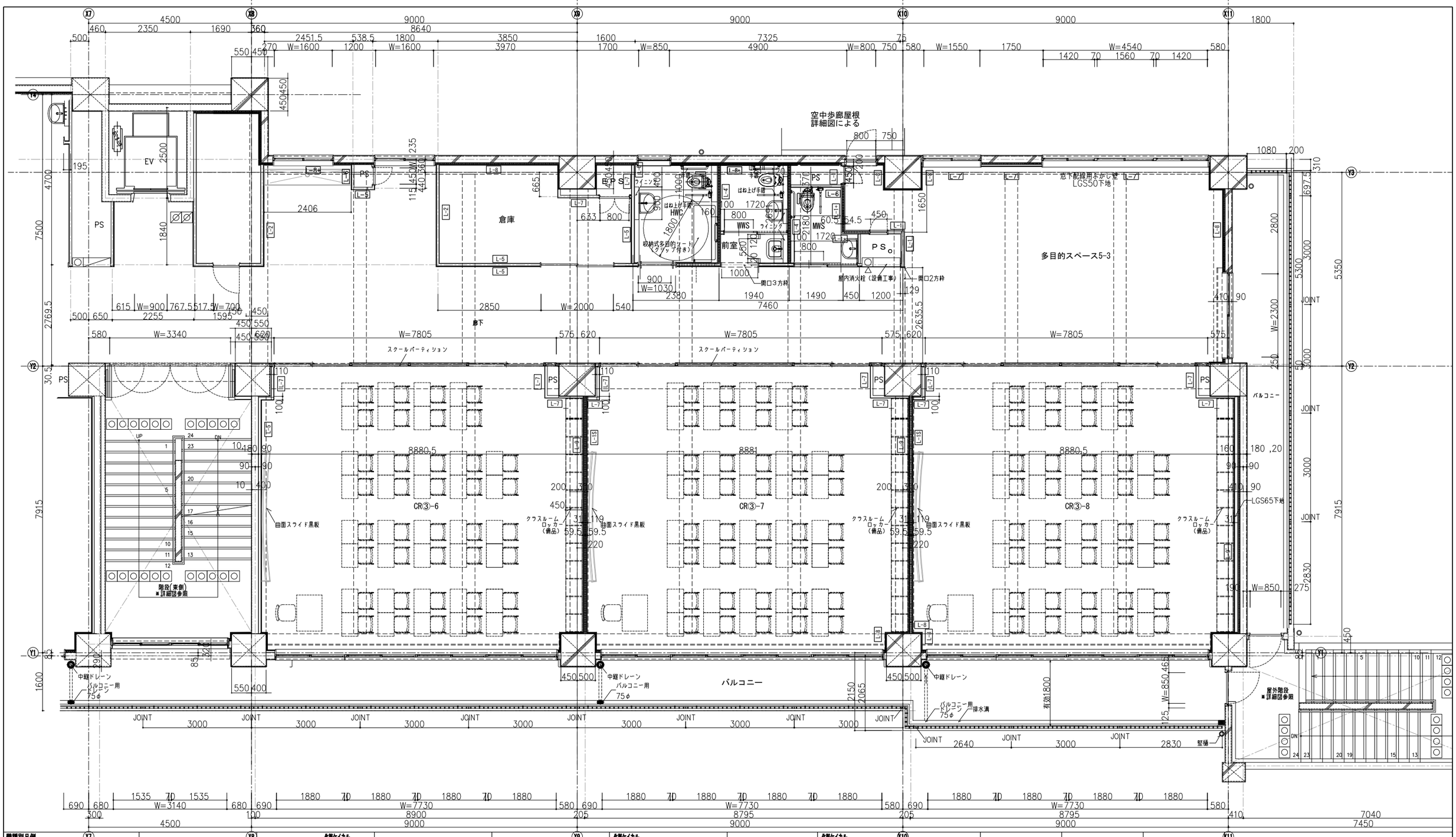
- 界子、セテ壁界壁の健康診断告仕切図内には、GW t=50(24K/m³)を充填する。
- FK-Dの最目はシーリング下5とする。
- 界部はGB-H名、石膏ボード系の最目はベベルエッジ、パラレさ(実効約100程)とする。
- 増張り材、表面の塗装、クロスなどの仕上げは仕上表による。

凡例

点検ブロック(壁内：幅450×300)
点検ブロック(建合：幅制限タイル300×300)
▲：消火設備ボックス　△：消火設備ボックス(壁埋込式)　(扉無し)

(C-50)——各フロアーからのレベル差mmを示す

株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	技にこころを	一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
		構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和	図面名	平面詳細図 8(4階、5階)	A-042
		設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春	縮尺	1/100(A3) 1/50(A1)	(043/224)
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度



壁種別凡例

記号	L－1	L－1S	L－1+	L－2	L－3	L－4　L－4'	L－5	L－6	L－7	L－8　L－8+	L－9　L－9'	L－S
	GB-H t9.5（上） GB-F t12.5（下）	GB-H t=9.5（上） GB-F t=12.5（下）	※（増張り） GB-H t=9.5（上） GB-F t=12.5（下）	GB-H t=9.5（上） GB-R t=12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	GB-H t9.5	現場発泡ウレタン GLボンド GLボンド	品台板 t=6.0 木胴縁40×25 @300 （LGS65並@300）	GB-F t=22（上） GB-F t=22（下）
備考	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）	※乾式遮音耐火間仕切　FP060NP-0448（2） （遮音構造301-0170吉野石膏ハイパーウォールZ・W1）	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）		※L-4'は2層（24kg/㎡）t=50を充填とし、片面GB-Rはスラブまでとする。		※L-9'は増張り有り	5' の下地はLGS下地とする。	耐火構造（1時間）FP060NP-040 （吉野石膏Sウォール　同等品）			

＊は1LGS65を示す

記号	記事
GB-R	石膏ボード（t 12.5不燃、t 9.5準不燃）
GB-F	強化石膏ボード（不燃）
GB-H	硬質石膏ボード（不燃）
GB-S	防水石膏ボード（不燃、準不燃）
FK-D	化粧ケイカル板（不燃）
断	ロックウール（不燃）
ボード記号の後のHは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す	

特記事項
- MWC、WWC間の間仕切壁内には、GW（24kg/㎥）t=50を充填する。
- FK-Dの縁目はシーリングWSとする。
- 見附面のGB-H相、石膏ボード系の縁目はベベルエッジ、パテしごき（東洋紙BDW共）
- 増張り材、表面の塗装などは仕上表による。

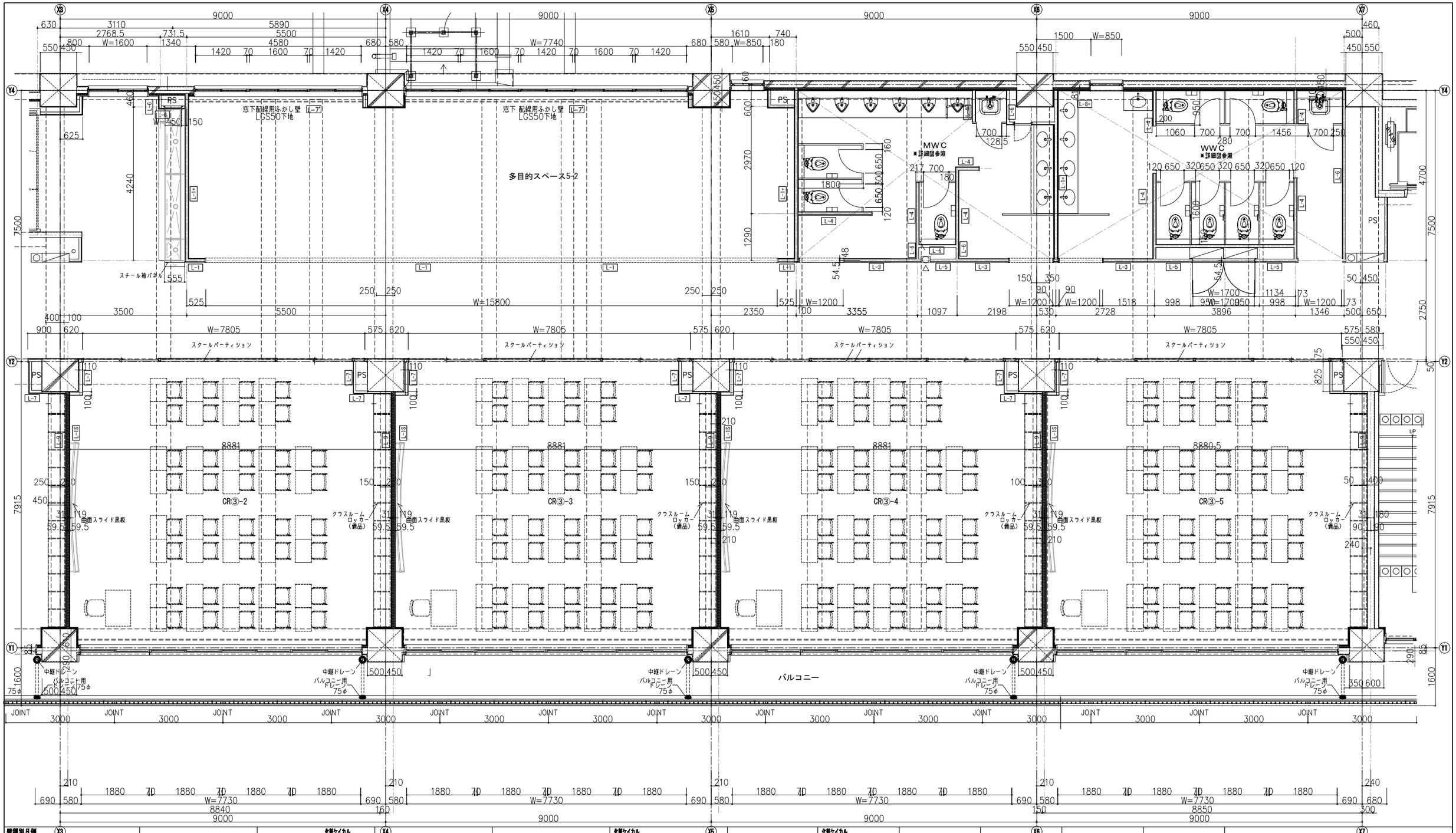
凡例
- 金属ブロック（断内：幅C200×300 金属ブロック（断外：鋼製耐ダイム204×294）
- △：同金属ボックス（金属製）　▲：同金属ボックス（金属製）
- (C-50)：各フロアーからのレベル差mmを示す

備考欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	平面詳細図　9（5階-1）	縮尺	1/100（A3） 1/50（A1）
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度
			A-043 （044/224）



壁種別凡例

記号	L－1	L－1S	L－1+	L－2	L－3	L－4	L－4'	L－5	L－6	L－7	L－8	L－8+	L－9	L－9'	L－S
			化粧ケイカル			化粧ケイカル			化粧ケイカル						
	GB-H t9.5（上） GB-F t12.5（下）	GB-H t=9.5（上） GB-F t=12.5（下）	※（増張り） GB-H t=9.5（上） GB-F t=12.5（下）	GB-H t=9.5（上） GB-R t=12.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-R t9.5（下）	GB-H t9.5（上） GB-R t12.5（下）	FK-D t6.0（上） GB-H t9.5（下）	GB-H t9.5	現場発泡ウレタン GLボンド GLボンド	※（増張り） GB-H t9.5 ※（増張り） GB-H t9.5	化粧石膏ボード 品合板 t=6.0 木胴縁40×25 @300 （LGS65並@300）	天井 GB-F t=22（上） GB-F t=22（下）
備考	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）	※乾式遮音耐火間仕切 FP060NP-0448（2） （遮音構造SD1-0170吉野石膏ハイパーウォールZ・W1）	耐火構造（1時間）FP060NP-0488（1） （吉野石膏ハイパーウォールZ）			※L-4'は③（24kg/m）t=50を充填とし、片面GB-Rはスラブまでとする。				※L-8+は増張り有り					

記事

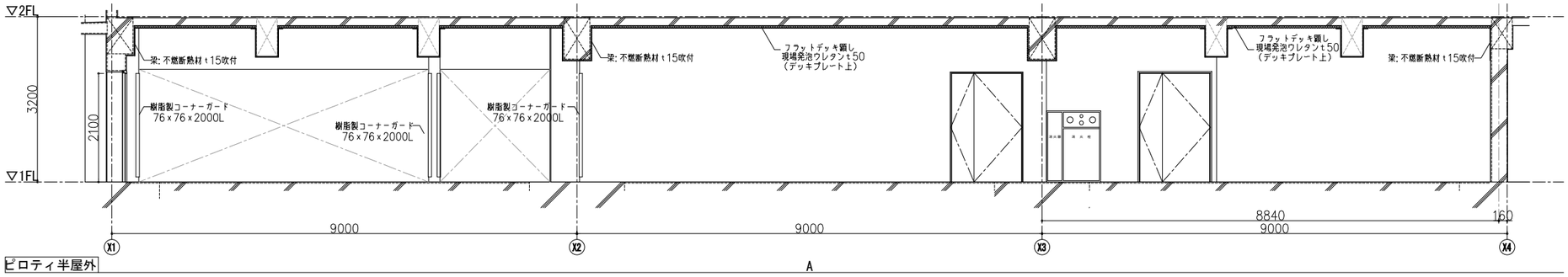
GB-R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃）	
GB-F：強化石膏ボード（不燃）	
GB-H：硬質石膏ボード（不燃）	
GB-S：防水石膏ボード（不燃、準不燃）	
FK-D：化粧ケイカル板（不燃）	
断：ロックウール（不燃）	
ボード記号の後のは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す	
備考欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする	

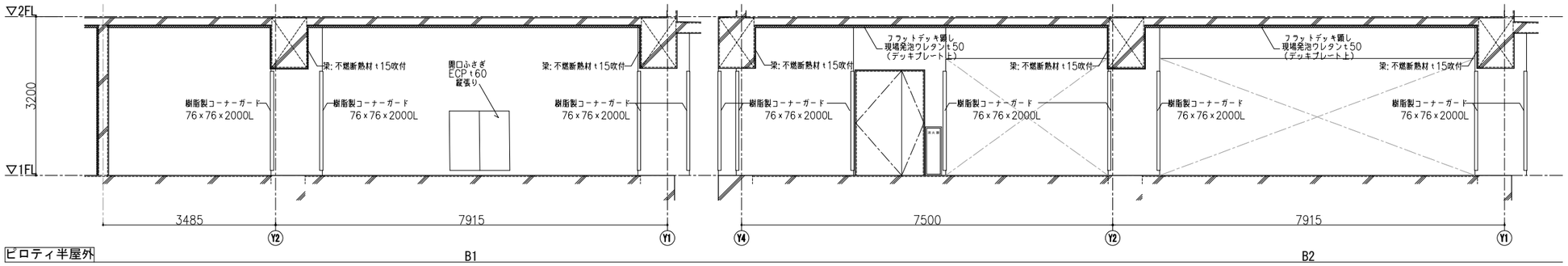
特記事項
- MWC、WWC間の間仕切壁内には、GW（24kg/m）t=50を充填する。
- FK-Dの縦目はシーリングWSとする。
- 見附面のGB-H号、石膏ボード系の縦目はベベルエッジ、パテしごき（重冶寿10D/W天）
- 増張り材、表面の塗装などは仕上表による。

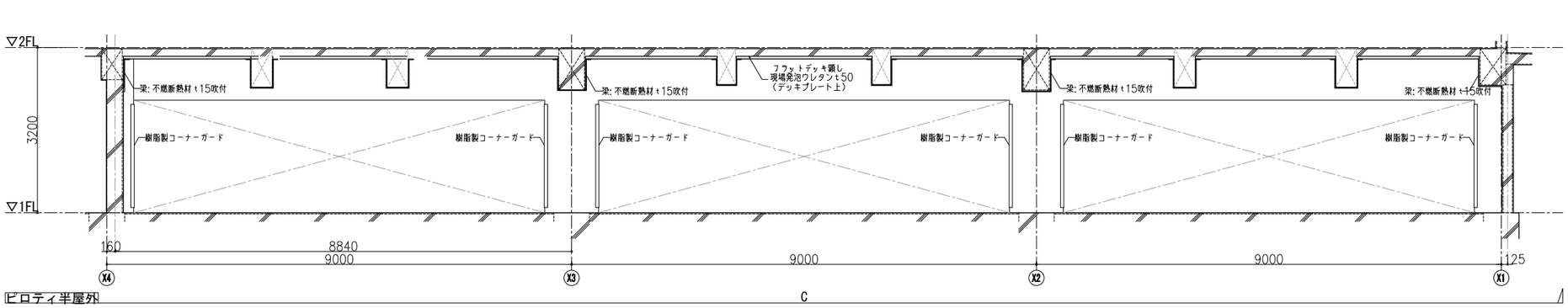
凡例
- 点検ブロック（断内：幅L=300×高さブロック（断内：開口部サイズ420H×294）
- △：排水用ボックス（給湯式）　▲：排水用ボックス（給湯式）
- (C-500)：各フロアーからのレベル差mmを示す

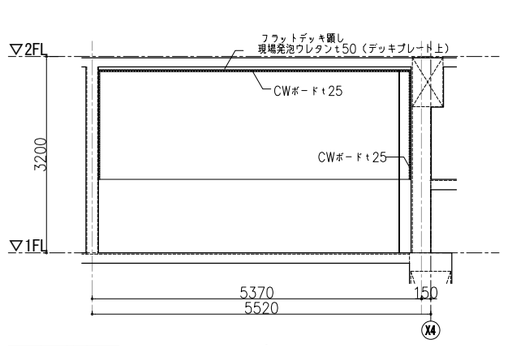
株式会社 大建設計	一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
技にこころを		構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	
		設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春	

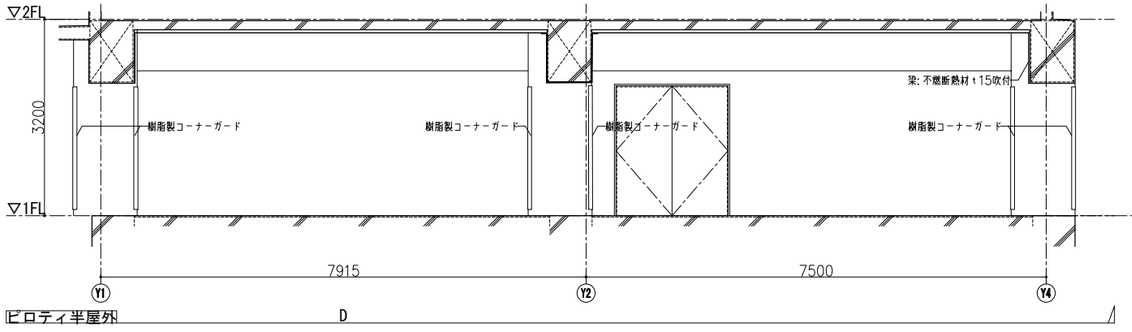
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	平面詳細図　１０（5階-2）	縮尺	1/100（A3） 1/50（A1）
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度
			A-044 （045/224）

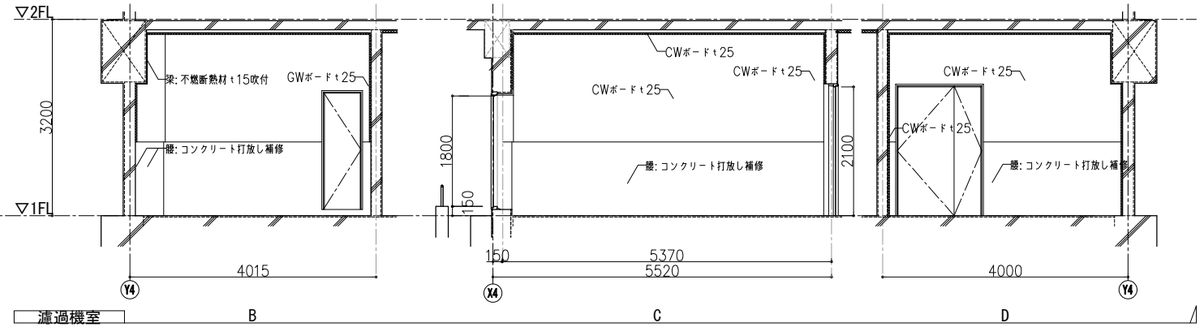




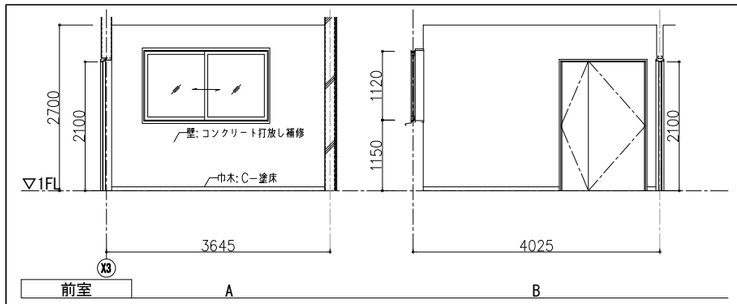


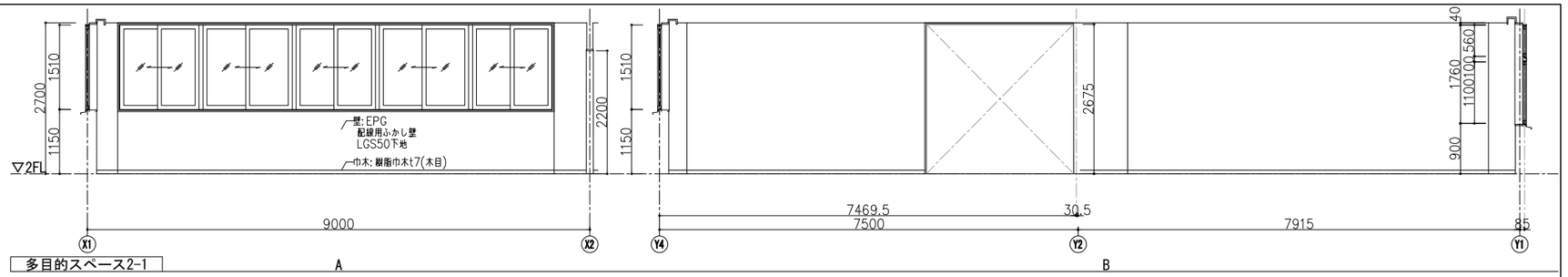


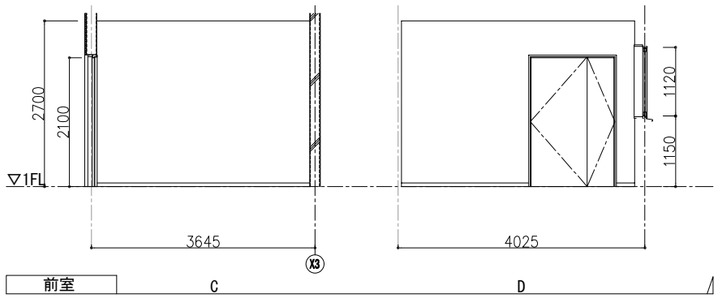


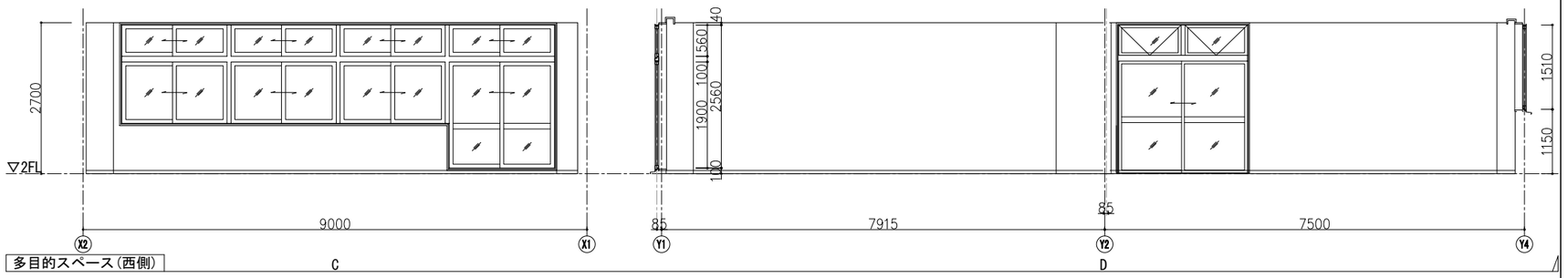


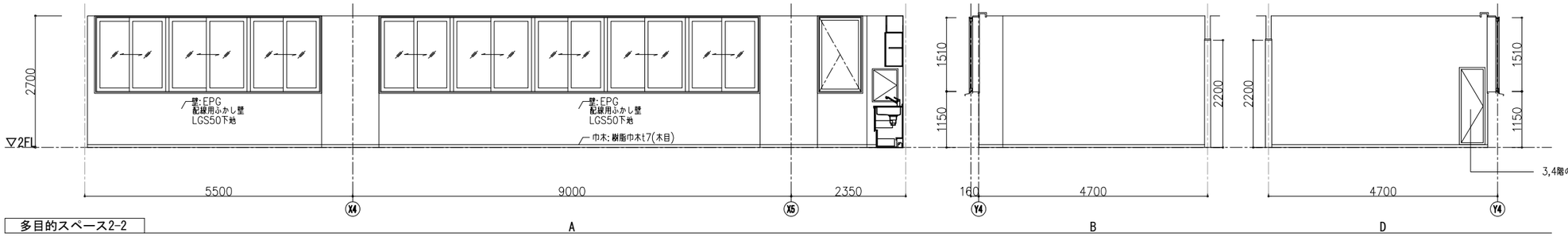
株式会社 大建設計 (技にこころを) 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
	構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和	図面名	展開図 1	縮尺	1/100(A3) 1/50(A1)	A-045
	設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春	船橋市建設局建築部建築課			令和7年度	(046/224)

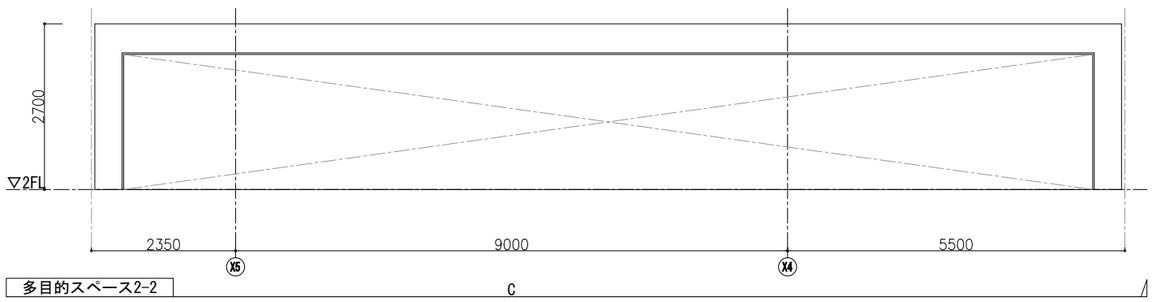


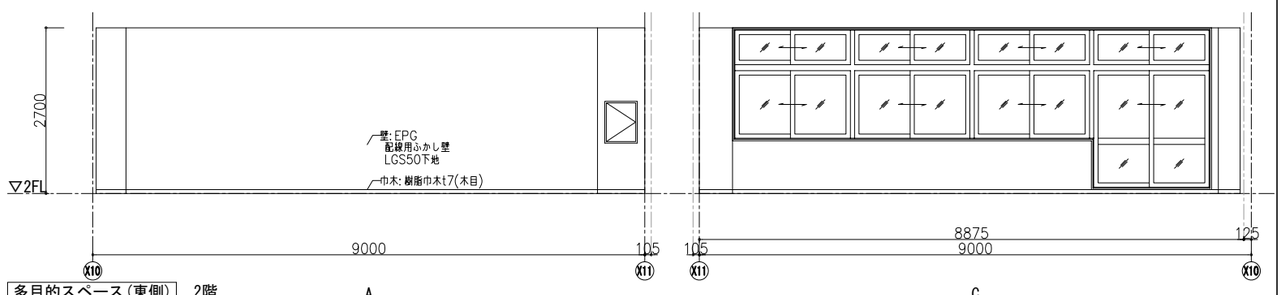


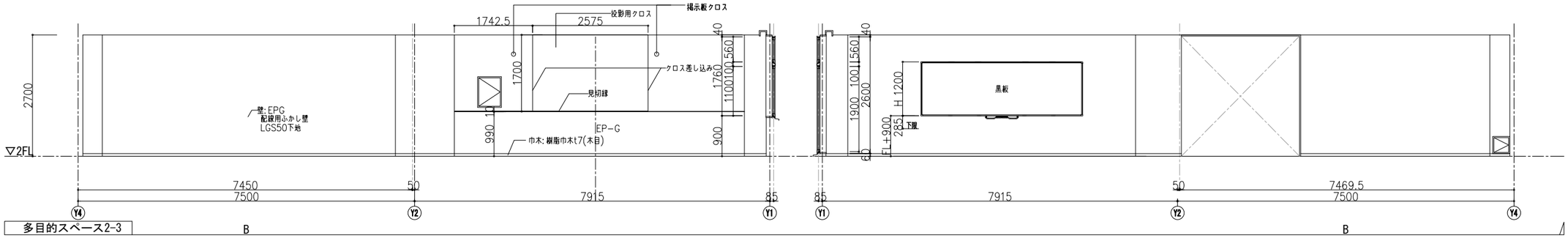




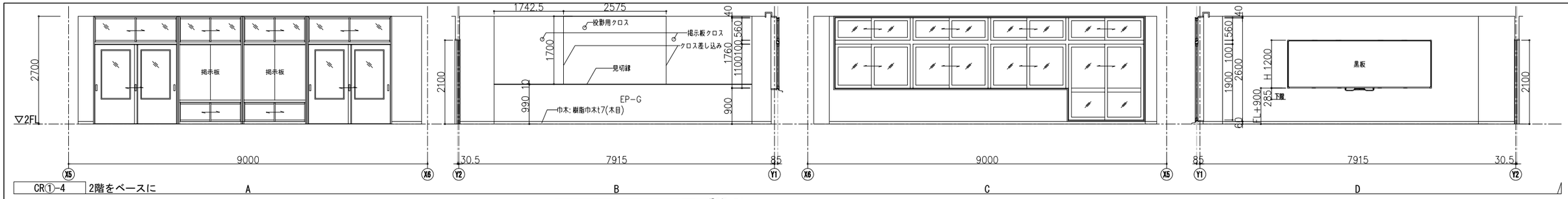


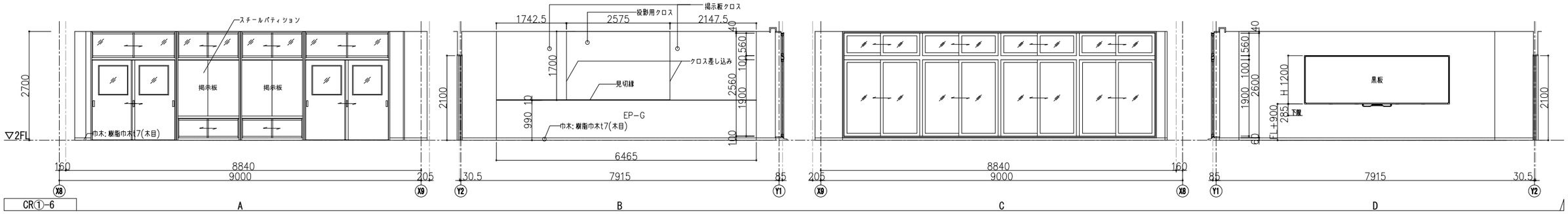


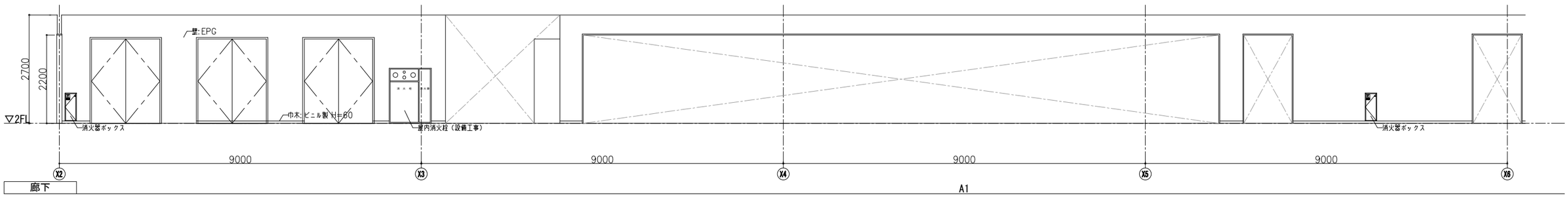


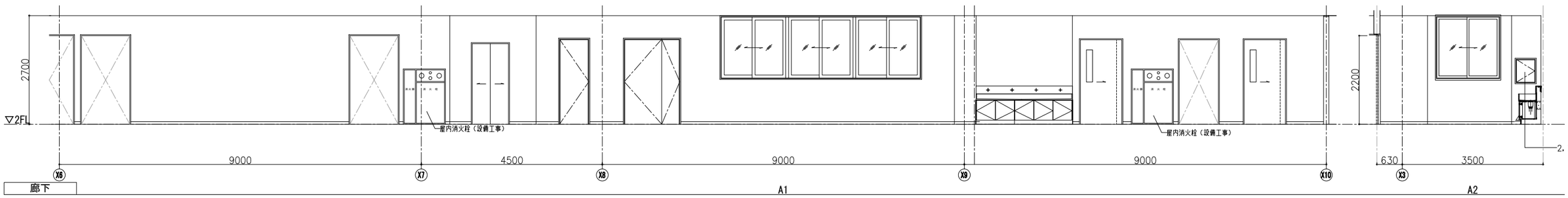


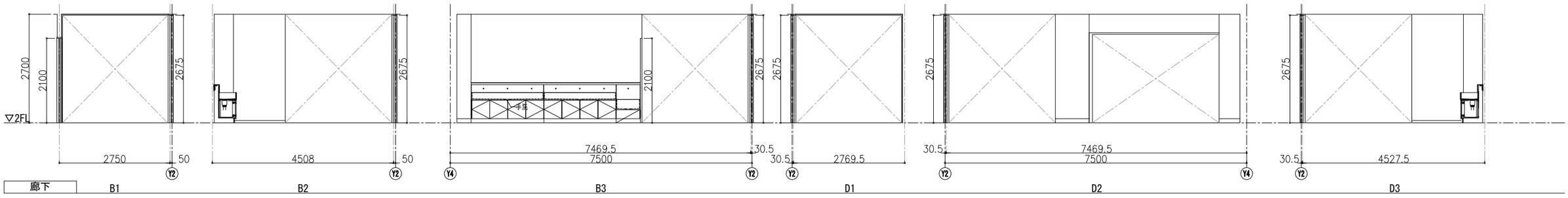
	株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
			図面名	展開図 2	縮尺 1/100(A3) 1/50(A1)	A-046
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(047/224)



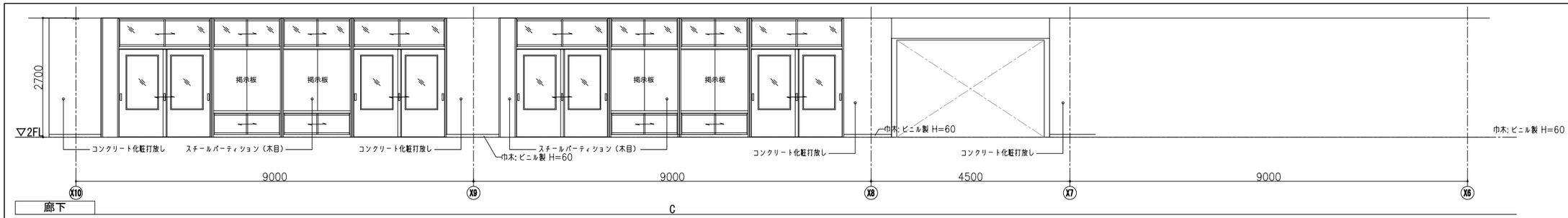


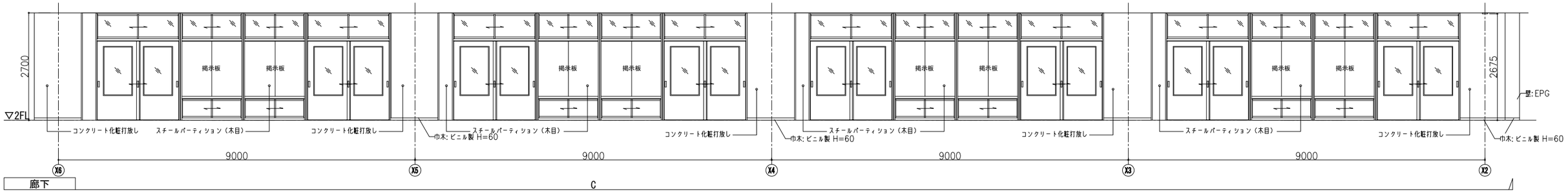


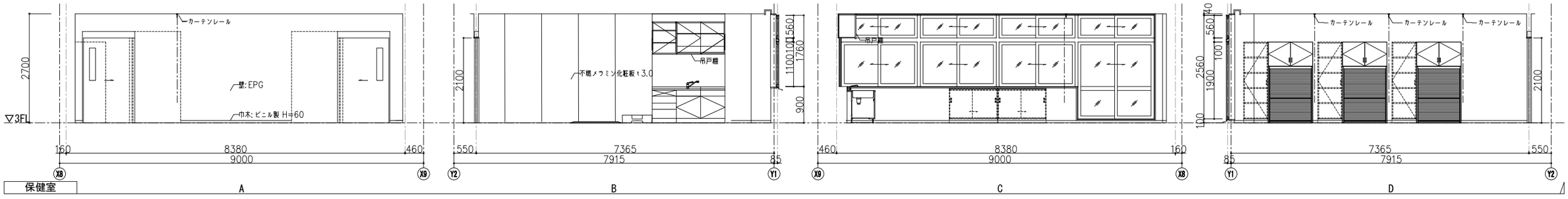


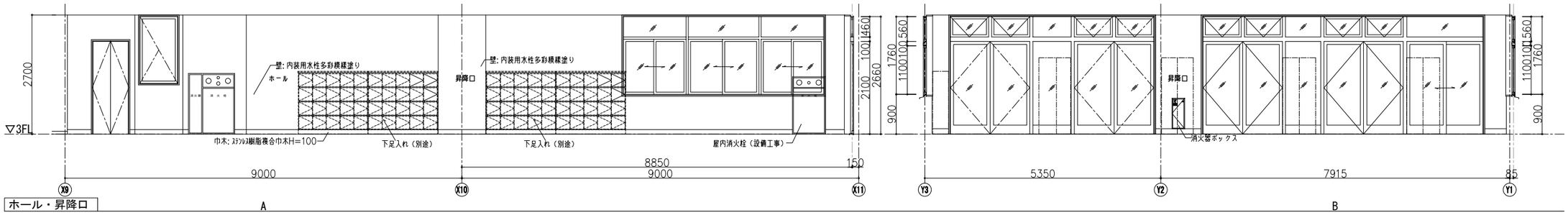


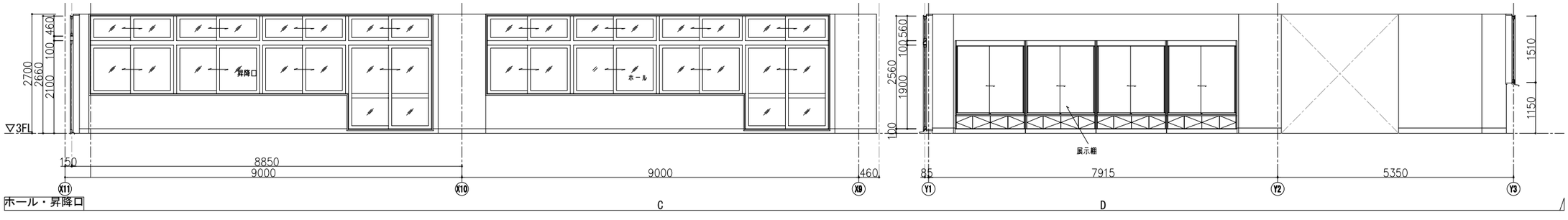
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	展開図 3	縮尺 1/100(A3) 1/50(A1)	A-047
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(048/224)



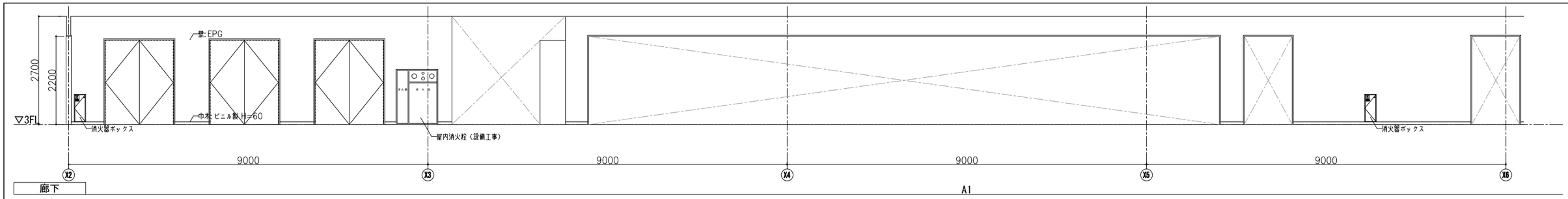


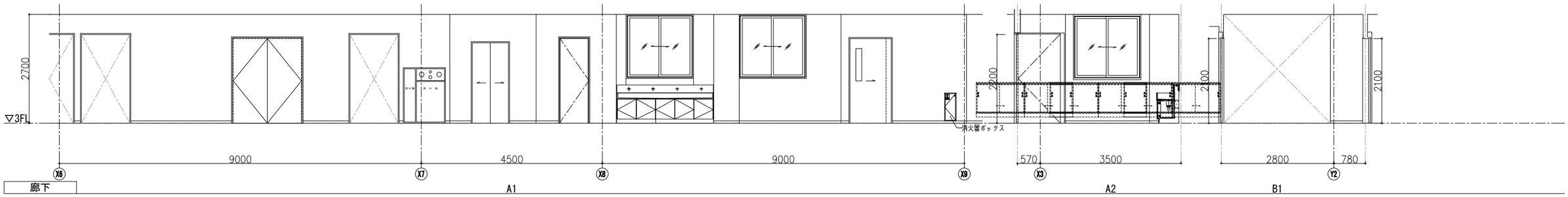


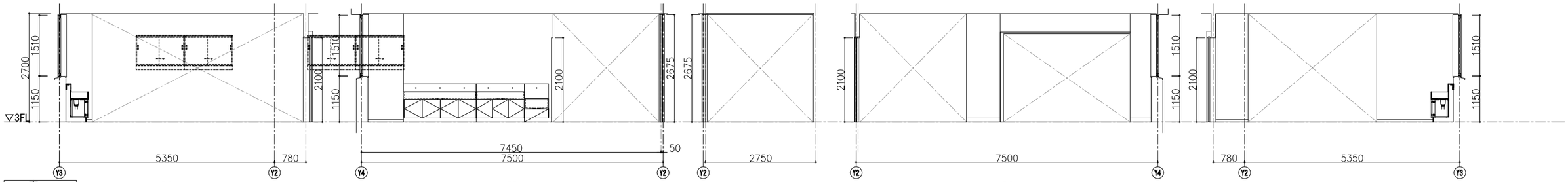


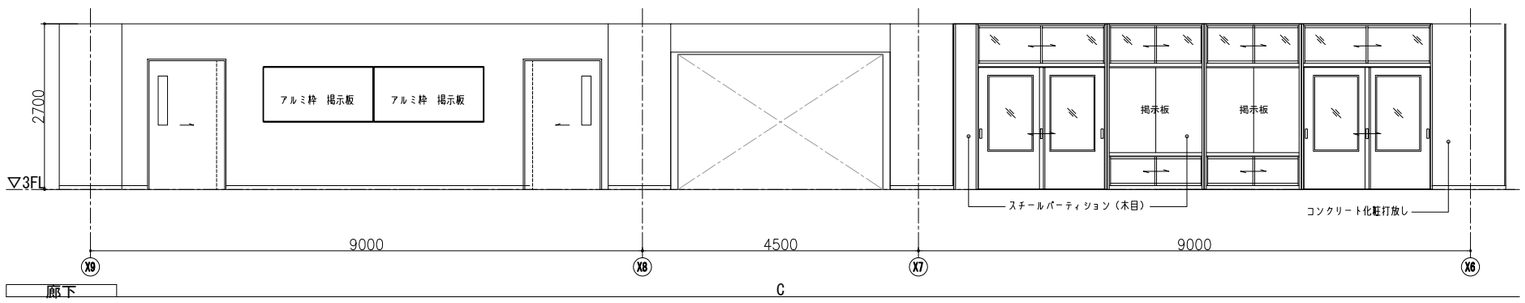


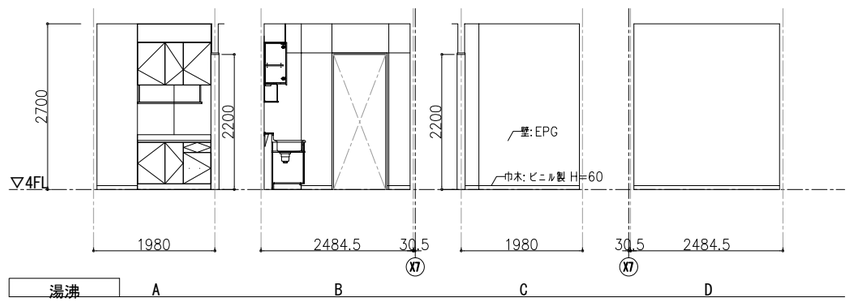
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	展開図 4	縮尺 1/100(A3) 1/50(A1)	A-048
		船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(049/224)

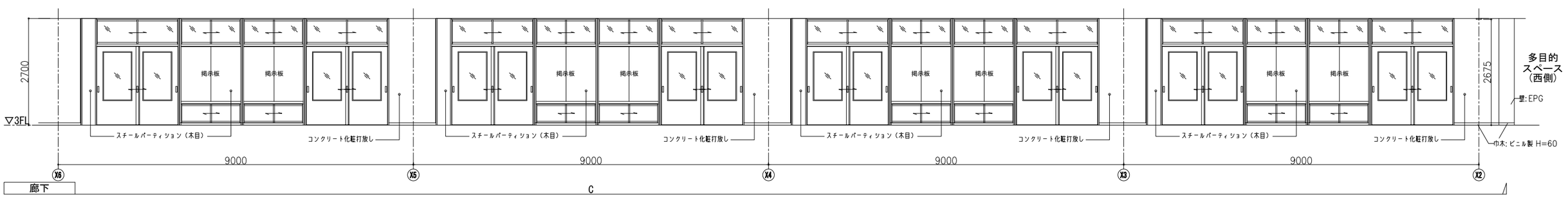




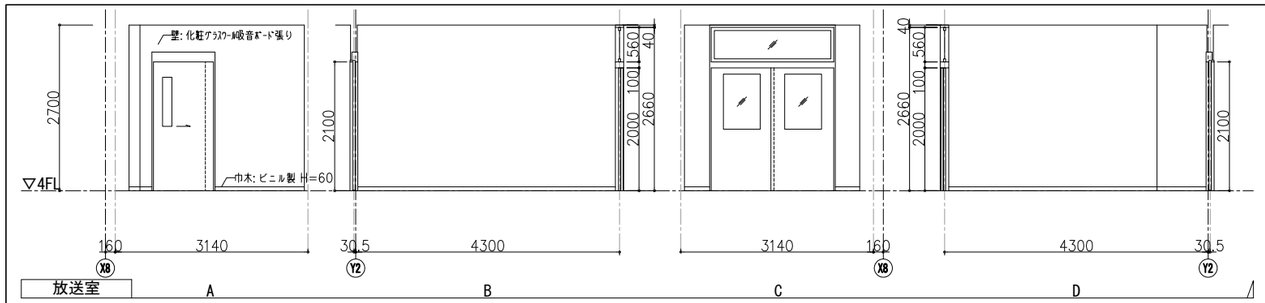


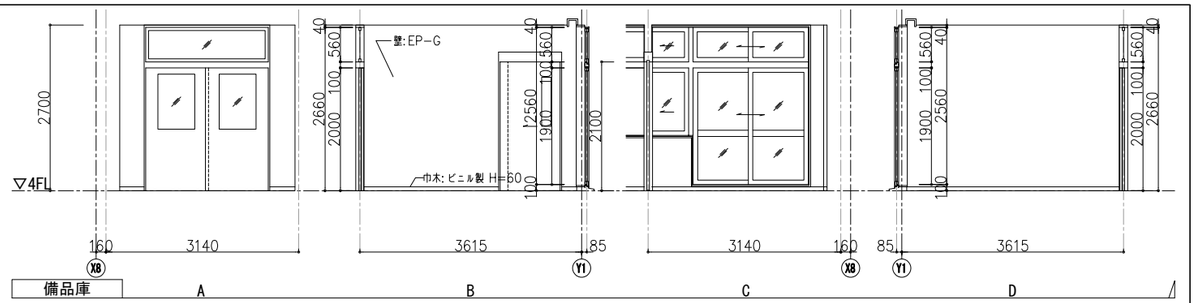


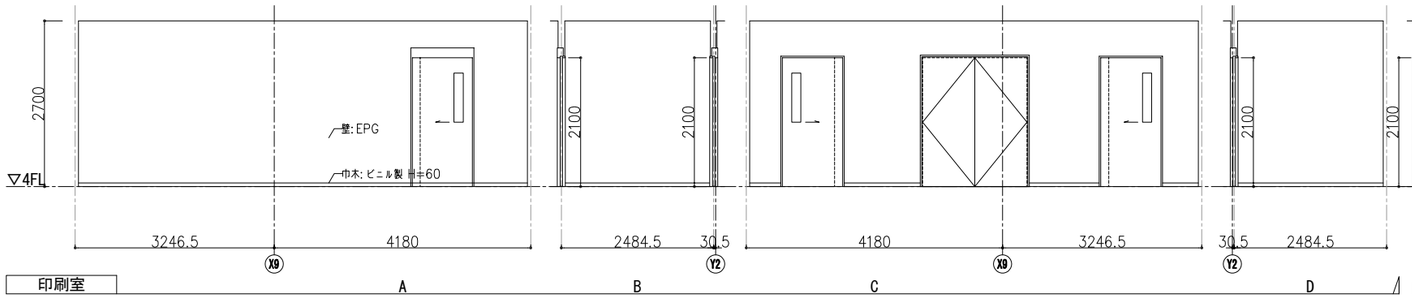


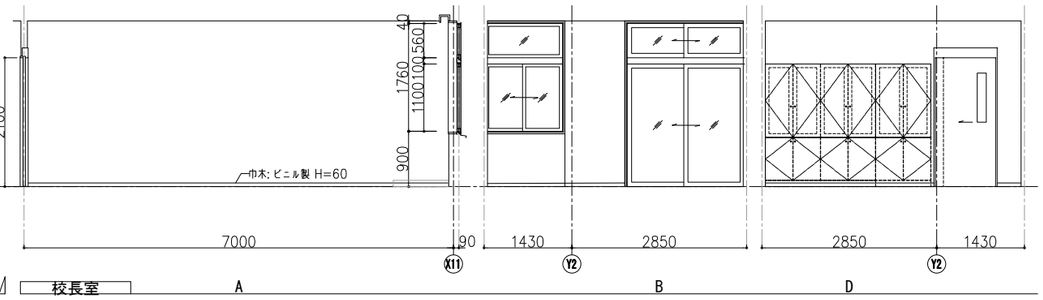


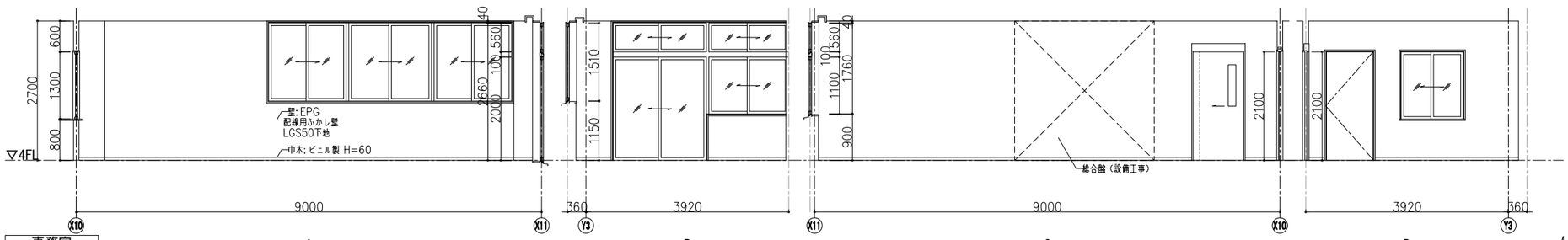
	技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
			図面名	展開図 5	縮尺 1/100(A3) 1/50(A1)	A-049
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(050/224)

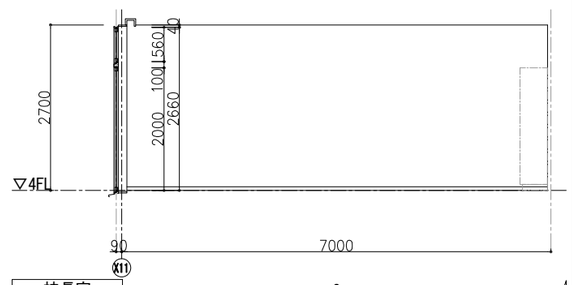


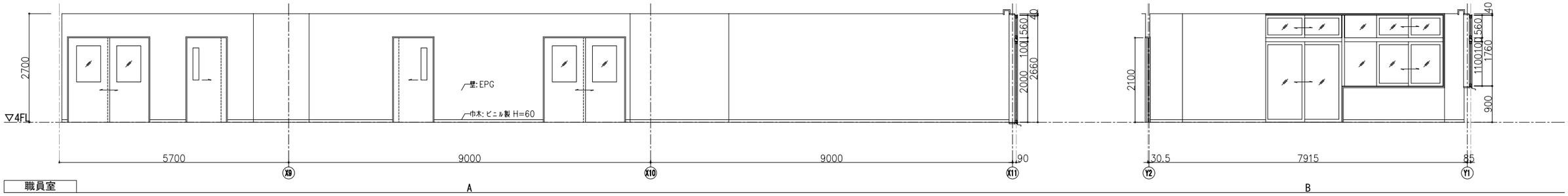


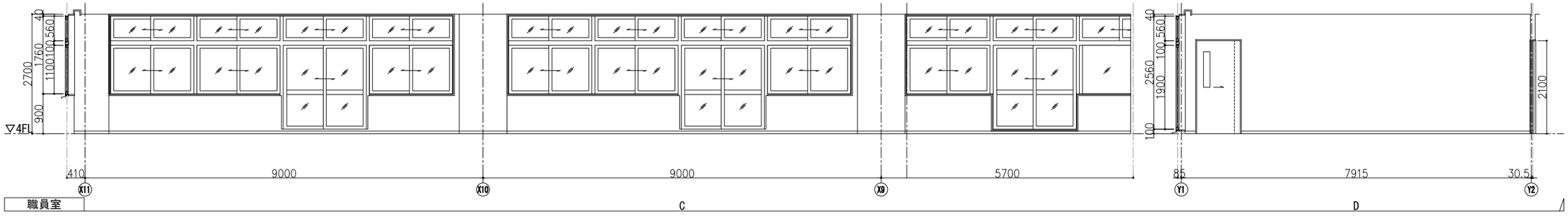




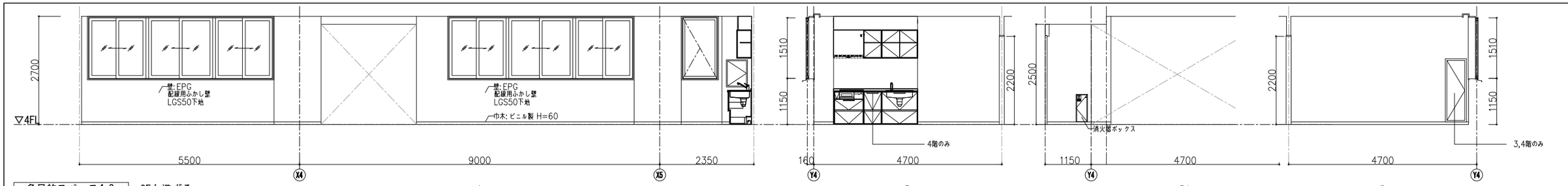




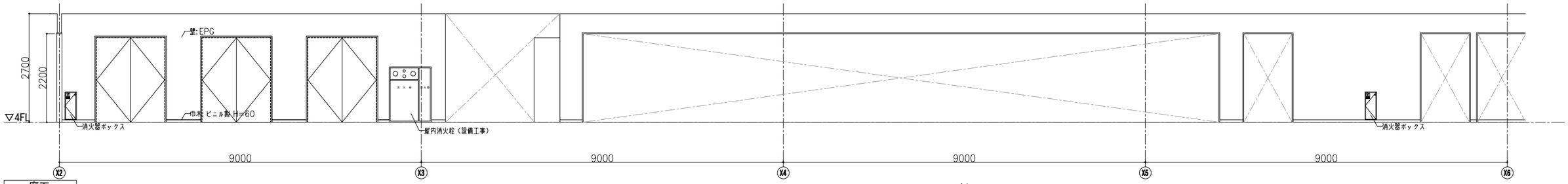




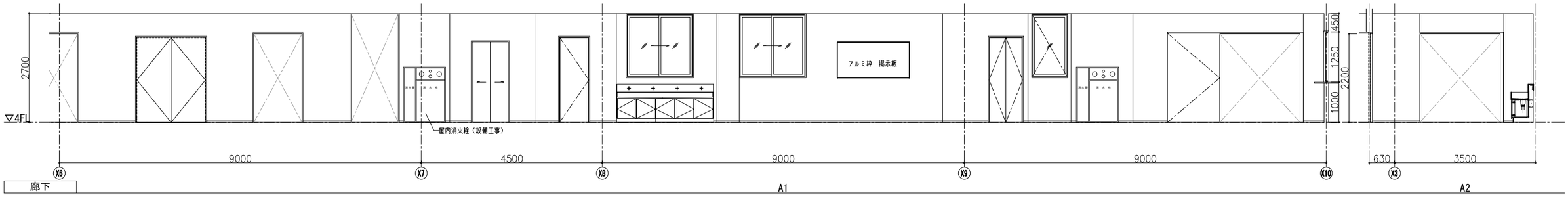
技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	展開図 6	縮尺 1/100(A3) 1/50(A1)	A-050
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(051/224)



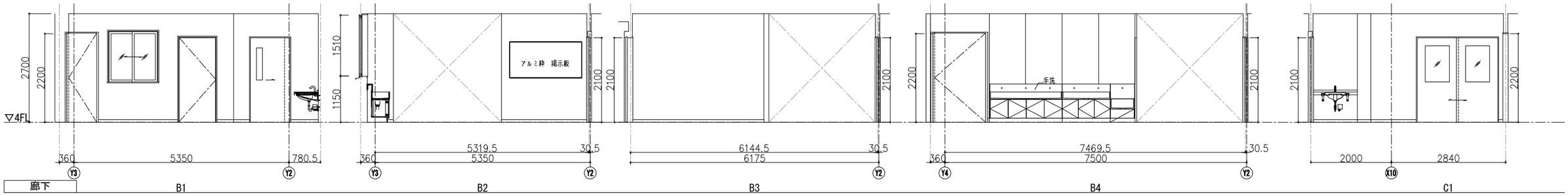
多目的スペース4-2　3Fも準ずる　A　B　B1　D



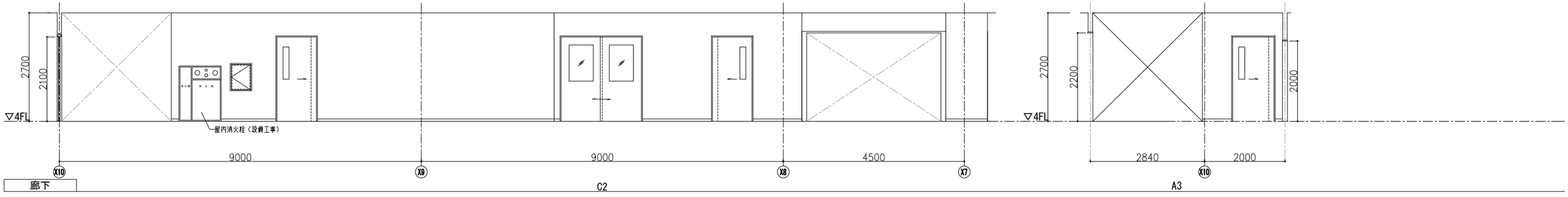
廊下　A1



廊下　A1　A2

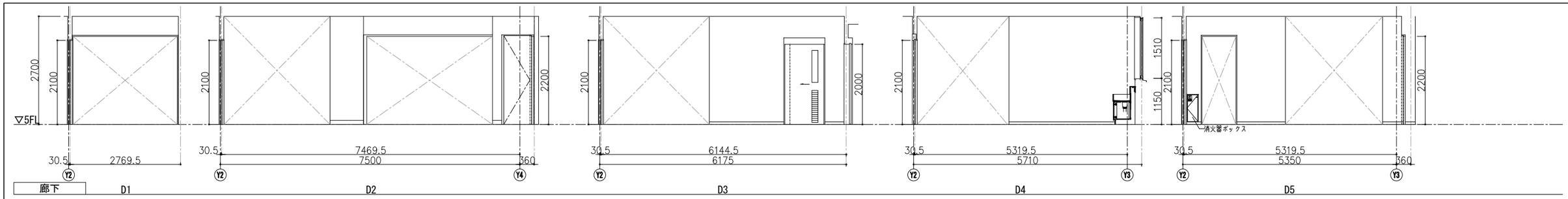


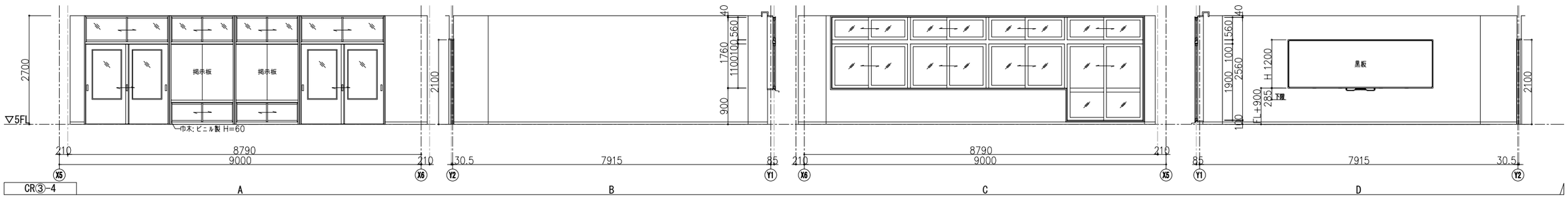
廊下　B1　B2　B3　B4　C1

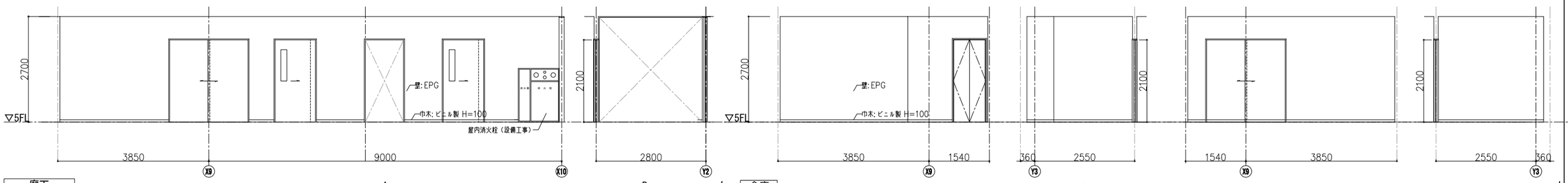


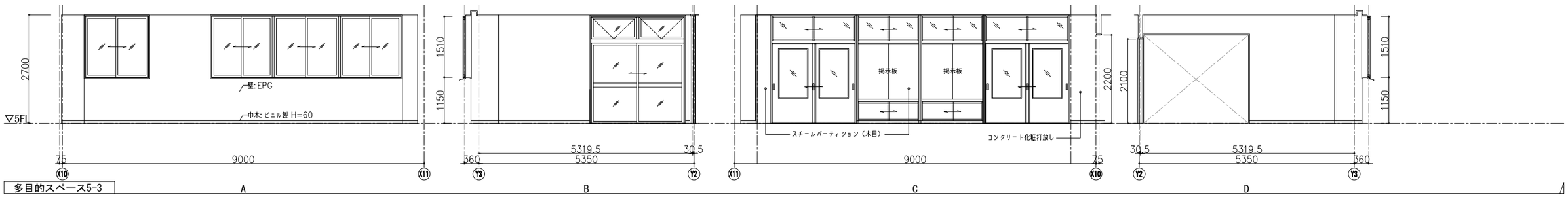
廊下　C2　A3

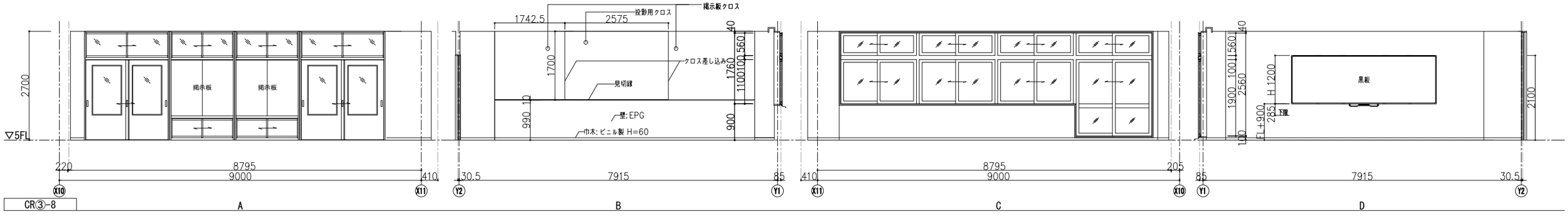
株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	図面名	展開図 7	A-051
	設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春	縮尺	1/100 (A3) 1/50 (A1)	
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(052/224)



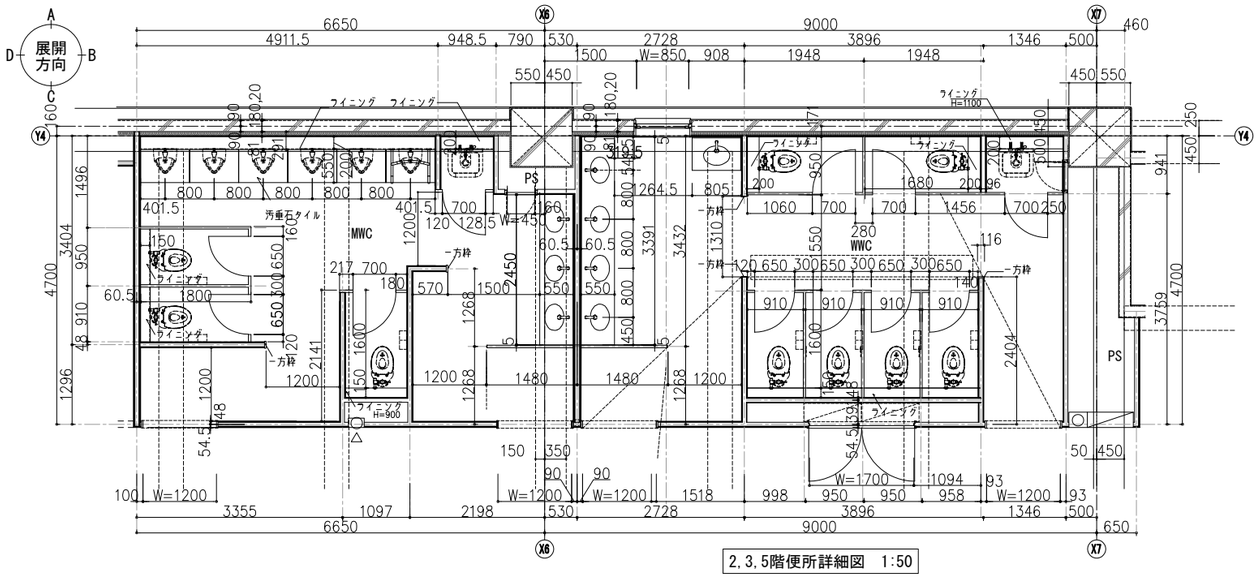




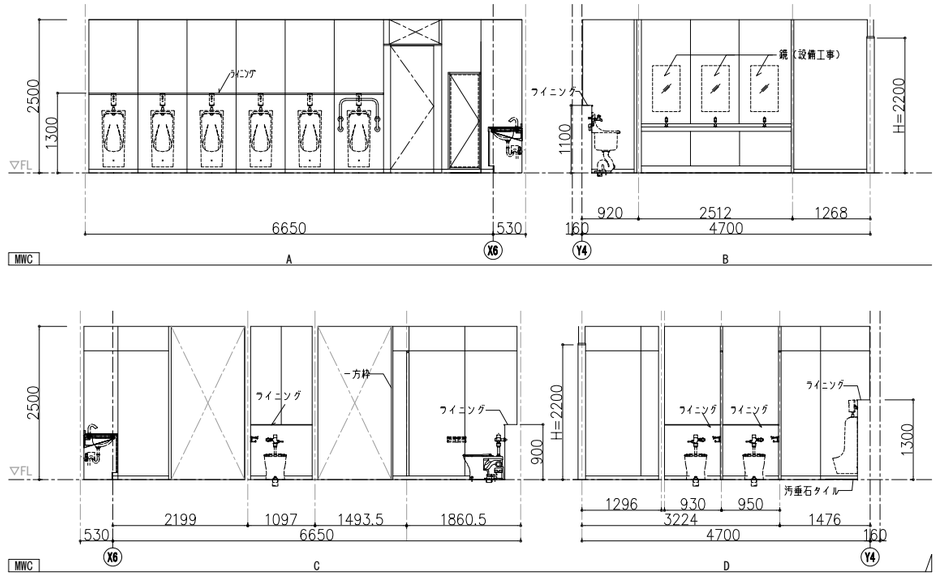


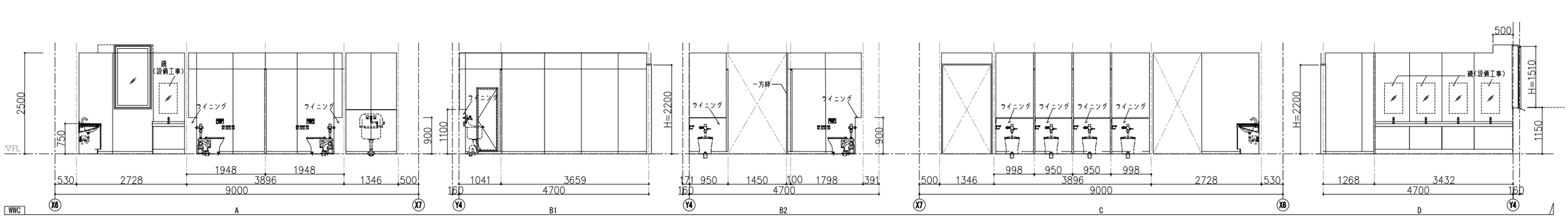


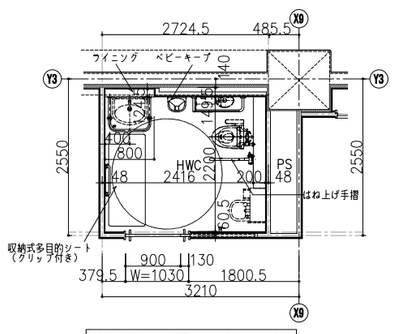
	株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
			図面名	展開図 8	縮尺 1/100 (A3) 1/50 (A1)	A-052
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(053/224)



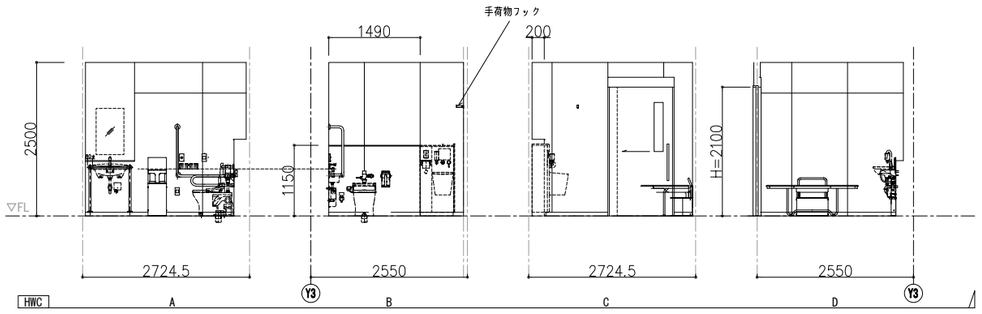
2, 3, 5階便所詳細図　1:50

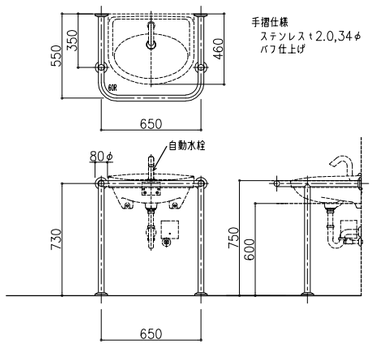






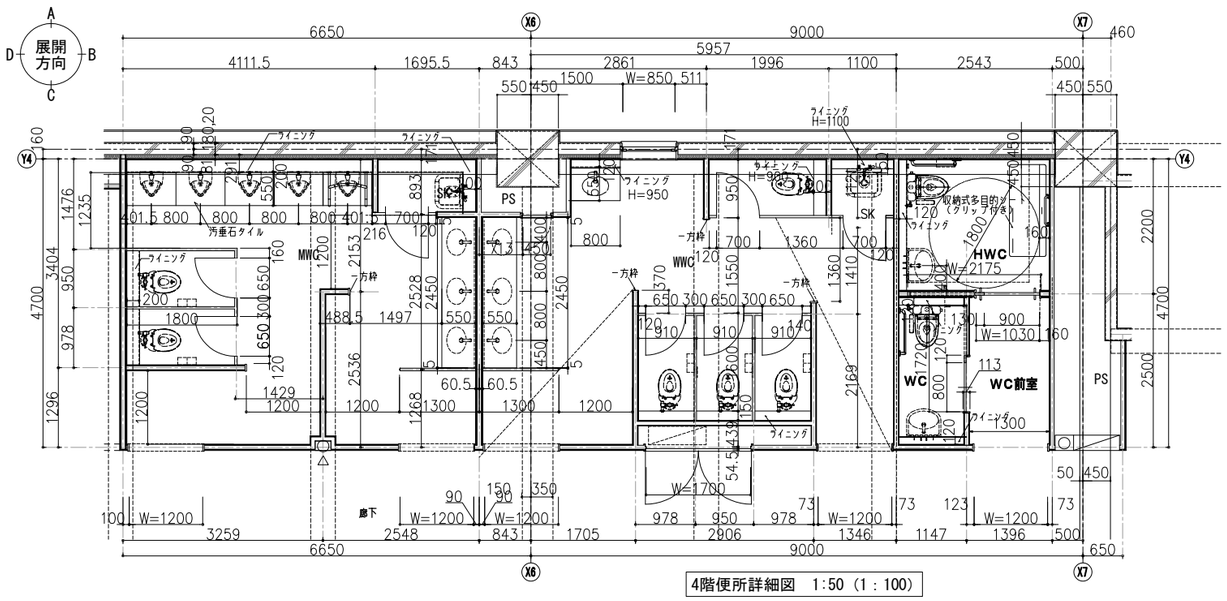
3階HWC詳細図　1:50(1:100)

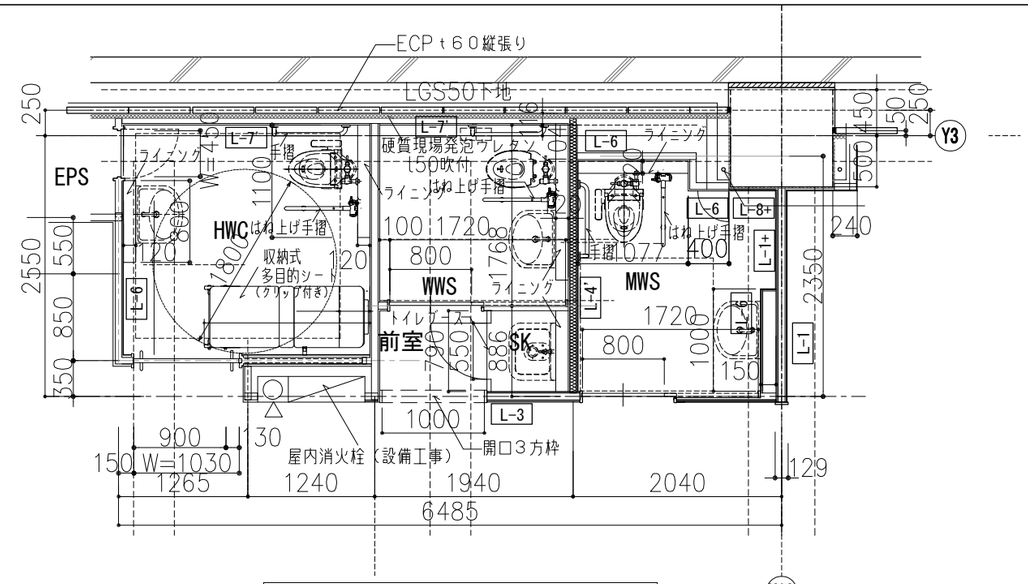




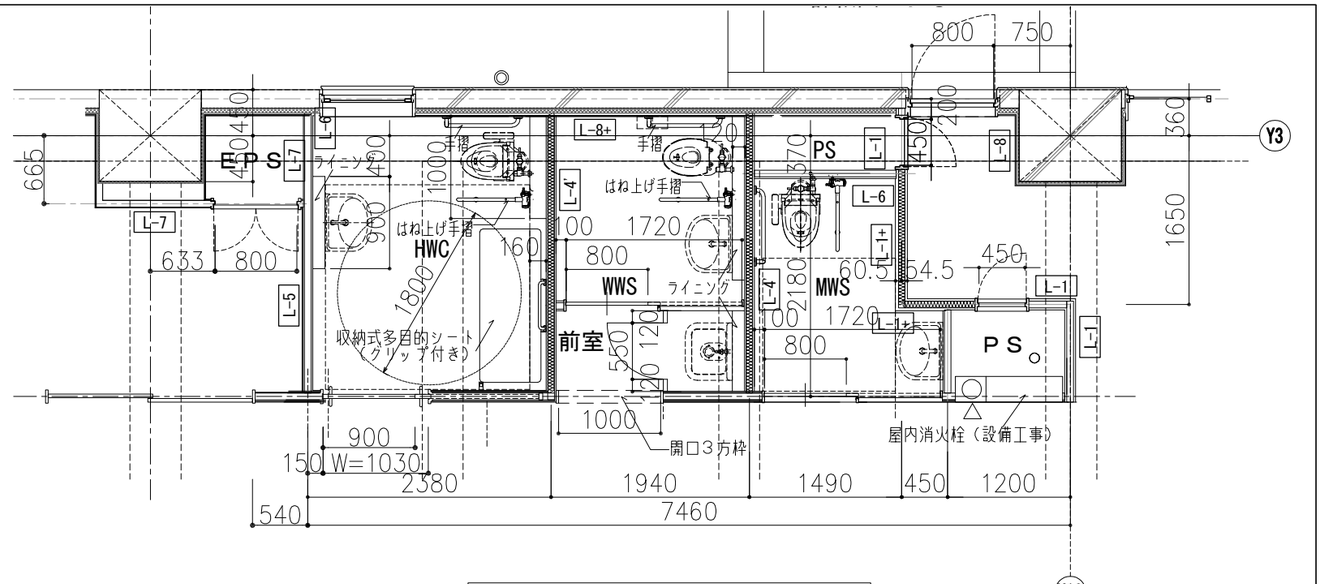
洗面器廻り手摺詳細図1/20

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	図面名	WC廻り平面図詳細、展開図１ 縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-053
	設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課 令和7年度	(054/224)

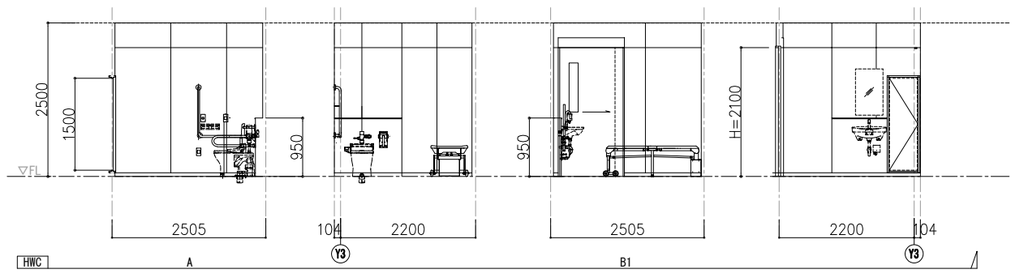

展開方向
A
B
C
D
X6
X7
Y4
X8
6650
9000
5957
4111.5
1695.5
843
2861
1996
1100
2543
500
460
1500
W=850
511
550
450
450
550
ライニング
H=1100
H=950
PS
SK
MWC
WWC
一方枠
汚垂石タイル
HWC
W=2175
WC
WC前室
W=1030
W=1700
廊下
W=1200
3259
2548
1705
2906
1346
1147
1396
2200
2500
4700
3404
1476
1235
978
1296
2153
2528
2450
2536
1429
1497
488.5
2169
1410
1360
1550
1370
650
300
910
1268
1300
1200
1800
1429
1080
1030
1410
1360
1550
1370
2169
2153
2528
2450
2536
1429
1497
488.5
1268
1300
1200
1800

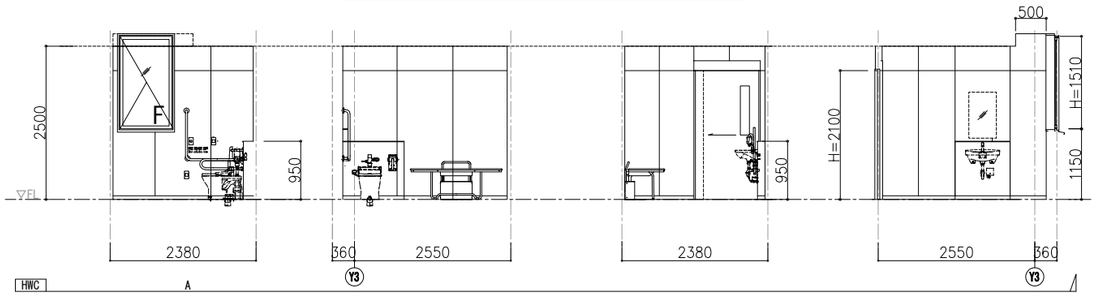


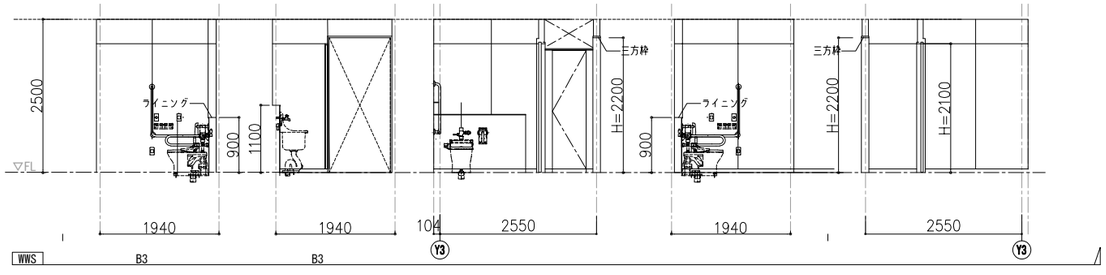
2階便所詳細図　1:30（1：60）

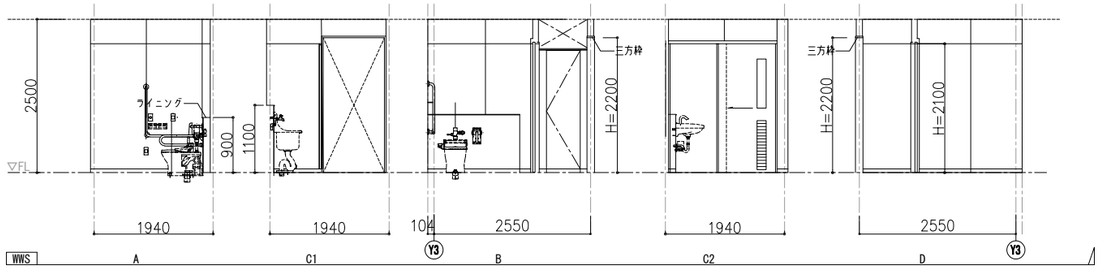


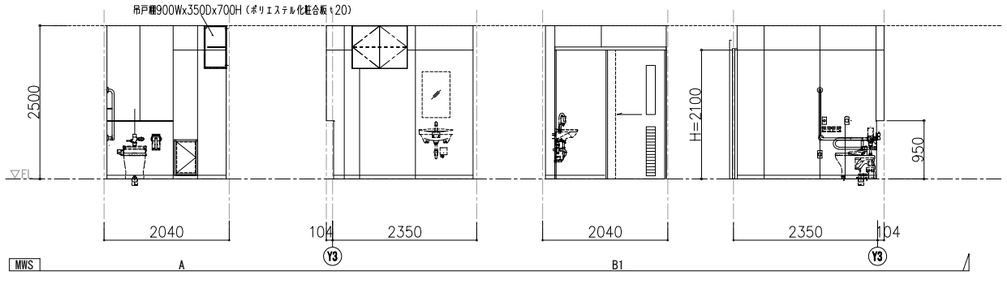
5階便所詳細図　1:30（1：60）

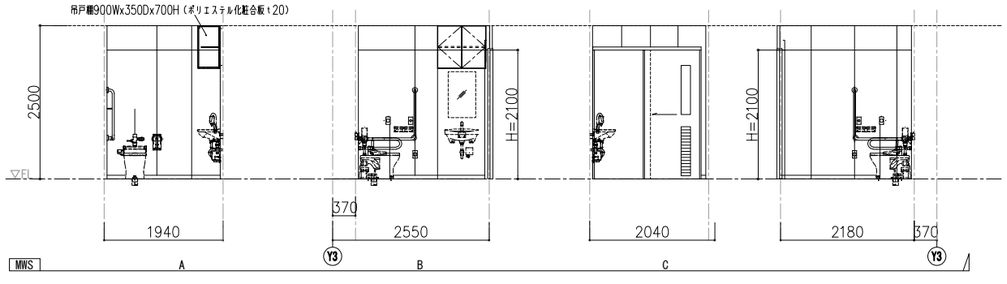












株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
		図面名	WC廻り平面図詳細、展開図3	縮尺	1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-055
			船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(056/224)

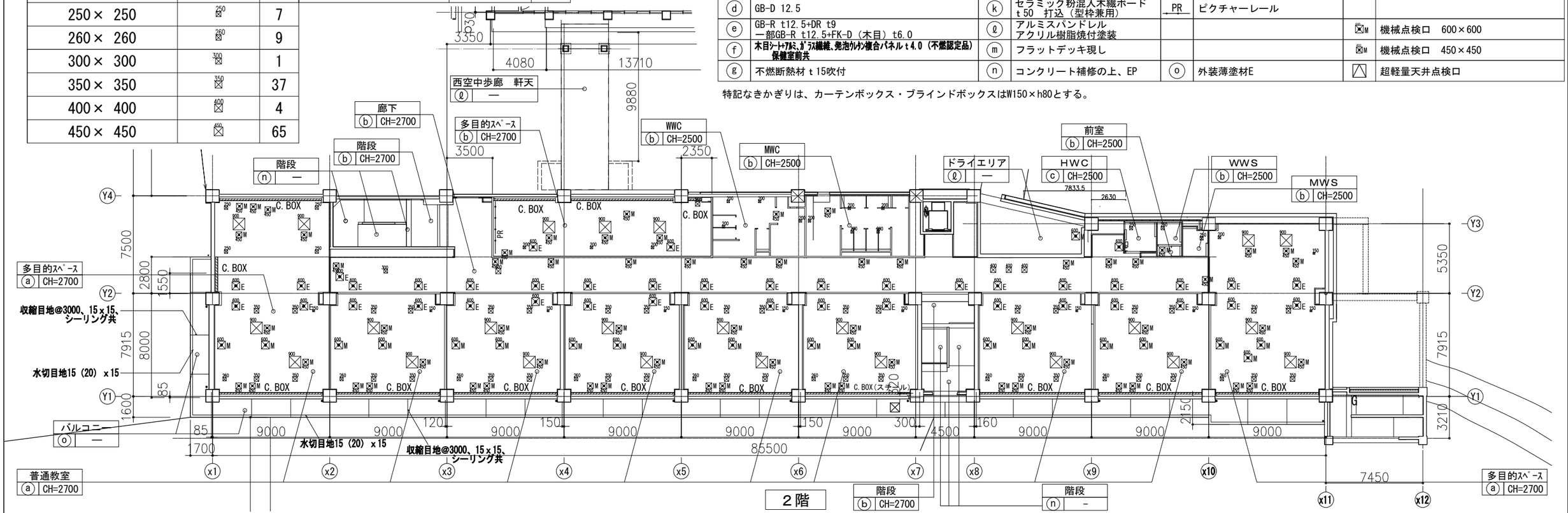
開口補強リスト（2階）

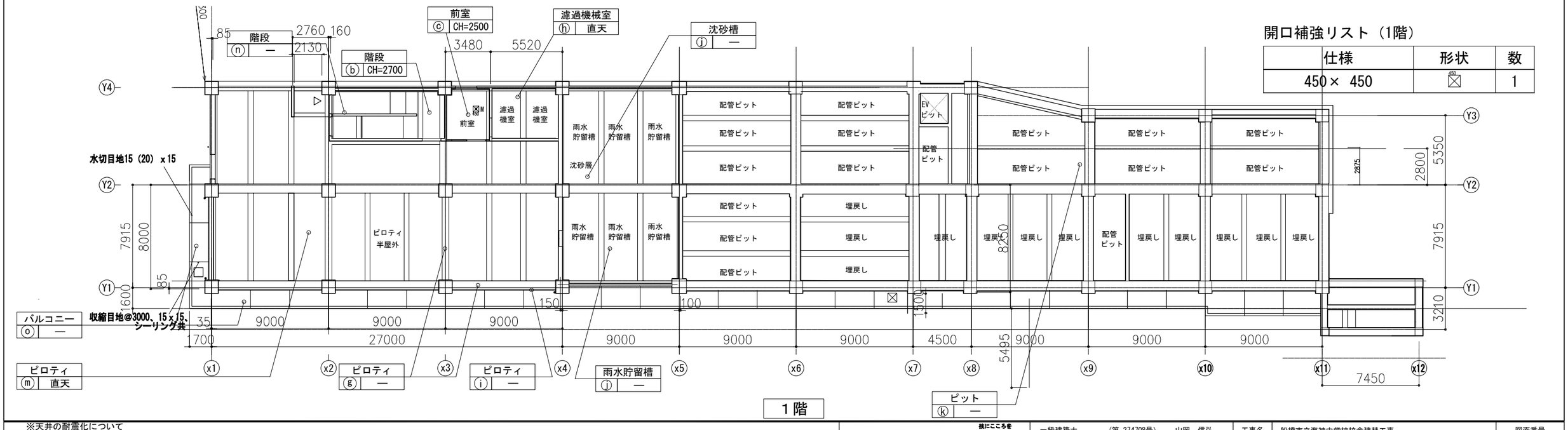
仕様	形状	数	600× 600		61
150× 150	150	10	900× 900		25
200× 200	200	13	170×1260		0
250× 250	250	7			
260× 260	260	9			
300× 300	300	1			
350× 350	350	37			
400× 400	400	4			
450× 450	450	65			

天井・梁型仕上表

(a)	吸音石膏ボード t 9.5	(h)	GWB t25	C.BOX	カーテンボックス、レール共	SS	防火防煙シャッター
(b)	DR t9.0	(i)	RC顕し	B.BOX	ブラインドボックス	GSS	管理用シャッター
(c)	GB-D t9.5	(j)	浸透性塗布防水			E	電気点検口 600×600
(d)	GB-D 12.5	(k)	セラミック粉混入木繊ボード t 50 打込（型枠兼用）	PR	ピクチャーレール		
(e)	GB-R t12.5+DR t9 一部GB-R t12.5+FK-D（木目）t6.0	(ℓ)	アルミスパンドレル アクリル樹脂焼付塗装			M	機械点検口 600×600
(f)	木目シートプルホ、ガラス繊維、発泡ウレタン複合パネル t 4.0（不燃認定品） 保健室前共	(m)	フラットデッキ現し			M	機械点検口 450×450
(g)	不燃断熱材 t 15吹付	(n)	コンクリート補修の上、EP	(o)	外装薄塗材E		超軽量天井点検口

特記なきかぎりは、カーテンボックス・ブラインドボックスはW150×h80とする。





開口補強リスト（1階）

仕様	形状	数
450× 450	450	1

※天井の耐震化について
特定天井他、特記なき居室及び廊下の天井は耐震補強した緊結在来工法（以下）とする。
ハンガー、クリップは全て緊結結合（ボルト併用）とし、緊結在来天井で使用する
クリップについて、隙間なし天井の新基準（国交省告示第771号第3第3項）に対応すること。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	天井伏図 1（1，2階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-056
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(057/224)

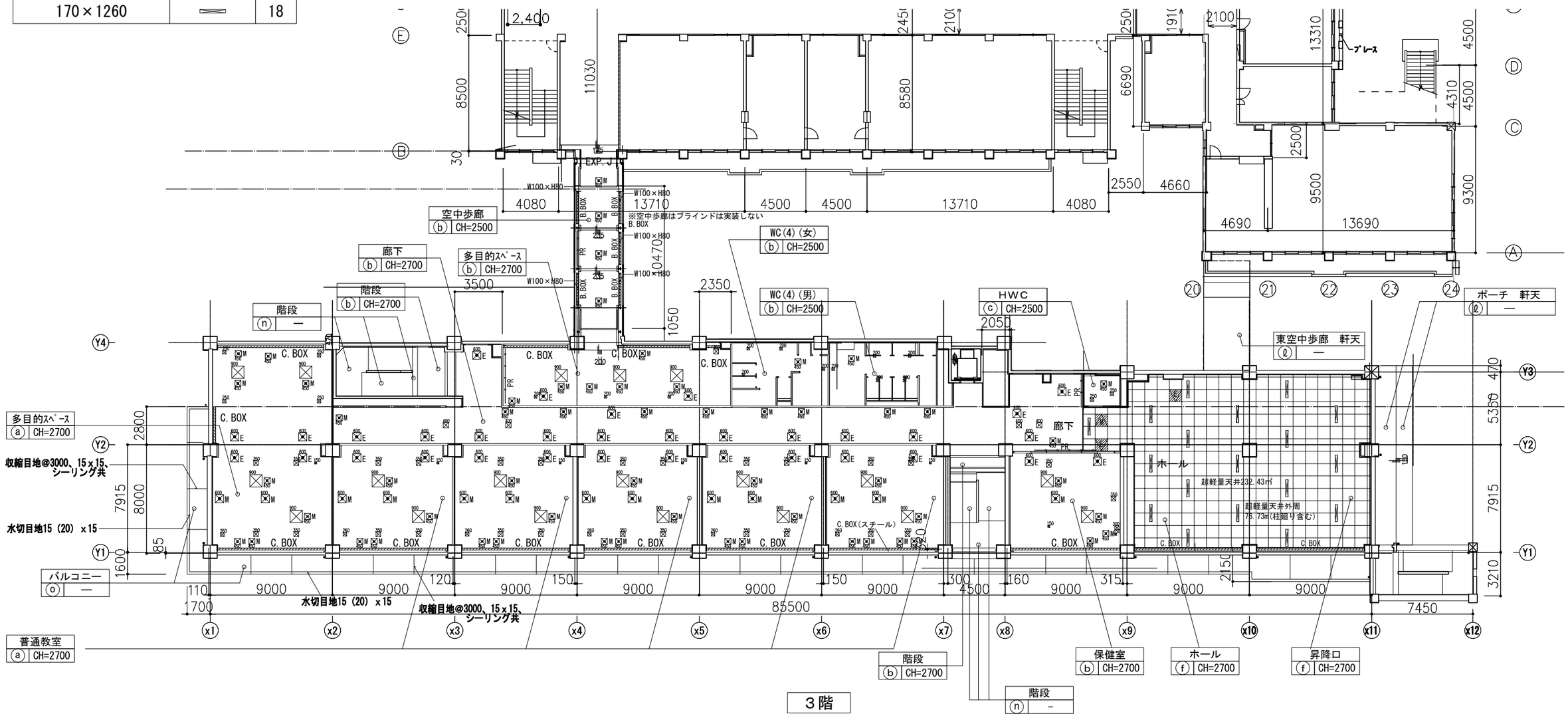
開口補強リスト（3階）

仕様	形状	数
150× 150	150	8
200× 200	200	12
250× 250	250	6
260× 260	260	6
300× 300	300	1
350× 350	350	27
400× 400	400	4
450× 450	450	56
600× 600	600	46
900× 900	900	19
170×1260		18

仕様	形状	数
450× 450	450	1
600× 600	600	2

天井・梁型仕上表							
ⓐ	吸音石膏ボード t 9.5	ⓗ	GWB t25	C.BOX	カーテンボックス、レール共	SS	防火防煙シャッター
ⓑ	DR t9.0	ⓘ	RC顕し	B.BOX	ブラインドボックス	GSS	管理用シャッター
ⓒ	GB-D t9.5	ⓙ	浸透性塗布防水			600 E	電気点検口 600×600
ⓓ	GB-D 12.5	ⓚ	セラミック粉混入木繊ボード t 50 打込（型枠兼用）	PR	ピクチャーレール		
ⓔ	GB-R t12.5+DR t9 一部GB-R t12.5+FK-D（木目）t6.0	ⓛ	アルミスパンドレル アクリル樹脂焼付塗装			600 M	機械点検口 600×600
ⓕ	木目ｼｰﾄ+ｱﾙﾐ､ｶﾞﾗｽ繊維､発泡ｳﾚﾀﾝ複合パネル t 4.0（不燃認定品） 保健室前共	ⓜ	フラットデッキ現し			450 M	機械点検口 450×450
ⓖ	不燃断熱材 t 15吹付	ⓝ	コンクリート補修の上、EP	ⓞ	外装薄塗材E		超軽量天井点検口

特記なきかぎりは、カーテンボックス・ブラインドボックスはW150×h80とする。



※天井の耐震化について
特定天井他、特記なき居室及び廊下の天井は耐震補強した緊結在来工法（以下）とする。
ハンガー、クリップは全て緊結結合（ボルト併用）とし、緊結在来天井で使用する
クリップについて、隙間なし天井の新基準（国交省告示第771号第3第3項）に対応すること。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

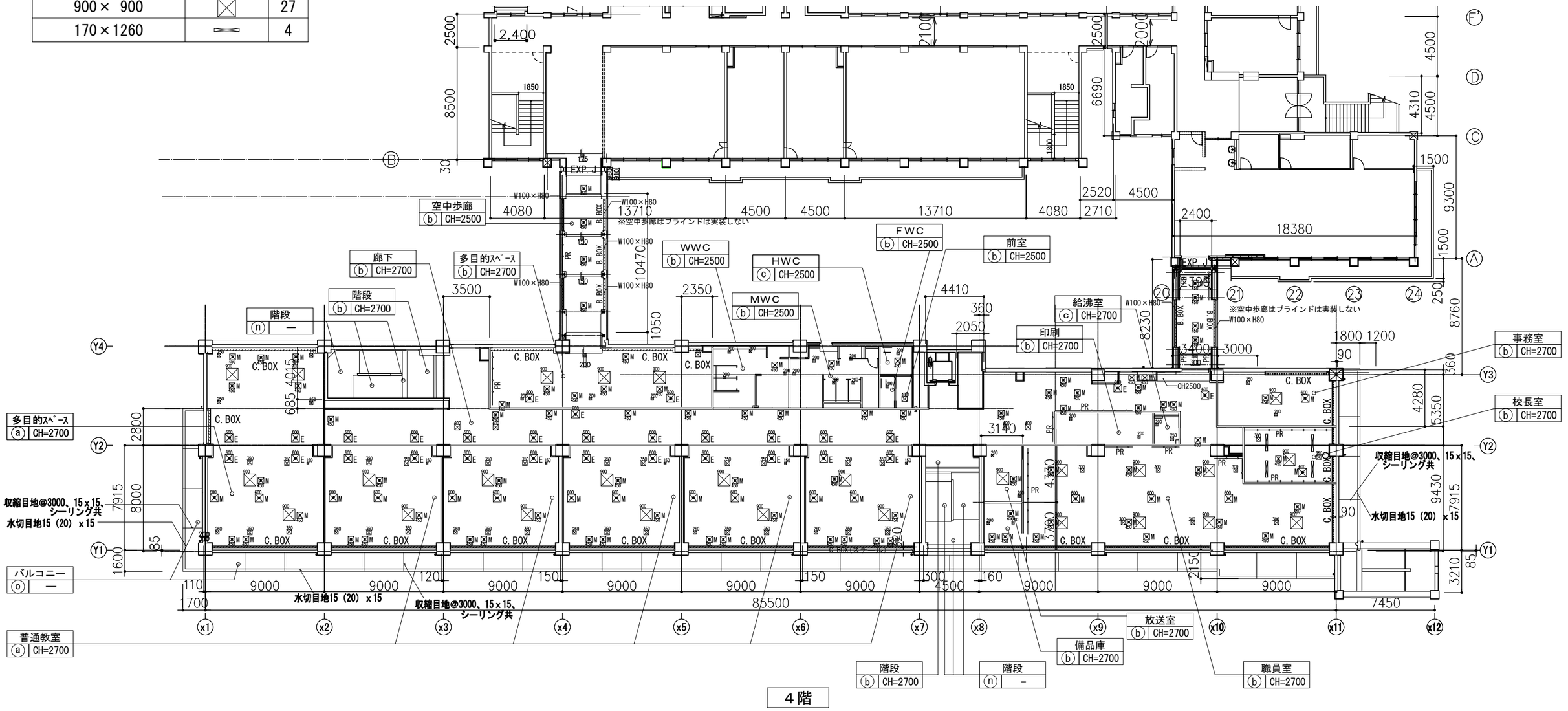
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	天井伏図 2（3階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-057
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(058/224)

開口補強リスト（4階）

仕様	形状	数
150× 150	150	6
200× 200	200	22
250× 250	250	6
260× 260	260	6
300× 300	300	7
350× 350	350	26
400× 400	400	5
450× 450	450	85
600× 600	600	46
900× 900	900	27
170×1260		4

天井・梁型仕上表							
ⓐ	吸音石膏ボード t 9.5	ⓗ	GWB t25	C.BOX	カーテンボックス、レール共	SS	防火防煙シャッター
ⓑ	DR t9.0	ⓘ	RC顕し	B.BOX	ブラインドボックス	GSS	管理用シャッター
ⓒ	GB-D t9.5	ⓙ	浸透性塗布防水			E	電気点検口 600×600
ⓓ	GB-D 12.5	ⓚ	セラミック粉混入木繊ボード t 50 打込（型枠兼用）	PR	ピクチャーレール		
ⓔ	GB-R t12.5+DR t9 一部GB-R t12.5+FK-D（木目）t6.0	ⓛ	アルミスパンドレル アクリル樹脂焼付塗装			M	機械点検口 600×600
ⓕ	木目シート+アルミ、ガラス繊維、発泡ウレタン複合パネル t 4.0（不燃認定品） 保健室前共	ⓜ	フラットデッキ現し			M	機械点検口 450×450
ⓖ	不燃断熱材 t 15吹付	ⓝ	コンクリート補修の上、EP	ⓞ	外装薄塗材E		超軽量天井点検口

特記なきかぎりは、カーテンボックス・ブラインドボックスはW150×h80とする。



4階

※天井の耐震化について
特定天井他、特記なき居室及び廊下の天井は耐震補強した緊結在来工法（以下）とする。
ハンガー、クリップは全て緊結結合（ボルト併用）とし、緊結在来天井で使用する
クリップについて、隙間なし天井の新基準（国交省告示第771号第3第3項）に対応すること。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	天井伏図 3（4階）	縮尺	1/300(A3) 1/150(A1)
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	A-058 (059/224)

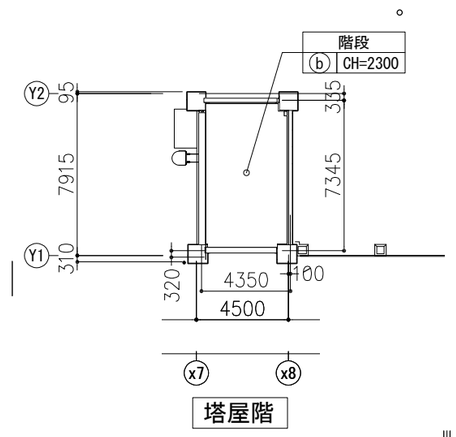
開口補強リスト（5階）

仕様	形状	数
150× 150	150	10
200× 200	200	13
250× 250	250	3
260× 260	260	9
300× 300	300	0
350× 350	350	39
400× 400	400	4
450× 450	450	65
600× 600	600	59
900× 900	900	23
170×1260		0

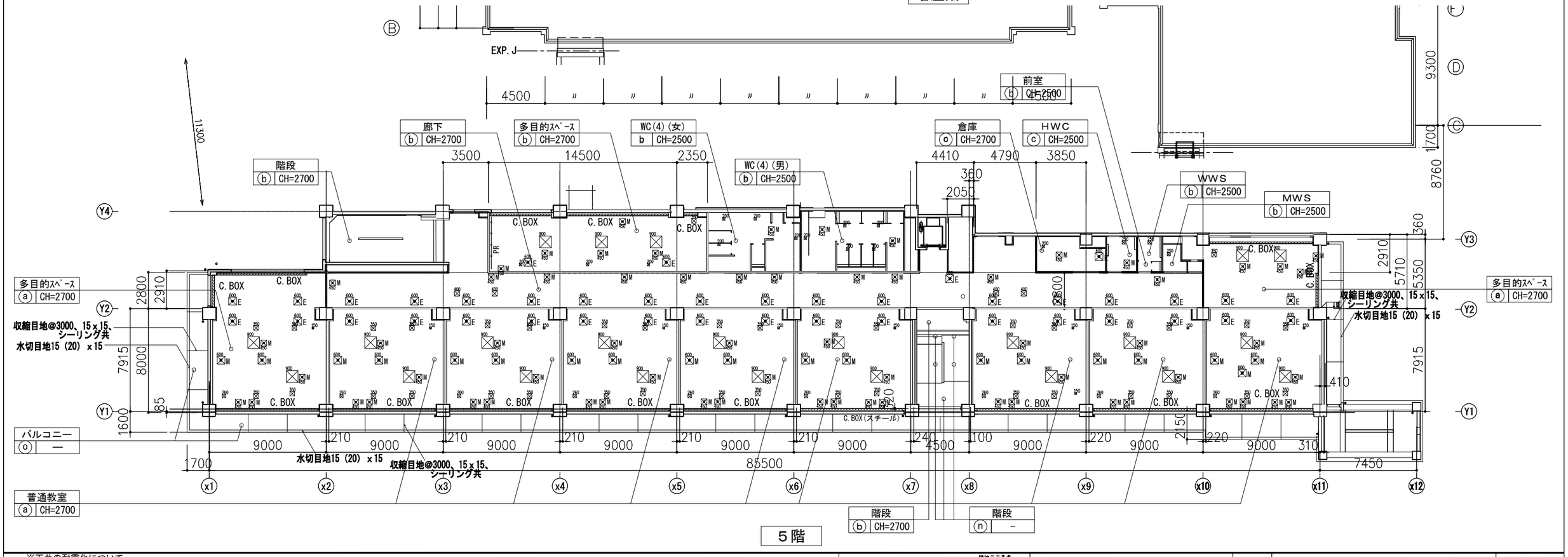
天井・梁型仕上表

ⓐ	吸音石膏ボード t 9.5	ⓗ	GWB t25	C.BOX	カーテンボックス、レール共	SS	防火防煙シャッター
ⓑ	DR t9.0	ⓘ	RC顕し	B.BOX	ブラインドボックス	GSS	管理用シャッター
ⓒ	GB-D t9.5	ⓙ	浸透性塗布防水			600 E	電気点検口 600×600
ⓓ	GB-D 12.5	ⓚ	セラミック粉混入木繊ボード t 50 打込（型枠兼用）	PR	ピクチャーレール		
ⓔ	GB-R t12.5+DR t9 一部GB-R t12.5+FK-D（木目）t6.0	ⓛ	アルミスパンドレル アクリル樹脂焼付塗装			600 M	機械点検口 600×600
ⓕ	木目ｼｰﾄ+ｱﾙﾐ、ｶﾞﾗｽ繊維、発泡ｳﾚﾀﾝ複合ﾊﾟﾈﾙ t 4.0（不燃認定品） 保健室前共	ⓜ	フラットデッキ現し			600 M	機械点検口 450×450
ⓖ	不燃断熱材 t 15吹付	ⓝ	コンクリート補修の上、EP	ⓞ	外装薄塗材E		超軽量天井点検口

特記なきかぎりは、カーテンボックス・ブラインドボックスはW150×h80とする。



塔屋階



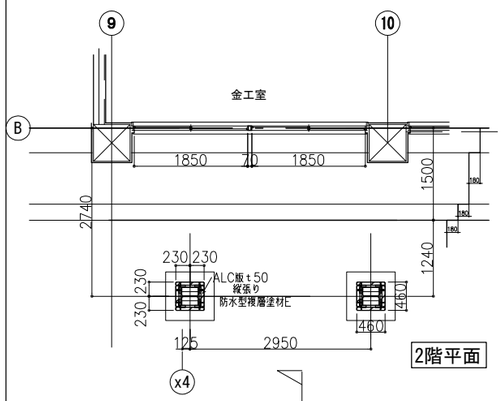
5階

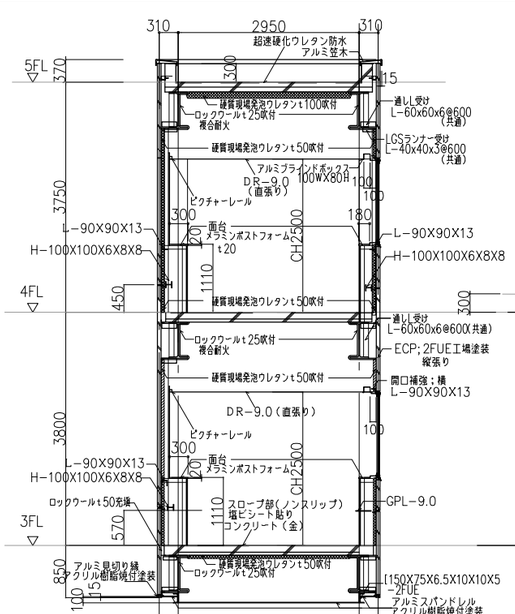
※天井の耐震化について
特定天井他、特記なき居室及び廊下の天井は耐震補強した緊結在来工法（以下）とする。
ハンガー、クリップは全て緊結結合（ボルト併用）とし、緊結在来天井で使用する
クリップについて、隙間なし天井の新基準（国交省告示第771号第3第3項）に対応すること。

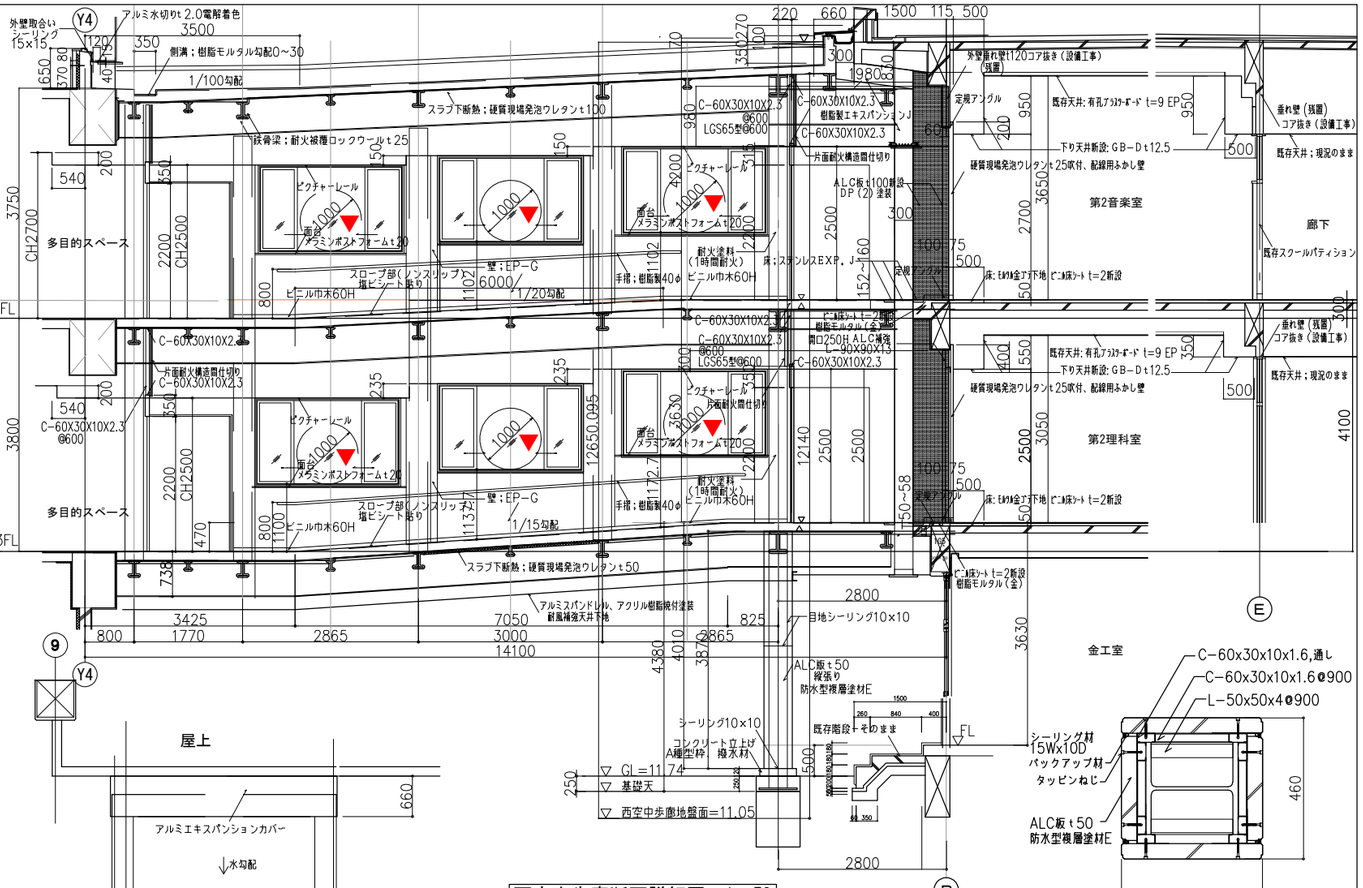
技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	天井伏図 4（5階、塔屋）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-059
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(060/224)





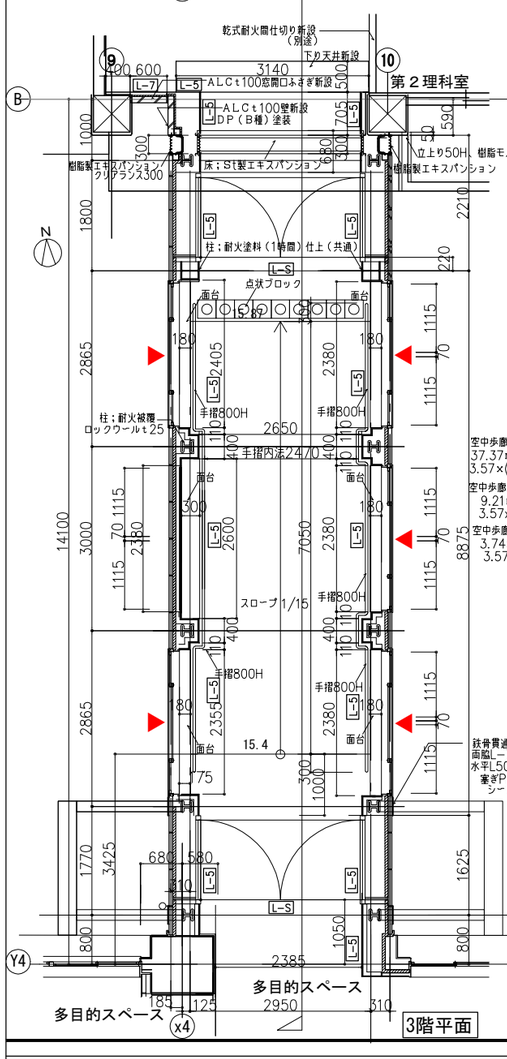


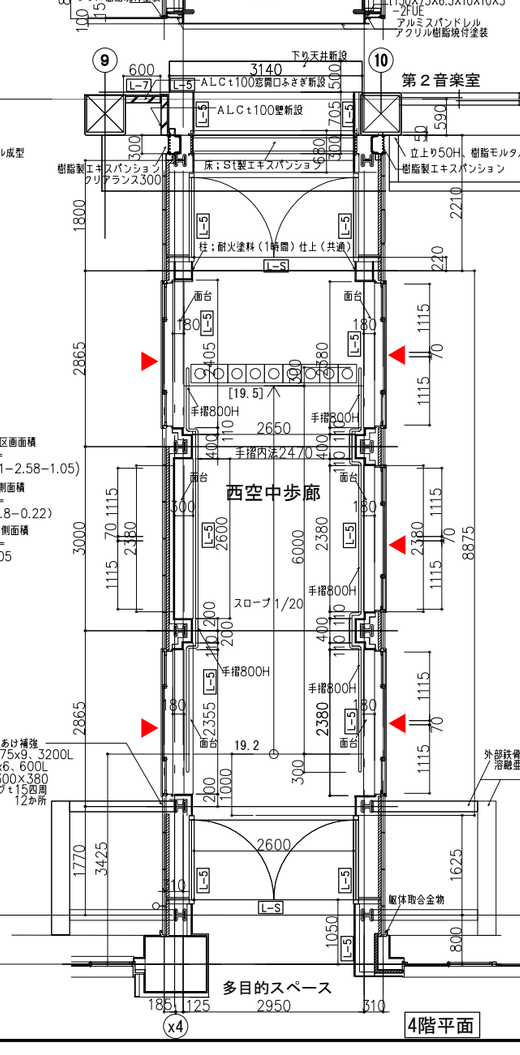
西空中歩廊断面詳細図　1：50

＊手摺の出寸法は100ｍｍ以下とする。

耐火認定番号　FP120CN-9406同等品

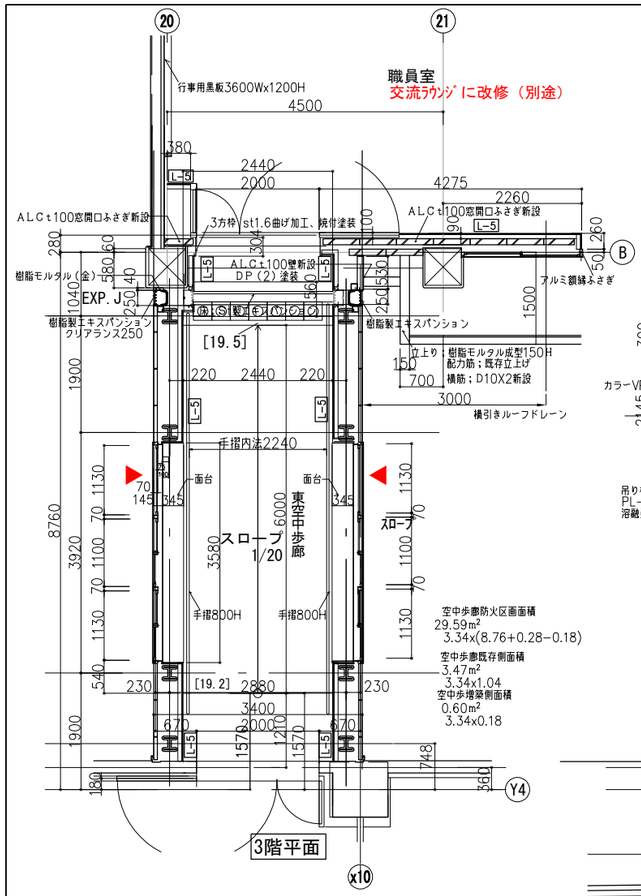
2階柱廻り詳細図　1：10

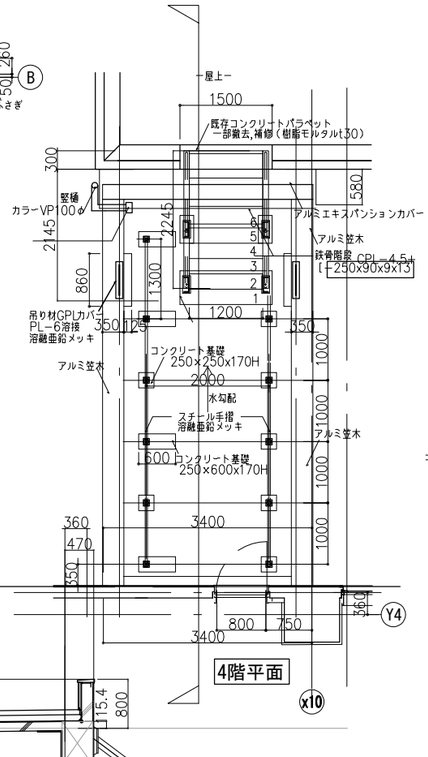


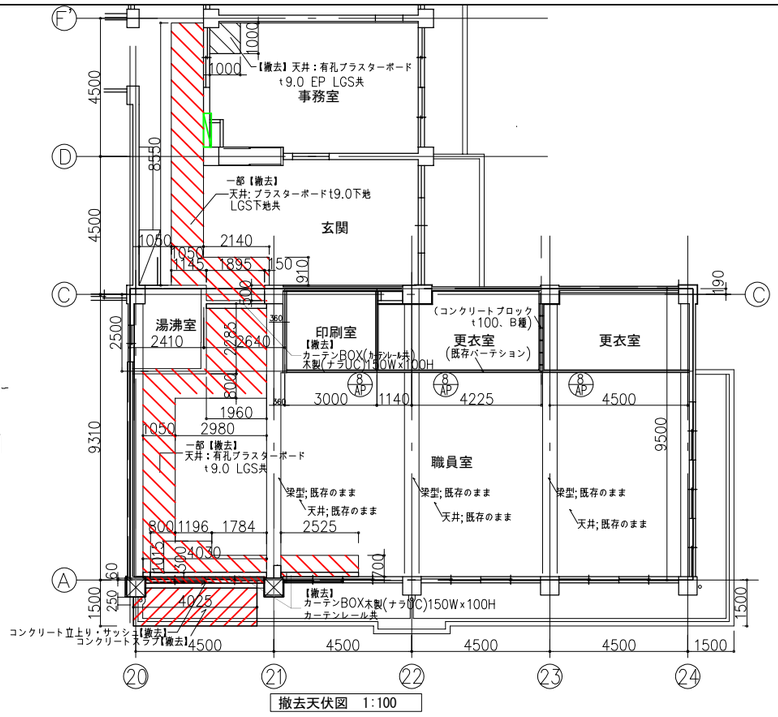


壁種別凡例	L-5	L-7	L-S	記事	特記事項
	GB-H t9.5(上) GB-R t12.5(下) ＊はLGS65を示す	GB-H t9.5 ＊はLGS65、50を示す	GB-F t=22(上) GB-F t=22(下) ＊はLGSを示す	GB-R：石膏ボード(t12.5不燃、t9.5準不燃) GB-F：強化石膏ボード(不燃) GB-H：硬質石膏ボード(不燃) GB-S：防水石膏ボード(不燃、準不燃) FK-D：化粧ケイカル板(不燃) RW：ロックウール(不燃) ボード記号の後のtは材厚(mm)を示し(上)は上張りを(下)は下張りを示す	・MWC、WWC囲の最仕切壁内には、GW(24Kg/m) t=50を充填する。 ・FK-Dの縦目はシーリングW5とする。 ・見掛部のGB-H他、石膏ボード系の縦目はベベルエッジ、パテしごき(寒冷紗100W共) ・増張り材、表面の塗装などは仕上表による。
備考			片面耐火構造(1時間)FP060NP-049 (吉野石膏Sウォール 同等品)	番号欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする	凡例 点状ブロック(屋内;陶ビタイル300x300) 点状ブロック(屋外;磁器質タイル294x294) △:消火器ボックス　▲:消火器ボックス(埋置式) (C-50)…各フロアーからのレベル差mmを示す

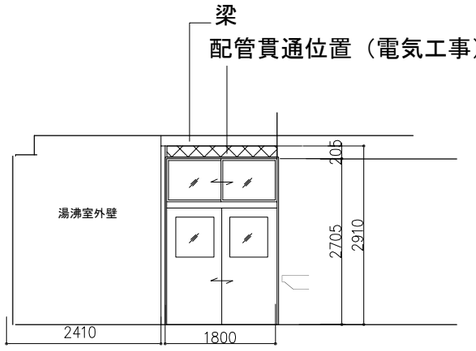
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	(第 274708号)	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士	(第 6608号)	長坂　典和	図面名	西空中歩廊詳細図	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A-060
	設備設計一級建築士	(第 753号)	鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(061/224)







撤去天伏図　1:100



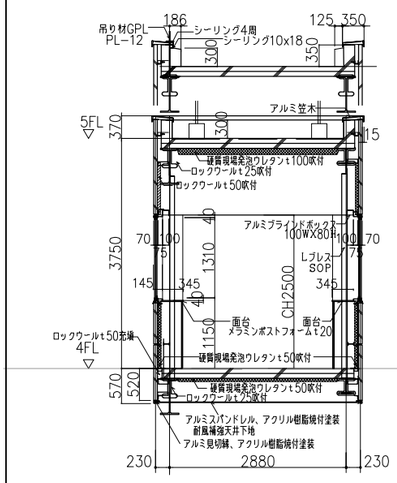
C通り配管貫通位置参考図 1:50

壁種別凡例

	L−5	L−7	L−S	記事	特記事項
	天井 GB−H t9.5(上) GB−R t12.5(下) 22 LGS 9.5 12.5	天井 GB−H t9.5 9.5 LGS 9.5	天井 GB−F t=22(上) GB−F t=22(下) LGS 22 22	GB−R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃） GB−F：強化石膏ボード（不燃） GB−H：硬質石膏ボード（不燃） GB−S：防水石膏ボード（不燃、準不燃） FK−D：化粧ケイカル板（不燃） RW：ロックウール（不燃） ボード記号の後のは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す	・MWC、WWC間の遮仕切壁内には、GW（24Kg/m）t=50を充填する。 ・FK−Dの縦目はシーリングW5とする。 ・見附部のGB−H他、石膏ボード系の縦目はベベルエッジ、パテしさき（寒冷紗100W共） ・増張り材、表面の塗装などは仕上表による。
	* はLGS65を示す	* はLGS65、50を示す	* はLGSを示す		
備考			片面耐火構造（1時間）FP060NP−049（吉野石膏Sウォール 同等品）	備考欄に示す耐火認定番号、商品名は参考であり同等品とする	

凡例
- 点状ブロック（屋内：塩ビタイル300×300）
- 点状ブロック（屋外：磁器質タイル294×294）
- Δ：消火器ボックス　▲：消火器ボックス（埋込式）
- (壁埋込式)
- (C−50)：各フロアーからのレベル差mmを示す

B−B 断面図　1:50



開口補強；横　L−60X60X6

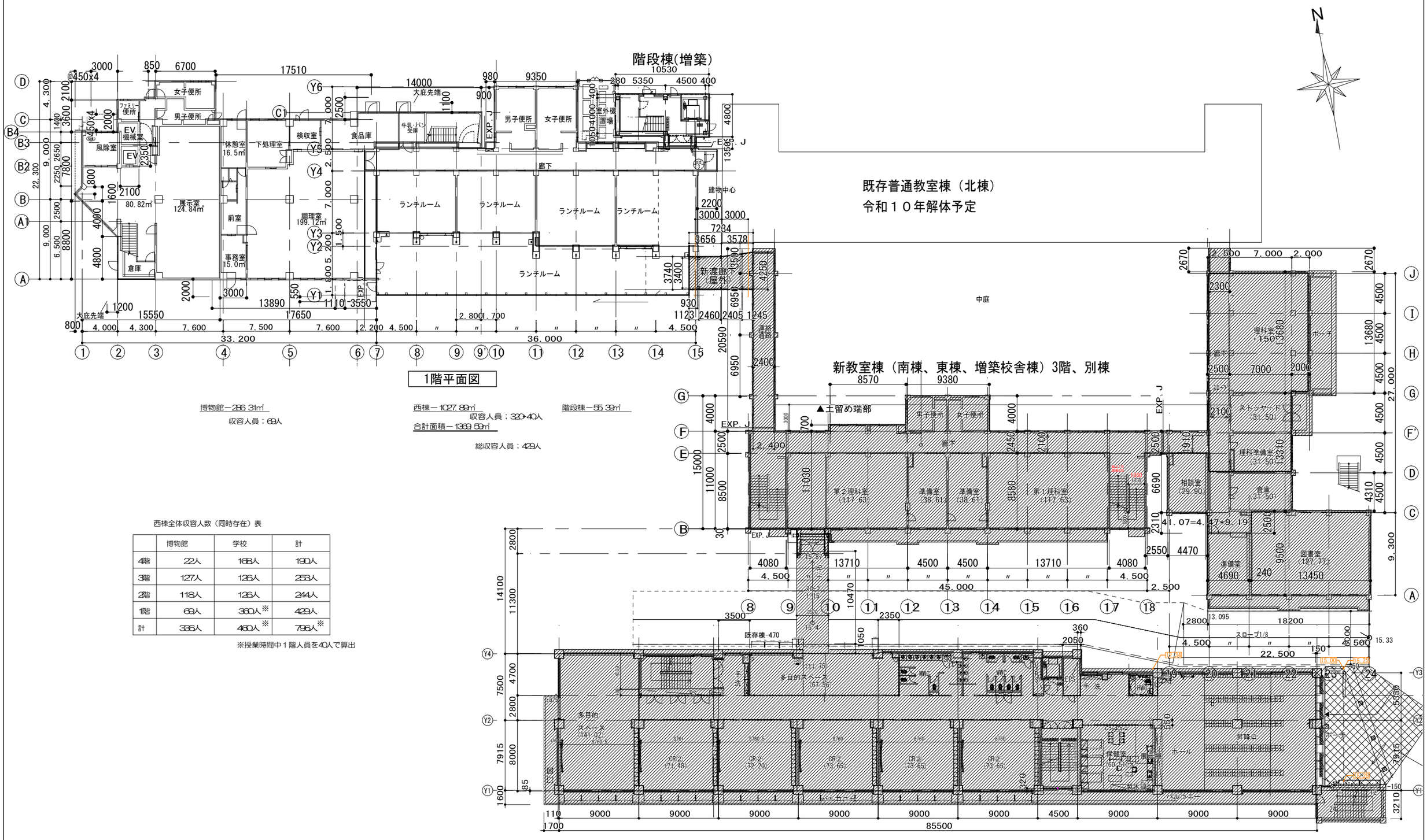
開口補強；縦　L−75X75X9

＊手摺の出寸法は100ｍｍ以下とする。

東空中歩廊

A−A 断面図　1:100

株式会社 大建設計 技にこころを	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	東空中歩廊詳細図	縮尺 1/100(A3) 1/ 50(A1)	A−061
	設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(062/224)



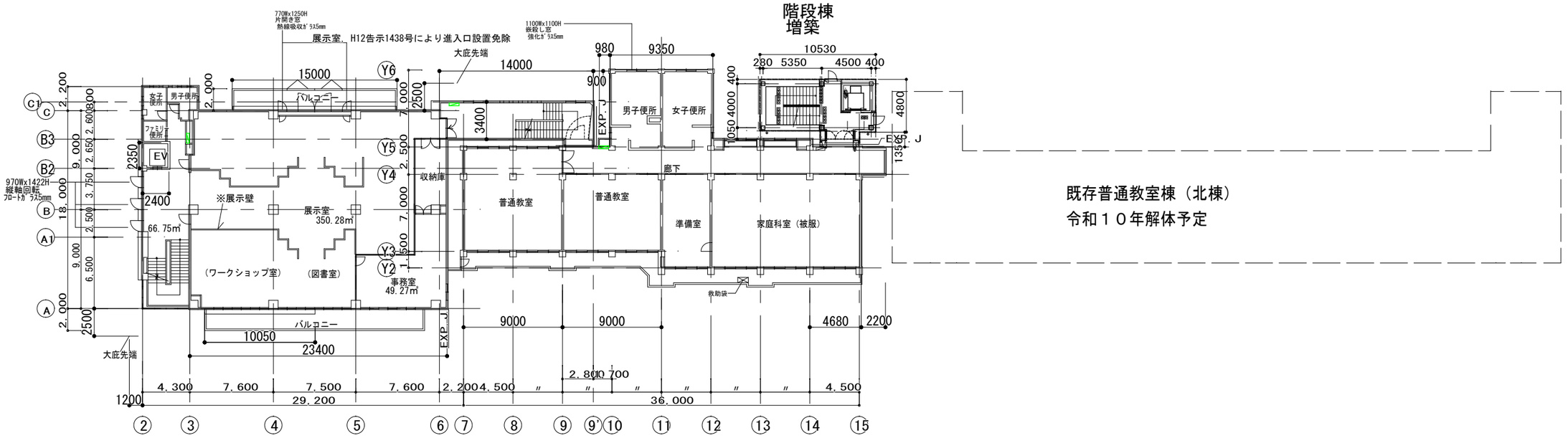
1階平面図

西棟全体収容人数（同時存在）表

	博物館	学校	計
4階	22人	168人	190人
3階	127人	126人	253人
2階	118人	126人	244人
1階	69人	360人※	429人
計	336人	460人※	796人※

※授業時間中１階人員を40人で算出

株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	西棟１階平面図	縮尺 1/400(A3) 1/200(A1)	A-062
	設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(063/224)



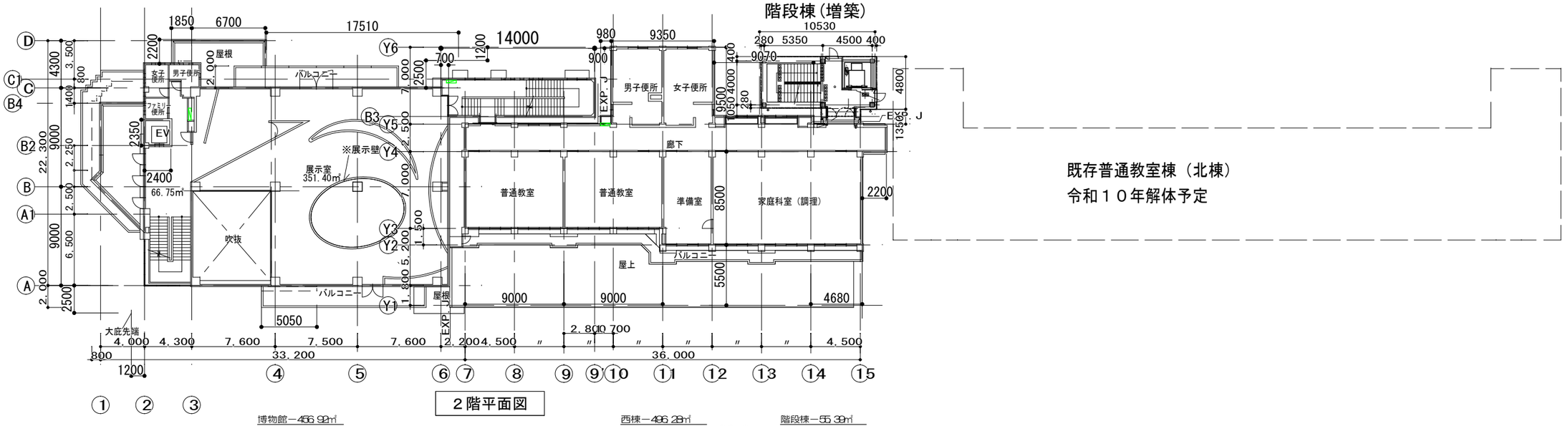
３階平面図

展示棟－521.74㎡
収容人員：117+10人

西棟－497.05㎡
収容人員：120+6人

階段棟－55.39㎡

合計面積－1074.18㎡



２階平面図

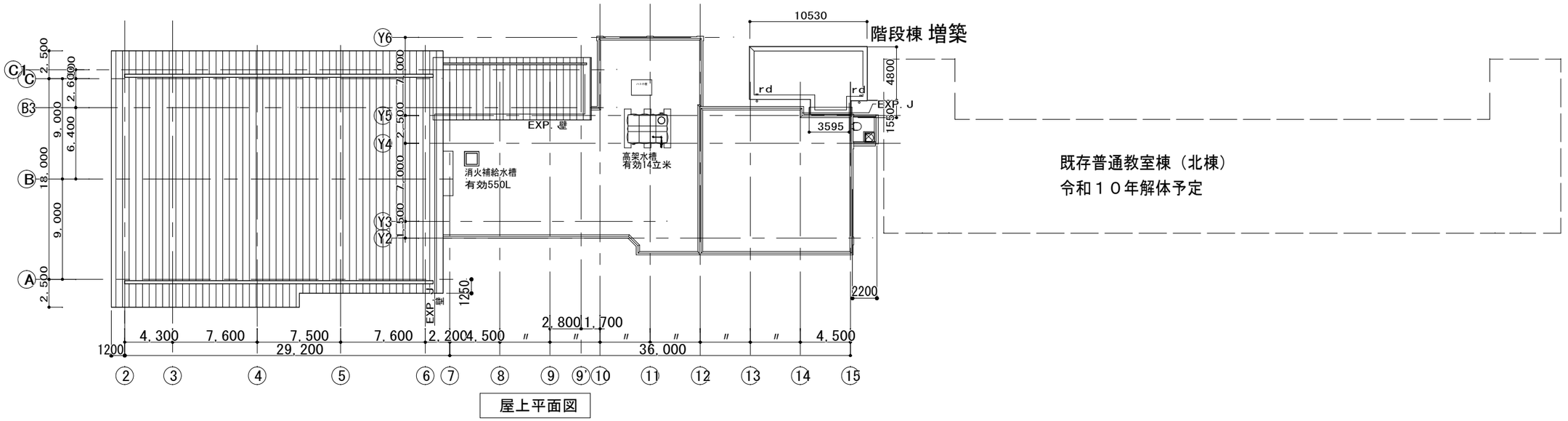
博物館－456.92㎡
収容人員：118人

西棟－496.28㎡
収容人員：120+6人

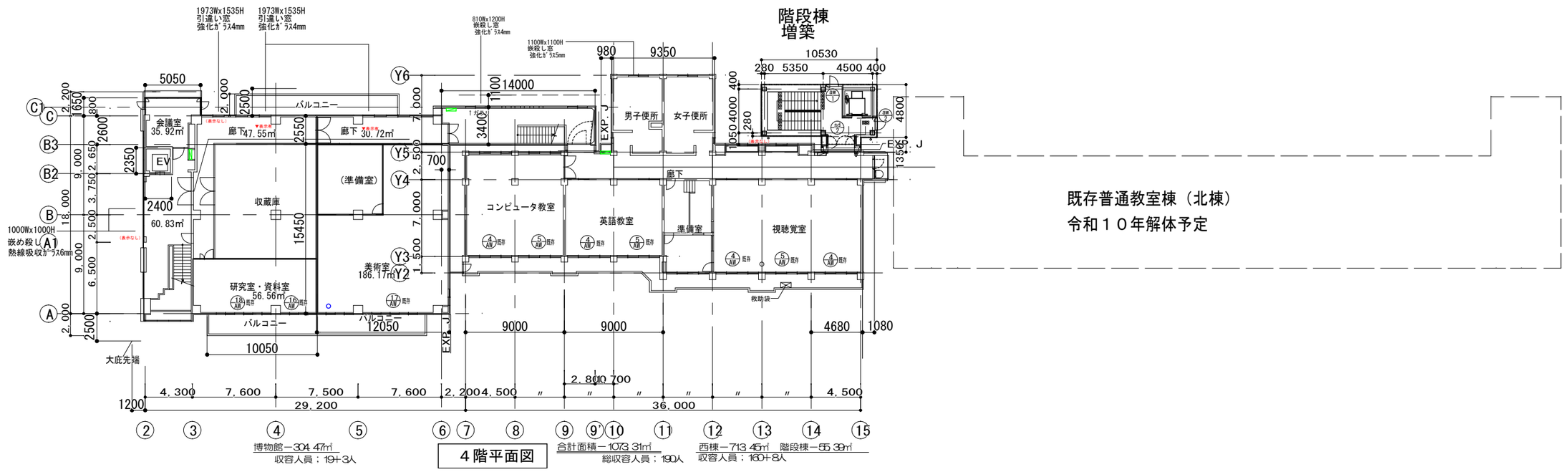
階段棟－55.39㎡
総収容人員：244人

合計面積－1008.59㎡

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	西棟２，３階平面図	縮尺 1/400(A3) 1/200(A1)	A-063
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(064/224)



屋上平面図



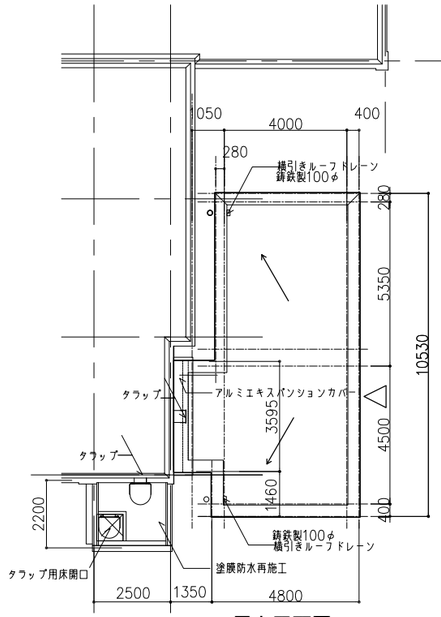
４階平面図

博物館－304.47㎡
収容人員；19+3人

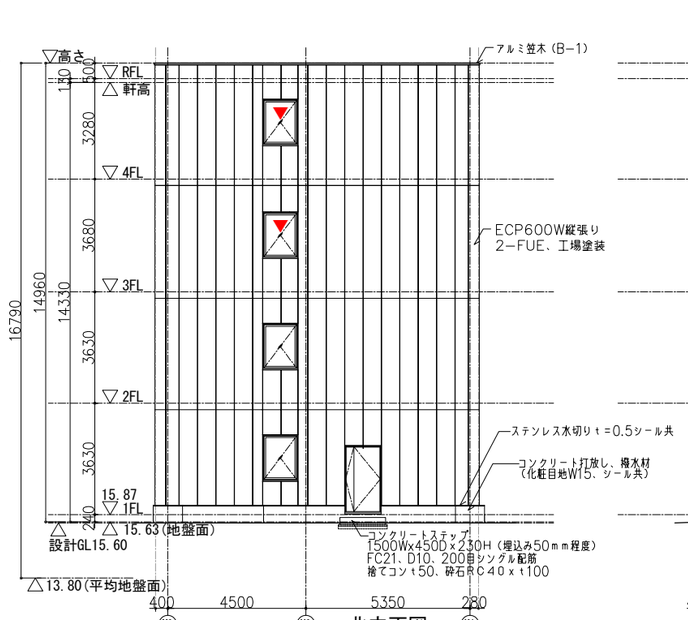
合計面積－1073.31㎡
総収容人員；190人

西棟－713.45㎡　階段棟－55.39㎡
収容人員；160+8人

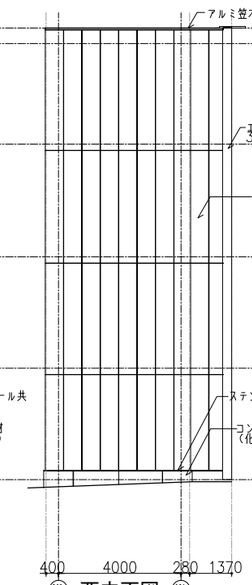
株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	図面名	西棟４階、屋上平面図	A-064
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	縮尺	1/400(A3) 1/200(A1)	(065/224)
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	



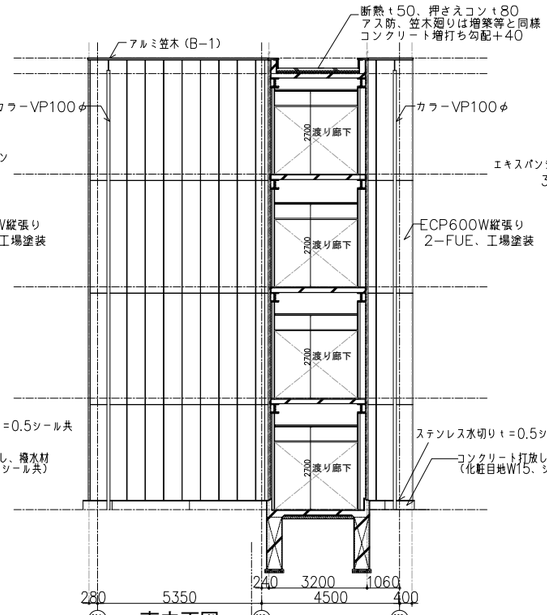
屋上平面図



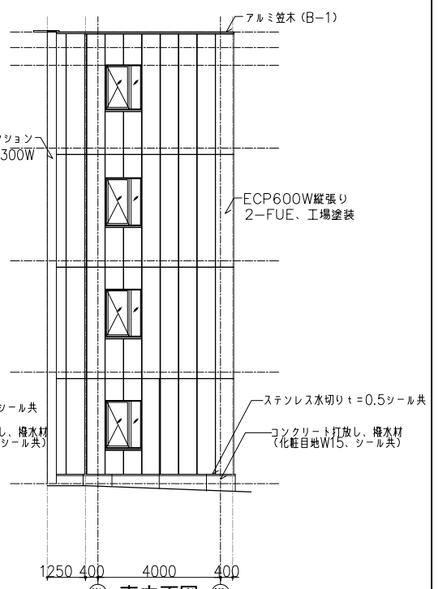
北立面図



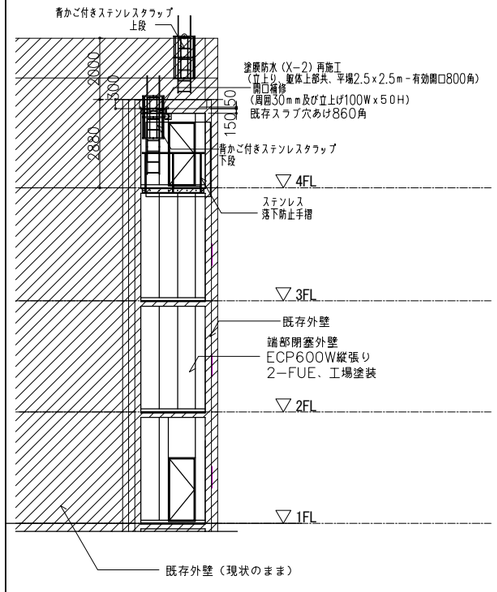
西立面図



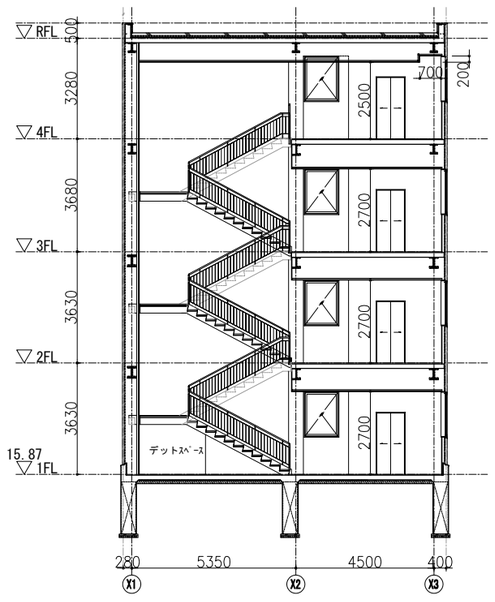
南立面図



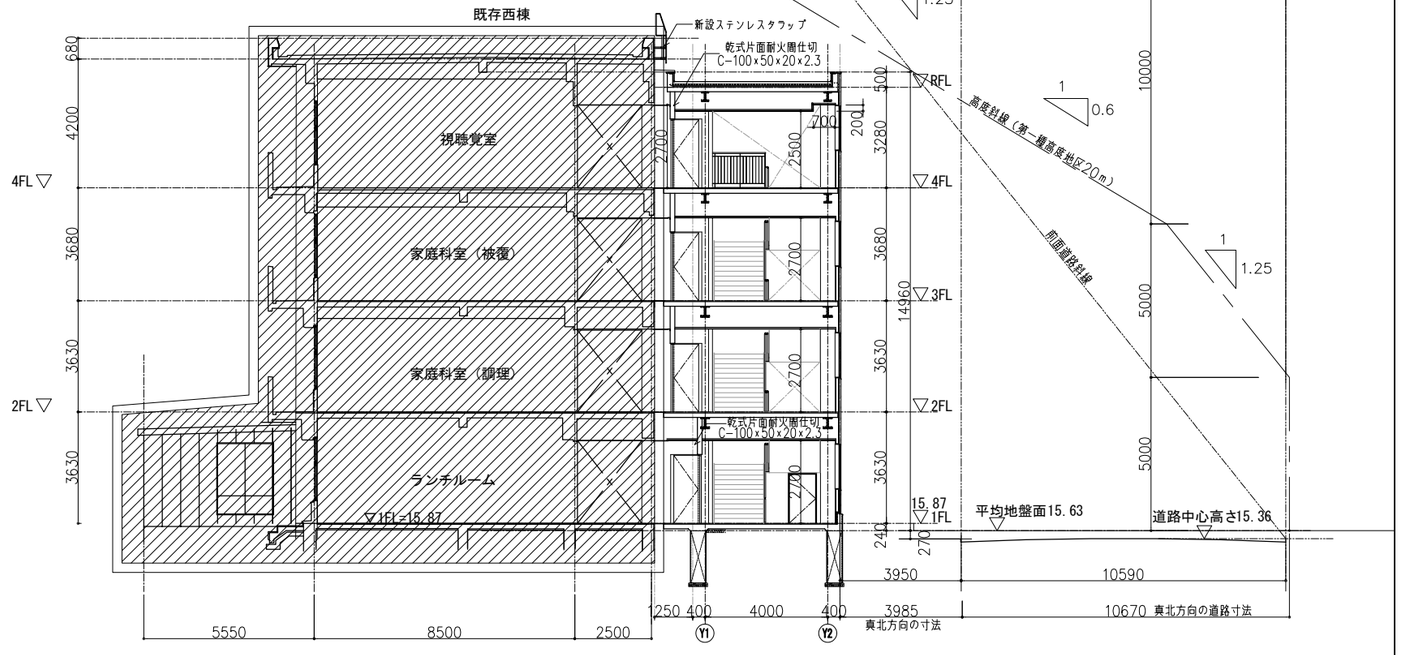
東立面図



西棟廊下端部東面立面図



断面図(1)



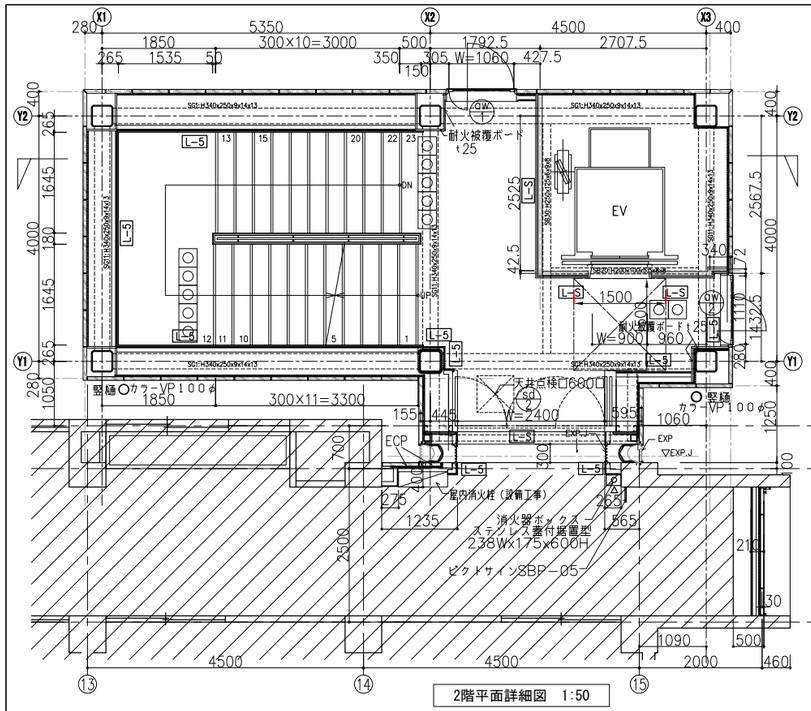
断面図(2)

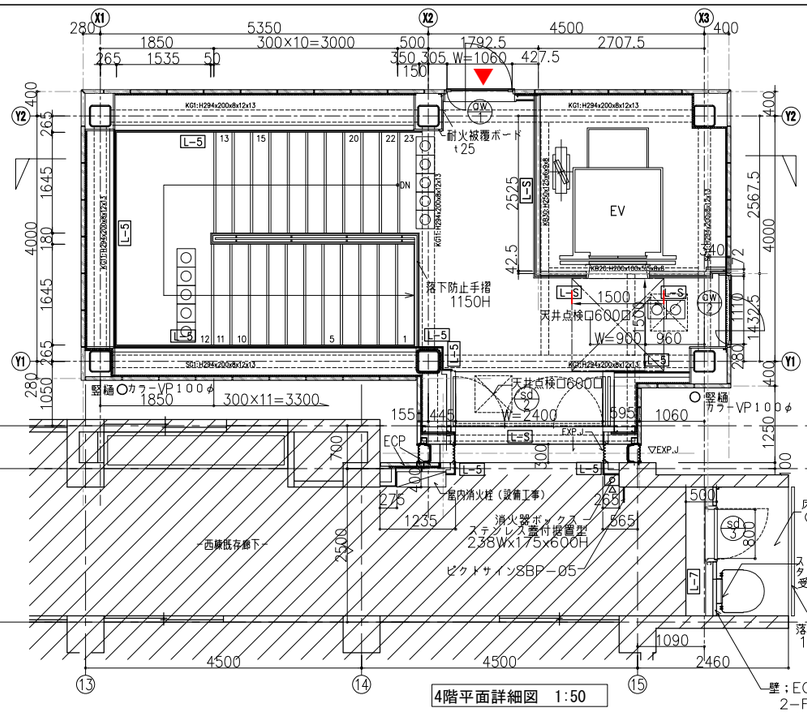
▼	非常用進入口にかわる窓

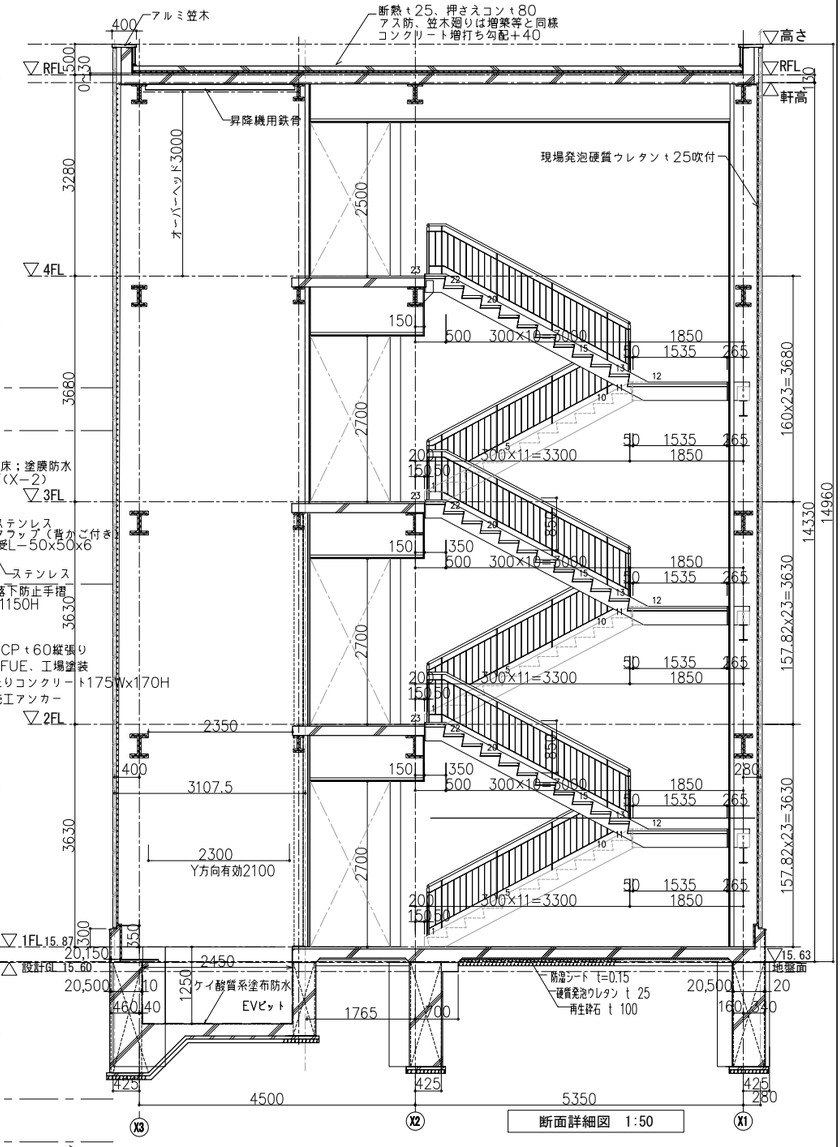
株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

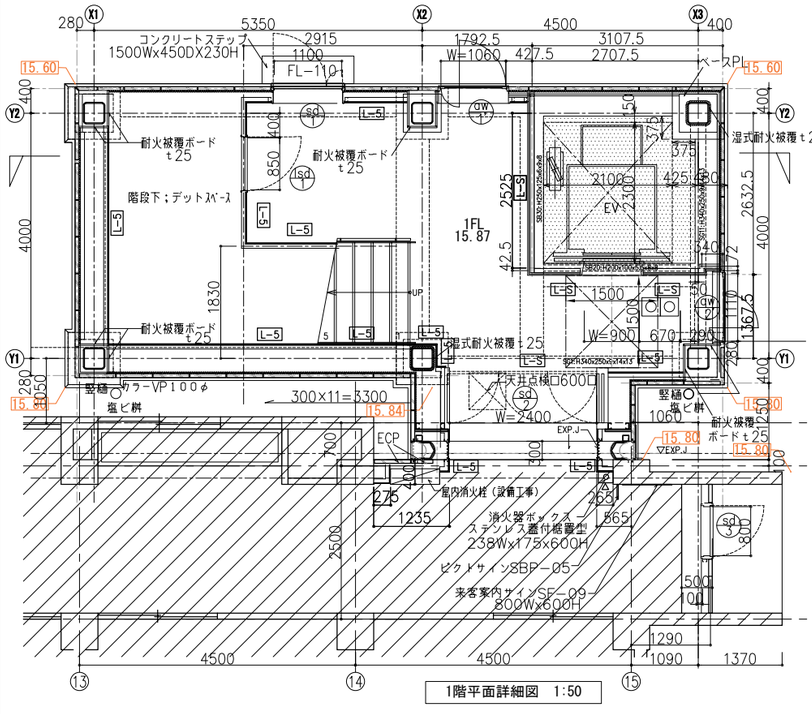
一級建築士　(第 274708号)　山岡　信弘
構造設計一級建築士(第 6608号)　長坂　典和
設備設計一級建築士(第 753号)　鈴木　光春

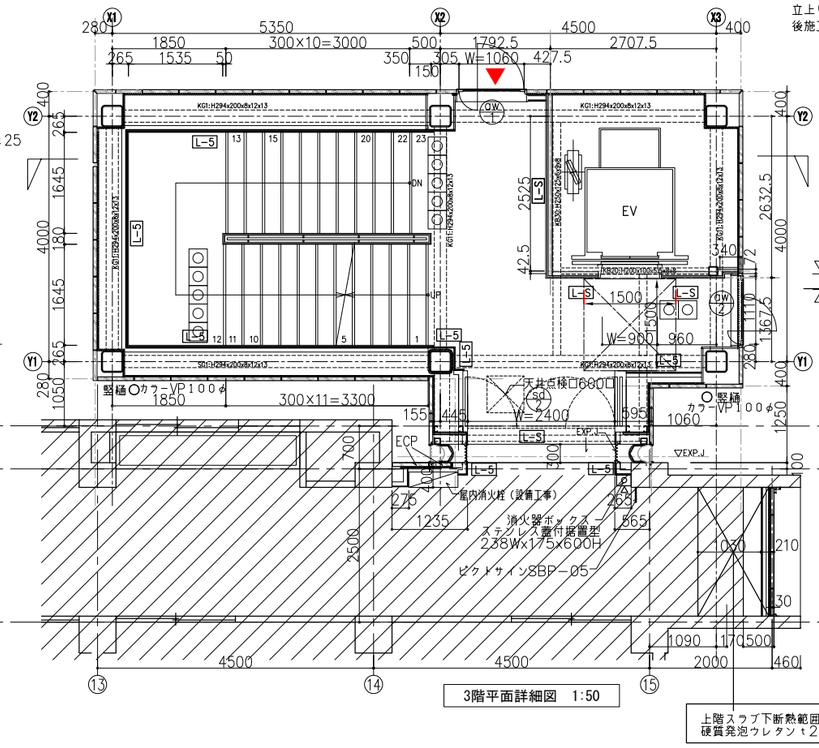
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	階段棟及び一部西棟　立面図・断面図	縮尺 1/200(A3) 1/100(A1)	A-065
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(066/224)

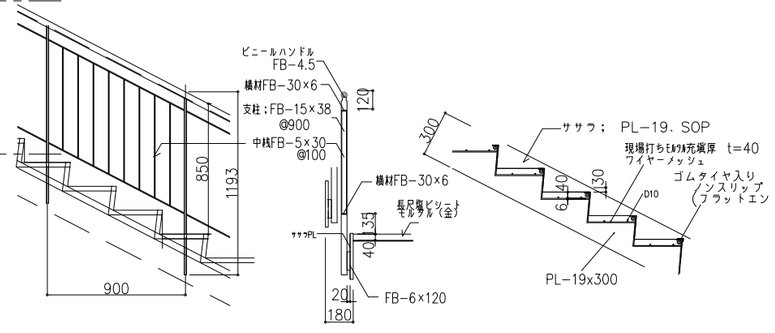












壁種別凡例

記号	L−5	L−7	L−S		記事
	GB−H t9.5(上) GB−R t12.5(下)	GB−H t9.5	GB−F t=22(上) GB−F t=22(下)		GB−R：石膏ボード（t12.5不燃、t9.5準不燃）
					GB−F：強化石膏ボード（不燃）
					GB−H：建築石膏ボード（不燃）
					GB−S：防水石膏ボード（不燃、準不燃）
					FK−D：化粧ケイカル板（不燃）
					RW：ロックウール（不燃）
					ボード記号の後のtは材厚（mm）を示し（上）は上張りを（下）は下張りを示す
備考	※LGS65を示す	※LGS65、50を示す	※LGS65を示す	片面鋲大臣認（1時間）FP060NP−049（吉野石膏Qウォール 同等品）	番号欄に示す鋲大臣認定番号、商品名は参考であり同等品とする

特記事項
- MWC、WWC箇の腰壁切断内には、GW（24K g/m）t=50を充填する。
- FK−Dの箇目はシーリング材とする。
- 見附部のGB−H張、石膏ボード系の箇目はベベルエッジ、パテしごき（寒冷地100W共）
- 増張り材、表面の塗装などは仕上表による。

凡例

	点検ブロック（躯内：縦W300×300） 点検ブロック（躯外：縦横W×D×H=294×294）
A：清掃口ボックス（躯体貫通）	B：清掃口ボックス（躯体貫通）
▼：排管類入口にかかる箇	
L−500	各フロアーからレベル差mmを示す

外壁ECPの開口補強材は以下による。
縦材（支点間）；L−90×90×7
横材（縦材間）；L−50×50×6（上下）

※特記無き材料はスチール、SOP塗装とする。

上階スラブ下断熱範囲
硬質発泡ウレタンt25吹付

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	階段棟 詳細図（平面詳細および矩計図）	縮尺	1/100（A3） 1/50（A1）	A−066
	設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	（067/224）

西棟1階 廊下

	仕上
床	既存床補修 ウレタローン（T2）
巾木	（モルタル金ゴテ） EP H=100
腰壁	——
壁	モルタル金ゴテ補修 EP
天井	既存撤去部：有穴プラスターボード t=9 目カシ張り
備考	

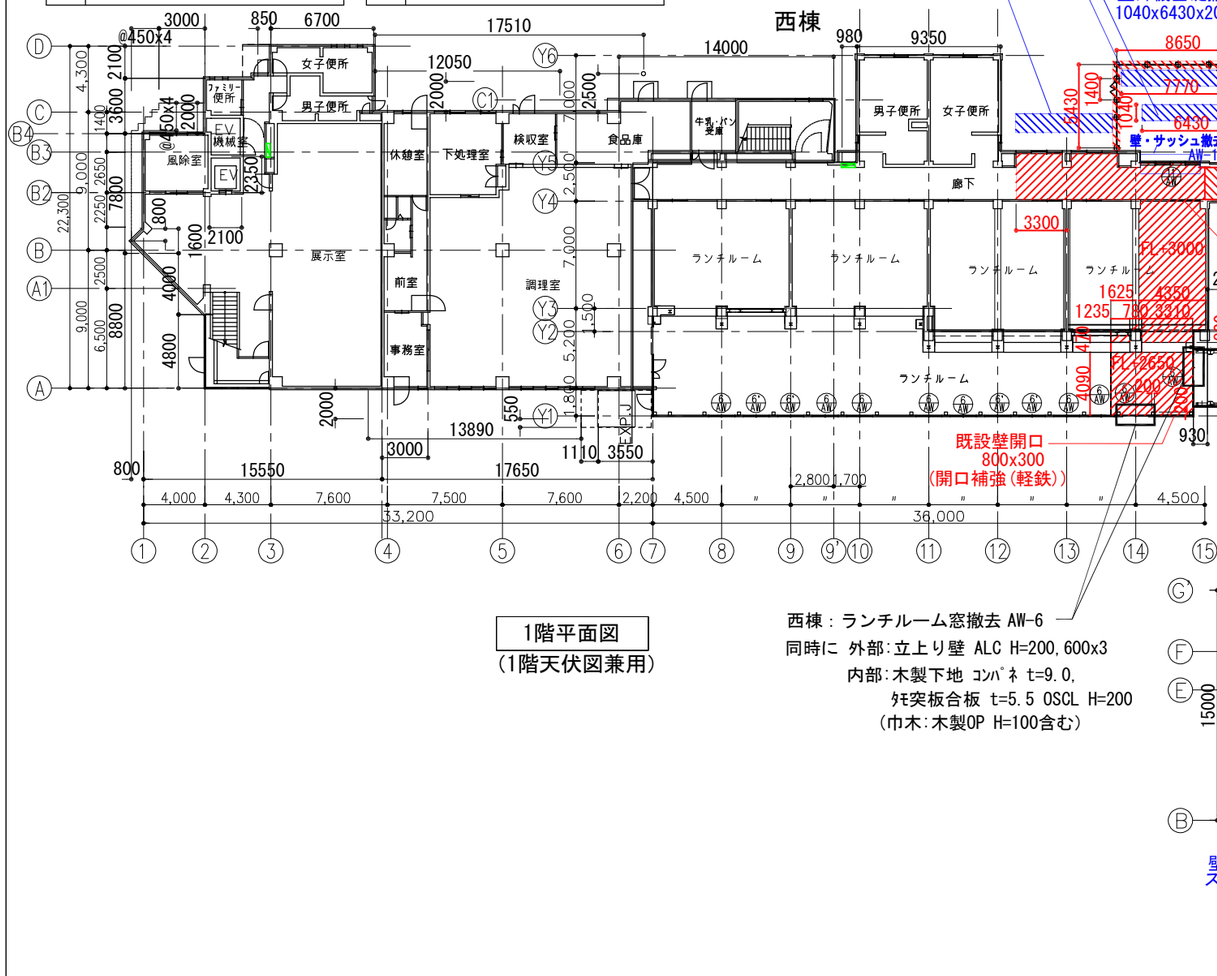
西棟 ランチルーム

	仕上
床	ブナフローリングブロック t=15.0 ウレタン塗装
巾木	木製 H=100
腰壁	木製下地 コンパネ t=9 タモヅキ板合板 t=5.5 OSCL H=900
壁	PB t=12.5 ビニールクロス貼り
天井	既存撤去部：有穴プラスターボード t=9 目カシ張り
備考	

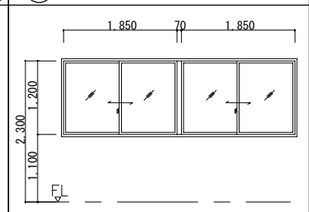
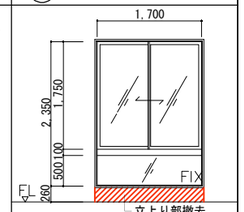
＜ 凡 例 ＞

：天井撤去範囲1
（電気要求及び114条区画）

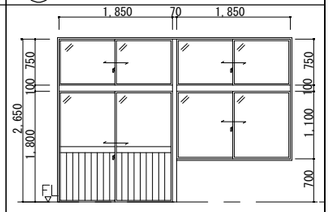
：天井撤去範囲2（機械要求）



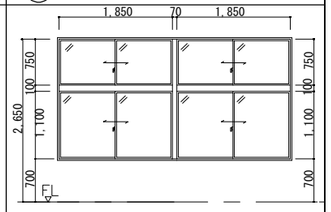
西棟撤去建具表 S=1/50(A1)

記号／数量／室名	11 AW ×1 西棟 階段棟接続部	6 AW ×2 西棟 ランチルーム
形状		
型式	2連引違い窓	引違い窓＋ハメ殺し
見込	70mm	70mm
金物	アングル4方、皿板、クレセント、引手	附属金物一式、ステンレス網戸
仕上	アルマイト加工	アルミ（カラー） アルマイト処理
ガラス	透明(7)3.0	スクールテンパ t=4.0
備考		

南棟撤去建具表 S=1/50(A1)

記号／数量／室名	4 AW ×1 南棟 空中歩廊接続部
形状	
型式	引違い連段窓
見込	70mm
金物	三方アングル、クレセント、皿板、引手
仕上	アルマイト加工
ガラス	透明(7)3.0 アルミパネル(7)3.0
備考	アルミパネル

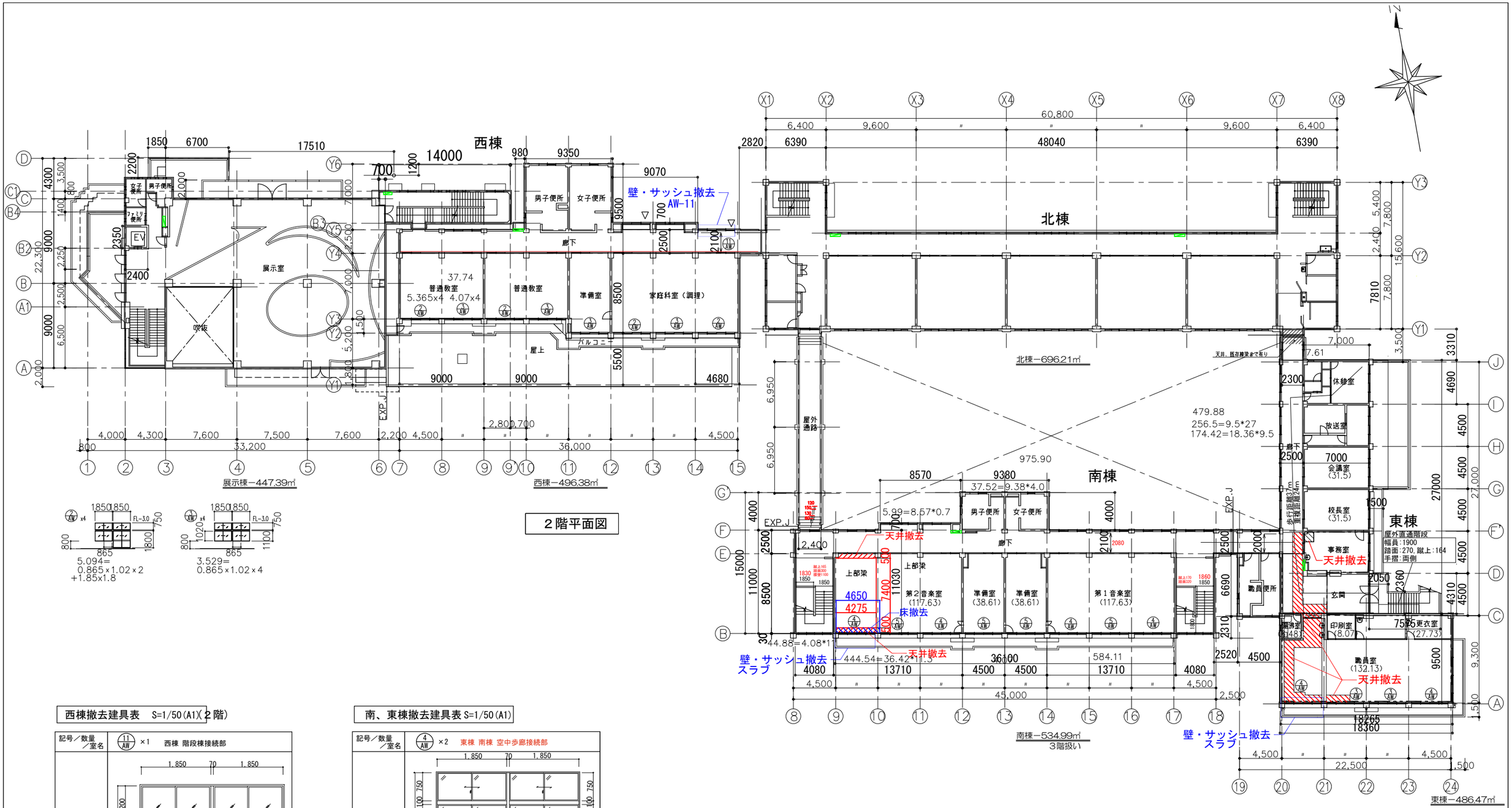
東棟撤去建具表 S=1/50(A1)

記号／数量／室名	3 AW ×1 東棟 空中歩廊接続部
形状	
型式	引違い連段窓
見込	70mm
金物	三方アングル、クレセント、皿板、引手
仕上	アルマイト加工
ガラス	透明(7)3.0 アルミパネル(7)3.0
備考	

※地階外構改修（撤去・新設）は外構図による。

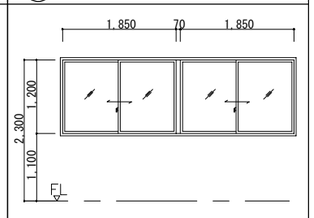
※天井撤去範囲図は別途作成。

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘 構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和 設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	既存全体建物 1階撤去平面図	縮尺 1/100(A3) 1/200(A1)	A-067
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(068/224)

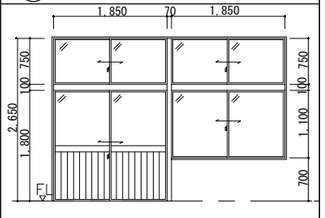


２階平面図

西棟撤去建具表　S=1/50(A1)(２階)

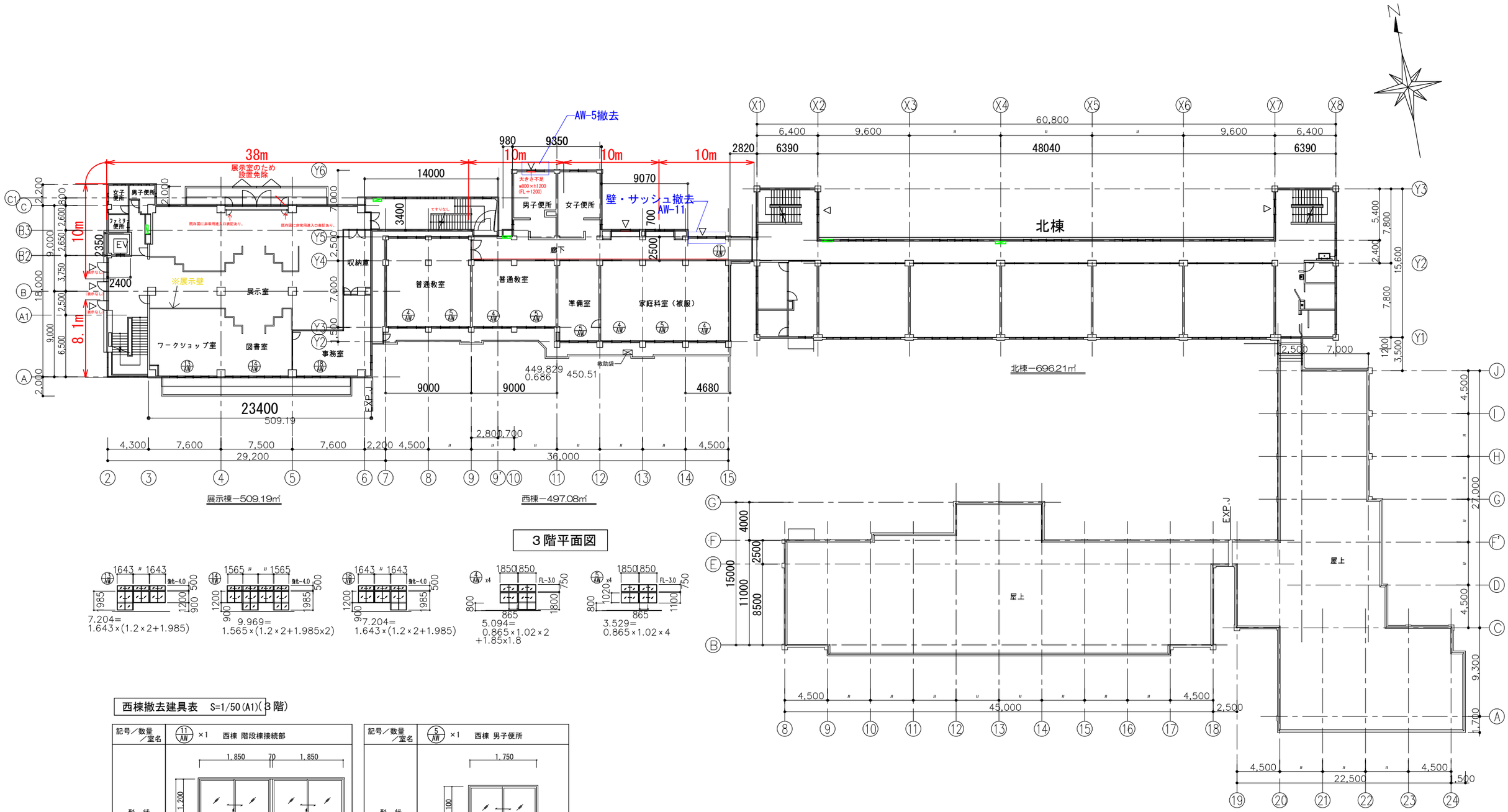
記号／数量／室名	⑪ AW ×1　西棟 階段棟接続部
形　状	
型　式	2連引違い窓
見　込	70mm
金　物	アングル4方、皿板、クレセント、引手
仕　上	アルマイト加工
ガラス	透明(7)3.0
備　考	

南、東棟撤去建具表 S=1/50(A1)

記号／数量／室名	④ AW ×2　東棟 南棟 空中歩廊接続部
形　状	
型　式	引違い連段窓
見　込	70mm
金　物	三方アングル、クレセント、皿板、引手
仕　上	アルマイト加工
ガラス	透明(7)3.0　アルミパネル(7)3.0
備　考	アルミパネル

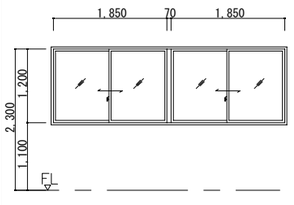
技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	既存全体建物 2階撤去平面図	縮尺 1/100(A3) 1/200(A1)	A-068
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(069/224)

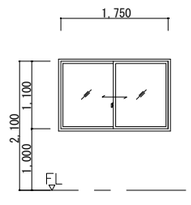
□　現況校舎法規チェック



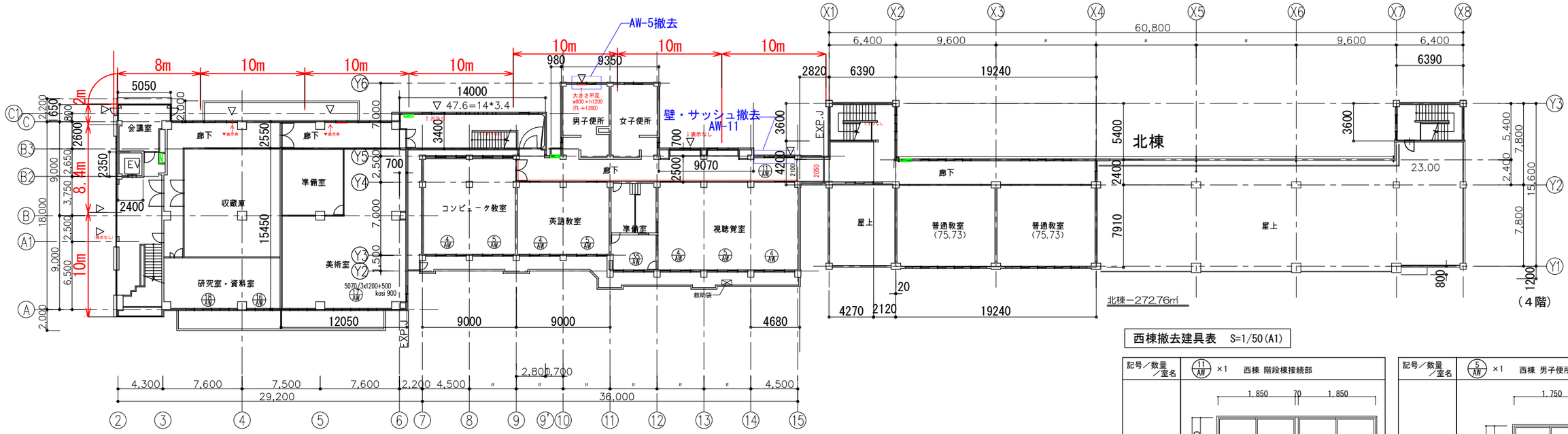
３階平面図

西棟撤去建具表　S=1/50(A1)(３階)

記号／数量／室名	(11 AW) ×1　西棟 階段棟接続部
形　状	
型　式	2連引違い窓
見　込	70mm
金　物	アングル4方、皿板、クレセント、引手
仕　上	アルマイト加工
ガラス	透明(7)3.0
備　考	

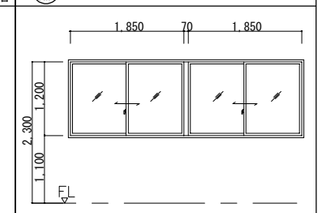
記号／数量／室名	(5 AW) ×1　西棟 男子便所
形　状	
型　式	引違い窓
見　込	70mm
金　物	アングル4方、皿板、クレセント、引手
仕　上	アルマイト加工
ガラス	TG(7)4.0
備　考	

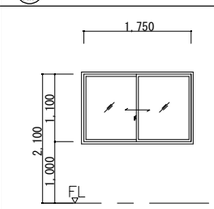
	株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
			図面名	既存全体建物 3階撤去平面図	縮尺 1/100(A3) 1/200(A1)	A-069
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(070/224)

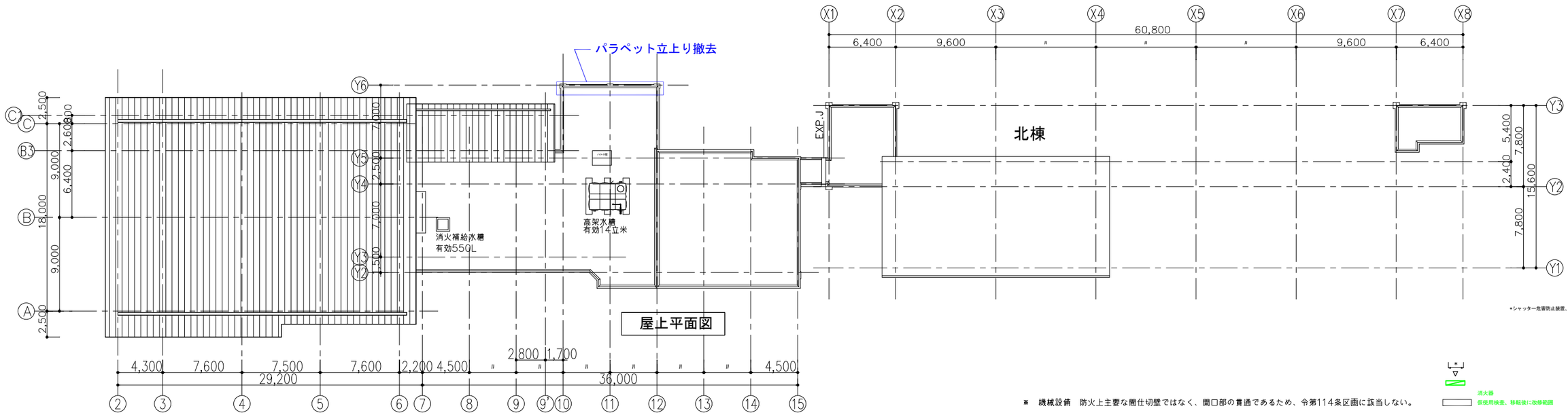


４階平面図

西棟撤去建具表　S=1/50(A1)

記号／数量／室名	(11 AW) ×1　西棟 階段棟接続部
形状	
型式	2連引違い窓
見込	70mm
金物	アングル4方、皿板、クレセント、引手
仕上	アルマイト加工
ガラス	透明(7)3.0
備考	

記号／数量／室名	(5 AW) ×1　西棟 男子便所
形状	
型式	引違い窓
見込	70mm
金物	アングル4方、皿板、クレセント、引手
仕上	アルマイト加工
ガラス	TG(7)4.0
備考	



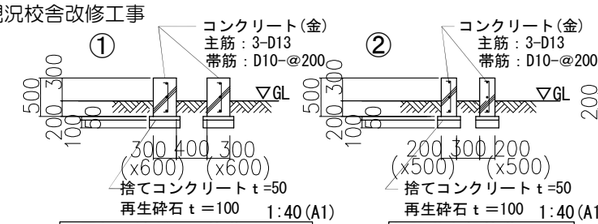
屋上平面図

※　機械設備　防火上主要な間仕切壁ではなく、開口部の貫通であるため、令第114条区画に該当しない。

消火器
仮使用検査、移転後に改修範囲

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和	図面名	既存全体建物 4階・屋上階撤去平面図	縮尺 1/100(A3) 1/200(A1)	A-070
	設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(071/224)

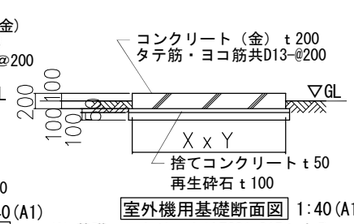
□ 現況校舎改修工事



電気配線ダクト基礎断面図

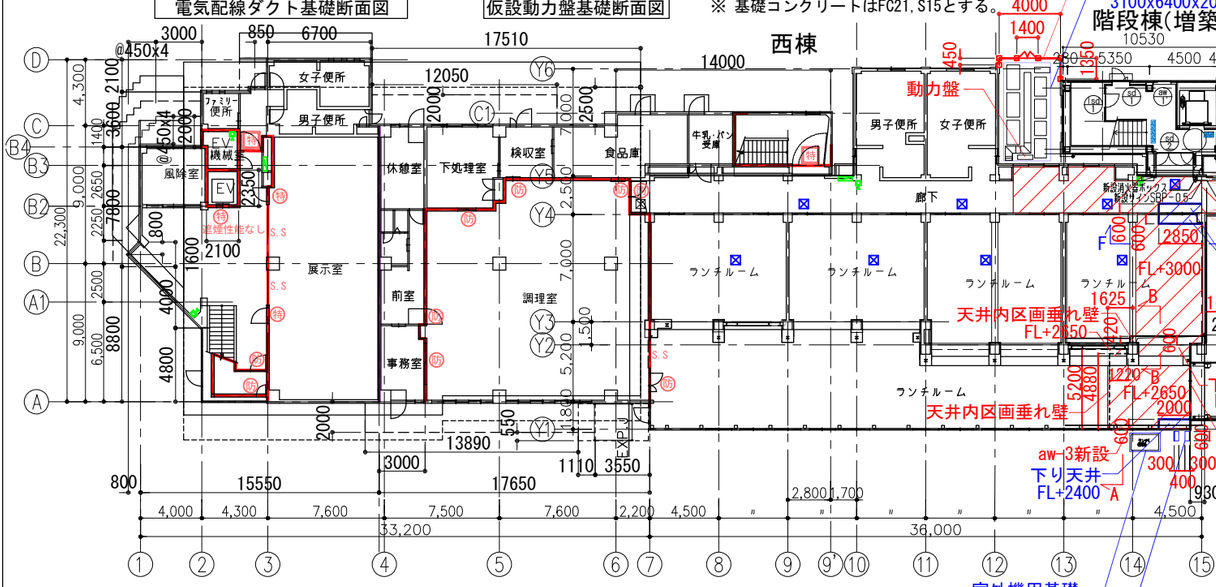
1:40(A1)

仮設動力盤基礎断面図



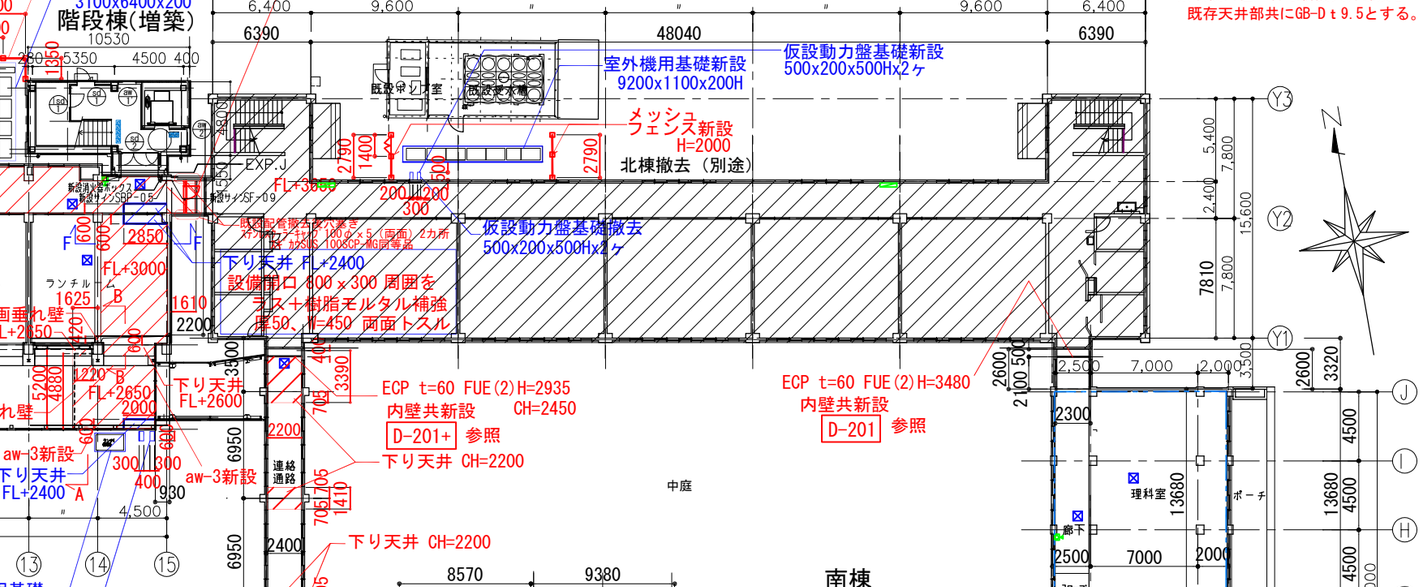
室外機用基礎断面図 1:40(A1)

※ 基礎コンクリートはFC21, S15とする。



1階平面図 1:200(A1)

(1階天伏図兼用)

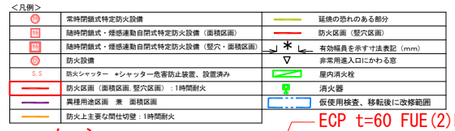


西棟1階 廊下	仕上
床	既存床補修 ウレタローン（T2）
巾木	（モルタル金ゴテ） EP H=100
腰壁	——
壁	モルタル金ゴテ補修 EP
天井	改修新設部：GB-D t=9.5
備考	

西棟 ランチルーム	仕上
床	プナフローリングブロック t=15.0 ウレタン塗装
巾木	木製 H=100
腰壁	木製下地 コンパネ t=9 タモツキ板合板 t=5.5 OSCL H=900
壁	PB t=12.5 ビニールクロス貼り
天井	改修新設部：GB-D t=9.5
備考	

1階 通路	仕上
床	既存床補修 カラーローン（T3）
巾木	（モルタル金ゴテ） VP H=100
腰壁	——
壁	モルタル金ゴテ補修 EP
天井	改修新設部：GB-D t=9.5
備考	

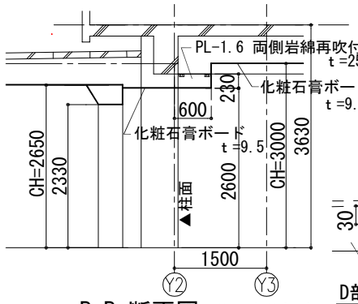
＜凡例＞



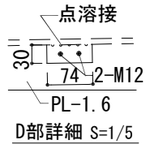
＜凡例＞

- ：天井復旧範囲1（電気要求及び114条区画）
- ：天井復旧下り天井範囲 FL+2400（電気要求）
- ：天井復旧範囲2（機械要求）（GB-D t 9.5）
- ：新設点検口（電気用） 600x600

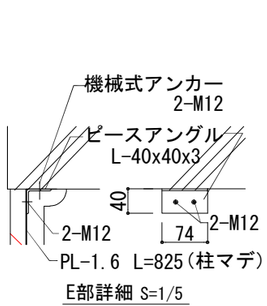
※点検口仕上材は新設天井部及び既存天井部共にGB-D t 9.5とする。



B-B 断面図 S=1/50(A1)

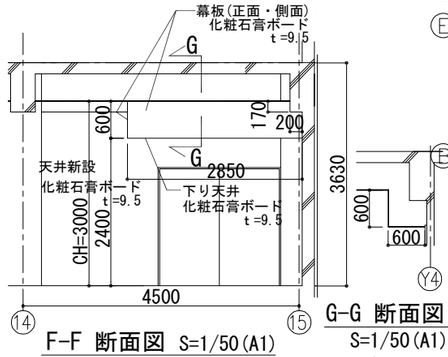


D部詳細 S=1/5



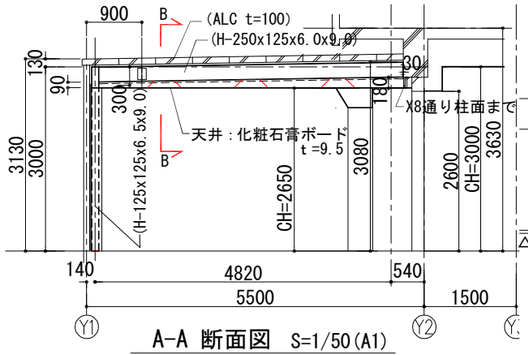
E部詳細 S=1/5

(RC梁下共通)

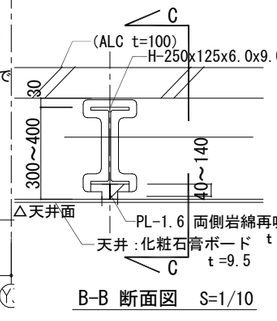


F-F 断面図 S=1/50(A1)

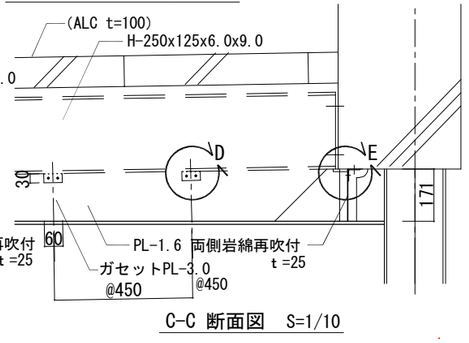
G-G 断面図 S=1/50(A1)



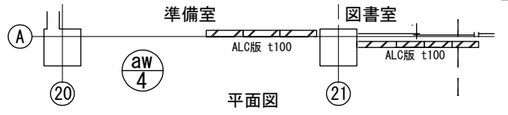
A-A 断面図 S=1/50(A1)



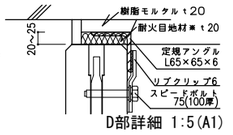
B-B 断面図 S=1/10



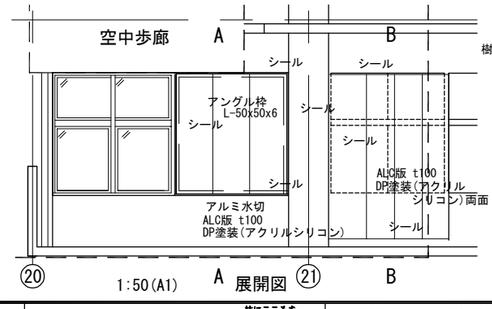
C-C 断面図 S=1/10



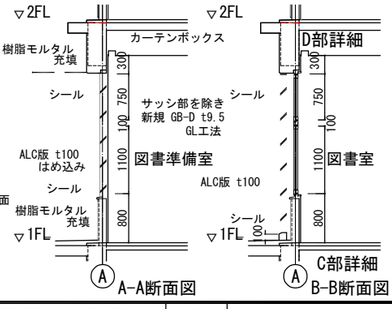
平面図



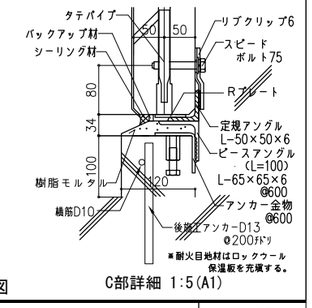
D部詳細 1:5(A1)



1:50(A1) A 展開図 B



A-A断面図 B-B断面図



C部詳細 1:5(A1)

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘 構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和 設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	既存全体建物 1階改修平面図	縮尺 図示	A-071
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(072/224)

□　現況校舎改修工事

＜ 凡 例 ＞

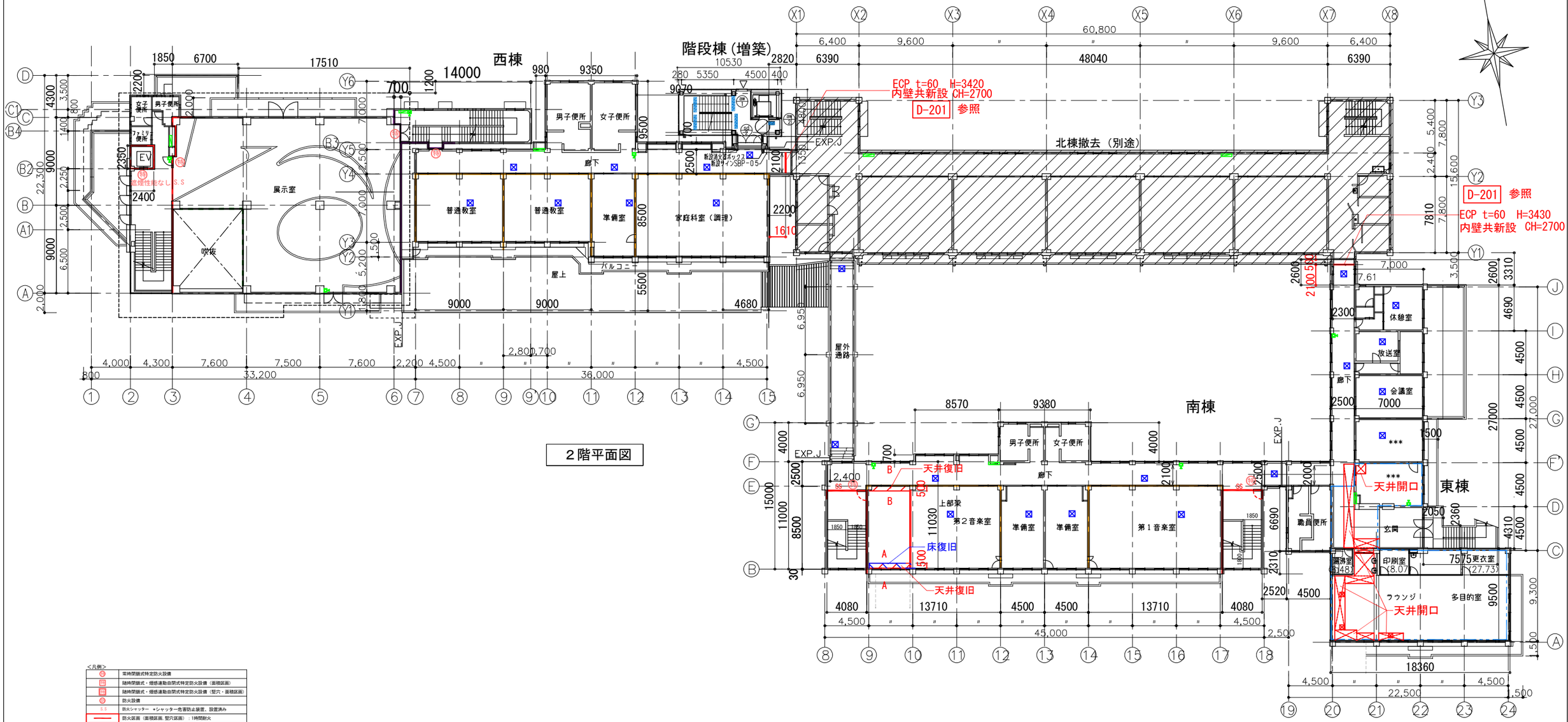
⊠ ：電気点検口　600x600

⊠ ：機械点検口　450x450

＜ 凡 例 ＞

⊠ ：新設点検口（電気用）
600x600

※点検口仕上材は
GB-Dt 9.5ととする。



２階平面図

※ 天井開口部は2期工事まで残置とする。

＜凡例＞

常時閉鎖式特定防火設備	
随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）	
随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）	
防火設備	
S.S	防火シャッター　*シャッター危害防止装置、設置済み
	防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火
	異種用途区画　乗　面積区画
	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火
	延焼の恐れのある部分
	防火区画（竪穴区画）
*	有効幅員を示す寸法表記（mm）
	非常用進入口にかわる窓
	屋内消火栓
	消火器
	仮使用検査、移転後に改修範囲

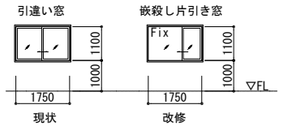
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	図面名	既存全体建物 2階改修平面図	A-072
	設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春	縮尺	1/400(A3) 1/200(A1)	
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(073/224)

□　現況校舎改修工事

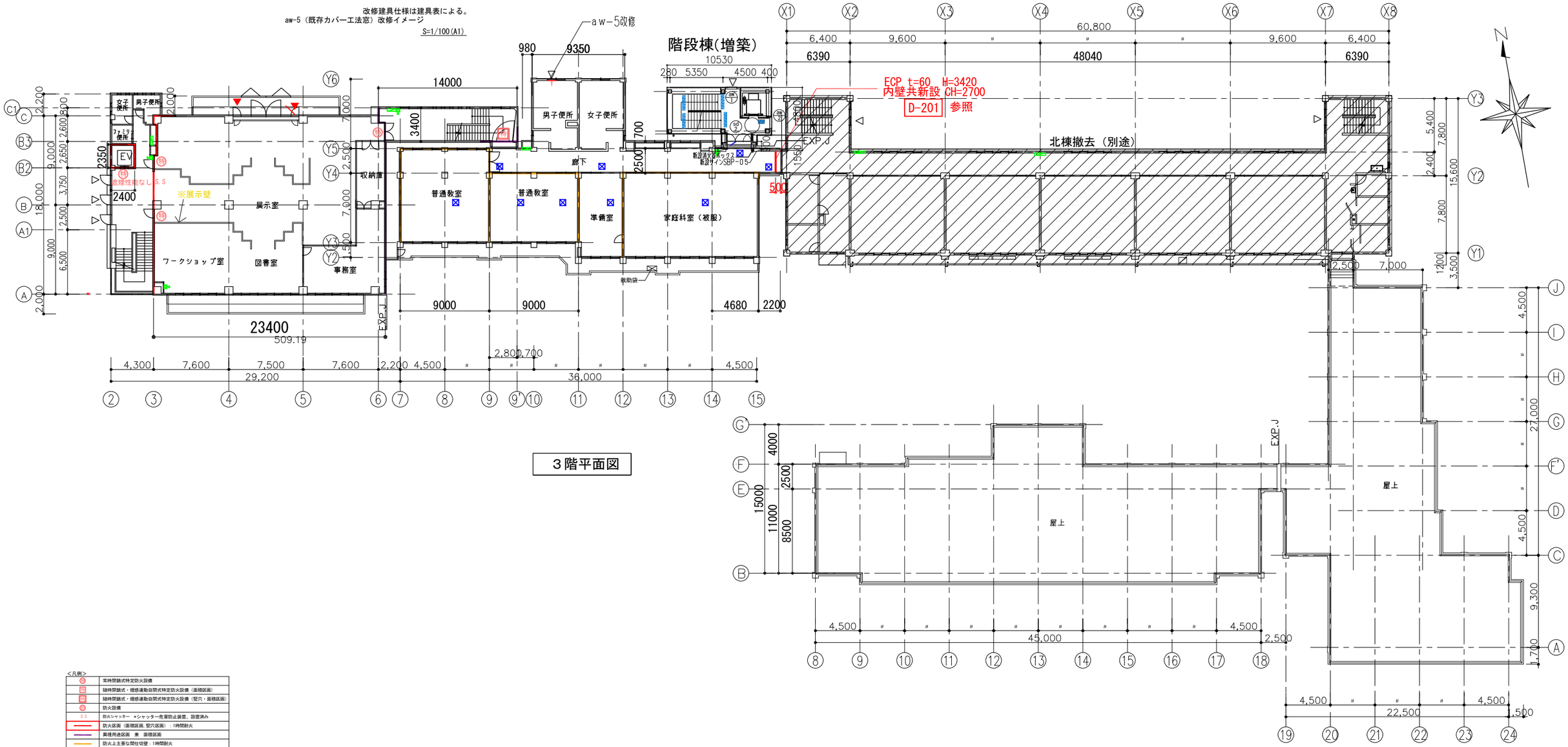
＜凡例＞

⊠：新設点検口（電気用）
600x600

※点検口仕上材は
GB-Dt9.5ととする。



改修建具仕様は建具表による。
aw-5（既存カバー工法窓）改修イメージ
S=1/100(A1)



３階平面図

＜凡例＞

甲	常時閉鎖式特定防火設備
甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）
甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）
防	防火設備
S.S	防火シャッター　*シャッター危害防止装置、設置済み
	防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火
	異種用途区画　兼　面積区画
	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火
	延焼の恐れのある部分
	防火区画（竪穴区画）
*	有効幅員を示すﾅｽ法表記（mm）
▽	非常用進入口にかわる窓
	屋内消火栓
消	消火器
	仮使用検査、移転後に改修範囲

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	既存全体建物 3階改修平面図	縮尺 1/400(A3) 1/200(A1)	A-073
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(074/224)

□　現況校舎改修工事

＜凡例＞

⊠：新設点検口（電気用）
600x600

※点検口仕上材は
GB-Dt9.5ととする。

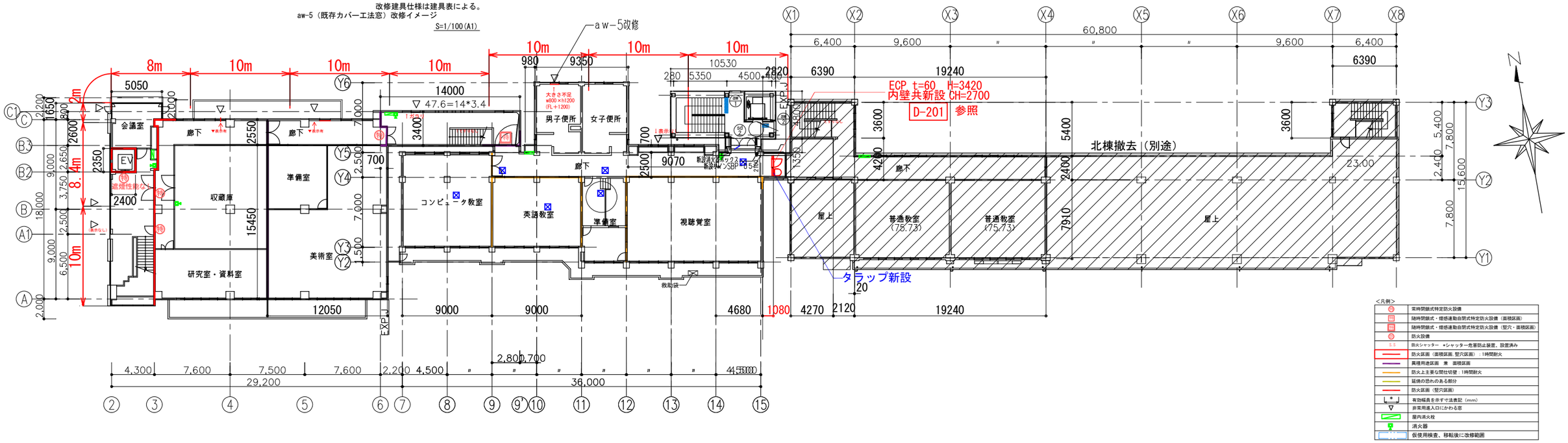
引違い窓　嵌殺し片引き窓

現状　改修

改修建具仕様は建具表による。

aw-5（既存カバー工法窓）改修イメージ

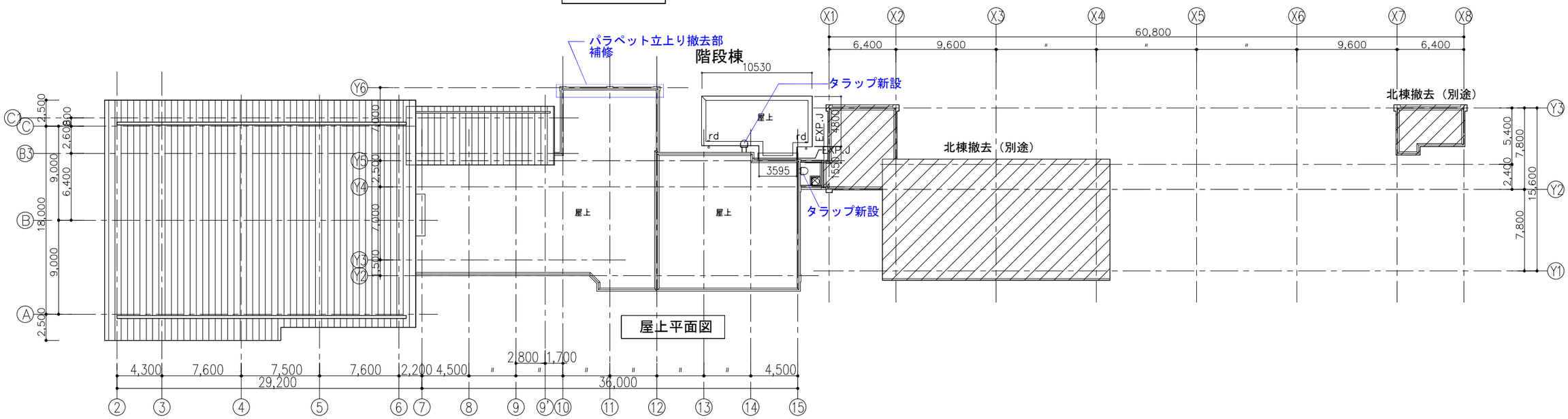
S=1/100(A1)



＜凡例＞

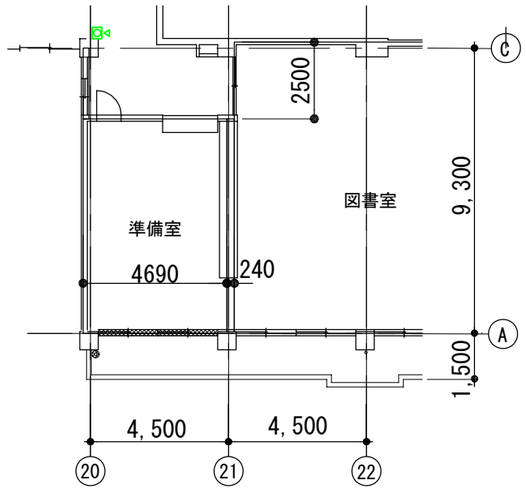
	常時閉鎖式特定防火設備
	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）
	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）
	防火設備
	防火シャッター　*シャッター危害防止装置、設置済み
	防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火
	異種用途区画　兼　面積区画
	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火
	延焼の恐れのある部分
	防火区画（竪穴区画）
	有効幅員を示す寸法表記（mm）
	非常用進入口にかわる窓
	屋内消火栓
	消火器
	仮使用検査、移転後に改修範囲

４階平面図

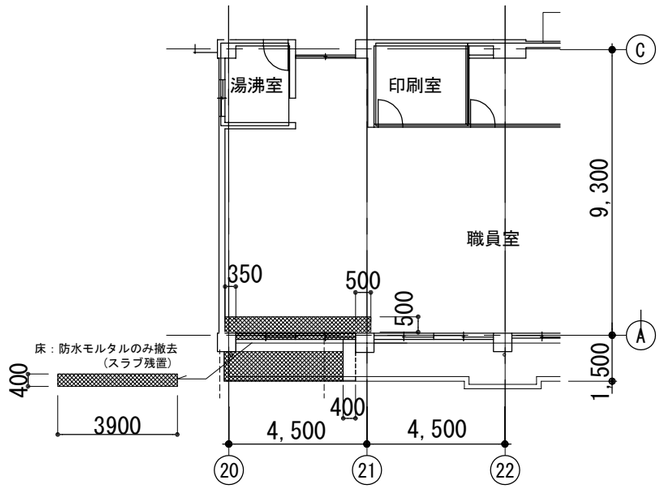


屋上平面図

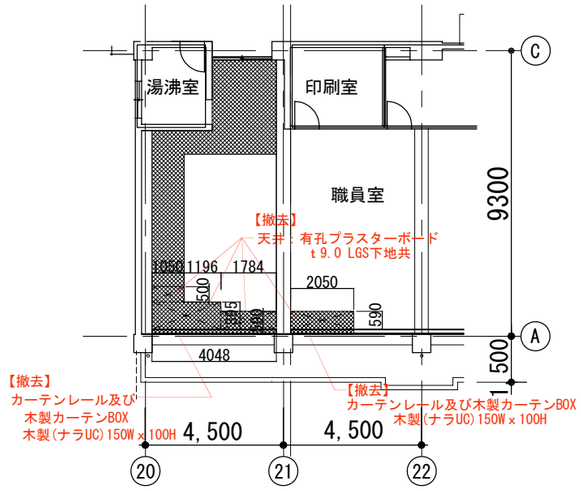
株式会社 大建設計	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	図面名	既存全体建物 4階・屋上階改修平面図	A-074
	設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春	縮尺	1/400(A3) 1/200(A1)	
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(075/224)



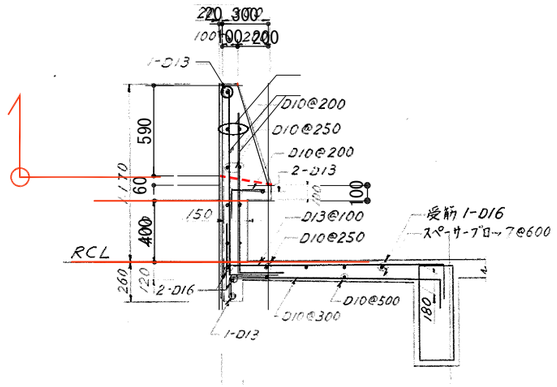
1階平面図　S=1/100(A1)



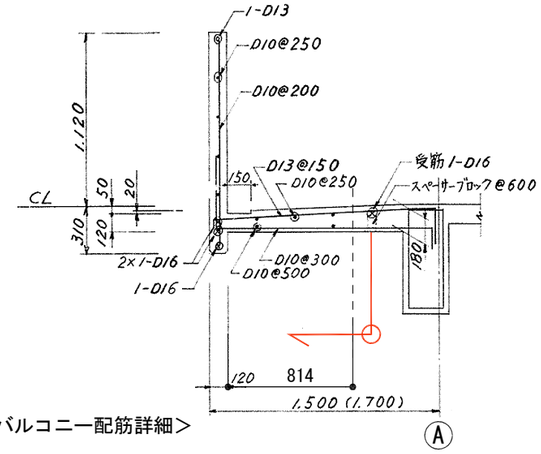
2階平面図　S=1/100(A1)



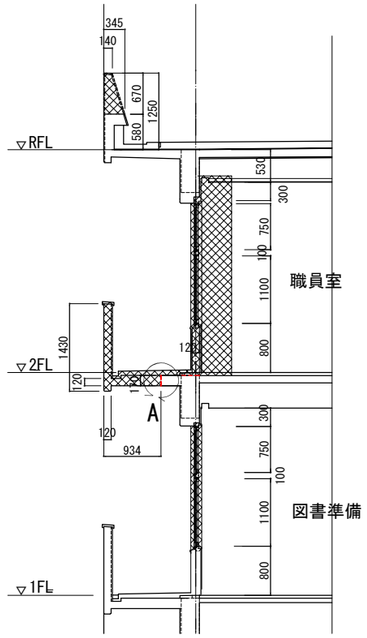
2階天伏図　S=1/100(A1)



＜パラペット配筋詳細＞

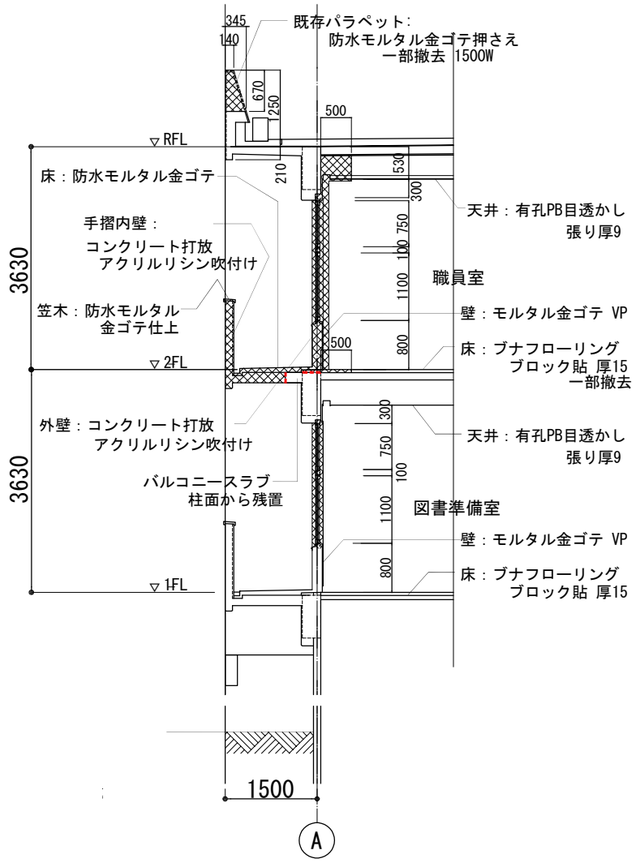


＜バルコニー配筋詳細＞



躯体断面寸法

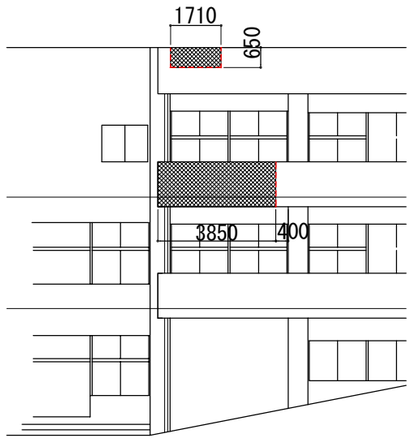
— — :壁面カッター入れ範囲



:撤去範囲を示す。

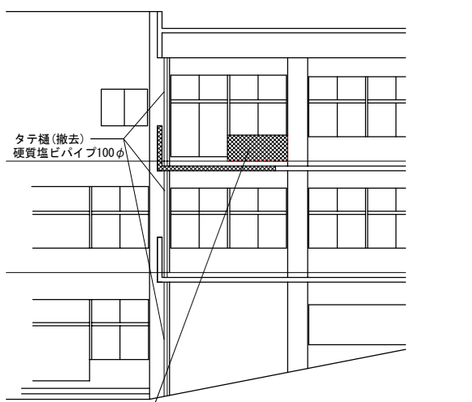
※ カッター入れ面は樹脂モルタル厚30
金ゴテの上塗膜防水トスル.

断面図　S=1/25(A1)



南側立面図　S=1/100(A1)

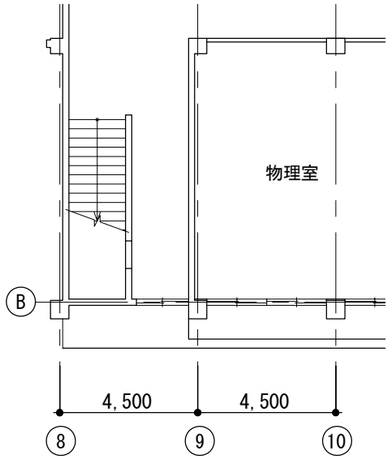
----:壁面カッター入れ範囲



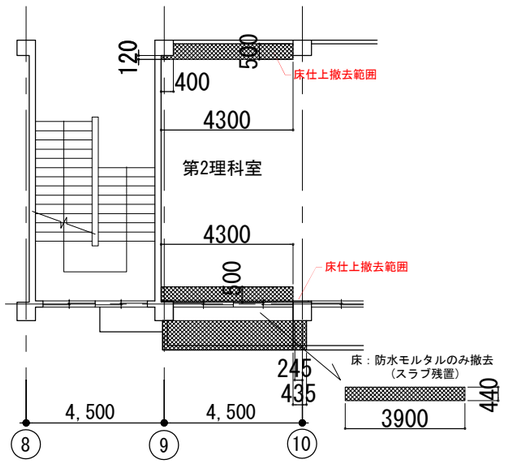
南側壁面立面図　S=1/100(A1)

----:壁面カッター入れ範囲

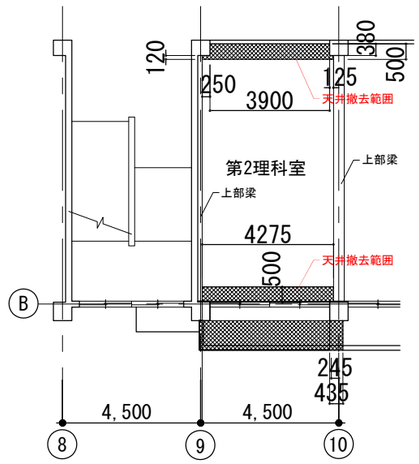
株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　(第 274708号)　山岡　信弘 構造設計一級建築士(第 6608号)　長坂　典和 設備設計一級建築士(第 753号)　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	既存校舎　東空中歩廊接続部、解体撤去図	縮尺 図示	A-075
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(076/224)



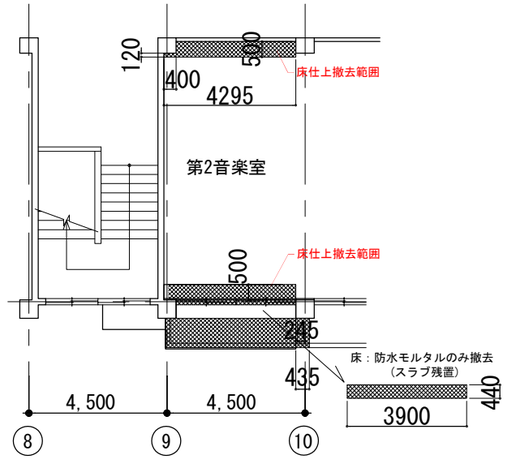
地下1階平面図　S=1/100(A1)



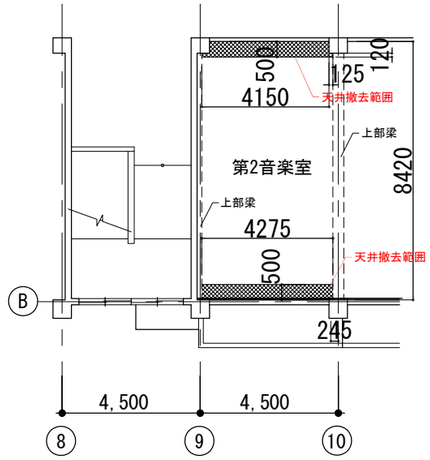
1階平面図　S=1/100(A1)



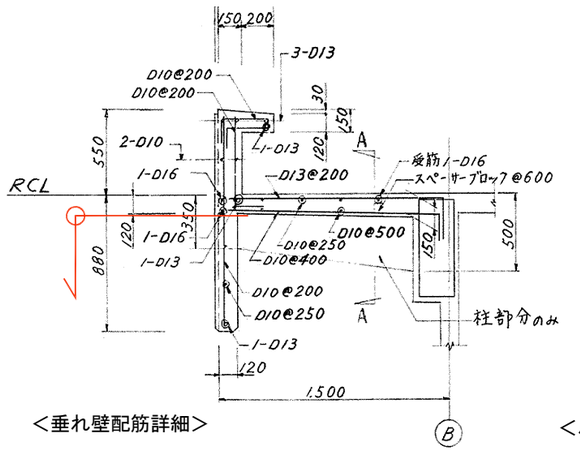
1階天井伏図　S=1/100(A1)



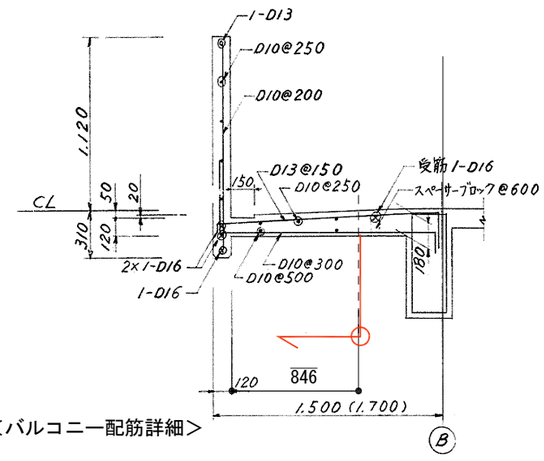
2階平面図　S=1/100(A1)



2階天井伏図　S=1/100(A1)



＜垂れ壁配筋詳細＞

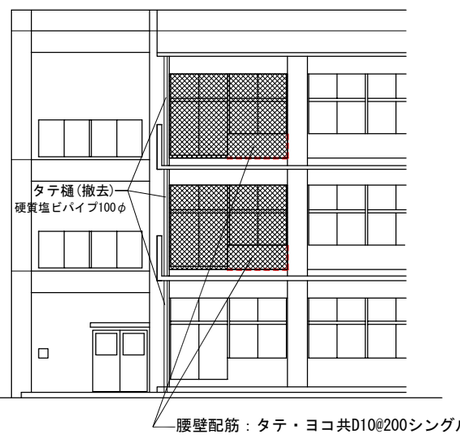


＜バルコニー配筋詳細＞



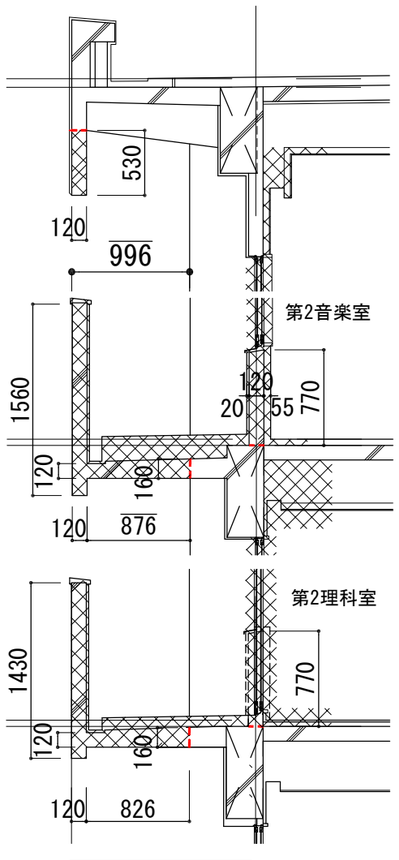
南側立面図　S=1/100(A1)

----：壁面カッター入れ範囲



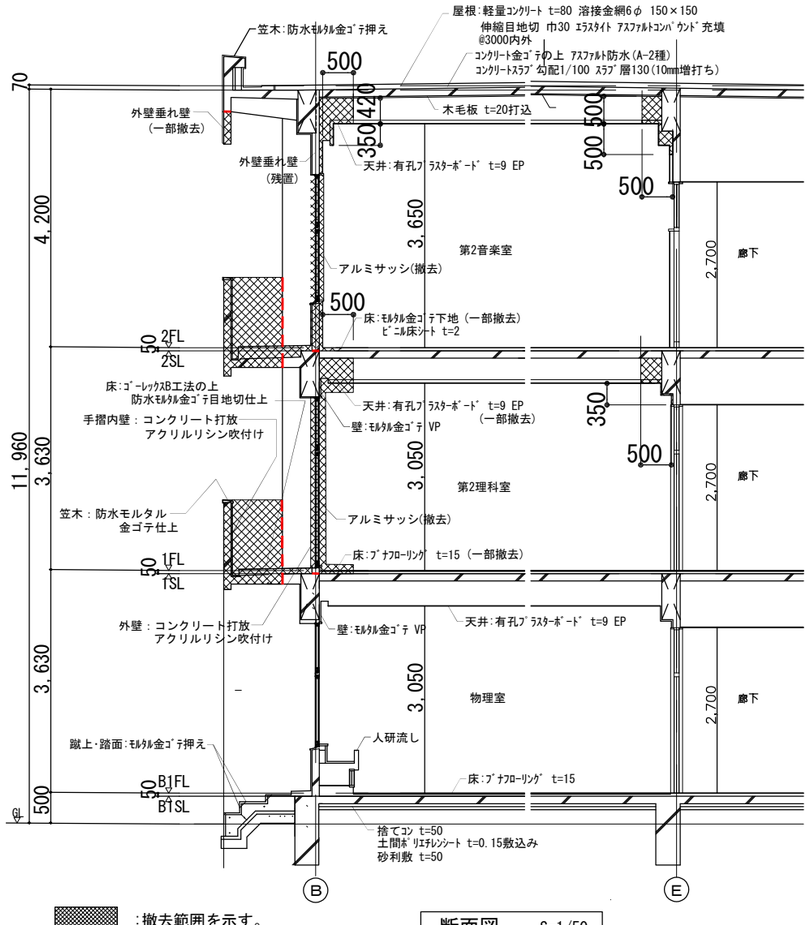
南側壁面立面図　S=1/100(A1)

----：壁面カッター入れ範囲



躯体断面寸法

— —：壁面カッター入れ範囲



：撤去範囲を示す。

※ カッター入れ面は樹脂モルタル厚30
金ゴテの上塗膜防水トスル.

断面図　S=1/50

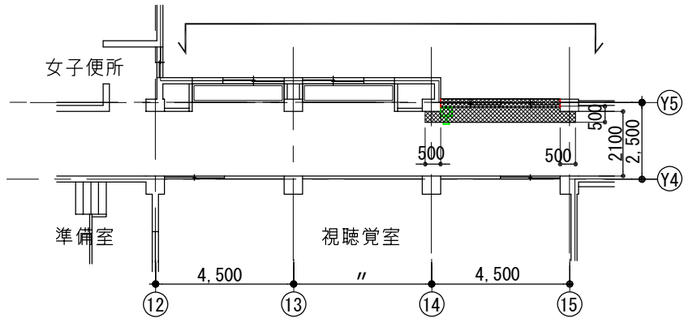
— — —：壁面カッター入れ範囲

株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

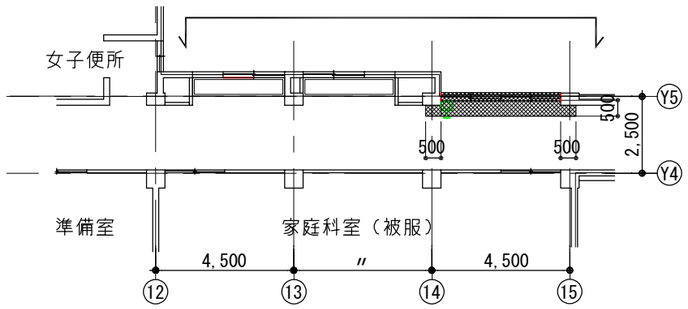
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	既存校舎　西空中歩廊接続部、解体撤去図	縮尺 図示	A-076
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(077/224)

西棟階段棟接続部壁面解体撤去



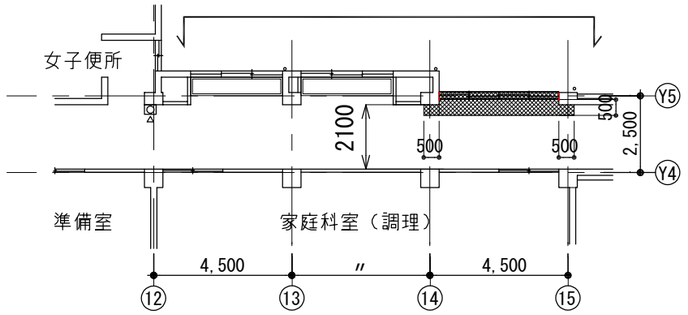
4階平面図　S=1/100(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



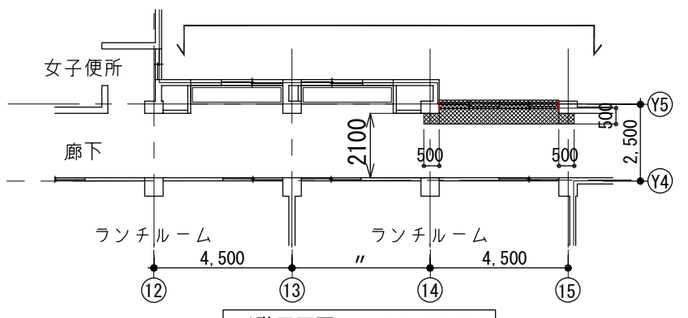
3階平面図　S=1/100(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



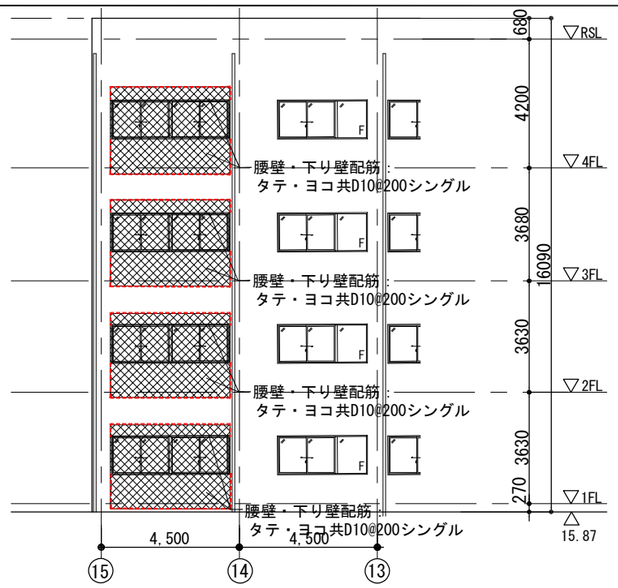
2階平面図　S=1/100(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



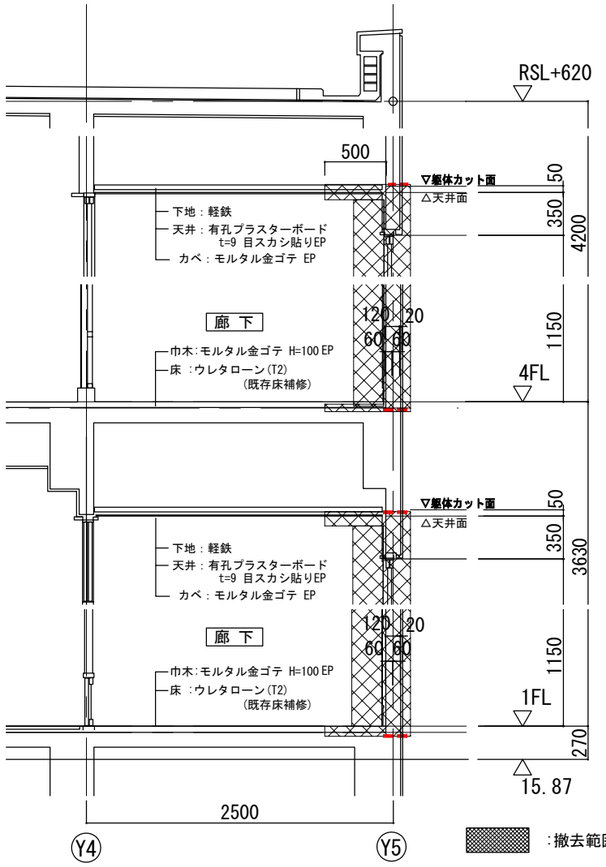
1階平面図　S=1/100(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



北側立面図　S=1/100(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲

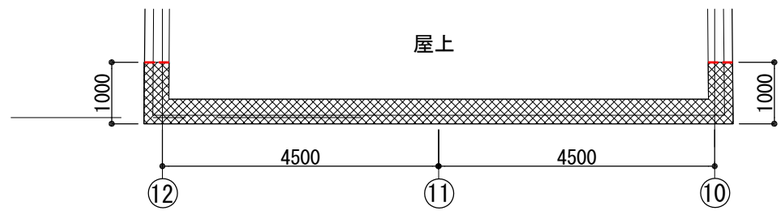


断面図　S=1/25(A1)

：撤去範囲を示す。

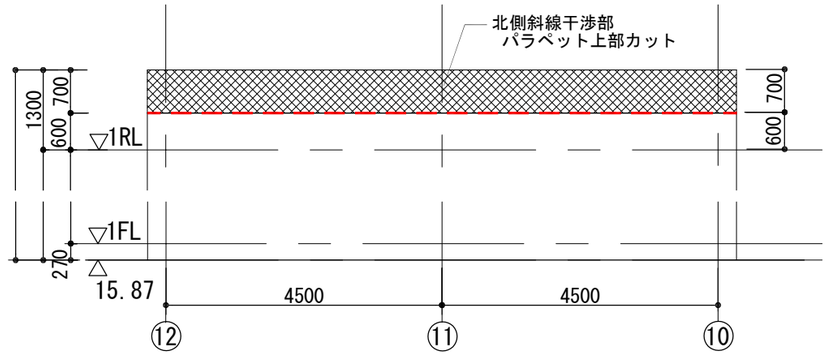
※ カッター入れ面は樹脂モルタル厚30
金ゴテの上塗膜防水トスル.

西棟パラペット北側斜線干渉部解体撤去



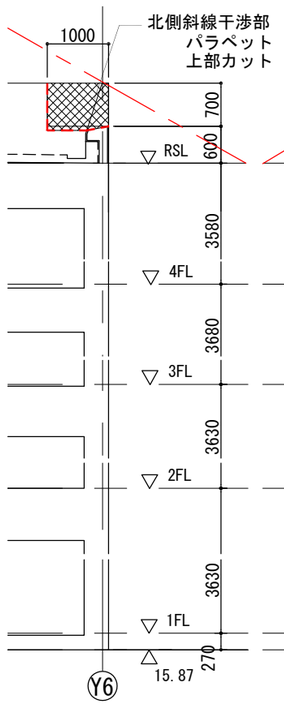
屋根伏図　S=1/50(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



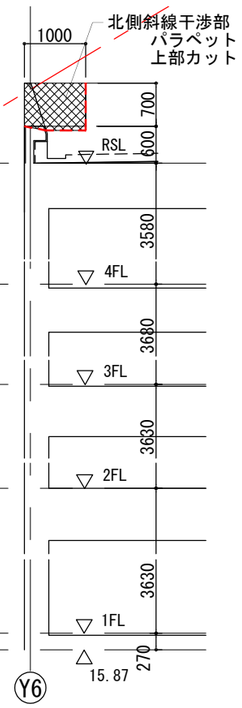
北側立面図　S=1/50(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



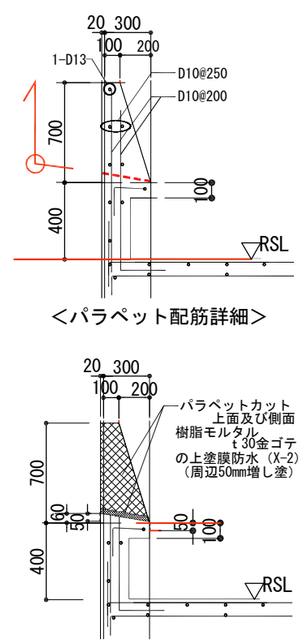
東側立面図　S=1/50(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



西側立面図　S=1/50(A1)

- - - - - -：壁面カッター入れ範囲



＜パラペット配筋詳細＞

＜パラペットカット面処理詳細＞

：撤去範囲を示す。

※ カッター入れ面は樹脂モルタル厚30
金ゴテの上塗膜防水トスル.

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	既存校舎　階段棟接続部、解体撤去図	縮尺	図示	A-077
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(078/224)

―凡例―

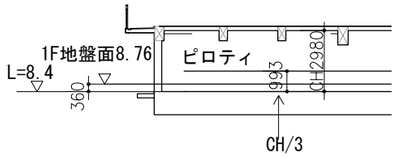
RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は経を示す。
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）
	救助袋（垂直式、格納箱共） 操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上	
	救助袋（垂直式）降下位置	
	救助袋（ハッチ式）7000H	
	避難ハッチ着床部（標識共）	
	雨水枡	
	床下点検口600角	
	警告（点状）ブロック	誘導（線状）ブロック
AW	消防法　有窓階・無窓階判断窓	

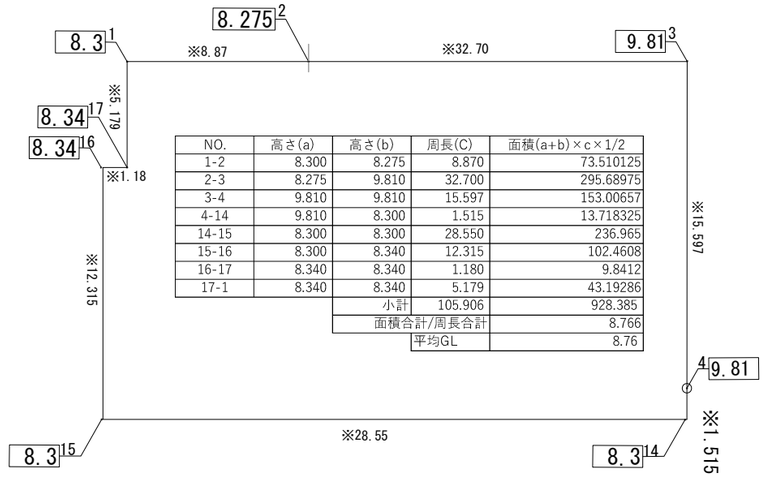
■1階部分の地下・地上判定

・地面下の部分が全周の1/2以上

・床面から地盤面の高さが階の天井の1/3以下

上記よりピロティは地上と判定





NO.	高さ(a)	高さ(b)	周長(C)	面積(a+b)×c×1/2
1-2	8.300	8.275	8.870	73.510125
2-3	8.275	9.810	32.700	295.68975
3-4	9.810	9.810	15.597	153.00657
4-14	9.810	8.300	1.515	13.718325
14-15	8.300	8.300	28.550	236.965
15-16	8.300	8.340	12.315	102.4608
16-17	8.340	8.340	1.180	9.8412
17-1	8.340	8.340	5.179	43.19286
		小計	105.906	928.385
		面積合計/周長合計		8.766
			平均GL	8.76

高低差 11.65-8.88=2.77>2m
千葉県建築基準法施工条例第4条（がけ条例）より
2H=2.77×2=5.54m＜6.584→クリア

※増築、新校舎の有窓階の判定は建具表に記載（有窓階）
※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
　既存、増築含め全て１m巾以上の空地が確保、維持する。
※有窓算定開口部内外１mに物品等なし

1階平面図　新校舎棟414.37㎡
避難階

新校舎棟　1F最大収容人数
280人

新校舎棟　全体最大収容人数
40人×28クラス+教員他80人=1200人
新校舎棟　全体最大想定人数
生徒1080+教職員80人＝1160人

＜凡例＞

特	常時閉鎖式特定防火設備（昇降路扉は遮煙性能認定品）	防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火	避難距離（50+10）m以下、重複距離　30m以下　（計測距離は図中表記）		*	有効幅員を示す（mm）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火	消火器迄の歩行距離（20）m以下（計測距離は図中表記）		※	手摺出寸法100mm以下
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）	防火上主要な間仕切壁（天井内）：1時間耐火	主要出入口	消火器（独立ボックス）		
特	防火設備	延焼の恐れのある部分	非常用進入口にかわる窓	屋内消火栓（消火器併設）		

株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建具キープラン（法チェック図）１（１階）	縮尺	1/300(A3) 1/150(A1)
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度

A-078
(079/224)

既存部分（金工室他）の採光窓の面積計算

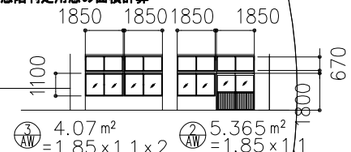


5.847㎡=
0.865×(0.67+1.02)×4

5.466㎡=
0.865×(0.67+1.02)×2
+0.865×(0.67+0.8)×2

消防法上の有窓階のチェック（既存部分）						
階	床面積㎡	床面積/30（㎡）		開口面積	計算式	判定
2階	605.92	20.197	＜	37.74	＝4.070（3AW） x4箇所	有窓階
					＋5.365（2AW） x4箇所	

既存部分の有窓階判定用窓の面積計算



3 AW 4.07㎡
=1.85×1.1×2

2 AW 5.365㎡
=1.85×1.1
+1.85×1.8

※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
既存、増築含め全て１ｍ巾以上の空地を確保、維持する。
※有窓算定開口部内外１ｍに物品等なし

既存校舎　２F最大収容人数
40人×2クラス+教員2人=82人

新校舎棟　２F最大収容人数
40人×9クラス+教員18人=378人

車路 / 男子便所 / 女子便所 / 廊下 / 金工室（117.63） / 準備室（38.61） / 準備室 / 木工室（117.63） / 生徒会室（44.20） / 東棟－65.91㎡ / 南棟－540.01㎡ / ポンプ室 / 側溝 / グランドへ避難通路 / 階段A / 階段B / 階段C / 多目的スペース2-1 / 多目的スペース2-2 / 多目的スペース2-3 / CR①-1 / CR①-2 / CR①-3 / CR①-4 / CR①-5 / CR①-6 / CR①-7 / バルコニー / 前室 / 配管ピット / 屋外階段 / MWC / WWC / EPS / ドライエリア / 屋外通路 / 手洗 / PS / スロープ / 避難口 / 上下両側操作避難はしご

避難距離29m / 重複距離12m / 重複距離16m / 避難距離29.8m / 重複距離28.8m / 避難距離28.3m / 重複距離27.3m / 避難距離37.2m / 避難距離33.0m / 重複距離22.2m / 避難距離27.0m / 重複距離25.3m / 避難距離29.4m / 重複距離17.0m / 避難距離27.9m / 重複距離16.7m

8.275 屋内避難階段
幅員:1710
踏面:300, 蹴上:158.33
手摺:両側

屋内直通階段
幅員:1800
踏面:300, 蹴上:158.33
手摺:両側
（2～5階までの直通階段）

屋外直通階段(x12)
幅員:1515
踏面:300, 蹴上:158.33
手摺:両側
（2～5階までの直通階段）

多目的スペース　340.61㎡
140.82+79.12+120.67

A部の採光補正係数
3←6.52=17462/13220x6-1.4

※階段A～C整理
(A:避難階段, B・C:直通階段)
敷地に高低差があり、
避難階を基準に階を算定。

A部の採光補正係数
1.01=5490/13620x6-1.4

B部の採光補正係数
2.39=8355/13220x6-1.4

C部の採光補正係数
3←3.75=
11360/13220x6-1.4

多目的スペースの採光補正係数
3←3.95=12490/13995x6-1.4

―凡例―

RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は経を示す。
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）
	救助袋（垂直式、格納箱共） 操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上	
	救助袋（垂直式）降下位置	
	救助袋（ハッチ式）7000H	
	避難ハッチ着床部（標識共）	
	雨水枡	
	床下点検口600角	
	警告（点状）ブロック	誘導（線状）ブロック
AW	消防法　有窓階・無窓階判断窓	

＜凡例＞

特	常時閉鎖式特定防火設備（昇降路等は遮煙性能認定品）	防火区画（面積区画, 竪穴区画）：1時間耐火	避難距離（50+10）m以下、重複距離　30m以下　（計測距離は図中表記）	L＊」	有効幅員を示す（mm）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火	消火器迄の歩行距離（20）m以下（計測距離は図中表記）	※	手摺出寸法100mm以下
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）	防火上主要な間仕切壁（天井内）：1時間耐火	主要出入口 / 消火器（独立ボックス）		
特	防火設備	延焼の恐れのある部分	非常用進入口にかわる窓 / 屋内消火栓（消火器併設）		

※増築、新校舎の有窓階の判定は建具表に記載（有窓階）
※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
既存、増築含め全て１ｍ巾以上の空地が確保、維持する。
※有窓算定開口部内外１ｍに物品等なし

２階平面図　新校舎棟1293.67㎡

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　倍弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	建具キープラン（法チェック図）２（2階）	A-079
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	尺	1/300(A3) 1/150(A1)	
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(080/224)

有窓階のチェック（北棟を除く既存棟部分）						
階	床面積㎡	床面積/30（㎡）		開口面積	計算式	判定
3階	1107.27	36.909	<	37.74	=4.070（5AW） x4箇所	有窓階
					+ 5.365（4AW） x4箇所	

既存校舎（南、東棟）３F最大収容人数
40人×4クラス+教職員8人=168人

※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
既存、増築含め全て１m巾以上の空地が確保、維持する。

既存部分の有窓階判定用窓の面積計算

消防有窓階判定 4.07㎡ =1.85x1.1x2
窓面積の算定 5.365㎡ =1.85x1.1x2 +1.85x1.8

※有窓算定開口部内外１mに物品等なし

—凡例—

RD	ルーフドレーン横引き ※併記の数字は経を示す。		
rd	ルーフドレーン縦引き（特記無きは100φ）		
	救助袋（垂直式、格納箱共）増築建物操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡）バルコニー幅員750D以上		
	救助袋（垂直式）降下位置		
	救助袋（ハッチ式）7000H		
	雨水枡		
	警告（点状）ブロック	誘導（線状）ブロック	

既存部分（図書室他）の採光窓の面積計算
5.847㎡ =0.865x（0.67+1.02）x4
5.466㎡ =0.865x（0.67+1.02）x2 +0.865x（0.67+0.8）x2

直通階段
幅員:1800（踊場）
踏面:300, 蹴上:158
手摺:片側

避難距離29m
避難距離12m
避難距離90m
避難距離28m
避難距離23m

屋内避難階段
幅員:1710
踏面:300, 蹴上:158.33
手摺:両側※

屋内直通階段
幅員:1800
踏面:300, 蹴上:158.33
手摺:両側※
（2～5階までの直通階段）

屋外直通階段
幅員:1515
踏面:300, 蹴上:158.33
手摺:両側※
（2～5階までの直通階段）

A部の採光補正係数
2_09=5490/9420x6-1.4

３階平面図 新校舎棟 1342.68㎡

新校舎棟 ３F最大収容人数
40人×6クラス+教員他6人=246人

※増築、新校舎の有窓階の判定は建具表に記載（有窓階）
※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
既存、増築含め全て１m巾以上の空地が確保、維持する。
※有窓算定開口部内外１mに物品等なし

多目的スペース 208.58㎡
141.02+67.56

南棟－591.17㎡
東棟－506.89㎡

理科室窓 3.784㎡ =0.86x1.1x4

＜凡例＞

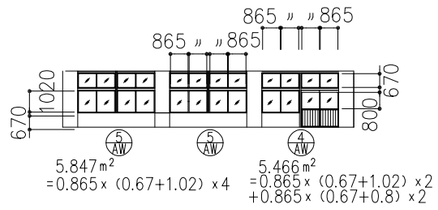
特	常時閉鎖式特定防火設備（昇降路扉は遮煙性能認定品）		防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火		避難距離（50+10）m以下、重複距離 30m以下 （計測距離は図中表記）	*	有効幅員を示す（mm）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）		防火上主要な間仕切壁：1時間耐火		消火器迄の歩行距離（20）m以下（計測距離は図中表記）	※	手摺出寸法100mm以下
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）		防火上主要な間仕切壁（天井内）：1時間耐火		主要出入口 / 消火器（独立ボックス）		
防	防火設備		延焼の恐れのある部分		非常用進入口にかわる窓 / 屋内消火栓（消火器併設）		

株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建具キープラン（法チェック図）３（3階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-080
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(081/224)

既存部分（第１音楽室他）の採光窓の面積計算



—凡例—

RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は経を示す。
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）
	救助袋（垂直式、格納箱共） 操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上	
	救助袋（垂直式）降下位置	
	救助袋（ハッチ式）7000H	
	避難ハッチ着床部（標識共）	
	雨水桝	
	床下点検口600角	
	警告（点状）ブロック	誘導（線状）ブロック
AW	消防法　有窓階・無窓階判断窓	

消防法上の有窓階のチェック（北棟を除く既存棟部分）

階	床面積㎡	床面積/30（㎡）		開口面積	計算式	判定
4階	1028.01	34.267	＜	37.74	=4.070（5AW）x4箇所 + 5.365（4AW）x4箇所	有窓階

※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は　※有窓算定開口部内外１m に物品等なし
既存、増築含め全て１m巾以上の空地を確保、維持する。

既存校舎（南・東棟）４F最大収容人数
40人×4クラス+教職員40人=200人

※増築、新校舎の有窓階の判定は建具表に記載（有窓階）
※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
　既存、増築含め全て１m巾以上の空地が確保、維持する。
※有窓算定開口部内外１m に物品等なし

＜凡例＞

特	常時閉鎖式特定防火設備（昇降路扉は遮煙性能認定品）		防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火		避難距離（50+10）m以下、重複距離　30m以下　（計測距離は図中表記）	⌞＊⌟	有効幅
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）		防火上主要な間仕切壁：1時間耐火		消火器迄の歩行距離（20）m以下（計測距離は図中表記）	※	手摺出
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴、面積区画）		防火上主要な間仕切壁（天井内）：1時間耐火		主要出入口	消火器（独立ボックス）	
防	防火設備		延焼の恐れのある部分		非常用進入口にかわる窓	屋内消火栓（消火器併設）	

４階平面図　新校舎棟1383.43㎡

最大防火区画面積は明らかに1500㎡以下

株式会社 大建設計 技にこころを	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	建具キープラン（法チェック図）４（4階）
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	尺	1/300(A3) 1/150(A1)
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-081 (082/224)

—凡例—

RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は経を示す。
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）
	救助袋（垂直式、格納箱共） 操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上	
	救助袋（垂直式）降下位置	
	救助袋（ハッチ式）7000H	
	避難ハッチ着床部（標識共）	
	雨水枡	
	床下点検口600角	
	警告（点状）ブロック	誘導（線状）ブロック
AW	消防法　有窓階・無窓階判断窓	

① 高度斜線制限
制限　5+1.25×4+0.6×（11.3-4）＝14.38
よって　14.38（制限）　＞　14.17 →OK

隣地境界線
5000
1300
延焼ライン
①GL+14.17

屋内避難階段
幅員:1710
踏面:300, 蹴上:156.25
手摺:片側

屋内直通階段
幅員:1800
踏面:300, 蹴上:156.25
手摺:片側
（2～5階までの直通階段）

屋外直通階段
幅員:1515
踏面:300, 蹴上:156.25
手摺:片側
（2～5階までの直通階段）

屋外階段

屋上
屋根
EXP.J
ルーフテラス
階段A
階段B
階段C
多目的スペース5-1
多目的スペース5-2
多目的スペース5-3
手洗
倉庫
EPS
PS
MWC
WWC
HWC
CR③-1
CR③-2
CR③-3
CR③-4
CR③-5
CR③-6
CR③-7
CR③-8
バルコニー
避難距離
重複距離
延焼線

多目的スペース　205.19㎡
99.88+79.12+26.19

※増築、新校舎の有窓階の判定は建具表に記載（有窓階）
※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
既存、増築含め全て１ｍ巾以上の空地が確保、維持する。
※有窓算定開口部内外１ｍに物品等なし

新校舎棟　５F最大収容人数
40人×9クラス+教員18人=378人

５階平面図　新校舎棟1265.44㎡

＜凡例＞

常	常時閉鎖式特定防火設備（昇降路扉は遮煙性能認定品）		防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火		避難距離（50+10）m以下、重複距離　30m以下　（計測距離は図中表記）	*	有効幅員を示す（mm）
随	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）		防火上主要な間仕切壁：1時間耐火		消火器迄の歩行距離（20）m以下（計測距離は図中表記）	※	手摺出寸法100mm以下
随	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）		防火上主要な間仕切壁（天井内）：1時間耐火		主要出入口	消火器（独立ボックス）	
防	防火設備		延焼の恐れのある部分		非常用進入口にかわる窓	屋内消火栓（消火器併設）	

株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

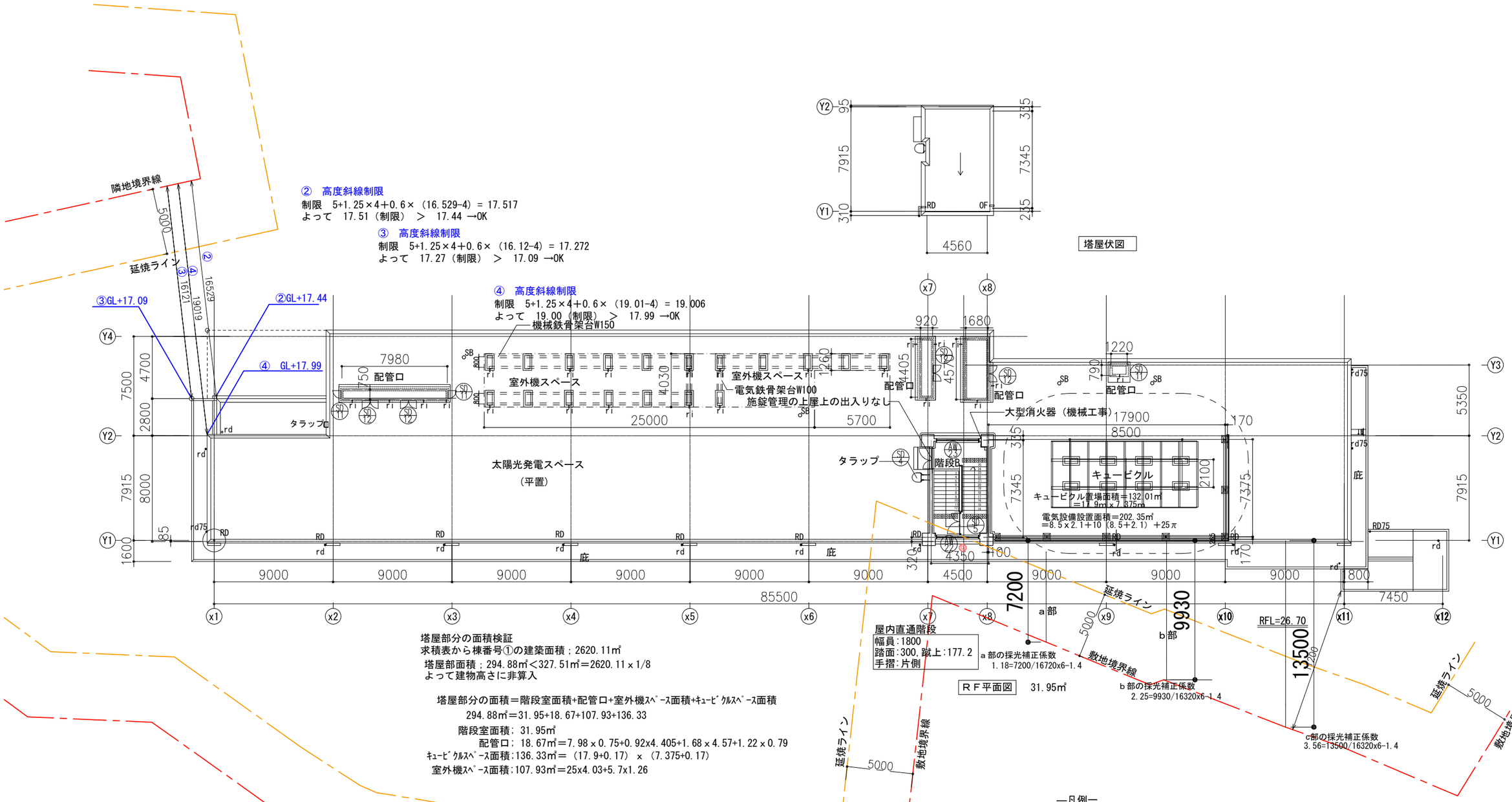
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建具キープラン(法チェック図) 5（5階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-082
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(083/224)

② 高度斜線制限
制限 5+1.25×4+0.6×（16.529-4）= 17.517
よって 17.51（制限） ＞ 17.44 →OK

③ 高度斜線制限
制限 5+1.25×4+0.6×（16.12-4）= 17.272
よって 17.27（制限） ＞ 17.09 →OK

④ 高度斜線制限
制限 5+1.25×4+0.6×（19.01-4）= 19.006
よって 19.00（制限） ＞ 17.99 →OK

塔屋伏図



ＲＦ平面図 31.95㎡

塔屋部分の面積検証
求積表から棟番号①の建築面積；2620.11㎡
塔屋部面積；294.88㎡＜327.51㎡＝2620.11×1/8
よって建物高さに非算入

塔屋部分の面積＝階段室面積+配管口+室外機ｽﾍﾟｰｽ面積+ｷｭｰﾋﾞｸﾙｽﾍﾟｰｽ面積
294.88㎡＝31.95+18.67+107.93+136.33
階段室面積； 31.95㎡
配管口； 18.67㎡＝7.98×0.75+0.92x4.405+1.68×4.57+1.22×0.79
ｷｭｰﾋﾞｸﾙｽﾍﾟｰｽ面積;136.33㎡＝（17.9+0.17）×（7.375+0.17）
室外機ｽﾍﾟｰｽ面積;107.93㎡＝25x4.03+5.7x1.26

—凡例—

RD	ルーフドレーン横引き	※併記の数字は径を示す。
rd	ルーフドレーン縦引き	（特記無きは100φ）
	救助袋（垂直式、格納箱共） 操作部大きさ1600W×1420D（2.272㎡） バルコニー幅員750D以上	
	救助袋（垂直式）降下位置	
	救助袋（ハッチ式）700H	
	避難ハッチ着床部（標識共）	
	雨水枡	
	床下点検口600角	
	警告（点状）ブロック □ 誘導（線状）ブロック	
AW	消防法 有窓階・無窓階判断窓	

＜凡例＞

防	常時閉鎖式特定防火設備（昇降路扉は遮煙性能認定品）		防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火		避難距離（50+10）m以下、重複距離 30m以下 （計測距離は図中表記）	*	有効幅員を示す（mm）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）		防火上主要な間仕切壁：1時間耐火		消火器迄の歩行距離（20）m以下（計測距離は図中表記）	※	手摺出寸法100mm以下
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）		防火上主要な間仕切壁（天井内）：1時間耐火		主要出入口	消火器（独立ボックス）	
防	防火設備		延焼の恐れのある部分		非常用進入口にかわる窓	屋内消火栓（消火器併設）	

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡 倩弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建具キープラン（法チェック図）６（屋上）	縮尺 1/300（A3） 1/150（A1）	A-083
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(084/224)

階段室の竪穴区画について
階段室内のトイレを以外で階段室内にEV（エレベーター）の竪穴があるが令112条14項1号に規定される仕上げ及び下地を準不燃としていることから階段室の竪穴区画としている。

直通階段
幅員:1530
踏面:300, 蹴上:157.52
手摺:両側

西棟、学校部分の改修内容は以下の通り

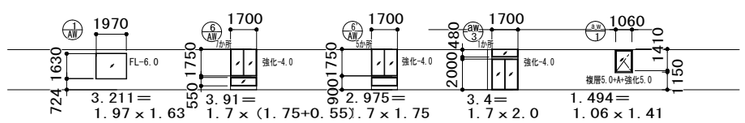
- 階段棟と既存部分を接続する部分の既存外壁（雑壁）、サッシュの撤去及びふさぎ外壁（ECP t 60）の新設
- 北棟撤去を行うため接続部廊下の閉塞（ECP t 60と特定防火設備）及び一部外部化及びﾒﾝﾃﾅﾝｽﾀﾗｯﾌﾟの新設
- 代替進入口の不備部分の改修
- 1階において階段棟、新設階段から建物外へ至る廊下（114条区画）の整備（建物南側の空地を通り道路へ至る避難経路）
- その他校舎と接続するための新渡り廊下へ出入口整備

階段棟(増築)

既存普通教室棟（北棟）
令和１０年解体予定

昇降路の出入口ついて
各階、遮煙性能のある扉に改修予定

1階平面図



有窓階のチェック					
階	床面積㎡	床面積/30（㎡）	開口面積（㎡）	計算式	判定
1階	1369.59	45.65 ＜	47.37（計）		有窓階
			3.21	=3.211（1AW） x1箇所	
			27.37	=3.910（6AW） x7箇所	
			11.9	=2.975（6’AW） x4箇所	
			1.49	=1.494（aw-1） x1箇所	
			3.40	=3.400（aw-3） x1箇所	

※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は既存、増築含め全て１m巾以上の空地が確保、維持する。

※有窓算定開口部内外１mに物品等なし

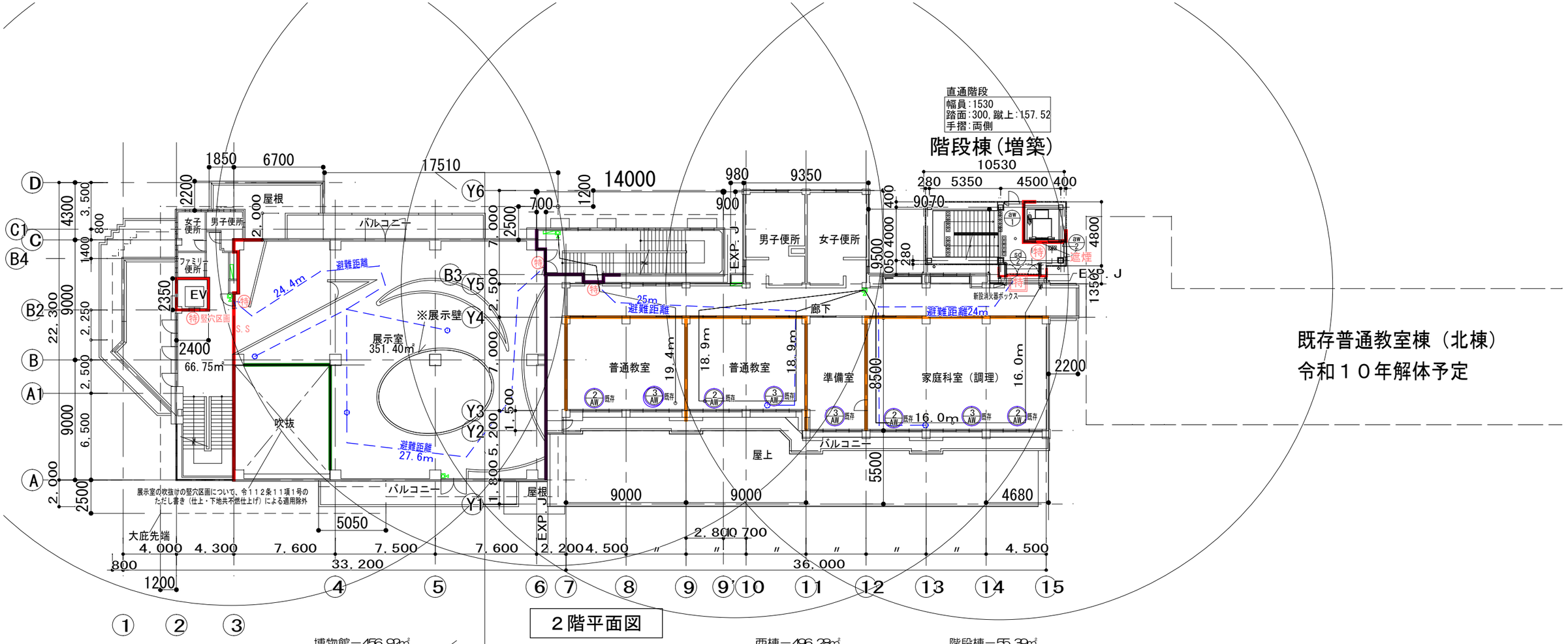
<凡例>

特	常時閉鎖式特定防火設備
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）
防	防火設備
S.S	防火防煙シャッター *シャッター危害防止装置、設置済み
	防火区画（面積区画,竪穴区画）：1時間耐火
	異種用途区画 兼 面積区画
	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火
	延焼の恐れのある部分
	防火区画（竪穴区画）
*	有効幅員を示す寸法表記（mm）
	非常用進入口にかわる窓
	屋内消火栓
	消火器
	点字ブロック
	主要出入口
（計測距離は図中表記）	避難距離（50+10）m以下、重複距離 30m以下（学校部）
（計測距離は図中表記）	避難距離（30+10）m以下、重複距離 20m以下（博物館部）
	消防法 有窓階・無窓階判断窓

株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	西棟改修1階平面図(法チェック図) 1階	縮尺 1/300 (A3) 1/150 (A1)	A-084
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(085/224)



２階平面図

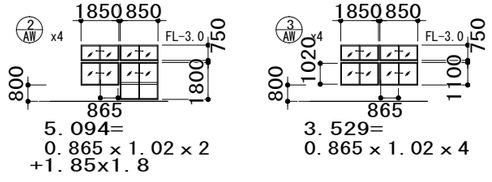
博物館－456.92㎡
収容人員；118人

西棟－496.28㎡
収容人員；120+6人

階段棟－55.39㎡

合計面積－1008.59㎡

総収容人員；244人



有窓階のチェック						
階	床面積㎡	床面積/30（㎡）		開口面積（㎡）	計算式	判定
２階	1008.59	33.61	＜	34.48（計）		有窓階
				20.37	=5.094（2AW） x4箇所	
				14.11	=3.529（3AW） x4箇所	

※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は既存、増築含め全て１ｍ巾以上の空地が確保、維持する。

※有窓算定開口部内外１ｍに物品等なし

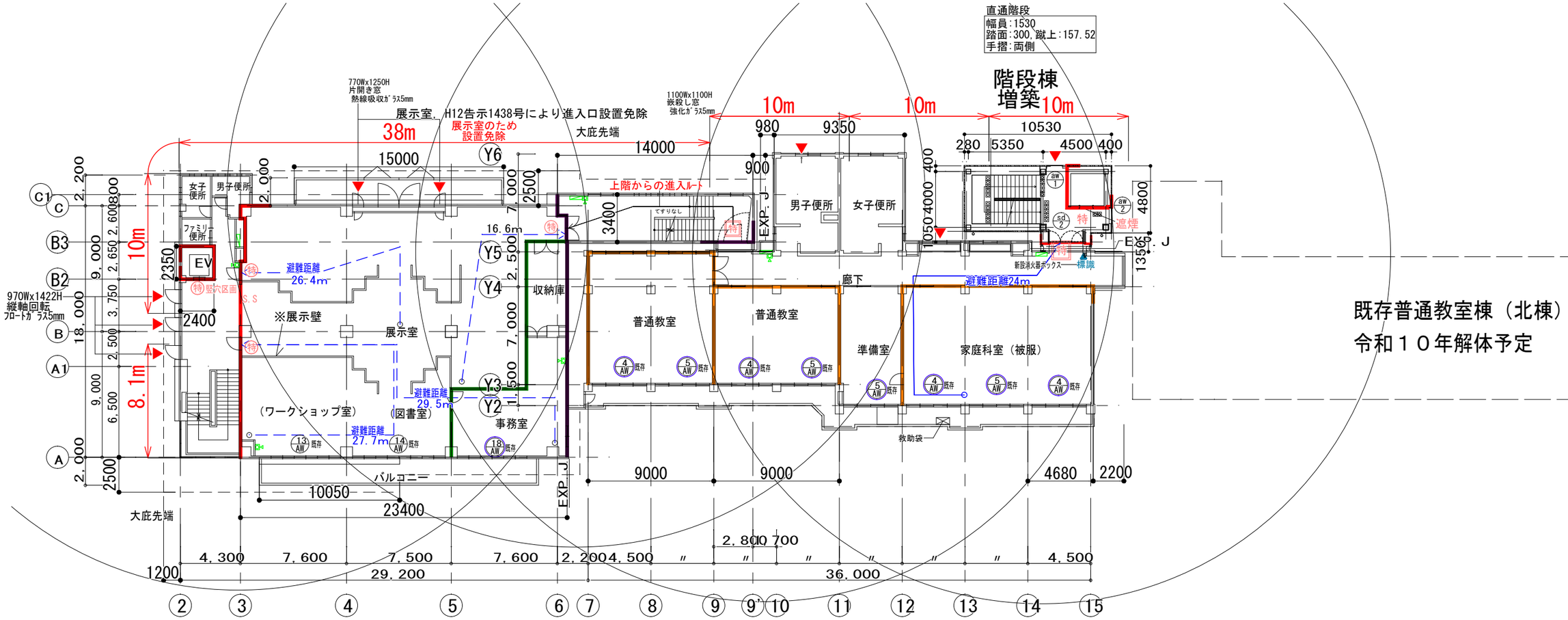
＜凡例＞

特	常時閉鎖式特定防火設備
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）
防	防火設備
S.S	防火防煙シャッター *シャッター危害防止装置、設置済み
	防火区画（面積区画，竪穴区画）：1時間耐火
	異種用途区画 兼 面積区画
	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火
	延焼の恐れのある部分
	防火区画（竪穴区画）
*	有効幅員を示す寸法表記（mm）
	非常用進入口にかわる窓
	屋内消火栓
消	消火器
	点字ブロック
	主要出入口
（計測距離は図中表記）	避難距離（50+10）m以下、重複距離 30m以下（学校部）
	避難距離（30+10）m以下、重複距離 20m以下（博物館部）
	消防法 有窓階・無窓階判断窓

株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	西棟改修２階平面図（法チェック図）2階	縮尺 1/300（A3） 1/150（A1）	A-085
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(086/224)



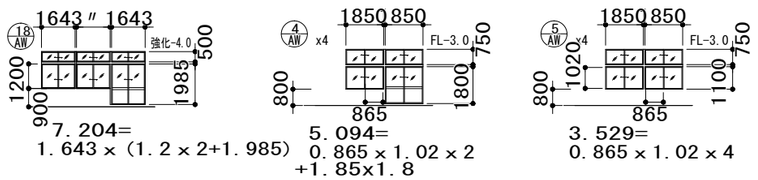
３階平面図

展示棟－521.74㎡
収容人員；117＋10人

西棟－497.05㎡
収容人員；120＋6人

階段棟－55.39㎡

合計面積－1074.18㎡



有窓階のチェック					
階	床面積㎡	床面積/30（㎡）		開口面積（㎡）	計算式	判定
３階	1074.18	35.80	＜	41.68 （計）		有窓階
				14.11	=3.529（5AW） x4箇所	
				20.37	=5.094（4AW） x4箇所	
				7.20	=7.204（18AW）x1箇所	

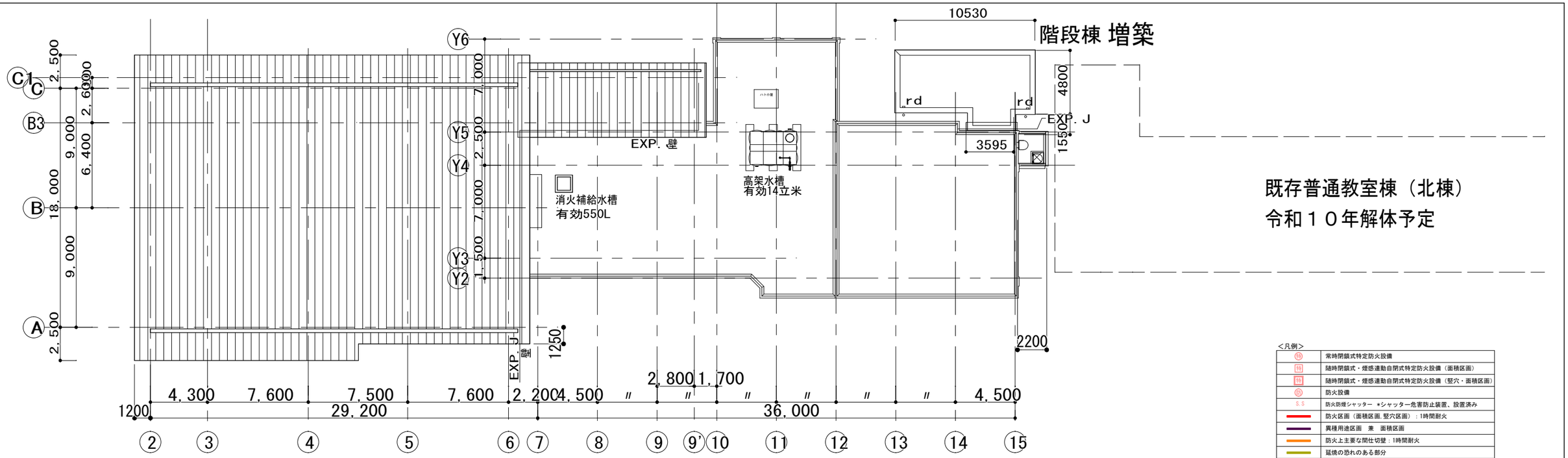
※有窓階の判定に用いた建具あるいはバルコニー前は
既存、増築含め全て１ｍ巾以上の空地が確保、維持する。

※有窓算定開口部内外１ｍに物品等なし

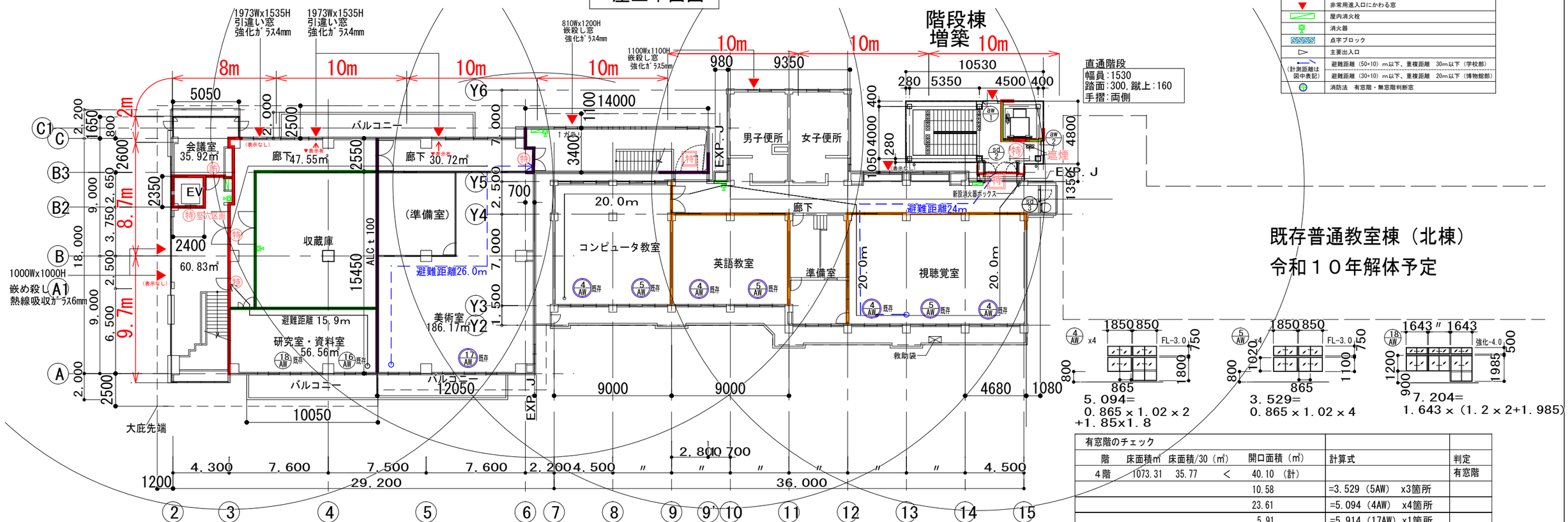
＜凡例＞

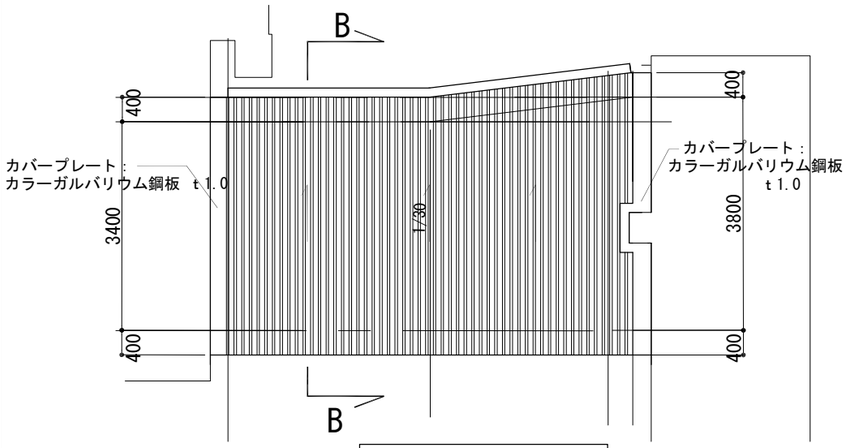
特	常時閉鎖式特定防火設備
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（面積区画）
特	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備（竪穴・面積区画）
防	防火設備
S.S	防火防煙シャッター ＊シャッター危害防止装置、設置済み
	防火区画（面積区画、竪穴区画）：1時間耐火
	異種用途区画 兼 面積区画
	防火上主要な間仕切壁：1時間耐火
	延焼の恐れのある部分
	防火区画（竪穴区画）
＊	有効幅員を示す寸法表記（mm）
	非常用進入口にかわる窓
	屋内消火栓
	消火器
	点字ブロック
	主要出入口
（計測距離は図中表記）	避難距離（50+10）m以下、重複距離 30m以下（学校部）
	避難距離（30+10）m以下、重複距離 20m以下（博物館部）
特	消防法 有窓階・無窓階判断窓

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和	図面名	西棟改修３階平面図（法チェック図）3階	縮尺 1/300（A3） 1/150（A1）	A-086
	設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(087/224)

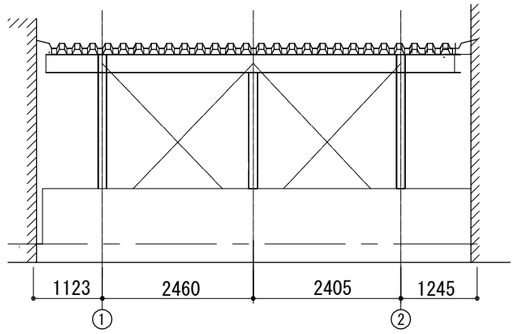


屋上平面図

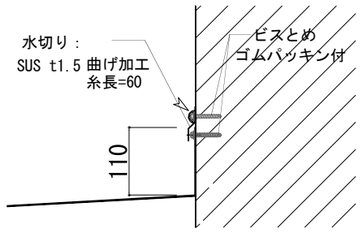

1973Wx1535H
引違い窓
強化ｶﾞﾗｽ4mm
1973Wx1535H
引違い窓
強化ｶﾞﾗｽ4mm
810Wx1200H
嵌殺し窓
強化ｶﾞﾗｽ4mm
1100Wx1100H
嵌殺し窓
強化ｶﾞﾗｽ5mm
1000Wx1000H
嵌め殺し窓
熱線吸収ｶﾞﾗｽ6mm
8m
10m
10m
10m
10m
10m
10m
980
9350
10530
280
5350
4500
400
5050
14000
1100
3400
700
2000
2500
2550
2350
2400
60.83㎡
15450
ALC t 100
10050
12050
9000
9000
4680
1080
1356
1050
4000
400
280
4800
2m
8.17m
9.7m
2, 200
1650
800
2600
9, 000
2, 650
3, 750
2, 500
6, 500
2, 000
2500
18, 000
9, 000
6, 500
2, 000
2500
会議室
35.92㎡
廊下 47.55㎡
廊下 30.72㎡
バルコニー
バルコニー
バルコニー
EV
収蔵庫
（準備室）
研究室・資料室
56.56㎡
美術室
186.17㎡
コンピュータ教室
英語教室
準備室
廊下
視聴覚室
男子便所
女子便所
EXP. J
EXP. J
EXP. J
避難距離26.0m
避難距離 15.9m
避難距離24m
20.0m
20.0m
20.0m
20.0m
新設浴火器ボックス
救助袋
大庇先端
（表示なし）
（表示なし）
（表示なし）
（表示なし）
（表示なし）
（表示なし）
（表示なし）
（表示なし）
1ガラ
遮煙
既存
既存
既存



屋根伏せ図　S=1/50（A1）



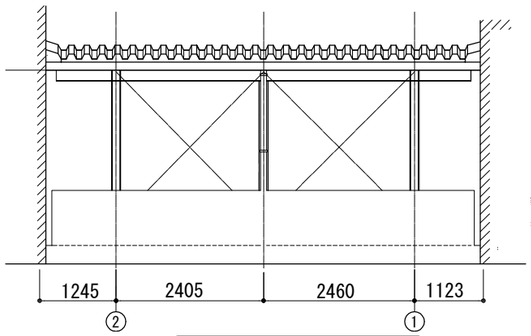
南側立面図　S=1/50（A1）



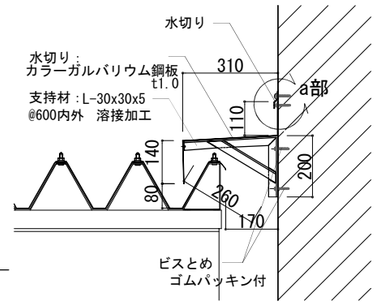
a部詳細図　S=1/5

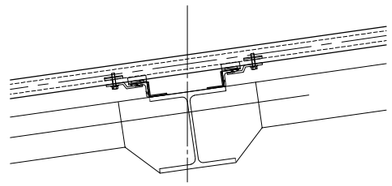
仕上表

	仕上げ
屋根	折版:カラーガルバリウム鋼板　t0.8
	山高 150、働き巾500
外壁	ECP t60 の上DP塗装（アクリルシリコン樹脂）
腰壁	コンクリート　打ち放し補修
床	防滑性ビニール床シート　t2.5
内壁（腰壁）	ECP t60 の上DP塗装（アクリルシリコン樹脂）
	コンクリート　打ち放し補修
備考	特記なき限り鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする。
	（Z金物等も含む）

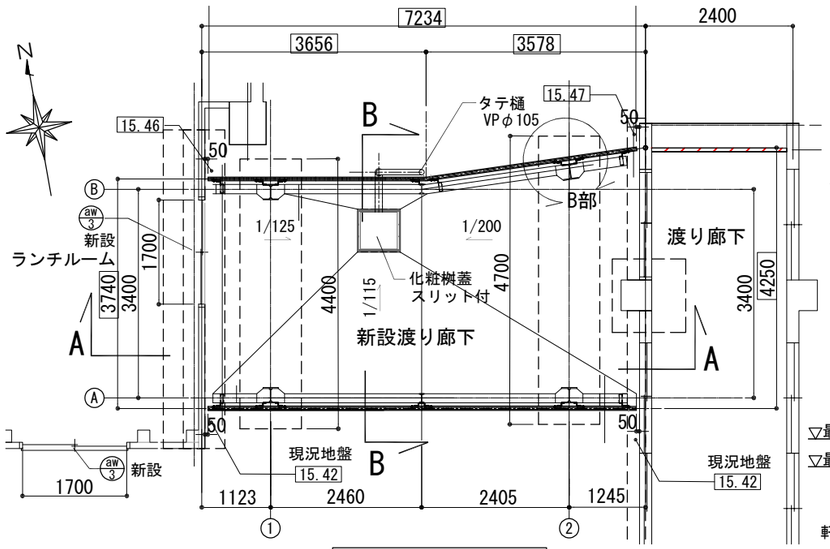


北側立面図　S=1/50（A1）

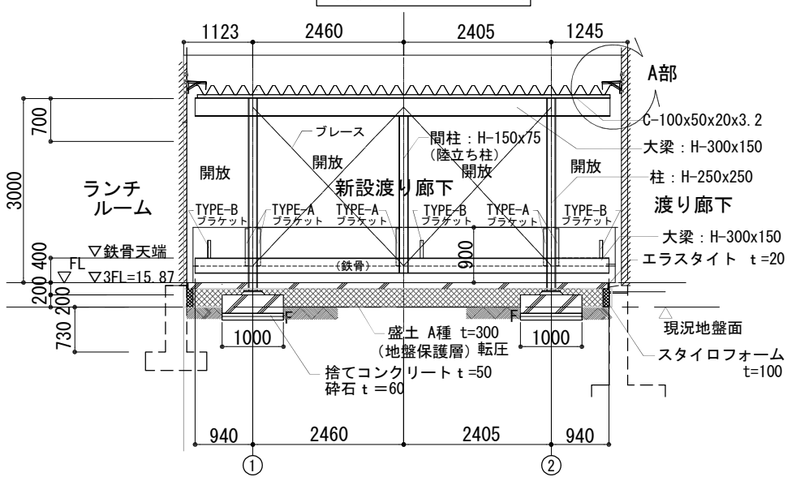




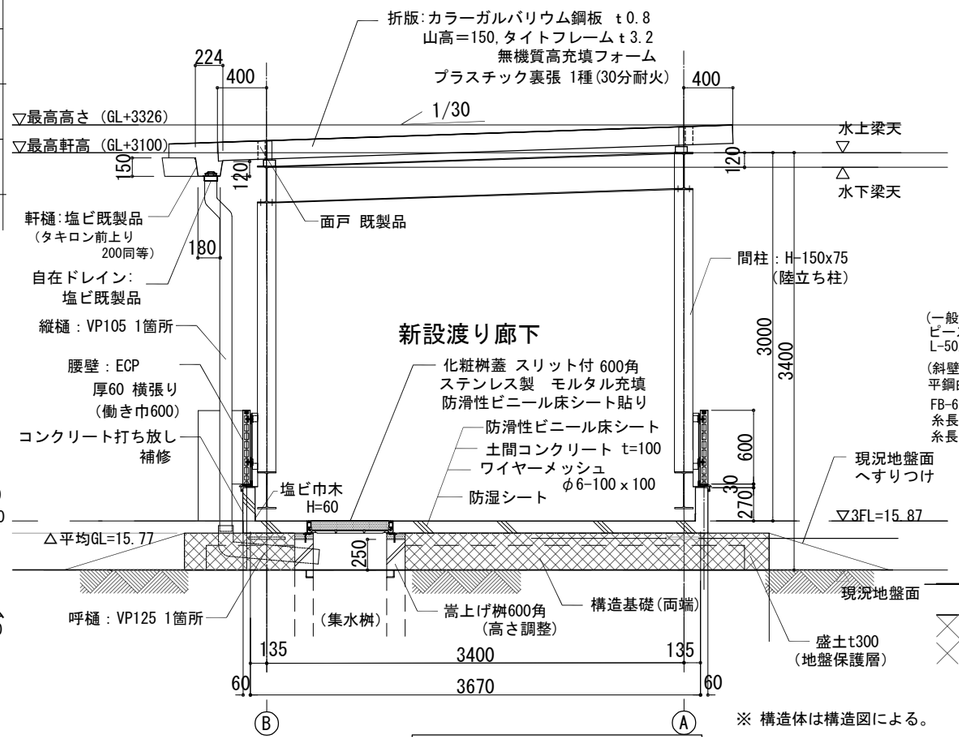
B部詳細図　S=1/10（A1）



平面図　S=1/50（A1）

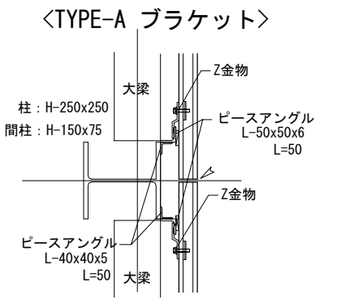


A-A 断面図　S=1/50（A1）

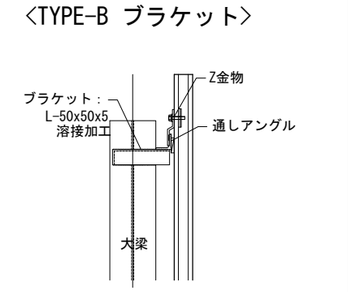


B-B 断面詳細図　S=1/25（A1）

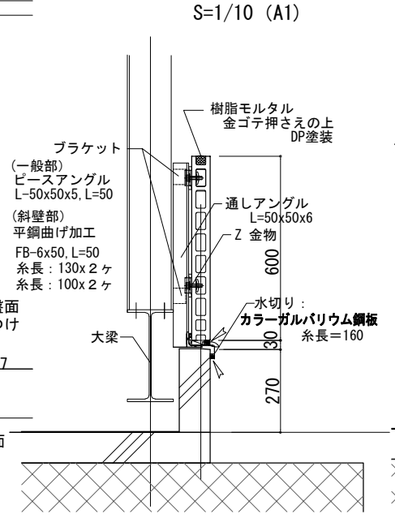
※ 構造体は構造図による。



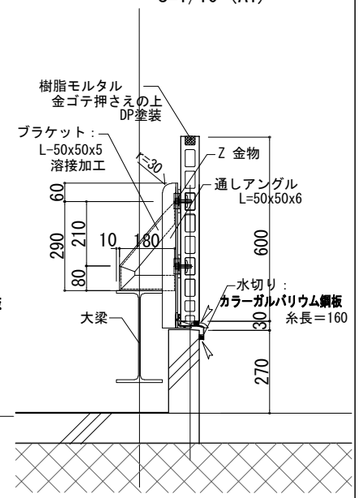
柱腰壁取付部平面詳細
S=1/10（A1）



大梁腰壁取付部平面詳細
S=1/10（A1）



間柱・柱腰壁取付部断面詳細
S=1/10（A1）



端部腰壁取付部断面詳細
S=1/10（A1）

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	新渡り廊下（立面図、平面詳細、屋根伏図、矩計図） 縮尺 図示	A-088
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課 令和7年度	(089/224)

符号・型式	SD-1 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-2 鋼製親子開きフラッシュ戸	SD-2' 鋼製親子開きフラッシュ戸	SD-3 SD-3' 鋼製両開きフラッシュ戸	SD-4 鋼製親子開きフラッシュ戸	SD-5 鋼製親子開きフラッシュ戸	SD-6 鋼製常時開放両開き両2枚折りフラッシュ戸	SD-6' 鋼製常時開放両開き両2枚折りフラッシュ戸	SD-7 鋼製常時開放両開き片側2枚折りフラッシュ戸
数　量	1 2 3 4 5 R 合計 4 2 2 2 10	1 2 3 4 5 R 合計 2 1 3	1 2 3 4 5 R 合計 2 2	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 2	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 1 3	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 1 1 4
設置場所	2F 階段C:4　4F 階段C:2 3F 階段C:2　5F 階段C:2	1F 階段A:1、倉庫:1 2F 廊下:1	1F 階段A:1、前室:1	1F 前室:1	1F ピロティ半屋外SD-3:1 階段（裏側）SD-3':1	RF 階段(裏側):1	RF 階段(裏側):1	2F 階段B:1　5F 階段B:1 4F 階段B:1	3F 階段B:1	2F 階段A:1　4F 階段A:1 3F 階段A:1　5F 階段A:1
姿　図	2100 ▽FL 850 ※一部カッティングシート表示（階段詳細参照）	2100 ▽FL 450 900 1350	2100 ▽FL 450 900 1350	2100＊ ▽FL 900 900 1800 ＊SD-3'のH寸法は1965	2100 ▽FL 600 900 1500 100	2100 ▽FL 600 900 1500	90° 90° 2280 835 835 835 835 835 3340 835 ※一部カッティングシート表示（階段詳細参照）	90° 90° 2280 835 835 835 835 835 3340 835 ※一部カッティングシート表示（階段詳細参照）	90° 90° 2280 1050 1050 1050 1050 3150 1050 ※一部カッティングシート表示（階段詳細参照）
扉	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE
枠	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ B　見込 170　仕上 B-AE	タイプ B　見込 170　仕上 B-AE	タイプ B　見込 170　仕上 B-AE
沓摺・窓台	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL	タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL	タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL
水切	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上
ガ ラ リ	―	―	―	―	―	―	―	―	―
ガ ラ ス	―	―	―	―	―	―	―	―	―
付属金物	H、S+ST、LH、DC、付属金物一式	H、S+ST、LH、DC、T,順位調整装置 付属金物一式	H、S+ST、LH、DC、T,順位調整装置 付属金物一式	H、S+ST、LH、DC、T,順位調整装置 付属金物一式	H、S+ST、LH、DC、T,順位調整装置 付属金物一式	H、S+ST、LH、DC、T 付属金物一式	CH、レリーズ、付属金物一式 ―	CH、レリーズ、付属金物一式 ―	CH、レリーズ、付属金物一式 ―
防火戸・エアータイト	特定防火設備:告示第2565号(遮煙)	特定防火設備:告示第2565号(遮煙)、SAT	特定防火設備:告示第2565号(遮煙)	特定防火設備:告示第1369号(遮炎)	特定防火設備:告示第2565号(遮煙)		特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）	特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）	特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）
備　考	代替侵入口表示（3～5階）、3ヶ所	―	―	―	―	―	―	―	―

符号・型式	SD-8 鋼製常時開放幕板付き両開きフラッシュ戸	SD-9 鋼製常時開放親子開きフラッシュ戸	SD-10 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-11 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-12 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-13 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-14 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-15 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-16 鋼製片開きフラッシュ戸	SD-20 鋼製常時開放片開きフラッシュ戸
数　量	1 2 3 4 5 R 合計 2 2 4	1 2 3 4 5 R 合計 2 2 4	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 2	1 2 3 4 5 R 合計 1 3 4	1 2 3 4 5 R 合計 1 3 4	1 2 3 4 5 R 合計 1 3 1 1 2 7	1 2 3 4 5 R 合計 5 5 4 5 19	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 R 合計 2 2	1 2 3 4 5 R 合計 1 1
設置場所	3F 空中歩廊（西）:2 4F 空中歩廊（西）:2	4F 空中歩廊（東）:1 既存棟（東棟）2F 交流ラウンジ:1	5F 多目的スペース:1	RF 配管取出口:3		2F 多目的ｽﾍﾟｰｽ(北、東):各1、廊下:1　4F 多目的ｽﾍﾟｰｽ(北):1 3F 多目的ｽﾍﾟｰｽ(北):1　　5F 多目的ｽﾍﾟｰｽ(北):1、廊下:1	2F MMC:1、SK:1、廊下:1、HMC:1、多目的ｽﾍﾟｰｽ:1 3F 多目的ｽﾍﾟｰｽ(北):1、MMC:1、SK:1、廊下:2 4F 多目的ｽﾍﾟｰｽ(北):1、MMC:1、廊下:2 5F MMC:1、SK:1、廊下:1、多目的ｽﾍﾟｰｽ（東）:2	1F 遮過模室:1	2F 多目的スペース（東）:1、MMS：1	
姿　図	鋼製両面フラッシュ幕板 90° 90° 350 2700 1300 1300 1300 2600 1300	90° 2000 700 1300 700 2000 1300	2000 600 ▽FL 800	600 ▽FL 600	600 ▽FL 1200	600 ▽FL 450	1500 ▽FL 450	1800 ▽FL 600	600 ▽FL 300	180° 90° 2000 1000 1000 1000 1000 3000 1000
扉	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE
枠	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ A　見込 110　仕上 B-AE	タイプ B　見込　仕上 B-AE
沓摺・窓台	タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL	タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込　仕上 ST-HL
水切	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上
ガ ラ リ	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
ガ ラ ス	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
付属金物	CH、レリーズ、付属金物一式 鋼製両面フラッシュ幕板（焼付塗装）	CH、レリーズ、付属金物一式 ―	H、S+ST、LH、DC、	H、S、CH	H、S、CH	H、S、CH	―	―	H、S、CH	CH、AH、付属金物一式
防火戸・エアータイト	特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）	特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）	特定防火設備:告示第1369号(遮炎)、SAT	SAT	SAT			SAT	SAT	特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）
備　考	―		―	―	―	―	―	―	片面フラッシュ	―

符号・型式	LSD-1 軽量スチール製上吊り引戸（壁引込み）	LSD-2 軽量スチール製上吊り引戸（壁引込み）	LSD-3 軽量スチール製引違い戸	LSD-4 嵌殺し欄間付き軽量スチール製引違い戸	LSD-5 軽量スチール製片開き戸	LSD-6 軽量スチール製上吊り引戸（壁引込み）		LSD-8 軽量スチール製両開き戸	LSD-9 軽量スチール製片開き戸	LSD-10 軽量スチール製両開き戸
数　量	1 2 3 4 5 R 合計 2 2	1 2 3 4 5 R 合計 6 6	1 2 3 4 5 R 合計 2 4 6	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 1 1 4		1 2 3 4 5 R 合計 1 1 1 3	1 2 3 4 5 R 合計 2 2 2 2 8	1 2 3 4 5 R 合計 4 4 4 4 16
設置場所	3F 保健室:2	4F 放送室:1、印刷:1、職員室:2、校長室:1、事務:1	4F 職員室:2	4F 放送室:1	1F 事務室:1	2F HMC:1　4F HMC:1 3F HMC:1　5F HMC:1		4F EPS:1 3F EPS:1　5F EPS:1	2F EPS:1、PS:1　4F EPS:1、PS:1 3F EPS:1、PS:1　5F EPS:1、PS:1	2F 廊下:4　4F 廊下:4 3F 廊下:4　5F 廊下:4
姿　図	150 800 800 戸袋ポケット 2100 ▽FL 1100（有効開口） 1230	150 800 戸袋ポケット 2100 ▽FL 850（有効開口） 980	2100 ▽FL 2000	ガラス面積 2.2㎡=2.0x0.56+0.6x0.9x2 2660 900 F 560 100 2000 600 2000	2100 ▽FL 900	150 800 戸袋ポケット 2100 ▽FL 900（有効開口） 1030		2100 ▽FL 800	2100 ▽FL 700	2100 ▽FL 1700
扉	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE		見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE	見込 40　仕上 B-AE
枠	タイプ B　見込 130　仕上 B-AE	タイプ B　見込 130　仕上 B-AE	タイプ C　見込 130　仕上 B-AE	タイプ C　見込 130　仕上 B-AE	タイプ A　見込 130　仕上 B-AE	タイプ B　見込 130　仕上 B-AE		タイプ A　見込 100　仕上 B-AE	タイプ A　見込 100　仕上 B-AE	タイプ A　見込 130　仕上 B-AE
沓摺・窓台	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL		タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL	タイプ C　見込 40　仕上 SUS, HL	タイプ C　見込 40　仕上 ST-HL
水切	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上		見込　仕上	見込　仕上	見込　仕上
ガ ラ リ	ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ(開口率35%)	―	―	―	―	―		―	―	―
ガ ラ ス	F-4	TG-4	TG4	TG4	―	TG-5		―	―	―
付属金物	ｽﾃﾝﾚｽ握棒、S+ST、上吊り金物、ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ 付属金物一式	ｽﾃﾝﾚｽ握棒、S+ST、上吊り金物、ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ 付属金物一式	引違い戸用CL、脇込引手、SUSレール ―	引違い戸用CL、脇込引手、SUSレール ―	CL、LH、DC、PH、T ―	ｽﾃﾝﾚｽ握棒、S+ST、上吊り金物、ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ 付属金物一式		CL、LH、DC、PH、T、FB ―	CL、LH、PH、T、FB ―	CL、LH、DC、PH、T、FB ―
防火戸・エアータイト			―	―	―	―		―	―	―
備　考	―	―	―	―	―	―		―	―	―

■共通事項

（1）建具寸法はすべて枠内法寸法を示し、製作にあたっては再度現場調整する。

（2）アルミニュム建具の仕様は、特記仕様書および共通仕様書によるほか下記による。

1．耐風圧性
・S-1（ 800Pa）・S-2(1200Pa)　・S-3(1600Pa)
・S-4(2000Pa)　△S-5(2400Pa)　・S-6(2800Pa)
・S-7(3600Pa)

2．気 密 性
・A-1(120等級線)　△A-2(30等級線)
・A-3(8等級線)　・A-4(2等級線)

3．水 密 性
・W-1(100Pa)　・W-2(150Pa)　・W-3(250Pa)
△W-4(350Pa)　・W-5(500Pa)

4．遮音等級
・T-1(25等級線)　△T-2(30等級線)
・T-3(35等級線)　・T-4(40等級線)

5．表面処理
・A-1 種・A-2 種・B-1 種・B-2 種
・C-1 種・C-2 種・D 種

6．アルミニウム製建具の乙種防火戸取扱いについて
・ 製品は認定品の使用を原則とするが、認定品で対応できない場合は 認定品を有するメーカー製品とし、建具寸法をできるだけ 認定品に近い寸法とし、かつ認定品と同一の部材を使用し、方立・無目については厚み２mmとする。尚、網入ガラスの取り付けは、パテ（JISA575の２種金属製建具用ガラスパテ）又は、認定製品を使用すること。

（3）ステンレス建具の仕様は、特記仕様書および共通仕様書によるほか下記による。

1．曲げ加工
・ 普通曲げ ・ 角だし ・ 半角だし

2．表面仕上
・ バフ・ＨＬ・梨地・塗装 ・ 電解発色

■建具符号略号

SD	・・鋼製戸	TD	・・強化ガラス製戸
SW	・・鋼製窓	PG	・・プラスチック製ガラリ
SG	・・鋼製ガラリ	SP	・・鋼製パーティション
SS	・・重量シャッター	WD	・・木製戸
LSD	・鋼製軽量戸	WW	・・木製窓
LSS	・鋼製軽量シャッター	WG	・・木製ガラリ
STD	・・ステンレス製戸	H	・・ふすま
STW	・・ステンレス製窓	WF	・・戸ふすま
STG	・・ステンレス製ガラリ	P	・・紙障子
STS	・・ステンレス製シャッター		
AD	・・アルミ製戸		
AW	・・アルミ製窓		
AG	・・アルミ製ガラリ		

■材料・仕上略号

S	・・・鋼		
AL	・・アルミ		
ST	・・ステンレス		
BR	・・真ちゅう		
W	・・・木		

■ガラス略号

SG	・・透明ガラス
FL	・・透明ガラス
F	・・型板ガラス
TG	・・強化ガラス
PSG	・・磨きガラス
PWG	・・網入磨きガラス
FWG	・・網入型板ガラス
HG	・・熱線吸収ガラス
P	・・フロートガラス
ＬＥ	・・low-Eガラス（高断熱タイプ）
Le	・・low-Eガラス（遮熱タイプ）
ＬＥ＊＋Ａ＋ＦＬ＊	・・複層ガラス

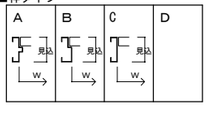
■塗装略号

SOP	・・合成樹脂合ペイント
FE	・・フタル酸樹脂エナメル塗り
VE	・・塩化ビニル樹脂エナメル塗り
EP	・・合成樹脂エマルションペイント塗り
AEP	・・アクリル樹脂系エマルション塗料
多彩	・・多彩模様塗料
AC	・・アクリル樹脂ウニス塗り
GMP	・・水系有光沢塗料
UC	・・ウレタン樹脂ウニス塗り
UE	・・ポリウレタン樹脂系塗料
aIP	・・アルミニウムペイント塗り
GP	・・塩化ゴム系塗料
ExP	・・エポキシ樹脂系塗料
TExP	・・タールエポキシ樹脂系塗料
焼付塗料	
B-AE	・・アクリル樹脂塗料
2-FUE	・・常温フッ素樹脂塗料

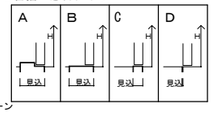
■付属金物略号

H	・・・丁番
PH	・・ピボットヒンジ
FH	・・フロアーヒンジ
LH	・・ラバトリーヒンジ
HC	・・ヒンジクローザー
DC	・・ドアクローザー
FB	・・あげ落とし
AS	・・あおり止め
T	・・・戸当たり
CL	・・シリンダー本締錠（サムターン付き）
ML	・・本締付モノロック
GL	・・グレモン錠
MC	・・モノロック空錠
CH	・・ケースハンドル錠
S+ST	・シリンダー+サムターン
S	・シリンダー

■枠タイプ



■沓摺・窓台タイプ



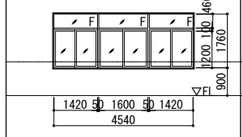
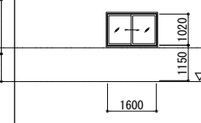
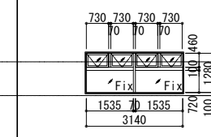
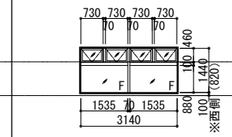
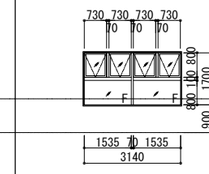
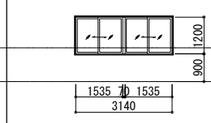
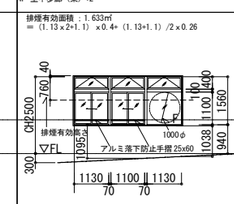
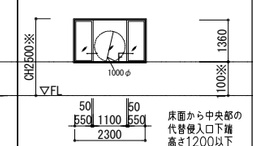
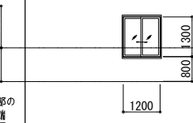
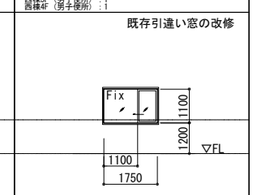
■特記事項

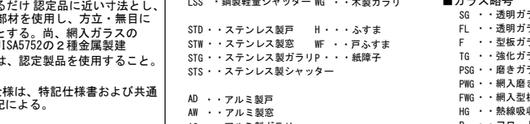
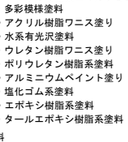
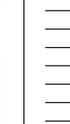
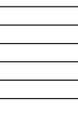
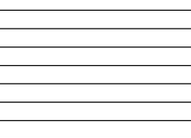
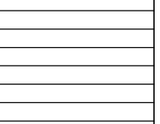
・クレセント、オペレーターの設置高さはFL+800～1500とする。
・日射取得型とはLow-E高断熱タイプとする。
・ガラス厚は耐風圧計算（100年確率）及び開口部のガラス安全指針で確認すること。

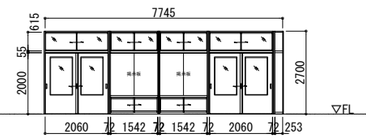
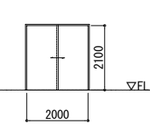
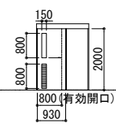
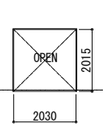
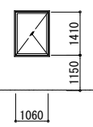
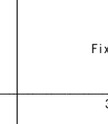
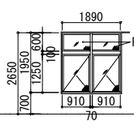
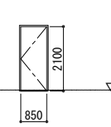
技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士(第 6608号)　長坂　典和 設備設計一級建築士(第 753号)　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
		図面名	建具表 1
		縮尺	1/200(A3) 1/100(A1)
			船橋市建設局建築部建築課
		図面番号	A-089
			令和7年度
			(090/224)

AW-1 アルミ製欄間窓付 引違い組合せ連窓

| | | |

符号・型式	AW 18 アルミ引違い連窓	AW 19 アルミ製引違い窓	AW 20 アルミ製排煙外倒し窓付 はめ殺し窓	AW 21 アルミ製排煙外倒し窓付 はめ殺し窓	AW 22 アルミ製排煙外倒し窓付 はめ殺し窓	AW 23 アルミ製排煙窓付き引違い窓	AW 24 アルミ製排煙突出し窓付き引違はめ殺し連窓	AW 25 アルミ製両袖片引はめ殺し連窓	AW 26 アルミ製引違いカウンター窓	aw 5 アルミ片引き+はめ殺し窓（サッシュ組内改修）
数　量	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 合計 1	1 2 3 R 合計 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 5 R 1 合計 1	1 2 3 4 5 R 1 合計 1	1 2 3 4 5 合計 2	1 2 3 4 5 合計 10	1 2 3 4 5 合計 1	1 2 3 4 5 合計 2
設置場所	3F 昇降口：1	1F 前室：1	3F 階段B：1	4F 階段B：1 5F 階段B：1、階段A：1	RF 階段B：1	RF 階段B：1	4F 空中歩廊（東）：2	3F 空中歩廊（西）：5 4F 空中歩廊（西）：5	4F 事務室：1	西棟3F（男子便所）：1 西棟4F（男子便所）：1
姿　図										
扉	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 40 仕上 B-1
枠	タイプ 見込 100 仕上 B-AE	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 100 仕上 B-1
沓摺・窓台	タイプ 材ｻｲｽﾞ AL25×120 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×140 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×140 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×140 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×140 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×140 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×75 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×100 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ AL25×120 仕上 B-2	タイプ 材ｻｲｽﾞ アルミ 25×50 仕上 B-1
水切	見込 70 材 AL押出 仕上 B-AE	見込 90 材 AL押出 仕上 B-2	見込 90 材 AL押出 仕上 B-2	見込 90 材 AL押出 仕上 B-2	見込 90 材 AL押出 仕上 B-2	見込 90 材 AL押出 仕上 B-2	見込 30 材 AL押出 仕上 B-2	見込 30 材 AL押出 仕上 B-2	見込 30 材 AL押出 仕上 B-2	見込 30 AL押出 仕上 B-2
ガラリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス	LE5+A12+TG5	LE5+A12+TG5	FWG6.8+A12+TG5　FWG6.8+A12+TG4(欄間部)	FWG6.8+A12+TG5　FWG6.8+A12+TG4(欄間部)	FWG6.8+A12+TG5　FWG6.8+A12+TG4(欄間部)	LE5+A12+TG5	le5+A12+TG5	le5+A12+TG5	Le5+A12+PWG6.8	TG5
付属金物	クレセント、他付属金物一式	クレセント、他付属金物一式	クレセント、排煙オペレーター(隠べい式)	クレセント、排煙オペレーター(隠べい式)	クレセント、排煙オペレーター(隠べい式)	クレセント、他付属金物一式	**クレセント、開放制限金物、排煙オペレーター**	**クレセント、開放制限金物、他付属金物一式**	クレセント、他付属金物一式	H、S+ST、LH、DC、T、
防火戸・エアータイト	—	—	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	—	他付属金物一式	—	—	スレセント 他付属金物一式
備　考		—	防火設備	防火設備	防火設備		飛散防止フィルム 代替侵入口表示	飛散防止フィルム 代替侵入口表示	—	**額縁、水切り既存利用、代替侵入口表示**

符号・型式	SF 1 鋼製三方枠	SF 2 鋼製三方枠	SF 3 鋼製二方枠	SF 3 鋼製二方枠	SF 4 鋼製三方枠	sd 1 鋼製親子開きフラッシュ戸	sd 2 鋼製常時開放両開き片側2枚折りフラッシュ戸	sd 3 鋼製片開きフラッシュ戸
数　量	1 2 3 4 5 R 合計 4 4 4 5 4 17	1 2 3 4 5 R 合計 1 1 1 1 1 4	1 2 3 4 5 R 合計 2 1 1 1 5	1 2 3 4 5 R 1 合計 1	1 2 3 4 5 R 合計 1 1	1 2 3 4 合計 1	1 2 3 4 合計 1 1 1 1 4	1 2 3 4 合計 1 1 2
設置場所	2F MWC:2,WWC:2　4F MWC:2,　だれでもトイレ：1 5F MWC:2,WWC:2　5F MWC:2,WWC:2	2F 多目的スペース（北側）：1　4F 多目的スペース（北側）：1 3F 多目的スペース（北側）：1　5F 多目的スペース（北側）：1	2F 多目的スペース（東西）：2　4F 多目的スペース（西側）：1 3F 多目的スペース（西側）：1　5F 多目的スペース（東側）：1	5F 多目的スペース（西側）：1	2F MWCS:1 5F MWCS:1		階段棟1F：1 階段棟2F：1	既存西棟1F：1 既存西棟4F：1
姿　図								
扉	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 40 仕上 B-AE	見込 40 仕上 B-AE	見込 40 仕上 B-AE
枠	タイプ C 見込 120 仕上 B-AE	タイプ C 見込 120 仕上	タイプ C 見込 129 仕上	タイプ C 見込 127 仕上	タイプ C 見込 120 仕上 B-AE	タイプ A 見込 100 仕上 B-AE	タイプ B 見込 170 仕上 B-AE	タイプ A 見込 260 仕上 B-AE
沓摺・窓台	タイプ 見込 仕上	タイプ 見込 仕上	タイプ 見込 仕上	タイプ 見込 仕上	タイプ 見込 仕上	タイプ A 見込 St 25×165 仕上 B-AE	タイプ C 見込 40 仕上 SUS,HL	タイプ A 見込 260 仕上 SUS,HL
水切	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上
ガラリ	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス	—	—	—	—	—	—	—	—
付属金物	—	—	—	—	—	H、S+ST、LH、DC、T,順位調整装置 付属金物一式	CH、レリーズ、付属金物一式	CL、LH、DC、H、T —
防火戸・エアータイト						特定防火設備：告示第2565号（遮煙）、SAT	特定防火設備（随時閉鎖式・遮煙）	防火設備、SAT
備　考						—	—	—

符号・型式	SP 1 学校用スチール製パーティション	WD 1 木製フラッシュ上吊り引違戸（既製品）	WD 2 木製フラッシュ上吊り片引戸（既製品）	sf 1 鋼製三方枠	aw 1 aw 1' アルミ製縦滑り窓	aw 2 aw 2' アルミ製はめ殺し縦滑り連窓	aw 3 アルミ製引違窓+Fix	aw 4 アルミ製縦たり連窓+Fix	sd 1 鋼製片開きフラッシュ戸
数　量	1 2 3 4 5 R 合計 25	1 2 3 4 5 R 合計 1	1 2 3 4 5 R 合計 5	1 2 3 4 5 R 合計 1	1 2 3 4 合計 1、3	1 2 3 4 合計 1、3	1 2 3 4 合計 2	1 2 3 4 合計 2	1 2 3 4 合計 1
設置場所	2F CR:1：7　4F CR:2：3 特支：2 3F CR:2：5　5F CR:3：8	5F 倉庫：1	5F 簡易WC：1、MWCS:1　5F 簡易WC：1、MWCS:1 4F WC：1	4F 空中歩廊（東側）先：1（既存棟）	階段棟1F 1'　—1箇所　階段棟3F 1　—1箇所 階段棟2F 1　—1箇所　階段棟4F 1　—1箇所	階段棟1F 2'　—1箇所　階段棟3F 2　—1箇所 階段棟2F 2　—1箇所　階段棟4F 2　—1箇所	西棟1F（ランチルーム）—2箇所	東棟3F（図書準備室）	1F 階段棟
姿　図									
扉	見込 30 仕上 粉体焼付塗装（木目）	見込 40 仕上 **米ツガ、オレフィンシート張り**	見込 40 仕上 **米ツガ、オレフィンシート張り**	見込	見込	見込	見込	見込	見込 40 仕上 B-AE
枠	タイプ — 見込 90 仕上 粉体焼付塗装	タイプ A 見込 110 仕上 扉同様	タイプ B 見込 130 仕上 扉同様	タイプ C 見込 304 仕上 B-AE	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ 見込 70 仕上 B-2	タイプ A 見込 130 仕上 B-AE
沓摺・窓台	タイプ — 見込 仕上 SUSヘアライン	タイプ C 見込 40 仕上	タイプ C 見込 40 仕上 アルミ	タイプ 見込 仕上	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×125 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×125 仕上 B-AE	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×100 仕上 **硬質塩ビ**	タイプ 材ｻｲｽﾞ St 25×40 仕上 **硬質塩ビ**	タイプ C 見込 40 仕上 SUS,HL
水切	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 仕上	見込 30 材 AL押出 仕上 B-2	見込 30 材 AL押出 仕上 B-2	見込 50 材 AL押出 仕上 B-2	見込 50 材 AL押出 仕上 B-2	見込 仕上
ガラリ	—	—	木製ｶﾞﾗﾘ(開口率35%)	—	—	—	—	—	—
ガラス	TG5	—	F-4	—	LE5+A12+TG5	LE5+A12+TG5	TG t4.0	PWG t6.8	—
付属金物	高さ調整式引戸戸車、堀込引手、錠前、振れ止め 高さ調整式障子戸車、落下防止ピン、クレセント、障子戸当り	**彫込引手、カマ状、V字レール、付属金物一式** —	ｽﾃﾝﾚｽ握棒、S+ST、上吊り金物､ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ 付属金物一式	— —	ハンドル、煽止め、開放制限金物 他付属金物一式	ハンドル、煽止め、開放制限金物 他付属金物一式	クレセント、他付属金物一式 —	ハンドル、煽り止め他付属金物一式 —	CL、LH、DC、PH、T —
防火戸・エアータイト	—	—	—	—	—	—			—
備　考	戸当たりゴム、不燃掲示板、				代用侵入口表示(3,4階)	—			—

■共通事項

（1）建具寸法はすべて枠内法寸法を示し、製作にあたっては再度現場調整する。

（2）アルミニュム建具の仕様は、特記仕様書および共通仕様書によるほか下記による。

1．耐風圧性
・S-1（ 800Pa）・S-2(1200Pa)　・S-3(1600Pa)
・S-4(2000Pa)　☆S-5(2400Pa)　・S-6(2800Pa)
・S-7(3600Pa)

2．気 密 性
・A-1(120等級線)　☆A-2(30等級線)
・A-3(8等級線)　・A-4(2等級線)

3．水 密 性
・W-1(100Pa)　・W-2(150Pa)　・W-3(250Pa)
☆W-4(350Pa)　・W-5(500Pa)

4．遮音等級
・T-1(25等級線)　☆T-2(30等級線)
・T-3(35等級線)　・T-4(40等級線)

5．表面処理
・A-1 種・A-2 種・B-1 種・B-2 種
・C-1 種・C-2 種・D 種

6．アルミニウム製建具の乙種防火戸取扱いについて
・製品は認定品の使用を原則とするが、認定品で対応できない場合は 認定品を有するメーカー製品とし、建具寸法をできるだけ 認定品に近い寸法とし、かつ認定品と同一の部材を使用し、方立・無目については厚み２mmとする。尚、網入ガラスの取り付けは、パテ（JIS A5752の２種金属製建具用ガラスパテ）又は、認定製品を使用すること。

（3）ステンレス建具の仕様は、特記仕様書および共通仕様書によるほか下記による。

1．曲げ加工
・普通曲げ ・角だし ・半角だし

2．表面仕上
・バフ・ＨＬ・梨地・塗装・電解発色

■建具符号略号

SD	・鋼製戸	TD	・強化ガラス製戸
SW	・鋼製窓	PG	・プラスチック製ガラリ
SG	・鋼製ガラリ	SP	・鋼製パーティション
SS	・重量シャッター	WD	・木製戸
LSD	・鋼製軽量戸	WW	・木製窓
LSS	・鋼製軽量シャッター	WG	・木製ガラリ
STD	・ステンレス製戸	H	・ふすま
STW	・ステンレス製窓	WF	・戸ふすま
STG	・ステンレス製ガラリ	P	・紙障子
STS	・ステンレス製シャッター		
AD	・アルミ製戸		
AW	・アルミ製窓		
AG	・アルミ製ガラリ		

■材料・仕上略号

S	・・鋼
AL	・・アルミ
ST	・・ステンレス
BR	・・真ちゅう
W	・・木

■ガラス略号

SG	・・透明ガラス
FL	・・透明ガラス
F	・・型板ガラス
TG	・・強化ガラス
PSG	・・磨きガラス
PWG	・・網入磨きガラス
FWG	・・網入型板ガラス
HG	・・熱線吸収ガラス
P	・・フロートガラス

LE・・low-Eガラス（高断熱タイプ）
Le・・low-Eガラス（遮熱タイプ）
LE*+A+F L*・・複層ガラス

■塗装略号

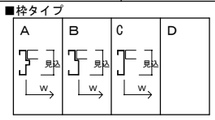
SOP	・・合成樹脂合ペイント
FE	・・フタル酸樹脂エナメル塗り
VE	・・塩化ビニル樹脂エナメル塗り
EP	・・合成樹脂エマルションペイント塗り
AEP	・・アクリル樹脂系エマルション塗料
多彩	・・多彩模様塗料
AC	・・アクリル樹脂ワニス塗り
GWP	・・水系有光沢塗料
UC	・・ウレタン樹脂ワニス塗り
UE	・・ポリウレタン樹脂系塗料
aIP	・・アルミニウムペイント塗り
GP	・・塩化ゴム系塗料
ExP	・・エポキシ樹脂系塗料
TExP	・・タールエポキシ樹脂系塗料

焼付形塗料
B-AE・・アクリル樹脂塗料
2-FUE・・常温フッ素樹脂塗料

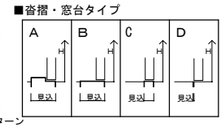
■付属金物略号

H	・・丁番
PH	・・ピボットヒンジ
FH	・・フロアーヒンジ
LH	・・ラバトリーヒンジ
HC	・・ヒンジクローザー
DC	・・ドアクローザー
FB	・・あげ落とし
AS	・・あおり止め
T	・・戸当たり
CL	・・シリンダー本締錠（サムターン付き）
ML	・・本締付モノロック
GL	・・グレモン錠
MC	・・モノロック空錠
CH	・・ケースハンドル錠
S+ST	・シリンダー+サムターン
S	・シリンダー

■枠タイプ



■沓摺・窓台タイプ



■特記事項

・クレセント、オペレーターの設置高さはFL+800～1500とする。
・日射取得型とはLow-E高断熱タイプとする。
・ガラス厚は耐風圧計算（100年確率）及び開口部のガラス安全指針で確認すること。

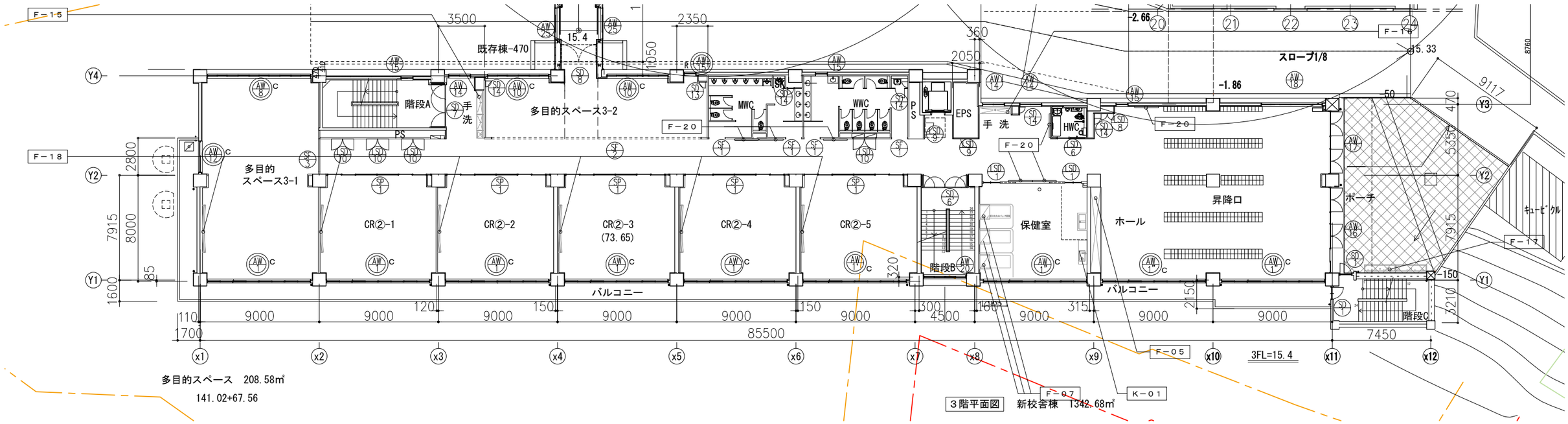
技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	建具表 3	縮尺 1/200(A3) 1/100(A1)	A-091
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(092/224)

家具凡例

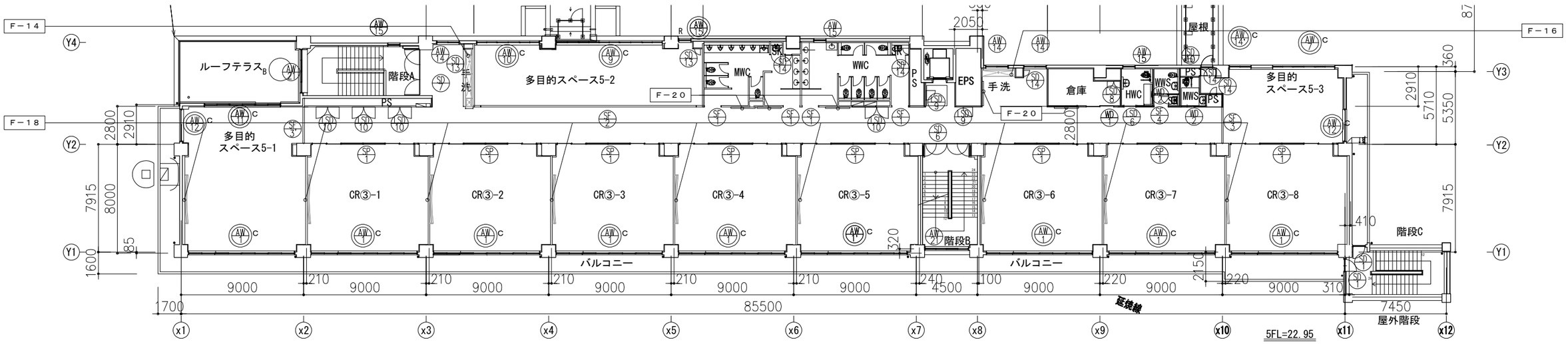
F－０５	３階　昇降口　ホール　木製展示ケース	１ヶ所	F－１４	２，５階　手洗い流し台（階段西側付近）	２ヶ所	F－１８	２・３・４・５階　ＵＤ曲面黒板	３０ヶ所	K－０１	３階　保健室 流し台、吊戸棚	１ヶ所	B C R	ｶｰﾃﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ設置建具を示す。		
F－０７	３階　保健室　折りたたみベット収納	３ヶ所	F－１５	３，４階　手洗い流し台（階段西側付近）	２ヶ所	F－２０	廊下 掲示板	4ヶ所	K－０２	４階　多目的スペース キッチン（IH仕様）、吊戸棚	１ヶ所				
			F－１６	２・３・４・５階　手洗い流し台（廊下）	４ヶ所				K－０３	４階　給湯室 流し台、吊戸棚	１ヶ所				
			F－１７	３階　昇降口前　流し台	１ヶ所										



株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	家具キープラン１（2、3階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-092
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(093/224)

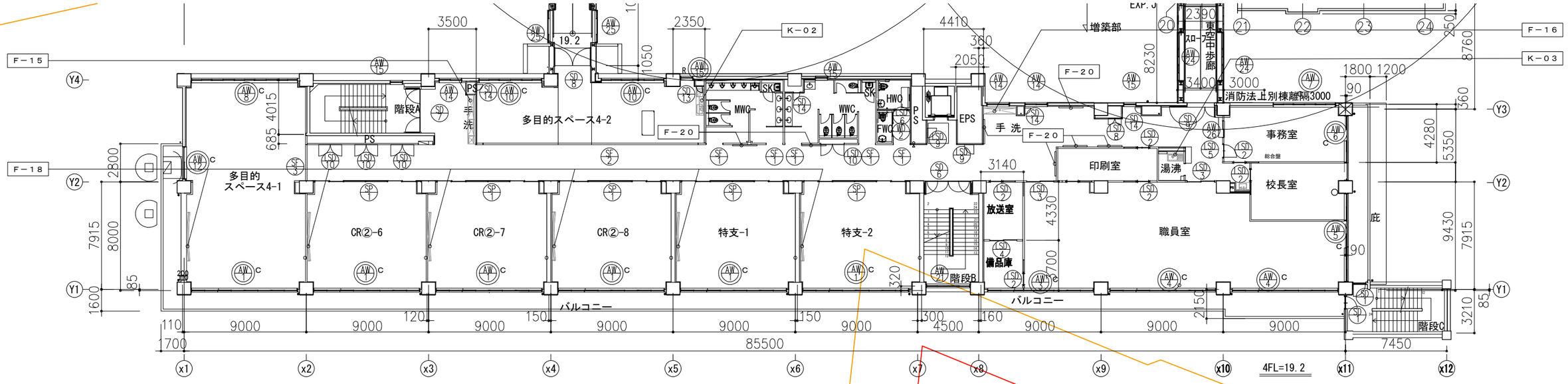
家具凡例

F－０５	３階　昇降口　ホール　木製展示ケース	１ヶ所	F－１４	２，５階　手洗い流し台（階段西側付近）	２ヶ所	F－１８	２・３・４・５階　ＵＤ曲面黒板	３０ヶ所	K－０１	３階　保健室 流し台、吊戸棚	１ヶ所	B C R	ｶｰﾃﾝ､ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ､ ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ設置建具を示す。						
F－０７	３階　保健室　折りたたみベット収納	３ヶ所	F－１５	３，４階　手洗い流し台（階段西側付近）	２ヶ所	F－２０	廊下 掲示板	４ヶ所	K－０２	４階　多目的スペース キッチン（IH仕様）、吊戸棚	１ヶ所								
			F－１６	２・３・４・５階　手洗い流し台（廊下）	４ヶ所				K－０３	４階　給湯室 流し台、吊戸棚	１ヶ所								
			F－１７	３階　昇降口前　流し台	１ヶ所														



多目的スペース　205.19㎡

99.88+79.12+26.19



多目的スペース　208.58㎡

141.02+67.56

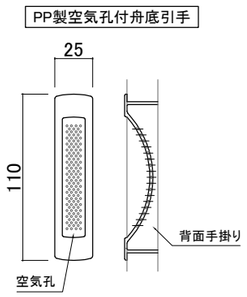
株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
		図面名	家具キープラン２（４，５階）	縮尺	1/300(A3) 1/150(A1)	A-093
		船橋市建設局建築部建築課		令和7年度		(094/224)

木製家具標準仕様『特記無き場合は下記の仕様とする』　仕様:ECOボードプラス

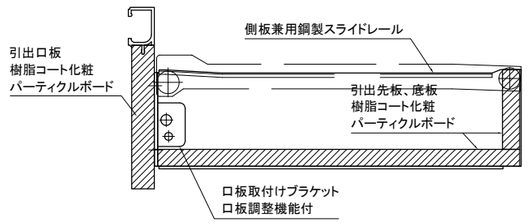
地球環境問題(リサイクル、温暖化等)に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に
主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。

樹脂コート化粧 パーティクルボード (ECOボードプラス)	ホルムアルデヒド放散量「0.04mg/l」以下とする。 マテリアルリサイクル可能品(メラミン樹脂含浸の低圧メラミン等は使用不可) 「JIS A 5908」適合品の国内生産品とする。 表面材:単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
樹脂コート化粧MDF (NEOボードプラス)	JIS-F☆☆☆☆適合品 MDFは国産木材の使用比率70%以上とし、「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品とする 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 表面材:単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
ポリエステル 化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。 F☆☆☆☆適合品
本体	主材:樹脂コート化粧パーティクルボードt20(ECOボードプラス) 背板、地板取外し部:樹脂コート化粧MDF(NEOボードプラス)t4mm
木口	本体見掛り:非塩ビ化粧樹脂シートt1.0貼 本体見隠れ:非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼
天板	高圧メラミン化粧板貼　ポストフォーム加工 ※ポストフォーム天板に使用するメラミンの厚さはt0.8以上とする。
実験台、作業台天板 (ケミサーフ)	ケミサーフ:耐薬品性フェノール樹脂板(黒)　MDFフラッシュ下地、ダイスコア芯 木口:ABS樹脂エッジ巻(天板厚t45)、TPO樹脂エッジ巻き(天板厚t26) ※　ウィルソナート社製ケミサーフ、又は同等品以上とする。
開戸(ガラス戸)	樹脂コート化粧パーティクルボードt20(ECOボードプラス)、木口:非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 ワンタッチ脱着式スライド丁番(キャッチ機能付)　105°開き 透明強化ガラスt4mm、樹脂製セーフティーガラス押え
木製引違戸 (板戸)	樹脂コート化粧パーティクルボードt20(ECOボードプラス)、木口:非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 樹脂製戸車(立付け調整可能)、PP樹脂製空気孔付舟底引手、硬質樹脂製敷居・鴨居
アルミ引違戸 (ガラス戸)	四方框、鴨居・敷居:高剛性アルミフレーム(メラミン焼付塗装:白)、透明強化ガラスt4mm 框一体成形ライン引手、調整式戸車
引出	口板:樹脂コート化粧パーティクルボードt20(ECOボードプラス)、木口:非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 底板、先板:樹脂コート化粧パーティクルボード 側板兼用鋼製スライドレール、口板取付けブラケット(調整機能付)、品名差付ラインハンドル
可動式棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ(NEOボードプラス) 棚板底面にずれ止めのダボジャクリを施すこと。 ※W600以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 　また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。 棚受けダボ:φ9mmネジ込式(W1/4)　アルミ製ニッケルメッキ　P=60mm　3段
台輪	ポリエステル化粧合板貼　　下地:ランバーコア合板t15(四方組)
ステンレス天板	SUS304　t1.0　表面仕上:＃400、低温アルゴン溶接加工品　下地:合板t9mm
ステンレスシンク	SUS304　t1.0　表面仕上:＃400、低温アルゴン溶接加工品 ※板厚が薄くなるため、プレス加工品は使用不可とする。
排水トラップ	N-14BPs:樹脂製(ステンレスプレート、大型ゴミカゴ付)、N-14ASI:ステンレス製 ※給排水管やそれらの接続、及び接続に関わる穴あけ等の二次加工は設備工事とする。
共　通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。 ※「西尾家具工芸社」製品、又は同等品以上とすること。 ※製作家具本体は国内生産品とする。

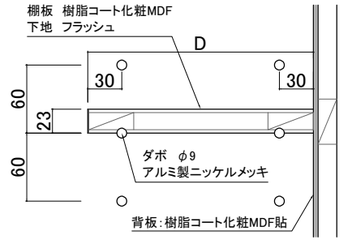
把手、引手 詳細図



引出 詳細図(側板兼用鋼製スライドレール仕様)

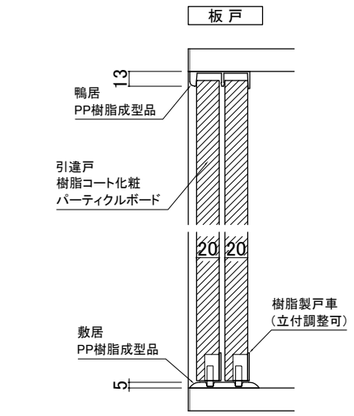


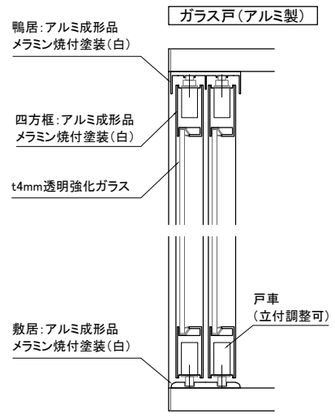
可動棚板 詳細図



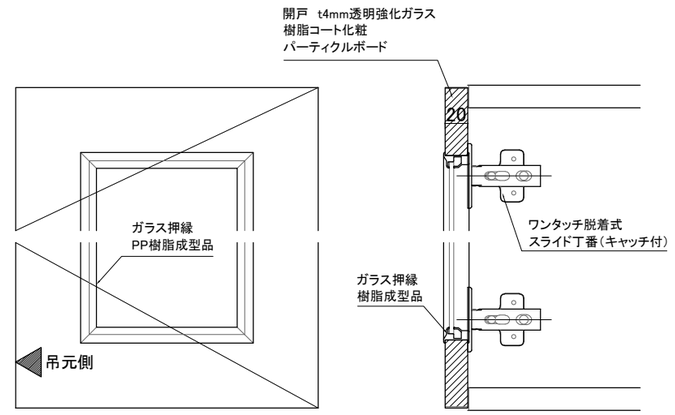
※W600以上の棚板は強度を考慮し、
パーティクルボードの使用は不可とする。
また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。

引違戸 詳細図

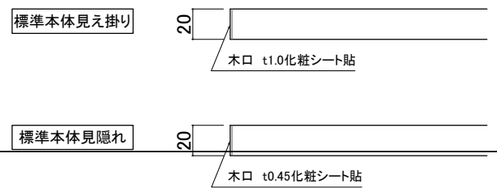




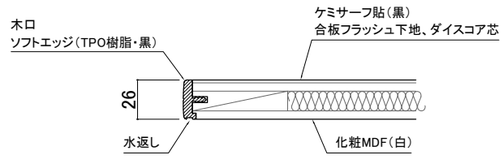
開ガラス戸 詳細図



本体、棚板　木口仕上 詳細図



実験台　天板詳細図



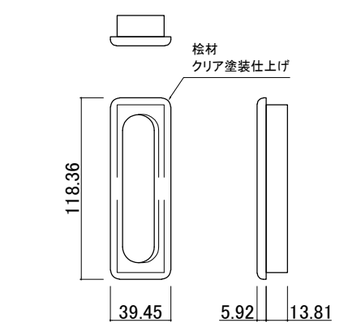
実験台天板断面図

木製家具標準仕様『特記無き場合は下記の仕様とする』　仕様:桧間伐台形集成材

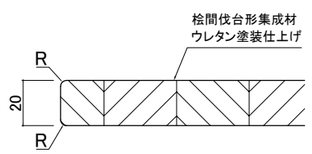
国産材の積極的な活用を通じて森林を活性化させ、国内のCO2などの温室効果ガスを削減に寄与することに主眼を置き、
各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。

桧集成材	桧間伐台形集成材(国内産材) 自然系塗料仕上(オイルフィニッシュ)
化粧MDF (NEOボードプラス)	JIS-F☆☆☆☆適合品 MDFは国産木材の使用比率70%以上とし、「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品とする 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 表面材は防汚機能を有するメラミンコート(桧間伐集成材柄)
接着剤	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。F☆☆☆☆適合品
塗料	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。JIS-F☆☆☆☆適合品 ※JIS-F☆☆☆☆に適合していない「自然塗料」の使用は不可。
本体	主材:桧間伐台形集成材　自然系塗料仕上げ 背板、地板取外し部:化粧MDF(NEOボードプラス)t4mm
天板	桧間伐台形集成材　ウレタンクリア塗装
開戸(板戸)	枠組:桧間伐台形集成材　自然系塗料仕上げ 鏡板:桧間伐台形集成材　自然系塗料仕上げ t9mm ワンタッチ脱着式スライド丁番(キャッチ機能付)　105°開き
台輪	桧間伐台形集成材　自然系塗料仕上げ　t20mm ※床の不陸による家具台輪と床仕上げ面との隙間はシール処理(建築工事)とする。

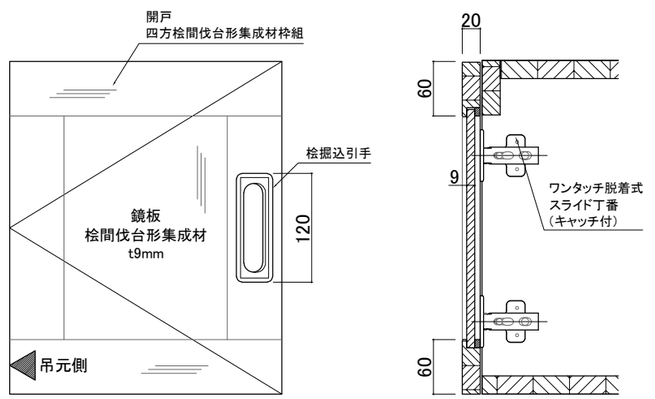
桧材掘り込み引手



天板詳細図



開戸(板戸) 詳細図



株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

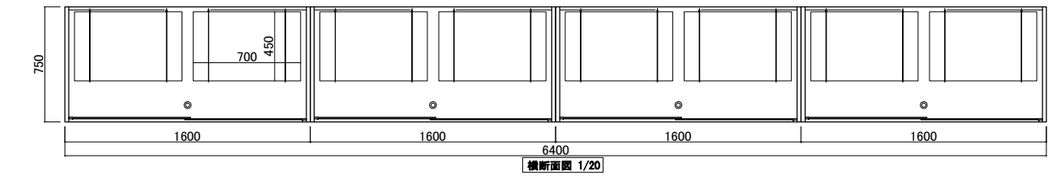
一級建築士　(第 274708号)　山岡　信弘
構造設計一級建築士(第 6608号)　長坂　典和
設備設計一級建築士(第 753号)　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事			図面番号
図面名	家具詳細図 1 (仕様書)	縮尺	ー	A-094
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(095/224)

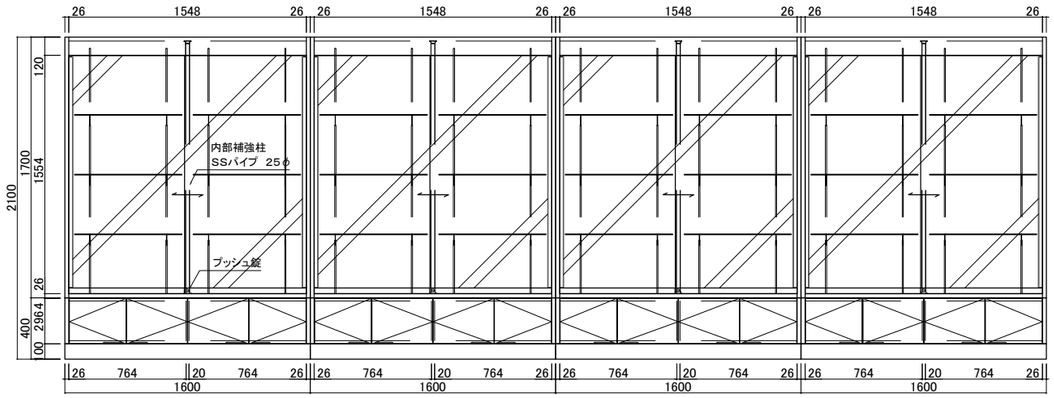
F-05　3階 ホール 木製展示ケース　1ヶ所

品名	木製展示ケース	品番	GSTC-1H.ZZ

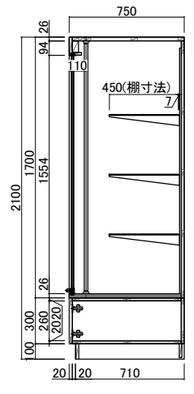
仕様	
本体主材	シナ合板フラッシュ UC塗装 木口：木面貼t2mm UC塗装
背板	シナ合板貼 UC塗装
ガラス戸	ガラス：透明強化ガラスt6mm ステンレス掘込レール ステンレスハカマ、ハカマ用ベアリング ハカマ用プッシュロック ステンレス破損止め兼用引手
ガラス棚	ガラス：透明強化ガラスt5mm 棚受ブラケット(ロイヤル：A-11　呼び名450 クローム)、棚柱
開戸	シナ合板フラッシュ UC塗装 木口：シナ突板 UC塗装 スライド丁番(キャッチ付)、扉下端手掛け掘り込み加工
内部金物	内部補強柱：ステンレス巻きパイプ▱25 ▱25用パイプソケット
台輪	シナ合板貼 UC塗装



横断面図 1/20



立面図 1/20(A1)



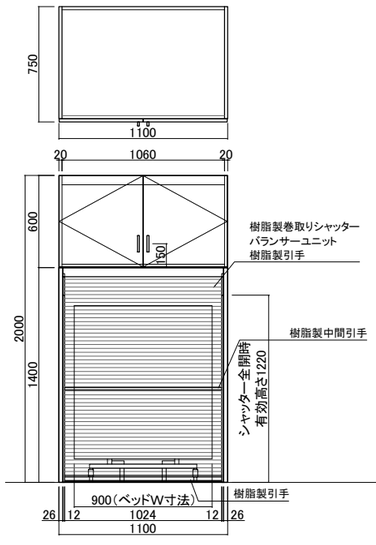
断面図 1/20(A1)

F-07　3階 保健室 折りたたみベッド収納　3ヶ所

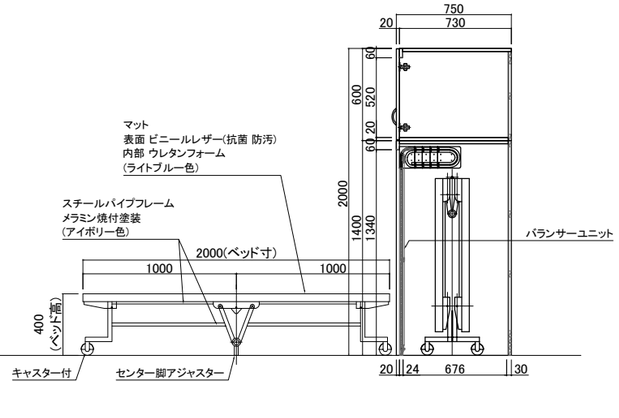
品名	折りたたみベッド収納	品番	NHS-1

仕様	
本体主材	上段：樹脂コート化粧パーティクルボード 下段：樹脂コート化粧MDFフラッシュ 木口：樹脂シートt1.0mm貼
背板	樹脂コート化粧MDF貼
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、ABS樹脂製ハンドル(白)
シャッター	樹脂製巻取りシャッター(アイボリー色) 樹脂製U字引手、樹脂製中間引手 バランサーユニット

附属品		
ベッド	折畳みベッド 外寸法：W2000×D900×H400 折畳み寸法：W900×D230×H1160	1

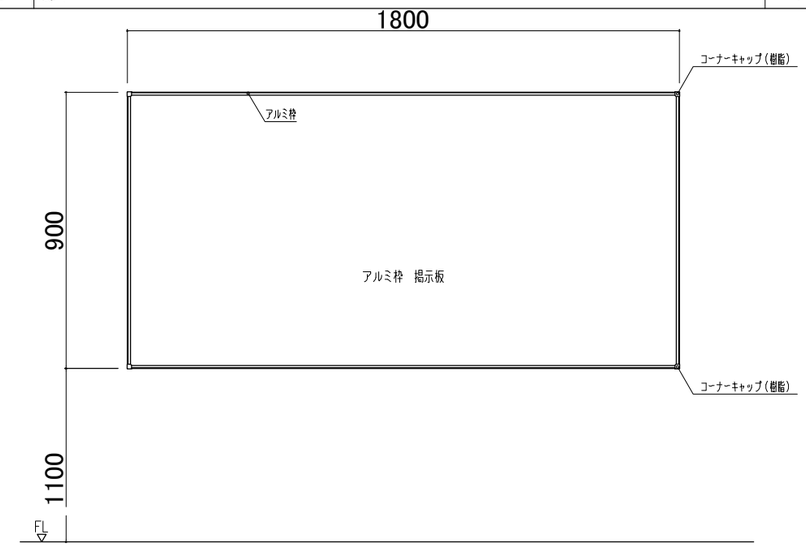


立面図 1/20

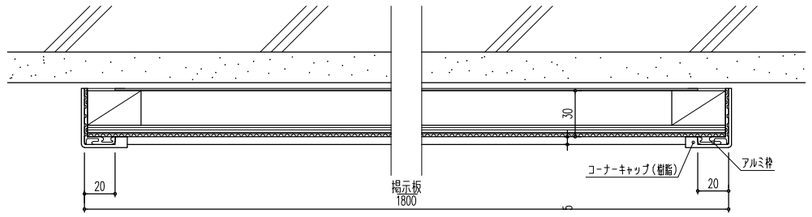


断面図 1/20(A1)

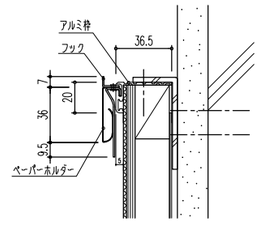
F-20　廊下　4ヶ所



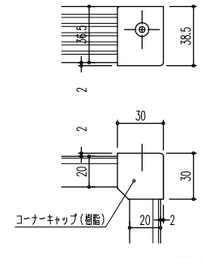
展開図　1/10(A1)



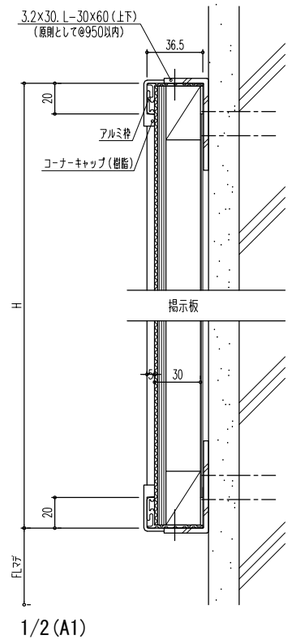
横断面図　1/10(A1)



ペーパーホルダー（フック付）の付く場合



コーナーキャップ　詳細図

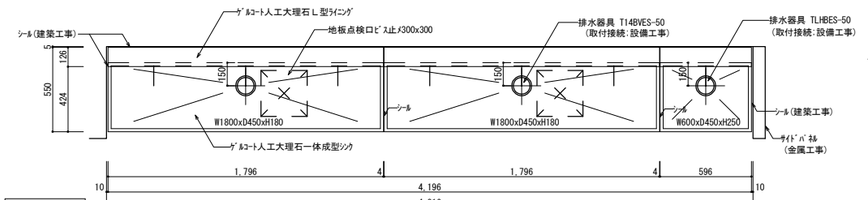


縦断面図　1/2(A1)

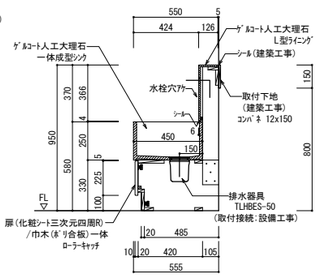
	株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
			図面名	家具詳細図２	縮尺 図示	A-095
				船橋市建設局建築部建築課		令和7年度　(096/224)

F-14　2階,5階　手洗い流し台（階段西側付近）　1ヶ所

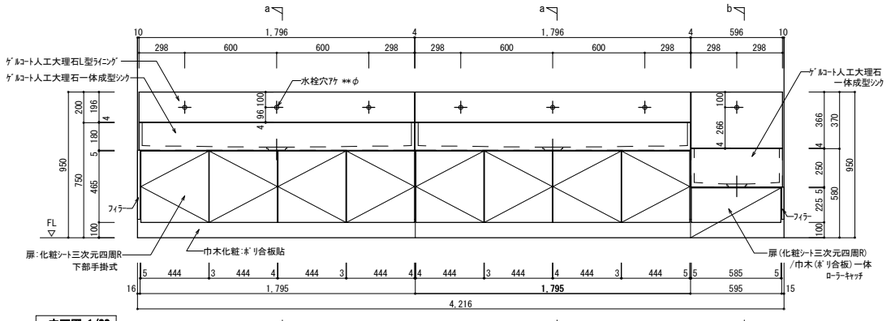
仕　様	
ﾗｲﾆﾝｸﾞ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　EQL 1804518 EQL 604525
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R（共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ）
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体/巾木	ﾎﾟﾘ合板　5414色（白）



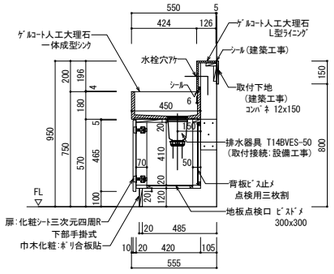
平面図 1/20



b-b 断面図 1/20



立面図 1/20

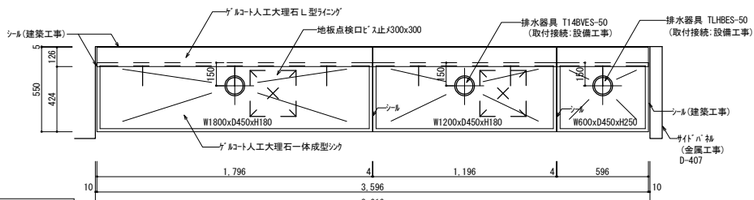


a-a 断面図 1/20

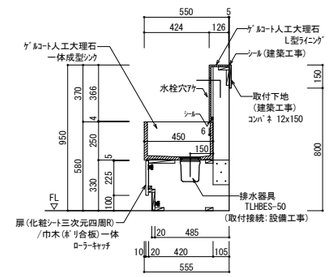
※　取合いシールは5ｘ5（ＳＲ－１）とする

F-15　3階,4階　手洗い流し台（階段西側付近）　1ヶ所

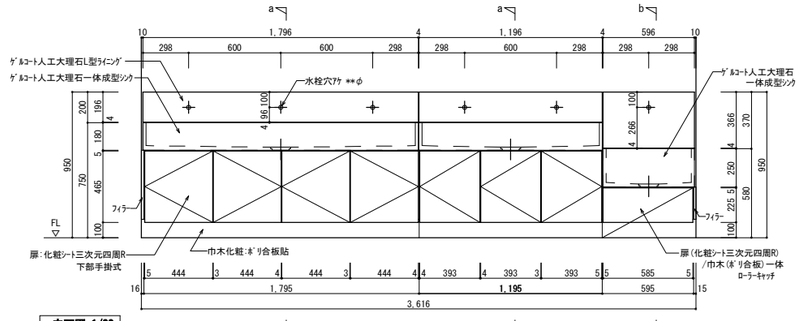
仕　様	
ﾗｲﾆﾝｸﾞ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　EQL 1804518 EQL 1204518　EQL 604525
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R（共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ）
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体/巾木	ﾎﾟﾘ合板　5414色（白）



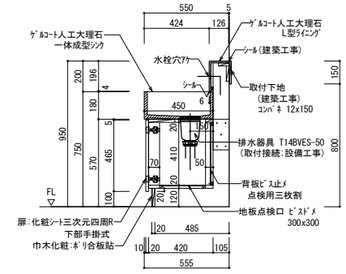
平面図 1/20



b-b 断面図 1/20



立面図 1/20

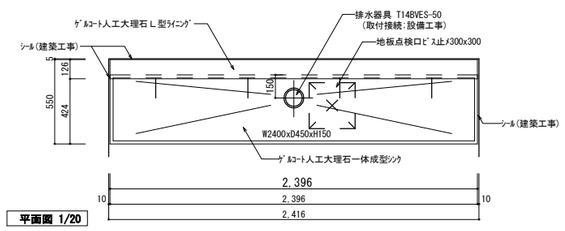


a-a 断面図 1/20

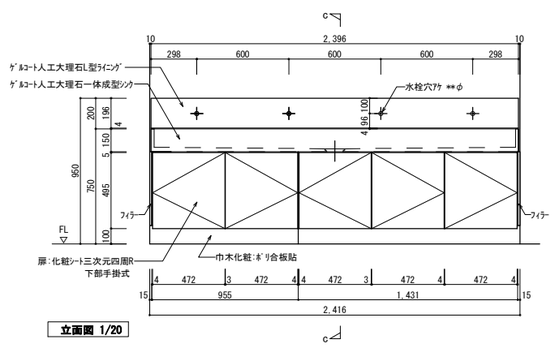
※　取合いシールは5ｘ5（ＳＲ－１）とする

F-16　2・3・4・5階　手洗い流し台（廊下）　4ヶ所

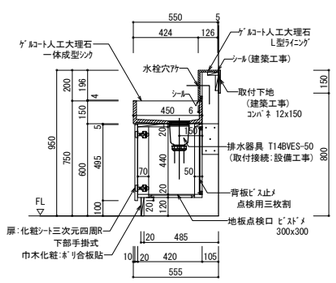
仕　様	
ﾗｲﾆﾝｸﾞ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　EQL 2404515
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R（共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ）
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体/巾木	ﾎﾟﾘ合板　5414色（白）



平面図 1/20



立面図 1/20

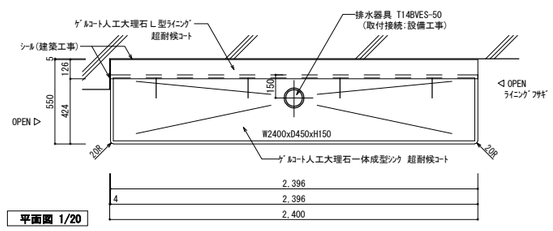


c-c 断面図 1/20

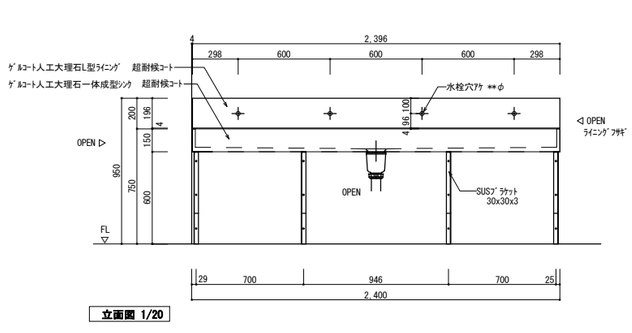
※　取合いシールは5ｘ5（ＳＲ－１）とする

F-17　3階，昇降口前　手洗い流し台（屋外用）　1ヶ所

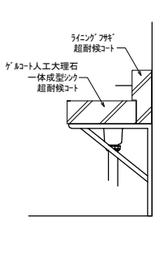
仕　様	
ﾗｲﾆﾝｸﾞ　超耐候ｺｰﾄ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石
ｼﾝｸ　超耐候ｺｰﾄ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　EQL 2404515
	SUSﾌﾞﾗｹｯﾄ　30x30x3



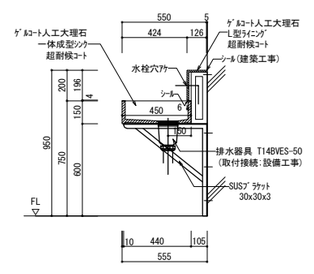
平面図 1/20



立面図 1/20



側面図 1/20



断面図 1/20

※　取合いシールは5ｘ5（ＳＲ－１）とする

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

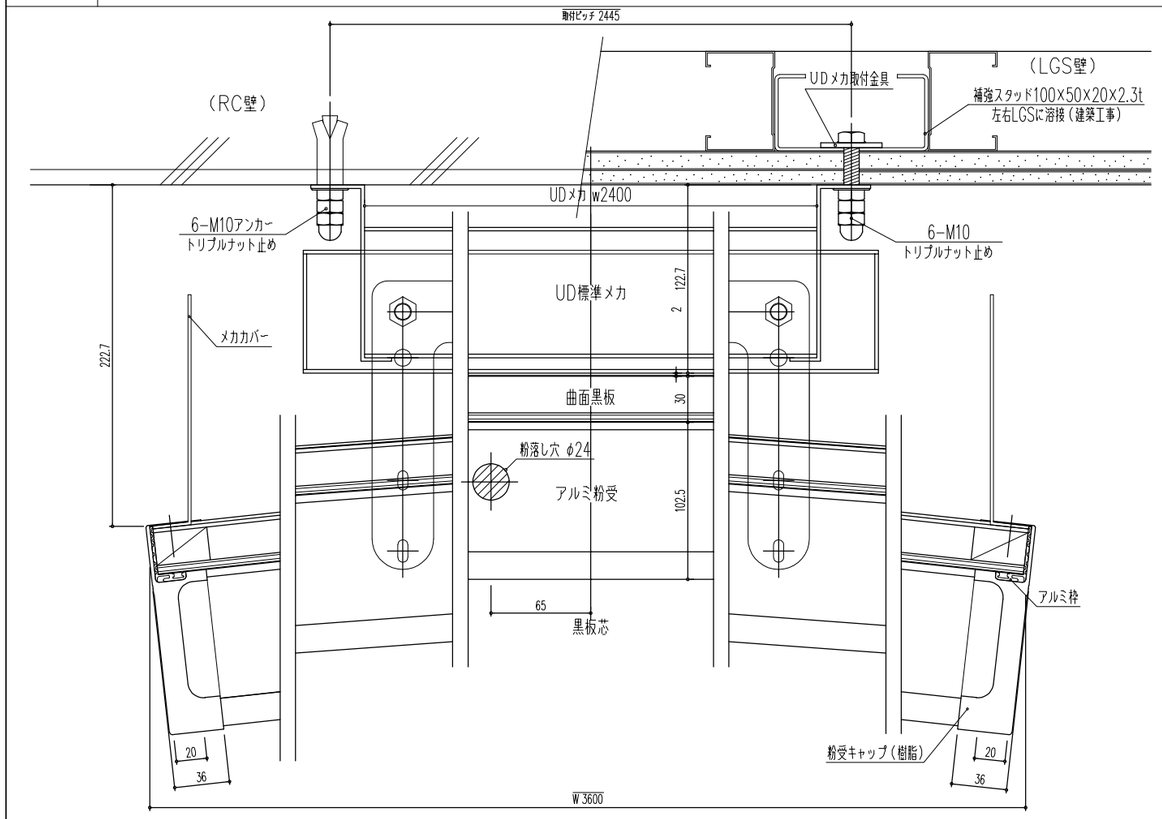
一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	家具詳細図３	縮尺 1/40(A3) 1/20(A1)	A-096
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(097/224)

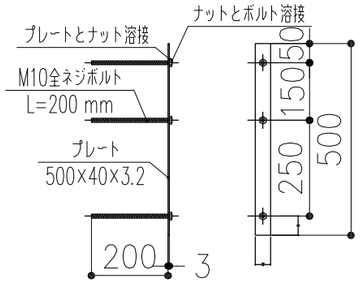
室　名	W × H	員数	備　考
教室	3600×1200	25	
多目的スペース	3600×1200	5	

（黒板　共通仕様）

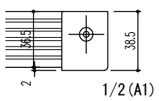
1．　黒板　：　黒板・は黒板ＪＩＳ規格（ＪＩＳ　Ｓ　６００７）認定工場で製作する。
2．　表面材　：　黒板の表面材はホーロー焼付鋼板を使用する。
　　板面色については色見本を提出の上決定とする。
3．　粉受　：　黒板消しが横に寝かせた状態で置けるものとする。（有効巾約８０ｍｍ）
4．　取付　：　取付壁・下地別に施工図を作成し、承認を受けて施工すること。
5．　その他　：　品質確保のため、製作はＩＳＯ　９００１取得企業とする。
　　環境配慮のため、製作はＩＳＯ　１４００１取得企業とする。
　　製作にあたり、事前に製品の品質証明書および材料と接着の安全データシートを提出し承認を受ける。



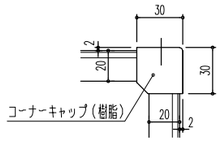
横断面図　1/2(A1)



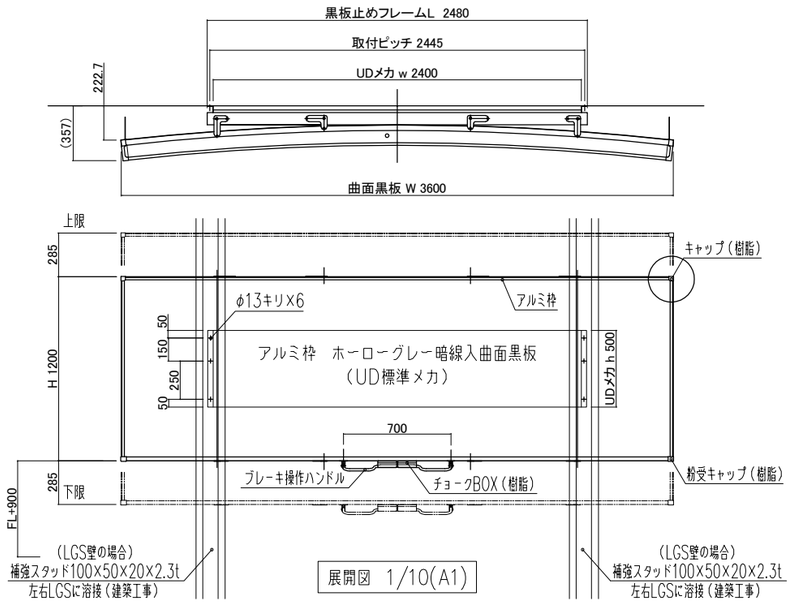
UD下地取付金物（LGS壁用）
1/8(A1)



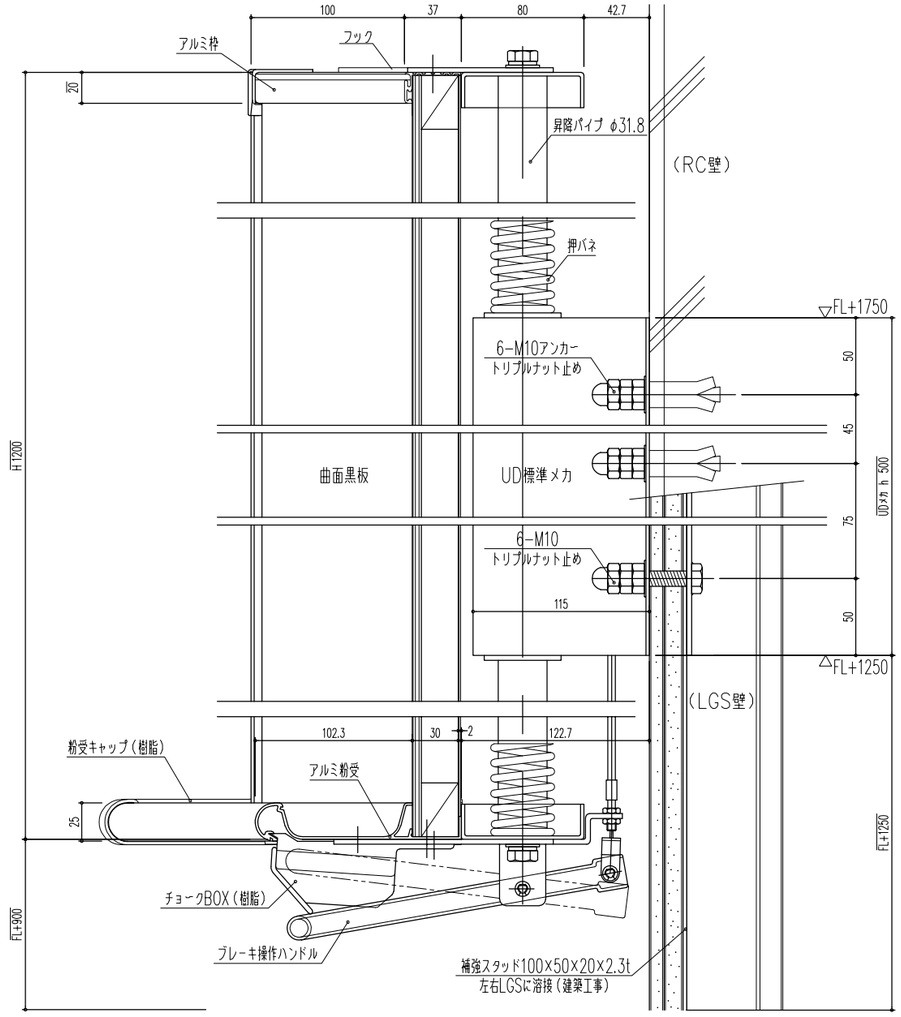
1/2(A1)



コーナーキャップ　詳細図
1/2(A1)



展開図　1/10(A1)



縦断面図
1/2(A1)

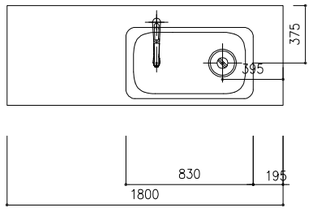
※取付高さは標準的な場合を示す。

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

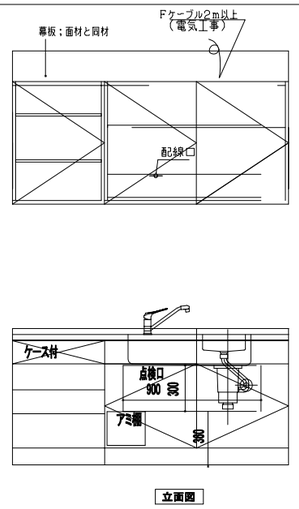
一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	家具詳細図 4	縮尺 図示	A-097
船橋市建設局建築部建築課		令和7年度	(098/224)

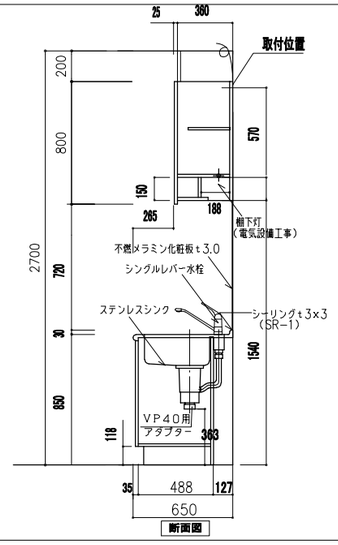
K-1　3階　保健室流し台、吊戸棚　　1ヶ所



平面図



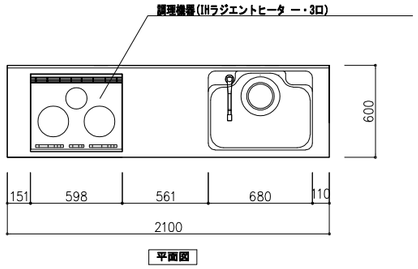
立面図



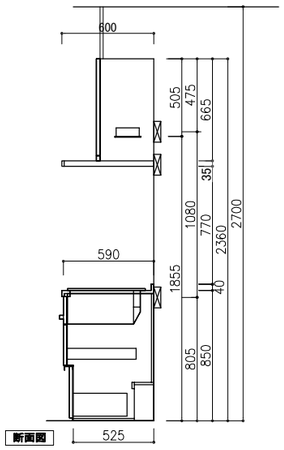
断面図

共通	品名	仕様	
	天板		人造大理石
	下台	扉	メラミン左右1／4R
		本体	ラミネート合板
		底板	ダップ合板(NO。133)
		部品	包丁差し 網棚 スライドラック
	吊戸棚	扉	下台同じ　扉下がり 25mm
		本体	ラミネート合板
		部品	棚板
			耐震ラッチ付
	水栓		上げ吐水　　φ36

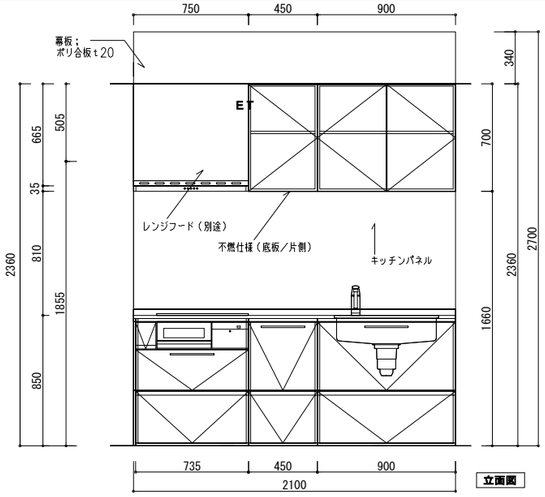
K-2　4階　多目的スペース　キッチン(IH仕様)　　1ヶ所



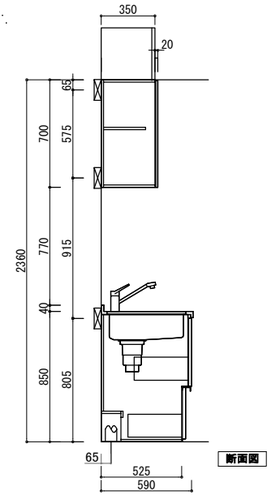
平面図



断面図



立面図

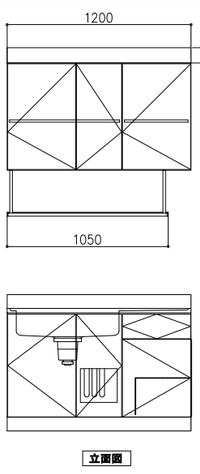


断面図

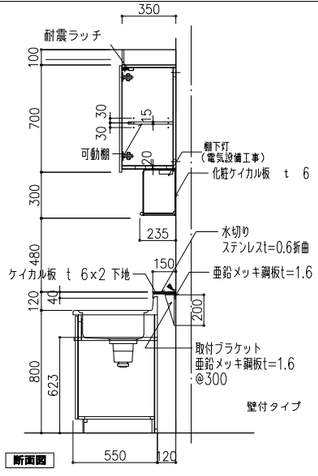
共通	品名	仕様	
	天板		人造大理石
	シンク		ステンレスシンク(TUシンク)
	下台	扉	
		本体	
		底板	
	吊戸棚 1	本体	不燃仕様(底板／片側) 取手レス仕様
	吊戸棚 2	本体	取手レス仕様
	吊戸棚 共通	部品	耐震ラッチ
	水栓		シングルレバー水栓
	調理器具		IHクッキングヒーター・3口

キッチンパネル　製品仕様　　基材:けい酸カルシウム板 t=6
仕上げ塗装:アクリルウレタンUV

K-3　4階　湯沸室　流し台、吊戸棚



立面図



断面図

■仕様（流し台）

区分	部品	流し台
上板	流し台ランク	ステンレス　防滞処理
扉面材	本体	両面化粧パーティクルボード
	本体	DAPシート
側板	本体	両面化粧パーティクルボード
	本体	ABSシート
底板	表面材	ウレタン塗装合板
	芯材	パーティクルボード
腰板	本体	ABSシート
背板	表面材	両面化粧パーティクルボード
	芯材	化粧MDF
鴨居		化粧MDF
ケコミ		化粧MDF
その他構造材	上桟	パーティクルボード
	取付桟	パーティクルボード
	上桟補強	亜鉛メッキ鋼板
トラップ用ゴミ受枠		ポリプロピレン樹脂（カゴ：ポリプロピレン樹脂）
フレキンプル排水ホース		塩化ビニル樹脂
可動棚板		ポリプロピレン樹脂
防臭防虫キャップ		軟質塩化ビニル樹脂
包丁差し		ポリプロピレン樹脂
棚網		鋼棒、ポリエチレンコーティング
引出し		ポリプロピレン樹脂
戸当たり		ポリウレタン
取手		ABS樹脂（表面：メタリック仕上げ）
ヒンジ		スチール、ニッケルメッキ仕上

■仕様（吊戸棚）

区分	部品	吊戸棚
扉面材	本体	両面化粧パーティクルボード
	本体	DAPシート
側板	本体	両面化粧パーティクルボード
	本体	ABSシート
底板	外面	化粧MDF
	内面	化粧MDF、又はウレタン塗装合板
	芯材	パーティクルボード
	本体	ABSシート
背板	内面	化粧MDF
	芯材	パーティクルボード
天板	内面	化粧MDF
鴨居（額縁部）	表面材	ウレタン塗装合板
	芯材	パーティクルボード
その他構造材	見込	塩化ビニル樹脂シート巻材、又は
	見隠	両面化粧パーティクルボード
棚板		両面化粧パーティクルボード
戸当たり		ポリウレタン
取手		ABS樹脂
ヒンジ		スチール、ニッケルメッキ仕上

■仕様（水切棚）：1段型　間口1050　よきん掛け・フック付き

カーテン、ブラインド、ロールスクルーン数量表

カーテン数量表

設置建具	箇所数 2F	3F	4F	5F	合計数	サイズ	備考
AW－ 1 用	7	5	5	8	25	2920Lx2(引分け)x1900H+2050L(片引き)x2720H	
AW－ 1' 用	1	1	1	1	4	2920Lx2(引分け)x1900H+2050L(片引き)x2720H	不燃ガラスクロス
AW－ 1" 用	－	3	－	－	3	2920Lx2(引分け)x1900H+2050L(片引き)x2720H	
AW－ 2 用	1	－	－	－	1	2920Lx2(引分け)x1900H+2050L(片引き)x2720H	
AW－ 3 用	－	－	1	－	1	1990Lx1900H(片引き)x2ケ+1990L(片引き)x2720Hx2ケ	
AW－ 4 用	－	－	2	－	2	1990Lx2(引分け)x1900H+1990L(片引き)x2720H	
AW－ 5 用	－	－	1	－	1	2495L(片引き)x1900H+1960L(片引き)x2720Hx2ケ	
AW－ 6 用	－	－	1	－	1	1570L(片引き)x1900H+1900L(片引き)x2720H+1305L(片引き)x1900H	
AW－ 7 用	－	－	1	－	1	2320Lx2(引分け)x1640H	
AW－7, 14' 用	－	－	－	1	1	2345Lx2(引分け)x1640H+3150L(片引き)x1640H	
AW－ 8 用	2	1	1	－	3	3945Lx2(引分け)x1640H	
AW－ 9 用	－	－	－	1	1	3090Lx2(引分け)x1640H+1710L(片引き)x2130H	
AW－10 用	1	2	2	1	6	2365Lx2(引分け)x1640H	
AW－11 用	－	－	－	1	1	2920Lx2(引分け)x1900H+2050L(片引き)x2720H	
AW－12 用	1	1	1	2	5	3780L(片引き)x1640H+1910L(片引き)x2720H	

ブラインド数量表

設置建具	箇所数 2F	3F	4F	5F	合計数	サイズ	備考
AW－ 21用	－	－	－	1	1	1585Lx1490Hx2ケ	外付けブラインド

ロールスクリーン数量表

設置建具	箇所数 2F	3F	4F	5F	合計数	サイズ	備考
AW－ 15 用	1	1	1	1	4	850Lx1510H	額縁内設置、ガラススクリーン

医療用カーテン数量表

設置場所	箇所数 2F	3F	4F	5F	合計数	サイズ	備考
医務室	－	3	－	－	3	[2320L+200ｒ(1/4)+1435L+200ｒ(1/4)] ｘ2700H	天井付け、上部メッシュ

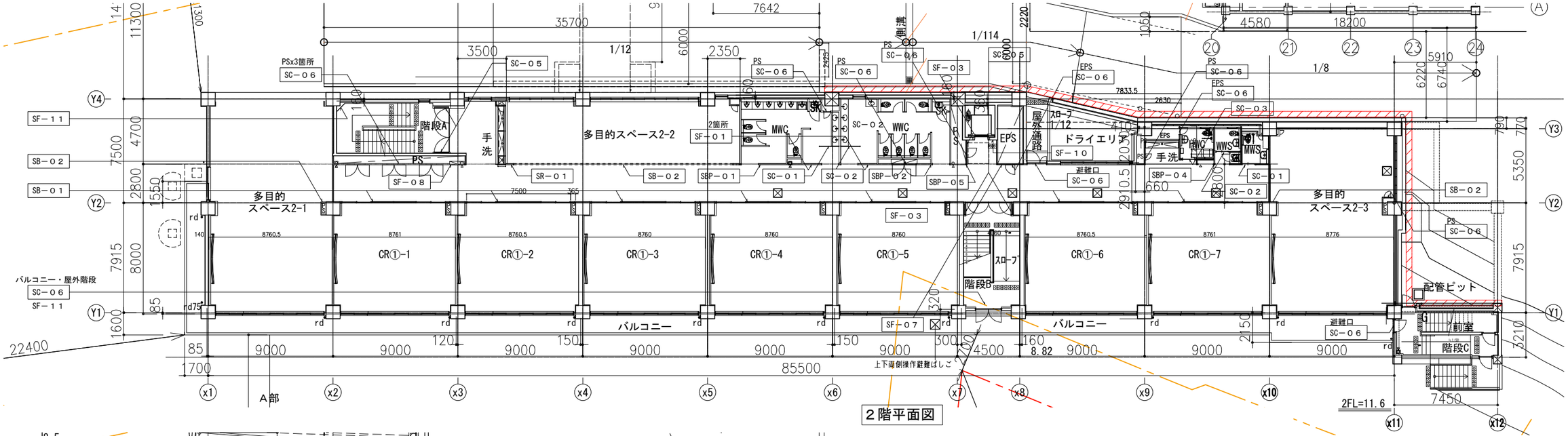
株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

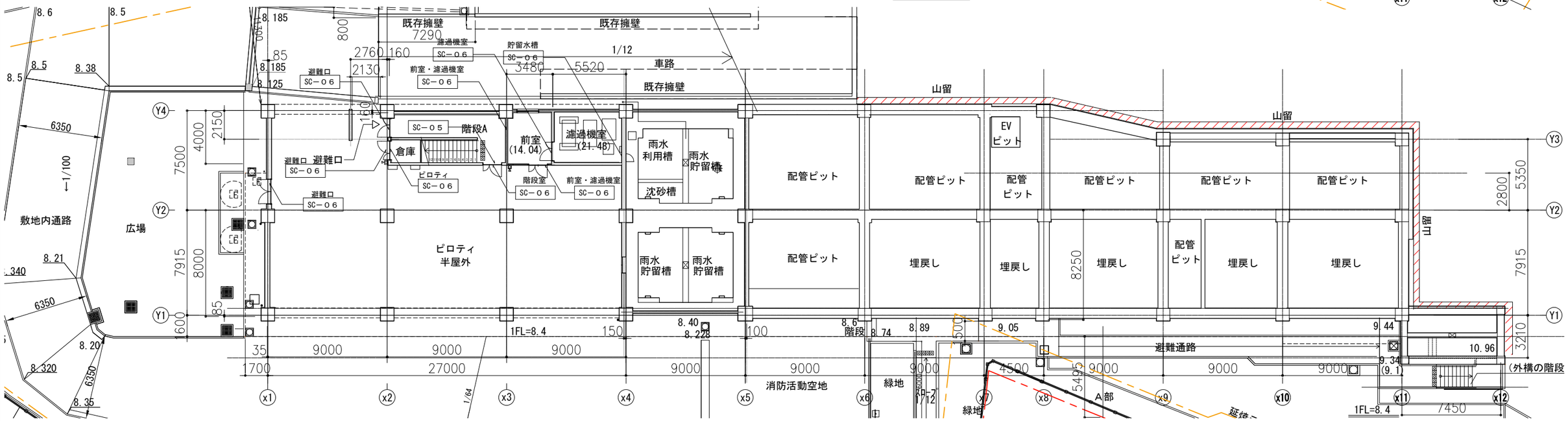
一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	家具詳細図５	縮尺 1/40(A3) 1/20(A1)	A-098
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(099/224)

室内サインリスト

SB－０１	室名サイン-普通教室（突出）	SBP－０１	ピクトサイン-男子シンボル	SF－０１	ピクトサイン-男、女シンボル	SF－０７	フロア案内サイン	SR－０１	室名サイン・多目的スペース	SC－０１	グラフィックサイン(男性便所)
SB－０２	室名サイン-多目的スペース（突出）	SBP－０２	ピクトサイン-女子シンボル	SF－０２	ピクトサイン-誰でもWC	SF－０８	避難経路図	SR－０２	室名サイン・保健室	SC－０２	グラフィックサイン(女性便所)
SB－０３	室名サイン-保健室（突出）	SBP－０３	ピクトサイン-/車椅子シンボル	SF－０３	EV前案内サイン	SF－０９	来客案内サイン	SR－０３	室名サイン・職員室	SC－０３	グラフィックサイン(HWC)
SB－０４	室名サイン-事務室（突出）	SBP－０４	ピクトサイン-/男性、女性、車椅子シンボル	SF－０４	校名看板（ステンレス箱文字）	SF－１０	階数表示-A（当階）	SR－０４	室名サイン・事務室	SC－０４	グラフィックサイン(誰でもWC)
SB－０５	室名サイン-職員室（突出）	SBP－０５	ピクトサイン-EV	SF－０５	インターフォン案内（平付け型）	SF－１１	階数表示-C（階段・踊り場）	SR－０５	室名サイン・校長室	SC－０５	階数表示-B（階段・当階）
SB－０６	室名サイン-放送室・備品庫（突出）			SF－０６	総合案内板	SF－１２	校長室案内	SR－０６	室名サイン・印刷室	SC－０６	室名表示
								SR－０７	室名サイン・倉庫	SC－０８	避難器具設置表示

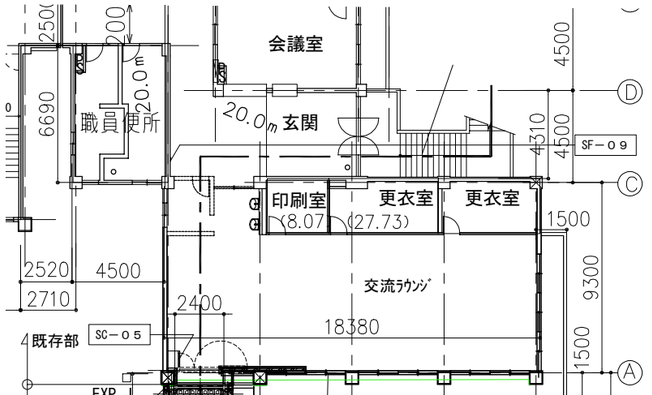


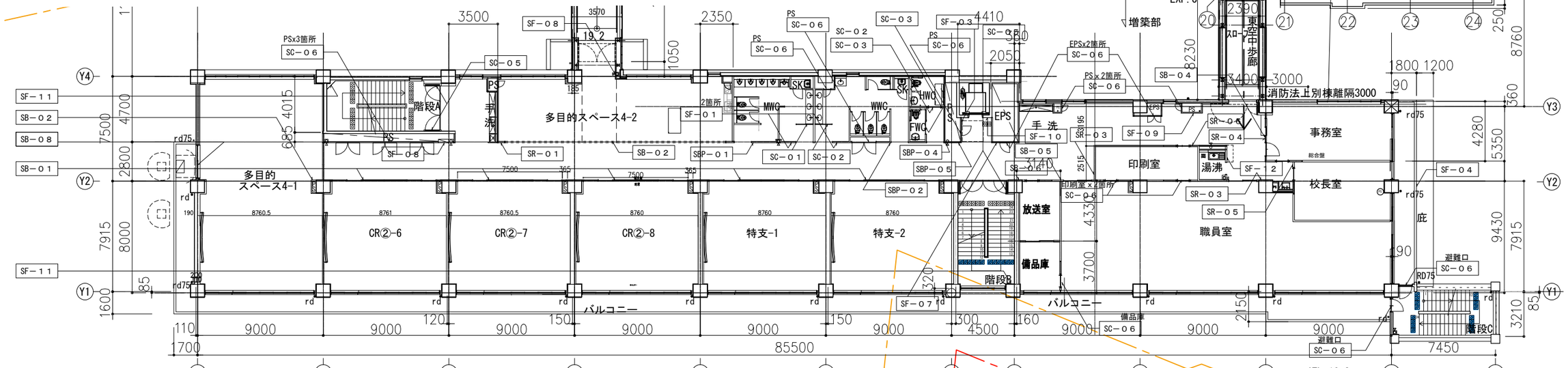


株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	サインキープラン１（１、２階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-099
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(100/224)

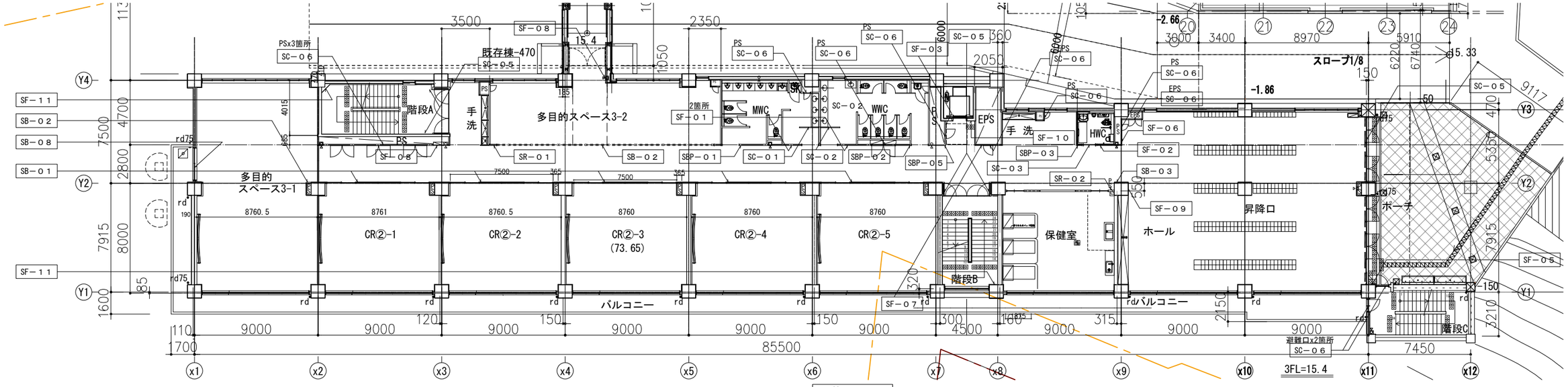
室内サインリスト

SB－０１	室名サイン-普通教室（突出） ２５ヶ所	SBP－０１	ピクトサイン-男子シンボル	SF－０１	ピクトサイン-男、女シンボル	SF－０７	フロア案内サイン
SB－０２	室名サイン-多目的スペース（突出）	SBP－０２	ピクトサイン-女子シンボル	SF－０２	ピクトサイン-誰でもWC	SF－０８	避難経路図
SB－０３	室名サイン-保健室（突出）	SBP－０３	ピクトサイン-/車椅子シンボル	SF－０３	EV前案内サイン	SF－０９	来客案内サイン
SB－０４	室名サイン-事務室（突出）	SBP－０４	ピクトサイン-/男性、女性、車椅子シンボル	SF－０４	校名看板（ステンレス箱文字）	SF－１０	階数表示-A（当階）
SB－０５	室名サイン-職員室（突出）	SBP－０５	ピクトサイン-EV	SF－０５	インターフォン案内（平付け型）	SF－１１	階数表示-C（階段・踊り場）
SB－０６	室名サイン-放送室・備品庫（突出）			SF－０６	総合案内板	SF－１２	校長室案内
SR－０１	室名サイン・多目的スペース			SC－０１	グラフィックサイン(男性便所)	SC－０５	階数表示-B（階段・当階）
SR－０２	室名サイン・保健室	SR－０５	室名サイン・校長室	SC－０２	グラフィックサイン(女性便所)	SC－０６	室名表示
SR－０３	室名サイン・職員室	SR－０６	室名サイン・印刷室	SC－０３	グラフィックサイン(HWC)	SC－０７	衝突防止サイン
SR－０４	室名サイン・事務室	SR－０７	室名サイン・倉庫	SC－０４	グラフィックサイン(誰でもWC)	SC－０８	避難器具設置表示





4階平面図

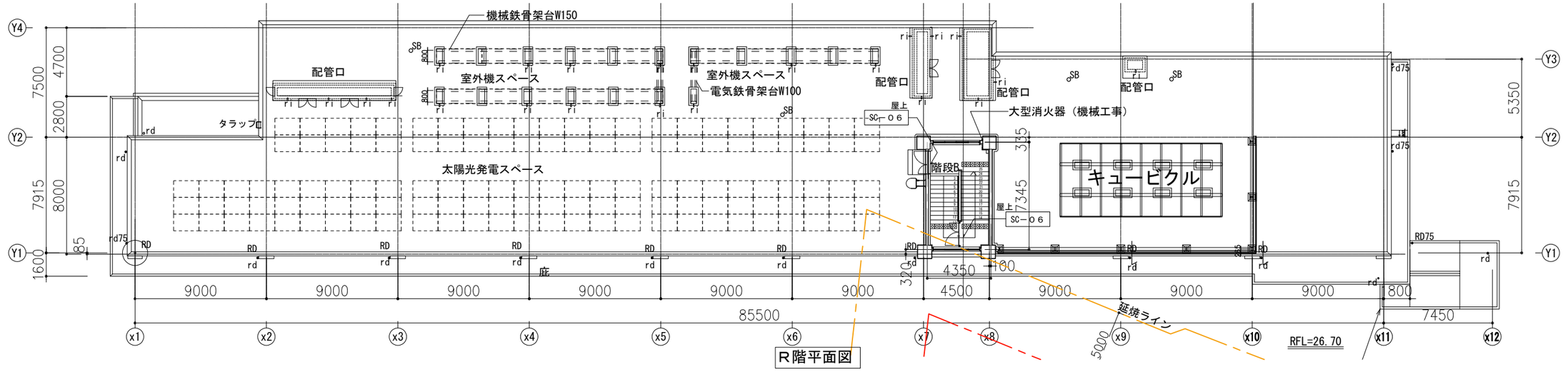


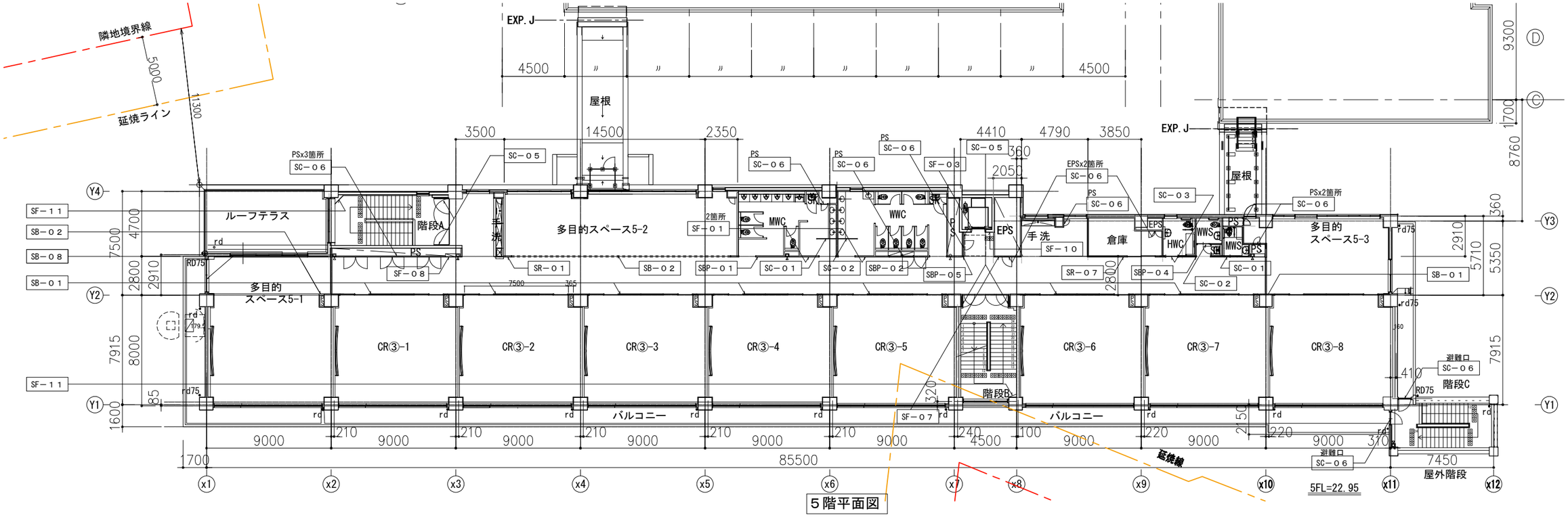
3階平面図

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘 構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和 設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	サインキープラン２（３、４階）	縮尺 1/300(A3) 1/150(A1)	A-100
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(101/224)

室内サインリスト

SB－０１	室名サイン-普通教室（突出）	SBP－０１	ピクトサイン-男子シンボル	SF－０１	ピクトサイン-男、女シンボル	SF－０７	フロア案内サイン	SR－０１	室名サイン・多目的スペース	SC－０１	グラフィックサイン(男性便所)
SB－０２	室名サイン-多目的スペース（突出）	SBP－０２	ピクトサイン-女子シンボル	SF－０２	ピクトサイン-誰でもWC	SF－０８	避難経路図	SR－０２	室名サイン・保健室	SC－０２	グラフィックサイン(女性便所)
SB－０３	室名サイン-保健室（突出）	SBP－０３	ピクトサイン-/車椅子シンボル	SF－０３	EV前案内サイン	SF－０９	来客案内サイン	SR－０３	室名サイン・職員室	SC－０３	グラフィックサイン(HWC)
SB－０４	室名サイン-事務室（突出）	SBP－０４	ピクトサイン-/男性、女性、車椅子シンボル	SF－０４	校名看板（ステンレス箱文字）	SF－１０	階数表示-A（当階）	SR－０４	室名サイン・事務室	SC－０４	グラフィックサイン(誰でもWC)
SB－０５	室名サイン-職員室（突出）	SBP－０５	ピクトサイン-EV	SF－０５	インターフォン案内（平付け型）	SF－１１	階数表示-C（階段・踊り場）	SR－０５	室名サイン・校長室	SC－０５	階数表示-B（階段・当階）
SB－０６	室名サイン-放送室・備品庫（突出）			SF－０６	総合案内板	SF－１２	校長室案内	SR－０６	室名サイン・印刷室	SC－０６	室名表示
								SR－０７	室名サイン・倉庫	SC－０８	避難器具設置表示





株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	サインキープラン３（５、屋上）
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春	縮尺	1/300(A3) 1/150(A1)
				船橋市建設局建築部建築課	令和7年度

図面番号 A-101 (102/224)

サインリスト

形状	記号	サイン名称	合計	1階	2階	3階	4階	5階	PH階	備考
突出	SB-01	室名サイン・普通教室	25	0	7	5	5	8		予備表示面：4 特別支援教室：2箇所含む
	SB-02	室名サイン・多目的スペース	9		3	2	2	2		
	SB-03	室名サイン・保健室	1			1				
	SB-04	室名サイン・事務室	1				1			
	SB-05	室名サイン・職員室	1				1			
	SB-06	室名サイン・放送室	1	1						
	SBP-01	ピクトサイン一男子シンボル	4		1	1	1	1		
	SBP-02	ピクトサイン一女子シンボル	4		1	1	1	1		
	SBP-03	ピクトサイン一／車椅子シンボル	1			1				
	SBP-04	ピクトサイン一／男性、女性、車椅子シンボル	3		1		1	1		
	SBP-05	ピクトサイン一EV	4		1	1	1	1		
	SBP-05	ピクトサイン一EV	4	1	1	1	1			既存西棟設置分
平付	SF-01	ピクトサイン一男、女シンボル	8		2	2	2	2		
	SF-02	ピクトサイン一誰でもWC	1			1				
	SF-03	EV前案内サイン	4		1	1	1	1		
	SF-04	校名看板（ステンレス切文字）	1			1				
	SF-05	インターフォン案内	1			1				
	SF-06	総合案内板	1			1				
	SF-07	フロア案内サイン	4		1	1	1	1		
	SF-08	避難経路図	6		1	2	2	1		
	SF-09	来客案内サイン	3			1	2			既存西棟設置分
	SF-09	来客案内サイン								
	SF-10	階数表示一A（当階）	4		1	1	1	1		
	SF-11	階数表示一C（階段・踊り場）	7		1	2	2	2		
	SF-12	校長室案内	1				1			
平付	SR-01	室名サイン・多目的スペース	4		1	1	1	1		
	SR-02	室名サイン・保健室	1			1				
	SR-03	室名サイン・職員室	2				2			
	SR-04	室名サイン・事務室	1				1			
	SR-05	室名サイン・校長室	1				1			
	SR-06	室名サイン・印刷室	1				1			
	SR-07	室名サイン・倉庫	1					1		
シール	SC-01	グラフィックサイン(男性便所)	6		2	1	1	2		
	SC-02	グラフィックサイン(女性便所)	6		2	1	1	2		
	SC-03	グラフィックサイン(HWC)	4		1	1	1	1		
	SC-04	グラフィックサイン(誰でもWC)	1				1			
	SC-05	階数表示一B（階段・当階）	9	1	2	2	2	2		
	SC-06	室名表示	64	9	13	12	15	13	2	
	SC-07	衝突防止サイン	36				36			
	SC-08	避難器具設置　表示（畜光式）	3			1	1	1		

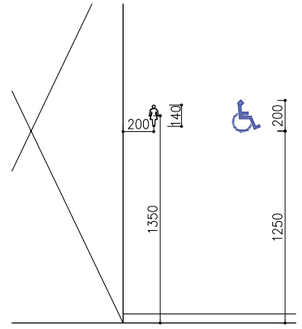
SF－０１～０２　ピクトサイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
ピクトサイン	01:1 02:8	平付	1/5	

表示面：アクリル t1.5加工
塗装仕上げ
固定　：両面テープ＋接着剤止め

SF－０１；男・女シンボル

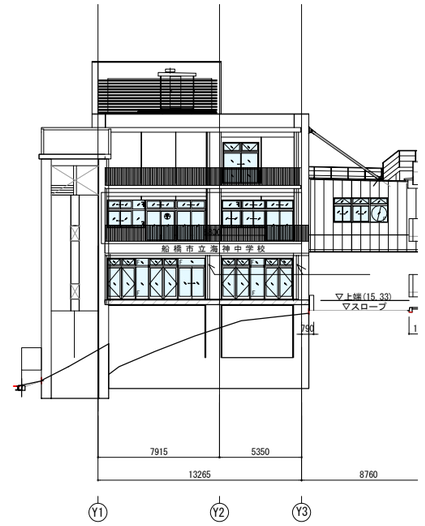
SF－０２；車椅子シンボル



SF－０４　校名看板（ステンレス箱文字）

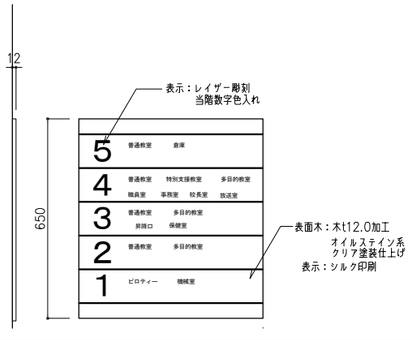
サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
校名看板（ステンレス箱文字）	1	平付	1/100	





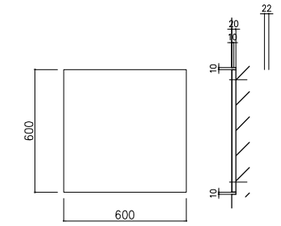
SF－０３　EV前案内サイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
EV前案内サイン	4	平付	1/10	



SF－０５　インターフォン案内

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
インターフォン案内	1	平付	1/15	



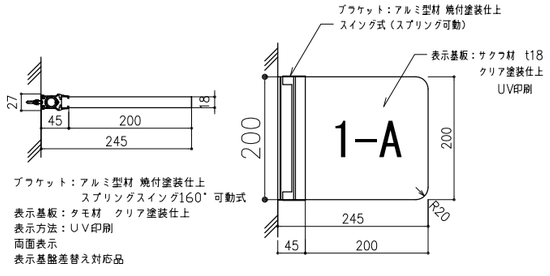
本体：スチール下地組 SUS t 1.5加工　焼付塗装仕上

アルミ点字プレート200ｗｘ150H共

SB－０１～０５　室名サイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
室名サイン	38	突出	1/5	予備表示板；4ヶ

※普通教室／多目的スペース／保健室／事務室／放送室



ブラケット：アルミ型材 焼付塗装仕上
スプリングスイング160° 可動式
表示基板：タモ材　クリア塗装仕上
表示方法：ＵＶ印刷
両面表示
表示基盤差替え対応品

SB-01；普通教室x23箇所
表示内容　1-A~1-F；7ヶ
2-A~2-G；8ヶ
3-A~3-G；8ヶ

SB-01；特別支援教室ｘ2箇所
表示内容　特別支援A
特別支援B

SB-02；多目的スペースx9箇所
SB-03；保健室x1箇所
SB-04；事務室x1箇所
SB-05；職員室x1箇所
SB-06；放送室x1箇所

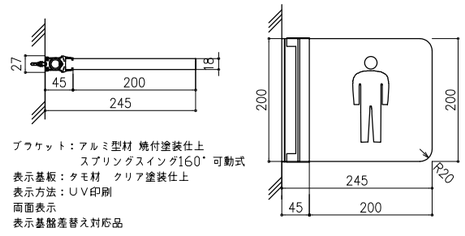
SB-01；予備表示板
表示内容　1-G~1-H；2ヶ
2-H；1ヶ
3-H；1ヶ

※特記なき場合の表示内容は室名と同一

SBP－０１～０３　ピクトサイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
ピクトサイン	16	突出	1/5	

※MWC/WWC/EV/HWC+MWWC



ブラケット：アルミ型材 焼付塗装仕上
スプリングスイング160° 可動式
表示基板：タモ材　クリア塗装仕上
表示方法：ＵＶ印刷
両面表示
表示基盤差替え対応品

SBP-01；男性トイレピクトx4箇所
SBP-02；女性トイレピクトx4箇所
SBP-03；車椅子シンボルｘ1箇所
SBP-04；
男性、女性、車椅子シンボルx3箇所
SBP-05；EVシンボルｘ4箇所

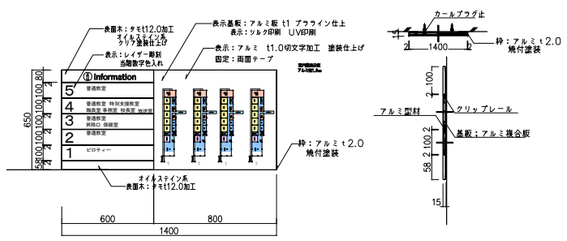
株式会社 大建設計
技にこころを
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	サイン詳細図 1	縮尺 図示	A-102
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(103/224)

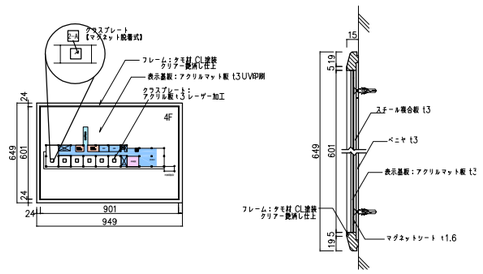
SF－０６ 総合案内板

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
総合案内板	1	平付	1/20	



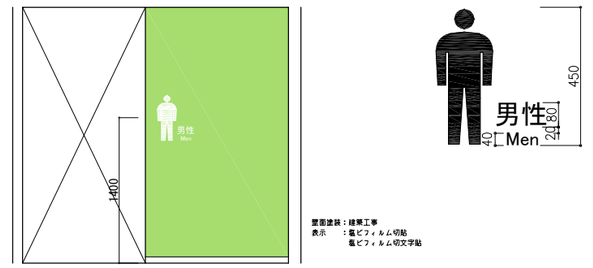
SF－０７ 各階案内板

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
各階案内板	4	平付	1/10	



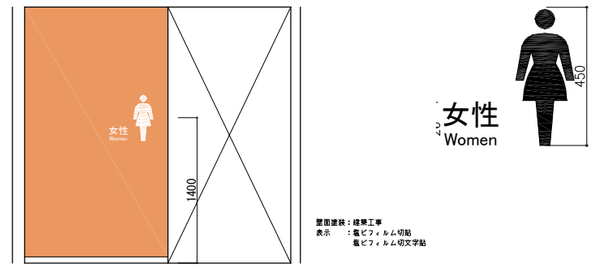
SC－０１ グラフィックサイン(男性便所)

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
グラフィックサイン(男性便所)	4	シール	1/30	



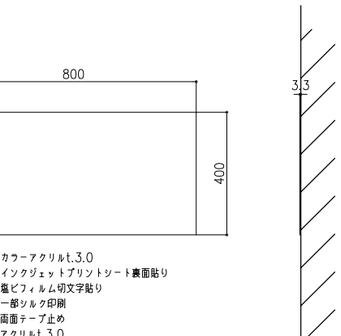
SC－０２ グラフィックサイン(女性便所)

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
グラフィックサイン(女性便所)	4	シール	1/30	



SF－０８ 避難経路図

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
避難経路図	6	平付	1/10	

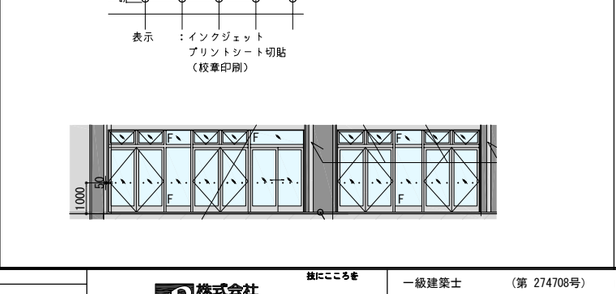


SF－０９ 来客案内サイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
来客案内サイン	2	平付	1/15	点字案内兼用

SC－０３ グラフィックサイン(HWC)

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
グラフィックサイン(HWC)	1	シール	1/30	



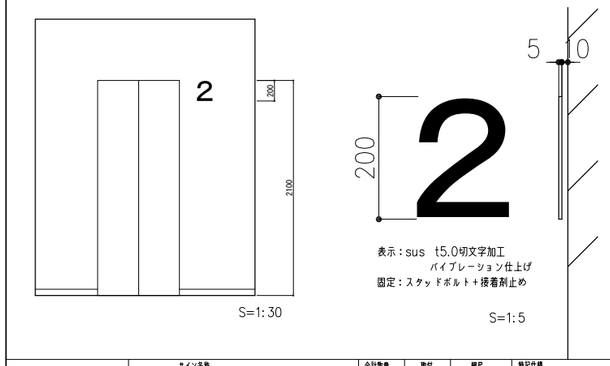
SC－０４ グラフィックサイン(誰でもWC)

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
グラフィックサイン(誰でもWC)	1	シール	1/30	



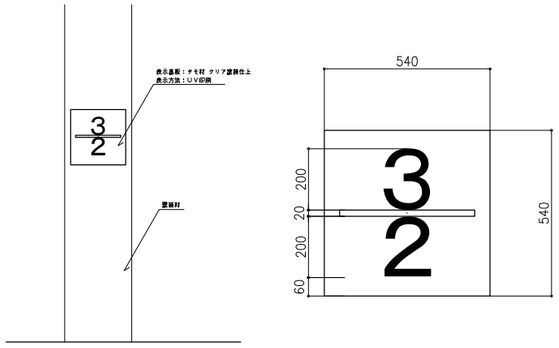
SF－１０ 階数表示－A（当階）

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
階数表示－A（当階）	1	平付	1/30　1/5	



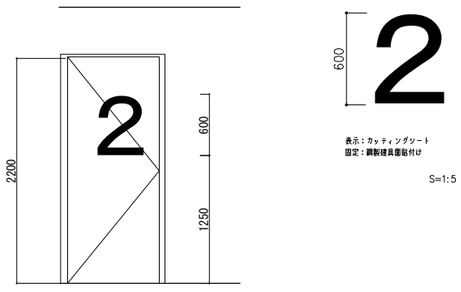
SF－１１ 階数表示－C（階段・踊り場）

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
階数表示－C（階段・踊り場）	8	平付	1/5	



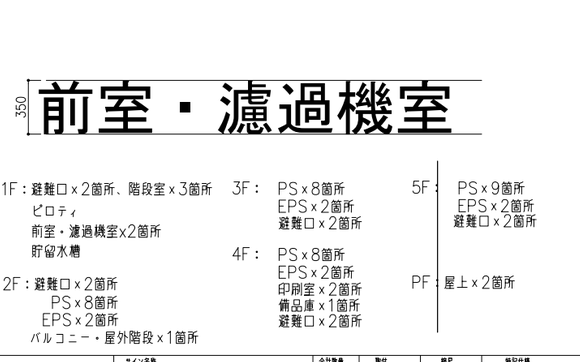
SC－０５ 階数表示－B（階段・当階）

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
階数表示－B（階段・当階）	１０	シール		



SC－０６ 室名表示

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
室名表示	６４	シール		

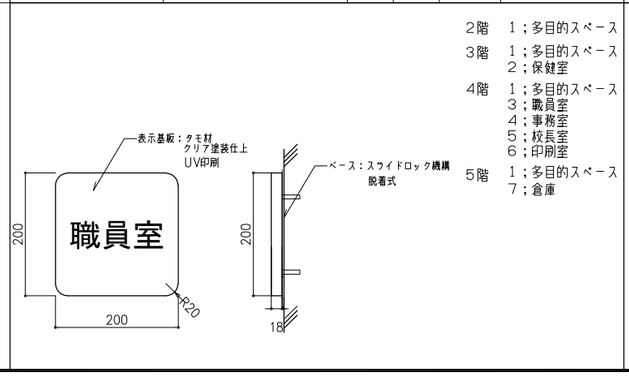


SF－１２ 校長室案内

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
校長室案内	1	平付	1/5	

SR－１～５ 平付け室名サイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
平付け室名サイン	１０	平付	1/5	室名・職員室、校長室



SC－０７ 衝突防止サイン

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
衝突防止サイン	36	シール	1/20	校章印刷

SC－０８ 避難器具設置　表示

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記仕様
避難器具設置　表示	3	ステッカー	1/5	蓄光式

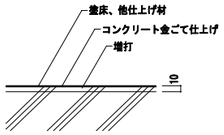


技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春

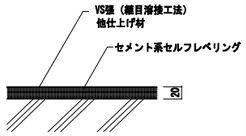
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	サイン詳細図２	縮尺 図示	A-103
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(104/224)

F-1 コンクリート直均し仕上げ 1/5 (A1)



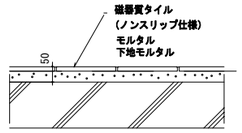
※シーリングは変成シリコン系（MS-2）とする。

F-2 セルフレベリング下地 1/5 (A1)



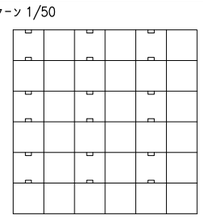
註）2階部分の接着剤は、エポキシ樹脂系とする。

F-3 磁器質タイル（300角以上） 1/10 (A1)

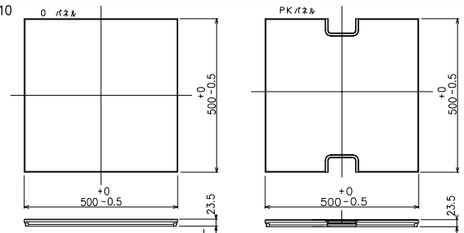


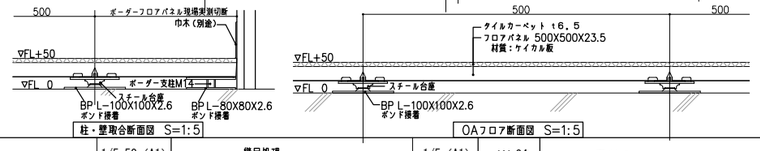
F-4 ＯＡフロア 1/50,10,5 (A1)

割付パターン 1/50

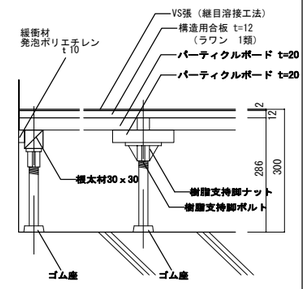


パネル詳細図 S=1:10



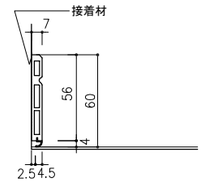


F-5 乾式二重床 1/5 (A1)



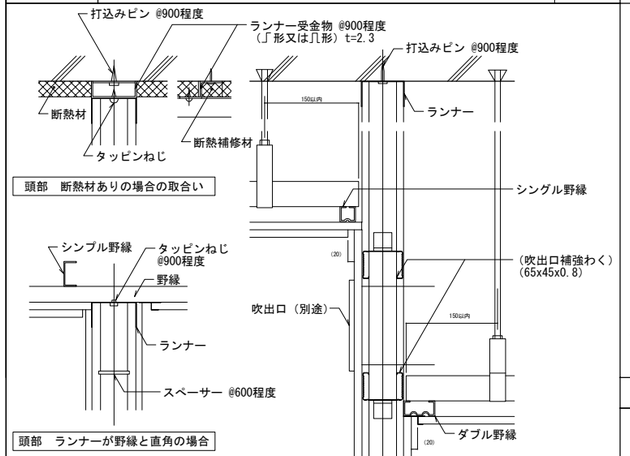
フクビ フリーフロアーＣＰ工法同等品
システム根太S630×30×910-3M同等品

WF-01 樹脂巾木（木目） 1/2 (A1)

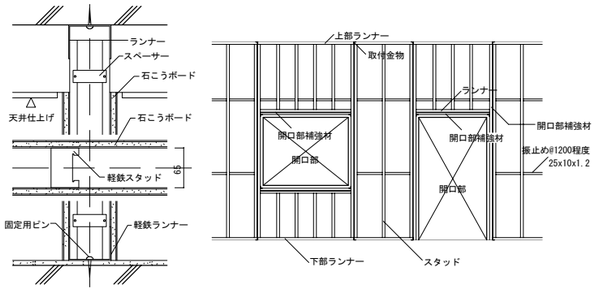


※ＴＥＣ,HB-03同等品
厚さは 5mm以上 12mm以下とする。

W-01 軽量鉄骨下地 一般間仕切壁 一枚貼り 1/5 (A1)



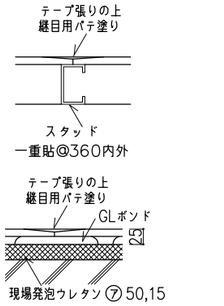
W-02 軽量鉄骨間仕切壁下地 1/5,50 (A1)



＊目安値としメーカーと打ち合わせの上決定すること。（標準仕様書に準拠する）
（備考）同一室で天井高に巾がある場合は高い方を適用する。

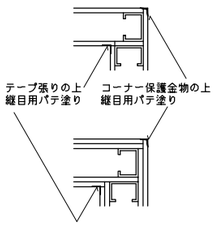
スタッドの間隔	片面ボード 二重貼	≦450内外	片面ボード 一重貼	≦300内外

継目処理、 1/5 (A1)



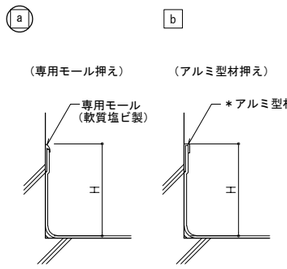
※下地ボードは ＊テーパーエッジ ・ベベルエッジ とする。

W-04 コーナー下地処理



2枚張りの場合は継目位置を300程度以上ずらすこと。

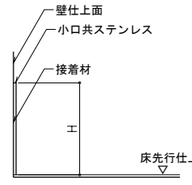
WF-02 ビニル床シート立上げ巾木 1/2 (A1)



※1. H寸法は仕上表による。
2. ○印を適用する。

＊印は市販品

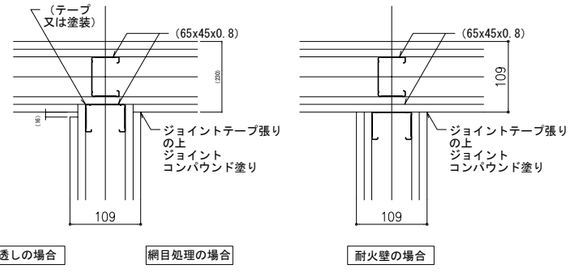
WF-03 樹脂複合ステンレス巾木 1/2 (A1)



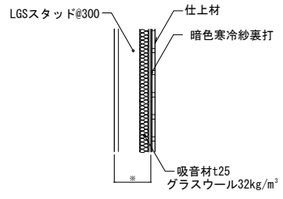
本体；樹脂製
表面；ｽﾃﾝﾚｽ製

※セイキイ、プラメタルSK-FB同等品

W-05 軽量鉄骨下地 一般間仕切壁 各部取合い 二枚貼り （T形取合い） 1/5 (A1)



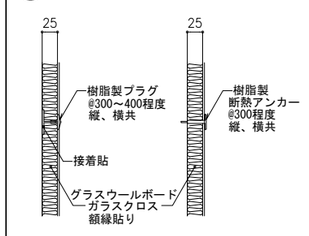
W-06 有孔ボード張り 1 1/5 (A1)



有孔ボード
RFL～屋根下：6Φ-15 開口率13%
2FL～RFL ：8Φ-25 開口率8%

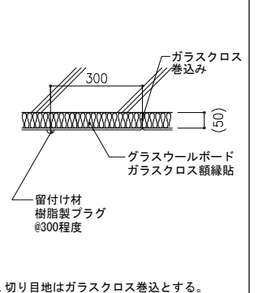
（備考）1. 仕上げ・寸法は別図による。
LGSスタッドサイズは取付高さによる

W-07 吸音壁 1 1/5 (A1)



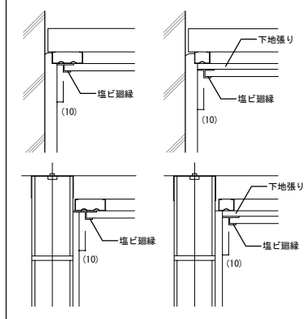
（備考）1. 切り目地はガラスクロス巻込とする。
2. 特記なき限り、グラスウールは32kg/m3とする。
3. 幅木・建具取り合い部アルミ製見切り材

C-01 吸音天井 1/10 (A1)

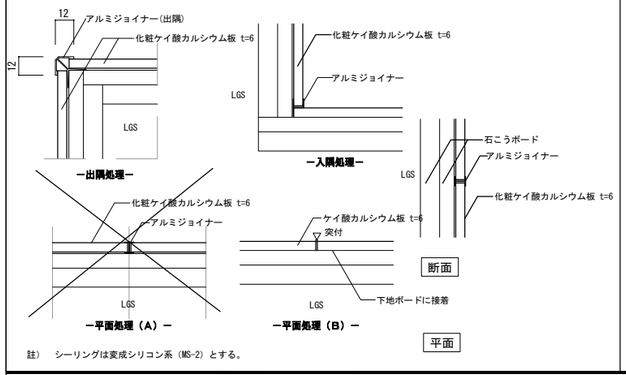


（備考）1. 切り目地はガラスクロス巻込とする。
2. 特記なき限りグラスウールは32kg/m3とする。

WC-01 塩ビ廻縁 1/5 (A1)

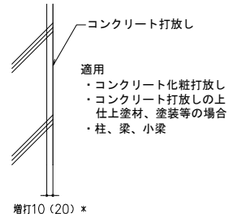


W-08 化粧ケイ酸カルシウム板張り 1/2 (A1)



註） シーリングは変成シリコン系（MS-2）とする。

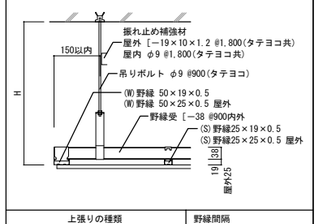
W-09 コンクリート打放し 1/5 (A1)



＊外壁及び外部仕様の場合、増打20

※フラット（型枠）デッキの亜鉛付着量は両面で

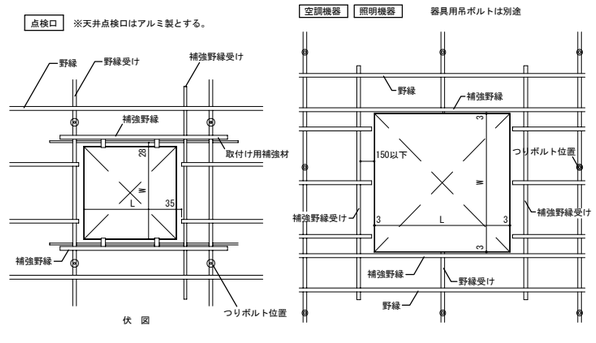
C-02 軽量鉄骨天井下地 1/10 (A1)



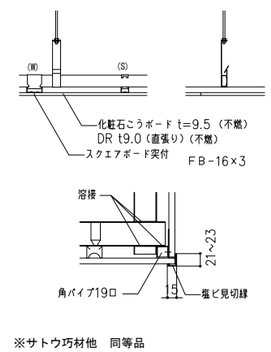
上張りの種類		野縁間隔
ボード類で下地張りのある場合		360内外
下張りのない場合	標準（ﾎﾞｰﾄﾞ寸法900×1800）	300内外
	特殊（ﾎﾞｰﾄﾞ寸法450×900）	450/2
金属成形板		450内外

註）H寸法が屋内 1,500 屋外 1,000 以上の場合
振れ止め補強材取付の事

C-03 軽量鉄骨天井下地開口部補強標準図 1/20 (A1)

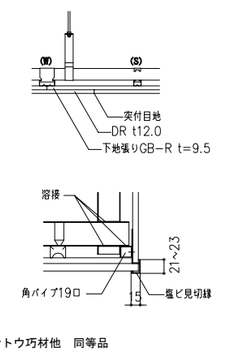


C－04 化粧石こうボード張り 化粧不燃積層石こうﾎﾞｰﾄﾞ張り 1/10 (A1)



※サトウ巧材他 同等品

C－05 ロックウール吸音板張 1/10,5(A1)



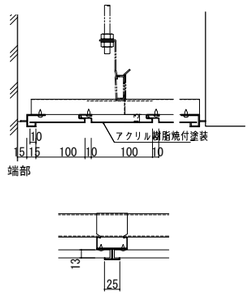
※サトウ巧材他 同等品

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

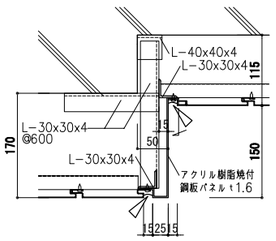
一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	基準詳細図 1	縮尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度
			A-104 (105/224)

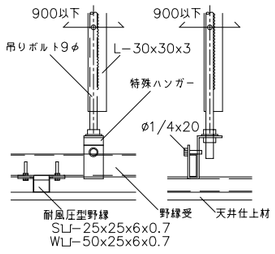
C－０６ アルミスパンドレル張り 1/5（A1）



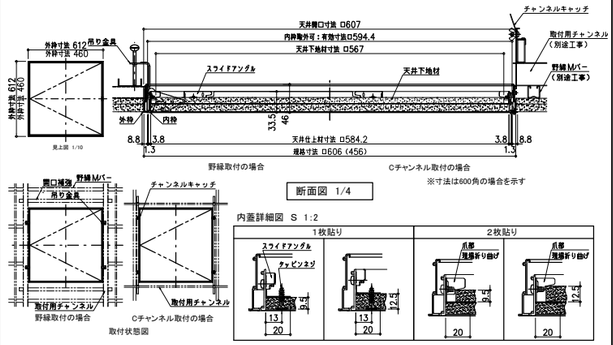
C－０７ 鋼板パネル幕板 1/5（A1）



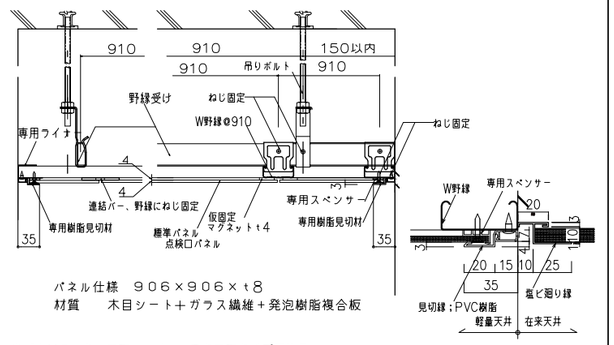
C－０８ 耐風補強天井下地



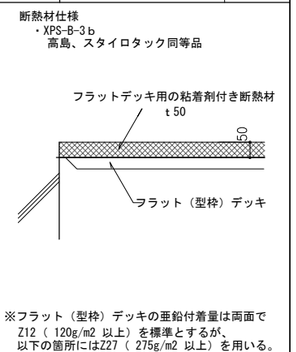
C－０９ 天井点検口



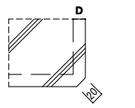
C－9 超軽量天井 1/5,/2（A1）



O－０１ フラットデッキ断熱材打込 1/5（A1）

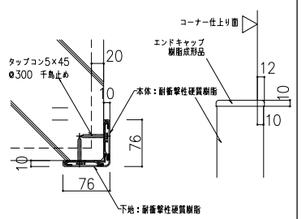


O－０２ コンクリート打放し出隅部分 1/ 5（A1）



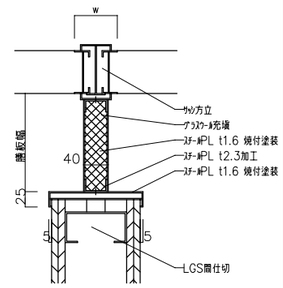
寸法 D について	
外部	20
内部	10

O－０３ コーナーガード 1/ 5（A1）



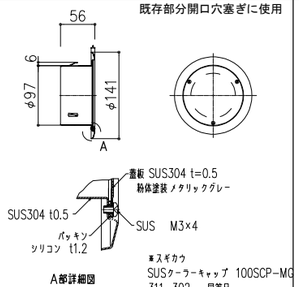
※本体は抗菌剤入り、エンボス仕上げ
コーナーガードの長さは、標準長さ（2000）程度とする。
ナカ工業NS－76V （M）同等品

O－０４ アルミサッシ － 間仕切り壁取合い－2 1/ 5（A1）

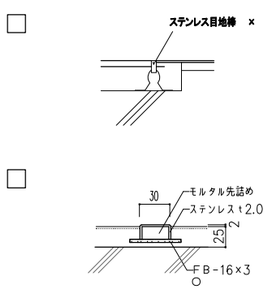


※ボーラのみも本図に準ずる

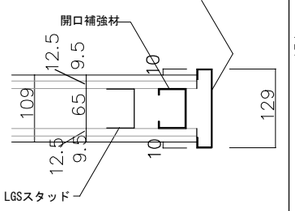
O－０５ クーラーキャップ φ100 1/ 5（A1）



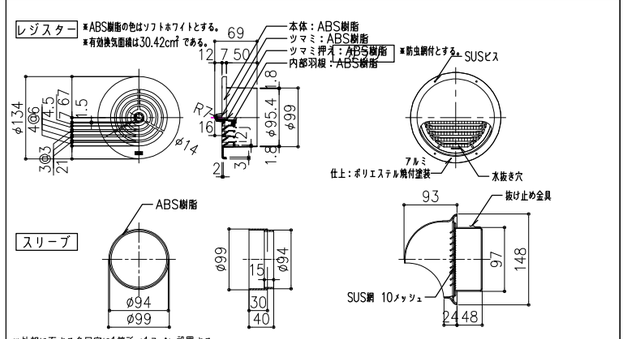
O－０６ 床見切 1/ 3（A1）



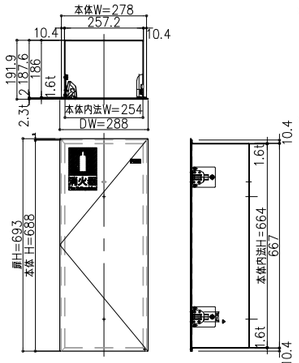
O－０７ 袖壁部、開口枠詳細 1/ 5（A1）



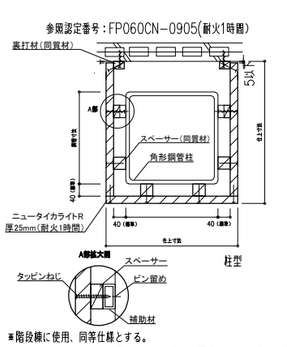
O－０８ 給気口 1/ 5（A1）



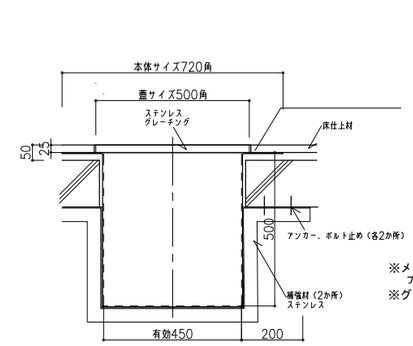
O－０９ 消火器ボックス



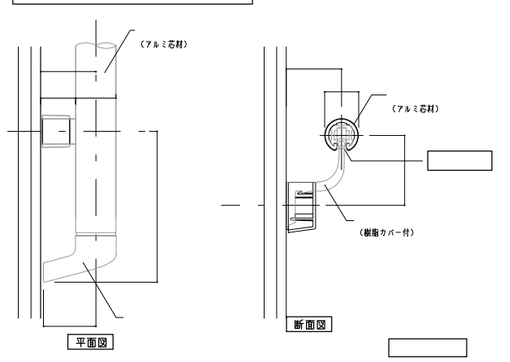
O－１０ 押出成形セメント板合成耐火構造/仕上仕様



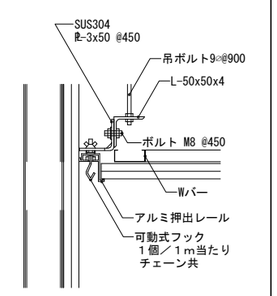
O－１１ ステンレス吊り桝



O－１２ 階段、空中歩廊（スロープ）手摺（屋内） 1:3

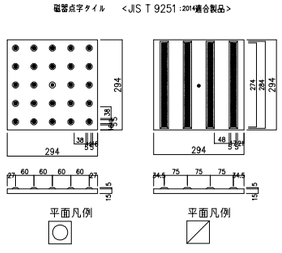


O－１３ ピクチャーレール S=1: 5（A1） S=1:10（A3）



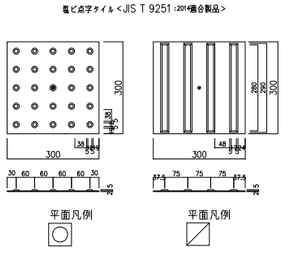
（備考） レールの安全荷重50ｋｇ／ｍ

O－１４ 視覚障害者用床表示 1/10（A1）



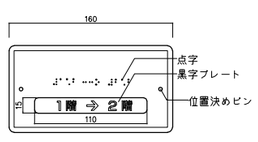
使用箇所 屋内・屋外用
工法 埋設タイプ（6ｍｍモルタル目地）
寸法 294mm×294mm×15mmｔ
材質 磁器製
仕様 クリンコート加工
突起部粗面仕上げ

O－１５ 視覚障害者用床表示 1/10（A1）



使用箇所 主に屋内用
工法 貼付タイプ
寸法 300mm×300mm×2mmｔ
材質 塩化ビニール製

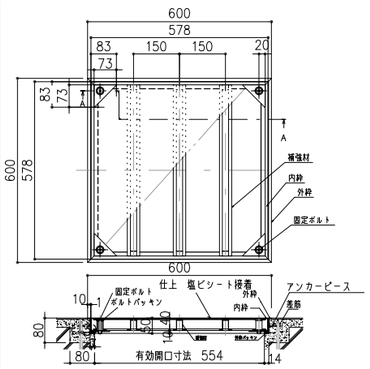
O－１６ 手摺用点字表示 1/3（A1）



40φ、34φ用
本体、点字；ステンレス点字直打出
練面；テーパー加工（4面）
文字プレート；ポリカーボネト裏印刷
文字プレート；ポリカーボネト裏印刷

※クマモトステンレス点字手すり ハートビルドット同等品

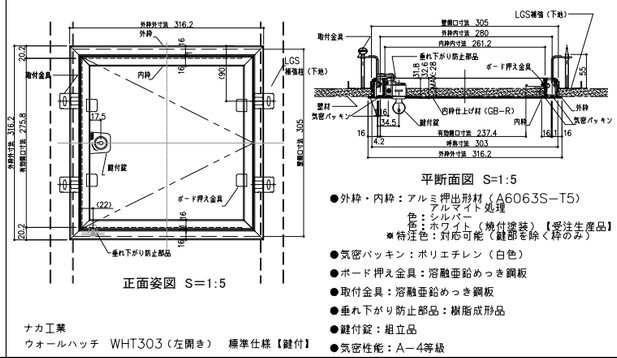
O－１７ 防臭・防水床下点検口（既製品） 1/10（A1）



ナカ工業NHBBSシリーズ同等品
ステンレス製防臭・防水タイプ
Pタイル仕様
NHBBS－600P

- 外枠・内枠；ステンレス
- アンカーピース；ステンレス
- 補強材；ステンレス
- 固定ボルト；ステンレス
- 持ち上げハンドル；スチール
- 六角穴スパナ； スチール
- 外枠パッキン；特殊スポンジ
- ボルトパッキン；CRスポンジ
- ※ 仕上材；3mm以下

O－１８ 壁ボード気密型点検口（既製品） 1/5（A1）



正面姿図 S=1:5

平断面図 S=1:5

- 外枠・内枠：アルミ押出形材（A6063S－T5）
  アルマイト処理
  色：シルバー
  ※特注色：対応可能（鍵部を除く枠のみ）
- 気密パッキン：ポリエチレン（白色）
- ボード押え金具：溶融亜鉛めっき鋼板
- 取付金具：溶融亜鉛めっき鋼板
- 垂れ下がり防止部品：樹脂成形品
- 鍵付錠：組立品
- 気密性能：A－4等級

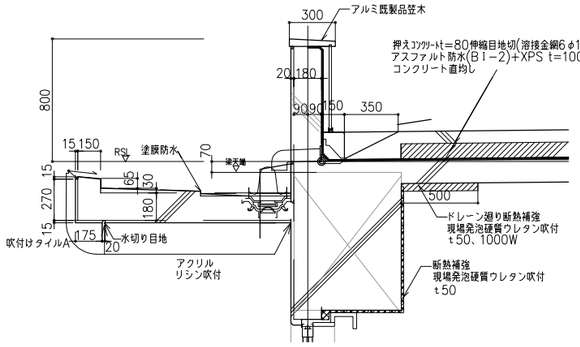
ナカ工業
ウォールハッチ WHT303（左開き） 標準仕様【鍵付】

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

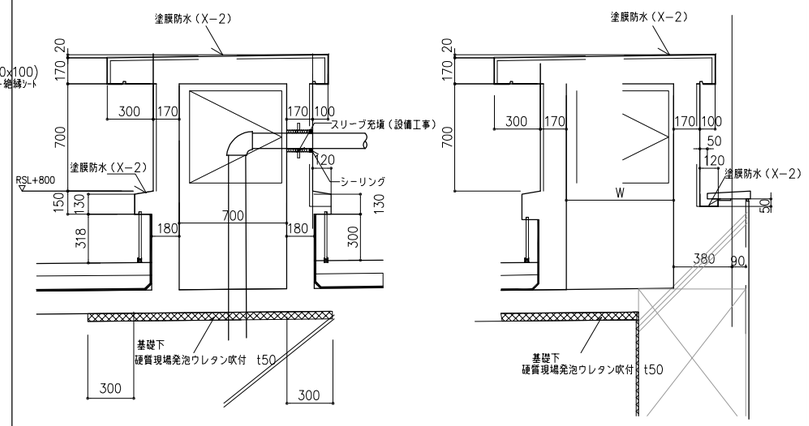
一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	基準詳細図 2	縮尺 図示	A-105
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(106/224)

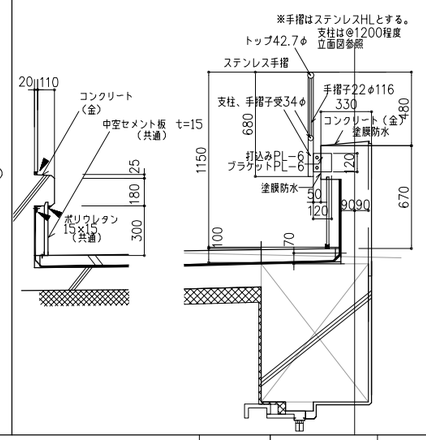
D−101 屋上パラペット廻り詳細図 1/20



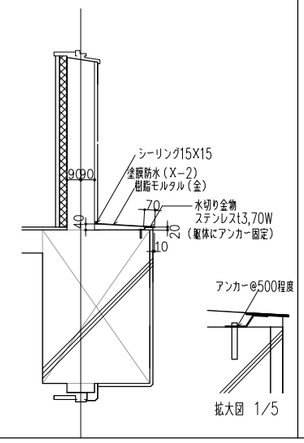
D−102 屋上配管取出し口廻り詳細図 1/20



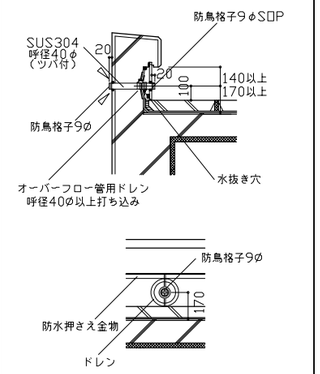
D−103 4階屋上パラペット廻り詳細図 1/20



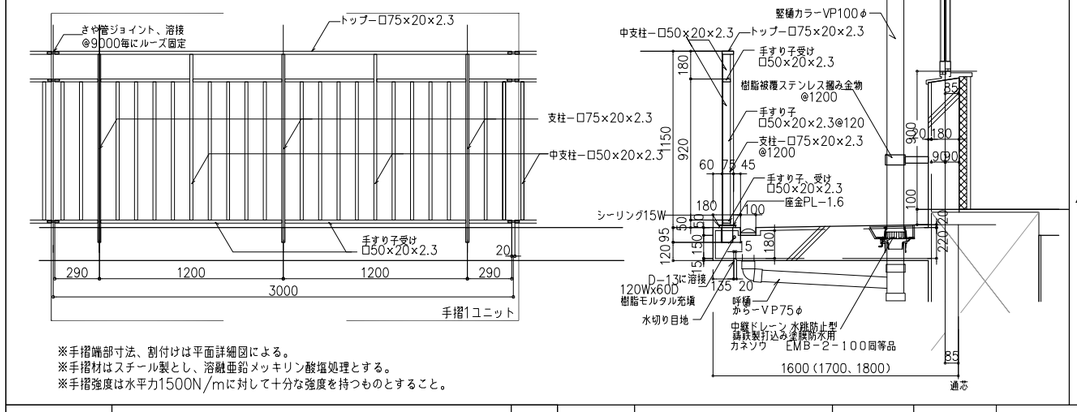
D−104 梁水切り詳細 1/20



D−105 オーバーフロー管 1/20

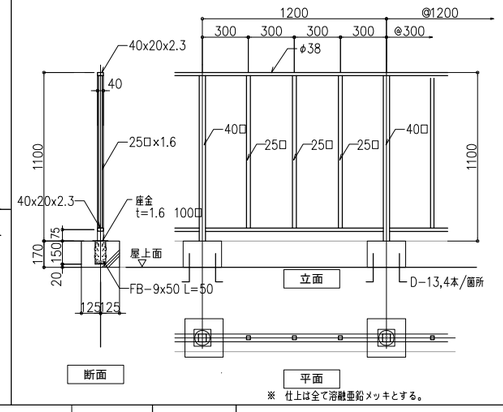


D−106 バルコニー廻り、手摺詳細図 1/20

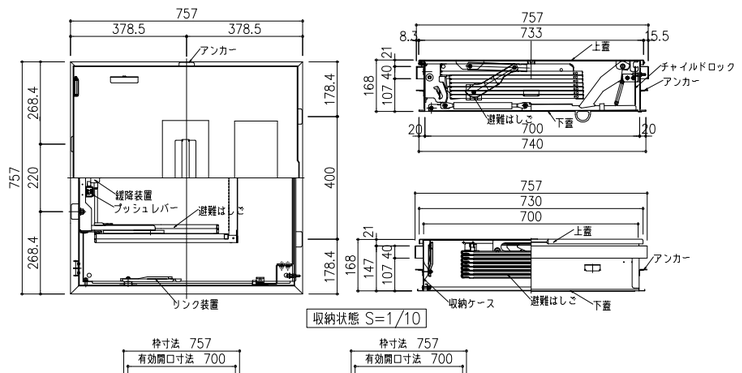


※手摺端部寸法、創付けは平面詳細図による。
※手摺材はスチール製とし、溶融亜鉛メッキリン酸塩処理とする。
※手摺強度は水平力1500N/mに対して十分な強度を持つものとすること。

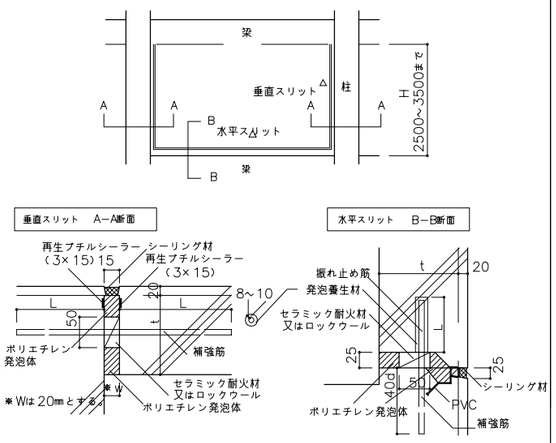
D−107 空中歩廊上部手摺詳細図 1/20



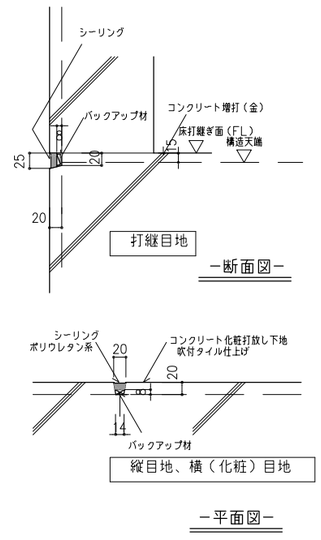
D−108 避難ハッチ（上下階操作型） 1/10,1/20



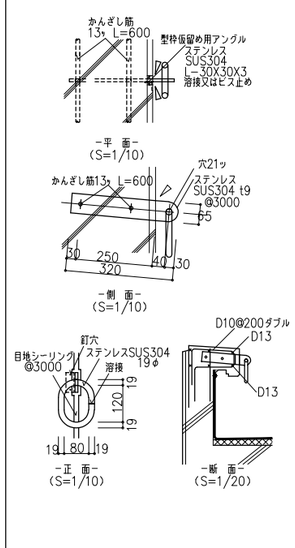
D−109 耐震目地（完全スリット） 1/5



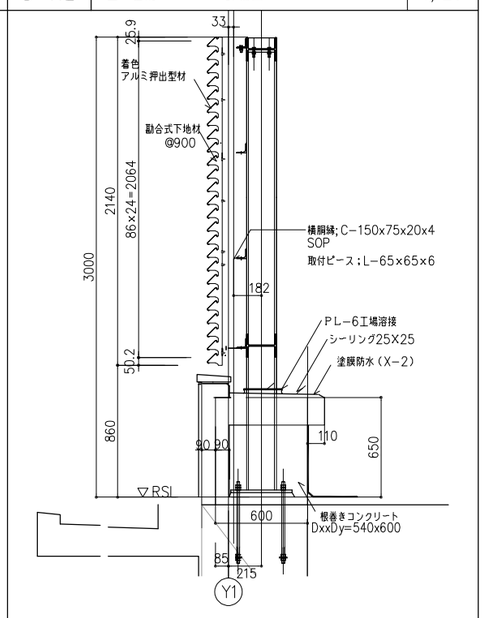
D−110 目地詳細 1/5



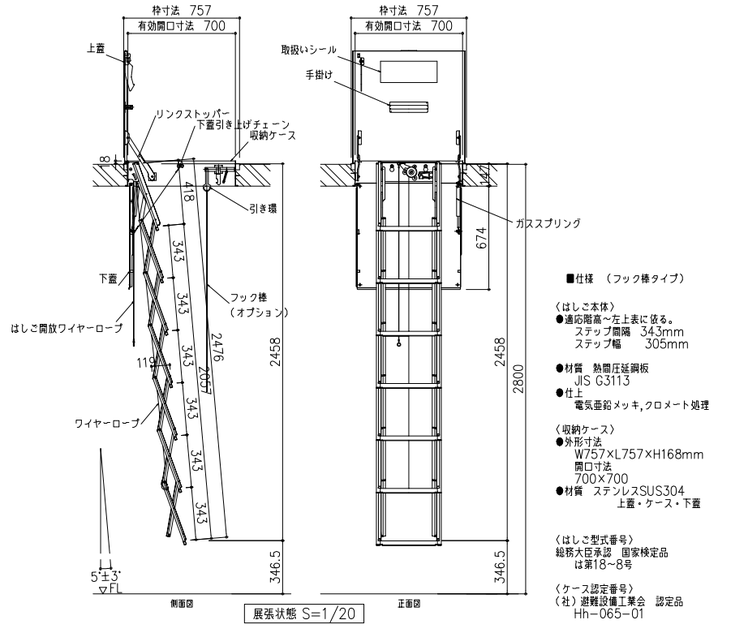
OD−111 吊環詳細 1/10,20



D−112 屋上目隠しルーバー詳細図 1/20



※特記なき鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする。



■仕様 （フック棒タイプ）

〈はしご本体〉
●適応階高 一左上表に依る。
ステップ間隔 343mm
ステップ幅 305mm
●材質 熱間圧延鋼板
JIS G3113
●仕上
電気亜鉛メッキ,クロメート処理

〈収納ケース〉
●外形寸法
W757×L757×H168mm
開口寸法
700×700
●材質 ステンレスSUS304
上蓋・ケース・下蓋

〈はしご型式番号〉
総務大臣承認 国家検定品
は第18〜8号

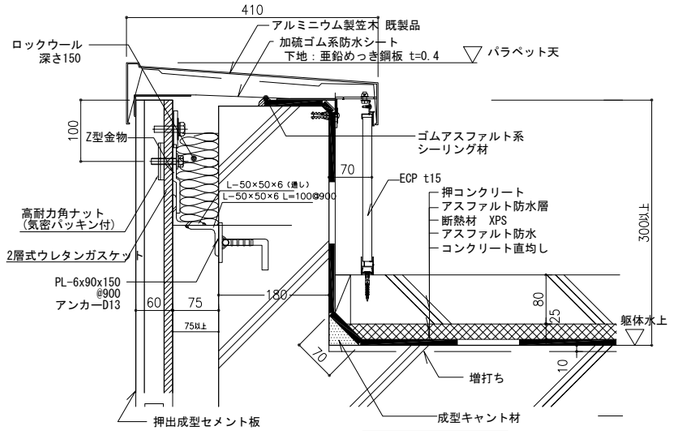
〈ケース認定番号〉
（社）避難設備工業会 認定品
Hh−065−01

技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

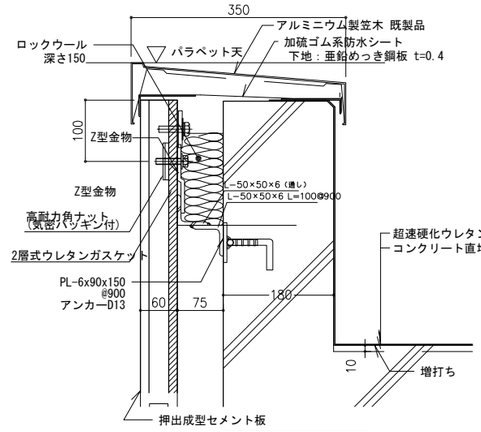
一級建築士 （第 274708号） 山岡 信弘
構造設計一級建築士（第 6608号） 長坂 典和
設備設計一級建築士（第 753号） 鈴木 光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	部分詳細図１（屋上防水、外部詳細図）	縮尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度
			A−106 (107/224)

D−201　ＥＣＰ外部廻り詳細

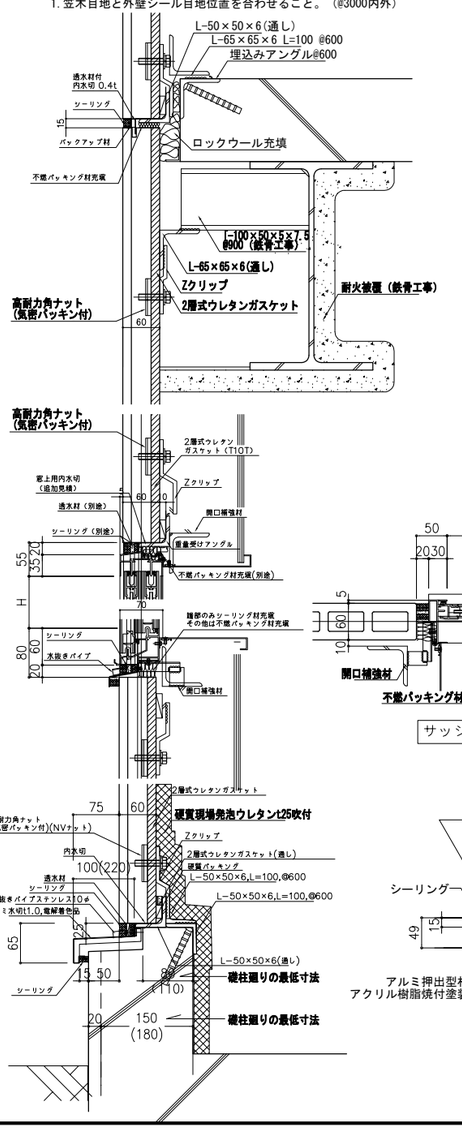


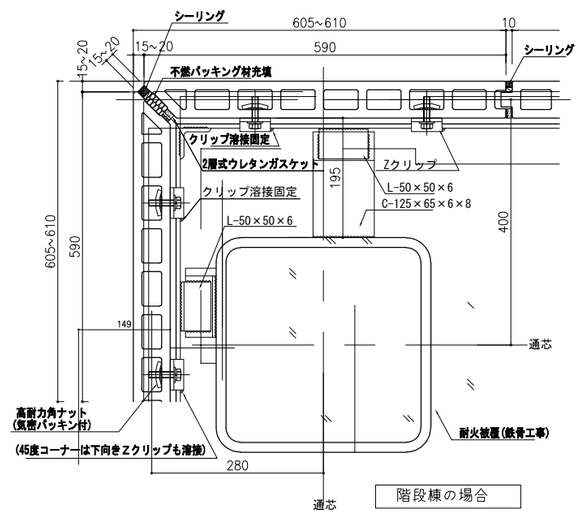
階段棟の場合



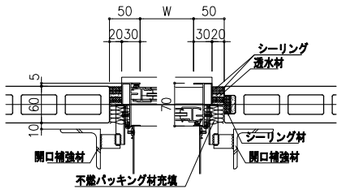
空中歩廊の場合

1. 笠木目地と外壁シール目地位置を合わせること。（@3000内外）

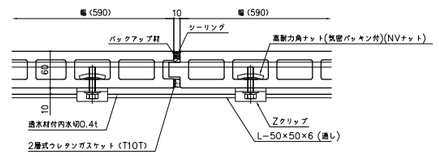




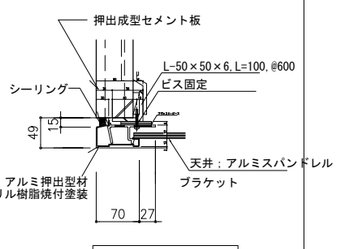
階段棟の場合



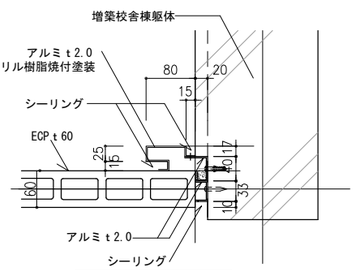
サッシュ廻り（共通）



外壁一般（共通）

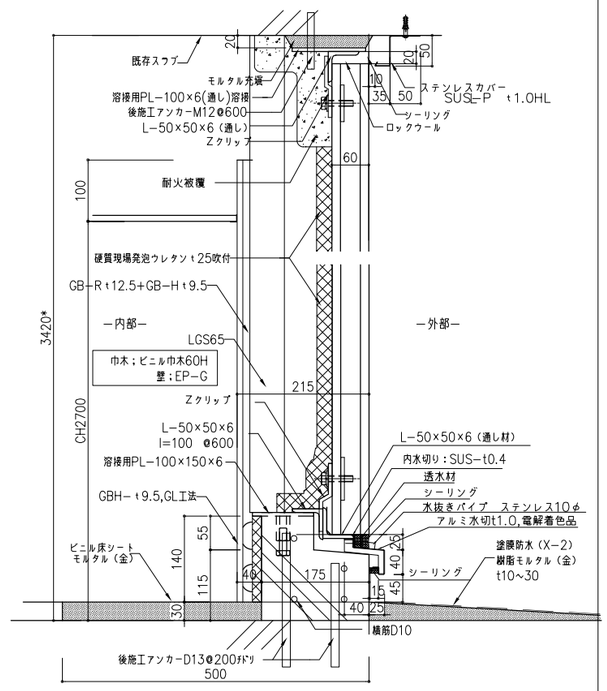


下水切り詳細

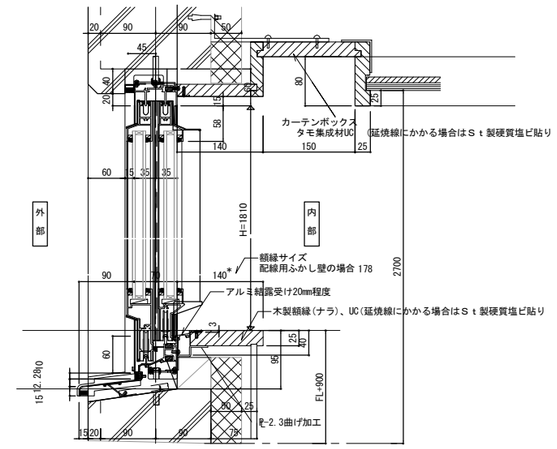


RC躯体取合詳細

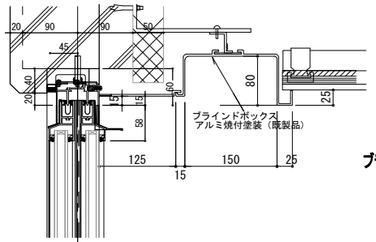
D−201＋　既存棟廊下端部ふさぎ詳細図



D−202　外部建具廻り詳細



教室横連窓（一般サッシ組合せ）/縦断面

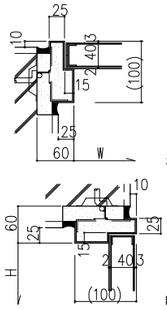


ブラインドボックス詳細

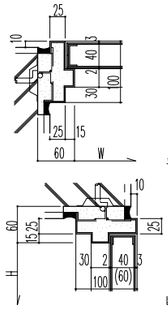
D−203　鋼製建具廻り

1:5

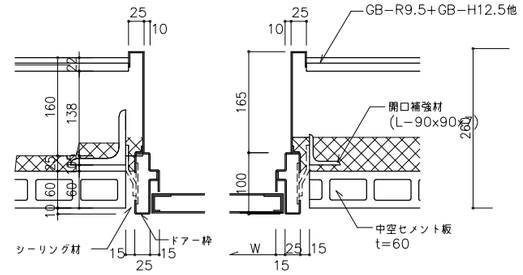
（コンクリート壁）



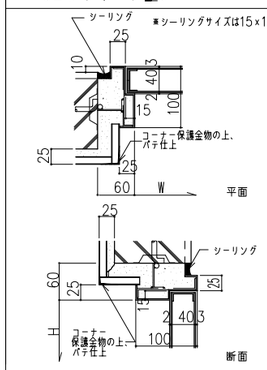
（コンクリート壁）



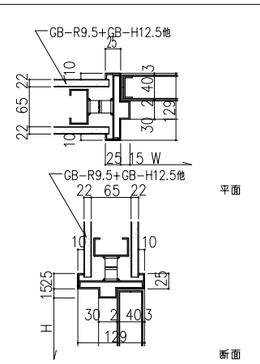
（押出し成形セメント板壁）



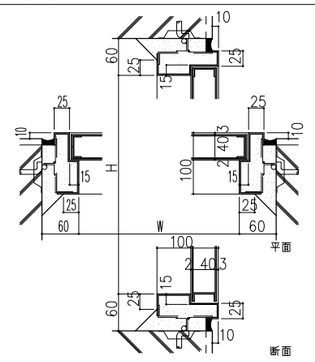
（コンクリート壁）



（軽量鉄骨壁）



点検扉廻り

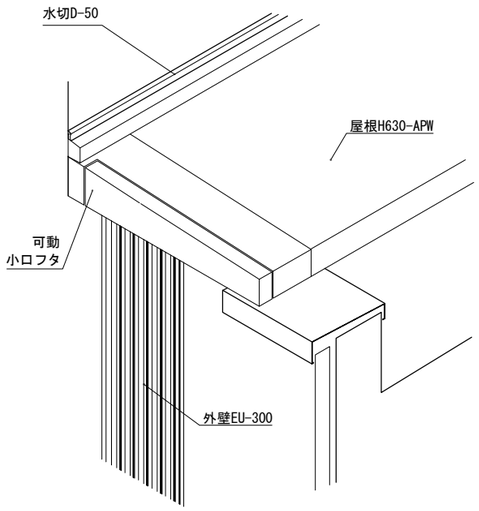


技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士（第 6608号）		長坂　典和	図面名	部分詳細図　2（押出成形セメント板、建具）	縮尺 図示	A−107
	設備設計一級建築士（第 753号）		鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(108/224)

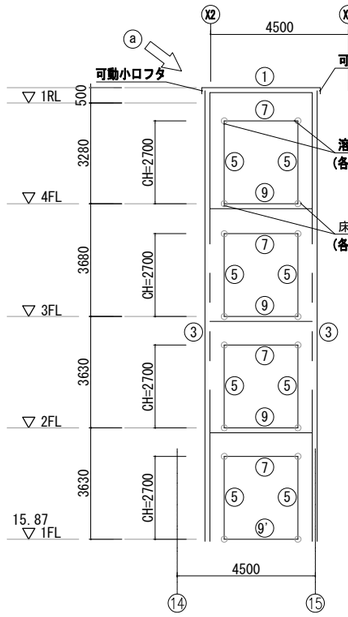
EXP. Jキープラン

【耐震EXP. J. C特記仕様書】
部位別要求性能

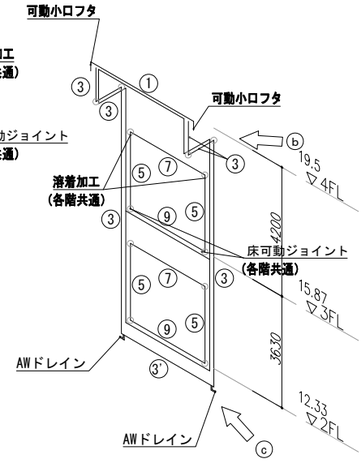
外壁・軒天 内壁・天井 （ｱｰｷｭｲﾌﾞ）	●2.4mm以上の厚みを有すること。 ●樹脂製Exp. J. C. として15年以上の施工実績のある商品とすること。 ●促進耐候性試験、温冷繰返し試験、塩水噴霧複合サイクル試験の耐候性試験を実施している製品とする。 ●動風圧試験装置による加圧試験で5000Paにおいて脱落がないことを確認した製品とする。 ●意匠性・漏水危険性・施工安定性・気密性を考慮し、樹脂本体は最小15mを1本物とし、 樹脂同士のジョイント部を極力少なくすること。（2m又は３m定尺物は不可） ●ジョイント部、端部フサギ材の締結は、強固なビスもしくはピン挿入式とし、外側嵌合式は不可とする。
屋根 （アルミ製）	●屋根Exp. J. C. は動風圧試験装置による加圧試験で4000Paにおいて脱落がないことを確認した製品とする。
耐火帯	●水平面の耐火帯はスライド機構を設けてY方向の可動量にも追従できる仕様とする。 ●耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得した耐火帯とする。 ●可動性能を確認した製品とする。



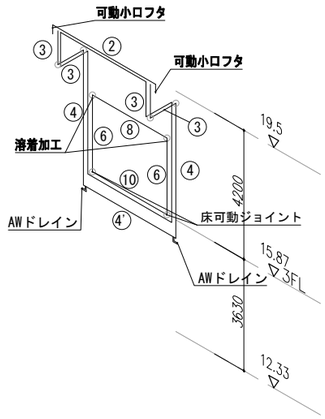
a 矢視図



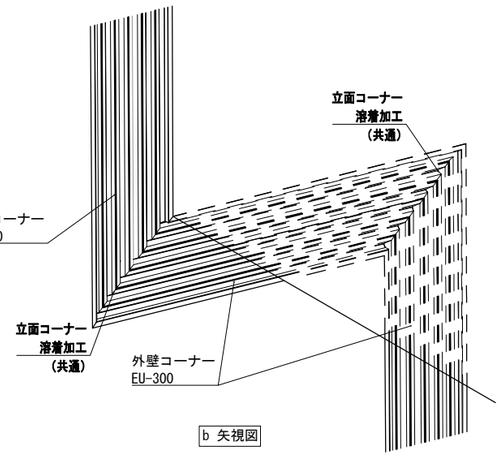
EXP. J-1　CL=300
〈階段棟〉



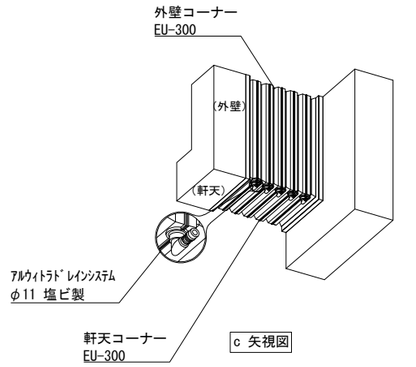
EXP. J-2　CL=300
〈西空中歩廊〉



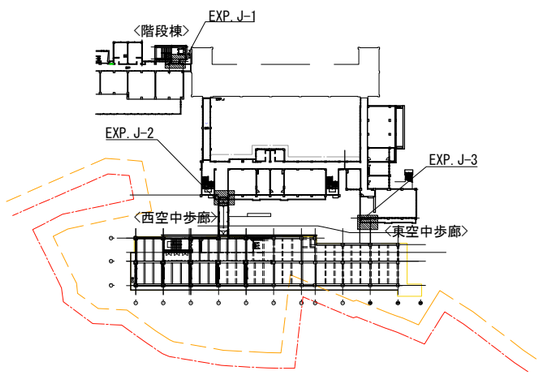
EXP. J-3　CL=250
〈東空中歩廊〉



b 矢視図



c 矢視図



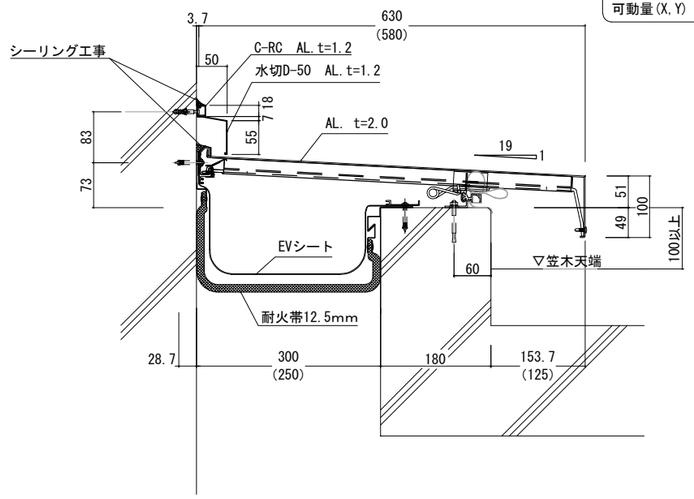
キープラン

① 屋根+外壁（アルミ製）耐火仕様　~~H630-APW　H580-APW~~　S＝1：5

J－1～J－3　　J－1、J－2；クリアランス300mm
J－3；クリアランス250mm

クリアランス	300mm
可動量(X, Y)	150mm

クリアランス	250mm
可動量(X, Y)	125mm



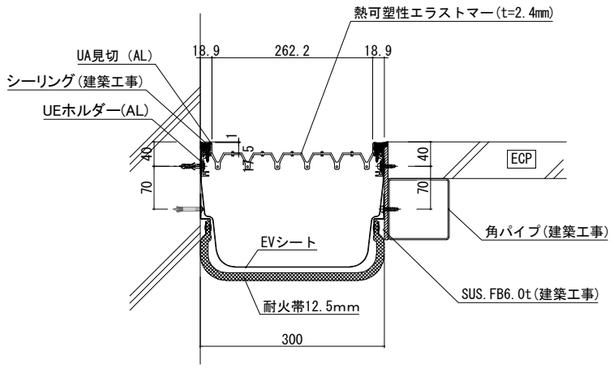
（）内はクリアンス250の場合を示す。

株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	部分詳細図　3　(EXP. J詳細図)	縮尺 ー	A-108
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(109/224)

③ 外壁コーナー（熱可塑性エラストマー）耐火仕様　EU-300　S=1：5

J－1～J－2

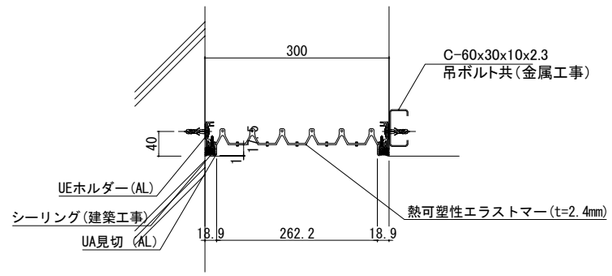
クリアランス	300mm
可動量(X,Y)	150mm



③' 軒天コーナー（熱可塑性エラストマー）　EU-300　S=1：5

J－2

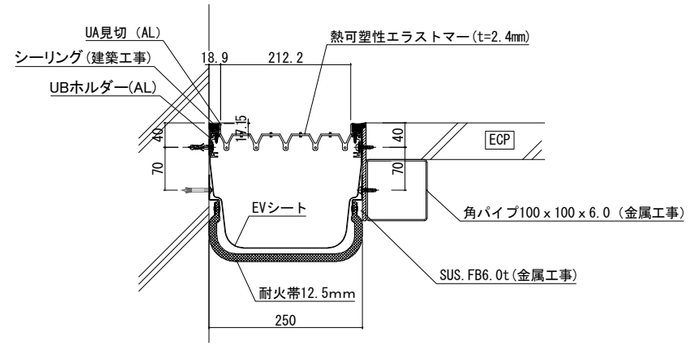
クリアランス	300mm
可動量(X,Y)	150mm



④ 外壁コーナー（熱可塑性エラストマー）耐火仕様　EU-250　S=1：5

J－3

クリアランス	250mm
可動量(X,Y)	125mm



※壁ＡＬＣ板の場合ＥＣＰ同様の納まりとする。

④' 軒天+軒天（熱可塑性エラストマー）　EU-250　S=1：5

J－3

クリアランス	250mm
可動量(X,Y)	125mm

⑤ 内壁+内壁（熱可塑性エラストマー）　EU-BC300　S=1：5

J－1～J－2

クリアランス	300mm
可動量(X,Y)	150mm

⑥ 内壁+内壁（熱可塑性エラストマー）　EU-BC250　S=1：5

J－3

クリアランス	250mm
可動量(X,Y)	125mm

⑦ 天井+天井（熱可塑性エラストマー）　S=1：5

J－1～J－3

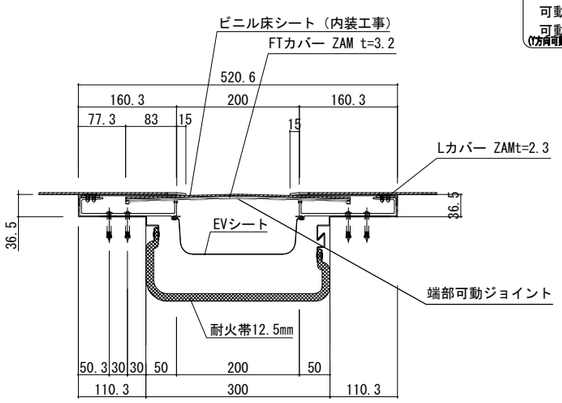
クリアランス	300mm
可動量(X,Y)	150mm

クリアランス	250mm
可動量(X,Y)	125mm

（）内はクリアランス250の場合を示す。

⑨ 床+床（スチール製）耐火仕様　~~化粧床H30-KFX-B-ST~~（内部仕様）　S=1：5

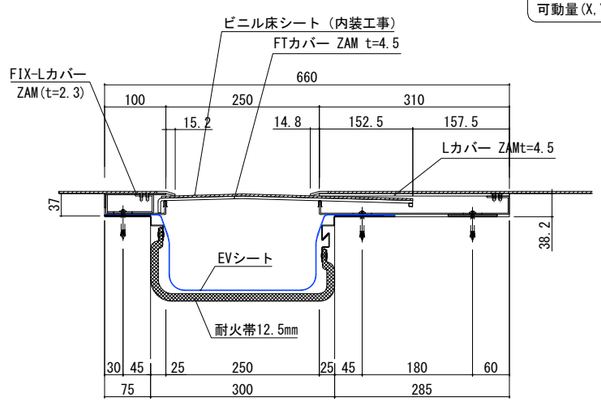
クリアランス	300mm
可動量(X)	150mm
可動量(Y) (Y方向可動ﾌﾞﾗｲﾝﾄ使用時)	150mm



⑨ 床+床（スチール製）耐火仕様　化粧床H30-KFX-B-BT（内部仕様）　S=1：5

J－2

クリアランス	300mm
可動量(X,Y)	150mm

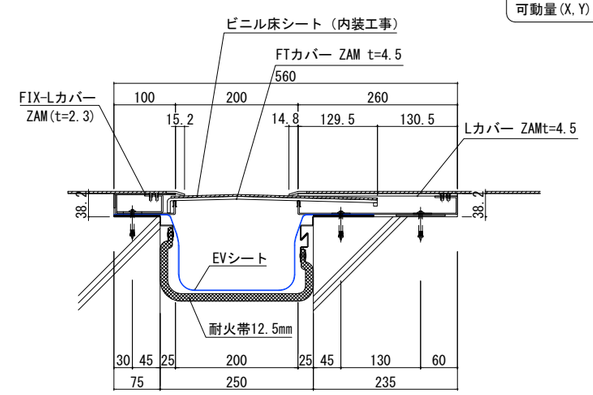


（）内はクリアランス250の場合を示す。

⑩ 床+床（スチール製）耐火仕様　H25-KFX-B-BT（内部仕様）　S=1：5

J－3

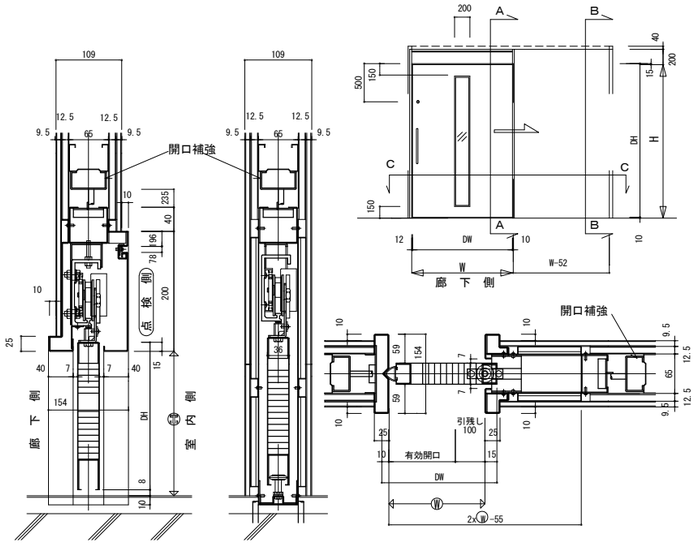
クリアランス	250mm
可動量(X,Y)	125mm



		株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘 構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和 設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
				図面名	部分詳細図　4　(EXP.J詳細図)	縮尺 図示	A-109
					船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(110/224)

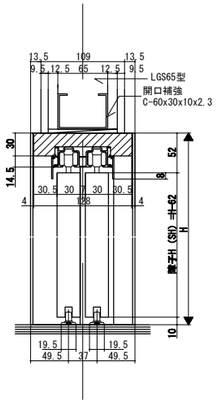
D-301　軽量スチール製上吊り引戸（壁引込み）　LSD-1、2詳細　1:5、10

※フリーストップ機能付き

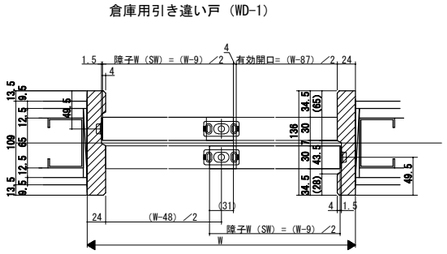


A－A断面図　B－B断面図

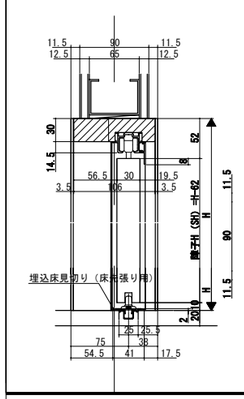
D-303　木製上吊り戸詳細図　1:5、10



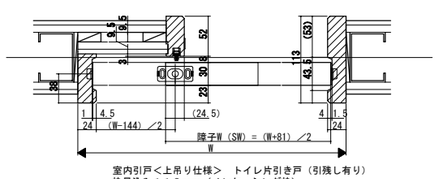
倉庫用引き違い戸（WD-1）



室内引戸＜上吊り仕様＞　引違い戸２枚建
枠見込み１３６mm（ノンケーシング枠）
大栄建材 リヴェルノｎｖｒ２２ａ０３　同等品



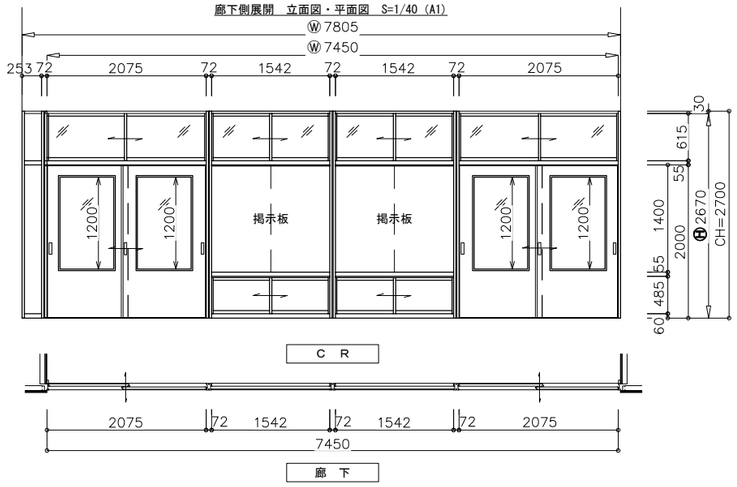
トイレ用引き戸（WD-2）



室内引戸＜上吊り仕様＞　トイレ片引き戸（引残し有り）
枠見込み１１３mm（ノンケーシング枠）
大栄建材 リヴェルノｎｖｒ１７ａ０２同等品

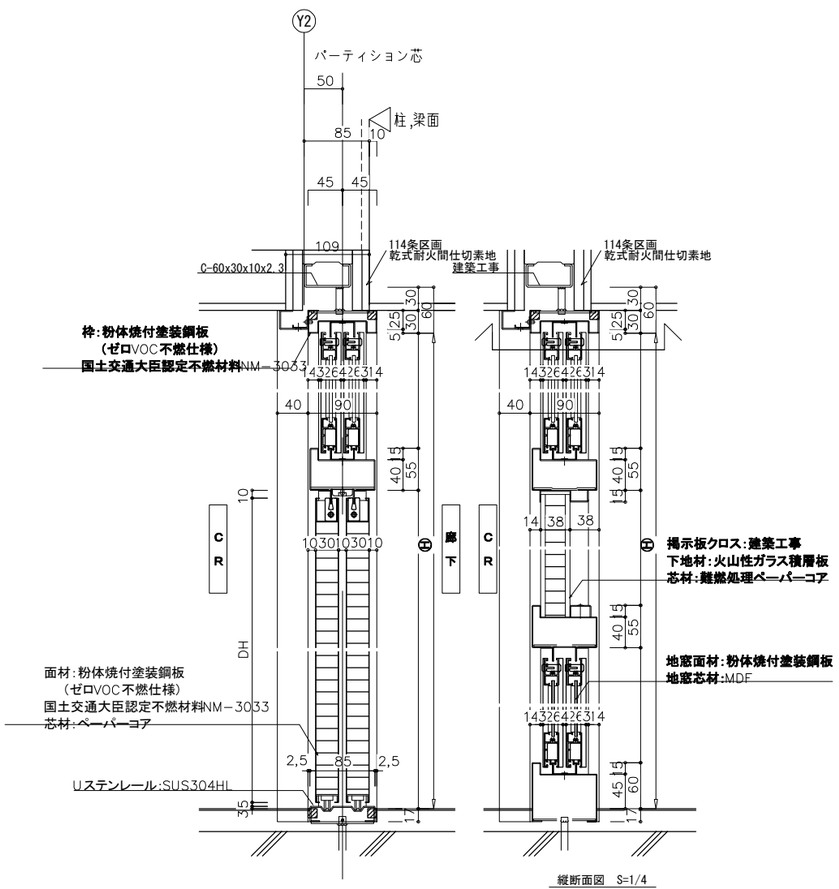
D-302　教室スチールパーティション詳細図

廊下側展開　立面図・平面図　S=1/40（A1）

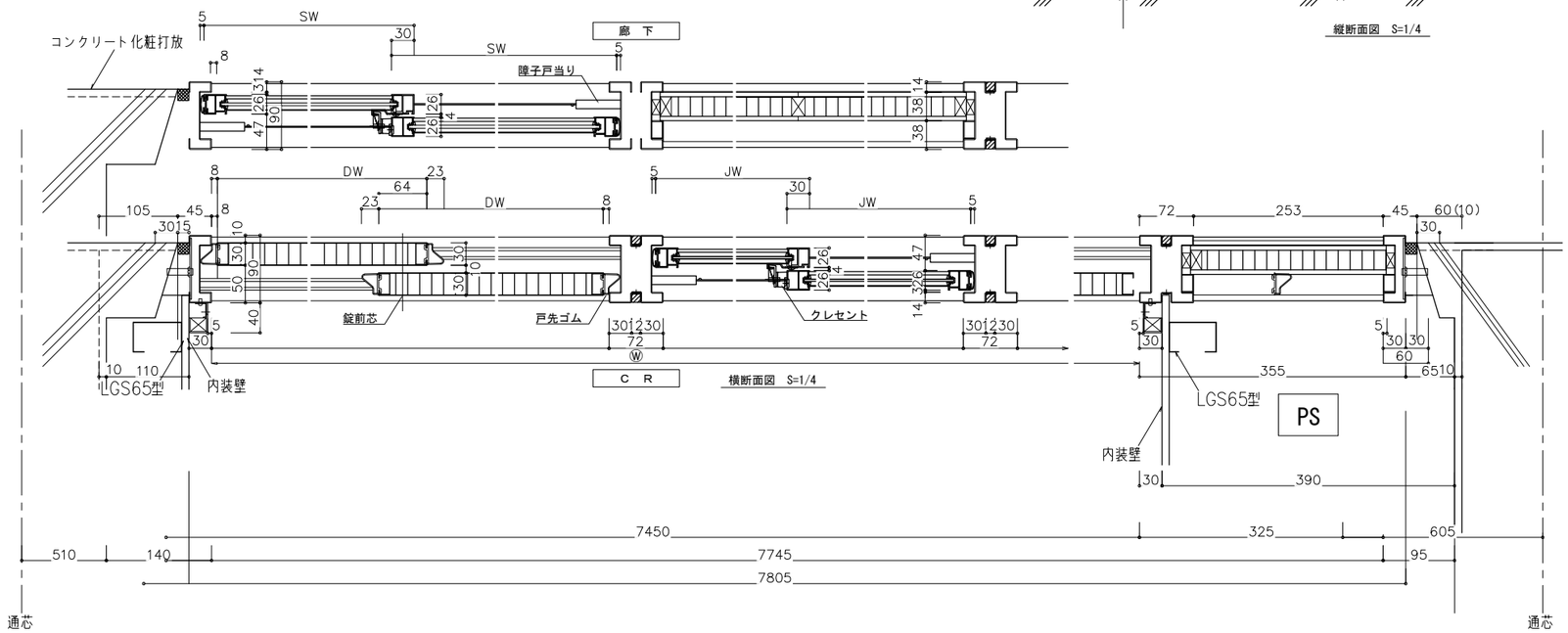


＊鋼製学校間仕切　仕様表（SA-90ER）

	部材名	材質・規格	板厚
枠	上枠・縦枠・無目・巾木	粉体焼付塗装鋼板（ゼロVOC不燃仕様）木目	1.2mm
	引戸レール	粉体焼付塗装鋼板（ゼロVOC不燃仕様）木目同系色焼付	0.8mm
	沓摺 Uステンレール	SUS304 HL	1.5mm
引戸	面材	粉体焼付塗装鋼板（ゼロVOC不燃仕様）木目	0.5mm
	芯材	ペーパーコア	
	エッジレスフラット明り窓	アルミ押出形材（粉体焼付塗装） 木目同系色焼付	
	戸先ゴム	硬質・軟質　塩化ビニル	
障子 地窓	縦框・横框	アルミ押出形材（粉体焼付塗装） 木目	
	レール	粉体焼付塗装鋼板（ゼロVOC不燃仕様）木目	1.6、0.8mm
	地窓面材	粉体焼付塗装鋼板（ゼロVOC不燃仕様）木目同系色焼付	0.5mm
	地窓芯材	MDF	2.5mm
不燃 掲示板	掲示板クロス	（建築工事）マグネット対応掲示板シート	
	下地材	火山性ガラス積層板	6.0mm
	芯材	難燃処理ペーパーコア	
金物	高さ調整式引戸戸車、堀込引手、錠前、振れ止め		
	高さ調整式障子戸車、落下防止ピン、クレセント、障子戸当り		
備考	鋼板：国土交通大臣認定材料 NM-3033		
	耐久性能：開閉繰り返し試験（JISA1530）20万回合格		
	耐衝撃性：耐衝撃性試験（JISA1518）17等級合格		



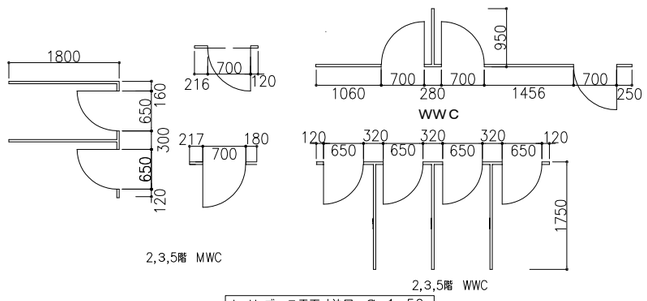
縦断面図　S=1/4



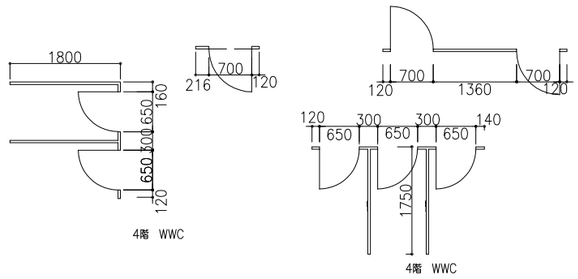
株式会社 大建設計 一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡　信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事	図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂　典和	図面名	部分詳細図　5（内部建具詳細図） 縮尺 図示	A-110
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木　光春		船橋市建設局建築部建築課 令和7年度	(111/224)

D-501 トイレブース S=1:50. 5

トイレブース配置、展開

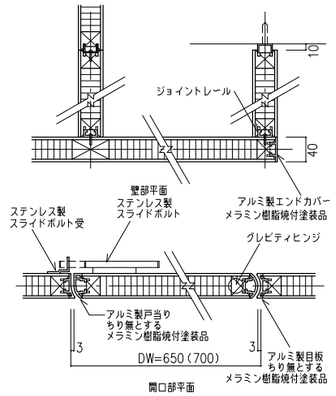


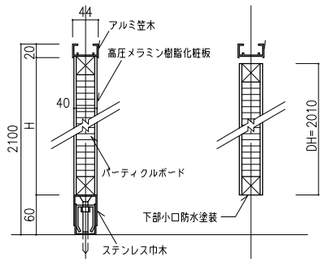
トイレブース平面寸法図 S 1:50



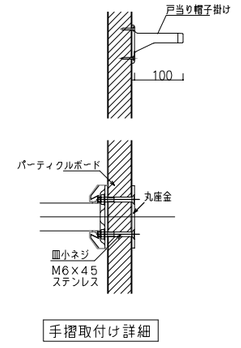
トイレブース平面寸法図 S 1:50

●パネル／ドアパネル
メラミン樹脂一体成形圧縮板
化粧パーティクルボード 40ｍｍ厚
●ドアエッジ／見切
アルミニウム押出形材
アルマイト処理
●頭繋ぎ／巾木
アルミニウム押出形材
アルマイト処理
ＳＵＳ３０４ ヘアーライン仕上げ
●ウッチセット／取手
亜鉛ダイカスト成形品
艶消しめっき仕上
●グレビティヒンジセット
ステンレス加工品
特殊強化合成樹脂出成形品
亜鉛ダイカスト成形品
クロームめっき仕上
●戸当り帽子掛け
特殊強化合成樹脂出成形品
艶消しめっき仕上
ゴム部（ＡＢＳ樹脂）



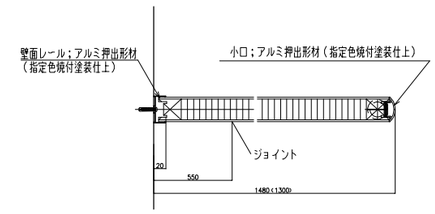


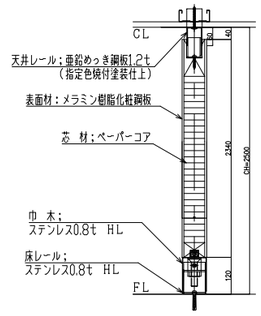
高圧メラミン樹脂化粧板にメラミン樹脂焼付塗装品は色目を合わせる



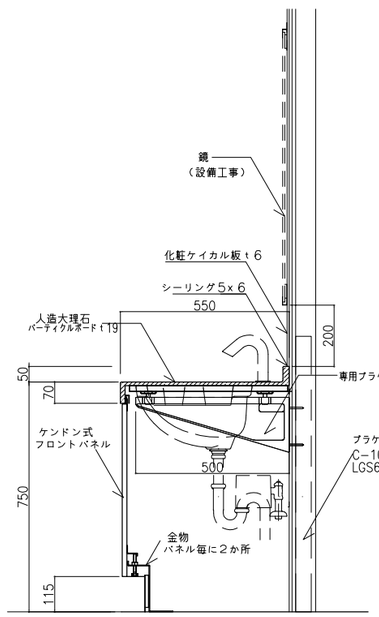
手摺取付け詳細

●パネル
メラミン樹脂化粧鋼板
ペーパーコア 40ｍｍ厚



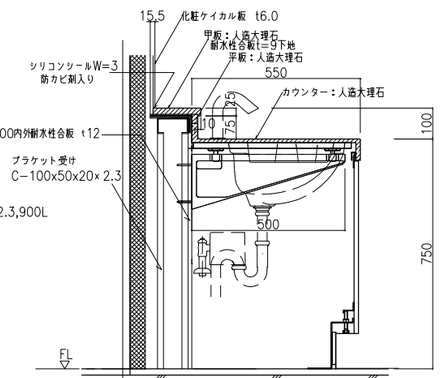


D-502 洗面カウンター廻り S=1:20



※壁との取合いはシリコンシールｔ＝5とする。
※人造大理石：TOTOマーブライトカウンター オニックス同等品とする。

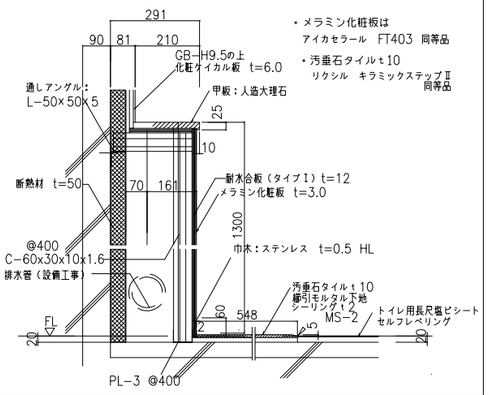
ライニングなしの場合



※壁との取合いはシリコンシールｔ＝5とする。
※人造大理石：TOTOマーブライトカウンター オニックス同等品とする。

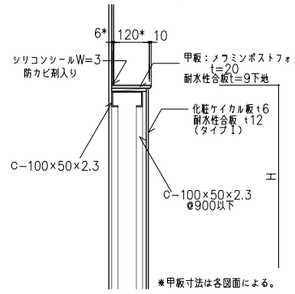
ライニングありの場合

D-503 MWC、小便器廻り 1:10



・メラミン化粧板は
アイカセラール FT403 同等品
・汚垂石タイルｔ10
リクシル キラミックステップⅡ
同等品

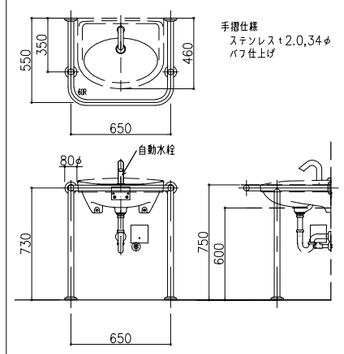
D-504 その他ライニング詳細 1:10



＊甲板寸法は各図面による。

洗面器・大便器ライニング

D-506 HWC他設置機器類 1:20



手摺仕様
ステンレスｔ2.0,34φ
バフ仕上げ

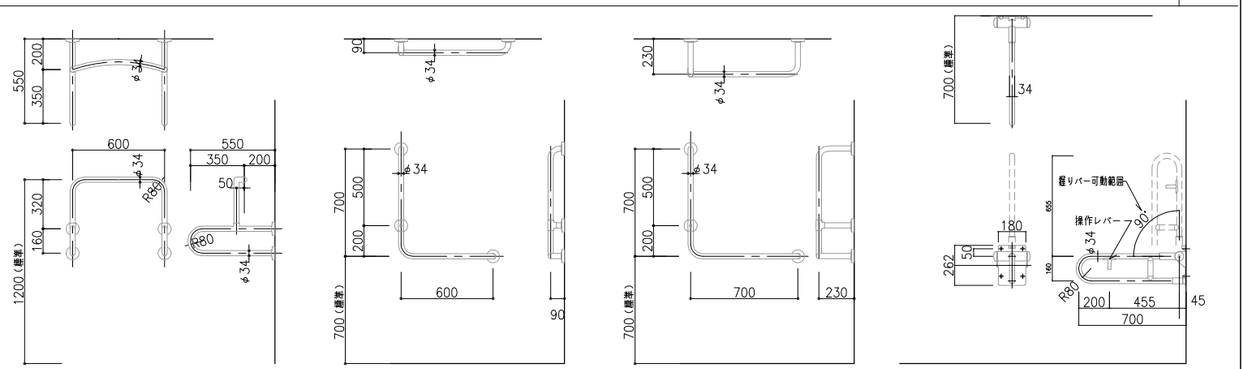
3階HWC：ﾍﾋﾞｰｷｰﾌﾟ
TOTO. YKA15S（同等品以上とする）
3～5階HWC：
収納式多目的（クリップ付き）
TOTO. EWC520ARS（同等品以上とする）
EWC520ARS
2階HWC：
収納式多目的（折りたたみ）シート（クリップ付き）
TOTO. EWC500RS （同等品以上とする）
2～5階HWC：
手荷物フック
サイズ：幅25×奥行120×高さ53mm
■本体：アルミ製 ■耐荷重：10kg

3階HWC設置手洗い手摺詳細

D-505 補助手摺詳細図 1:10

仕 様
●手すり本体
表面材：軟質塩化ビニル樹脂（抗菌剤入）
芯 材：ステンレス鋼管SUS304
φ27.2 1.5t
●固定座金、止め輪
ステンレス鋼板SUS304
●Tジョイント部
表面材：ＡＢＳ樹脂 クロムめっき仕上
内部材：グラスファイバー強化ＡＢＳ樹脂
●化粧カバー
ステンレス鋼板SUS304 バフ研磨仕上
●ボルト類
ステンレス製SUS304

※L型手すり TOTO T112CL10 同等品
※小便器用手すり
TOTO T112CLU2 同等品

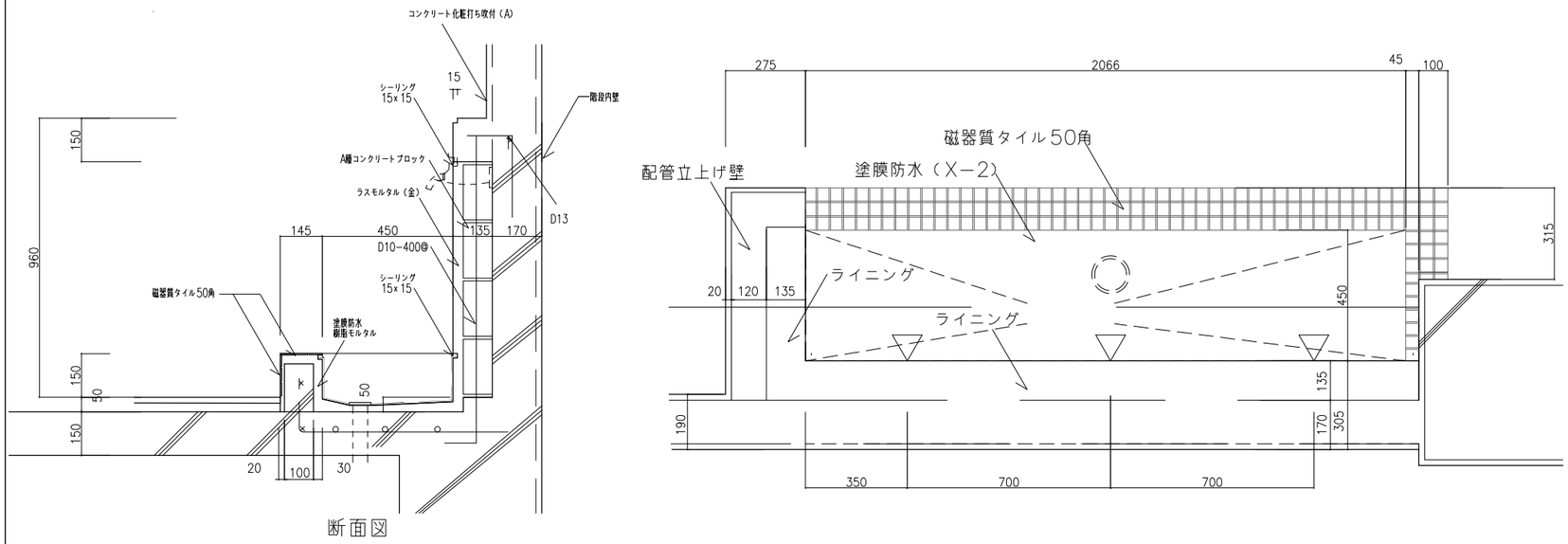


技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号

一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	
構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	
設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春	

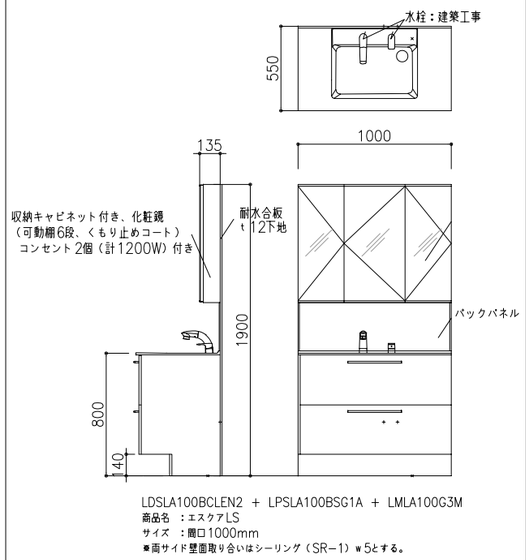
工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	部分詳細図 6（トイレ廻り）	縮尺	図示
	船橋市建設局建築部建築課		令和7年度
			A-111 (112/224)

D-401 地流し詳細図－昇降口付近　1:10



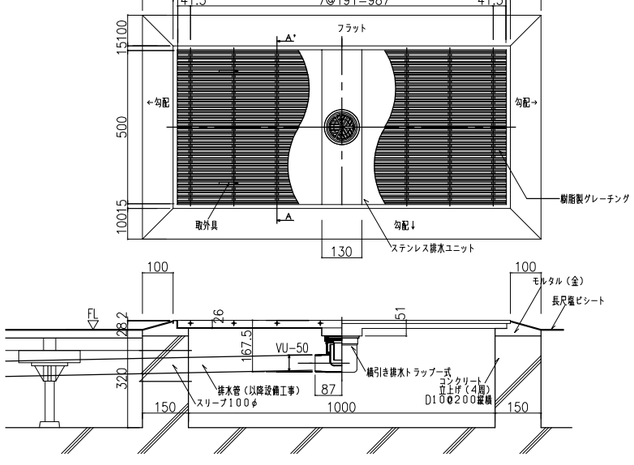
断面図

D-402 職員室洗面化粧台　1:20



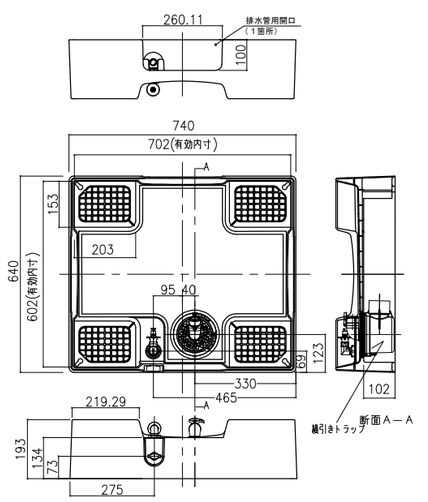
LDSLA100BCLEN2 ＋ LPSLA100BSG1A ＋ LMLA100G3M
商品名 ：エスクアLS
サイズ ：間口1000mm
※両サイド壁面取り合いはシーリング（SR－1）w5とする。

D-403 地流し詳細図－保健室　1:10



※ステンレス排水ユニットはシマブン樹脂すのこユニット SUGRA＋防水マスHRHZ-53110同等品とする

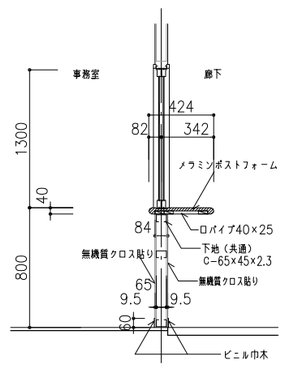
D-404 かさ上げタイプ洗濯パン詳細図－保健室　1:10,5



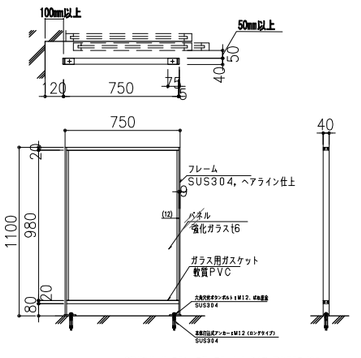
専用透明排水トラップ（横引） S＝1:5

給水栓付床上配管対応防水パン
テクノテックTPRF740同等品

D-405 受付カウンター　1:20

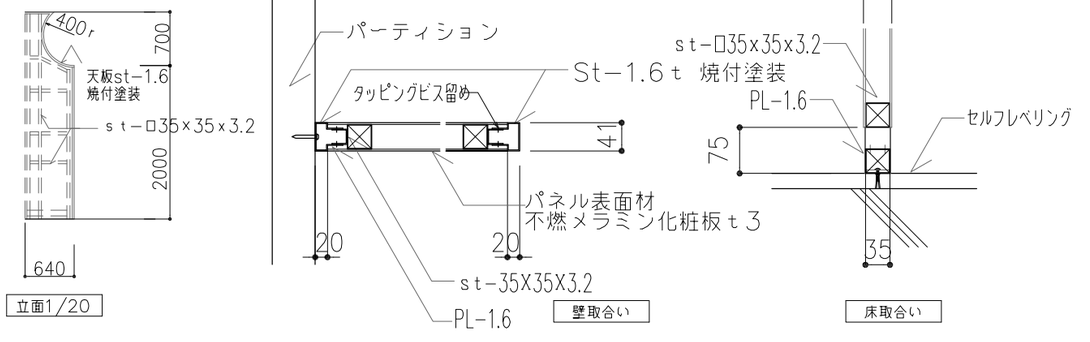


D-406 自動扉安全柵　1:20



自動ドアガード ステンレス製 フラットバータイプ 強化ガラスパネル
袋付タイプ DA4－4H7A－AG

D-407 手洗い隔板（階段西側前）、詳細　1/5,10

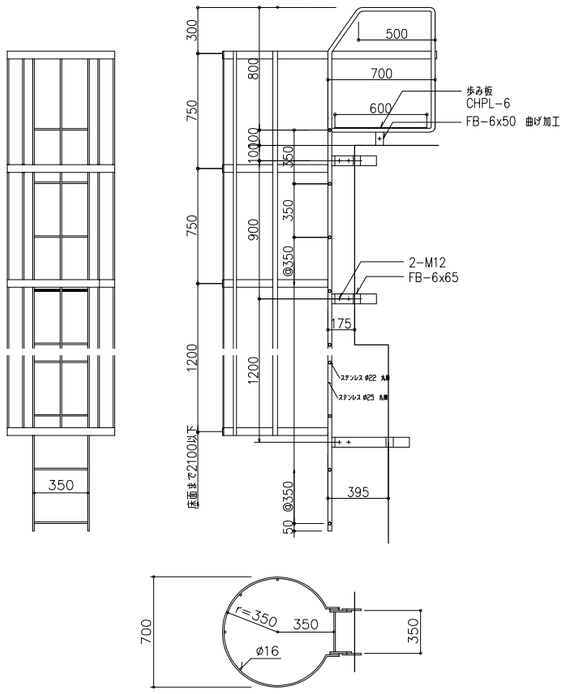


技にこころを
株式会社 大建設計
一級建築士事務所　東京都知事登録　第942号

一級建築士　（第 274708号）　山岡　信弘
構造設計一級建築士（第 6608号）　長坂　典和
設備設計一級建築士（第 753号）　鈴木　光春

工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
図面名	部分詳細図 7（水廻り、造作）	縮尺 図示	A-112
	船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(113/224)

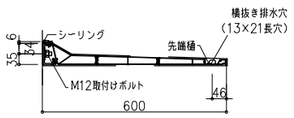
D−801 塔屋タラップ詳細図 1/20



全てステンレス性とする。

※胸かご（安全ガード）高さは国土交通大臣官房官庁営繕部整備課監修、仕様に倣うこと

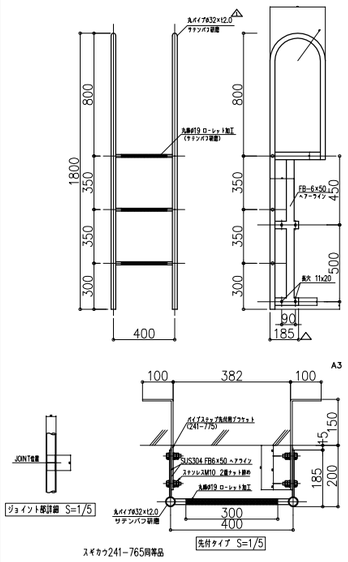
D−802 塔屋庇（既製品）詳細図 1/10



※ W寸法は1650mm

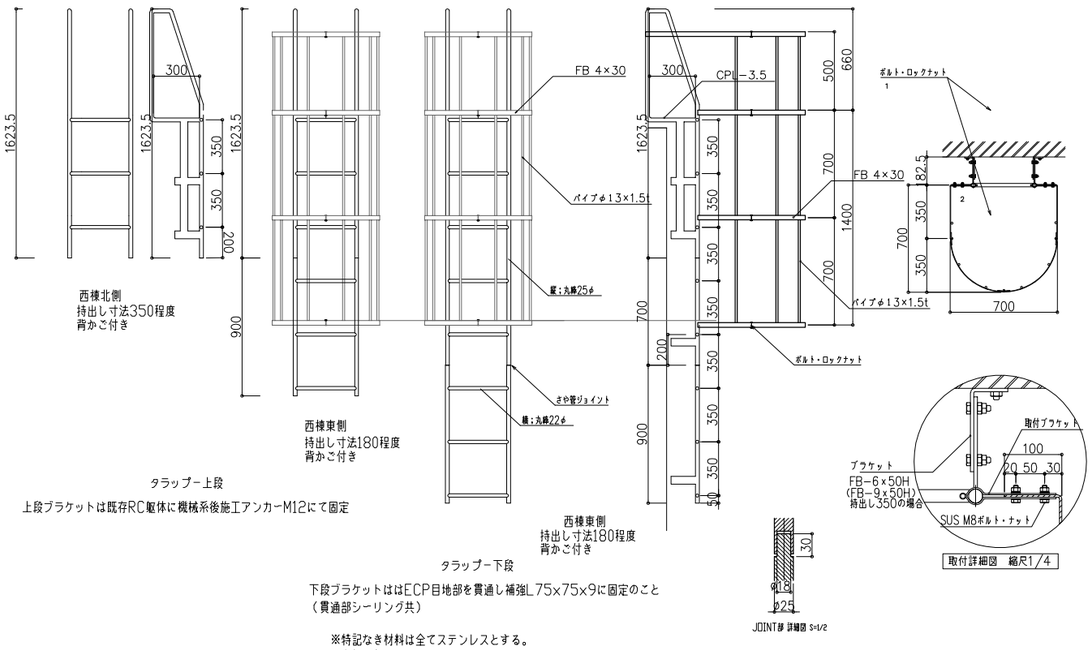
ABC商会 FIN603N同等品

D−803 1階水槽タラップ詳細図 1/20



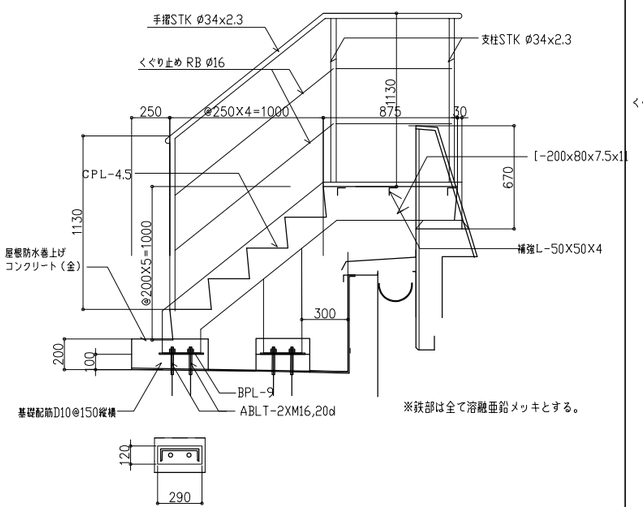
スギカワ241−765同等品

D−604 既存棟、屋上タラップ詳細図 （階段棟関連） 1/20



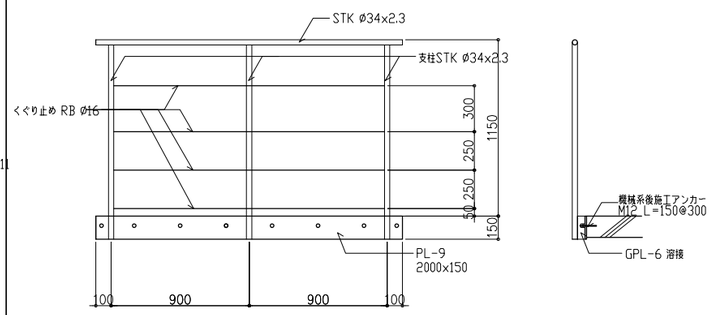
※図は参考の一例であり、実際設置するタラップは国土交通省、建築工事標準詳細図（令和4年度版）8−31−3と同等以上のものとすること。

D−805 受注歩廊屋上点検階段詳細 1/20



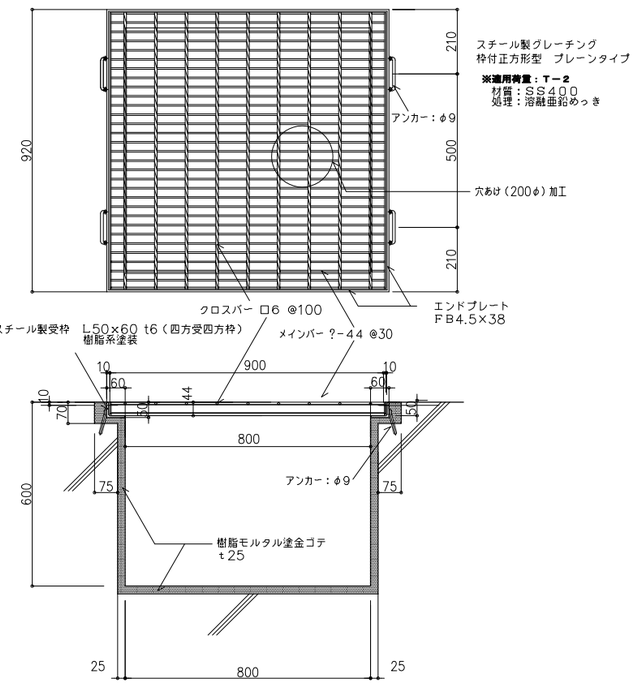
※鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする。

D−806 既存棟4階、落下防止手摺詳細図（階段棟関連） 1/20

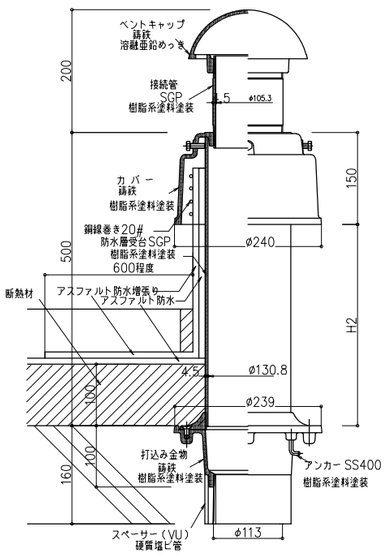


※鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする。

D−807 1階濾過機室 釜場詳細図 1/10



D−808 屋上伸長通気管廻り詳細図 1/5

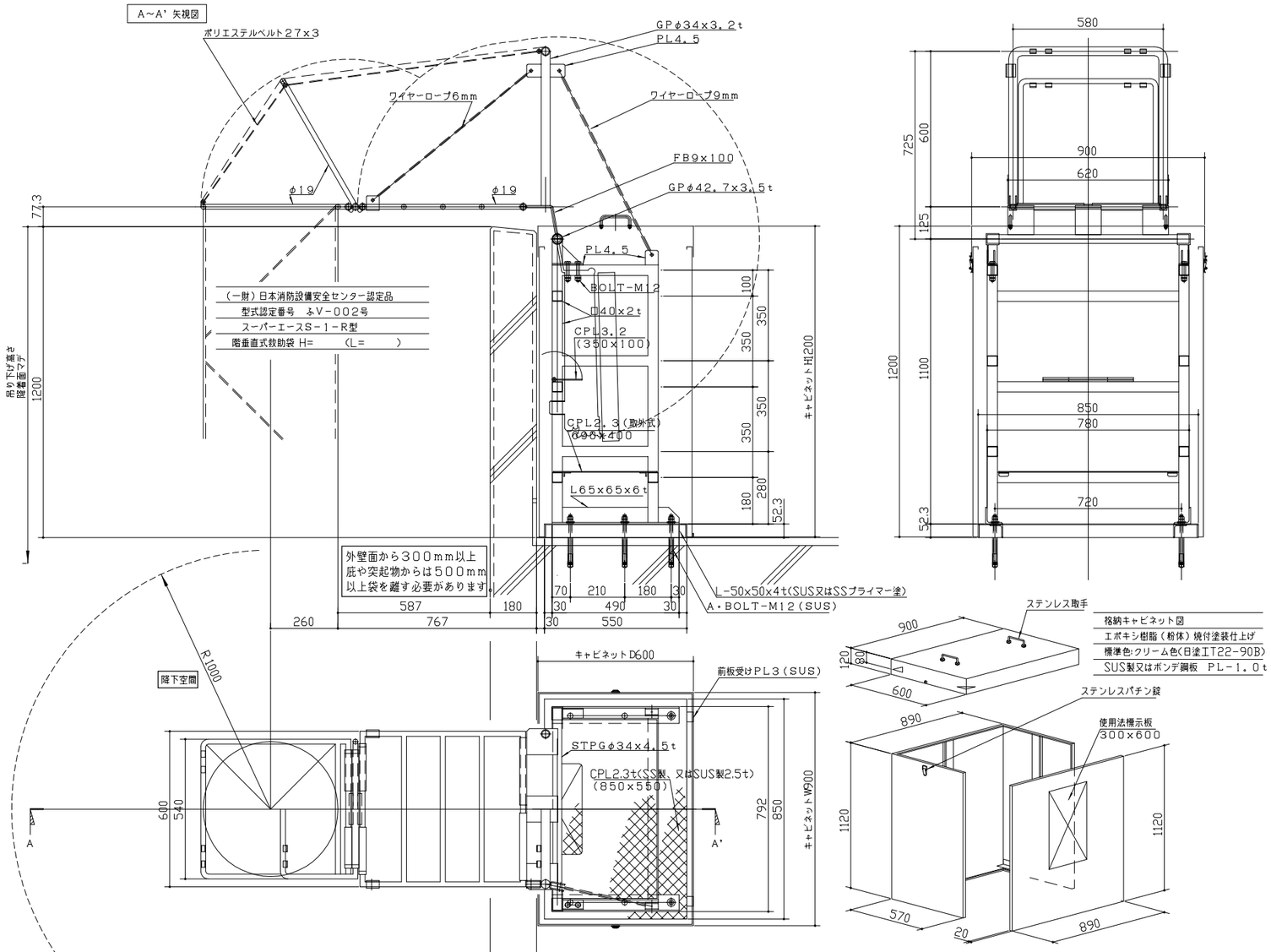


通気管接続用継手

技にこころを 株式会社 大建設計 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士	（第 274708号）	山岡 信弘	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
	構造設計一級建築士	（第 6608号）	長坂 典和	図面名	部分詳細図８（金物）	縮尺 図示	A−113
	設備設計一級建築士	（第 753号）	鈴木 光春		船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(114/224)

垂直降下式救助袋、消防認定品

※ステンレス格納キャビネット共
※バルコニー（屋外）設置
※降下位置表示プレート共



格納キャビネット図
エポキシ樹脂（粉体）焼付塗装仕上げ
標準色:クリーム色(日塗工T22-90B)
SUS製又はボンデ鋼板 PL-1.0t

増築棟 着床部標高8.2m

	吊り下げ高さ	箇所数
5階	15.95m	1
4階	14.20m	1

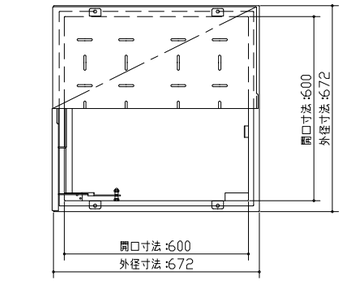
増築棟 着床部標高11.7m

	吊り下げ高さ	箇所数
4階	9.00m	1

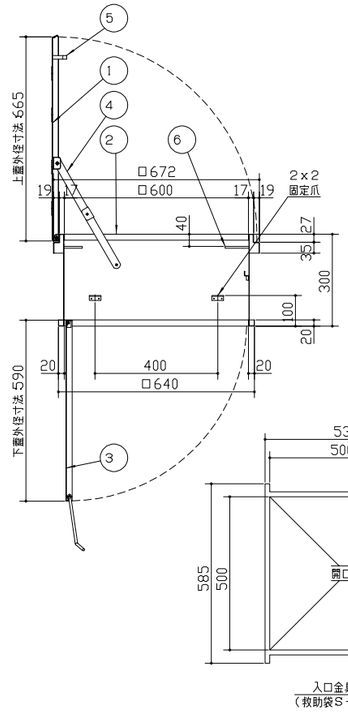
上田消防建設株式会社他

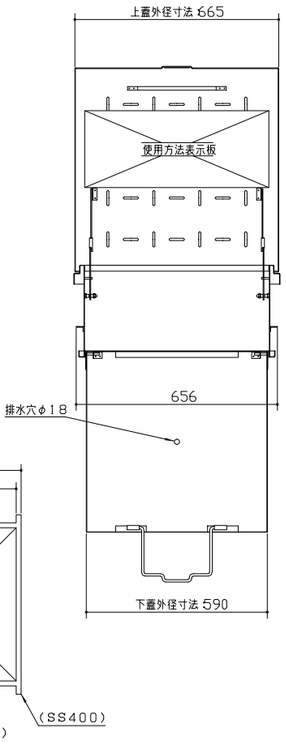
垂直降下式救助袋、消防認定品

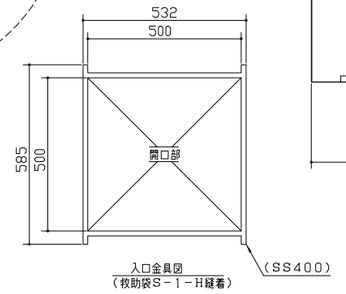
※降下位置表示プレート共



番号	部品名	規格・寸法	材質
1	上蓋	t2.0	ステンレス鋼 SUS304
2	本体	t1.5	
3	下蓋	t1.2	
4	上蓋支持バー	t3.0	
5	手持棒	□12	
6	入口金具受け	t6.0	







増築棟 着床部標高8.2m

	吊り下げ高さ	箇所数
3階	7.2m	1

上田消防建設株式会社他

株式会社 大建設計 技にこころを 一級建築士事務所 東京都知事登録 第942号	一級建築士 (第 274708号) 山岡 信弘 構造設計一級建築士(第 6608号) 長坂 典和 設備設計一級建築士(第 753号) 鈴木 光春	工事名	船橋市立海神中学校校舎建替工事		図面番号
		図面名	部分詳細図９（救助袋）	縮尺 1/40(A1) 1/20(A1)	A-114
			船橋市建設局建築部建築課	令和7年度	(115/224)